(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援
複合施設建設工事

株式会社 フケタ設計

（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図面リスト

意匠図		意匠図		外構図		構造図		構造図		機械設備図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A－００	図面リスト	A－４６	展開図(9)	G－０１	外構平面図(現況)	S－０１	構造特記仕様書（１）	S－５４	こどもひろば　B.PL平面配置図	M－０１	特記仕様書(その１)
A－０１	特記仕様書(1)	A－４７	展開図(10)	G－０２	外構平面図(造成後)	S－０２	構造特記仕様書（２）	S－５５	こどもひろば　鉄骨取合部詳細図（１）	M－０２	特記仕様書(その２)
A－０２	特記仕様書(2)	A－４８	展開図(11)	G－０３	カーポート　平面図・立面図	S－０３	構造関係共通事項（１）	S－５６	こどもひろば　鉄骨取合部詳細図（２）	M－０３	特記仕様書(その３)
A－０３	特記仕様書(3)	A－４９	展開図(12)	G－０４	こどもひろば 柱・トラス伏図	S－０４	構造関係共通事項（２）	S－５７	こどもひろば　基礎図	M－０４	防火区画要領図
A－０４	特記仕様書(4)	A－５０	展開図(13)	G－０５	こどもひろば 軸組図・断面図	S－０５	構造関係共通事項（３）			M－０５	空調機器表(1)
A－０５	特記仕様書(5)	A－５１	展開図(14)	G－０６	こどもひろば 節点座標図	S－０６	構造関係共通事項（４）			M－０６	空調機器表(2)
A－０６	特記仕様書(6)	A－５２	展開図(15)	G－０７	こどもひろば 小屋伏図、立面図、側面図、ｱｲｿﾒ図	S－０７	構造関係共通事項（５）	電気設備図		M－０７	空調機器表(3)
A－０７	特記仕様書(7)	A－５３	展開図(16)	G－０８	こどもひろば 全体アイソメ構成図	S－０８	構造関係共通事項（６）			M－０８	換気計算書
A－０８	外部仕上表	A－５４	展開図(17)	G－０９	こどもひろば 膜屋根断面図	S－０９	構造関係共通事項（７）	図面番号	図面名称	M－０９	換気機器表
A－０９	内部仕上表(1)	A－５５	展開図(18)	G－１０	こどもひろば 膜納まり図(1)	S－１０	深層混合処理工法特記仕様書	E－０１	特記仕様書(その１)	M－１０	制気口リスト(1)
A－１０	内部仕上表(2)	A－５６	天井伏図	G－１１	こどもひろば 膜納まり図(2)	S－１１	ハイベースNEO設計施工標準（１）	E－０２	特記仕様書(その２)	M－１１	制気口リスト(2)
A－１１	全体配置図・附近見取図	A－５７	外部建具キープラン(1)	G－１２	こどもひろば 膜納まり図(3)	S－１２	ハイベースNEO設計施工標準（２）	E－０３	特記仕様書(その３)	M－１２	空調配管　平面図
A－１２	拡大配置図	A－５８	外部建具キープラン(2)	G－１３	ふわふわドーム 平面配置図	S－１３	ハイベースNEO設計施工標準（３）	E－０４	配置図　凡例	M－１３	空調配管　屋根伏図
A－１３	敷地求積図・平均地盤面算定図	A－５９	内部建具キープラン	G－１４	ふわふわドーム 平面・立面・断面図	S－１４	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	E－０５	受変電設備　仕様	M－１４	空調加湿配管　平面図
A－１４	建物面積表	A－６０	建具表(1)	G－１５	にぎわい軸通路屋根平面・断面詳細図	S－１４A	JF75・JF75W設計・施工標準	E－０６	自家発電設備　仕様	M－１５	換気　平面図
A－１５	各室面積表(1)	A－６１	建具表(2)	G－１６	にぎわい軸通路屋根アルミハニカム庇詳細図	S－１５	ＱＬルーフ屋根設計・施工標準	E－０７	盤　負荷表　NO1	M－１６	換気　屋根伏図
A－１６	各室面積表(2)	A－６２	建具表(3)	G－１７	外構詳細図(1)	S－１６	ダイヤレンNS設計・施工標準仕様書	E－０８	盤　負荷表　NO2	M－１７	空調・換気ダクト　詳細図
A－１７	ピット平面図	A－６３	建具表(4)	G－１８	外構詳細図(2)	S－１７	フリードーナツエイト工法標準図	E－０９	1階　幹線設備図	M－１８	拡大配置図
A－１８	１階平面図	A－６４	可動間仕切壁詳細図(1)	G－１９	外構詳細図(3)	S－１８	柱状図	E－１０	屋根部　幹線・ｺﾝｾﾝﾄ・ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備図	M－１９	桝リスト
A－１９	屋根伏図	A－６５	可動間仕切壁詳細図(2)	G－２０	外構レベル計画図	S－１９	柱状改良伏図	E－１１	1階　動力設備図	M－２０	衛生機器表
A－２０	立面図(1)	A－６６	木製大型多連引戸詳細図(1)			S－２０	基礎伏図	E－１２	屋根部　動力設備図	M－２１	衛生器具表
A－２１	立面図(2)	A－６７	木製大型多連引戸詳細図(2)			S－２１	１階床梁伏図	E－１３	照明器具　姿図	M－２２	衛生　平面図
A－２２	断面図(1)	A－６８	大型折戸詳細図			S－２２	庇伏図	E－１４	1階　非常灯・誘導灯設備図	M－２３	衛生　屋根伏図
A－２３	断面図(2)	A－６９	外部サインキープラン			S－２３	屋根伏図１	E－１５	1階　電灯設備図	M－２４	衛生　詳細図(1)
A－２４	断面詳細図(1)	A－７０	内部サインキープラン			S－２４	屋根伏図２	E－１６	子育て支援エリア　1階　電灯設備図	M－２５	衛生　詳細図(2)
A－２５	断面詳細図(2)	A－７１	サイン図(1)			S－２５	軸組図（１）	E－１７	1階　コンセント設備図	M－２６	自動制御設備　計装図
A－２６	断面詳細図(3)	A－７２	サイン図(2)			S－２６	軸組図（２）	E－１８	子育て支援エリア　1階　コンセント設備図	M－２７	自動制御設備　平面図
A－２７	断面詳細図(4)	A－７３	サイン図(3)			S－２７	軸組図（３）	E－１９	複合防災盤(A)・(B)　姿図	M－２８	自動制御設備　屋根伏図
A－２８	断面詳細図(5)	A－７４	家具キープラン			S－２８	軸組図（４）	E－２０	拡声設備機器姿図		
A－２９	断面詳細図(6)	A－７５	家具図(1)			S－２９	軸組図（５）	E－２１	多目的ホール　映像音響設備機器姿図		
A－３０	断面詳細図(7)	A－７６	家具図(2)			S－３０	軸組図（６）	E－２２	教育研究所、工作室、学習室(1)・(2)		
A－３１	断面詳細図(8)	A－７７	家具図(3)			S－３１	軸組図（７）		音楽室　映像音響設備機器姿図		
A－３２	メンテ用階段詳細図	A－７８	家具図(4)			S－３２	基礎リスト	E－２３	監視カメラ・情報表示設備機器　姿図		
A－３３	１階平面詳細図(1)	A－７９	家具図(5)			S－３３	基礎梁リスト（１）	E－２４	情報表示設備機器　姿図		
A－３４	１階平面詳細図(2)	A－８０	家具図(6)			S－３４	基礎梁リスト（２）	E－２５	誘導支援設備機器　姿図		
A－３５	１階平面詳細図(3)	A－８１	家具図(7)	法チェック図		S－３５	基礎小梁・スラブリスト	E－２６	1階　構内情報通信網用配管・交換設備用配管		
A－３６	１階平面詳細図(4)	A－８２	移動観覧席・可動ｽﾃｰｼﾞ　平面・断面図			S－３６	鉄骨柱・大梁リスト		・警備用配管設備図		
A－３７	１階平面詳細図(5)	A－８３	移動観覧席　詳細図	図面番号	図面名称	S－３７	二次部材リスト	E－２７	1階　拡声・映像音響設備図		
A－３８	展開図(1)	A－８４	移動観覧席　荷重分布図	H－０１	配置法チェック図	S－３８	鉄骨架構詳細図	E－２８	1階　誘導支援・監視ｶﾒﾗ・ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備図		
A－３９	展開図(2)	A－８５	可動ステージ　詳細図	H－０２	平面法チェック図（建築基準法）	S－３９	目隠し壁詳細図	E－２９	火災報知設備　系統図		
A－４０	展開図(3)	A－８６	吊バトン詳細図	H－０３	平面法チェック図（消防法）			E－３０	1階　火災報知設備図		
A－４１	展開図(4)	A－８７	車寄せアルミハニカム庇詳細図	H－０４	平面法チェック図（栃木県条例）	S－４１	にぎわい軸通路屋根　構造図				
A－４２	展開図(5)	A－８８	部分詳細図(1)	H－０５	平面法チェック図（福祉関係）						
A－４３	展開図(6)	A－８９	部分詳細図(2)（設備スペース）	H－０６	立面法チェック図（建築基準法）	S－５１	こどもひろば　トラスサイズ伏図				
A－４４	展開図(7)	A－９０	仮設計画図	H－０７	立面法チェック図（消防法）	S－５２	こどもひろば　支承・柱脚詳細図				
A－４５	展開図(8)			H－０８	平面法チェック図（区画）	S－５３	こどもひろば　鉄骨詳細図				

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. ０３１２３	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 図面リスト	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	縮尺 A1:N.S A3:N.S 図面No. A－００ 原図 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　栃木県河内郡上三川町大字上三川 4173 番 1 の一部
2．敷地面積　　7,436.05 ㎡
3．用途地域その他の地域　　防火地域：指定なし。法２２条地域。
4．工事種目

建築物名称	工事種別	構造概要	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）
複合施設	新築	鉄骨造１階建（地下　階塔屋　階）	3,024.86	2,318.30
こどもひろば	新築	鉄骨造１階建	396.63	397.64
カーポート	新築	アルミニウム合金造１階建	107.02	107.02

5．指定部分　　・有　●無
対象部分（　　）指定部分工期（　年　月　日）

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様
設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。
（１）質問回答書（（２）から（５）に対するもの）
（２）現場説明書
（３）特記仕様書
（４）図面及び設計書
（５）標仕
また、公営住宅工事においては、設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて、公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版）」（以下、「公住仕」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。
（１）質問回答書（（２）から（６）に対するもの）
（２）現場説明書
（３）特記仕様書
（４）図面及び設計書
（５）公住仕
（６）機材の品質・性能基準（令和元年度版）（以下、「品質・性能基準」という。）
2．特記仕様
（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（２）特記事項で●印、◎印、・印のある場合の適用は下記による。
●印の付いた仕様は全て適用する。
●印の付かない場合は、◎印の付いた仕様を適用する。
・印のみの仕様は適用しない。
（３）特記事項に記載の（．．）内表示番号は、標仕（公営住宅工事の場合は公住仕）の当該項目、当該図または表を示す。
（４）特記事項に記載の（公住仕．．）内表示番号は、公住仕の当該項目、当該図または表を示す。
（５）特記事項に記載の（参．．）は(5.3.7)による参考図「各部配筋」の当該項目を示す。
（６）製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、（　　）内は製品名を示す。
［G］印は、「栃木県グリーン調達推進方針」の特定調達品目を示す。

１章　一般共通事項

○1-1 適用基準等

◎建築工事標準詳細図　　国土交通省大臣官房官庁営繕部制定（平成 28 年版）
◎敷地調査共通仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部制定（令和３年版）
◎工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成 30 年版）
◎建築物におけるコンクリートの品質管理実施要領　　栃木県土木部技術管理課（平成 14 年 12 月）
◎建設工事に伴う騒音振動対策技術指針　　建設省大臣官房技術参事官通達（昭和 62 年３月改正）
◎手すり先行工法に関するガイドライン　　厚生労働省（平成 21 年４月）

○1-2 工事実績情報サービス（CORINS）への登録　(1.1.4)

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金が 500 万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた上、次に示す期間内に登録機関へ登録申請を行う。ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日は含まない。
（１）工事受注時　　契約締結後 10 日以内
（２）登録内容の変更時　　変更契約締結後 10 日以内
（３）工事完成時　　工事完成後 10 日以内
なお、変更登録は、工期、技術者及び工事請負代金等に変更が生じた場合に行う。
また、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

○1-3 発生材の処理等

［発生土］
・構内指示の場所に敷均し　●構外指示の場所にたい積（下野市 しもつけ産業団地造成事業地）
・構内指示の場所にたい積　たい積場所（　　）
◎構外搬出適切処理
［発生土以外の発生材］
・引渡しを要するもの　　・有　名称（　　）　　・無
・特別管理型産業廃棄物　　・有　名称（　　）　　・無
処理方法（　　）
・再利用及び再資源化を図るもの　　・有　名称（　　）　　・無
◎上記に指定されていないものは、標仕 1.3.11(2)(ｲ)及び「建設廃棄物処理指針」（平成 22 年版）によるほか、下記により構外に搬出し適切に処理する。
（１）建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し提出すること。なお、これらの記録をエ事完成後１年間保存しておくこと。
（２）建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を提出すること。
（３）建設副産物の処分にあたって、提出事業者（元請業者）は処理業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に、収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。
（４）建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等）を提示し確認を受けること。
（５）建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の交付されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。なお、回収したマニフェストについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。

○1-4 建設リサイクル法

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に定める対象建設工事に該当する場合は、建設リサイクル法に基づき特定建設資材の分別解体及び再資源化の実施について、適正な措置を講ずるとともに、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、監督職員に報告する。

○1-5 実施工程表　(1.2.1)

概成工期の明記に努めること。

○1-6 品質計画　(1.2.2)

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
●風圧力
風速（Vo=30m/s）
地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　◎Ⅲ　・Ⅳ）
●積雪荷重
平成 12 年５月 31 日建設省告示第 1455 号別表（　24　）

○1-7 電気保安技術者の配置　(1.3.3)

・要　　◎不要

・1-8 施工条件明示　(1.3.5)

○1-9 材料の検査に伴う試験　(1.4.5)

構造体コンクリートの強度試験及び鉄筋のガス圧接部の引張り試験は下記の機関による。
（１）（公財）とちぎ建設技術センター
（２）足利大学
（３）（株）中研コンサルタント栃木技術センター
（４）栃木県中央生コンクリート協同組合栃木県生コンクリート技術センター

○1-10 建築材料の品質等　(1.4.2)

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の項目を満たすものとし、証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること。
（３）安定的な供給が可能であること。
（４）法令等で定める許可、認可、認定、または免許等を取得していること。
（５）製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。
また、本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された材料は、設計図書に規定するものまたは同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、同等品等使用願を監督職員に提出して承諾を受ける。
なお、同等品の中で、一般社団法人公共建築協会編集「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（以下、「評価名簿」という。）に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図書に規定するものと同等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。

○1-11 合法木材の確認　(1.4.2)

製材等、フローリングまたは再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁平成 18 年２月 15 日）に準拠した証明書を監督職員に提出する。

○1-12 再生骨材の品質確保について

本工事に再生骨材を利用する場合は、「再生クラッシャーランの品質確保に関する当面の措置について」（平成 15 年９月 16 日栃木県県土整備部技術管理課）により、現場搬入時に目視確認を行い、「再生クラッシャーラン（RC 材）品質確認状況報告書」を作成の上、速やかに監督職員に提出するものとする。

○1-13 ゴム製品等の品質確認等について

本工事に東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料（以下、「ゴム製品等」という。）を使用する場合には、受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）と資本面、人事面で関係がない者）によって作成されたゴム製品等の品質を証明する書類を事前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。
なお、第三者による品質証明書類を監督員に提出し、確認を受けた場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に、受注者の契約不適合責任が免責されるものではない。

○1-14 化学物質を発散する建築材料等　(1.5.9)

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（５）を満たすものとする。
（１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
（２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
（３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤が添加されていないものを使用する。
（４）接着剤及び塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
（５）（１）、（３）及び（４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第 20 条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第 20 条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第 20 条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④ 建築基準法施行令第 20 条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○1-15 特殊な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

○1-16 技能士　(1.5.2)

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	●とび作業
鉄筋工事	●鉄筋組立作業
コンクリート工事	●型枠工事作業　●コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	●構造物鉄工作業　●とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水作業 ●塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ●シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びとい工事	●内外装板金作業　・スレート工事作業
金属工事	●鋼製下地工事作業　・内外装板金作業
左官工事	●左官作業
建具工事	●ビル用サッシ施工作業　●ガラス工事作業 ●自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業　・ガラス工事作業
塗装工事	●建築塗装作業
内装工事	●プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業　●壁装作業 ●ボード仕上げ工事作業
排水工事	・建築配管作業
舗装工事	・溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	・造園工事作業

○1-17 化学物質の濃度測定　(1.5.9)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
測定方法　◎パッシブ型　・アクティブ型
着工前の測定　◎行わない　・行う
測定対象室　・図示　●遊戯室、教育委員会事務局、多目的ホール、吉澤章記念室
測定箇所数　・図示　●４ヶ所
（住宅工事の場合は１住戸当たり２室以上）
報告の様式等については監督職員の指示による

○1-18 完成図等　(1.7.2,3)

◎作成する　・作成しない
◎完成図　◎製本　提出部数　◎２部　・　部
複写２つ折り製本、製本サイズは監督員の指示による。
●ＣＤ－Ｒ　提出部数（　３　）部
◎施工図　提出部数　◎２部　・　部
◎保全に関する資料　提出部数　◎２部　・　部

○1-19 施工図等の取り扱い　(1.7.2)

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○1-20 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。

分類・規格	提出部数	画素数、画質等
◎カラーキャビネ版 ・アルバム綴じ（黒表紙金文字入り） ・べた焼き（他に外観正面１ｶｯﾄ５枚（ｶﾗｰｷｬﾋﾞﾈ版）提出	◎２	◎428 万画素以上
・カラーパネル 324×400㎜	◎３	
◎電子データ	◎２	◎428万画素以上 ◎350dpi 以上

電子データは JPEG 形式としＣＤ－Ｒにて提出する。
撮影箇所及び箇所数は監督職員との協議による。

○1-21 他工事との取り合い

別表－１による他工事との取り合いについては、設備機器の位置、取り合い等の検討のできる施工図を支障のきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

○1-22 設計 GL

監督職員の指示による

○1-23 調査試験に対する協力

（１）受注者は、発注者が自らまたは発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。
（２）受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。
ア　調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
イ　調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合には、その実施に協力しなければならない。
ウ　正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
エ　対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

○1-24 火災保険等

火災保険、建設工事保険、組立保険または土木工事保険等のうち１以上に加入する。
契約期間の始期は、材料（仮設、型枠材を除く）搬入時以前とし、終期は、工事目的物（分離発注に於いては、引き渡しが最後となる工事目的物）の引き渡しの翌日までとする。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

○1-25 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

○1-26 下請負人の選定及び工事材料の選定

◎受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を県内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。
◎受注者は、県内で産出、生産または製造される資材等の規格品質等が本設計の仕様に適合すると認められる場合は、優先して使用するよう努めること。

○1-27 電子納品

◎適用基準は「電子納品運用に関するガイドライン（第 10 版）」とする
設計 CAD ﾃﾞｰﾀの貸与　・無　◎有（著作者名　◎設計者　●その他（　上三川町　））
◎貸与する CAD ﾃﾞｰﾀを該当工事における施工図または完成図の作成のため以外には使用してはならない。
◎書面における署名及び捺印の取り扱いは、監督職員との協議による。

○1-28 交通安全管理　(1.3.8)

受注者は、栃木県公安委員会が定める路線（平成 21 年９月 30 日栃木県公安委員会告示第 54 号）の交通誘導を行う場合は、その現場ごとに交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員または二級検定合格警備員を１人以上配置しなければならない。

○1-29 環境対策　(1.3.10)

（１）騒音・振動対策
受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成 13 年４月９日国交省告示第 487 号）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議するものとする。
（２）排出ガス対策
受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第３に掲げる建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年 10 月８日付け建設省経発第 246 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械または同等の建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議するものとする。
（３）グリーン購入法
受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業毎の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号。「グリーン購入法」という。）」第 10 条及び「栃木県生活環境の保全等に関する条例」第 63 条で定めた「栃木県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目の使用を推進するものとする。

○1-30 埋設物の調査等

給排水管、ガス管、ケーブル等の埋設が予想される場合は、調査を行うこと。なお、給排水管等を掘り当てた場合は、損傷しないように注意し、必要に応じて、応急処置を行い、監督職員及び関係者と協議すること。また、工事に支障となる障害物を発見した場合は、監督職員と協議すること。ただし、容易に取り除ける障害物はこの限りではない。

○1-31 事故報告

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員が指示する様式（工事事故報告書）で指示する期日までに提出しなければならない。
［工事事故等が発生した場合の早期報告の徹底について］
万が一事故等が発生した場合、被災者の救護・現場の安全確保を最優先のうえ、警察・消防・労働基準監督署等関係機関への通報と合わせ、直ちに発注機関へ通報すること。
工事事故等が発生した場合、事故の大小を問わず、直ちに監督職員へ通報すること。
なお、事故発生の連報においては、休日、時間外を問わず行うこととし、資料の有無は問わない。
また、本指示内容については、下請けを含む作業員や資機材運搬業者、交通誘導員等の工事関係者全てに行き届くよう周知徹底すること。

○1-32 不正軽油使用の防止対策

（１）本工事は、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年５月 25 日法律第 51 号）を遵守すること。
（２）本工事で使用しまたは使用させる軽油使用の車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料には規格（ＪＩＳ）に合った軽油を使用すること。また、無人使用燃料の抜き取り調査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うこと。

○1-33 過積載対策

ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。
（１）積載重量制限を超過して工事用資材を積み込ますまた積み込ませないこと。
（２）過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
（３）資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
（４）さし枠装着車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込ますまた積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
（５）過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
（６）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、またはさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
（７）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
（８）下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者または業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
（９）（１）～（８）のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。

○1-34 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

（１）上三川町が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
（２）（１）により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
（３）発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

○1-35 工事の一時中止

（１）契約書第 21 条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
（２）工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(1)	図面番号
設計年月日	R05.01	Ａ－０１
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

・1-36 住宅瑕疵担保履行法への対応

受注者は、『特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律』（平成 19 年法律第 66 号）に基づき、保険への加入または保証金の供託を行うものとする。

○1-37 墜落制止用器具の着用

墜落制止用器具の着用については、「労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号」における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。

2章　仮設工事

○2-1 監督職員事務所等　(2.3.1)

・設ける　　◎設けない

監督職員事務所の規模　・10 ㎡程度　・20 ㎡程度　・35 ㎡程度　・65 ㎡程度　・100 ㎡程度

備品　種類・数量（　　）

○2-2 工事用水

構内既存の施設　　◎利用できない　　●利用できる（◎有償　・無償）

○2-3 工事用電力

構内既存の施設　　◎利用できない　　・利用できる（◎有償　・無償）

○2-4 足場その他　(2.2.4)

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て、解体または変更の作業時及び使用時には、常時同ガイドラインの別紙 1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の 2 の（2）手すり据置方式または（3）手すり先行専用足場方式により行う。

・本工事で定置したものを別契約の関係請負者が無償で使用できる。

3章　土工事

○3-1 埋戻し及び盛土　(3.2.3)

種別　　・A 種　◎B 種　・C 種　・D 種

・建設汚泥から再生した処理土[G]

○3-2 建設発生土の処理　(3.2.5)

1 章　一般共通事項 1-3 発生材の処理等による。

・3-3 山留めの撤去　(3.3.3)

鋼矢板等の抜き跡の処理　◎直ちに砂で充填する　・

山留め壁等の存置　・行う（存置範囲　◎図示　・　　）

4章　地業工事

・4-1 載荷試験　(4.2.3,4)

載荷試験の方法等

・平板載荷試験　（　　）箇所　最大荷重（　　）t

試験を行う深さ GL-（　　）m 及び土質（　　）

・杭の載荷試験　（　　）箇所　最大荷重（　　）t　試験種別（　　）

方法及び報告書の記載事項は敷地調査共通仕様書 4 章 7 節及び 15 節による。

試験位置は図示による。

・4-2 既製コンクリート杭地業　(4.2.2)(4.3.3～6,8)

種別　◎遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC 杭)

・

	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本杭					

杭頭の処理　◎切断しない

先端部形状　◎開放型　・閉そく型　・半開放型

杭の継手　◎アーク溶接継手

・無溶接継手（建築基準法に基づく指定機関で性能評定を受けたもの）

施工方法　・セメントミルク工法

・特定埋込杭工法

掘削深さ　・1.5m程度　・

杭の支持層への根入れ深さ　・1.0m以上　・

杭の精度　・水平方向の位置ずれ

・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下　・

・杭の傾斜

・1/100 以内　・評定条件または認定条件による　・

・4-3 場所打ちコンクリート杭地業　(4.3.4)(4.5.3～6)（表 4.5.1）

セメントの種類　◎普通ポルトランドセメント　・高炉セメント B 種[G]

コンクリートの種別　・A 種　・B 種

コンクリートの設計基準強度　（　　）N/mm²

構造体強度補正　・行わない　・行う（◎ 3N/mm²・）

	杭径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支持力 (kN/本)
試験杭				
本杭				

掘削工法　・アースドリル工法（◎安定液使用　・無水掘削）

・リバース工法

・オールケーシング工法　孔内の水張（◎行う　・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法　（◎安定液使用　・　　）

帯筋　・各部配筋参考図 2.2④丸型(ロ)による　・図示

鉄筋の最小かぶり厚さ　・100mm　・

孔壁測定　・行う（・超音波測定器　・　　）　・行わない

杭の精度　・水平方向の位置ずれ

・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下　・

・杭の傾斜

・1/100 以内　・評定条件または認定条件による

組み立てた鉄筋の節ごとの継手

◎重ね継手　重ね継手の長さ　・図示

・

スランプ　◎18cm　・

・4-4 鋼杭地業　(4.3.5)(4.4.2,5,6)（表 4.4.1）

	杭径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支持力 (kN/本)
試験杭				
本杭				

試験杭位置、本数及び寸法　・図示　・

先端部形状　・開放型　・

掘削工法　・中堀り拡大根固め工法　・

杭の精度　・水平方向の位置ずれ

・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下　・

・杭の傾斜

・1/100 以内　・評定条件または認定条件による　・

杭の現場継手

・アーク溶接継手

・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）

工法　◎審査（評定または大臣認定）を受けた工法　・

検査　◎審査（評定または大臣認定）により定められた項目　・

施工　◎審査（評定または大臣認定）された施工管理基準による　・

杭頭の処理（切断方法）　◎切断しない　・切断する

○4-5 砂利地業　(4.6.2)

◎再生クラッシャラン[G]　・切込砂利または切込砕石

○4-6 床下防湿層　(4.6.5)

ポリエチレンフィルム厚さ 0.15mm 以上重ね幅縦横共 250mm 以上

施工箇所　◎建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピットを除く）

○4-7 地盤改良

◎セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良の施工にあっては、「改訂版建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（平成 14 年発行）により、施工前及び施工後に指定された試験を実施し、試験結果を監督職員に報告すること。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

［試験用土壌の採取方法等］

◎採取場所は現場指示によるが、改良土柱部分にかからないよう注意して採取すること。

・採取土壌の種類（種類）

・採取最深深さ（m）

・採取箇所数（箇所）

◎採取方法　◎バックホウ　・ボーリング

［六価クロム溶出試験］

◎現場で採取した試料を用い、施工前及び施工後に環境庁告示第 46 号に基づき、試験を実施すること

試験方法	試験内容	実施時期	試験箇所数	試験の必要性
試験方法 1	配合設計段階で行う検査	材齢 7 日	土質ごとに実施	必ず実施すること。
試験方法 2	施工後の改良体を検査	材齢 28 日	20箇所	試験方法 1 で六価クロム溶出量が基準値を上回った場合のみ実施。但し、火山灰質粘性土を改良する場合は試験方法 1 の結果にかかわらず、試験方法 2 及び 3 を実施。
試験方法 3	タンクリーチング試験	材齢 28 日	試験方法 2 で溶出量が最大の試験体を使用	

セメント系固化材を用いた深層混合処理工法は、国土交通大臣が指定する審査機関（第三者機関）により、技術評価を受けた工法とする。工法採用にあたっては、監督職員の承諾の上、決定すること。なお、下記工法を参照のこと。

工法	審査証明番号（審査機関）
ＥＣＭ工法	BCJ-審査証明-66（財団法人日本建築センター）
ＮＣコラム	BCJ-審査証明-60（財団法人日本建築センター）
スーパーアイマーク工法	BCJ-審査証明-77（財団法人日本建築センター）
Ｄコラム工法	BCJ-審査証明-96（財団法人日本建築センター）
テノコラム工法	技審証第 2001 号（財団法人先端建設技術センター）

5章　鉄筋工事

○5-1 鉄筋の種類等　(5.2.1)（表 5.2.1）

規格	種類の記号	使用箇所	呼び名 (mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼（異形鉄筋）	●SD295A	躯体全体	◎D16 以下・
	●SD345	躯体全体	◎D19 以上・
	・		

・5-2 溶接金網　(5.2.2)

形状等

種類	種類の記号	網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)	使用部位
・溶接金網		◎100×100・	◎6.0　・	
・鉄筋格子				

○5-3 鉄筋の継手　(5.3.4)（表 5.3.3）

柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋

●重ね継手(L=　)　◎ガス圧接継手　・機械式継手　・溶接継手

○5-4 鉄筋及び溶接金網のかぶり厚さ　(5.3.5)（表 5.3.6）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地底から算定する

・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による

施工箇所	標仕表 5.3.6 の値に加える長さ
・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	◎10mm　・

柱及び梁の主筋に D29 以上の鉄筋の使用

・無　・有（適用箇所：　　）主筋のかぶり厚さ・最小かぶり厚さ（　　）mm

○5-5 各部配筋　(5.3.7)

◎各部配筋参考図による　・図示

・5-6 既成コンクリート杭の杭頭補強方法　(5.3.7)

・A 型　◎B 型　・図示

・5-7 最上部杭頭補強　(参 2.1)

・行う　・行わない

○5-8 帯筋　(参 2.2)

◎各部配筋参考図 2.2 によるH形(ロは除く)

・図示

・5-9 壁開口部の補強　(参 4.4)（参表 4.3～4）

一般壁　◎各部配筋参考図 4.4 によるB形

・A 型　・図示

耐震壁　◎図示

○5-10 梁貫通孔の補強　(参 7.1)（参表 7.1～3）

補強形式　◎各部配筋参考図 7.1 によるH形

・MH 型　・M 型　・（　　）

○5-11 圧接完了後の圧接部の試験　(5.4.10)

◎外観試験(全数)

◎抜取試験　◎超音波探傷試験

・引張試験（　　）

6章　コンクリート工事

○6-1 基準の適用

◎栃木県県有建築物長寿命化実施方針に定める計画保全対象建築物については、(社) 日本建築学会 JASS5 による。

○6-2 コンクリートの類別　(6.2.1)（表 6.2.1）

◎Ⅰ類　・Ⅱ類

○6-3 セメントの種類　(6.3.1,2)(6.13.2)(6.15.2)

◎普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのＡ種

・早強ポルトランドセメント・高炉セメントＢ種[G]・フライアッシュセメントＢ種[G]

普通ポルトランドセメントの品質は JIS R 5210 に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 日	352J/g 以下
	28 日	402J/g 以下

○6-4 骨材の種類　(6.3.1)　(6.5.4)

使用骨材のアルカリシリカ反応による区分

◎Ａ　・Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0 kg/m³ 以下）

○6-5 混和材料　(6.3.1)

◎混和剤 (JIS A 6204 による AE 剤、AE 減水剤または高性能 AE 減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分は I 類とする。

・混和材 (JIS A 6201 によるフライアッシュの I 種またはⅡ種、JIS A 6206 に適合する高炉スラグ微粉末または JIS A 6202 に適合する膨張剤

○6-6 レディーミクストコンクリート工場の選定　(6.4.1)

レディーミクストコンクリート工場の選定においては、標仕 6.4.1（コンクリート製造工場の選定）によること、かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場）から選定することを基本とする。ただし、上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督員との協議により選定することとする。

○6-7 普通コンクリート　(6.2.1～4)　(6.5.4)(6.9.1)（表 6.6.2）

◎普通コンクリート

設計基準強度 Fc (N/mm²)	気乾単位容積質量 (t/m³)	スランプ	適用箇所	施工時期
◎21	2.3 程度	●18	基礎、基礎梁、床版	
●24		・15 または 18		
・				

構造体強度補正値　◎標仕表 6.3.2 による・

塩化物量試験

◎行う（ただし、製造工場が行っている管理試験結果の提出により省略する事ができる）

・行わない

単位水量の測定

◎行う（「建築工事における『レディミクストコンクリート単位水量測定要領(案)』の運用について」による）

・行わない

（1）単位水量の測定は、150m³ に 1 回以上及び荷下ろし時に品質の異常が認められたときに実施する。

（2）単位水量の上限値は、標仕 6.3.2(2)(ⅲ)による。

（3）単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。

ア　測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³ の範囲にある場合は、そのまま施工する。

イ　測定した単位水量が、設計値±15kg/m³ を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに共に生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の 3 台ごとに 1 回、単位水量の計測を行う。

ウ　設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに、生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬業者の測定を行い、設計値±20kg/m³ 以内であることを確認 3 する。さらに、設計値±15kg/m³ 内で安定するまで、運搬車の 3 台ごとに 1 回単位水量の測定を行う。

エ　不合格生コンを持ち帰ったことを確認すること。

（4）単位水量管理についての記録を書面(計画調合所、製造管理記録、打ち込み時の外気温、コンクリートの温度等)と写真により提出する。

（5）単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法、静電容量測定法またはは（　　）法による。

・6-8 軽量コンクリート　(6.10.1)（表 6.10.1）

設計基準強度 Fc (N/mm²)	気乾単位容積質量 (t/m³)	種類	スランプ	適用箇所、及び土または水に直接接する部分	施工時期
・	・	種	・15　・18		
・		種			

○6-9 無筋コンクリート　(6.14.1～3)

種類	設計基準強度 Fc (N/mm²)	スランプ (cm)	組骨材の最大寸法	適用箇所
◎普通コンクリート	◎18	・15●18	◎25mm	捨てコンクリート

○6-10 打ち継ぎ目地の寸法、位置及び形状　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)

打継ぎの位置　梁及びスラブ　◎スパンの中央または端から 1/4 の付近　・

柱及び壁　◎スラブ、壁または基礎の上端　・

目地の寸法　◎標仕 9.7.3 による

ひび割れ誘発目地の位置　◎図示

ひびわれ誘発目地、打ち継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増厚さ部で処理する。

○6-11 コンクリート打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)

種別	コーンの穴埋め	施工箇所
・A 種	・面うちに仕上げる　◎面にあわせて仕上げる	
・B 種	・面うちに仕上げる　◎面にあわせて仕上げる	
・C 種		
・化粧型枠		

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	施工箇所
・a 種	・図示による（　　）
・b 種	・図示による（　　）
・c 種	・図示による（　　）

○6-12 打放し面の打増し　(6.8.1)

打増し厚さ（外部に面する部分）　◎20mm　・

打増し厚さ（内部に面する部分）　◎10mm　・20mm

打増し範囲　◎意匠図による　・

○6-13 コンクリート躯体表面の処理

外装タイル後張り面の躯体表面の処理

ＭＣＲ工法を行う場合は、せき板面にＭＣＲ工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧 50N/mm² 以上かつ、2.5 分/m² 以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。

また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

コンクリートの増打ち厚さ　◎20 ㎜

◎施工範囲は図示による。

・6-14 寒中コンクリート　(6.11.1)

・適用する　・適用しない

・6-15 高強度コンクリート　(公住仕 6.16.1～3)

設計基準強度 Fc (N/mm²)	水セメント比	単位セメント量	スランプまたはスランプフロー		混和材料
			スランプ	スランプフロー	
36 以上 45 未満	・		◎21cm 以下	◎50cm 以下	◎高性能 AE 減水剤
45 以上 60 以下	・		◎23cm 以下	◎60cm 以下	◎高性能 AE 減水剤

7章　鉄骨工事

○7-1 鉄骨の製作工場　(7.1.3)

製作工場の加工能力

・監督職員の承諾する製作工場

・建築基準法第 77 条の 45 第 1 項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センターまたは(株)全国鉄鋼団体構成（(旧)(社)全国鉄鋼工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(　M　) グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場

○7-2 施工管理技術者　(7.1.4)

◎適用する

○7-3 鋼材　(7.2.1)(7.2.10)（表 7.2.1）

鋼材の材質

種類の記号	使用箇所	規格等
構造図による		◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による

○7-4 高力ボルト　(7.2.2)

◎トルシア型高力ボルト　・JIS 型高力ボルト　・溶融亜鉛メッキ高力ボルト

摩擦面の処理（◎ブラスト処理　・りん酸処理）

○7-5 普通ボルト　(7.2.3)

ボルト及びナットの材料

◎標仕表 7.2.3（JIS 付属書品）による　・

○7-6 ターンバックル　(7.2.6)

ターンバックル胴　◎割枠式　・パイプ式

ターンバックルボルト　◎羽子板ボルト　・アイボルト　・両ねじボルト

ネジの呼び径（　　）

・7-7 エンドタブ　(7.6.7)

鋼製エンドタブ　切断する箇所（　　）

○7-8 スカラップ　(7.6.7)

◎改良型スカラップ　●ノンスカラップ

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(2)	図面番号
設計年月日	R05.01	A－02
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

○7-9 溶接部の試験 (7.6.12)

平 12 建告第 1464 号第二号に関する外観試験方法等
●「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
・抜き取り検査②
JASS6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表 3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査（１）から（５）までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて横仕 7.6.12 による補修を行い、再試験する。
完全溶込み溶接部の超音波探傷試
◎行う　・行わない
●工場溶接の場合
ＡＯＱＬ　◎4.0%　・2.5%
検査水準　◎第 6 水準　・
●工事現場溶接の場合
◎全数
その他の試験
・試験方法（　　）　・試験箇所（　　）

○7-10 鉄鋼面の素地ごしらえ (7.8.4)

種別　・Ａ種　・Ｂ種　◎Ｃ種

○7-11 鉄鋼面の錆止め塗料塗り (7.8.2,4)

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲　・図示　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲　・図示　・
塗装種別　◎Ａ種　・Ｂ種
工程種別　・Ａ種　・Ｂ種

○7-12 耐火被覆 (7.9.2～8)

種別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
●耐火材吹付け	●乾式吹付けロックウール	1 時間耐火 t=25、柱・梁
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻き付け		

○7-13 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)

●構造用アンカーボルト
材質　・SNR400B　・SNR490B
埋込み工法　・図示
・建方用アンカーボルト
材質　・SS400
埋込み工法　・Ａ種　◎Ｂ種

○7-14 柱底均しモルタル (7.2.9)

モルタル　◎無収縮モルタル　・（　　）
無収縮モルタルの製造所　評価名簿による
工法　◎Ａ種［モルタル厚さ 50］　・Ｂ種［モルタル厚さ 30］

○7-15 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.4)

亜鉛めっきの種別	材料	適用部位
Ａ種 (HDZ55)	最小板厚 6mm 以上の形鋼、鋼板類	こども広場、にぎわい軸屋根
Ｂ種 (HDZ45)	最小板厚 3.2～6mm の形鋼、鋼板類	
Ｃ種 (HDZ35)	最小板厚 1.6～3.2mm の形鋼、鋼板類 普通ボルト、アンカーボルト	

素地ごしらえは、JIS H 9124 溶融亜鉛めっき作業指針による

○7-16 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)

摩擦面の処理
◎ブラスト処理　・ブラスト以外の特別な処理（　　）
耐力確認方法（　　）

８章　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

・8-1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2～5)

ブロックの種類等 (8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モデュール 呼び寸法 (mm) 長さ	モデュール 呼び寸法 (mm) 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
・空洞ブロック C(16)				・無・有		
・				・無・有		

モルタルの調合（容積比）
・セメント（　　）：砂（　　）
各部の配筋　◎図示　・

・8-2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2～4)

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モデュール 呼び寸法 (mm) 長さ	モデュール 呼び寸法 (mm) 高さ	化粧の有無	(標仕表 8.3.1) 以外の適用箇所	備考
・空洞ブロック C(16)				・無・有		
・型枠状ブロック 20				・無・有		
・				・無・有		

塀の厚さ　・（　　）
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　◎図示　・
各部の配筋　◎図示・

・8-3ＡＬＣパネル (8.4.2～5)

種類	単位荷重 (N/㎡)	厚さ (mm)	構法の種別
・外壁パネル	・1180・1960	◎100・	・Ａ種・Ｂ種
・間仕切り壁パネル		◎100・	・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
・屋根パネル	・980	◎100	・Ｆ種
・床パネル	・2350・3530	・100・150	

パネルの相互の接合部に充填する耐火目地材（　　）
外壁、屋根パネルの工法
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
・耐火性能（・１時間　・２時間）
・外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取合い部の目地幅 (mm)
◎10～20　・
・伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
・パネル幅の最小限度を 300mm 未満とする場合（　　）

○8-4 押出成形セメント板（ＥＣＰ） (8.5.2～5)

◎厚物（厚さ 50mm 以上）

パネルの種類	形状	厚さ (mm)	工法種別	耐火性能
●外壁パネル	●Ｆ(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	・50　●60　・	●Ａ種 ●Ｂ種	◎有（　　） ・無
	●Ｄ(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	・50　●60		
	・Ｔ(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	・60		
・間仕切壁パネル	・Ｆ(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)	・50　・60　・	・Ｂ種 ・Ｃ種	◎有（　　） ・無
	・Ｄ(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)	・50　・60		
	・Ｔ(ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ)	・60		

◎薄物（厚さ 50mm 未満）

施工箇所	形状	厚さ (mm)	耐火性能
	◎Ｆ(ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ)		◎無
	・Ｄ(ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ)（図示）		・有

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	図示　・	・図示　・
	長辺	図示　・	・図示　・
パネルを切り欠く場合	短辺	図示　・	・図示　・
	長辺	図示　・	・図示　・

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（●1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　◎パネル製造所の仕様　・

９章　防水工事

・9-1 アスファルト防水 (9.2.2～5)(表 9.2.3～9)

屋根保護防水

種別	施工箇所	断熱材［G］	絶縁用シート	立上がり部の保護
・Ａ－１			◎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙﾝﾌｨﾙﾑ	・乾式保護材
・Ａ－２				
・Ａ－３			厚さ 0.15mm 以上・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ｂ－３				
・ＡＩ－１		［材質］ ◎標仕 9.2.2(8) (ｽｷﾝ層付き) ［厚さ］ ◎25mm・	◎ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度・	
・ＡＩ－２				
・ＡＩ－３				
・ＢＩ－１				
・ＢＩ－２				
・ＢＩ－３				

屋根露出防水

種別	施工箇所	断熱材［G］	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・Ｄ－１			・製造所の指定による・	・製造所の指定による・	・
・Ｄ－２					・
・Ｄ－３					・
・Ｄ－４					・
・ＤＩ－１		［材質］ ◎標仕 9.2.2(9) (ｽｷﾝ層付き) ［厚さ］ ◎25mm・			・
・ＤＩ－２					・

屋内防水

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

保護層　◎設ける　・設けない
屋上排水溝　◎設ける　・設けない

・9-2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2,3)(表 9.3.1～3)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材［G］	防湿層	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・ＡＳ－Ｔ1				・製造所の指定による	・製造所の指定による	・
・ＡＳ－Ｔ2						・
・ＡＳ－Ｔ3						・
・ＡＳ－Ｔ4						・
・ＡＳ－Ｊ1						・
・ＡＳＩ－Ｔ1		［材質］・［厚さ］・25mm	・設ける（改質アスファルト製造所の使用による）			・
・ＡＳＩ－Ｊ1						・

固定用金具の材質及び寸法形状
◎厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面または両面に樹脂を積層加工した鋼板
・

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・屋根保護防水密着工法(トーチ工法)		◎公仕仕 9.2.2(h)	◎公仕仕 9.3.2(4)
・屋根保護防水密着断熱工法(トーチ工法)		◎公仕仕 9.2.2(h)	◎公仕仕 9.3.2(4)

○9-3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2～4)(表 9.4.1～3)

種別	絶縁用シート	断熱材［G］	厚さ（mm）	仕上塗料	使用分類	施工箇所
・Ｓ－Ｆ1	◎発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・	［材質］ ◎標仕 9.4.2(3)(ｴ)(b)による ・ ［厚さ］ ・25mm　・	◎1.2　・	・ｶﾗｰ　・ｼﾙﾊﾞｰ	◎非歩行 ●軽歩行	
・Ｓ－Ｆ2			◎2.0　・			
・Ｓ－Ｍ1			◎1.5　・	・ｶﾗｰ　・ｼﾙﾊﾞｰ		
●Ｓ－Ｍ2			◎1.5 ●2.0			
・Ｓ－Ｍ3			◎1.2　・			
・ＳＩ－Ｆ1	◎発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・		◎1.2　・	・ｶﾗｰ　・ｼﾙﾊﾞｰ		
・ＳＩ－Ｆ2			◎2.0　・			
・ＳＩ－Ｍ1		［材質］ ◎標仕 9.4.2(3)(ｴ)(a)による ・ ［厚さ］ ・25mm　・	◎1.5　・	・ｶﾗｰ　・ｼﾙﾊﾞｰ		
・ＳＩ－Ｍ2	◎発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・		◎1.5　・			

屋内防水防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗り 塗り厚さ	保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗り ・床塗り工法	保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗り ・下地ﾓﾙﾀﾙ塗り	保護層 立上り部の保護 ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ
・Ｓ－Ｃ１			◎標仕 15.3.5(2)(ｲ)及び(ｳ)に準ずる	◎標仕 15.3.5(4)(ｱ)に準ずる	◎7mm 以下

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・9-4 塗膜防水 (9.5.3)(表 9.5.1,2)

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水
・Ｘ－１		・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ		・
・Ｘ－２		・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ		・
・Ｙ－１				・
・Ｙ－２			・適用する・適用しない	・

・9-5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1、3)(表 9.6.1、2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
◎Ｃ－ＵＩ		・Ｃ－ＵＰ	

・9-6 脱気装置 (9.6.1,3)(表 9.6.1,2)

種別	種類	設置数量
D-1,D-2,D-3,D-4,DI-1,	◎ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕	◎ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕
DI-2,AS-T3,AS-T4,AS-J1,ASI-T1,ASI-J1	様による	様による
X-1	・防水層の主材料の製造所の仕様による	・防水層の主材料の製造所の仕様による

○9-7 シーリング (9.7.2,3)(表 9.7.1)

下表以外は、標仕表 9.7.1 による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り	MS-2
ガラス	SR-1

接着試験
◎簡易接着性試験　・引張接着性試験

○9-8 保証書

責任施工の保証書を完了後速やかに提出する。（受注者、専門施工業者及び材料製造者の連名による）
保証年限は下記による。

種別	保証年限	種別	保証年限
・アスファルト防水	10 年	・塗膜防水	年
・改質アスファルト防水	10 年	・リン酸質系塗布防水	年
●合成高分子系ルーフィングシート防水	10 年		

１０章　石工事

・10-1 花こう岩及び大理石張り (10.2.1,3)(表 10.2.1～3)

石の品質床用石材　◎２等品　・
壁及びその他の石材　◎１等品　・
石の種類・表面仕上げ

施工箇所	品質	種類・産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

・10-2 大谷石及び芦野石

石の種類・表面仕上げ

施工箇所	品質	種類・産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

・10-3 テラゾ張り (10.2.1)(表 10.2.2)

種石の種類　◎大理石　・
表面仕上げ　◎本磨き　・
形状・寸法　◎図示

・10-4 壁の石張り工法 (10.2.2,3)(10.3.2,3)(10.4.2,3)

外壁石張り
工法　・外壁湿式工法（◎流し防工法　・　）
・乾式工法（・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
石裏面処理　◎行わない　・行う（小口共）
裏打ち処理　◎行わない　・行う
ドレンパイプ　◎ステンレス (SUS304)　・
目地　・一般目地目地幅　◎6mm 以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
・伸縮調整目地位置　◎標仕表 11.1.1 による　・図示
目地寸法　◎標仕 9.7.3(1)(ｳ)による　・図示
内壁石張り
工法　・内壁空積工法
（◎あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法（・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
石裏面処理　・行わない　・行う（小口共）
裏打ち処理　・行わない　・行う
目地　・一般目地目地幅　◎6mm 以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
・伸縮調整目地位置　◎標仕表 11.1.1 による　・図示
目地寸法　◎標仕 9.7.3(1)(ｳ)による　・図示

・10-5 床及び階段の石張り (10.6.2,3)

石の厚さ　(mm)
床石張りの石裏面処理　◎行わない　・行う
階段張りの石裏面処理　◎行わない　・行う
屋内のワックス掛け　◎行う　・行わない
目地　一般目地　目地幅　・図示　・屋外 4mm 以上　・屋内 3～6mm
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　◎標仕 10.6.2(5)(ｲ)による　・図示
目地寸法　◎標仕 9.7.3(1)(ｳ)による　・図示

・10-6 特殊部位

◎標仕第 10 章第 7 節による

１１章　タイル工事

・11-1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)(表 11.1.1)

◎位置（◎図示　・　）　・寸法（　　）

・11-2 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	吸水率による区分 Ⅱ類	吸水率による区分 Ⅲ類	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	再生材の適用 [G]	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　◎行わない　・行う（◎外壁タイル　・　）
タイルの試験張り　◎行わない　・行う（◎外壁タイル　・　）
躯体表面の処理　・行う（◎ＭＣＲ工法　・目荒し工法）
壁タイル張りの工法

内装タイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り

・11-3 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2～4、7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	吸水率による区分 Ⅱ類	吸水率による区分 Ⅲ類	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	再生材の適用 [G]	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　◎行わない　・行う（◎外壁タイル　・　）
タイルの試験張り　◎行わない　・行う（◎外壁タイル　・　）
躯体表面の処理　・行う（◎ＭＣＲ工法　・目荒し工法）
接着剤のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　◎ポリウレタン系シーリング材　・
誘発目地　◎ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　◎変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　◎変成シリコーン系シーリング材　・

・11-4 陶版壁画デザイン張り

・益子焼　・小砂焼　・

・11-5 大谷石焼成タイル張り

・壁面タイル張り　・

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(3)	図面番号
設計年月日	R05.01	Ａ－０３
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

１２章　木工事

○12-1 木材の品質[G]　(12.2.1)

◎標仕 12.1.2 による　・市販品
・保存処理木材を適用する箇所（　　）
・受注者は、木工事において、栃木県内の森林から産出し、かつ産地証明（※）された木材の使用に努めるものとする。（※）「栃木県産出材証明制度」による。

・12-2 表面仕上げ　(12.1.4)(表 12.1.1)

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・H-A 種	
	・H-B 種	
	・H-C 種	

・12-3 造作用集成材[G]　(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
			◎１等　・２等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
					◎１等・２等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	間伐材等の適用

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				◎Ａ種 ・Ｂ種	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						◎Ａ種 ・Ｂ種	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						◎Ａ種 ・Ｂ種	

・12-4 造作用単板積層材[G]　(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	間伐材等の適用
		・適用する ・適用しない	・有（加工） ・無（等級）	

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	含水率	間伐材等の適用
		・適用する ・適用しない	・有（加工） ・無（等級）	◎14%以下	・

・ＣＬＴ（直交集成板）[G]

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・

・12-5 合板等　(12.6.1)

ホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種

・「合板の日本農林規格」による普通合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	◎5.5 ・		◎１類 ・２類	広葉樹 ◎２等以上 ・１等以上 針葉樹 ◎C-D 以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	◎12 ・	◎２級以上 ・１級		◎１類 ・特類	◎C-D 以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・１類　・特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・１類・２類	・適用する （　　）	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・１類・２類			・適用する（　　）	・

・パーティクルボード[G]

施工箇所	表裏面の状態に	曲げ強さによる	耐水性による	難燃性による	厚さ
	よる区分	区分	区分	区分	(mm)
		◎13 タイプ ・	◎P または M ・		◎15 ・

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・１級・２級・３級・４級

・ＭＤＦ[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

○12-6 接着剤　(12.2.2,3)

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種

・12-7 防腐・防蟻処理　(12.3.1,2)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　　）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類

・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（　　）

１３章　屋根及びとい工事

○13-1 長尺金属板葺き　(13.2.2,3)（表 13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	板厚(mm)
●庇	◎JIS G 3322(塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) ・		●0.4

屋根葺工法　◎図示
●建築基準法に基づき定まる風圧力の（●１・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
下葺材料・アスファルトルーフィング 940
●改質アスファルトルーフィング下葺材（・一般　・複層材　・粘着層付）

・13-2 折板葺　(13.2.2)(13.3.2,3)(表 13.2.1)

形式	◎重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（　　）山ピッチ（　　）板厚　◎0.6　・0.8
材料（規格等）	◎標仕表 13.2.1による（　　）　・
耐力	
軒先面戸板	・有　・無
断熱材	・有(種別　　：厚さ　　mm)　・無
耐火性能	・有(30分耐火)　・無
塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	

タイトフレームに JIS G 3302 以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理
（標仕表 14.2.2による　・Ｅ種　・Ｆ種）
屋根葺工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・13-3 粘土瓦葺　(13.4.2,3)

種類　・釉薬瓦　・
形状　◎Ｊ型　・
寸法　◎53A　・
役物瓦　・有（　　）　・無
JIS A 5208 に基づく凍害試験等
◎行わない　・行う
瓦桟木　材質　◎すぎまたはひのき　・
寸法　◎幅 21×高さ 15(mm)　・
金物等材質、形状、寸法及び留付け方法　◎図示
棟補強用心材　材質　◎すぎまたはひのき
寸法　◎幅 40×高さ 30(mm)
桟木の留付け工法　◎図示
屋根葺工法
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

○13-4 とい　(13.5.2,3)(表 13.5.5)

●軒どい
材種　・着色亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板
・硬質塩化ビニル(・前高角型　・折板用角型)
●縦どい
材種　・配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管
・着色亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板　●アルミ鋼板
鋼管製といの防露　◎標仕表 13.5.4による
防露材のホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種
掃除口　◎有（図示）　・無

○13-5 雪止め

・有　◎無

１４章　金属工事

○14-1 ステンレスの表面仕上げ　(14.2.1)

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
◎ＨＬ程度	◎下記以外の見え掛かりは全て（ステンレスタラップは除く）
・鏡面仕上げ程度	
・No.2B 程度	

○14-2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理(14.2.2)(表 14.2.1)

◎表面処理は標仕表 14.2.1による

種別	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB－1 種	
・AB－2 種	
・AC－1 種	
・AC－2 種	
・BA－1 種	
・BA－2 種	
・BB－1 種	
・BB－2 種	
・BC－1 種	
・BC－2 種	
・C 種	

陽極酸化皮膜の着色方法　◎二次電解着色　・三次電解着色
色合い等　・標準色
・アンバー　・ブロンズ
・ブラック系　・ステンカラー　・
・特注色（　　）

○14-3 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所
●溶融亜鉛めっき	●Ａ種	こども広場、にぎわい軸屋根
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
・電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

○14-4 軽量鉄骨天井下地　(14.4.2~4)(表 14.4.1)

野縁等の種類　屋外形（◎25 形　・19 形）　屋内形（◎19 形　・25 形）
●屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（●1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁、野縁受、吊りボルト及びインサート及び周辺部の間隔　・図示　・

補強方法

吊りボルトの間隔（900mm超）	◎図示　・
天井のふところ(1.5m以上3.0m以下)	◎標仕14.4.4(8)(ｱ)、(ｲ)による　・図示
天井のふところ(3.0m超)	◎図示　・

特定天井
特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成 25 年国土交通省告示第 771 号）に基づく工法　◎適用する　・適用しない

○14-5 軽量鉄骨壁下地　(14.5.3)(表 14.5.1)

スタッドの高さによる区分に応じた種類

高さ 2.7m 以下	高さ 4.0m 以下	高さ 4.0m 超，4.5m 以下	高さ 4.5m 超，5.0m 以下	5.0m 超
◎50 形　・	◎65 形　・	◎90 形　・	◎100 形・	・図示

・14-6 金属成形板張り　(14.6.2,3)(表 14.2.1)

形状	製法	材質	寸法(mm)	板幅(mm)	表面処理
・スパンドレル型	・押出し ・ロール	◎アルミニウム			・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・Ｄ種
・パネル型	◎プレス				

伸縮調整継手　◎設けない　・設ける　（施工箇所は図示による）

○14-7 アルミニウム製笠木　(14.7.2,3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)

施工箇所	笠木本体（幅）mm	役物	避雷導体用ジョイントコネクター及びアース接続アングル	付属部品
パラペット上部	300	●有　・無	・有　●無	固定金具及びｼﾞｮｲﾝﾄ金具
		・有　・無	・有　・無	固定金具及びｼﾞｮｲﾝﾄ金具
		・有　・無	・有　・無	固定金具及びｼﾞｮｲﾝﾄ金具

表面処理　（　　）種
固定金具
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

○14-8 手すり及びタラップ　(14.8.2,3)

・手すり　・アルミニウム製（表面処理　　）
・ステンレス SUS304(表面処理　　)
・鋼製（表面処理　　）
●タラップ　◎ステンレス SUS304

１５章　左官工事

○15-1 モルタル塗り　(15.3.2,5)

防水モルタルの防水剤　製造所　◎評価名簿による
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）形状（　　）
・設けない
モルタル　・現場調合材料　・既調合材料（　　）
床の目地　・設ける
（目地割り　◎２㎡程度（最大目地間隔３ｍ程度）　・　　）
（種類　　◎押し目地　・　　）
・設けない

○15-2 セルフレベリング材塗り　(15.5.2)(表 15.5.1)

・せっこう系　●セメント系

○15-3 仕上塗材仕上げ　(15.6.2)

種類	呼び名	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材 Si	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材 E	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材 E	・平たん状
	・防水形外装薄塗材 E	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材 S	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・内装薄塗材 C	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材 L	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材 Si	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装薄塗材 E	
	・内装薄塗材 W	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材 Si	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材 E	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材 C	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・内装厚塗材 C	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材 L	上塗材　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材 G	
	・内装厚塗材 Si	
	・内装厚塗材 E	
・複層仕上塗材	・複層塗材 CE	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材 CE	
	・複層塗材 Si	耐候性　◎耐侯形３種　・
	・複層塗材 E	上塗材
	・複層塗材 RE	溶媒　◎水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・防水形複層塗材 CE	樹脂　◎アクリル系・
	・防水形複層塗材 E	外観　◎つやあり　・つやなし　・メタリック
	・防水形複層塗材 RE	
	・防水形複層塗材 RS	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	・平たん状

建築内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種
防火材料の指定　◎屋内の壁及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき認定を受けた防火材料とする。

・15-4 マスチック塗材塗り　(15.7.2)

種別　・Ａ種　・Ｂ種

・15-5 ロックウール吹付け　(15.12.2,3)

材料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種

種別	色彩	厚さ(mm)	施工箇所
・一般用	・着色　・原色	・10　・15　・20　・25	

・15-6 ラス系下地　(15.2.4)

施工箇所　・図示　・
ラス系下地のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・

・15-7 こまい下地　(15.2.6)

施工箇所　・図示　・
こまい下地のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・

・15-8 木ずり下地　(15.2.7)

施工箇所　・図示　・

・15-9 ドロマイトプラスター塗り　(15.9.1)

施工箇所　・図示　・

・15-10 しっくい塗り　(15.10.1)

施工箇所　・図示　・

１６章　建具工事

○16-1 見本の製作等　(16.1.4)

建具見本の製作　・行う　◎行わない
特殊な建具の仮組　・行う　◎行わない

・16-2 防犯建物部品　(16.1.6)

・適用する（・図示　・　　）

○16-3 アルミニウム製建具　(16.2.2,4,5)(表 14.2.1)

外部に面する建具　※複層ガラスの引違いの場合は 100 とする。

種別	枠見込(mm)	施工箇所
・Ａ種	◎70	◎図示　・
●Ｂ種	・	◎図示　・
・Ｃ種	100	◎図示　・

・防音ドアセット　・防音サッシ　遮音性の等級（　　）
・断熱ドアセット　●断熱サッシ[G]　断熱性の等級（　　）
・耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）
表面処理　種別◎BB-1　・BB-2（◎ﾌﾟﾗｳﾝ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
屋内建具
表面処理　種別・BC-1　・BC-2（◎ﾌﾟﾗｳﾝ・ﾌﾞﾗｯｸ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
結露水の処理方法　◎図示　・
水切り板、ぜん板　◎図示　・
公共住宅のアルミサッシの品質及び性能
・品質　・性能基準による　・

○16-4 網戸の網　(16.2.3)

種類	材質	線径	網目
●防虫網	◎合成樹脂製 ●ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	◎0.25mm 以上 ・	◎16~18 メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm

・16-5 樹脂製建具　(16.2.5)（16.3.2~5)

外部に面する建具

種別	枠見込(mm)	施工箇所
・Ａ種	・70	◎図示　・
・Ｂ種	・	◎図示　・
・Ｃ種	100	◎図示　・

・防音ドアセット　・防音サッシ　遮音性の等級（　　）
・断熱ドアセット　・断熱サッシ[G]　断熱性の等級（　　）
・耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）
表面色　◎標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　◎図示　・
ガラス　◎複層ガラス　・

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(4)	図面番号
設計年月日	R05.01	Ａ－０４
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

○16-6 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2～4)(表 16.4.2)

簡易気密型ドアセット　●適用する　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　●S-4　・S-5　・S-6
●防音ドアセット・防音サッシ　遮音性の等級（ T-3 ）
・断熱ドアセット・断熱サッシG　断熱性の等級（　　）
・耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）

鋼板類

材料	厚さ
●JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)	・標仕表16.4.2による
・JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	・

公共住宅の玄関ドアの品質及び性能
・品質・性能基準による　・
公共住宅のバイプシャフトドアの品質及び性能
・品質・性能基準による　・

○16-7 鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2～4)

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　・適用する（◎A-3　・）・適用しない
・防音ドアセット・防音サッシ　遮音性の等級（　　）
・断熱ドアセット・断熱サッシ［G］　断熱性の等級（　　）
・耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）
材料　鋼板　◎亜鉛めっき鋼板　●ビニル被膜鋼板　●カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板類の厚さ（mm）　◎標仕 16.5.4による
召合せ、縦小包み板の材質　◎鋼板　・
品質規格　◎製造所標準仕様による
製造所　評価名簿による
公共住宅のクロゼットドアの品質及び性能
・品質・性能基準による　・

○16-8 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　・適用する　・適用しない
・防音ドアセット　・防音サッシ　遮音性の等級（　　）
・断熱ドアセット　・断熱サッシ［G］　断熱性の等級（　　）
・耐震ドアセット　面内変形追随性の等級（　　）
ステンレス建具の鋼材の種類

施工箇所	鋼材の種類
屋外	◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1　・
屋内	◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1　・

表面の仕上げ　◎ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ
鋼板の曲げ加工　◎普通仕上げ　●角出し仕上げ

○16-9 木製建具 (16.7.2～4)

・フラッシュ戸

合板の種類	規格等	備考
・普通合板G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（◎ラワン合板程度　・　　） 不透明塗料塗り（◎しな合板程度　・　　） 板面の品質（　　）	
・天然木化粧合板G	樹種名（　　）	
・特殊加工化粧合板G	化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装）	
	表面性能（　　）タイプ	

防虫処理（・行う　・行わない）　接着の程度（・１類・２類）
表面板の厚さ　◎標仕表 16.7.6による　・
建具材の含水率　◎Ｂ種　・
・かまち戸　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子　・新鳥の子またはビニル紙程度
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
◎規制対象外　・
公共住宅の内装ドアの品質及び性能
・品質　・性能基準による
公共住宅の量産ふすまの品質及び性能
・品質　・性能基準による

○16-10 建具用金物 (16.8.2,3)(表 16.8.1～3)

建具金物の種類

種別	品質・規格
●本締まり付きモノロック	評価名簿による
・シリンダ箱錠	
●シリンダ本締まり錠	
●ドアクローザ	
・ヒンジクローザ	
・フロアヒンジ	
●ハンドル	◎レバーハンドル　・

吊金物
●丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
・ピボットヒンジ
◎ステンレス製(軸は鋼製　外部用は軸も含めてステンレス製)
公共住宅の各住戸建具用金物（公住仕 16.8.2～4）
各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前の品質及び性能
・品質・性能基準による　・
各住戸玄関扉用及び内装扉用ドアクローザの品質及び性能
・品質・性能基準による　・
ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝﾅｰの使用　・可　・不可
玄関扉用ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ　◎Ａ型　・Ｂ型　・Ｃ型　・Ｄ型　色彩　◎ｼﾙﾊﾞｰ
内装扉用ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ・使用する（◎Ｅ型　色彩　◎ｼﾙﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ）　◎使用しない
内装扉用戸当　材質　◎ステンレス
金属製建具用丁番　材質　◎ステンレス　・
形状、寸法（　　）
木製建具用丁番　材質　◎ステンレス　・
形状、寸法　◎102×2.0

○16-11 鍵 (16.8.4)

マスターキー　◎製作する　・製作しない
その他の鍵　◎各室３本１組　・

○16-12 自動ドア開閉装置 (16.9.2～4)(表 16.9.1～5)

引き戸用駆動装置

自動ドア	性能	引き戸用検出装置の種類	凍結防止	防錆
・SSLD-1 ・SSLD-2 ●DSLD-1 ・DSLD-2	◎耐電圧、温度上昇、耐久性（サイクル）は標仕表 16.9.1による ・	・マットスイッチ ●光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う（適用箇所は、建具表による） ●行わない	・適用する ● 適用しない

多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
開閉方法　◎片開き　・
耐電圧、温度上昇、耐久性（サイクル）、防錆、電源
◎標仕表 16.9.2による
・耐電圧（　　）・温度上昇（　　）
・耐久性（サイクル）（　　）・防錆・電源（　　）
（　　）
引き戸用検出装置
放射無線周波数電磁界耐性、耐電圧、防錆、防滴、電源
◎標仕表 16.9.3による
・放射無線周波数電磁界耐性（　　）・耐電圧（　　）
・防錆（　　）・防滴（　　）・電源（　　）
戸の開閉方式　・図示
引き戸検出装置の種類（引き戸検出装置標仕表 16.9.4）　・図示
凍結防止装置　・適用する（図示）　・適用しない

○16-13 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表 16.10.1)

品質規格　◎標仕表 16.10.1　・製造所標準仕様による
製造所　◎評価名簿による

・16-14 重量シャッター (16.11.2,3)(表 16.11.1)

シャッターの種類	耐風圧強度
・管理用シャッター	耐風圧強度（　　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　　）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉方式による種類　◎上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　◎障害物感知装置（自動開鎖型）
管理用シャッターのシャッターケース　◎設ける　・設けない
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量　◎Z12またはF12　・

・16-15 軽量シャッター (16.12.2～4)

開閉方式による種類　◎手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度　・（　　）N/㎡
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）めっき付着量（◎Z06またはF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量（◎AZ90　・　　）
スラットの形状　◎インターロッキング形　・オーバーラッピング形

・16-16 オーバーヘッドドア (16.13.2,3)(表 16.12.1)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
◎スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125（125Pa） ・100（100Pa） ・75（750Pa） ・50（500Pa）	◎バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	◎溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

○16-17 ガラス (16.14.2～4)(9.7.3)

●フロート板ガラス　・
●型板ガラス　・
・網入板ガラス　●網入磨き板ガラス　●網入型板ガラス
・合わせガラス

品種	特性	材料板ガラス
◎フロート合わせガラス	・Ⅰ類	・フロート板合わせガラス
・網入磨き合わせガラス	・Ⅱ-1類	・熱線吸収、フロート板合わせガラス
	・Ⅱ-2類	・網入磨き、フロート板合わせガラス
	・Ⅲ類	・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス

●強化ガラス

材料板ガラスによる種類	性能	種類（厚さ）
◎フロート強化ガラス	・Ⅰ類 ●Ⅱ類	●フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス
●型板強化ガラス		◎型板強化ガラス

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスによる種類	性能	種類（厚さ）
◎熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー　・グレー
・熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種	・ブロンズ　・グリーン

●複層ガラス

品種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類
●断熱複層ガラス	●Ｔ１・Ｔ２・Ｔ３	●Ｇ	●空気
・日射遮へい複層ガラス	・Ｔ４・Ｔ５・Ｔ６	・Ｓ	・アルゴン

・熱線反射板ガラス

品種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類
◎熱線反射ガラス 色調（・ﾌﾞﾙｰ　・ｸﾞﾚｰ）	・１種	◎Ａ種	
	・２種	・Ａ種　・Ｂ種	
・高性能熱線反射ガラス 色調（・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ｼﾙﾊﾞｰ）	・３種	◎Ｂ種	

反射皮膜面　◎内面　・外面
映像調整　◎行う　・行わない
・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類	色調
◎フロート倍強度ガラス	－
・熱線吸収倍強度ガラス	・ﾌﾞﾙｰ　・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ

●ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類	材質	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	◎シーリング材 ・ガスケット(Fix部はシーリング材)	◎標仕16.14.3（製造所の仕

鋼製・鋼製軽量	◎シーリング材	様）による
ステンレス製	◎シーリング材	・図示

ただし、防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
・ガラスブロック　品質　JIS A 5212によるものまたは評価名簿によるもの

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	防火性能
・正方形			◎クリア	◎無
・長方形			・	・有

目地幅　・平積み　◎8～15mm　・
・曲面積み　外側（◎15mm以下　・　　）内側（◎6mm以上　・　　）
伸縮調整目地　◎6m以下ごとに10～25mm　・図示
壁用金属枠及び補強材　・設ける（◎図示）　・設けない
力骨材質　◎ステンレス鋼(SUS304)
寸法　◎径5.5mm
形状　◎はしご形状横筋及び単筋
工法
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
◎ガラス用飛散フィルム	第２種	◎内張り　・外張り	飛散防止率 D1

品質　JIS A 5759による。

１７章　カーテンウォール工事

・17-1 メタルカーテンウォール (9.7.2)(17.1.3)(17.2.2,3,5)(表 14.2.1)

設計図書による規定の他、特記なき事項は（社）日本建築学会 JASS14による。
カーテンウォール材料の種類

種類	規格等
◎アルミニウム製	◎標仕 16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

シーリング材及びガラス取付材料

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石・タイル			
ガラス	ガラス			

◎上記以外のシーリング材の種類は標仕表 9.7.1による
構造用ガスケット　◎適用しない　・適用する（施工箇所：　　）
断熱材　◎適用しない　・適用する（種類：　　厚さ(mm)：　　施工箇所：　　）
製品の寸法許容差　◎標仕表17.2.1による　・製作所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理

種別	色彩等
・A-1 種・B-1 種	無着色
・A-2 種・B-2 種	◎ﾌﾗｯｼﾝｸﾞ系　・ﾌﾟﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・D 種	塗装材料（　　）　焼付け方法（　　）　コート（　　）　ベーク

耐風圧性能値◎建築基準法施行令第 87 条及び建設省告示第 1454 号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧（　　）N/㎡以上、負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離(h)	たわみ量	状態
◎４ｍ以下	◎±(1/150)×h かつ絶対量 20 ㎜	◎各部の破損、残留変形、有害な

	以下	変形が起こらないこと
・４ｍを超える		

耐震性能　設計用震度　水平方向（Kh）◎1.0　・
垂直方向（Kv）◎0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	◎±(1/100)×h 以上 ・	◎部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない。シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	◎±(1/200)×h以上	

水密性　・W-4　・W-5
気密性　・A-3　・A-4
耐火性能　◎適用しない　・適用する（　時間、施工箇所：図示）
耐温度差性(℃)　・60　・70　・80
遮音性　・T3　・T4　・T5
断熱性　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
映像調整　・行わない　◎行う（建具表による）
製造所　◎監督職員の承諾する製作所

・17-2ＰＣカーテンウォール (14.2.3)(表 14.2.2)(17.3.2～5)(表 17.3.1、2)

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会 JASS14による。
コンクリートの種類及び品質　◎標仕 17.3.2による
・下表による。下表以外は標仕 17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度(FcN/mm²)	所要スランプ(cm)

鉄筋　種類記号　◎SD295A（　　）
補強鉄線　径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質

金物種類及び部位	内部	外部
ＰＣ版打込み金物	◎Ｅ種　・	◎Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付ボルト	◎Ｅ種　・	◎ステンレスボルト
２次ファスナー	◎Ｅ種　・	◎Ａ種　・
取付ボルト	◎Ｅ種　・	◎Ａ種　・
レベル調整ボルト	◎Ｅ種　・	◎Ａ種　・

◎上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による
シーリング材料

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

◎上記以外のシーリング材の種類は標仕表 9.7.1による
耐火目地材　・適用する（図示）
断熱材　◎適用しない　・適用する（種類：　厚さ(mm)：施工箇所：　）
製品の寸法許容差　◎標仕表 17.3.1による　・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ（　　）
耐火材料

施工部位	種別	規格等
ファスナー部		
取付ブラケット		

パネル目地部		
層間ふさぎ		

耐風圧性能値◎建築基準法施行令第 87 条及び建設省告示第 1454 号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧（　　）N/㎡以上負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること。
耐震性能設計用震度　水平方向（Kh）◎1.0　・
垂直方向（Kv）◎0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	◎±(1/100)×h 以上 ・	◎部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	◎±(1/200)×h 以上 ・	

ガラスの取付け材料
・シーリング種類（　　）
・構造ガスケット形状、寸法等　◎図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・セラミックタイル
・石材（・花こう岩　・大理石　・　　）
・
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール

１８章　塗装工事

○18-1 材料 (18.1.3)

屋内の壁・天井仕上げ材は防火材料とする。
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種

○18-2 素地ごしらえ (18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	◎Ａ種　・Ｂ種
	透明塗りの場合	・Ａ種　◎Ｂ種
鉄鋼面		・Ａ種　・Ｂ種　◎Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面及びプラスター面		・Ａ種　◎Ｂ種
コンクリート面（DP 以外）及び ALC パネル面		・Ａ種　◎Ｂ種
押出成形セメント板面		・Ａ種　・Ｂ種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	・Ａ種　・Ｂ種
	目地：継目処理工法以外	・Ａ種　・Ｂ種

○18-3 錆止め塗料塗り (18.3.2,3)

下地面等	工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面　見え掛り部分	◎Ａ種　・Ｂ種	◎Ａ種　・Ｂ種
鉄鋼面　見え隠れ部分	・Ａ種　◎Ｂ種	
亜鉛めっき鋼面　鋼製建具等	◎Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種（EPGの場合Ｃ種）
亜鉛めっき鋼面　鋼製建具等以外	・Ａ種　◎Ｂ種	

○18-4 各種塗料塗り (18.4.1～18.14.2)

塗装	種別	塗料の種類
・合成樹脂調合ペイン	木部屋外	◎Ａ種　・Ｂ種	◎１種・２種
トップ塗り（SOP）	木部屋内	・Ａ種　◎Ｂ種	◎１種・２種
	鉄鋼面	・Ａ種　◎Ｂ種	◎１種・２種
	亜鉛めっき鋼面	－	◎１種・２種
・クリヤラッカー塗り(CL)		・Ａ種◎Ｂ種	－
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		・Ａ種◎Ｂ種	－
●耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面	－	上塗り等級（２）級
	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り等級（２）級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	
●つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	・Ａ種　◎Ｂ種	－
	屋内の鉄鋼面	・Ａ種　・Ｂ種	－
●合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・Ａ種　◎Ｂ種	－
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		・Ａ種　◎Ｂ種	－
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・Ａ種　◎Ｂ種	－
・オイルステイン塗り(OS)		塗料：・水性　・油性	
・木材保護塗料塗り(WP)		・Ａ種　◎Ｂ種	－

高日射反射率塗料の適用　・適用する（適用箇所◎屋上、屋根面　・　　）・適用しない

１９章　内装工事

○19-1 接着剤 (19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・
接着剤は可塑剤（難燃発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別（・図示　・　）

○19-2 ビニル床シートG (19.2.2、3)

種別	種類の記号	色柄	厚さ(mm)
●発泡層のないもの	◎FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ） ・	●無地 ●柄物	●2.0 ●2.8
●発泡層のあるもの	●HS	◎柄物 ・無地	●2.5

目地処理する場合の工法　◎熱溶接工法　・突付け（施工箇所　　）

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(5)	図面番号
設計年月日	R05.01	Ａ－０５
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

○19-3 ビニル床タイル G （19.2.2）

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
◎ＫＴ（コンポジションビニル床タイル） ・ＦＴ（複層ビニル床タイル） ・ＦＯＡ（置敷きビニル床タイル）	◎無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ●500×500	◎2.0	

○19-4 特殊機能床 （19.2.2）

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	（mm）		
●帯電防止床タイル	500×500（mm）、4mm		
・視覚障害者用床タイル	（mm）		
・耐荷重性床シート	（mm）		
・防滑性床シート	（mm）		
・防滑性床タイル	×　（mm）		

○19-5 ビニル幅木 （19.2.2）

材質　●軟質　・硬質
高さ（mm）　◎60　・75　・100
厚さ（mm）　◎1.5 以上　・

・19-6 ゴム床タイル （19.2.2）

種類　・単層　・複層
色柄　（　　）
厚さ（mm）　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法（mm）　（　　）

○19-7 カーペット敷き G （19.3.3,4）（表 19.3.1）

・繊じゅうたん

種別	パイル形状	色柄	帯電性	糸の種類	工法
・Ａ類 ・Ｂ類 ・Ｃ類	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	◎無地 ・柄物	◎適用する ・適用しない	・	◎ヒートボンド工法

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	◎5～7	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する（　） ・適用しない	
・ループパイル	◎4～6			
・カット、ループ併用	・			

・ニードルパンチカーペット

厚さ（mm）	帯電性	備考
	・適用する　・適用しない	

●タイルカーペット

パイル形状	種別	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
◎ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用	◎第一種 ・第二種	◎500×500 ・	◎6.5 ・	平場　◎市松敷き　・模様流し 階段　◎模様流し　・市松敷き

・19-8 合成樹脂塗床 （19.4.2,3）（表 19.4.4,5）

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 （弾性ウレタン樹脂系塗床）			◎平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 （エポキシ樹脂系塗床）		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムルデヒド放散量　◎規制対象外　・

○19-9 フローリング張り G （19.5.2～6）（表 19.5.1～5）

単層フローリング張り

種別	樹種	厚さ（mm）	工法	備考
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等	・ぶな ◎なら ・さくら ・いたや	◎15	・釘止め工法（根太張り）	
		・12 以上	・釘止め工法（直張り）	
		・	・接着工法	
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等（体育館用）		・	・	
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等		◎15	・接着工法	303 x 303

複合フローリング張り

種別		樹種	厚さ（mm）	工法	種別	種別（住宅）
●天然木化粧複合フローリング張り	●一般用・住宅用	◎なら ・	●15	・釘留め工法（根太張り） ●釘留め工法（直張り） ・発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床下地張り工法 ・乾式遮音二重床下地材張り工法	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ◎Ｄ種
			・8 以上 ・12 以上	・接着工法（合成樹脂発泡ｼｰﾄ裏打ち）		
	・体育館用	・	・18 ・27	・普通張り　◎特殊張り		

ホルムルデヒドの発散量　◎規制対象外　・第三種
現場塗装仕上げ　・行う（施工箇所　　）　・行わない
◎ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

○19-10 畳敷き （19.6.2,3）（表 19.6.1）

下地の種類	畳の種別
框仕表 12.6.1 による床組	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　●Ｄ種（　KT-1　）
ポリスチレンフォーム床下地	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（　　）

畳表及び畳床はＶＯＣ含有量が少ないものとする

○19-11 せっこうボードその他ボード及び合板張り （19.7.2,3）（表 19.7.1,3,5）

種類	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	・15　・20　・25　・
・普通木片セメント板	・30　・

●けい酸カルシウム板	◎タイプ２(無石綿)	
●ロックウール化粧吸音板	◎フラットタイプ（◎9　・12）（不燃） ・凸凹タイプ（◎12　・15　・19）（不燃）	
●ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	◎フラットタイプ　9（不燃） ・凸凹タイプ（・12　・15）（不燃）	
●せっこうボード	・9.5（不燃）　・12.5（不燃）	
●不燃積層せっこうボード	◎9.5（不燃）　●化粧無（下地張り用）●化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	
●シージングせっこうボード	●12.5（不燃）	
●強化せっこうボード	●12.5（不燃）　・15.0（不燃）	
・せっこうラスボード	◎9.5	
●化粧せっこうボード	◎9.5（●準不燃　●不燃）	
・化粧せっこうボード（木目）	◎12.5（不燃）幅 440 程度 模様（◎柾目・板目）専用下地材付	
・普通合板	表面の材種 生地、透明塗料塗り （◎ラワン程度　・　　）不透明塗料塗り （◎しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 厚さ（mm）（　　） 接着の程度（・１類・２類） ・防虫処理・	
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ 1.2	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	・3・7・9・12	
・パーティクルボード		

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
◎アクリル系シーリング材　・ジョイントコンパウンド
工法合板の張り付け　・Ａ種　◎Ｂ種
せっこうボードの目地工法　・目透し　・突付け　・継目処理
合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種

○19-12 吸音材 （表 19.7.1）

種類	JIS の記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	◎25　・
◎グラスウール吸音ボード32K	GW-B	◎25　・

○19-13 壁紙張り （19.8.2,3）

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（繊物）	プラ（ﾋﾞﾆﾙ）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
壁・天井	・	・	●	・	・	●不燃　・準不燃 ●難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	

モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　・Ａ種　◎Ｂ種
せっこうボード面の素地ごしらえ　・Ａ種　◎Ｂ種
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種

○19-14 断熱材 G （19.9.2,3）（表 18.2.4,7）

断熱材打込み工法

種類	施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・	
●押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	●土間下	●25　●50	3 種ｂ
	●ビット		
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	・	

断熱材現場発泡工法
　断熱材の種類　・Ａ種１　●Ａ種１H
　厚さ（mm）　・25　・30　●40　●50
　施工箇所　●図示　・

断熱材あと張り工法（S1 工法等）

種類	施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材			
◎押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材（スキンなし）	・保温板（２種ｂ）		
	◎保温板（３種ｂ）		
	・		
・Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材			
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材（３種２号を除く）			

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
◎規制対象外　・第三種

・19-15 発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床下地張り工法 （公住仕 19.10.1,2）（公住仕表 19.10.1）

発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床下地材（部位）	施工箇所	厚さ（mm）	下張り用合板厚さ（mm）
・発泡（基準階ﾀｲﾌﾟ）（洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。）	・	◎床仕上げ高 100～140	
・発泡（１階ﾀｲﾌﾟ）（洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。）		◎床仕上げ高 100～140	
・発泡（和室ﾀｲﾌﾟ）（和室の床下地）	・	◎床仕上げ高 102～143	

・19-16 乾式遮音二重床下地張り工法 （公住仕 19.11.1）（公住仕表 19.11.1,2）

二重床下地材（部位）	施工箇所	下張用合板の有無	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞの厚さ（mm）	下張り用合板厚さ（mm）
・乾式（基準階ﾀｲﾌﾟ）（洗面所・脱衣室、物入、押入等を除く。）	・	・有 ・無	・25 以上 ・20	・5.5 以上 ・12 以上
・乾式（１階ﾀｲﾌﾟ）（洗面所・脱衣室、和室、物入、押入等を除く。）	・	・有 ・無	・25 以上 ・20	・5.5 以上 ・12 以上
・乾式（1階ﾀｲﾌﾟ）（洗面・脱衣室の床下地）	・	・有 ・無	・25 以上 ・20	・5.5 以上 ・12 以上

・19-17 内装プレハブ工法 （公住仕 19.11.2）（公住仕表 19.11.1,2）

内装プレハブの採用　◎有　・無
鋼板の表面処理　◎JIS H 8610 の２種３級に準ずる

２０章　ユニット及びその他工事

○20-1 フリーアクセスフロア （20.2.2）

施工箇所	構法	設定高さ（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能（N/㎡）	表面仕上げ材

教育委員会・受付等	●パネル構法	●100	●1.0G ・0.6G	●3,000 ・5,000	●帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ●タイルカーペット
	・溝工法	・			
	・パネル構法	・	・1.0G	・3,000	・帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ
	・溝工法	・	・0.6G	・5,000	・タイルカーペット

表面仕上げ材の品質・規格等は、標仕 19 章内装工事による
配線用取出しパネル　　配線取出し開口：パネル１枚につき 40mm×80mm 程度の開口１カ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　◎20～30%
空調用吹し出しパネル　◎無・有（◎固定式　・可変式：施工箇所は図示）
製造所：評価名簿による

・20-2 可動間仕切 （20.2.3）

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ◎パネル式	・	◎鋼板 （◎0.6　・0.8） ・	◎メラミン樹脂またはアクリル樹脂焼付け ・	・有 （　　） ・無	・有 ・無

品質 JIS A 6512 によるものまたは評価名簿による
パネル材のホルムアルデヒド放射量　◎規制対象外

○20-3 移動間仕切 （20.2.4）

遮音性能による区分	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式・電動式 ・部分電動式
●遮音タイプ（36db 以上）	●68	●鋼板 ・	●焼付塗装 ・壁紙張り	●手動式・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕 19 章内装工事による
製造所：評価名簿による

○20-4 トイレブース （20.2.5）

表面仕上げ材　◎メラミン樹脂系化粧板（木目調アルミ製コーナーエッジ付き）
　・ポリエステル樹脂系化粧板　・
足形状　◎幅木型　・足金物型
製造所：監督職員の承諾する製造所による
パネル材のホルムアルデヒド放射量　◎規制対象外

○20-5 階段滑り止め （20.2.6）

材種　◎ステンレス（SUS304）
形状　◎ビニールタイヤ入り両端フラットエンド　◎有（◎ビニル製　・ステンレス製）　・無
幅（mm）　◎約 35　・
取付工法　◎接着工法　・埋込み工法

・20-6 階段手すり

種別	施工箇所
◎集成材クリアラッカー仕上げ（市販品径：約 40mm）	
・ビニル製ハンドレール（幅：約 40mm）	

・20-7 黒板及びホワイトボード G （20.2.8）

種類		寸法	色彩	備考
・黒板	◎焼付け		◎緑　・黒	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分
			◎緑　・黒	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分
・ホワイトボード	◎ほうろう		◎白	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分
			◎白	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分

○20-8 鏡 （20.2.9）

厚さ　◎5mm　・

○20-9 表示 （20.2.10）

区分	材質	取付位置
●衝突防止表示	・ステンレス製　●図示	●図示　・
●室名札	・アクリル板　●図示	●図示　・
・	・	・　・

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。
表示標識は図示による。ただし、案内用図記号は JISZ8210 による。
製造所：監督職員の承諾する製造所

・20-10 煙突用成型ライニング材 （20.2.11）

最高使用温度650℃
製造所：評価名簿による

・20-11 キャスタブル耐火材 （20.2.11）

工法　◎こて押さえ
最高使用温度　◎400℃
製造所：監督職員の承諾する製造所

・20-12 ブラインド （20.2.12）

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅（mm）	ボックス、レールの材種
◎横型	・手動	◎ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	◎アルミニウム合金製G ・	◎25 ・35	・鋼製 ・
	・電動	―			
・縦型	・手動	・２本操作コード式 ・１本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製
	・電動	―	・		

・20-13 ロールスクリーン G （20.2.13）

防火性能　◎有　・無
操作方式　・スプリング式　・コード式　・電動式
スクリーンの材質　・ポリエステル　・繊

・20-14 カーテン （20.2.14）

施工箇所	形式 ｼﾝｸﾞﾙ	ﾀﾞﾌﾞﾙ	片引	引分	開閉装置 電動	ひも	手引	ひだの種類	品質等

・20-15 カーテンレール （20.2.14）

材種　・ステンレス製　・アルミニウム製
形式　・片開き　・引き分け（暗幕用は 300mm 以上の召合わせの重掛けとする）
　・シングル　・ダブル
断面形状　◎Ｃ型　・Ｄ型　・角型

・20-15 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	◎完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有
・水平方向		・非耐火型	・無

目地	内壁（幅×高さ）	外壁（幅×高さ）
・垂直方向	シーリング材（見え掛りのみ）	シーリング材（内外とも）
・水平方向	◎20×10　・	◎20×10　・

目地材の材質は標仕 9.7.1 による

・20-16 止水板

形状　・据置式　・壁張り式　・差込式
寸法
製造所

○20-17 天井点検口

材質　アルミニウム製（◎額縁タイプ　●目地タイプ）
製造所：評価名簿による

○20-18 床点検口

材質　アルミニウム製（受け枠　◎アルミ製　●ステンレス製）
製造所：評価名簿による

○20-19 かぎ箱

市販品　形式　・30 組用　●60 組用　・120 組用　・200 組用

・20-20 くつふきマット

市販品　材質・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）
　・硬質アルミニウム製（受枠とも）
　・ビニル製（ステンレス製受枠）
　・ステンレス製（受枠とも）

○20-21 誘導用及び注意喚起用床材

ブロックパターンは JIS T 9251 による色彩は黄色を原則とする。
　屋内　◎塩化ビニル製　磁器またはせっ器質タイル（◎300　・　　）　●ステンレス製
　　・レジンコンクリート製
　屋外　◎レジンコンクリート製　・磁器またはせっ器質タイル（◎300　・　　）

・20-22 昇降機設備

◎適用範囲
　本項は、乗用・寝台用・人荷共用・荷物用・非常用エレベーター、小荷物専用昇降機及びエスカレーターに適用する。
◎規格基準
　図面及び特記仕様書に記載のない項目は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成 31 年度版）第９編昇降機設備工事」による。
◎その他
　基本仕様、乗場仕様、カゴ仕様、その他の仕様等については図面による。
公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）

・20-23 浴室ユニット （公住仕 20.2.15）

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）
種類、形状、寸法（内法）、材質（　　）

・20-24 キッチンキャビネット （公住仕 20.2.16）

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）
種類　◎ｾﾄﾘｯﾄｷｯﾁﾝ（◎Ｉ型　・Ⅱ型）　・ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ
流し台、調理台、ｺﾝﾛ台、吊り戸棚等の形状、寸法　◎設計図による　・
カウンタートップ及びシンクの材質　◎ステンレス　・
付属部品　◎水切り棚　・

○20-25 郵便受箱 （公住仕 20.2.17）

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）
形状　・縦型　◎横型　寸法（　×　）
個数（　２　）個　　材質　◎ステンレス　・

・20-26 手すりユニット （公住仕 20.2.18）

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）

名称	種類	材質	形状	寸法（支柱間隔、高さ等）	支持方法
墜落防止手すり	・廊下用	・ｱﾙﾐ ・ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ	・手すり子 ・目隠しﾊﾟﾈﾙ	◎設計図による ・	・床支持 ・壁支持 ・方立て支持
	・ﾊﾞﾙｺﾆｰ用	・ｱﾙﾐ ・ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ	・手すり子 ・目隠しﾊﾟﾈﾙ	◎設計図による ・	・床支持 ・壁支持 ・方立て支持
	・窓用	・ｱﾙﾐ ・ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ	・手すり子 ・目隠しﾊﾟﾈﾙ	◎設計図による ・	・壁支持

・20-27 補助手すり （公住仕 20.2.19）

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）

名称	材質	形状	寸法	設置場所
◎廊下階段手すり	◎合成樹脂被覆ｱﾙﾐ手すり			
◎補助手すり	・樹脂被覆ｽﾃﾝﾚｽ手すり			
	・集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り			

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(6)	図面番号
設計年月日	R05.01	Ａ－０６
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

２１章　排水工事

○21-1 排水管　(21.2.1,2)(表 21.2.1,2)

配水管用材料

材種	管の種類	管形状（接合方法）
◎遠心力鉄筋コンクリート管	◎外圧管（１種２種）	Ｂ形（ゴム接合）
●硬質塩化ビニル管	◎VPVU　・	
・ﾘﾊｲｸﾙ硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管	・RS-VP[G]	

車道部の配水管の敷設　◎図示　・
現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度◎18N/mm²　・
現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　◎SD295A　・
　材質　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層の厚さ　◎図示　・
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　◎行う　・行わない

○21-2 排水桝及びふた　(21.2.1)

鋳鉄製マンホールふた

種類	適用荷重
・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・RS-VU[G]	・T-2 用 ・T-6 用 ・T-20 用 ・

製造所：評価名簿による

グレーチングふた

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・鋼製 ●ステンレス製	◎受枠付き ・ ボルト固定 ◎無 ・図示	・溝ふた用 ●桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ●T-14 用 ・T-20 用	◎細目 ◎普通目 ●細目	◎凹凸形 ●平形 ・

製造所：評価名簿による

○21-3 埋戻し土　(21.2.1)

◎Ｂ種（標仕表 3.2.1）　・

２２章　舗装工事

・22-1 盛り土に用いる材料　(22.2.3)

・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種

・22-2 凍上抑制層の材料　(22.2.3)

・再生クラッシャラン[G]　・クラッシャラン　・切込み砂利　・砂

・22-3 路床安定処理材料　(22.2.3)(表 22.2.1)

・添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種
　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　・　kg/m3（目標ＣＢＲ　・５以上　・　　）

・22-4 試験　(22.2.5)

路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う（・乱した土　・乱さない土）　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
砂の粒度試験　・行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験
◎行う　「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領（案）」による。

○22-5 路盤材料　(22.3.2,3,5)(表 22.3.1)

◎再生クラッシャラン(RC-40)[Ｇ]
・クラッシャラン鉄鋼スラグ(CS-40)[Ｇ]
・クラッシャラン(C-40)
透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの

・22-6 路盤の締め固め度試験　(22.3.5)

◎行う

○22-7 アスファルト舗装　(22.4.2～6)(表 22.4.4)

車道部の基層　◎無
アスファルト　◎再生アスファルト[Ｇ]　・ストレートアスファルト
●加熱アスファルト混合物の種類

区分	●一般地域	・寒冷地域
表層	●密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13） ・細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13）	・密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13F） ・細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13F）
基層	・粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（20）	

・シールコート　・行わない　・行う（施工範囲：　　）
・アスファルト混合物の抽出試験　・行わない　・行う

・22-8 コンクリート舗装　(22.5.2～4,6)(表 22.5.1,3)

コンクリート
◎普通コンクリート、標仕表 22.5.1 による
・普通コンクリートではない場合は下記による
　コンクリートの種類　・
　設計基準強度　・
　所定のスランプ　◎8　・
　粗骨材の最大寸法　・
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　◎低弾性タイプ　・高弾性タイプ
溶接金網　・有　・無
厚さ試験　・行わない　・行う

・22-9 カラー舗装　(22.6.2～4)

・加熱系カラー舗装

材料	区分	車道部の基層	厚さ（mm）
・有機骨材(焼成)　・自然石　・着色骨材(樹脂皮膜)	・車道・歩道	◎なし　・あり	

・常温系カラー舗装
　工法　・ニート工法　・塗布工法
　着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装

・22-10 透水性アスファルト舗装

アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

○22-11 ブロック系舗装　(22.8.2,3)

・コンクリート平板舗装[G]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
◎普通平板（Ｎ）　・透水平板（Ｐ） ・保水性平板（Ｍ）	◎300 角 ・	◎60 ・	◎砂 ・モルタル

クッション材　◎砂　・空隙リモルタル
製造所：監督職員の承諾する製造所
●インターロッキングブロック舗装[G]

種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等
◎標準ブロック（Ｎ） ・透水性ブロック（Ｐ） ●誘導、注意喚起用ブロック	車道部　◎80 歩道部　◎60	◎標準品
・植生ブロック（Ｖ）	◎80　・100	

製造所：監督職員の承諾する製造所
・舗石舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　◎図示

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
◎小舗石（花こう岩）	◎80～100	◎うろこ張り ・	◎コンクリート版 ・アスファルト混合物

○22-12 路面標示用塗料

路面標示用塗料は JIS K 5665 による。

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
●3 種 1 号	溶融	粉体状	◎白	・150	●1.0	塗料総質量に対して５％以下
・1 種 2 号	常温	液状	・	●100		
・2 種 2 号	加熱					

２３章　植栽及び屋上緑化工事

・23-1 樹木の植栽基盤整備　(23.2.2,4)

◎行う

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12m以上	◎100　・	◎Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種	・葉張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲 ・図示
・7m超～12m未満	◎80　・		
・3m超～7m未満	◎60　・		
・3m未満	◎50　・		
・芝、地被類	◎20	◎Ｂ種	◎植栽範囲　・図示

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤まで植込み用土で盛土を行う。

○23-2 植込み用土　(23.2.3)

◎現場発生土の良質土　●客土（・畑土　●黒土）

・23-3 土壌改良材　(23.2.3)

土壌改良材の適用
・適用する　・パーク堆肥[G](50ﾘｯﾄﾙ/㎡)または発酵汚泥コンポスト(10ﾘｯﾄﾙ/㎡)
施工箇所　・植栽範囲　・図示

○23-4 支柱材　(23.3.2,3)

◎杉の丸太（間伐材）[G]　・真竹(良質な２年生以上)

・23-5 幹巻き用材料　(23.3.2)

材料　◎幹巻き用テープ　・わら及びこも

○23-6 芝張り　(23.4.2,3)

種類　◎こうらい芝　・野芝　・
工法　●目地張り　・べた張り

・23-7 屋上緑化[G]　(23.5.2～4)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
　土壌層の厚さ　◎図示　・
　排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　　）　・板状成型品
　植込み用土　◎改良土　・人工軽量土
　透水層、保水層及び排水層　・
・屋上緑化軽量システム
　樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類等　◎図示　・
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　◎図示　・
工法
　支柱　・設置する（形式　・図示　・　　）
　かん水装置　・設置する（種類　・図示　・　　）

・23-8 ウォール・擁壁　(公住仕 23.6.2)

調査支持力試験　・行う(方法：　　)　・行わない
石の種類

施工箇所	品質	種類・産地・名称	厚さ（mm）	備考

種類　・現場打ち擁壁　・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁　・ﾌﾞﾛｯｸ積(張)擁壁
　・石積(張)擁壁　・その他擁壁(・ﾚﾝｶﾞｳｫｰﾙ　・ﾀｲﾙﾒｳｫｰﾙ　・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸｳｫｰﾙ)

・23-9 柵　(公住仕 23.9.2)

・ﾊﾟｲﾌﾟ柵
・ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ（種類・図示、寸法・図示）
・焼丸太（材種　◎杉　◎桧　・　　）

・23-10 自転車置き場ユニット　(公住仕 23.10.2)

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）
収容台数（・　台）

・23-11 物置ユニット　(公住仕 23.10.3)

材質	寸法	形状	備考
	・図示　・	・図示　・	

・23-12 自転車置き場ユニット　(公住仕 23.10.2)

公共住宅の品質及び性能（・品質　・性能基準による　・　　）
収容台数（・　台）

２４章　ＰＣ工法による工事

・24-1 セメントの種類　(公住仕 24.2.1)

・普通ポルトランドセメント　・早強ポルトランドセメント　・混合セメントのＡ種　・

・24-2 混和材料　(公住仕 24.2.4)

混和剤　・ＡＥ剤　・減水剤　・ＡＥ減水剤　・高性能減水剤　・高性能ＡＥ減水剤　・流動化剤
混和材　・ﾌﾗｲｱｯｼｭ　・高炉ｽﾗｸﾞ微粉末　・ｼﾘｶﾌｫｰﾑ　・膨張材

・24-3 鉄筋　(公住仕 24.2.5)

規格	種類の記号	使用箇所	呼び名（mm）
鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・SD295A		◎D16 以下　・
	・SD345		◎D19 以上　・
	・		

・24-4 鋼材　(公住仕 24.2.5)

種類の記号	使用箇所	規格等
		◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による

・24-5 接合用金物　(公住仕 24.2.6)

仕上がり形状　・図示　・寸法　・図示　・

・24-6 コンクリートの種類　(公住仕 24.3.2)

・普通コンクリート　・軽量コンクリート１種　・軽量コンクリート２種

設計基準強度 Fc（N/mm²）	水セメント比	スランプ
	◎55%以下　・	◎12cm 以下　・

かぶり厚さ

非耐力壁・床・屋根(cm)	耐力壁・柱・梁(cm)
◎20　・	◎30　・

・24-7 溶接接合　(公住仕 24.6.6)

添えプレートの材質　・
フレアグルーブ溶接の余盛(mm)　・
超音波探傷試験　・行う　・行わない

・24-8 スリーブ接合　(公住仕 24.7.1)

材料　・
施工方法　・
検査　・行う(方法：　　判定基準：　　)　・行わない

・24-9 狭小部充填コンクリート　(公住仕 24.9.1)

コンクリートの設計基準強度
Fc(N/mm²)（ＰＣ部材の設計基準強度以上とする）

・24-10 敷きモルタルの圧縮強度　(公住仕 24.10.1)

敷きﾓﾙﾀﾙの圧縮強度
Fc(N/mm²)（ＰＣ部材の設計基準強度以上とする）

別表－１　他工事との取り合い

●印を適用する

工事内容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機設備工事	
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクルまで）	●	○	○	○	○	○
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクル以降）	●	●	●	○	○	○
仮設電力の電気料	●	●	●	●	●	○
本受電後の電気基本料金	○	●	○	○	○	○
本受電後引渡しまでの電気使用料	●	●	●	●	●	○
仮設水道の引込み〔メーターまで〕	●	○	○	○	○	○
仮設水道の引込み〔メーター以降〕	●	●	●	●	●	○
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	●	●	●	●	●	○
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠（電気、機械の配管等）	○	●	●	○	○	○
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●	○	○	○	○	○
屋上に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	●	○	○	○	○	○
屋内及び屋外に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	○	●	●	○	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の位置・墨出し	○	●	●	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	●	●	○	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	●	○	○	○	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強	●	○	○	○	○	○
天井換気扇の取付	○	○	●	○	○	○
壁・窓用換気扇の取付	○	○	●	○	○	○
壁・窓用換気扇取付枠	●	○	○	○	○	○
点検口の取付（床・壁・天井・ＰＳ等）	●	○	○	○	○	○
防煙ダンパー	○	○	●	○	○	○
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○	○
床仕上げ材の穴あけ（フローリングブロック等）	●	●	○	○	○	○
ルーフドレイン及び縦どい（桝及び側溝までの配管）	●	○	○	○	○	○
配線ビット及び蓋	●	○	○	○	○	○
電極棒及びフロートスイッチ	○	○	○	○	○	○
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等２次側配線	●	●	○	○	○	○
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	○	○	○	○	○
機械設備の制御、操作盤の２次側配線	○	●	●	○	○	○
天井吊り形放熱器（ＦＣＵ等）と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○	○
消火栓箱総合盤用穴あけ	○	○	●	○	○	○
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○	○
電気設備のフェンス・金網	○	●	○	○	○	○
ガス漏れ警報器（単設型）	○	●	●	○	○	○
ガス漏れ警報器（集中監視型）	○	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報用器用コンセント	○	●	○	○	○	○
造り付け流し台	●	●	○	○	○	○
造り付け流し台排水トラップ	●	○	○	○	○	○
既製流し台及び排水トラップ（ガス台・洗面化粧台等を含む）	○	○	●	○	○	○
既製吊戸棚	●	○	○	○	○	○
鏡（姿見は建築工事）	○	○	●	○	○	○
昇降機の出入口開口の型枠	●	○	○	○	○	○
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	●	○	○	○	○	○
昇降機のピット内保守用コンセント	○	●	○	○	○	○
外壁取付ガラリ、排煙口	●	○	○	○	○	○
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	●	○	○	○	○	○
昇降機インターホンの配管・配線	○	●	○	○	○	○

工事名称	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	
図面名称／縮尺	特記仕様書(7)	図面番号
設計年月日	R05.01	Ａ－０７
設計者	株式会社フケタ設計	
発注者	上三川町	

（栃木県 R4.4）

工事概要

1. 工事名称
(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
2. 工事場所
上三川町大字上三川4173番1の一部
3. 敷地面積
7,436.05(㎡)
4. 工事種目

建築物名称	工事種別	構造概要	延べ面積	建築面積
生涯学習・子育て支援複合施設	新築	鉄骨造　平屋建て	2,318.30(㎡)	3,024.86(㎡)
こどもひろば	新築	鉄骨造　平屋建て	397.64(㎡)	396.63(㎡)
カーポート	新築	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金造　平屋建て	107.02(㎡)	107.02(㎡)

5. 用途地域その他の地域
用途地域　指定なし（市街化調整区域）　防火地域　指定なし（法22条区域）
建蔽率　60%　容積率　200%
6. 主要用途　複合用途（集会場・児童福祉施設等・事務所）
7. 耐火建築物 耐火建築物
8. 消防法　用途　別表第(（16)イ)項　収容人数(　　)人

法規制欄略号

＜内装制限＞
((不))仕上・下地共　不燃
(不)　仕上　不燃
((準))仕上・下地共　準不燃
(準)　仕上　準不燃
(難)　仕上　難燃

＜排煙設備＞
告示二(1):建告1436－4ニ (1)　(開口部防火設備)
室に於いて　仕上　準不燃
告示二(2):建告1436－4ニ (2)　(防煙壁区画)
室に於いて　100㎡以下で天井より防煙壁高さまで仕上　不燃
告示二(3):建告1436－4ニ (3)　(防火区画)
居室に於いて　100㎡以内で準耐火構造の区画で仕上　準不燃
告示二(4):建告1436－4ニ (4)
居室に於いて　100㎡以下で壁・天井　仕上・下地共　不燃

一般事項

1. 特記以外の柱、はり、下り壁の仕上は壁仕上による。
2. 付属物のうち、室名札、便所表示、床改め口、
などの位置は、平面計画図による。
3. 付属物のうち、カーテンボックス、カーテンレール、ブラインド、
天井点検口、などの位置は、天井伏図による。
4. 高さは各階の基準床高さ=FLからの高さとする。
5. 設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に
記載されていない事項は、国土交通大臣　官房官庁営繕部監修の
公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」による。

特記事項

1. 使用材料は全てF☆☆☆☆とする。（接着剤・クリーニング材等含む）
2. 断熱材　屋根面断熱材: 硬質ウレタンフォーム t50吹付
壁断熱材　: 硬質ウレタンフォーム t40吹付
床断熱材　: 硬質ポリスチレンフォーム数込t25
3. 土間防湿シート:厚0.15ポリスチレンフィルム敷込
4. 各便所壁・天井 吸音材：厚50グラスウール　24kg/m充填
5. 外壁に面する鋼製建具廻りには現場発泡硬質ウレタンフォーム（不燃）
充填とする
6. 外壁貫通の室内側には現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付（t50）
7. 手摺取付下地補強のこと
8. カーテン、鏡類等を利用する場合は防炎物品を使用すること
9. 化学物質の濃度測定
多目的ホール、遊戯室、吉澤惣記念室、教育委員会事務局　（計４ヵ所）

耐火・防火認定番号

生涯学習・子育て支援複合施設　　構造：鉄骨造　1階建
■ 耐火建築物 □ 準耐火建築物（・イ-1）（・イ-2）（・ロ-1）（・ロ-2）

主要構造部		耐火時間	認定・告示番号	仕様・仕上
外壁(非耐力壁)	一般部	1時間耐火構造	FP060NE-9037	押出成形セメント板t60 縦張り
	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	1時間耐火構造	FP060NE-9038	押出成形セメント板t60 横張り
柱		1時間耐火構造	FP060CN-9460	吹付けロックウール被覆鉄骨柱t25
		1時間耐火構造	FP060CN-0539	押出成形セメント板t60 縦張り + 吹付けロックウール被覆鉄骨柱t25
		1時間耐火構造	FP060CN-9472	鉄骨柱 耐火塗料塗t1.5、t1.25
梁		1時間耐火構造	FP060BM-9408	吹付けロックウール被覆鉄骨梁t25
		1時間耐火構造	FP060BM-0333	押出成形セメント板t60 縦張り + 吹付けロックウール被覆鉄骨梁t25
		1時間耐火構造	FP060BM-9419	鉄骨梁 耐火塗料塗t1.5
屋根		1時間耐火構造	FP060FL-0100	デッキプレート + 鉄筋コンクリートt80
		30分耐火構造	告示1399号-第5-1	鉄筋コンクリートt80
		30分耐火構造	FP030RF-0327	デッキプレート屋根（単純支持）
		準ずる火	告示1365号-第1-3	耐火構造屋根 + シート防水t2
防火区画	竪穴区画	1時間耐火構造	FP060NP-0174	GB-F t12.5 + GB-F t12.5 両面二重張り
(面積:114条区画)				

化学物質を発散する建築材料等

■ 本工事の建物内部（仕上及び天井裏等）に使用する建築材料等はすべて、
シックハウス規制の対象外の材料を使用する。
■ 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、国土交通省告示に規定する荷重の
品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ
その他の木質建材、ｶｰﾃﾝ裏面張、仕上げ塗材及び壁紙は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ を発散しないか、
発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はﾌｪﾉｰﾙ樹脂ｼﾞｰﾌﾟﾗｽﾁｯｸ及びｳﾚﾀﾝ樹脂ｼﾞｰﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾏｽﾘﾙを含有しない建築発性の可能剤を使用し、
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
■ 設計図書に規定する「ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄの放散量」は、次のとおりとする。
1) ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
2) 建築基準法施行令第２０条の５第４項による国土交通大臣認定品
3) 表示のあるＪＡＳ規格品

認定番号

区別	認定番号	材料名	備考
不燃	NM－8576	繊維強化セメント板	フレキ板
	NM－8577	化粧繊維強化セメント板	化粧フレキ板
	NM－8578	繊維混入けい酸カルシウム板	ケイカル
	NM－8599	ロックウール吸音板	DR
	NM－8601	吹付けロックウール（10以上）	
	NM－8606	グラスウールガラスクロス張り	GW
	NM－8613	不燃積層石こうボード（9以上）	GB(NT) GB(N)
	NM－8615	強化石こうボード（12以上）	GB-F
	NM－9639	不燃シージング石こうボード（12以上）	
	NM－8619	石こうボード（12以上）	GB-R
		他の一般的な不燃材は告示第1400号に依る	
準不燃	QM－9822	化粧せっこう吸音ボード（9）	
	QM－9824	化粧石こうボード（9）	GB-D
	QM－9825	特殊せっこう吸音ボード（9）	
	QM－9826	シージング石こうボード（9．12）	
	QM－9827	吸音用穴あき石こうボード（9）	
	QM－9828	石こうボード（9）	GB-R
難燃	RM－9340	難燃合板	

壁紙種別

壁装材料	壁紙の防火種別	施工方法	基材 法定不燃材料	法定不燃 石膏ボード	法定 準不燃材料	金属
	1－1	直張り	不燃	不燃	準不燃	準不燃
	1－2	直張り	不燃	準不燃	準不燃	難燃
		下張り	準不燃	難燃	難燃	
	1－3	直張り	不燃	準不燃	準不燃	
●	1－4	直張り	不燃	不燃	準不燃	不燃
	1－5	直張り	不燃	不燃	準不燃	難燃
	1－6	直張り	不燃	不燃	準不燃	
	2－1	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	準不燃
	2－2	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	難燃
		下張り	難燃	難燃	難燃	
	2－3	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	
	2－4	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	難燃
	2－5	直張り	準不燃	準不燃	準不燃	
		下張り	難燃	難燃		
	3－1	直張り	不燃	難燃	難燃	
	3－2	直張り	不燃	不燃	難燃	
	3－3	直張り	不燃	準不燃	難燃	
	4－1	直張り	準不燃	難燃	難燃	
	4－2	直張り	準不燃	準不燃	難燃	
	5－1	直張り	難燃	難燃	難燃	
	6－1	直張り	不燃	不燃		
	6－2	直張り			難燃	不燃

基材区別認定番号

		不燃材料	準不燃材料	難燃材料
①	塗料・塗装	NM－8585	QM－9816	RM－9364
②	集機吹付材塗	NM－8571	QM－9811	RM－9366
③	有機塗料塗り	NM－8572	QM－9812	RM－9361
④	複層仕上材	NM－8573	QM－9813	RM－9362

略記号

□ 防水(シーリング)工事
SR2　2成分形シリコーン系シーリング材
PS2　2成分形ポリサルファイド系シーリング材
MS2　2成分形変性シリコーン系シーリング材
PU2　2成分形ポリウレタン系シーリング材
UA2　2成分形アクリルウレタン系シーリング材
AC1　1成分形アクリルエマルション系シーリング材

□ 薄付け仕上塗材塗り
外装薄塗材E　外装合成樹脂エマルション系
内装薄塗材E　内装合成樹脂エマルション系
可とう型外装薄塗材E　可とう型外装合成樹脂エマルション系
防水型外装薄塗材E　防水型外装合成樹脂エマルション系
外装薄塗材S　外装合成樹脂溶液系
内装薄塗材W　内装水溶性樹脂系

□ 厚付け仕上塗材塗り
外装厚塗材C　外装セメント系
内外装厚塗材C　内装セメント系
外装厚塗材E　外装合成樹脂エマルション系

□ 複層仕上塗材塗り
複層塗材CE　ポリマーセメント系
可とう型複層薄塗材CE　ポリマーセメント系
複層塗材SI　けい酸質系
複層塗材E　合成樹脂エマルション系
複層塗材RE　反応硬化形合成樹脂エマルション系
複層塗材RS　合成樹脂溶液系
防水型複層塗材CE　ポリマーセメント系
防水型複層塗材E　合成樹脂エマルション系
防水型複層塗材RS　合成樹脂溶液系

外部仕上表

場所	位置	仕上	備考
外部	屋根	塩ビ樹脂系防水シート厚2.0（軽歩行用）機械固定工法	QB、非常用発電機、燃料槽、室外機
		下地：コンクリート金ゴテ	
		目隠しフェンス：アルミルーバー　110×25@50、鉄骨部：溶融亜鉛メッキ	
		点検用タラップ：SUS既製品	
	キャノピー	塩ビ樹脂系防水シート厚2.0（軽歩行用）接着工法	
		下地：QLルーフ、硬質ウレタンフォーム厚30	
	車寄せ	アルミハニカムパネル庇t104	
樋		アルミ製　バンドレスタイプ（114Φ、89Φ）、横引き用T字管、埋設管メンテ用スライド管	
庇		カラーガルバリウム鋼板t0.4　縦葺き、改質ゴムアスファルト密着ルーフィングt1.0	
		野地板：硬質木片セメント板t20.0、鉄骨柱：耐火塗料、鉄骨梁：吹付ロックウール耐火被覆ｔ25	
軒天		ケイカル板t6.0目透し張 EP-G塗装、（キャノピー部）DR†9.0+GB-St12.5下地	
外壁		押出成形セメント板ｔ60（リブ付タイプ・フラットタイプ）　環境型無機塗料塗装、縦張り・横張り	メース同等品
		コンクリート化粧打放し　超耐久性仕上げ撥水剤塗布	環境型無機塗料：ｱﾌﾟﾗｲﾄﾞｼｭﾗｽﾀｰ同等品
		プリーズソレイユ（日除けの縦ルーバー）　環境型無機塗料塗装	撥水剤：ランデックスコート同等品
			メース同等品
笠木		アルミ笠木W300（既製品）	

場所	位置	仕上	備考
外構	建物周囲	舗装	インターロッキング舗装
	駐車場	舗装	アスファルト舗装
		車止め	コンクリート既製品（駐車１台につき２個、車椅子・おもいやり駐車場：３個）
		カーポート	アルミ合金造既製品（バリアフリー新法対応品）、屋根：熱線遮断ポリカ板厚1.8（DW-0046）	四国化成：ユニルーフ同等品
			車椅子専用駐車場表示１台、おもいやり駐車場表示５台
	歩道	舗装	浸透アスファルト舗装、インターロッキング舗装、見切り：歩車道境界ブロック
	緑地		ノシバ張り、客土H300
	こども	舗装	人工芝張り(ノンサンド式)
	ひろば	遊具	ふわふわドーム　、　周囲２m安全領域：人工芝張り(ノンサンド式)
		屋根	膜屋根（不燃材料）
		樋	軒樋：SUSPL-t2.0加工 アクリル焼付塗装、竪樋：アルミ製　φ140バンドレスタイプ
		柱・トラス梁	鉄骨部：溶融亜鉛メッキの上、DP塗り（1種）
	にぎわい	屋根	アルミハニカムパネル庇t105、t104
	輪通路	柱	溶融亜鉛メッキの上、DP塗り（1種）
		樋	軒樋：アルミ形材、竪樋：アルミ製　φ80バンドレスタイプ
	その他	南側境界	手摺：ステンレス製φ38、φ34　ニ段手摺
			現場打ちRC擁壁H=500

略号

□ 塗装工事

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
CL	クリアラッカー塗り	OS	油性ステイン塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	WP	木材保護塗料塗り
DP 1級	耐候性塗料塗り　ふっ素樹脂	MA	マスチック塗材塗りA種
DP 2級	耐候性塗料塗り　シリコーン樹脂	MB	マスチック塗材塗りB種
DP 3級	耐候性塗料塗り　ポリウレタン樹脂	MC	マスチック塗材塗りC種
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	OSUC	油性ポリウレタン樹脂塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	WOUC	水性ポリウレタン樹脂塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り		

□ 内装工事

FS	複層ビニル床シート	GB-R	石こうボード	GB-F	強化石こうボード	RW	ロックウールガラスクロス張り
HS	発泡複層ビニル床シート	GB-D	化粧石こうボード（ジプトーン）	ケイカル板	繊維混入けい酸カルシウム板	GW	グラスウールガラスクロス張り
KT	ビニル床タイル	PB	プラスターボード	ケイカル板(P)	吸音用穴あき繊維混入けい酸カルシウム板	LGS	軽量鉄骨下地
FT	複層ビニル床タイル	GB(N)	不燃積層石こうボード（化粧無し:下地張用）	PF板	ポリスチレンフォーム保温板	CB	コンクリートブロック
FOA	帯電防止ビニル床タイル			フレキ板	フレキシブルボード	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
VB	ビニル巾木	GB(NT)	不燃積層石こうボード（化粧有:トラバーチン模様）		ロックウール化粧吸音板（フラット）	W	木造下地
WB	木製巾木			DR(凸凹)	ロックウール化粧吸音板（凸凹）	M金コテ	モルタル金コテ押え
塩ビ	塩化ビニル製	GB(W)	化粧石こうボード（木目）	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天用フラット）	C金コテ	コンクリート金コテ押え
アルミ	アルミニュウム製	GB-S	シージング石こうボード	DR(軒天凸凹)	ロックウール化粧吸音板（軒天用凸凹）	C打放し	コンクリート打放し

VP	硬質塩化ビニール管
HP	遠心力鉄筋コンクリート管
SGP	配管用鋼管
STK	構造用鋼管
GIP	亜鉛メッキ鋼管
SUS	ステンレスHL

工事名　(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名　外部仕上表
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三宗 富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本社　栃木県宇都宮市大谷１丁目５番８号　TEL 028(622)8928

No. ０３１２３
製図 R05.01
縮尺 A1:1/100 A3:1/200
図面No. Ａ－０８
原図
複製
修正
図

管理建築士　古澤康夫　一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士　塚原好則　一級建築士登録番号２４９８０８号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

内部仕上表

仕上形状

階	室名 / 法規制	種別	天井高 / 床高	床	仕上下地	巾木	仕上高さ	壁	仕上下地	廻縁	仕上形状	天井	仕上下地	備考
1（生涯学習部門）	多目的ホール	居室	5900	t15天然木複合フローリング直張り GCα塗装品		ﾀｲﾙ集成材1-UC塗り		(腰壁部) t5.6音響調整ボード タテ張り		塩ビ製		t9.ODR		可動折畳みステージ(自動)、可動間仕切壁、(別途)可動観覧席(手動)
	(難)			t15ラワンベニヤT1下張り（直張り）+t10セルフレベリング+コンクリート金コテ		H100		遮音ｼｰﾄ+t12.5GB-R（防火区画面はGB-F）二重張り+木胴縁組+GW50		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		吸音パネル 450×450
								(腰上部) t6.0ｹｲ酸板目透し張り しっくい調塗装仕上						
								遮音ｼｰﾄ+t12.5GB-R（防火区画面はGB-F二重張り）						
	倉庫(1)	室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.5GB(NT)		
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	音楽室・控室	居室	3000	t2.0FS		ﾀｲﾙ集成材1-UC塗り		(腰壁部) t5.6音響調整ボード タテ張り		塩ビ製		t9.ODR		
	((不)) 告示ニ(4)			コンクリート金コテ		H100		遮音ｼｰﾄ+t12.5GB-R（防火区画面はGB-F）二重張り+木胴縁組+GW50		(目透かし)		t9.5GB(N)+LGS下地		
								(腰上部) EP-G塗装						
								遮音ｼｰﾄ+t12.5GB-R（防火区画面はGB-F）二重張り						
	学習室(1)	居室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り		塩ビ製		t9.ODR		
	(難)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		
	学習室(2)	居室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り		塩ビ製		t9.ODR		可動間仕切壁
	(難)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		
	和室	居室	2700	t55畳敷き、t15天然木フローリング 直張り		畳寄せ		しっくい調塗装仕上		塩ビ製		t9.ODR		量下炉スペース、床の間
	(難)		+300	t15ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔT1二重張り+鋼製床組+コンクリート金コテ		H55xW30		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		
	和室(踏込)	室	3000/2700	t2.0FS t15天然木フローリング 直張り		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.ODR		
	(不) 告示ニ(2)		±0/+300	コンクリート金コテ t15ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔT1二重張り+鋼製床組+コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB(N)+LGS下地		
	和室(押入)	室	2700	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.5GB(NT)		中段、枕棚
	(不) 告示ニ(2)		+300	t15ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔT1二重張り+鋼製床組+コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	和室(湯沸室)	室	2700	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.5GB(NT)		流し台(IH)W1650、吊戸棚、レンジフード
	(不) 告示ニ(2)		+300	t15ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔT1二重張り+鋼製床組+コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	工作室	居室	3000	t2.8HS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.ODR		流し台W3000、(別途)電気炉
	((不))			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB(N)+LGS下地		
	吉澤章記念室	居室	3500	t2.5FT		SUS		t6.0ダイノックシート四方巻込み不燃化粧板		塩ビ製		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		アトリエコーナー台、ショーケース
	((不)) 告示ニ(4)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB(N)二重張り+LGS下地		
	受付	居室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.ODR		
	((不)) 告示ニ(4)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		
1（子育て支援部門）	遊戯室（小学生）	居室	4500	コンクリート金ゴテ ※仕上別途工事（仕上厚20mm）		ﾀｲﾙ集成材1-UC塗り		ビニルクロス張り		塩ビ製		ビニルクロス張り		大型引戸、(別途)遊具
	(難)					H100		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R二重張り+LGS下地		(別途)t5.0特殊発泡シート：田島ルーフィング タスクレイシート50E同等品
	遊戯室（0~5歳）	居室	4500	コンクリート金ゴテ ※仕上別途工事（仕上厚20mm）		ﾀｲﾙ集成材1-UC塗り		ビニルクロス張り		塩ビ製		ビニルクロス張り		大型引戸、(別途)遊具
	(難)					H100		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R二重張り+LGS下地		
	保育室	居室	3000	t15天然木フローリング 直張り		VB		(腰壁部)t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り、 (腰上部) ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		大型引戸、収納棚、吊戸棚、(別途)ほふくスペース・えほんコーナー
	((不)) 告示ニ(4)			t15ラワンベニヤT1下張り（直張り）+t10セルフレベリング+コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB(N)二重張り+LGS下地		
	便所(保育室)	室	3000	t2.8HS		床材立上げ		t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り		塩ビ製		t9.5GB(NT)		幼児用浴槽、幼児用シャワーバン、汚物流し、洗濯機パン
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H100		t12.5GB-S二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	事務室	居室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り		塩ビ製		t9.ODR		流し台(IH)W1500、吊戸棚、レンジフード、吊カーテンレール+カーテン
	(難)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		受付カウンター
	更衣室(1)	室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.5GB(NT)		
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		
	相談室	居室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.ODR		
	((不)) 告示ニ(4)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB(N)+LGS下地		
	授乳室(1)	室	3000	t2.0FS		VB		t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り		塩ビ製		t9.5GB(NT)		流し台W900、吊戸棚、吊カーテンレール+カーテン
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-S二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	玄関	室	3000	t2.0FS		VB		(腰壁部)t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り、 (腰上部) ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.ODR		下足入れ、SUS床見切
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		
	倉庫(2)	室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.5GB(NT)		収納棚
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	収納	室	3000	t2.0FS		VB		ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.5GB(NT)		
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	便所(1)	室	2700	t2.8HS		床材立上げ		t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り		塩ビ製		t9.5GB(NT)		
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-S二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	便所(2)	室	2700	t2.8HS		床材立上げ		t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り		塩ビ製		t9.5GB(NT)		幼児用大便器、幼児用手すり、幼児用手洗器
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-S二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	便所(3)	室	2700	t2.8HS		床材立上げ		t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り		塩ビ製		t9.5GB(NT)		幼児用大便器、幼児用手すり、幼児用手洗器
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-S二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	便所(4)	室	2700	t2.8HS		床材立上げ		t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り		塩ビ製		t9.5GB(NT)		ベビーシート、ベビーチェア、L型手すり、はね上げ手すり、背もたれ
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-S二重張り+LGS下地		(目透かし)		LGS下地		
	廊下(1)	室	3000	t2.0FS		VB		(腰壁部)t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り、 (腰上部) ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)		塩ビ製		t9.ODR		手洗い・水飲み
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ		H60		t12.5GB-R二重張り+LGS下地		(目透かし)		t9.5GB-R+LGS下地		

【共通事項】 1.各種仕上材参考品番

（床）t2.0FT ：アルテミス（サンゲツ）程度　（壁）t5.6音響調整ボード ：オトカベ（ダイケン）程度
t2.8HS ：SKフロア（サンゲツ）程度　しっくい調塗装 ：アレスシックイ ゆず肌仕上（関西ペイント）程度
t2.5FT ：ワイドモルタル（サンゲツ）程度　t6.0ダイノックシート四方巻込み不燃化粧板 ：オルティノ（アイカ）程度
t4.0F0A ：リニア（サンゲツ）程度　t3.0特殊UV塗装不燃化粧板 ：セラール（アイカ）程度
吸音パネル ：ファソラパネル（ABC商会）程度

略号

□ 塗装工事

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
CL	クリアラッカー塗り	OS	油性ステイン塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	WP	木材保護塗料塗り
DP 1級	耐候性塗料塗り ふっ素樹脂	マスチックA	マスチック塗材塗りA種
DP 2級	耐候性塗料塗り シリコーン樹脂	マスチックB	マスチック塗材塗りB種
DP 3級	耐候性塗料塗り ポリウレタン樹脂	マスチックC	マスチック塗材塗りC種
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	OSUC	油性ポリウレタン樹脂塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	WOUC	水性ポリウレタン樹脂塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り		

□ 内装工事

FS	複層ビニル床シート	GB-R	石こうボード	GB-F	強化石こうボード	RW	ロックウール
HS	発泡複層ビニル床シート	GB-D	化粧石こうボード （ジプトーン）	ケイカル板	繊維混入けい酸カルシウム板	GW	グラスウール
KT	ビニル床タイル	PB	プラスターボード	ケイカル板(P)	吸音用穴あき繊維混入けい酸カルシウム板	LGS	軽量鉄骨下地
FT	複層ビニル床タイル	GB(N)	不燃精層石こうボード（化粧無し:下地張用）	PF板	ポリスチレンフォーム保温板	CB	コンクリートブロック
F0A	帯電防止ビニル床タイル			フレキ板	フレキシブルボード	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
VB	ビニル巾木	GB(NT)	不燃精層石こうボード（化粧有:トラバーチン模様）		ロックウール化粧吸音板（フラット）	W	木造下地
WB	木製巾木			DR(凸凹)	ロックウール化粧吸音板（凸凹）	M金コテ	モルタル金コテ押え
塩ビ	塩化ビニル製	GB(W)	化粧石こうボード （木目）	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天用フラット）	C金コテ	コンクリート金コテ押え
アルミ	アルミニュウム製	GB-S	シージング石こうボード	DR(軒天凸凹)	ロックウール化粧吸音板（軒天用凸凹）	C打放シ	コンクリート打放し

VP	硬質塩化ビニール管
HP	遠心力鉄筋コンクリート管
SGP	配管用鋼管
STK	構造用鋼管
GIP	亜鉛メッキ鋼管
SUS	ステンレスHL

工事名：（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名：内部仕上表(1)
No.：０３１２３
製図：R05.01
縮尺：A1:1/100 A3:1/200
図面No.：Ａ－０９

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 ８９４７９号
本社 栃木県宇都宮市大谷１丁目５番８号 TEL 028(622)8928

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 ２２３９２５号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 ２４９８０８号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

内部仕上表

階	室名 法規制	種別	天井高 床高	床 仕上 下地	巾木 仕上 高さ	壁 仕上 下地	廻縁 仕上 形状	天井 仕上 下地	備考
1 〈分庁機能部門〉	教育委員会事務局	居室	3000	t4.0 FOA	VB	ビニルクロス張り	塩ビ製	t9.0DR	
	(難)			OAフロア（H100）＋コンクリート金コテ ＋ 防塵塗装	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
	教育長室	居室	3000	t4.0 FOA	VB	t6.0ダイノックシート四方巻込み不燃化粧板	塩ビ製	t9.0DR	
	(難)			OAフロア（H100）＋コンクリート金コテ ＋ 防塵塗装	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
	教育研究所	居室	3000	t4.0 FOA	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.0DR	
	((不)) 告示ニ(4)			OAフロア（H100）＋コンクリート金コテ ＋ 防塵塗装	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB(N)LGS下地	
	相談室	居室	3000	t4.0 FOA	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.0DR	
	((不)) 告示ニ(4)			OAフロア（H100）＋コンクリート金コテ ＋ 防塵塗装	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB(N)+LGS下地	
	更衣室(2)	室	3000	t2.0FS	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.5GB(NT)	吊カーテンレール+カーテン
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
	更衣室(3)	室	3000	t2.0FS	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.5GB(NT)	吊カーテンレール+カーテン
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
	湯沸室	室	3000	t2.0FS	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)、（流し台前）t6.0化粧ケイカル板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	流し台W1500（IH）
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
	サーバー室	室	3000	t4.0 FOA	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.5GB(NT)	
	(不) 告示ニ(2)			OAフロア（H100）＋コンクリート金コテ ＋ 防塵塗装	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
	書庫	室	3000	t2.0FS	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.5GB(NT)	(別途)レール式移動書架
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	倉庫(3)	室	3000	t2.0FS	VB	ビニルクロス張り(防火種別：1-4・不燃下地)	塩ビ製	t9.5GB(NT)	
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	廊下(2)	室	3000	t4.0 FOA	VB	ビニルクロス張り	塩ビ製	t9.0DR	
	(難)			OAフロア（H100）＋コンクリート金コテ ＋ 防塵塗装	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R+LGS下地	
1 〈共用部〉	風除室(1)	室	2700	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	アルミ製	t9.5GB-D	定礎石(黒御影石 H400×W600×D25)
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	風除室(2)	室	2700	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	アルミ製	t9.5GB-D	
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	風除室(3)	室	2700	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	アルミ製	t9.5GB-D	
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	にぎわいアトリウム	居室	3500	t2.5FT	SUS	EP-G 塗装	塩ビ製	ビニルクロス張り	
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R二重張り+LGS下地	
	フリースペース	居室	3500	t2.5FT	SUS	EP-G 塗装	塩ビ製	ビニルクロス張り	カウンター
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R二重張り+LGS下地	(別途)自販機・ゴミ箱
	ふれあいラウンジ	居室	3500	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	塩ビ製	ビニルクロス張り	カウンター、手洗い、化粧鏡
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R二重張り+LGS下地	
	自販機コーナー	室	3500	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	塩ビ製	ビニルクロス張り	(別途)自販機・ゴミ箱
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R二重張り+LGS下地	
	男子便所	室	2700	t2.8HS	床材立上げ	t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	小便器用手すり、L型手すり、ベビーチェア、手洗い用手すり、こども用小便器
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-S二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	汚垂石
	女子便所	室	2700	t2.8HS	床材立上げ	t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	L型手すり、ベビーチェア、手洗い用手すり
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-S二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	だれでもトイレ(1)	室	2700	t2.8HS	VB	t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	オストメイト、ベビーシート、ベビーチェア、L型手すり、はね上げ手すり、
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H300	t12.5GB-S二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	背もたれ、フィッティングボード、化粧鏡
	だれでもトイレ(2)	室	2700	t2.8HS	VB	t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	オストメイト、ベビーシート、ベビーチェア、L型手すり、はね上げ手すり、
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H300	t12.5GB-S二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	背もたれ、フィッティングボード、化粧鏡
	授乳室(2)	室	2700	t2.8HS	床材立上げ	t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	流し台W900
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-S二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	SK	室	2700	t2.8HS	VB	t3.0特殊UV塗装不燃化粧板張り	塩ビ製	t9.5GB(NT)	掃除流し
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-S二重張り+LGS下地	（目透かし）	LGS下地	
	廊下(3)	室	3800	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	塩ビ製	ビニルクロス張	視覚障害者誘導SUS鋲(点状・線状)
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R二重張り+LGS下地	
	廊下(4)	室	3500	t2.0FS	SUS	EP-G 塗装	塩ビ製	ビニルクロス張	視覚障害者誘導SUS鋲(点状・線状)
	(難)			コンクリート金コテ	H60	t12.5GB-R二重張り+LGS下地	（目透かし）	t9.5GB-R二重張り+LGS下地	
	機械室	室	直天	t2.0FS	床材立上げ	t25 グラスウールボード張り 化粧ピン止め	―	デッキプレート裏面（断熱材）現し	
	(不) 告示ニ(2)			コンクリート金コテ	H100	t12.5GB-R二重張り+LGS下地			

【共通事項】 1.各種仕上材参考品番

（床）t2.0FT ：アルテミス（サンゲツ）程度　（壁）t5.6音響調整ボード ：オトカベ（ダイケン）程度

t2.8HS ：SKフロア（サンゲツ）程度　しっくい類塗装 ：アレスシックイ ゆず肌仕上（関西ペイント）程度

t2.5FT ：ワイドモルタル（サンゲツ）程度　t6.0ダイノックシート四方巻込み不燃化粧板 ：オルティノ（アイカ）程度

t4.0FOA ：リニア（サンゲツ）程度　t3.0特殊UV塗装不燃化粧板 ：セラール（アイカ）程度

吸音パネル ：ファソラパネル（ABC商会）程度

略号

□ 塗装工事

SOP	合成樹脂調合ペイント塗り		UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
CL	クリアラッカー塗り		OS	油性ステイン塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		WP	木材保護塗料塗り
DP 1級	耐候性塗料塗り ふっ素樹脂		マスチックA	マスチック塗材塗りA種
DP 2級	耐候性塗料塗り シリコーン樹脂		マスチックB	マスチック塗材塗りB種
DP 3級	耐候性塗料塗り ポリウレタン樹脂		マスチックC	マスチック塗材塗りC種
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		OSUC	油性ポリウレタン樹脂塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り		WOUC	水性ポリウレタン樹脂塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り			

□ 内装工事

FS	複層ビニル床シート	GB-R	石こうボード	GB-F	強化石こうボード	RW	ロックウール	VP	硬質塩化ビニール管
HS	発泡複層ビニル床シート	GB-D	化粧石こうボード （ジプトーン）	ケイカル板	繊維混入けい酸カルシウム板	GW	グラスウール	HP	遠心力鉄筋コンクリート管
KT	ビニル床タイル	PB	プラスターボード	ケイカル板(P)	吸音用穴あき繊維混入けい酸カルシウム板	LGS	軽量鉄骨下地	SGP	配管用鋼管
FT	複層ビニル床タイル	GB(N)	不燃積層石こうボード（化粧無し:下地張用）	PF板	ポリスチレンフォーム保温板	CB	コンクリートブロック	STK	構造用鋼管
FOA	帯電防止ビニル床タイル			フレキ板	フレキシブルボード	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GIP	亜鉛メッキ鋼管
VB	ビニル巾木	GB(NT)	不燃積層石こうボード（化粧有:トラバーチン模様）		ロックウール化粧吸音板（フラット）	W	木造下地	SUS	ステンレスHL
WB	木製巾木			DR(凸凹)	ロックウール化粧吸音板（凸凹）	M金コテ	モルタル金コテ押え		
塩ビ	塩化ビニル製	GB(W)	化粧石こうボード （木目）	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天用フラット）	C金コテ	コンクリート金コテ押え		
アルミ	アルミニウム製	GB-S	シージング石こうボード	DR(軒天凸凹)	ロックウール化粧吸音板（軒天用凸凹）	C打放シ	コンクリート打放し		

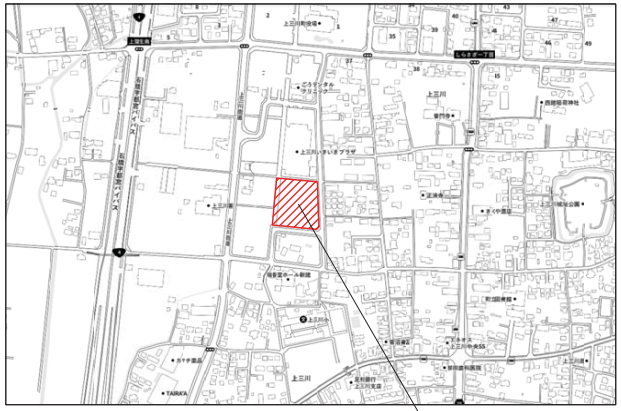
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名 内部仕上表(2)

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928

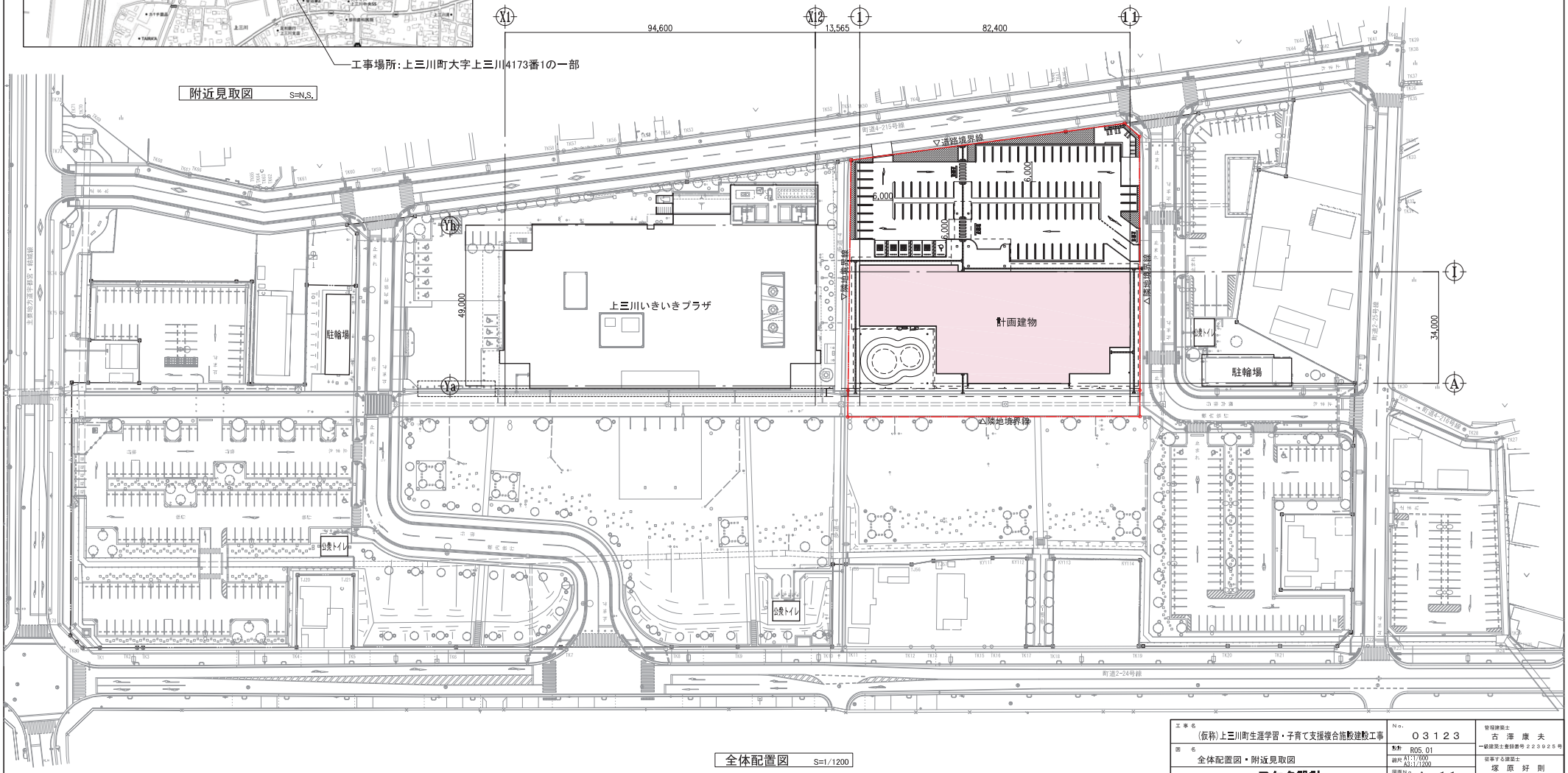
No. 03123
製図 R05.01
縮尺 A1:1/100 A3:1/200
図面No. A－10
原 後 図

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



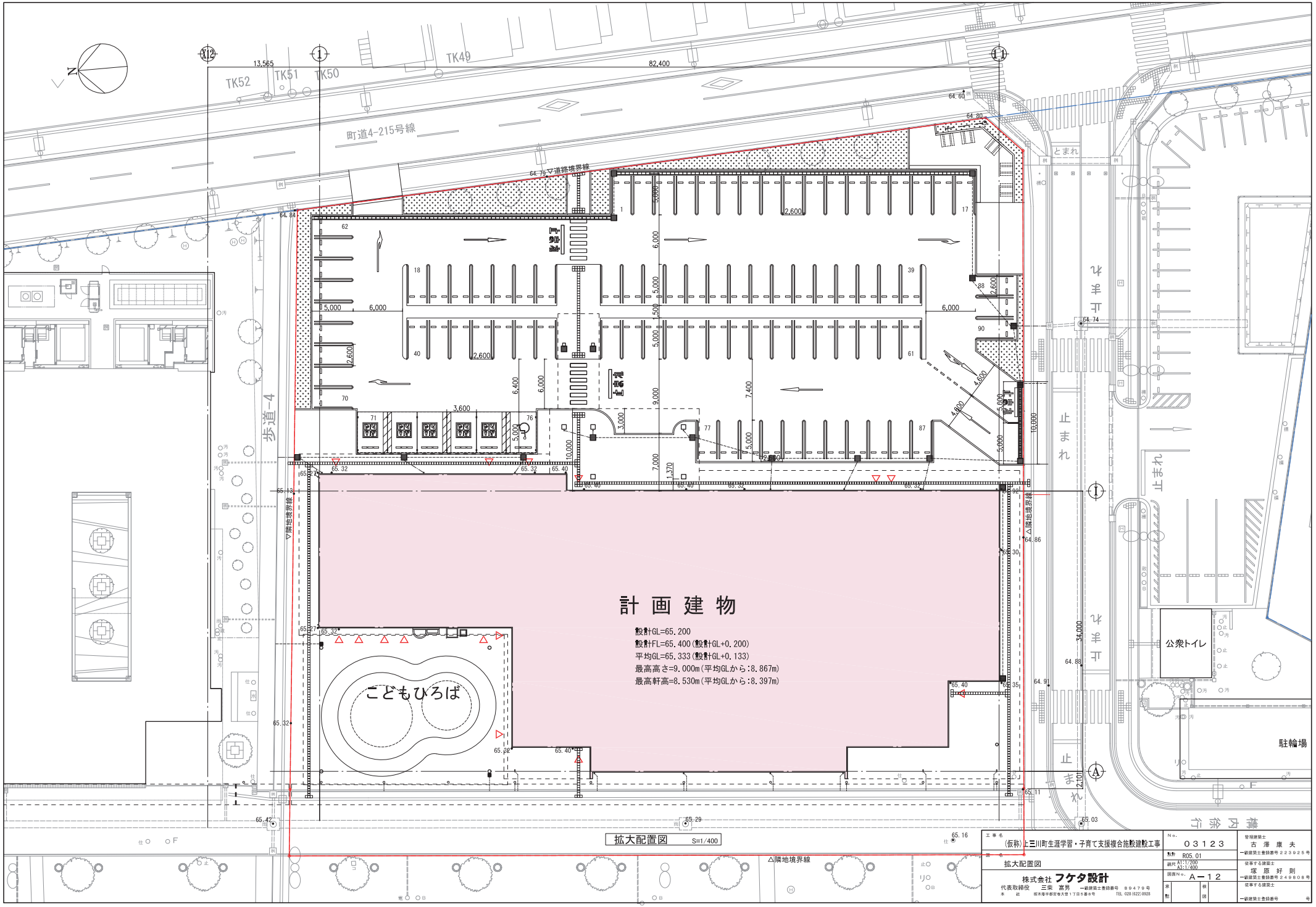
工事場所：上三川町大字上三川4173番1の一部

附近見取図　S=N.S.

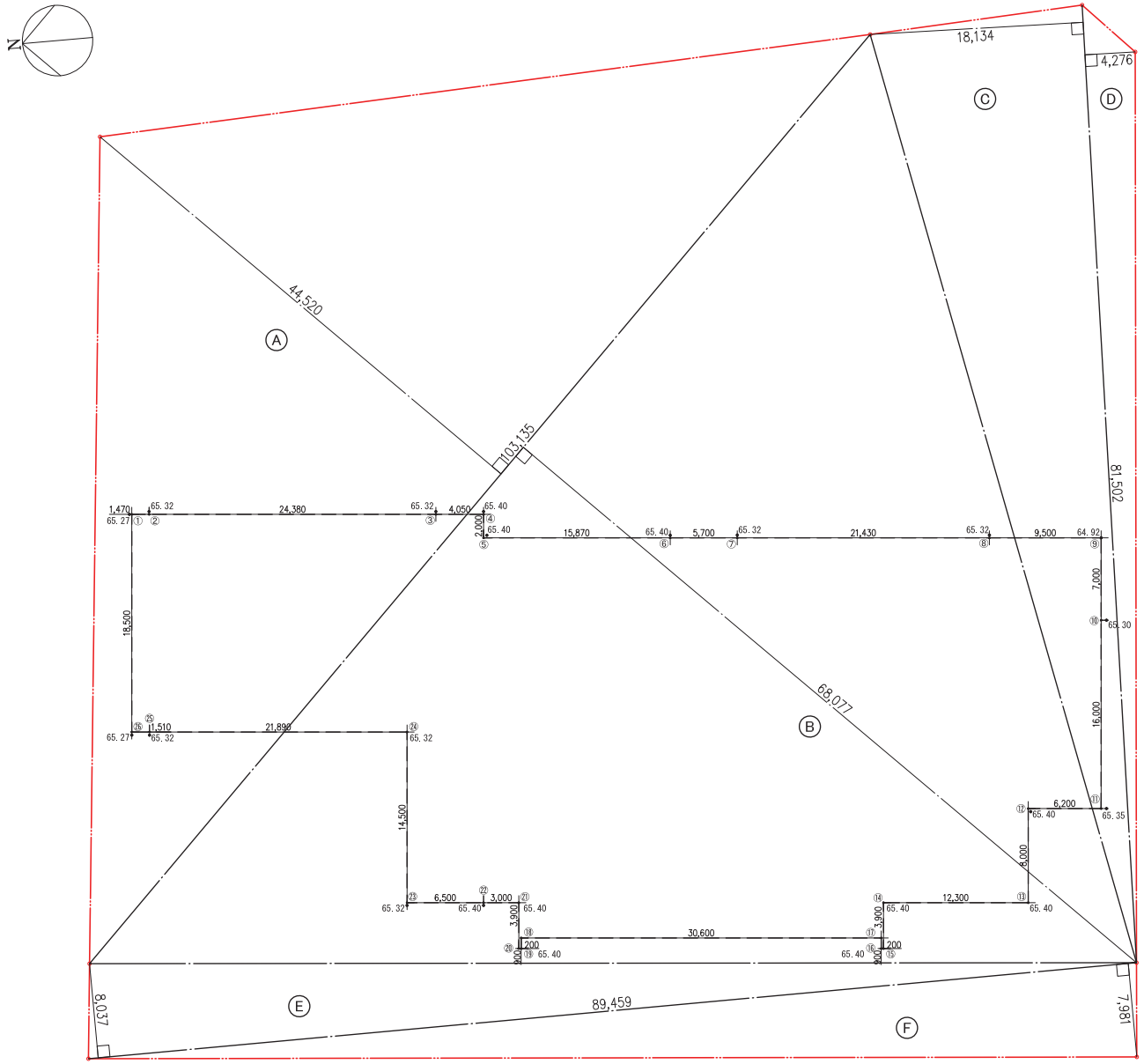


全体配置図　S=1/1200

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	全体配置図・附近見取図
株式会社 フケタ設計	代表取締役　三宗　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号 本社　栃木県宇都宮市大宮１丁目５番８号　TEL 028(622)8928
No.	０３１２３
製図	R05. 01
縮尺	A1:1/600 A3:1/1200
図面No.	Ａ－１１
原図	複図
管理建築士	古　澤　康　夫 一級建築士登録番号　２２３９２５号
従事する建築士	塚　原　好　則 一級建築士登録番号　２４９８０８号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号



工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	拡大配置図
株式会社 フケタ設計	代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 59479号
本社	栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面No.	A-12
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号



敷地面積求積図 S=1/400

（㎡）

	番号	底辺	高さ	1 / 2		合計面積
敷地面積	A	103.135	44.520	0.500	2295.7851	7436.053
	B	103.135	68.077	0.500	3510.5607	
	C	81.502	18.134	0.500	738.9786	
	D	81.502	4.276	0.500	174.2513	
	E	89.459	8.037	0.500	359.4910	
	F	89.459	7.981	0.500	356.9861	

(m)

測点	地盤高【h】	$h_{(n)}+h_{(n+1)}$【H】	距離【L】	H x 1/2 x L	平均地盤面
1	65.270				
2	65.320	130.590	1.470	95.983	
3	65.320	130.640	24.380	1592.501	
4	65.400	130.720	4.050	264.708	
5	65.400	130.800	2.000	130.800	
6	65.400	130.800	15.870	1037.898	
7	65.320	130.720	5.700	372.552	
8	65.320	130.640	21.430	1399.807	
9	64.920	130.240	9.500	618.640	
10	65.300	130.220	7.000	455.770	Σ(Hx1/2xL)
11	65.350	130.650	16.000	1045.200	/ΣL
12	65.400	130.750	6.200	405.325	↓
13	65.400	130.800	8.000	523.200	
14	65.400	130.800	12.300	804.420	
15	65.400	130.800	3.900	255.060	
16	65.400	130.800	0.200	13.080	
17	65.400	130.800	0.900	58.860	
18	65.400	130.800	30.600	2001.240	
19	65.400	130.800	0.900	58.860	
20	65.400	130.800	0.200	13.080	
21	65.400	130.800	3.900	255.060	
22	65.400	130.800	3.000	196.200	
23	65.320	130.720	6.500	424.840	
24	65.320	130.640	14.500	947.140	
25	65.320	130.640	21.890	1429.854	
26	65.270	130.590	1.510	98.595	
1	65.270	130.540	18.500	1207.495	
合計			240.400	15706.168	65.333

（設計GL：65.200）

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	敷地求積図・平均地盤面算定図	製図	R05. 01
		縮尺	A1:1/200 A3:1/400
		図面No.	A－13
株式会社 フケタ設計		原図	複図
代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号			
本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928			

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号

従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号

従事する建築士 一級建築士登録番号 号

◎計画敷地・計画建物概要

計画地	上三川町大字上三川4173番1の一部	建設可能建築面積	4,461.63㎡
用途地域	指定無し（市街化調整区域）	建設可能延べ面積	14,872.10㎡
防火地域	指定無し	用途	複合用途
その他の地域	法22条地域	構造形式	鉄骨造
日影規制	測定水平面：GL+4m、 5m：5時間、10m：3時間 （最高高さ10m超）	耐火・準耐火	耐火建築物
		階数	地上1階建て
敷地面積	7,436.05㎡	建物高さ	最高高さ9.000m
指定建蔽率	60%	建築面積	3,528.51㎡
指定容積率	200%	延べ面積	2,822.96㎡

◎延べ面積表

（m、㎡）

建物概要	階	記号	X	Y	X＊Y	面積
計画建物1（複合施設）	1	あ	6.200	23.000	142.600	142.600
		い	52.800	31.000	1636.800	1636.800
		う	31.000	3.000	93.000	93.000
		え	6.500	2.000	13.000	13.000
		お	23.400	18.500	432.900	432.900
	1階床面積					2318.30
建物概要	階	記号	X	Y	X＊Y	面積
計画建物2（こども広場）	1	o	23.450	16.957	397.6417	397.6417
	1階床面積					397.642
建物概要	階	記号	X	Y	X＊Y	面積
計画建物3（カーポート）	1	p	21.700	4.932	107.0244	107.0244
	1階床面積					107.02

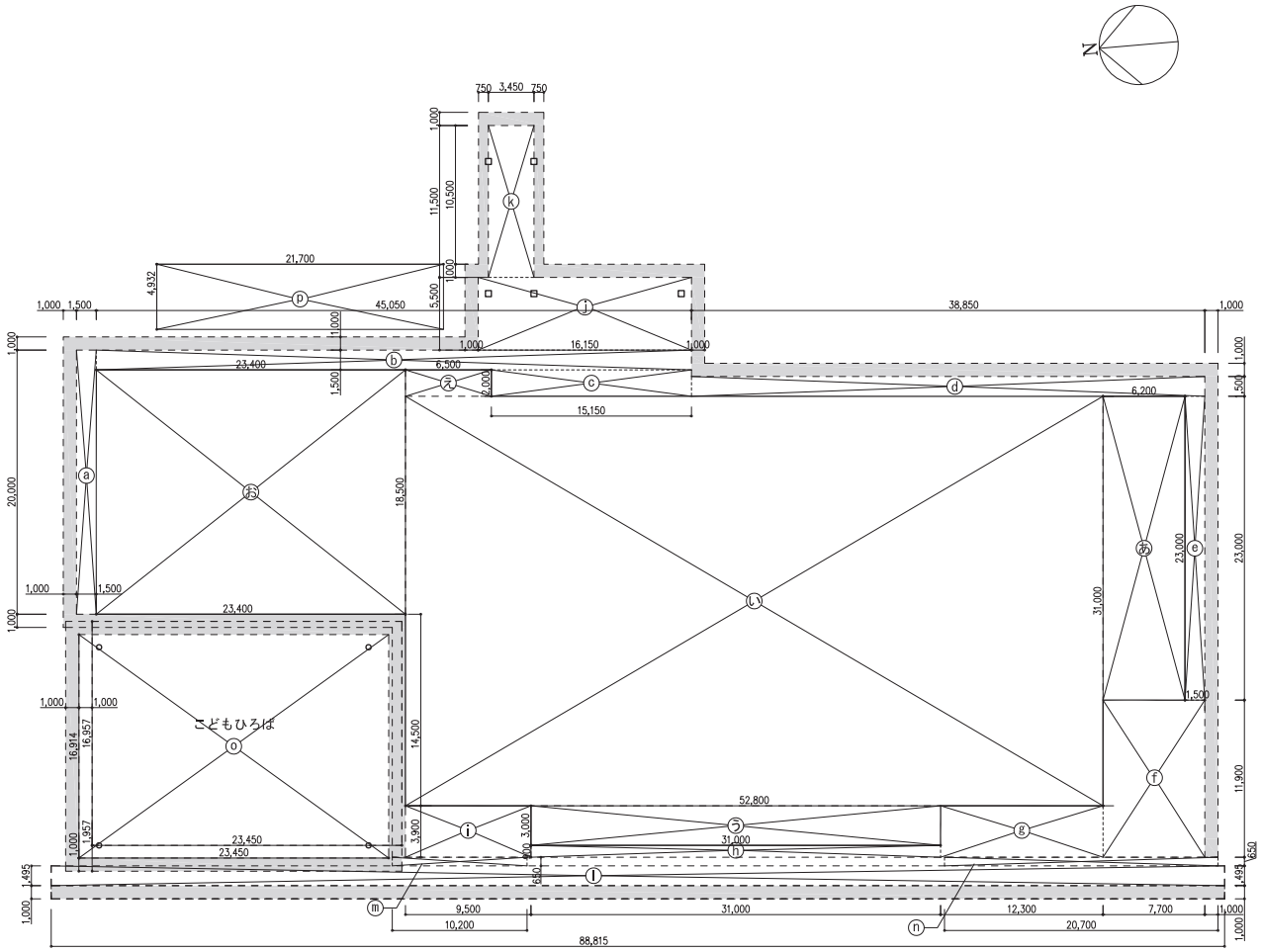
建物概要	複合施設	こども広場	カーポート	面　積
床面積	2318.30	397.64	107.02	2822.960
	延べ床面積			2822.96

◎建築面積表

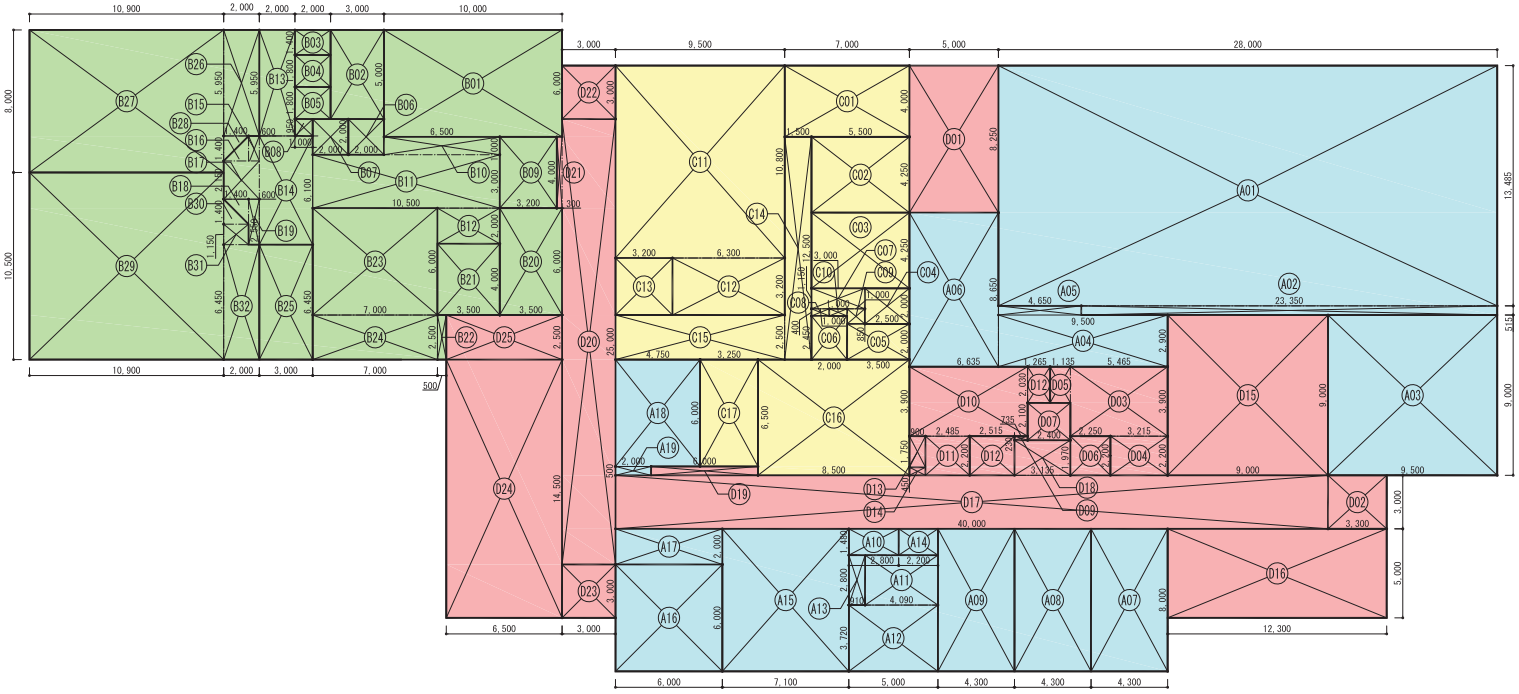
（m、㎡）

建物概要	階	記号	X	Y	X＊Y	面積
計画建物1（複合施設）	1	複合施設　1階床面積				2318.300
		a	1.500	20.000	30.000	30.000
		b	45.050	1.500	67.575	67.575
		c	15.150	2.000	30.300	30.300
		d	38.850	1.500	58.275	58.275
		e	1.500	23.000	34.500	34.500
		f	7.700	11.900	91.630	91.630
		g	12.300	3.900	47.970	47.970
		h	31.000	0.900	27.900	27.900
		i	9.500	3.900	37.050	37.050
		j	16.150	5.500	88.825	88.825
		k	3.450	11.500	39.675	39.675
		l	88.815	1.495	132.778	132.778
		m	10.200	0.650	6.630	6.630
		n	20.700	0.650	13.455	13.455
	合計					3024.86
建物概要	階	記号	X	Y	X＊Y	面積
計画建物2（こども広場）	1	o	23.450	16.914	396.6333	396.6333
	合計					396.63
建物概要	階	記号	X	Y	X＊Y	面積
計画建物3（カーポート）	1	p	21.700	4.932	107.0244	107.0244
	合計					107.02

建物概要	複合施設	こども広場	カーポート	面　積
建築面積	3024.86	396.63	107.02	3528.510
	建築面積			3528.51



工事名：（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士：古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名：建物面積表	製図：R05.01 縮尺：A1:1/200 A3:1/400	従事する建築士：塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三栄 富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No. A－14 原図：　複図：	従事する建築士： 一級建築士登録番号　号



(㎡)

	用途	床面積
計画建物	複合用途	2318.30
生涯学習部門	集会場	825.80
子育て支援部門	児童福祉施設等	535.70
分庁機能部門	事務所	347.00
共用部	集会場	609.80

各室求積図　S=1/300

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 各室面積表(1)		製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三宮 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL.028(622)8928		縮尺 A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. A−15	
		承認	検図

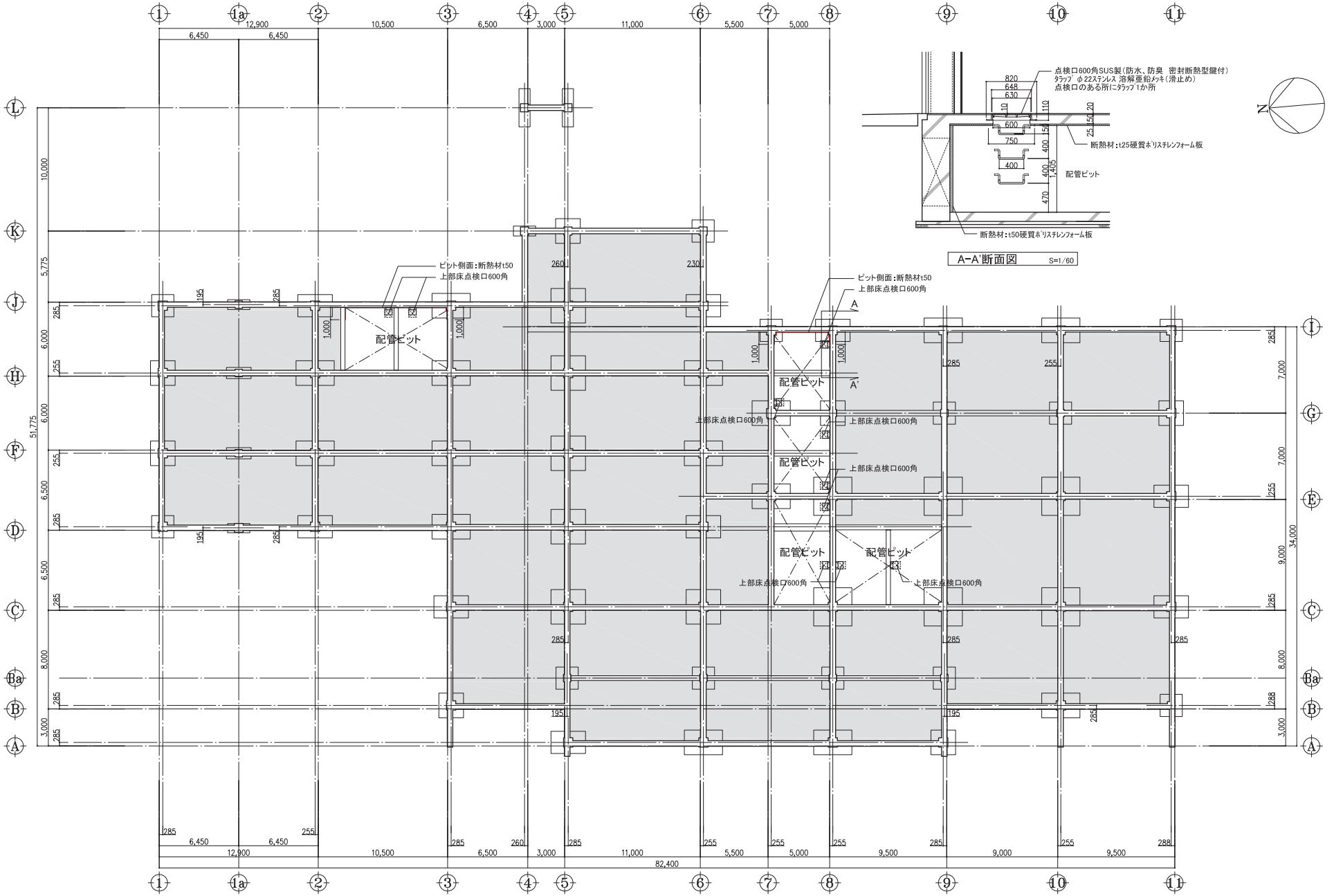
◎各室面積表

	番号	室名	X	Y		X＊Y	各室面積	合計面積
生涯学習部門	A-01	多目的ホール	28.000	13.485		377.580	389.605	825.800
	A-02		23.350	0.515		12.025		
	A-03	音楽室・控室	9.500	9.000		85.500	85.500	
	A-04	倉庫(1)	9.500	2.900		27.550	73.195	
	A-05		4.650	0.515		2.395		
	A-06		5.000	8.650		43.250		
	A-07	学習室(1)	4.300	8.000		34.400	34.400	
	A-08	学習室(2)	4.300	8.000		34.400	68.800	
	A-09		4.300	8.000		34.400		
	A-10	和室(踏込)	2.800	1.480		4.144	4.144	
	A-11	和室	4.090	2.800		11.452	30.052	
	A-12		5.000	3.720		18.600		
	A-13	押入	0.910	2.800		2.548	2.548	
	A-14	湯沸室	2.200	1.480		3.256	3.256	
	A-15	工作室	7.100	8.000		56.800	56.800	
	A-16	吉澤章記念室	6.000	6.000		36.000	36.000	
	A-17	体験コーナー	6.000	2.000		12.000	12.000	
	A-18	受付	4.750	6.000		28.500	29.500	
	A-19		2.000	0.500		1.000		

	番号	室名	X	Y		X＊Y	各室面積	合計面積
共用部	D-01	機械室	5.000	8.250		41.250	41.250	609.80
	D-02	風除室(3)	3.300	3.000		9.900	9.900	
	D-03	男子便所	5.465	3.900		21.314	30.691	
	D-04		3.215	2.200		7.073		
	D-05		1.135	2.030		2.304		
	D-06	だれでもトイレ(2)	2.250	2.200		4.950	4.950	
	D-07	授乳室(2)	2.400	2.100		5.040	5.040	
	D-08	PS(1)	0.735	0.230		0.169	0.169	
	D-09	女子便所	6.635	3.900		25.877	33.911	
	D-10		1.265	2.030		2.568		
	D-11		2.485	2.200		5.467		
	D-12	だれでもトイレ(1)	2.515	2.200		5.533	5.533	
	D-13	SK	0.900	1.750		1.575	1.575	
	D-14	PS(2)	0.900	0.450		0.405	0.405	
	D-15	にぎわいアトリウム	9.000	9.000		81.000	81.000	
	D-16	フリースペース	12.300	5.000		61.500	61.500	
	D-17	廊下(3)	40.000	3.000		120.000	126.176	
	D-18		3.135	1.970		6.176		
	D-19	ウォーカブル情報コーナー	6.000	0.500		3.000	3.000	
	D-20	廊下(4)	3.000	25.000		75.000	76.200	
	D-21		0.300	4.000		1.200		
	D-22	風除室(1)	3.000	3.000		9.000	9.000	
	D-23	風除室(2)	3.000	3.000		9.000	9.000	
	D-24	ふれあいラウンジ	6.500	14.500		94.250	94.250	
	D-25	自販機コーナー	6.500	2.500		16.250	16.250	
合計						825.80㎡ + 535.70㎡ + 347.00㎡ + 609.80㎡		2318.30㎡

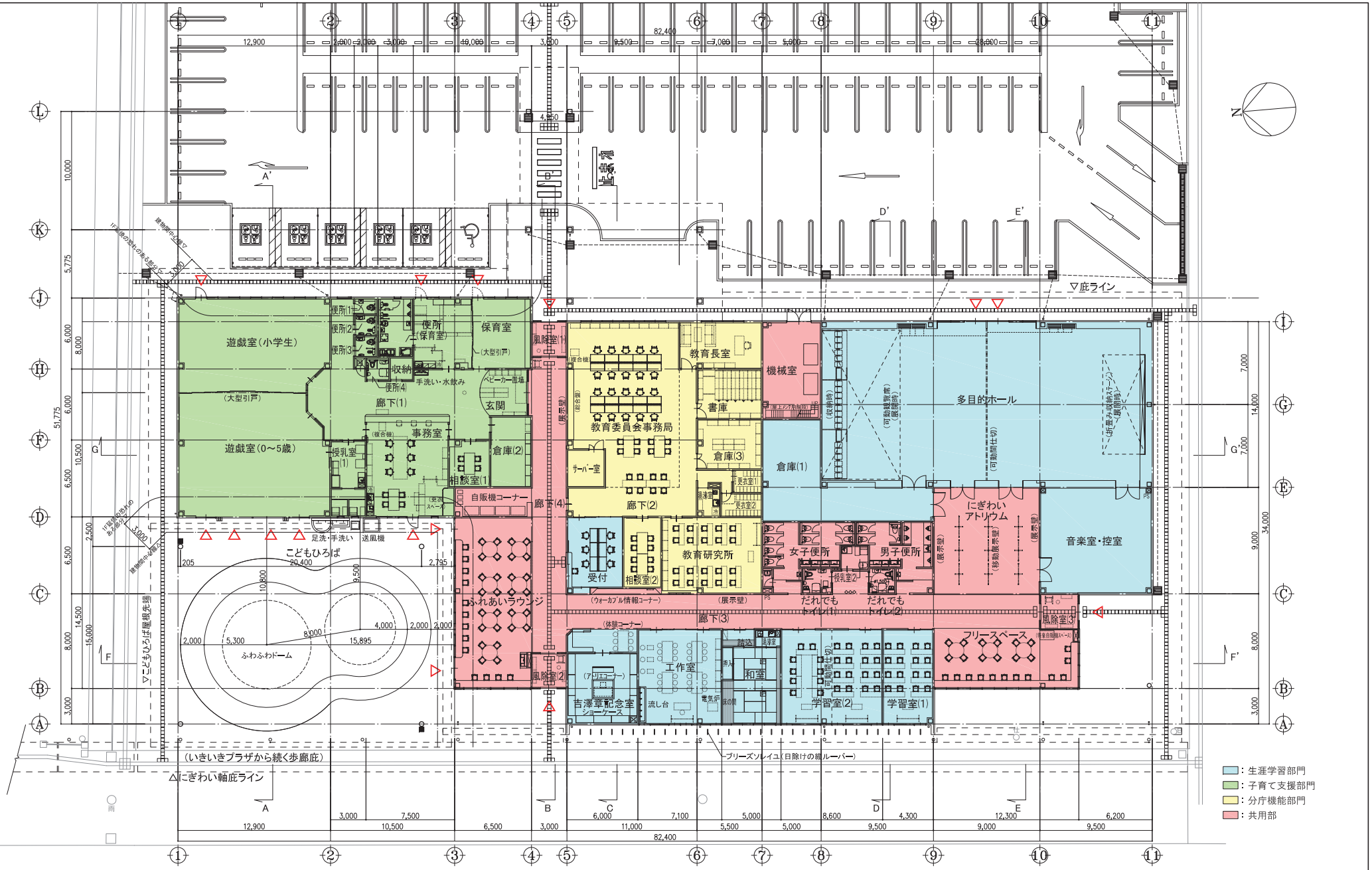
	番号	室名	X	Y		X＊Y	各室面積	合計面積
子育て支援部門	B-01	保育室	10.000	6.000		60.000	60.000	535.700
	B-02	便所(保育室)	3.000	5.000		15.000	15.000	
	B-03	便所(1)	2.000	1.400		2.800	2.800	
	B-04	便所(2)	2.000	1.800		3.600	3.600	
	B-05	便所(3)	2.000	1.800		3.600	3.600	
	B-06	収納	2.000	2.000		4.000	4.000	
	B-07	便所(4)	2.000	2.000		4.000	4.000	
	B-08	PS	1.000	0.950		0.950	0.950	
	B-09	玄関	3.200	4.000		12.800	12.800	
	B-10	廊下(1)	6.500	1.000		6.500	83.830	
	B-11		10.500	3.000		31.500		
	B-12		3.500	2.000		7.000		
	B-13		2.000	5.950		11.900		
	B-14		3.000	6.100		18.300		
	B-15		0.600	1.400		0.840		
	B-16		1.400	1.400	1/2	0.980		
	B-17		2.000	2.150		4.300		
	B-18		1.400	1.400	1/2	0.980		
	B-19		0.600	2.550		1.530		
	B-20	倉庫(2)	3.500	6.000		21.000	21.000	
	B-21	相談室	3.500	4.000		14.000	14.000	
	B-22	事務室	0.500	2.500		1.250	60.750	
	B-23		7.000	6.000		42.000		
	B-24		7.000	2.500		17.500		
	B-25	授乳室(1)	3.000	6.450		19.350	19.350	
	B-26	遊戯室(小学生)	2.000	5.950		11.900	100.080	
	B-27		10.900	8.000		87.200		
	B-28		1.400	1.400	1/2	0.980		
	B-29	遊戯室(0～5歳)	10.900	10.500		114.450	129.940	
	B-30		1.400	1.400	1/2	0.980		
	B-31		1.400	1.150		1.610		
	B-32		2.000	6.450		12.900		
分庁機能部門	C-01	教育長室	7.000	4.000		28.000	28.000	347.000
	C-02	書庫	5.500	4.250		23.375	23.375	
	C-03	倉庫(3)	5.500	4.250		23.375	23.375	
	C-04	更衣室(1)	2.500	2.000		5.000	5.000	
	C-05	更衣室(2)	3.500	2.000		7.000	7.000	
	C-06	湯沸室	2.000	2.450		4.900	4.900	
	C-07	更衣室前廊下	3.000	1.150		3.450	4.700	
	C-08		1.000	0.400		0.400		
	C-09		1.000	0.850		0.850		
	C-10	PS	1.000	0.400		0.400	0.400	
	C-11	教育委員会事務局	9.500	10.800		102.600	122.760	
	C-12		6.300	3.200		20.160		
	C-13	サーバー室	3.200	3.200		10.240	10.240	
	C-14	廊下(2)	1.500	12.500		18.750	42.500	
	C-15		9.500	2.500		23.750		
	C-16	教育研究所	8.500	6.500		55.250	55.250	
	C-17	相談室	3.250	6.000		19.500	19.500	

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	各室面積表(2)	製図	R05.01
		縮尺	A1:N.S A3:N.S
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	図面No.	A－16
		承認	検図
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号		
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号		
従事する建築士	一級建築士登録番号 号		



ピット平面図　S=1/300

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	ピット平面図	設計	R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
		縮尺	A1:1/150 A3:1/300	
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928		図面No.	A-17	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		原図	複図	

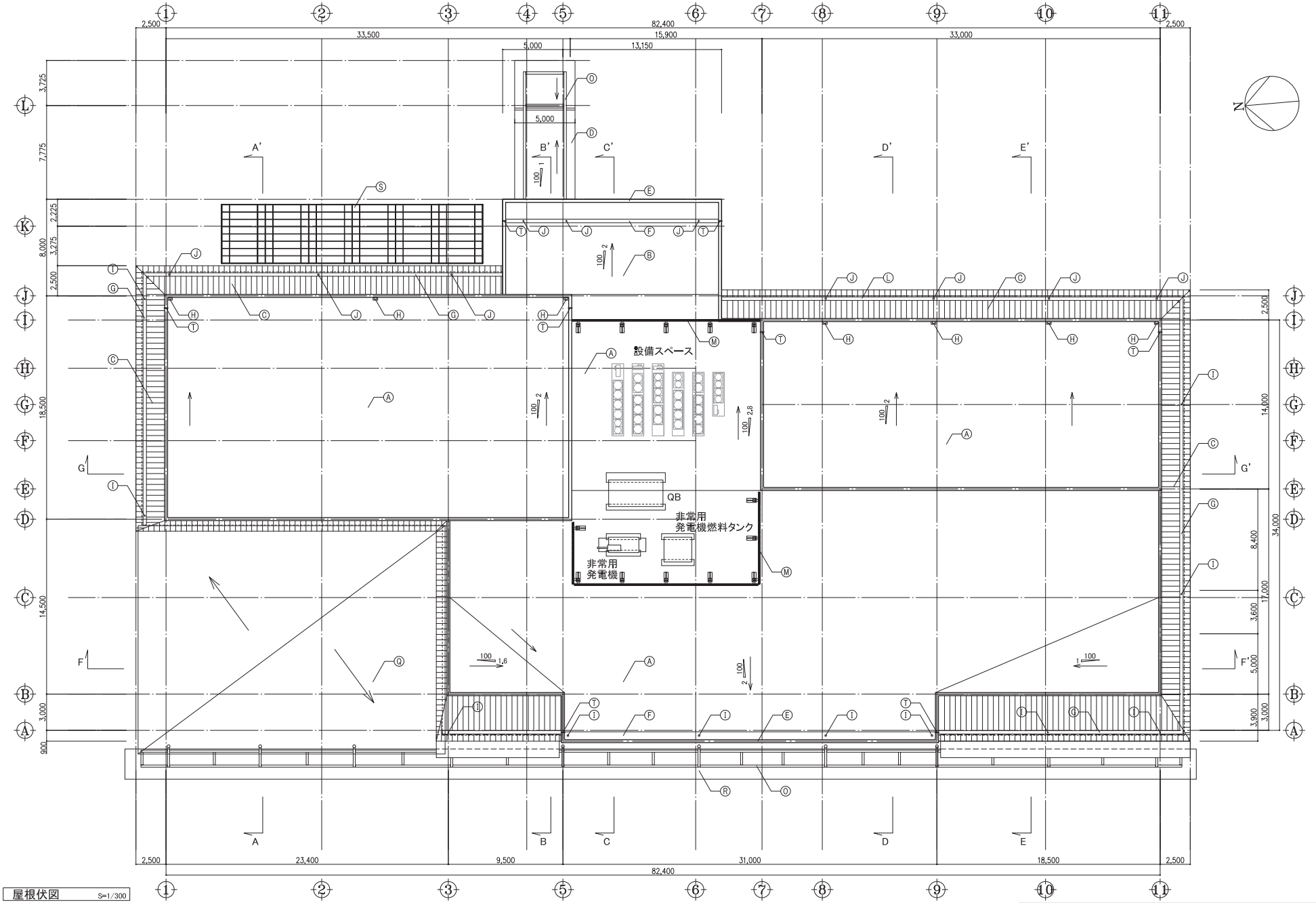


1階平面図　S=1/300

A
D 展開方向 B
C

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	1階平面図	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/150 A3:1/300
		図面No.	A－18
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928		原図	複図

管理建築士	古澤　康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号



屋根伏図 S=1/300

凡例

Ⓐ	屋根：塩ﾋﾞ樹脂系防水ｼｰﾄt2.0(軽歩行用)	Ⓖ	内樋：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4加工	Ⓜ	目隠しﾙｰﾊﾞｰ：ｱﾙﾐ既製品	Ⓢ	ｶｰﾎﾟｰﾄ屋根(熱線遮断ﾎﾟﾘｶ板t1.8)
Ⓑ	屋根：塩ﾋﾞ樹脂系防水ｼｰﾄt2.0(軽歩行用)+硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt30	Ⓗ	落し口：鋳鉄製 横引きドレンΦ75	Ⓝ		Ⓣ	ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管：SUS既製品60.5φ
Ⓒ	屋根：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 縦葺き(水勾配:4/100程度)	Ⓘ	落し口：SUS製 自在ドレンΦ89	Ⓞ	鉄骨現し：溶融亜鉛ﾒｯｷの上、耐候性塗料塗り (ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂)		
Ⓓ	屋根：ｱﾙﾐﾊﾆｶﾑﾊﾟﾈﾙt100(水勾配:1/100)	Ⓙ	落し口：SUS製 自在ドレンΦ114	Ⓟ	点検用ﾗｯﾌﾟ	備考欄	
Ⓔ	笠木：ｱﾙﾐ製既製品 W300 電解着色(ｽﾃﾝｶﾗｰ)	Ⓚ	落し口：SUS製 自在ドレンΦ140	Ⓠ	こどもひろば屋根：膜屋根		
Ⓕ	内樋：塩ﾋﾞ樹脂系防水ｼｰﾄt2.0	Ⓛ		Ⓡ	にぎわい軸通路屋根：ｱﾙﾐﾊﾆｶﾑﾊﾟﾈﾙt100,t150(水勾配:1/100)		

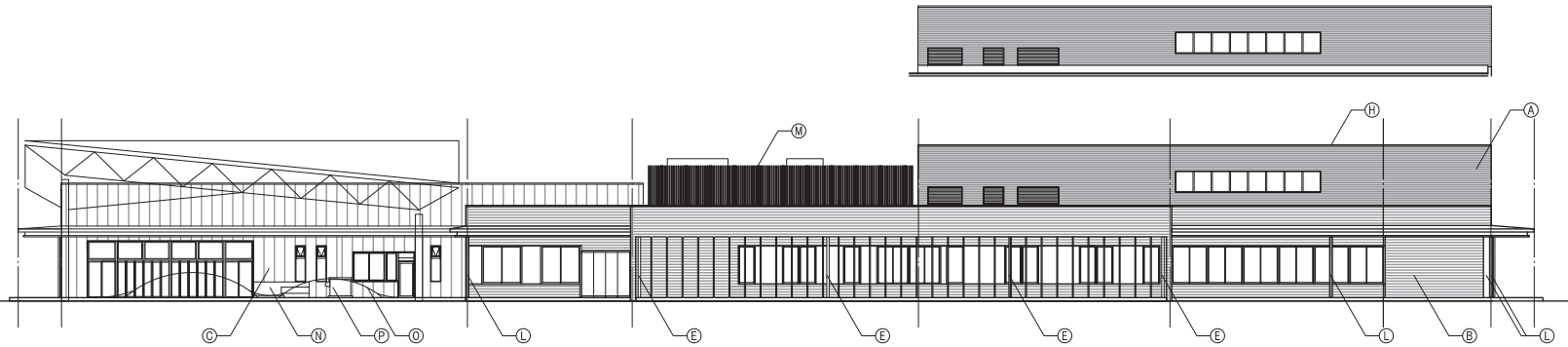
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名 屋根伏図

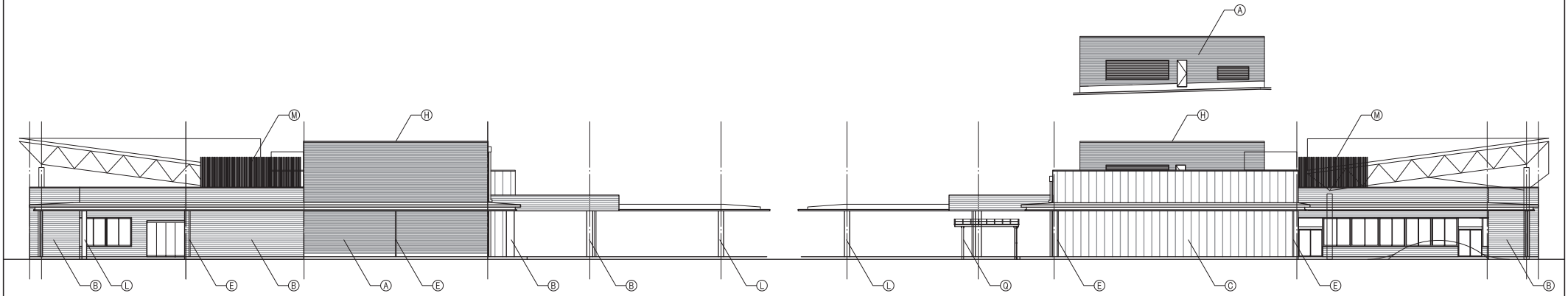
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928

No. 03123
設計 R05.01
縮尺 A1:1/150 A3:1/300
図面No. A－19
原図 検図

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

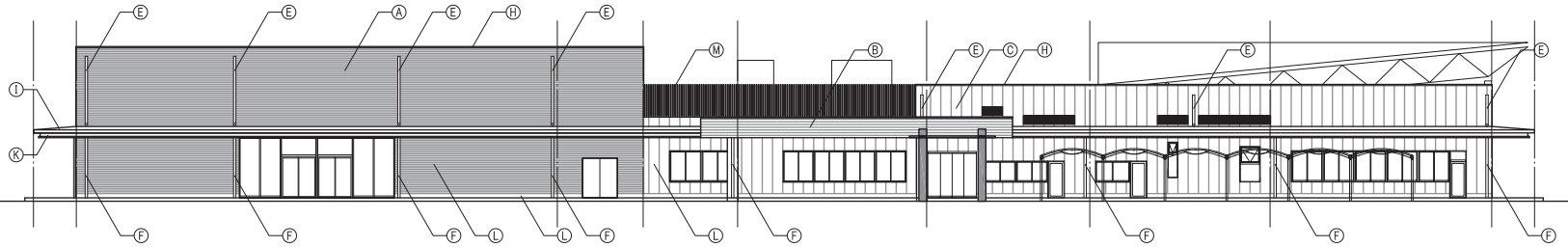


西側立面図　S=1/300



南側立面図　S=1/300

北側立面図　S=1/300



東側立面図　S=1/300

凡例

Ⓐ	外壁：t60押出成形ｾﾒﾝﾄ板 横張(ﾘﾌﾞ(ｿﾘｯﾄﾞ)) 環境型無機塗料	Ⓖ		Ⓜ	目隠しﾙｰﾊﾞｰ：ｱﾙﾐ既製品
Ⓑ	外壁：t60押出成形ｾﾒﾝﾄ板 横張(ﾘﾌﾞ(ﾊｲﾚｰﾝ)) 環境型無機塗料	Ⓗ	笠木：ｱﾙﾐ既製品W300	Ⓝ	足洗い・手洗い
Ⓒ	外壁：t60押出成形ｾﾒﾝﾄ板 縦張(ﾌﾗｯﾄ) 環境型無機塗料	Ⓘ	屋根：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 縦葺き	Ⓞ	ふわふわﾄﾞｰﾑ
Ⓓ	布：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し撥水剤塗布仕上	Ⓙ	屋根：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	Ⓟ	ふわふわﾄﾞｰﾑ送風機
Ⓔ	竪樋：ｱﾙﾐ既製品Φ89	Ⓚ	幕板：ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板加工	Ⓠ	ｶｰﾎﾟｰﾄ：ｱﾙﾐ合金造
Ⓕ	竪樋：ｱﾙﾐ既製品Φ114	Ⓛ	柱：耐火塗料仕上		

備考欄

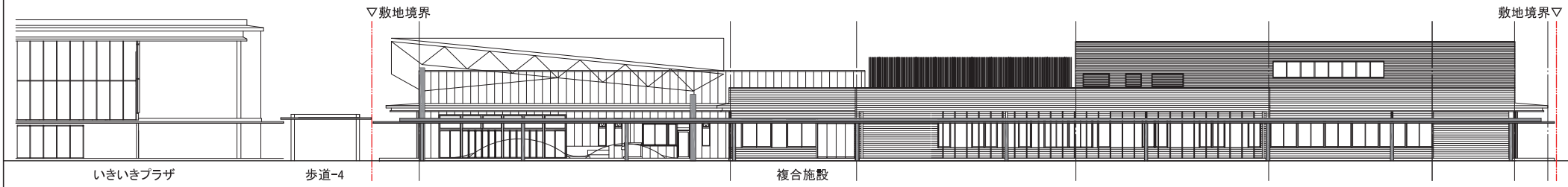
工事名　(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名　立面図(1)

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

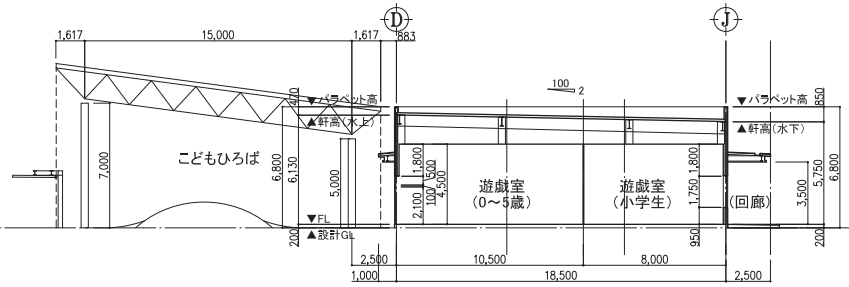
No. 03123
製図 R05.01
縮尺 A1:1/150 A3:1/300
図面No. A－20
原図 / 複図

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

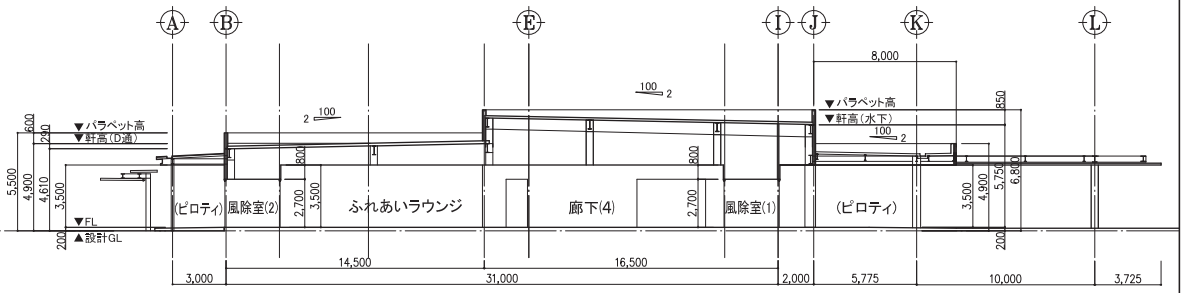


西側立面図　S=1/300

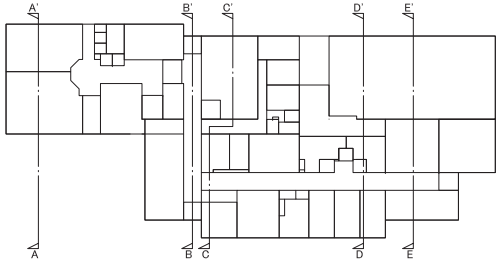
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 立面図(2)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-21	
	原図 / 複図	



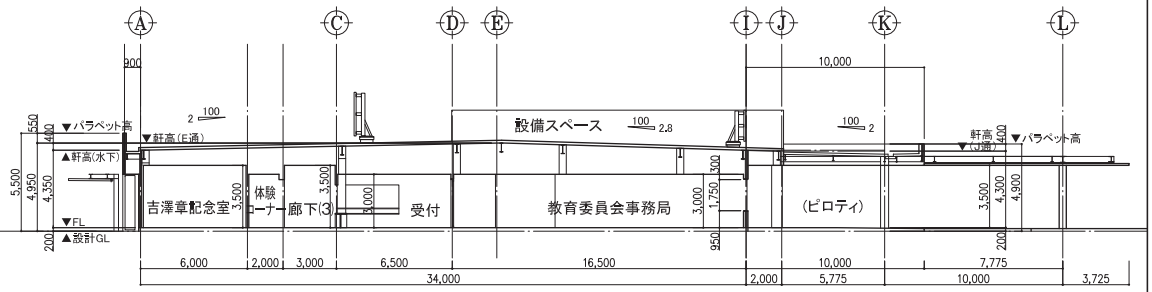
A-A'断面図　S=1/300



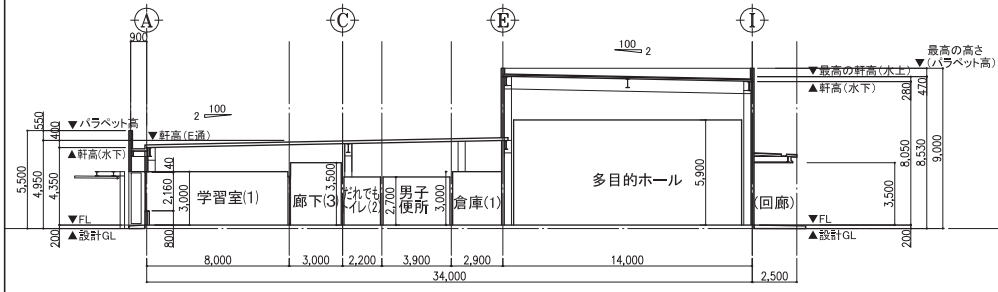
B-B'断面図　S=1/300



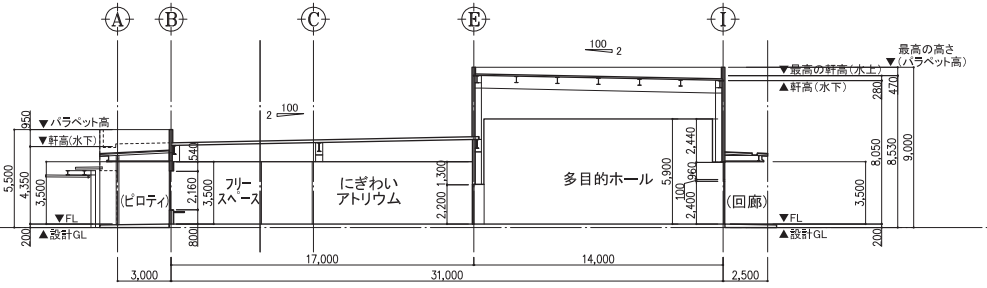
断面キープラン



C-C'断面図　S=1/300

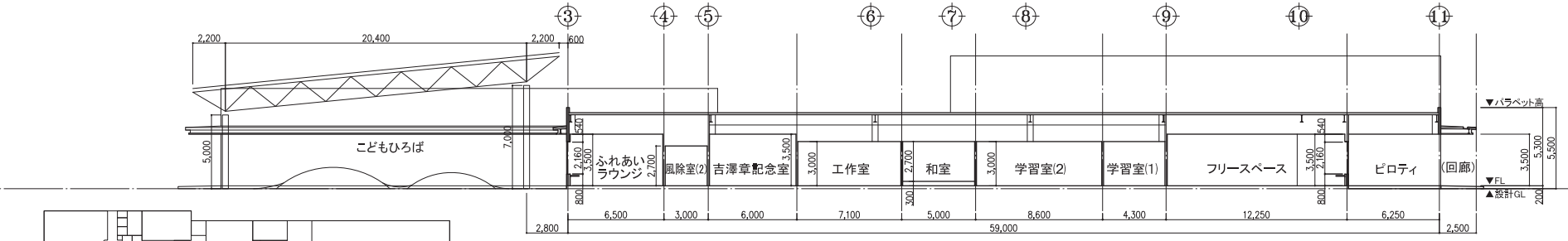


D-D'断面図　S=1/300

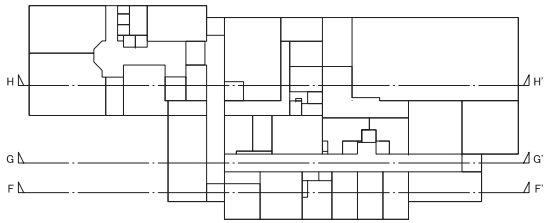


E-E'断面図　S=1/300

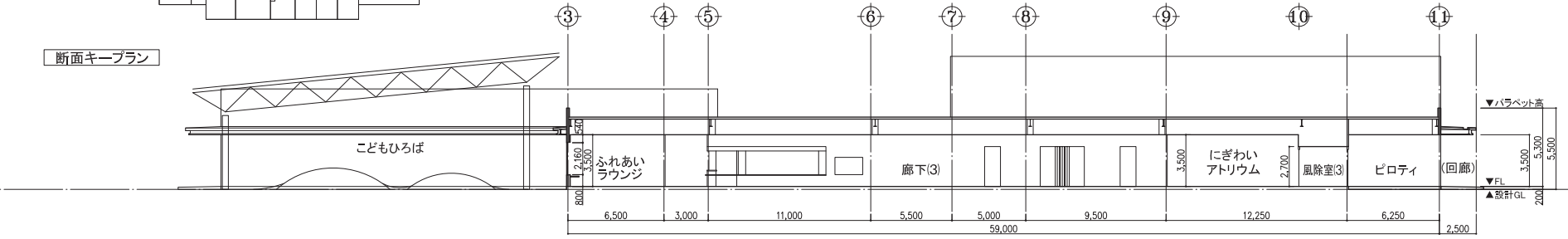
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面図(1)		設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大堤1丁目5番8号 TEL 028(622)8928		縮尺 A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. A-22	
		原図	複図



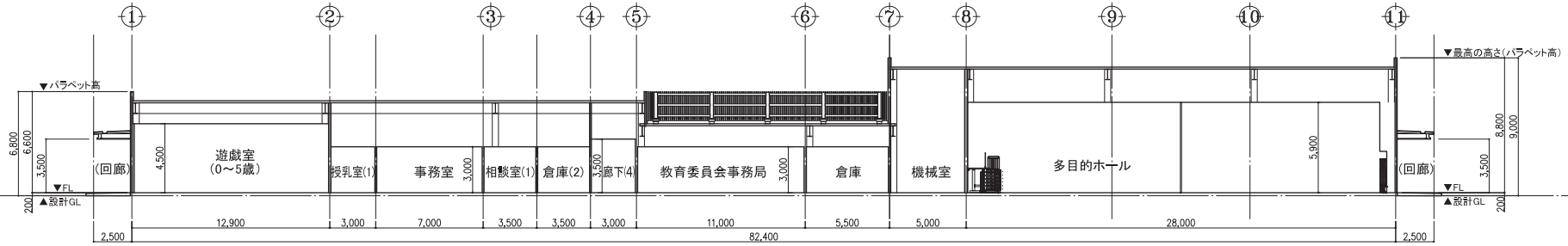
F-F'断面図　S=1/300



断面キープラン

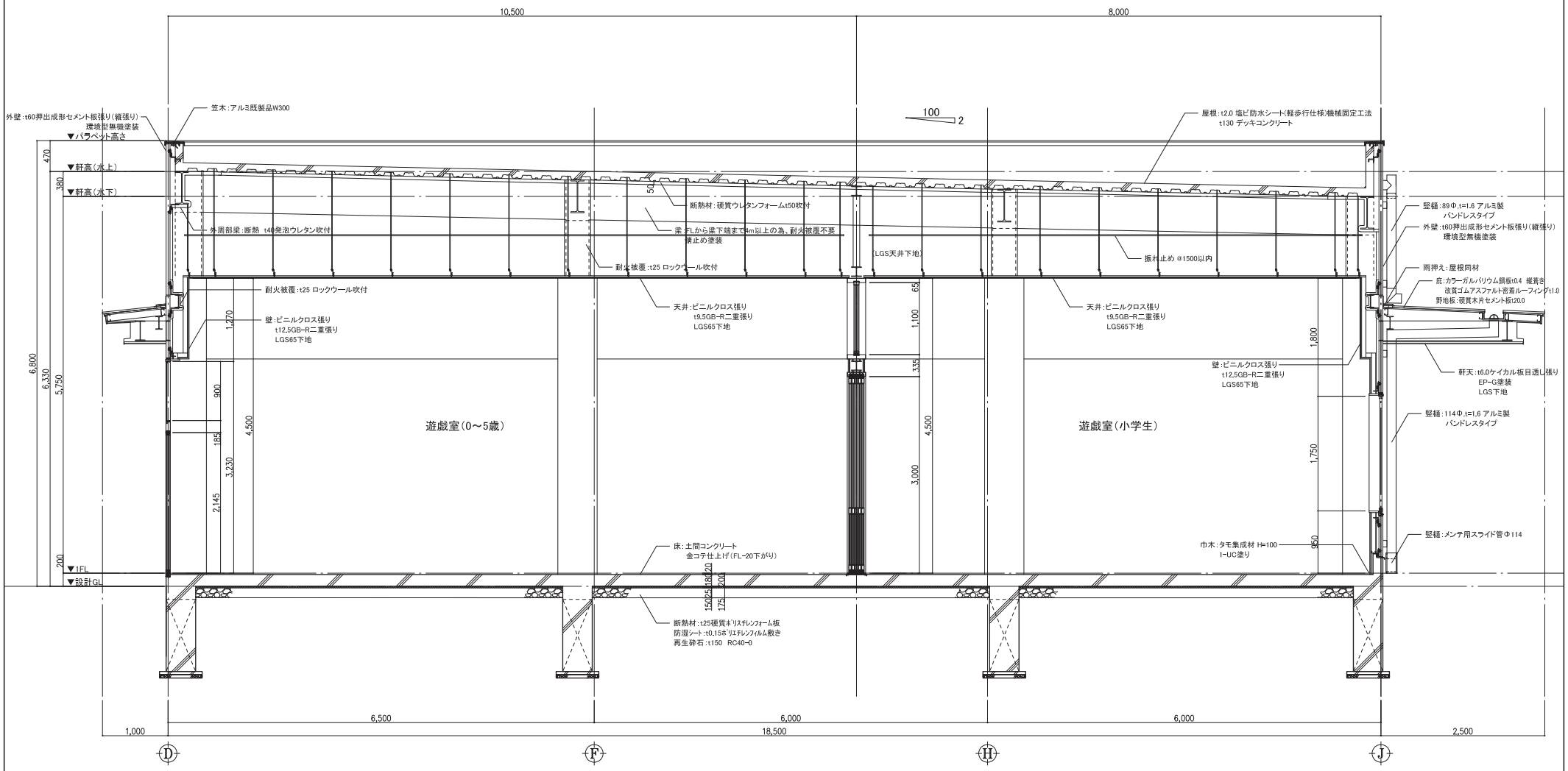


G-G'断面図　S=1/300



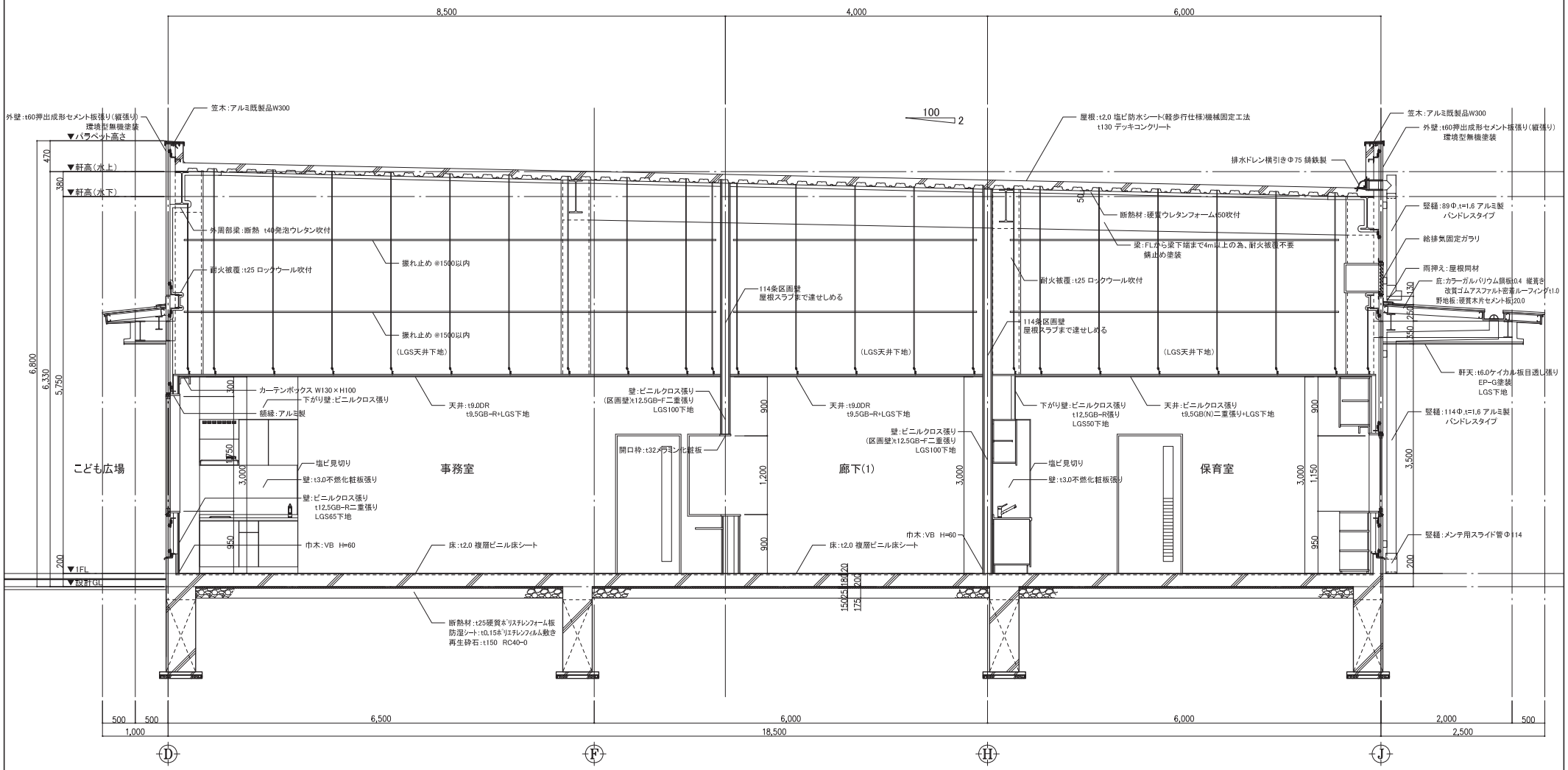
H-H'断面図　S=1/300

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面図(2)	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/150 A3:1/300 図面No. A-23 原図 後図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



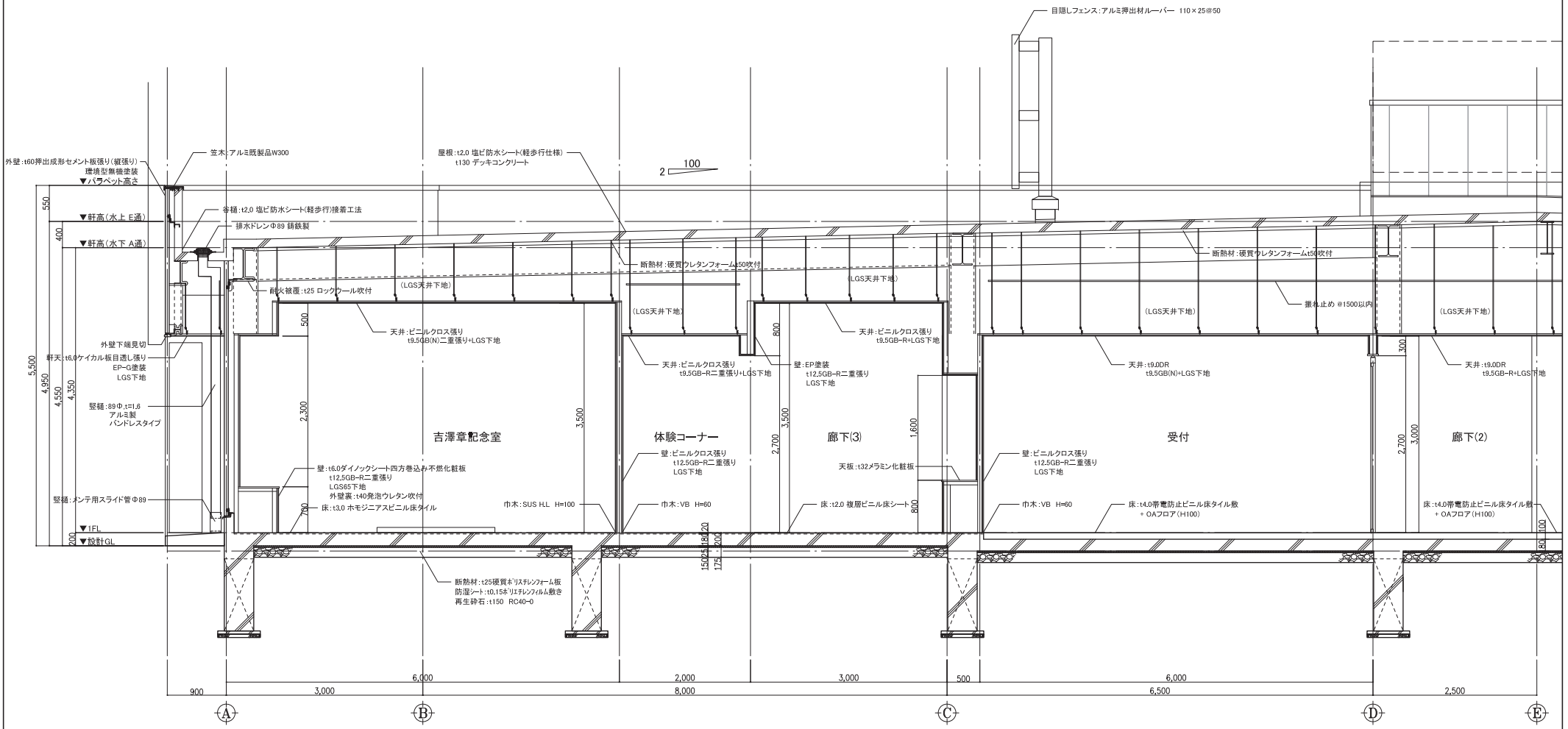
断面詳細図 S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(1)		設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928		縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. A-24	
		原図	複図



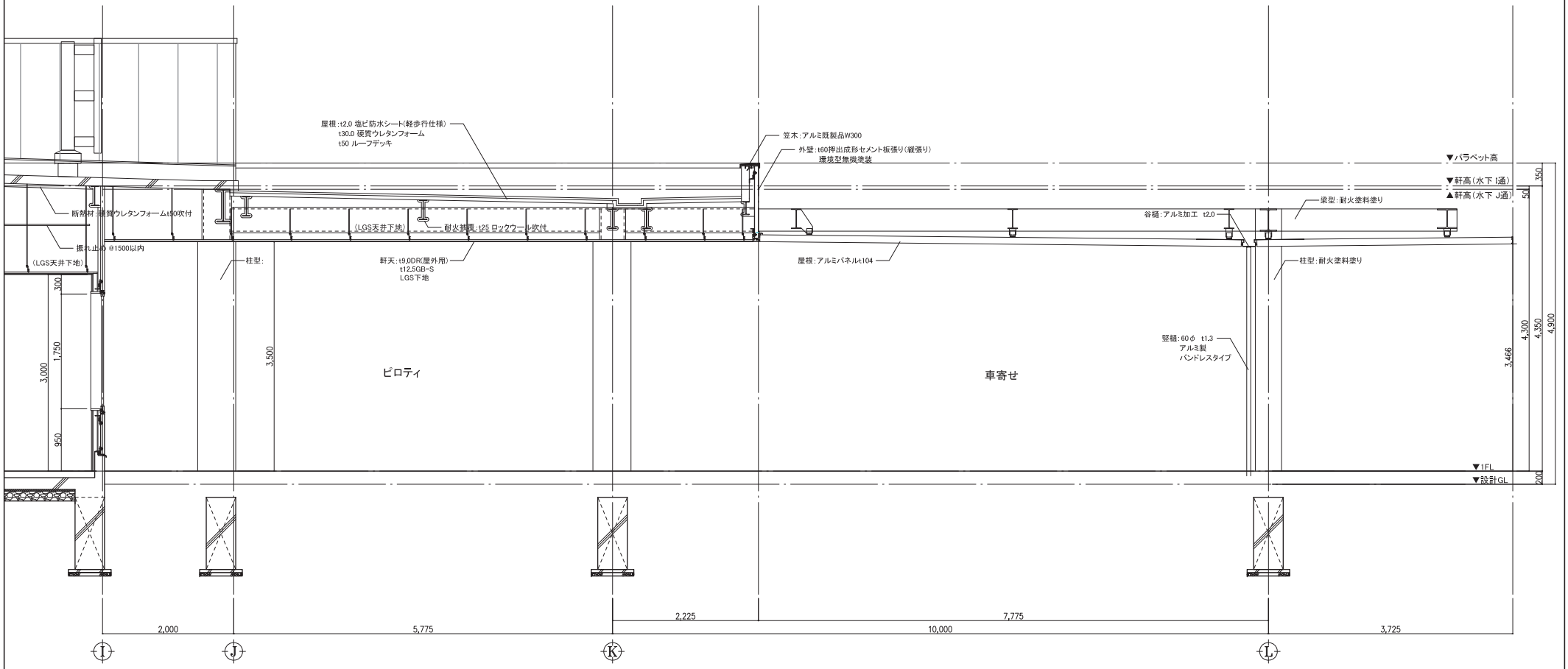
断面詳細図 S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(2)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60 / 図面No. A-25 / 原図 / 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



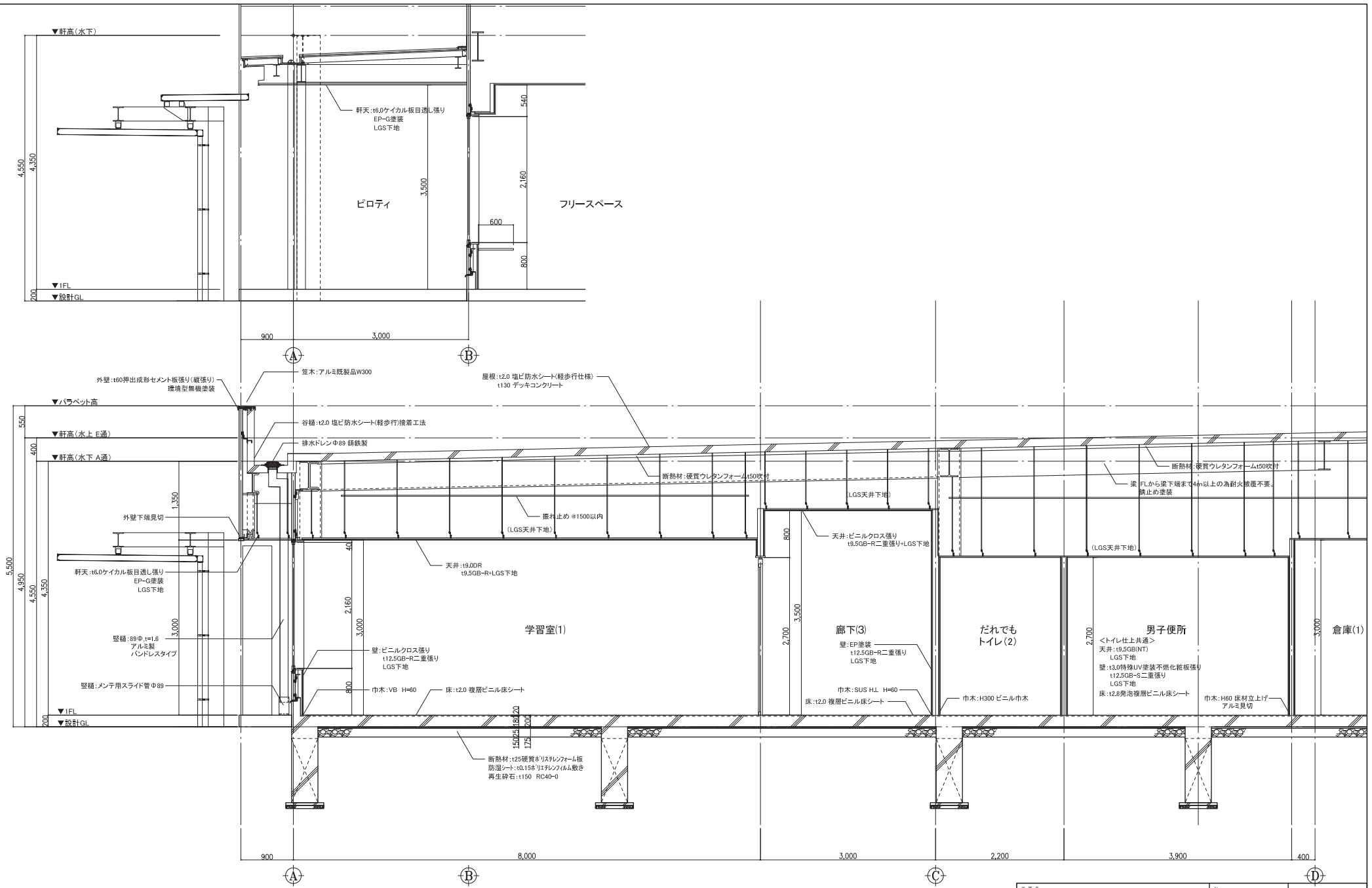
断面詳細図 S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(3)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-26	
	原図 / 複図	



断面詳細図　S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(4)	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-27	
	原図 / 複図	

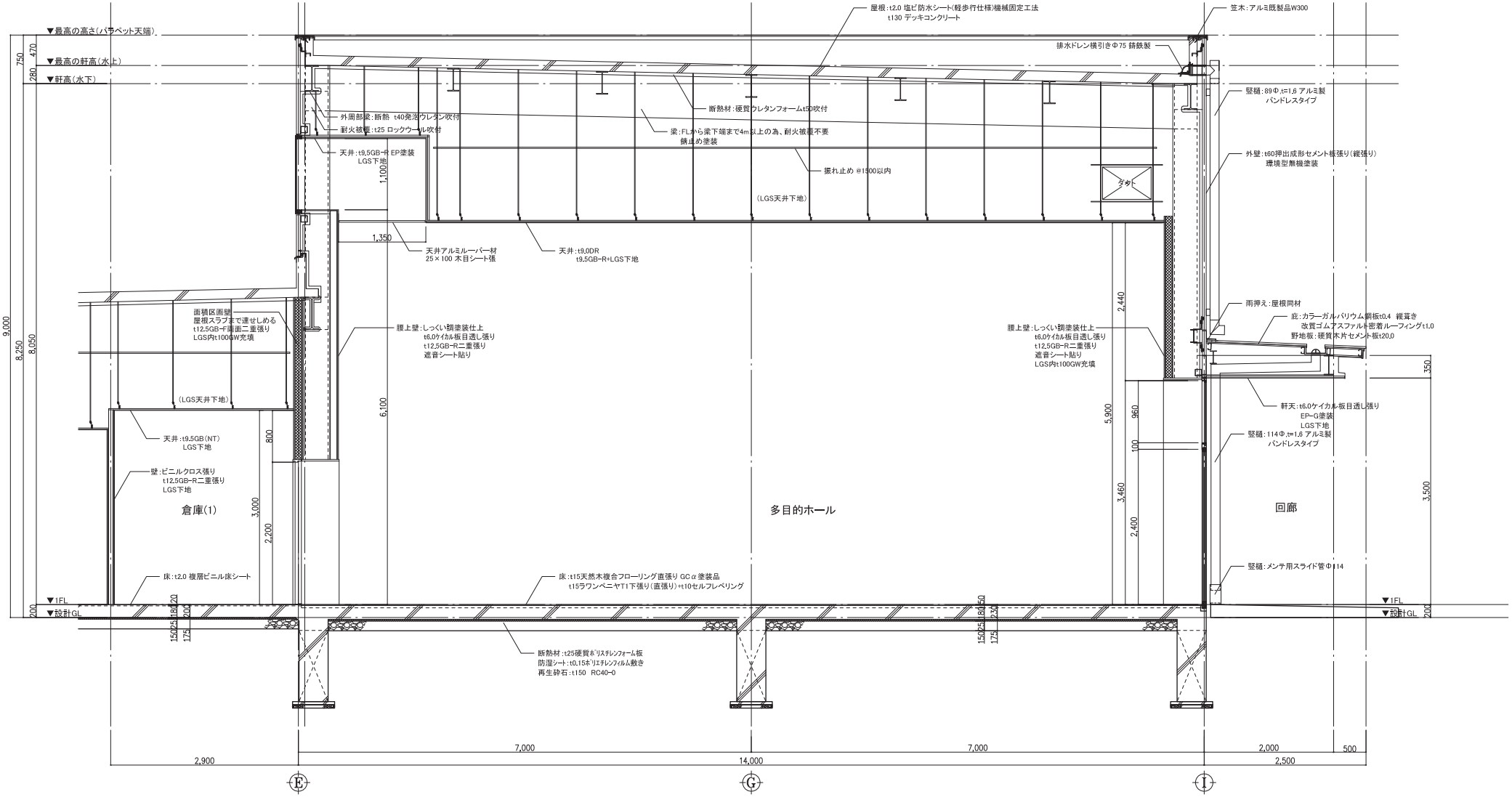


断面詳細図 S=1/60

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	断面詳細図(5)
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1:1/30 A3:1/60
図面No.	A-28
原図	後図

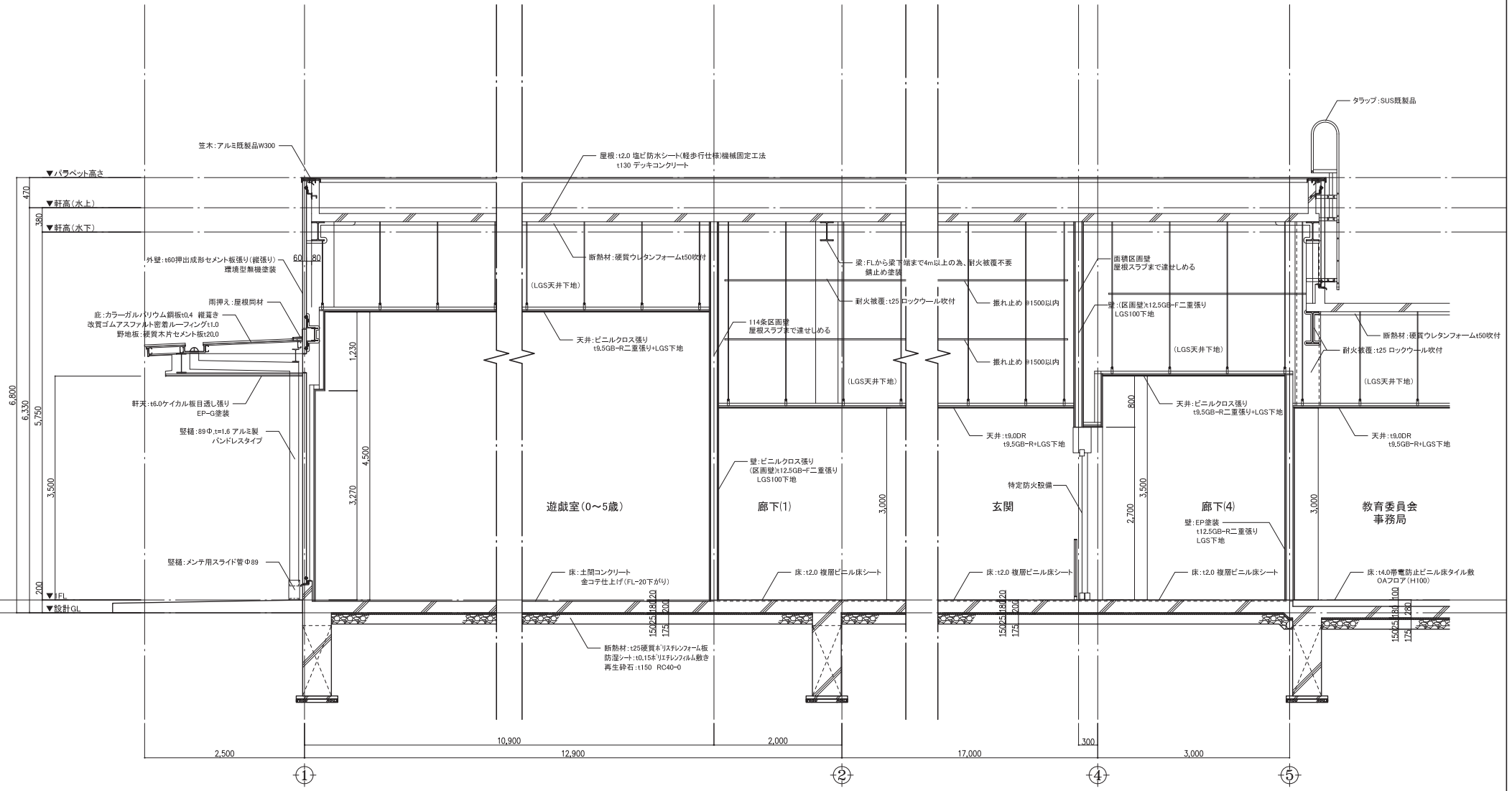
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号 TEL 028(622)8928

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



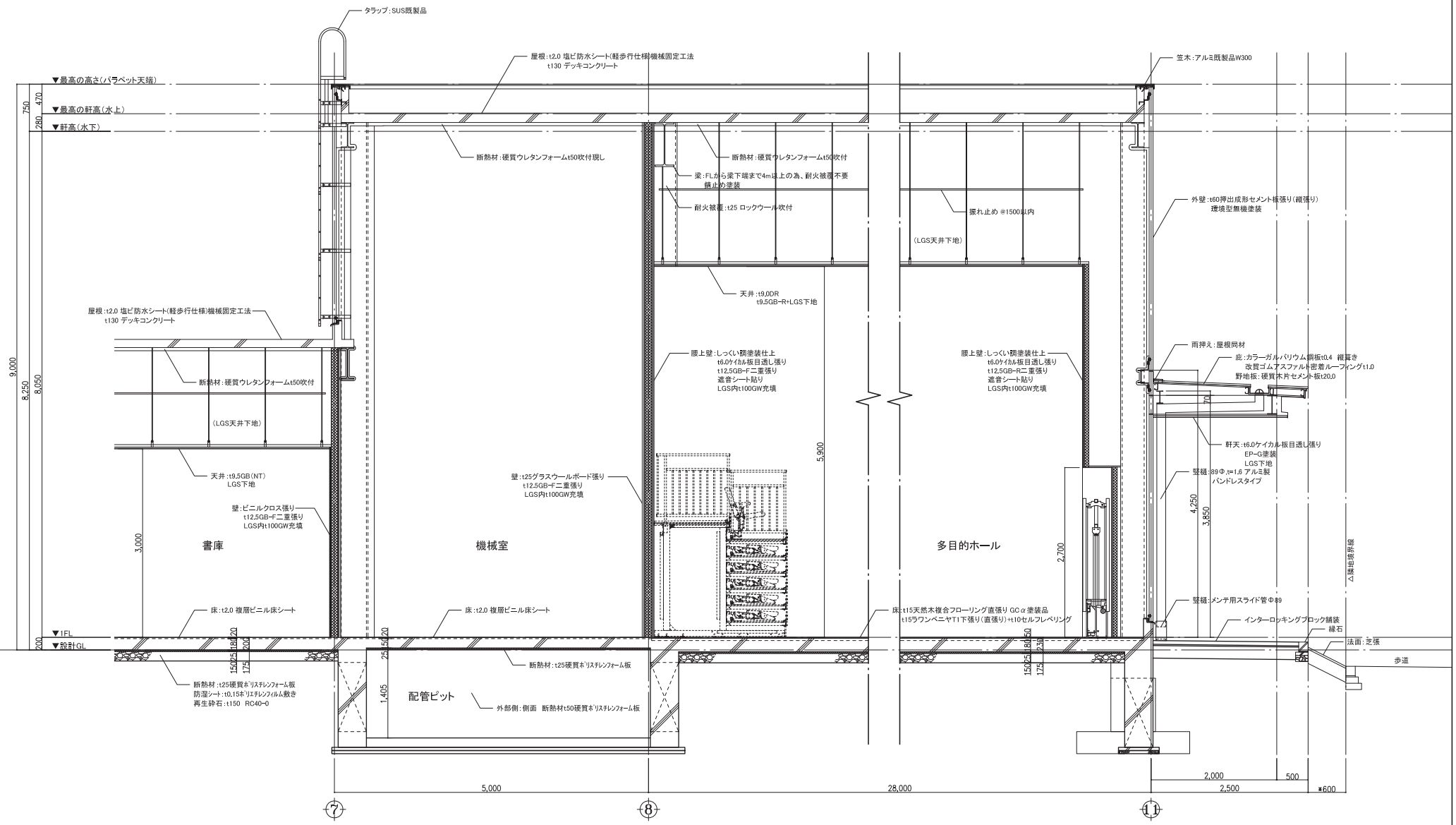
断面詳細図 S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(6)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大豆1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-29	
	原図 / 複図	



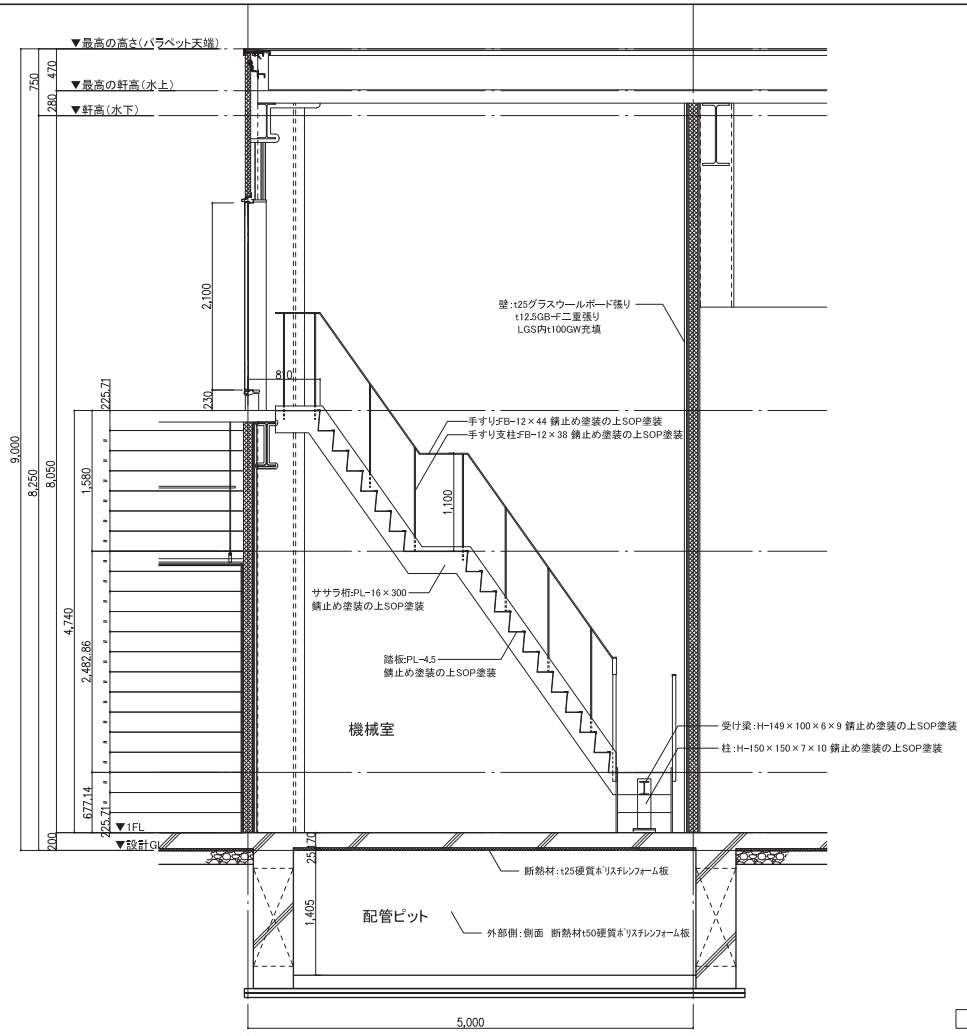
断面詳細図　S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(7)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-30	
	原図 / 複製 / 後図	

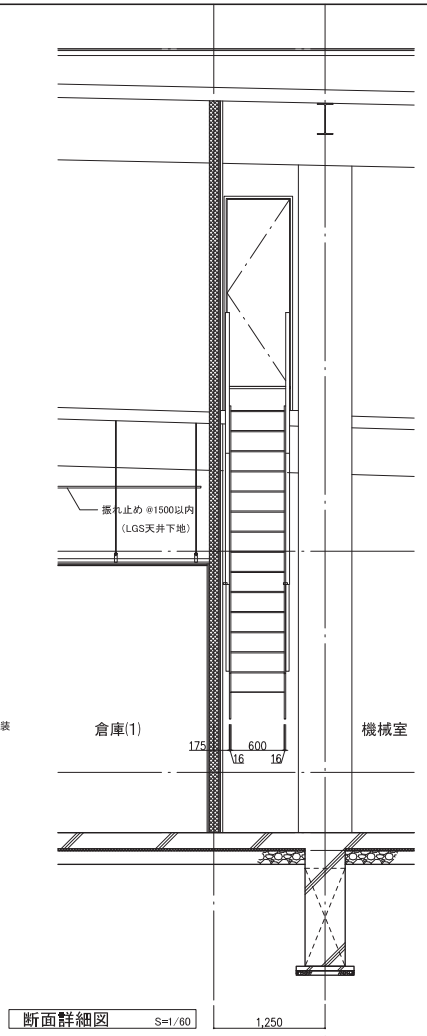


断面詳細図 S=1/60

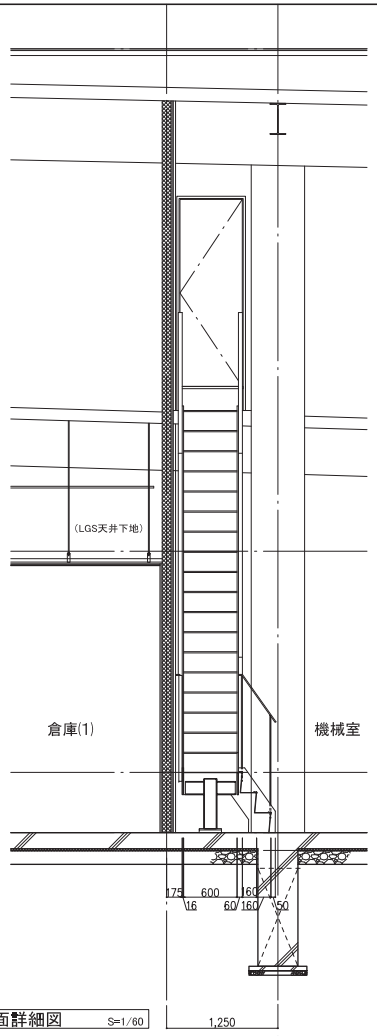
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 断面詳細図(8)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-31	
	原図 / 複図	



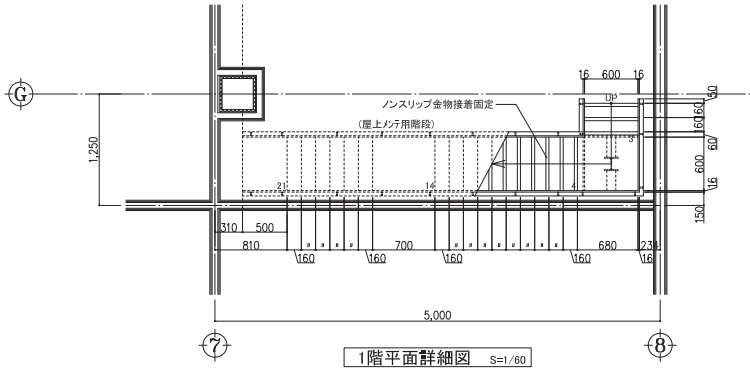
断面詳細図 S=1/60



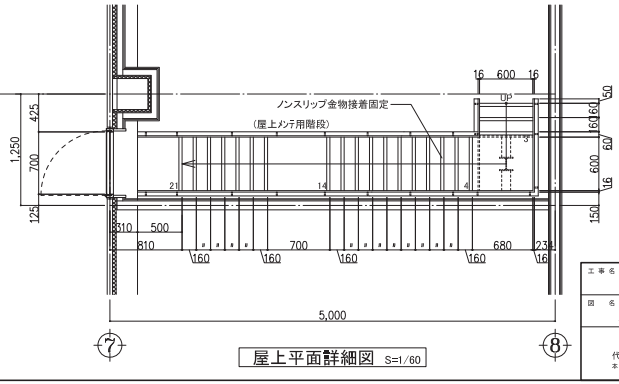
断面詳細図 S=1/60



断面詳細図 S=1/60

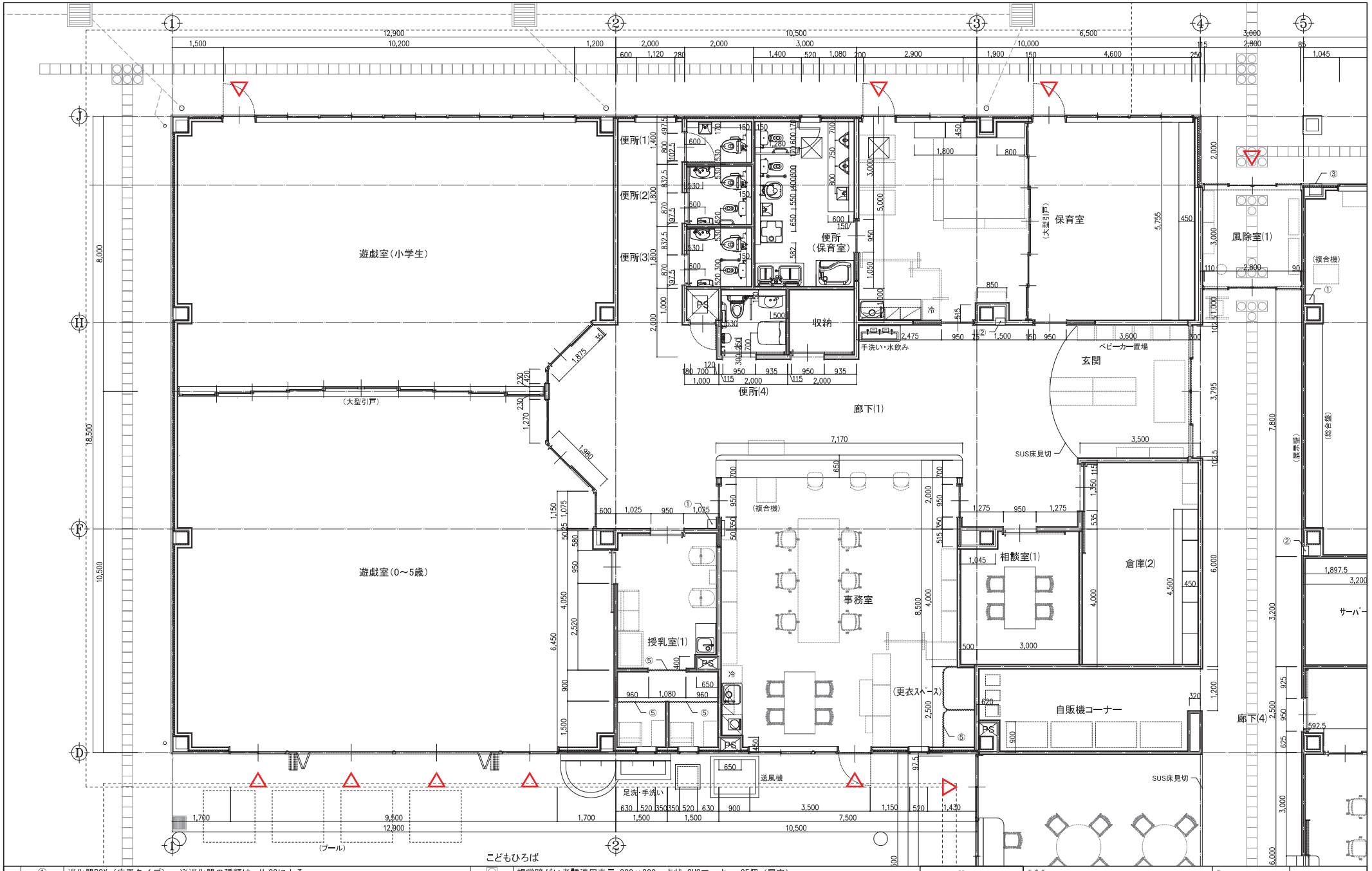


1階平面詳細図 S=1/60



屋上平面詳細図 S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 メンテ用階段詳細図	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60 図面No. A-32 原図 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



凡例				
	①	消化器BOX（床置タイプ）　※消化器の種類は、H-03による	○	視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状 SUSマーカー 25個（屋内）
	②	消化器BOX（壁埋込タイプ）※消化器の種類は、H-03による	○	視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状ブロック敷（屋外）
	③	郵便ポスト２口用（前入前出仕様）	□	視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状 SUSマーカー 4個（屋内）
	④	誘導拠点サイン H=2900	□	視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状ブロック敷（屋外）
	⑤	吊りカーテン H=2000	☒	床下点検口 600角 SUS製
			▨	間仕切内GW充填

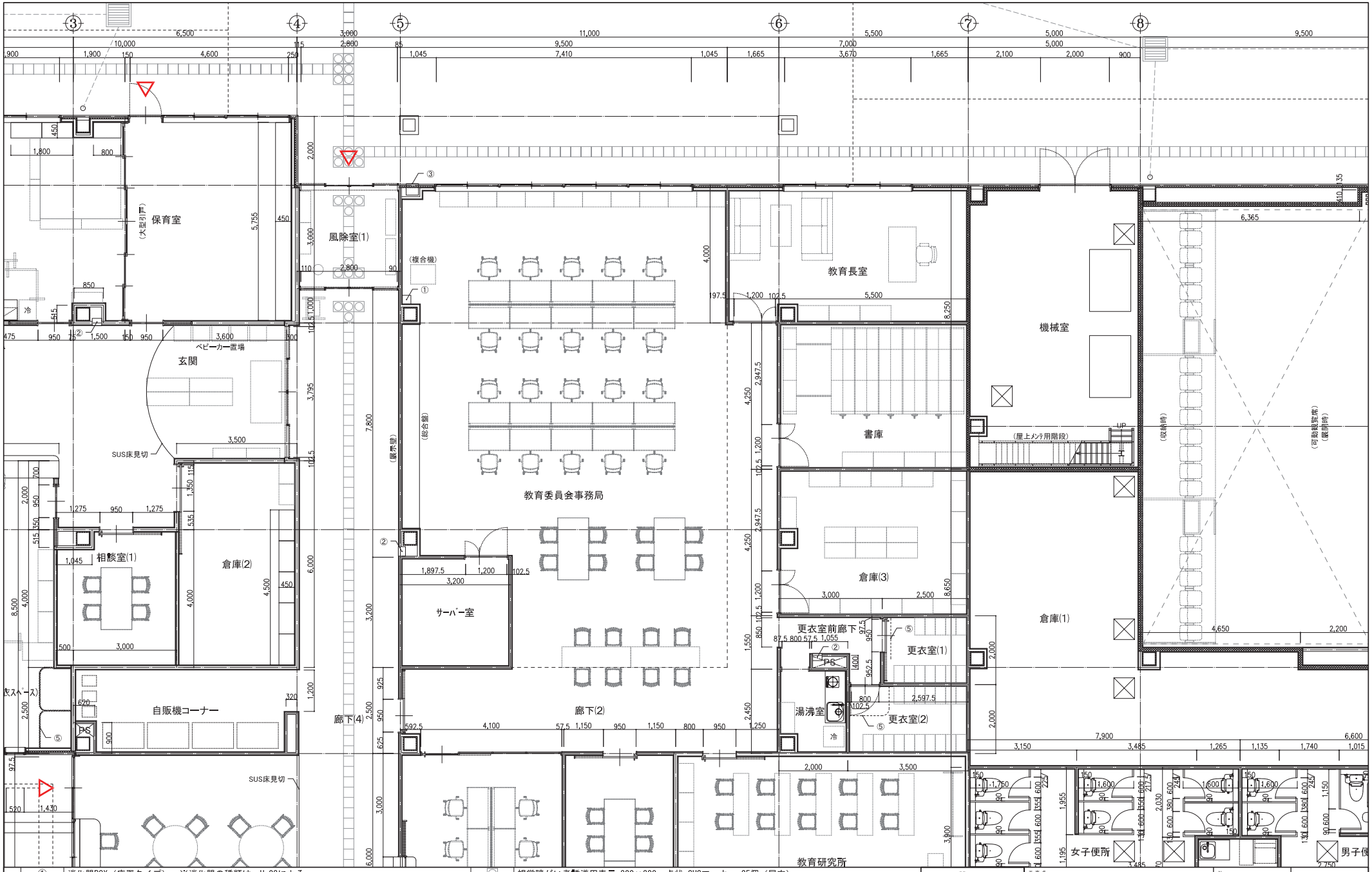
工事名　(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名　1階平面詳細図(1)

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479号
本社　栃木県宇都宮市大豆１丁目５番６号　TEL 028(622)8928

No. 03123
製図 R05.01
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
図面No. A－33

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原 好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号



凡例				
	①	消化器BOX（床置タイプ）　※消化器の種類は、H-03による		視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状 SUSマーカー 25個（屋内）
	②	消化器BOX（壁埋込タイプ）※消化器の種類は、H-03による		視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状ブロック敷（屋外）
	③	郵便ポスト２口用（前入前出仕様）		視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状 SUSマーカー 4個（屋内）
	④	誘導拠点サイン H=2900		視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状ブロック敷（屋外）
	⑤	吊りカーテン H=2000		床下点検口 600角 SUS製
				間仕切内GW充填

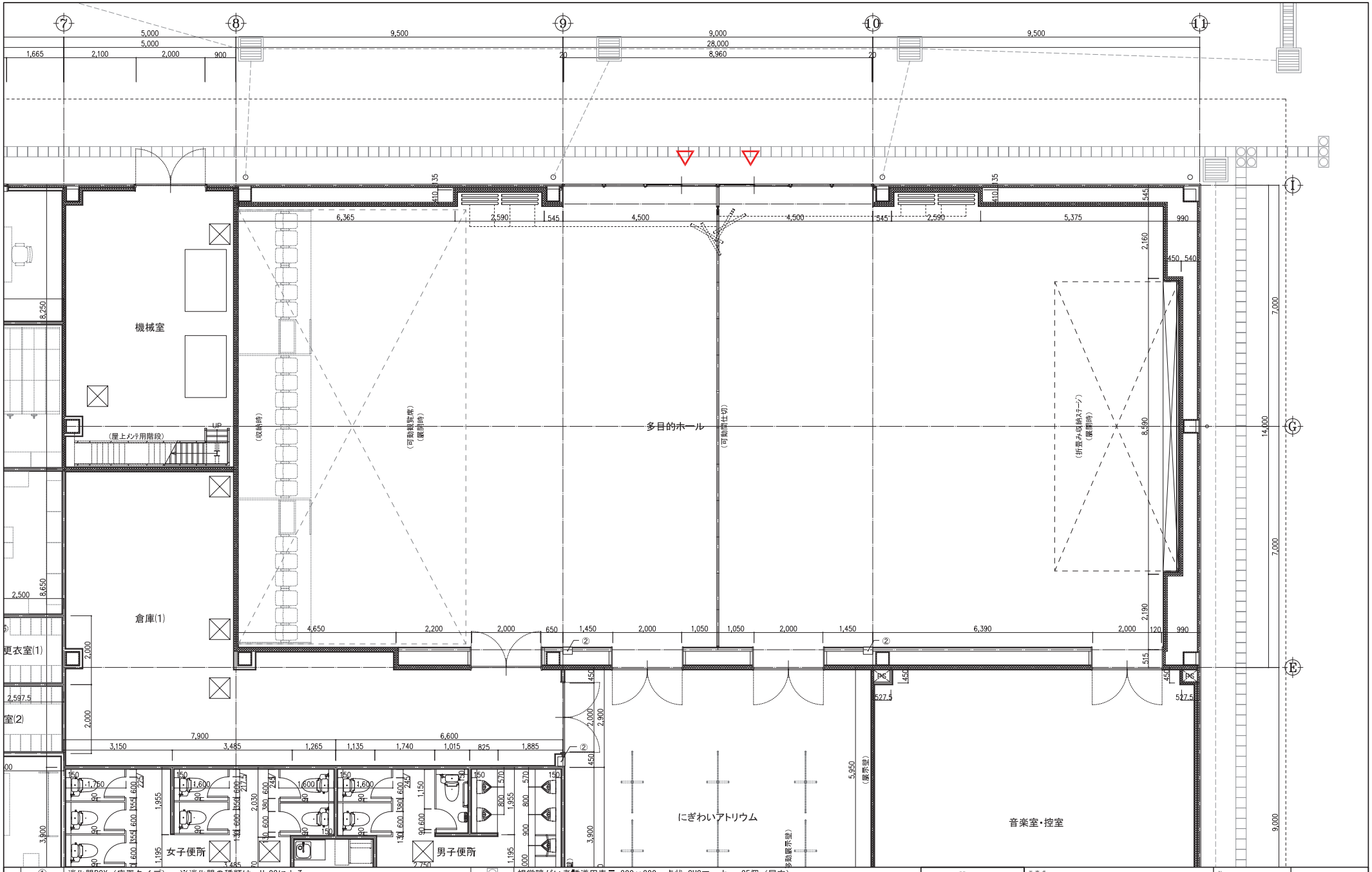
工事名　(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名　1階平面詳細図(2)

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479号
本社　栃木県宇都宮市大豆１丁目５番６号　TEL 028(622)8928

No. 03123
製図 R05.01
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
図面No. A－34

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原 好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号



凡例				
	①	消化器BOX（床置タイプ） ※消化器の種類は、H-03による		視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状 SUSマーカー 25個（屋内）
	②	消化器BOX（壁埋込タイプ）※消化器の種類は、H-03による		視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状ブロック敷（屋外）
	③	郵便ポスト２口用（前入前出仕様）		視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状 SUSマーカー 4個（屋内）
	④	誘導拠点サイン H=2900		視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状ブロック敷（屋外）
	⑤	吊りカーテン H=2000		床下点検口 600角 SUS製
				間仕切内GW充填

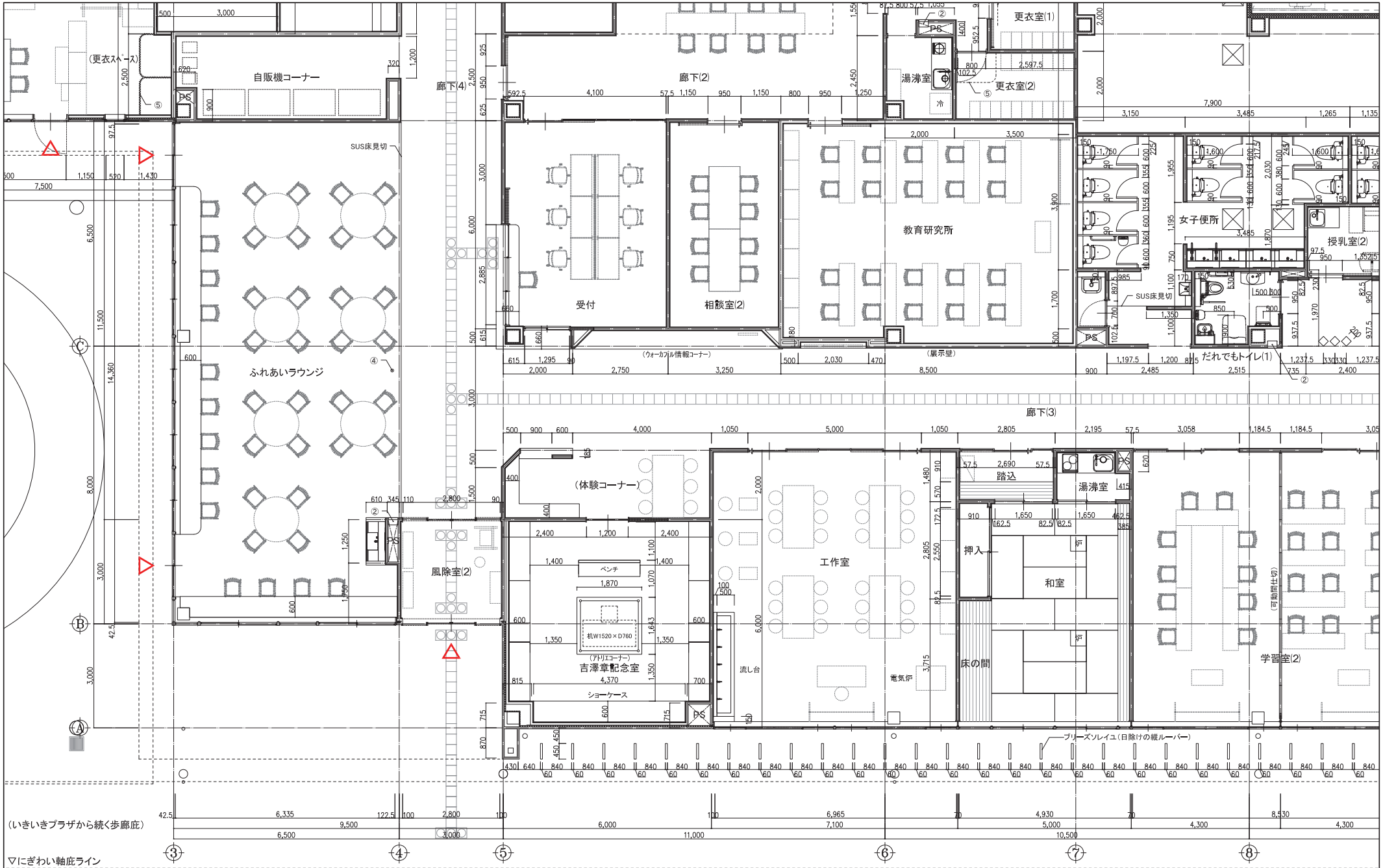
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名 1階平面詳細図(3)

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大堤1丁目5番6号 TEL 028(622)8928

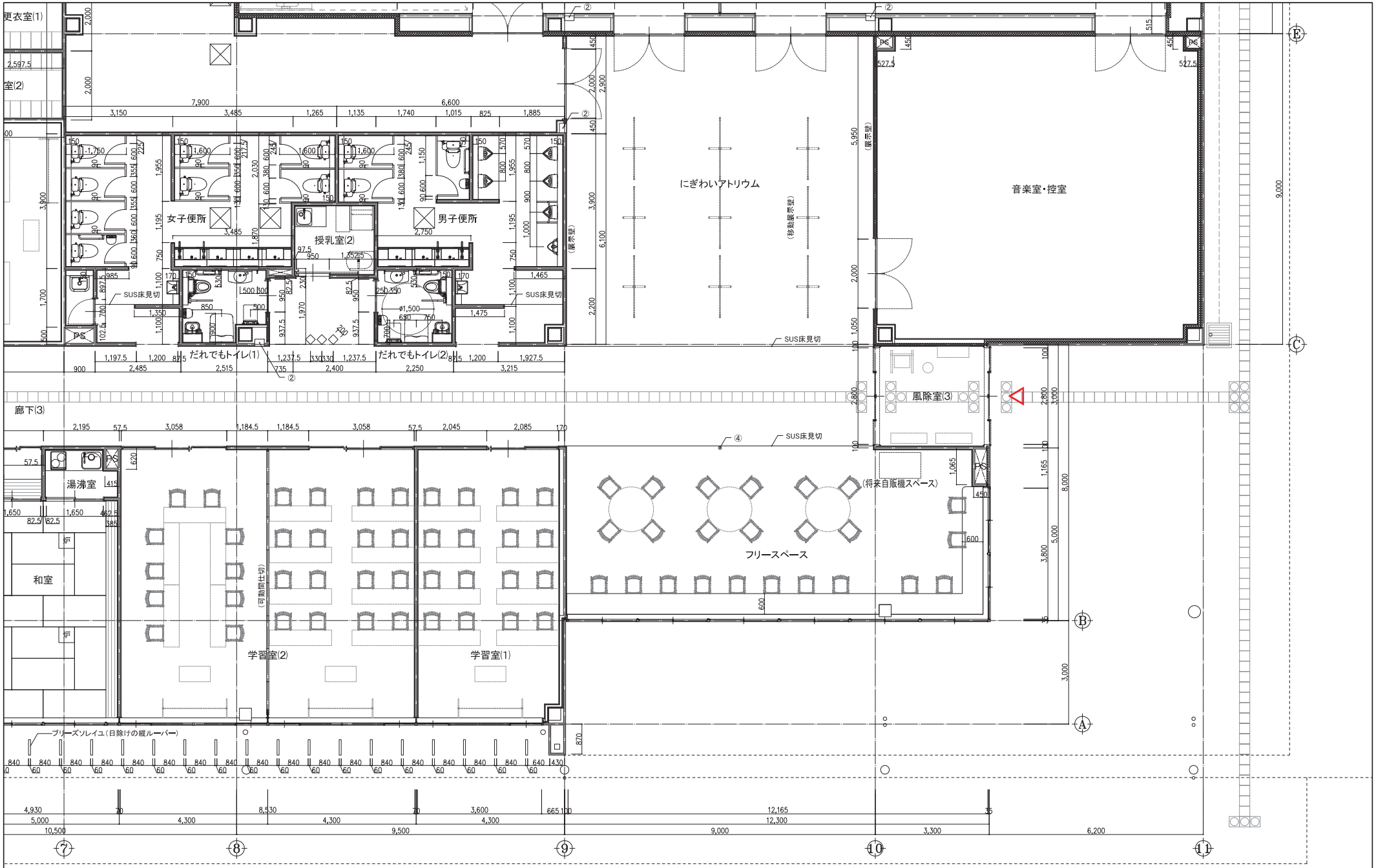
No. 03123
割付 R05.01
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
図面No. A−35
原 製 後 図

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



凡例				
	①	消化器BOX（床置タイプ）　※消化器の種類は、H-03による		視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状 SUSマーカー 25個（屋内）
	②	消化器BOX（壁埋込タイプ）※消化器の種類は、H-03による		視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状ブロック敷（屋外）
	③	郵便ポスト２口用（前入前出仕様）		視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状 SUSマーカー 4個（屋内）
	④	誘導拠点サイン H=2900		視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状ブロック敷（屋外）
	⑤	吊りカーテン H=2000		床下点検口 600角 SUS製
				間仕切内GW充填

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	1階平面詳細図(4)
株式会社	フケタ設計
代表取締役	三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社	栃木県宇都宮市大谷１丁目５番６号　TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図面No.	A－36
原図	後図
管理建築士	古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号



凡例				
	①	消化器BOX（床置タイプ） ※消化器の種類は、H-03による	○	視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状 SUSマーカー 25個（屋内）
	②	消化器BOX（壁埋込タイプ）※消化器の種類は、H-03による	○	視覚障がい者誘導用表示 300×300：点状ブロック敷（屋外）
	③	郵便ポスト２口用（前入前出仕様）	□	視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状 SUSマーカー 4個（屋内）
	④	誘導拠点サイン H=2900	□	視覚障がい者誘導用表示 300×300：線状ブロック敷（屋外）
	⑤	吊りカーテン H=2000	☒	床下点検口 600角 SUS製
			▨	間仕切内GW充填

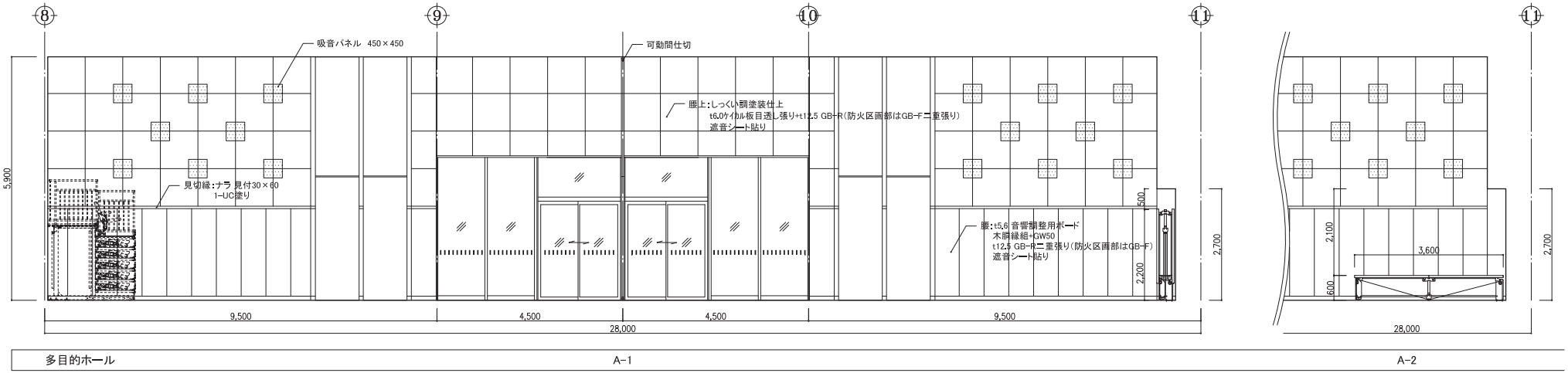
工事名：（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名：1階平面詳細図(5)

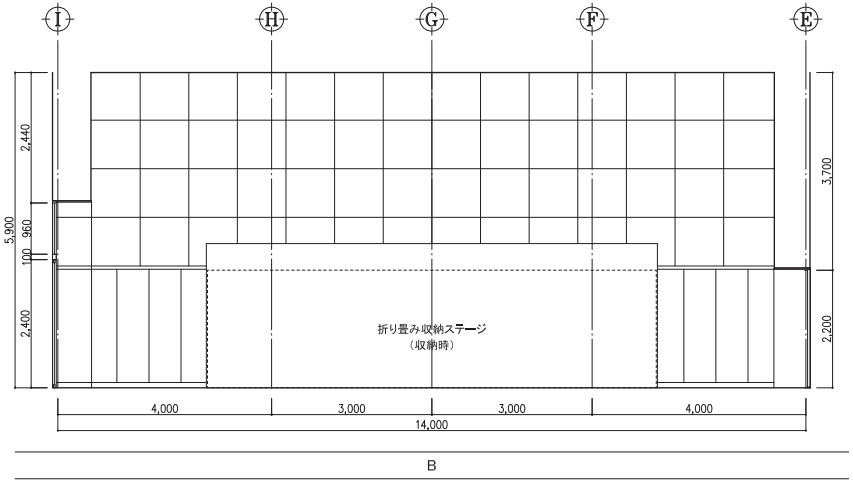
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大豆１丁目５番８号 TEL 028(622)8928

No. 03123
製図 R05.01
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
図面No. A－37

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

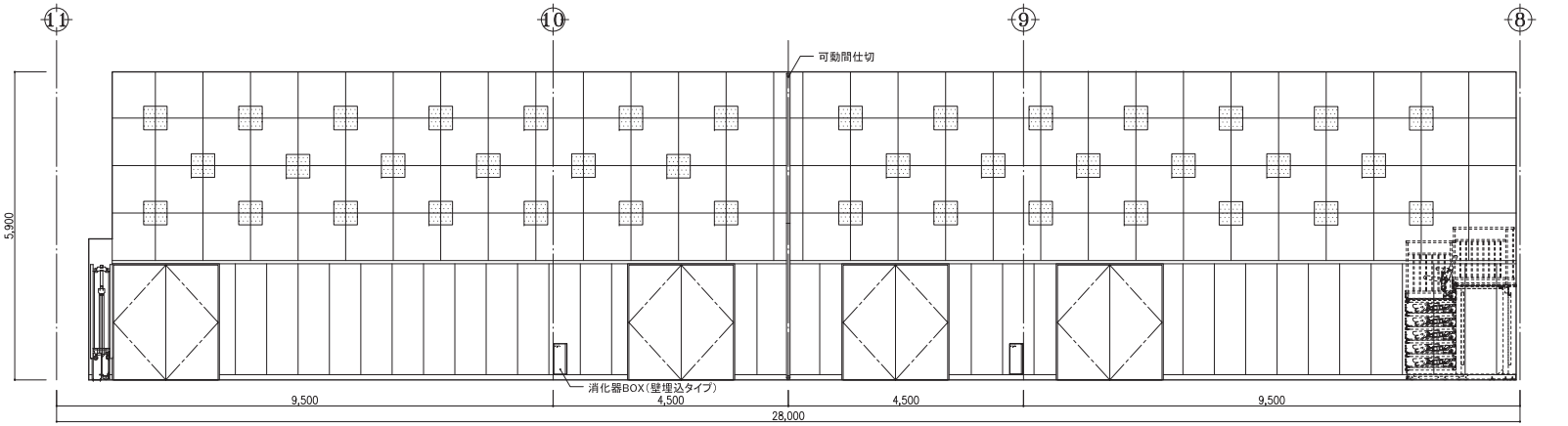


多目的ホール　A-1　A-2

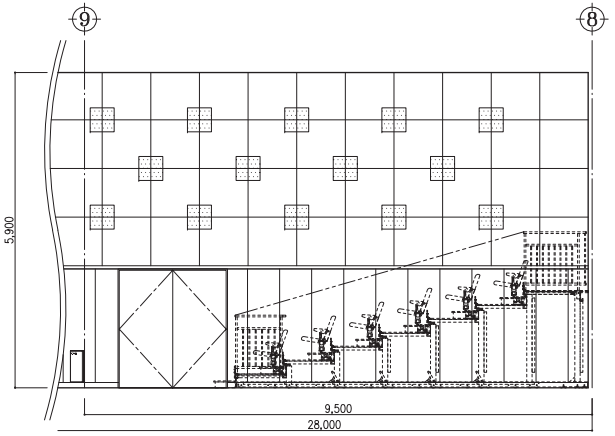


B

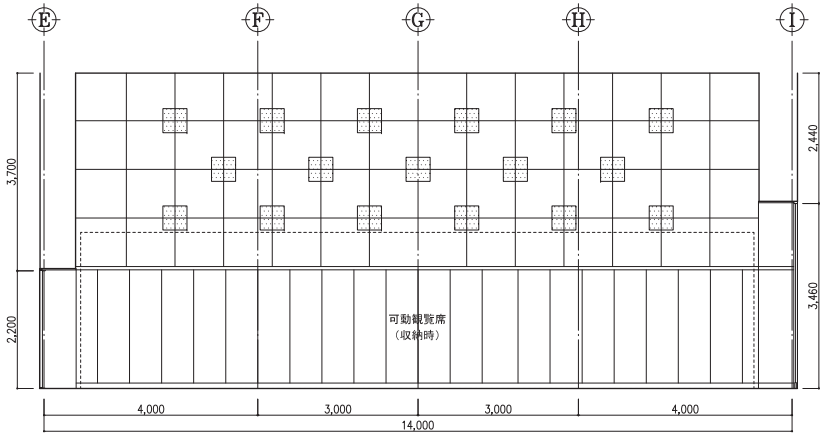
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(1)		設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928		縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. A-38	
		原図	複図



多目的ホール　C−1

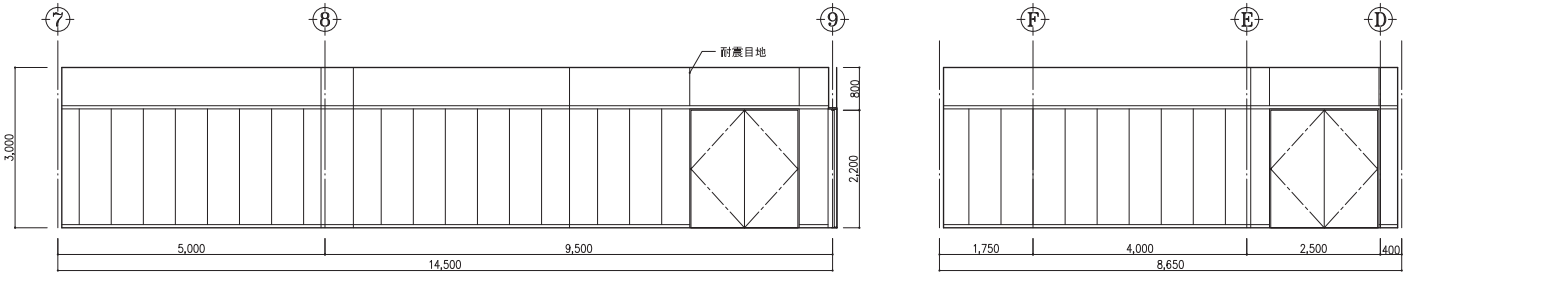


C−2

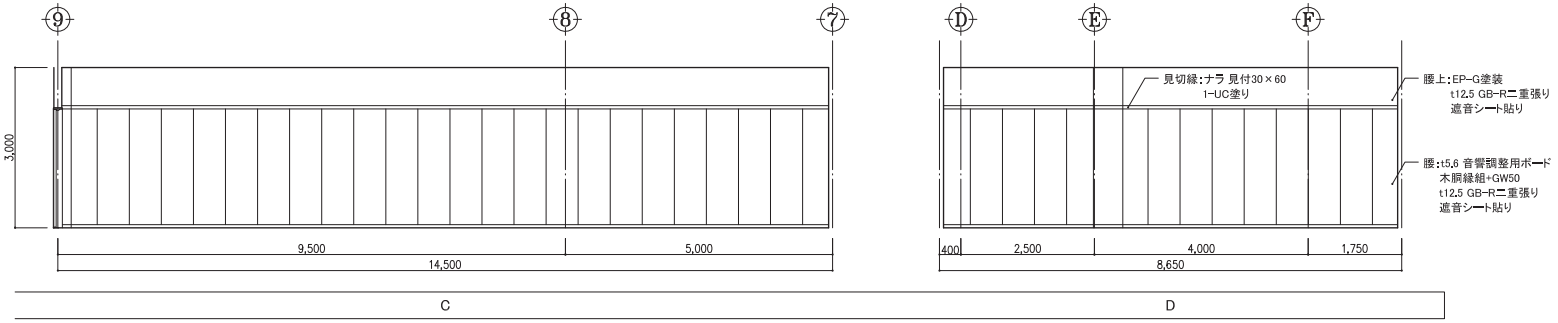


D

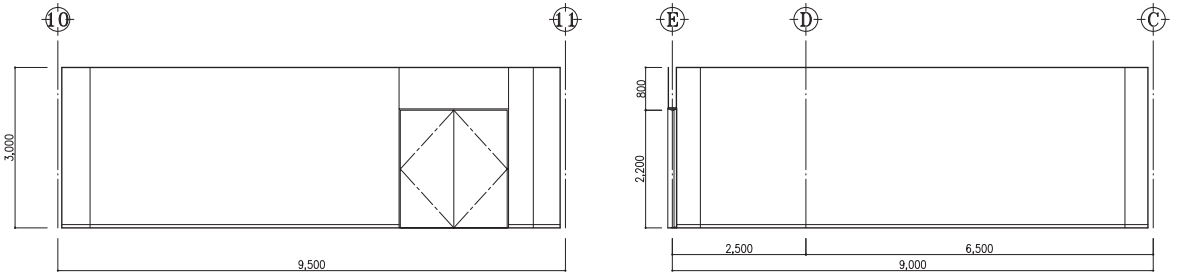
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(2)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−39	
	原図 / 複図	



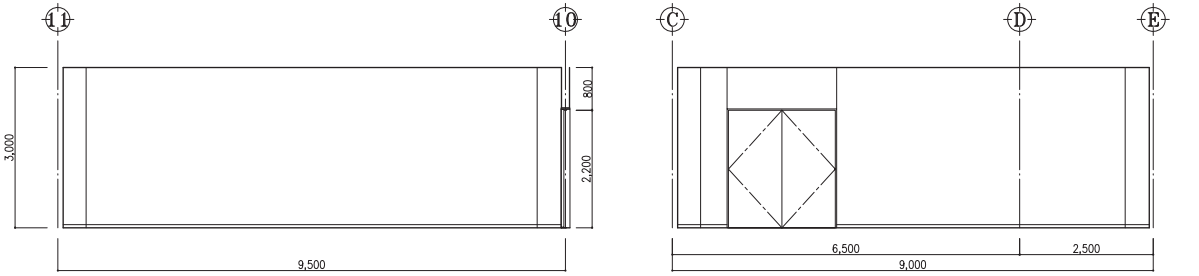
倉庫(1)　A　B



C　D

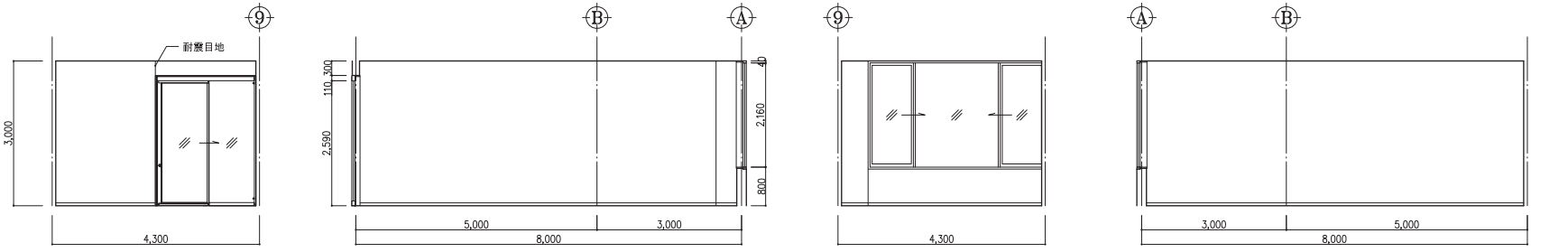


音楽室・控室　A　B

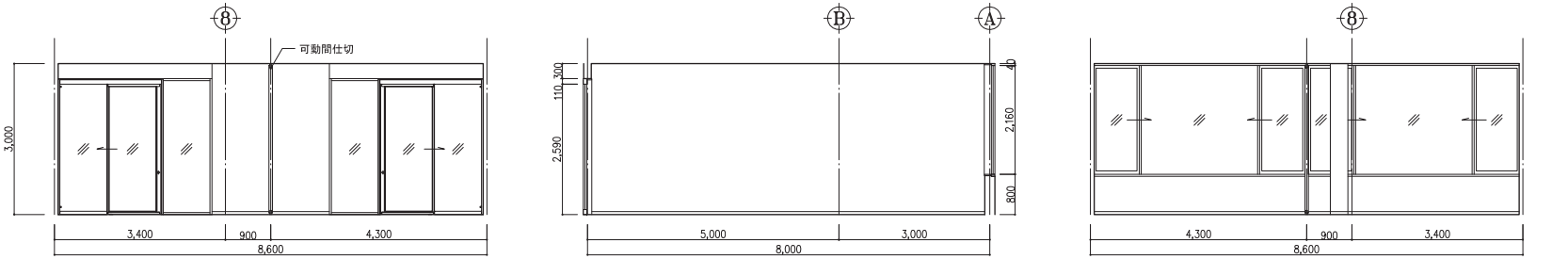


C　D

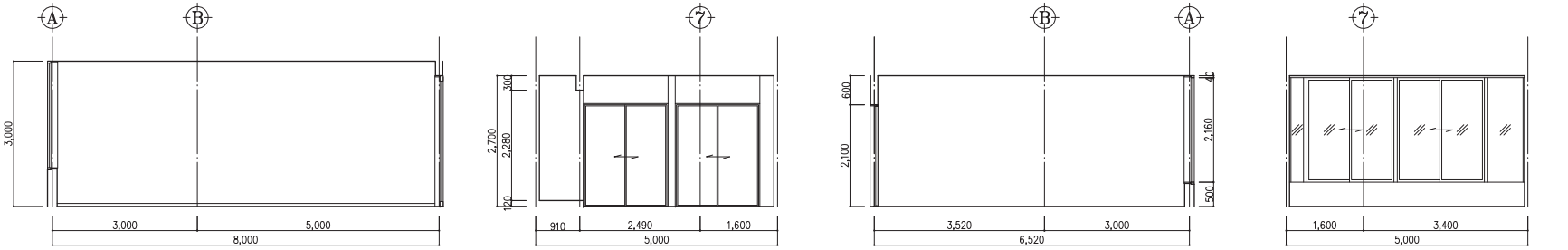
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(3)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大堤1丁目5番6号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-40	
	原図 / 複図	



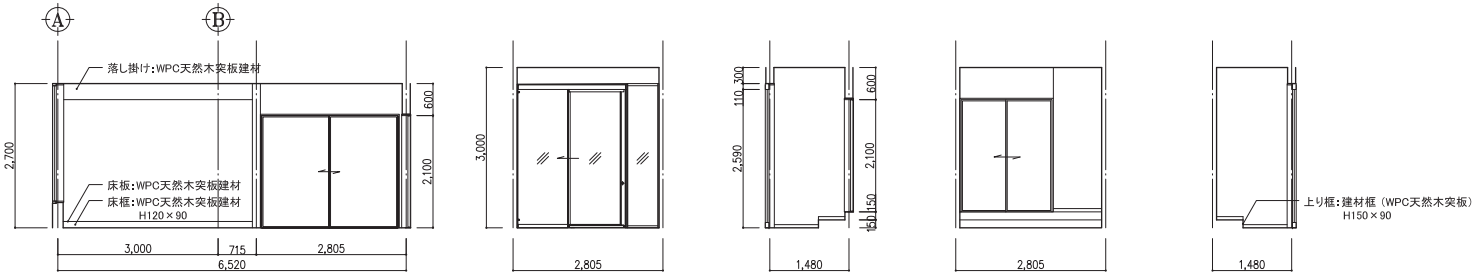
学習室(1)　A　B　C　D



学習室(2)　A　B　C



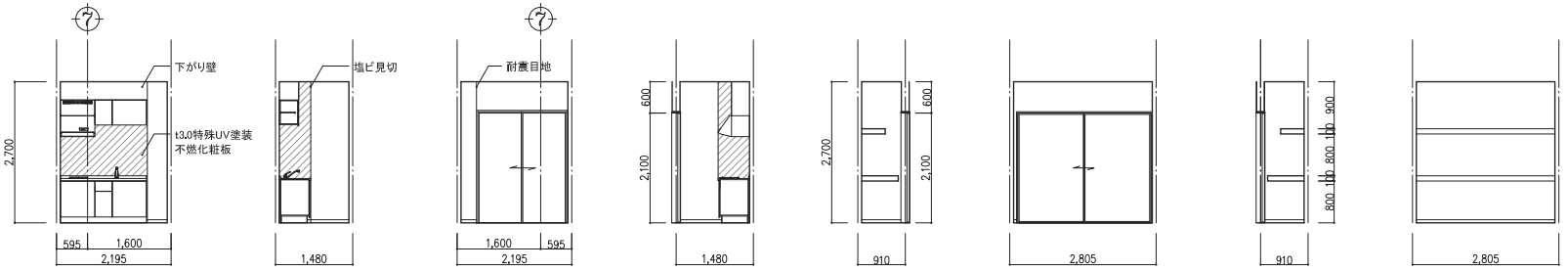
D　　和室　A　B　C



D　　和室（踏込）A　B　C　D

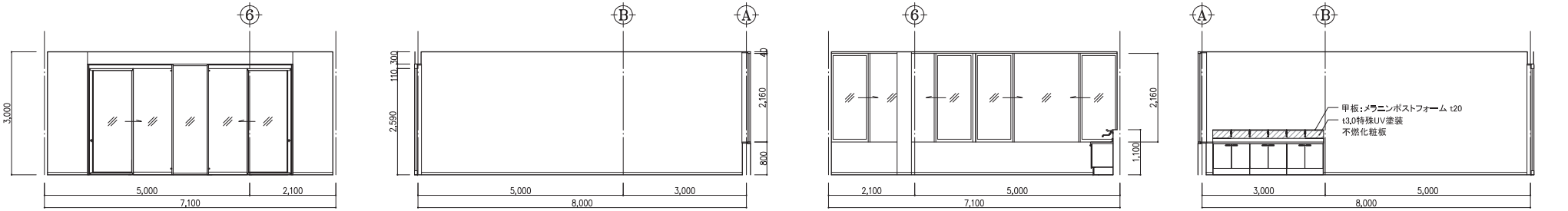
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	展開図(4)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100
		図面No.	A−41
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928		原図	複図

管理建築士　古澤康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

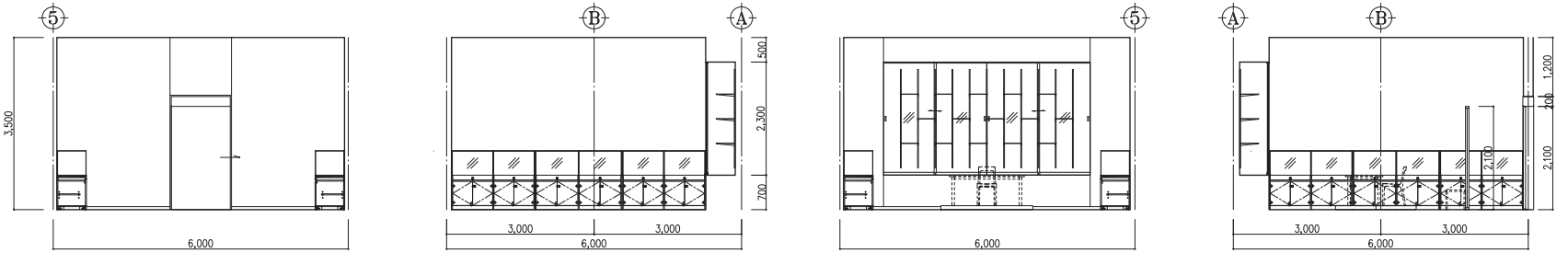


和室（湯沸室）A　B　C　D

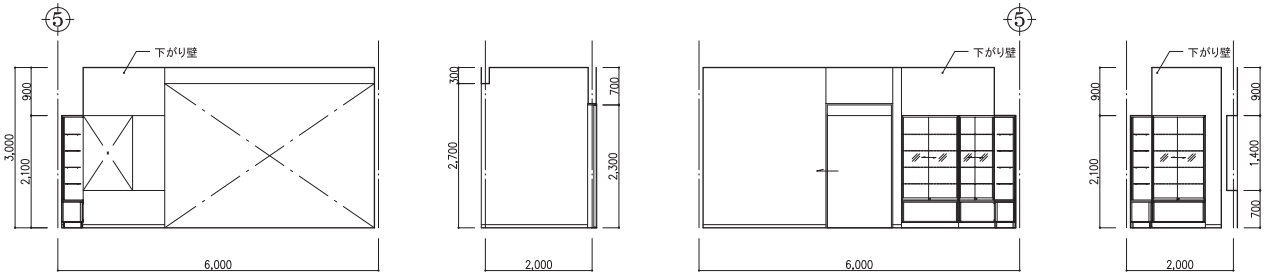
和室（押入）A　B　C　D



工作室　A　B　C　D

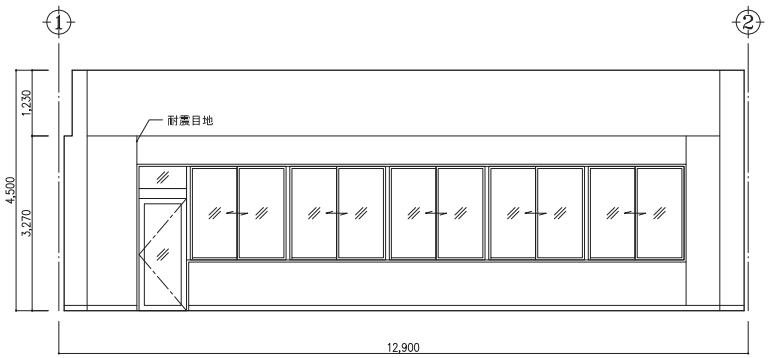


吉澤章記念室　A　B　C　D

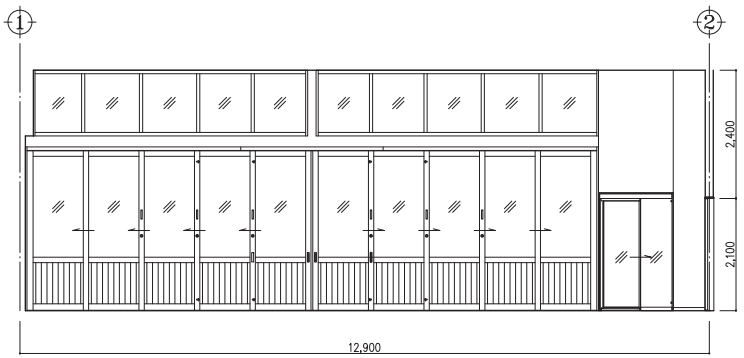


吉澤章記念室（体験コーナー）A　B　C　D

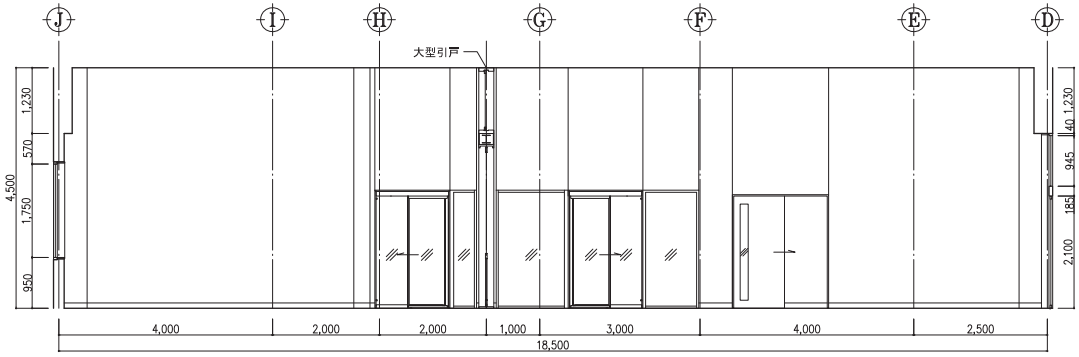
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(5)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-42	
	原図 / 複図	



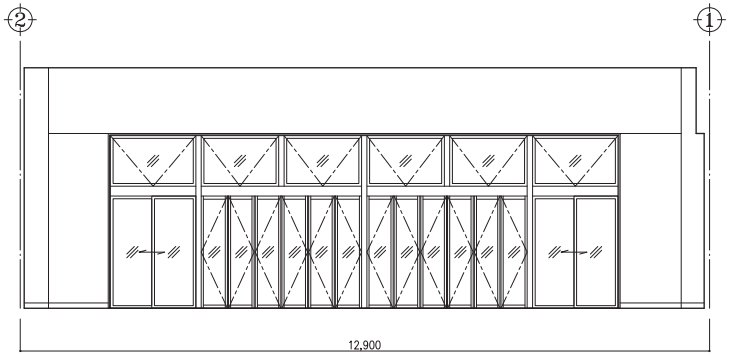
遊戯室　A-1



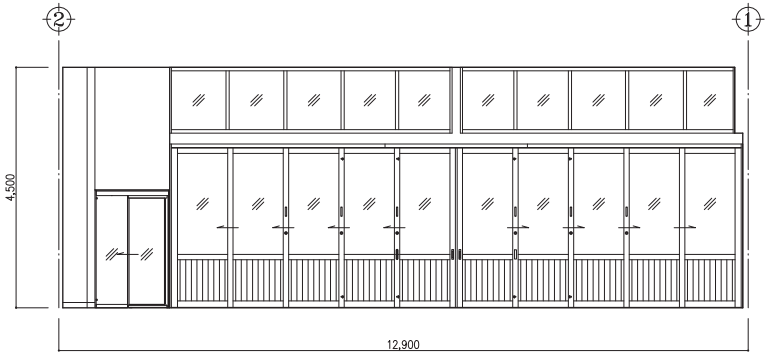
A-2



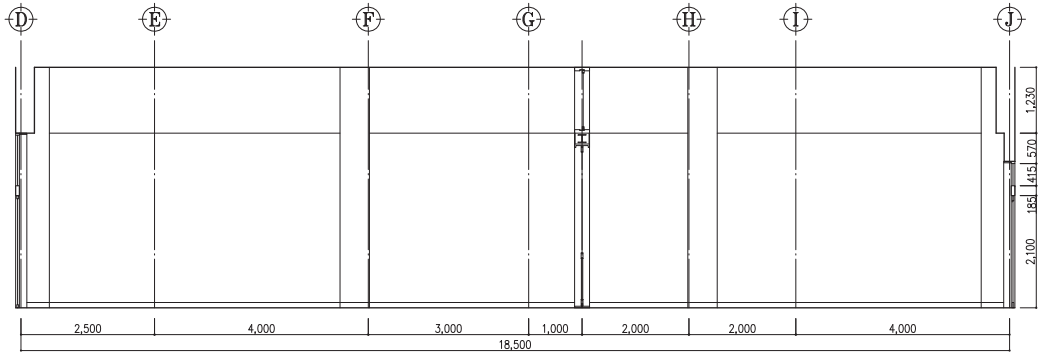
B



C-1

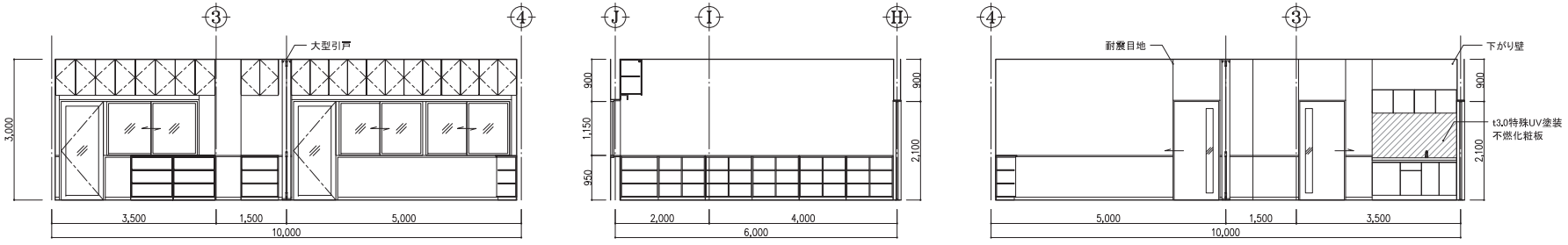


C-2

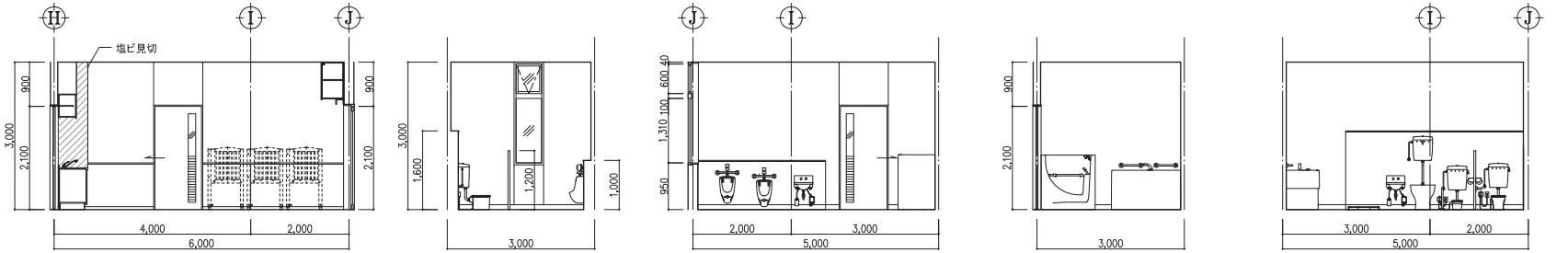


D

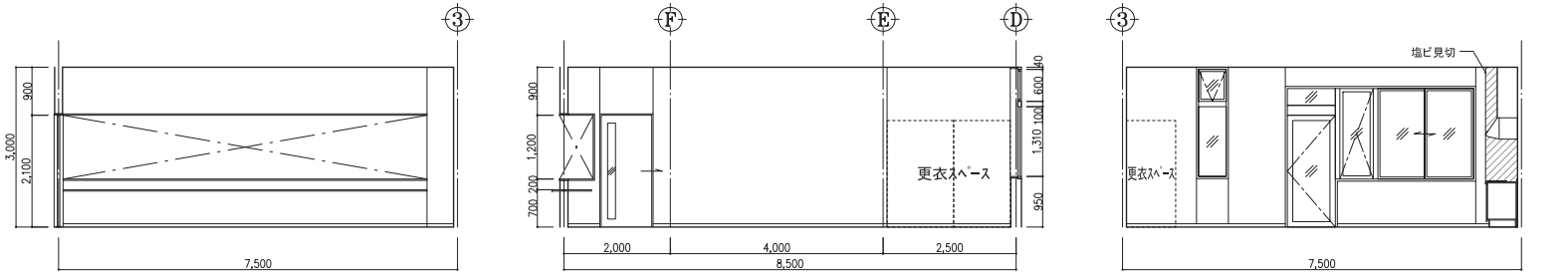
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(6)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-43	
	原図 / 複図	



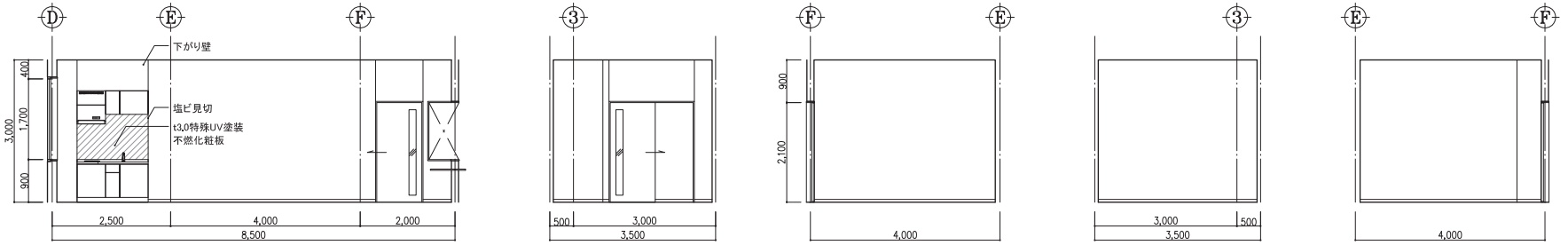
保育室　A　B　C



D　便所(保育室)　A　B　C　D

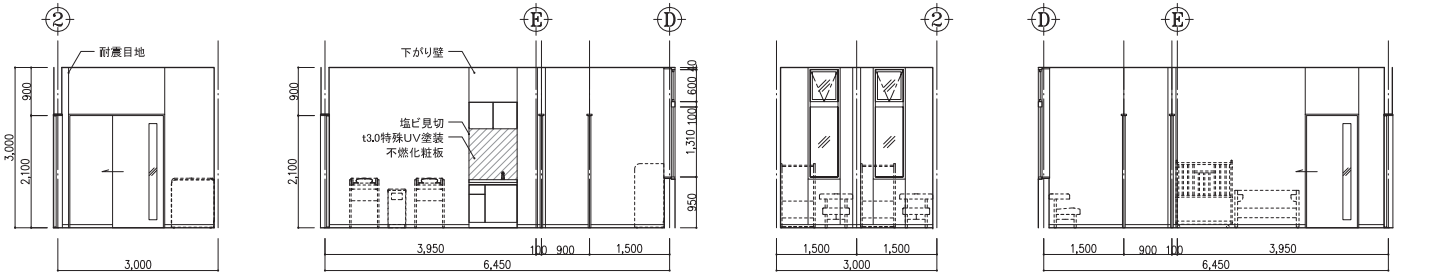


事務室　A　B　C

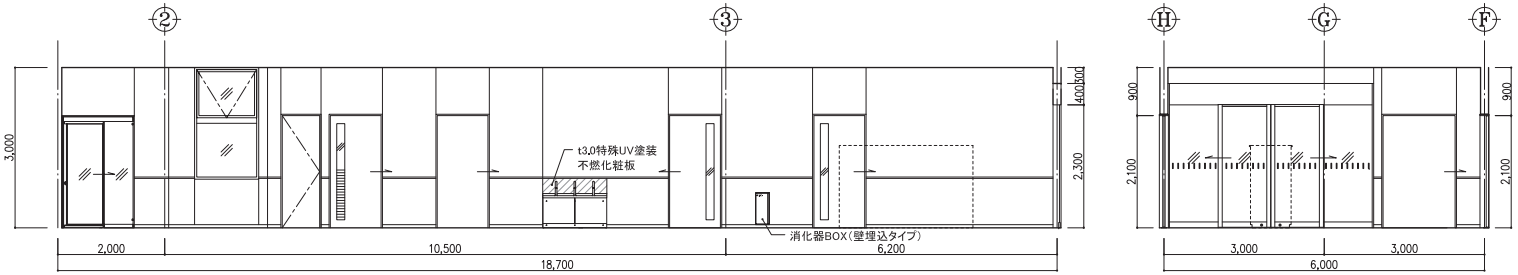


D　相談室(1)　A　B　C　D

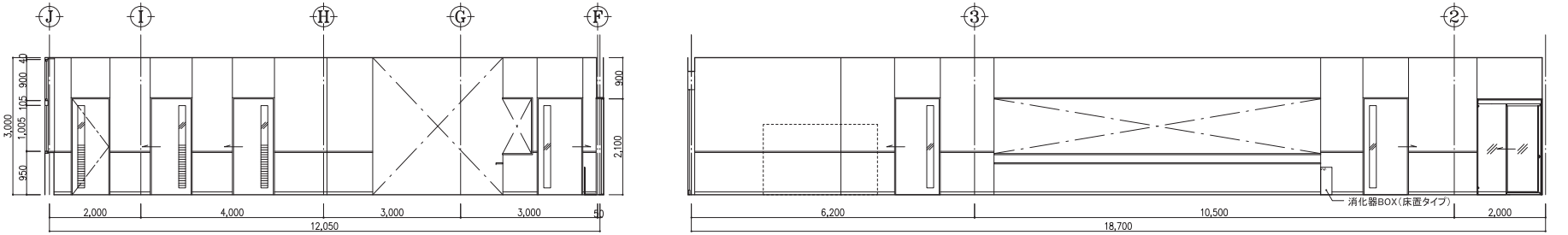
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	展開図(7)	製作	R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100	
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL.028(622)8928	図面No.	A−44	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		原図	複図	



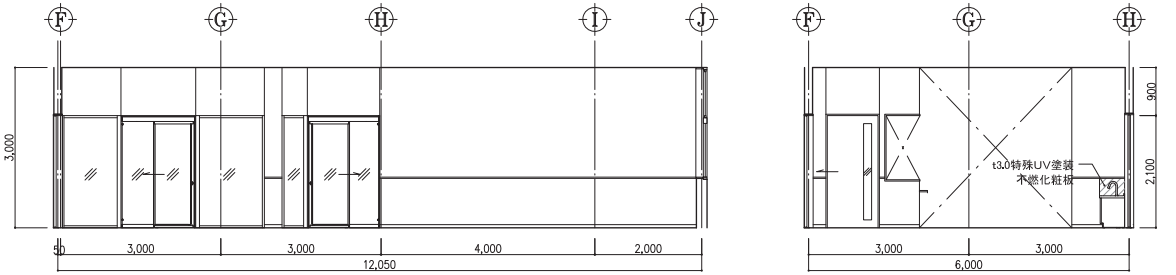
授乳室(1)　A　　B　　C　　D



玄関・廊下　　A　　B-1

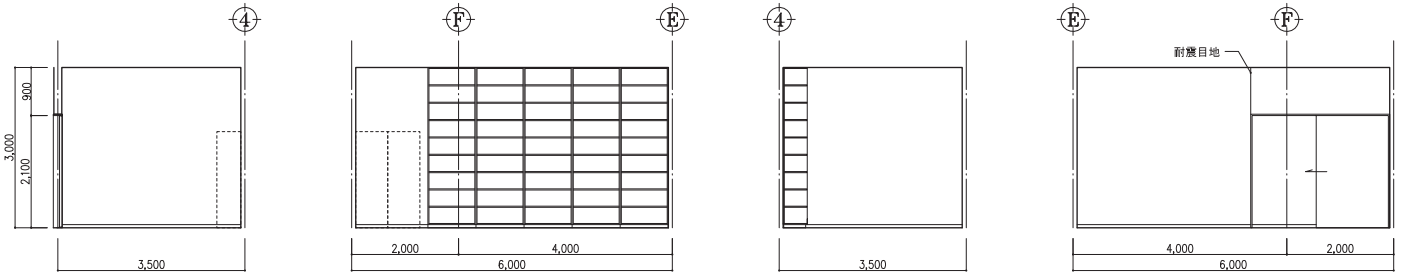


B-2　　C

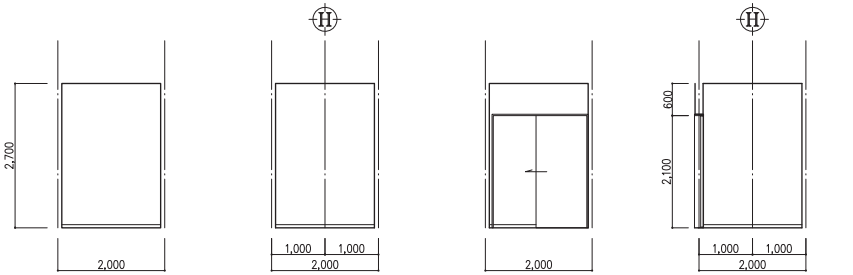


D-1　　D-2

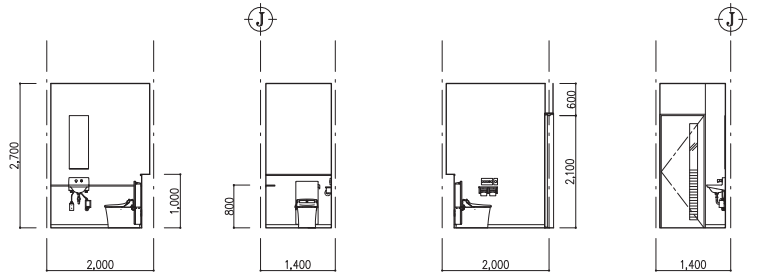
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(8)		製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928		縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. A-45	
		原図	複図



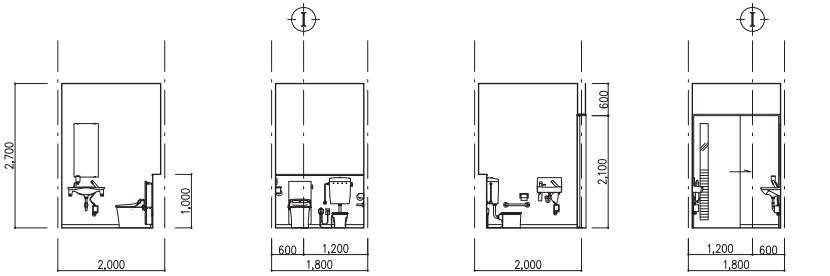
倉庫(2)　A　B　C　D



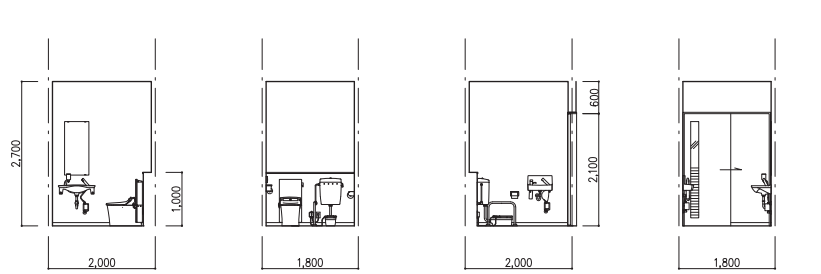
収納　A　B　C　D



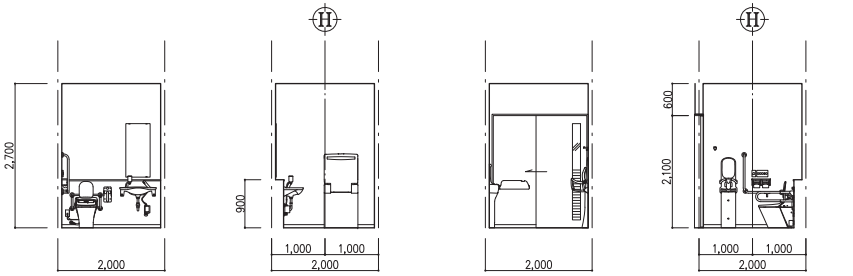
便所(1) A　B　C　D



便所(2) A　B　C　D

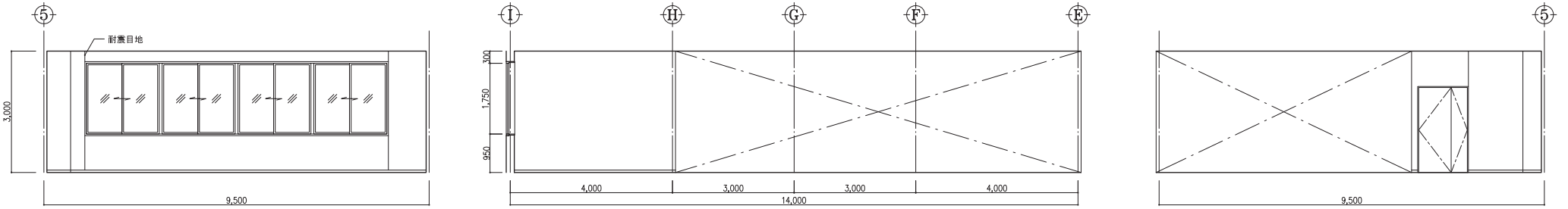


便所(3) A　B　C　D

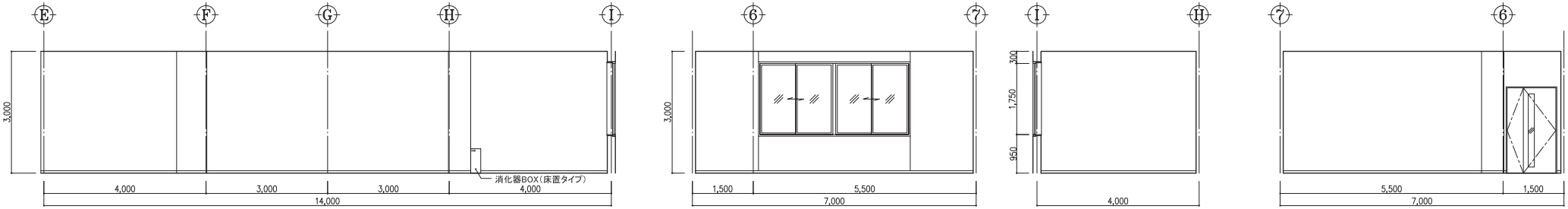


便所(4) A　B　C　D

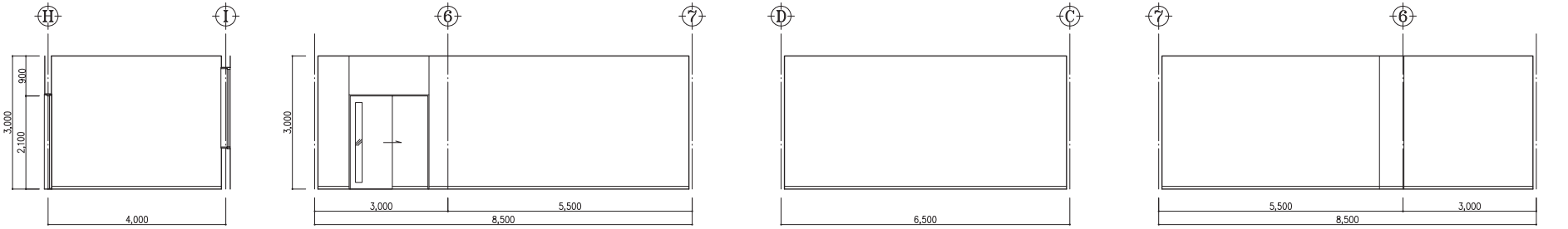
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(9)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−46	
	原図	複図



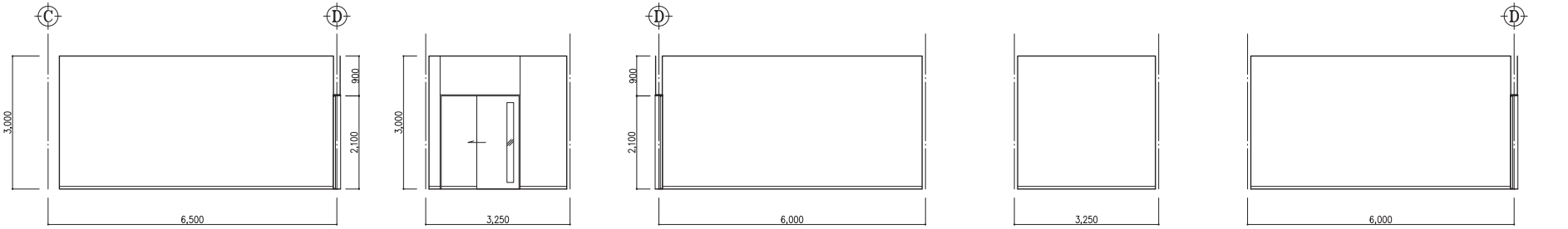
教育委員会事務局　A　B　C



D　教育長室　A　B　C



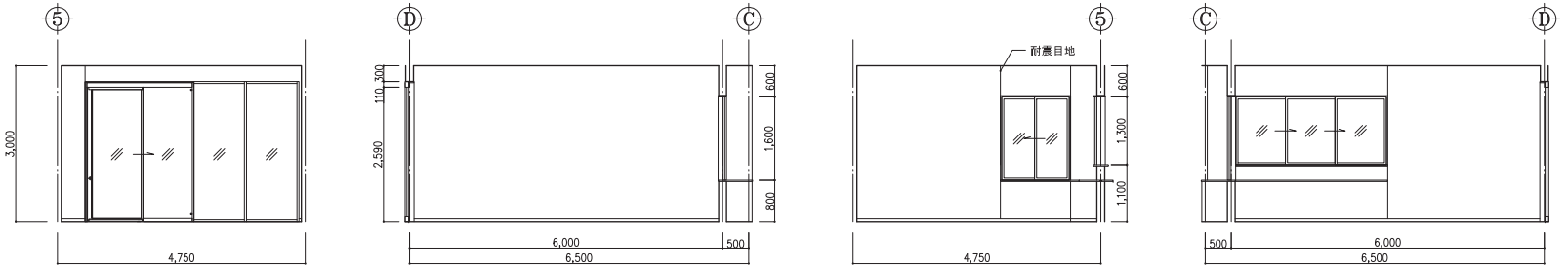
D　教育研究所　A　B　C



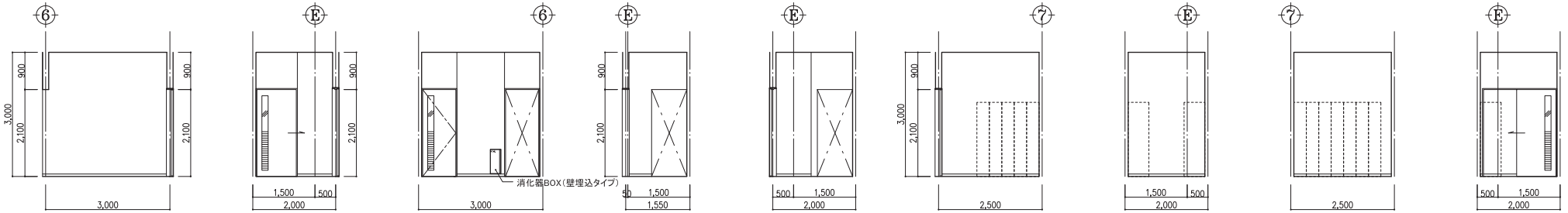
D　相談室(2)　A　B　C　D

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	展開図(10)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No.	A－47
		原図	複図

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

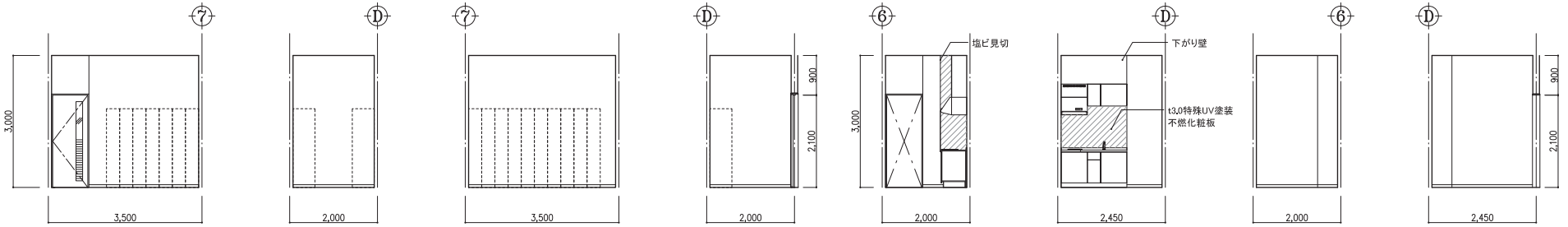


受付　A　B　C　D



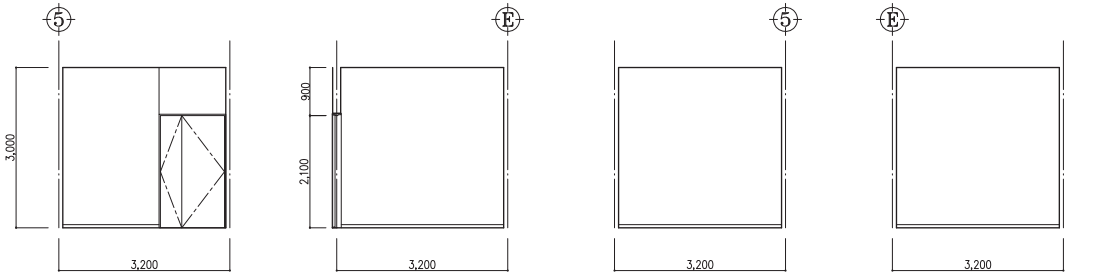
更衣室前廊下 A　B　C　D-1　D-2

更衣室(1) A　B　C　D



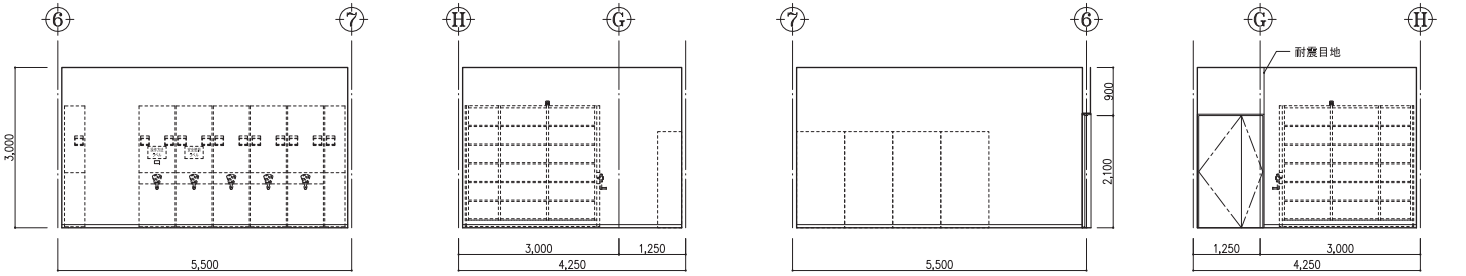
更衣室(2)　A　B　C　D

湯沸室 A　B　C　D

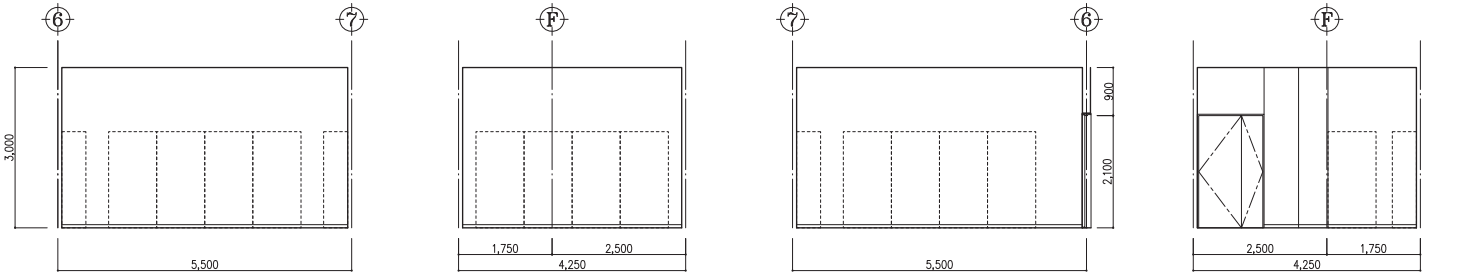


サーバー室　A　B　C　D

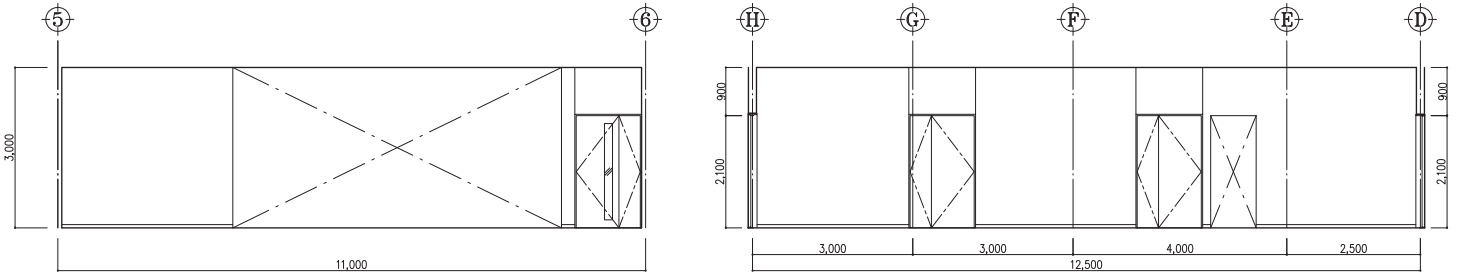
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(11)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-48	
	原図 / 複図	



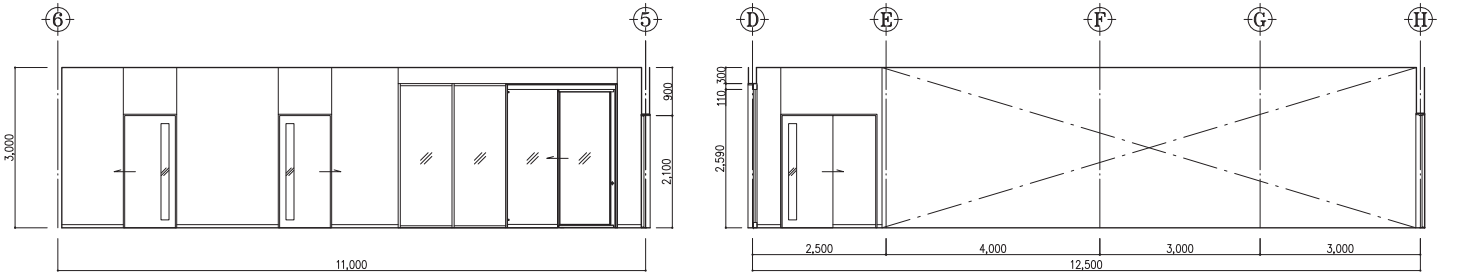
書庫　A　B　C　D



倉庫(3)　A　B　C　D

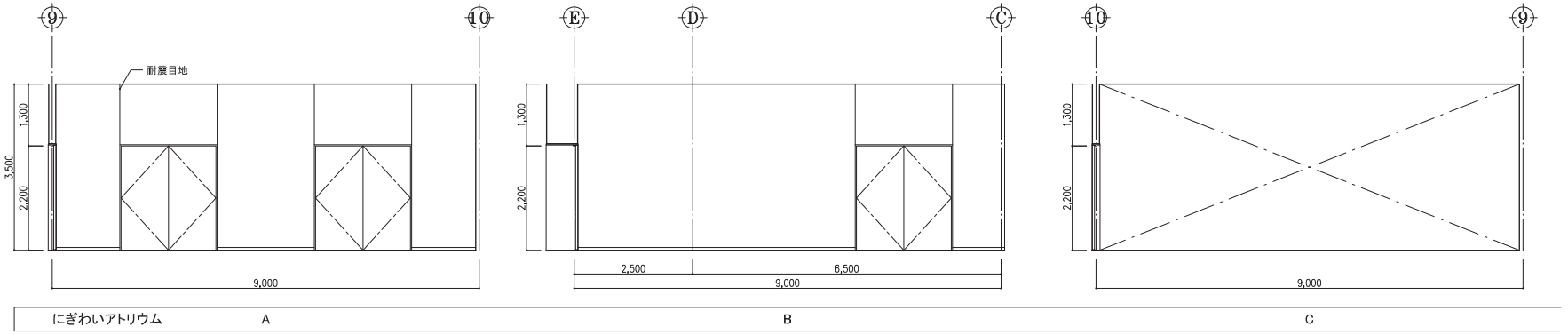


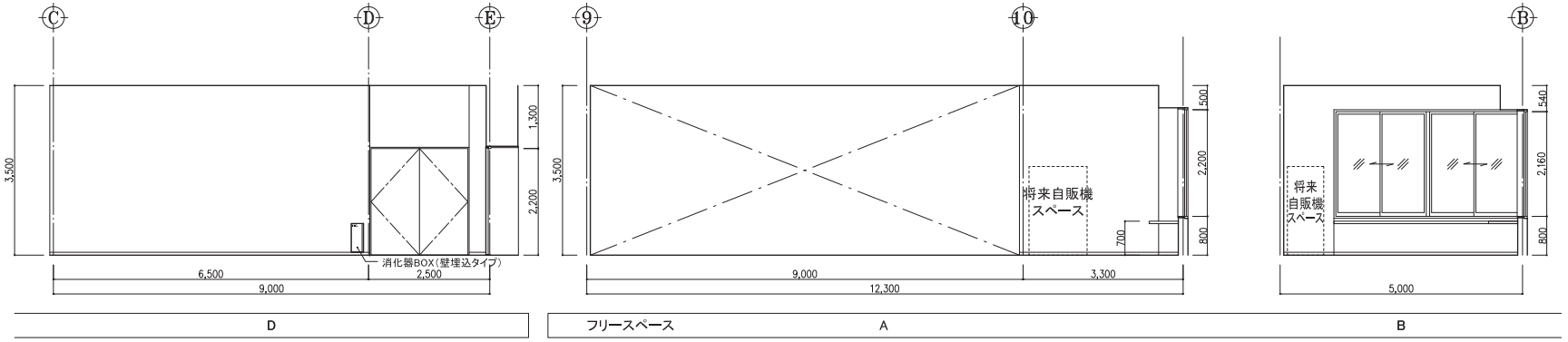
廊下(2)　A　B

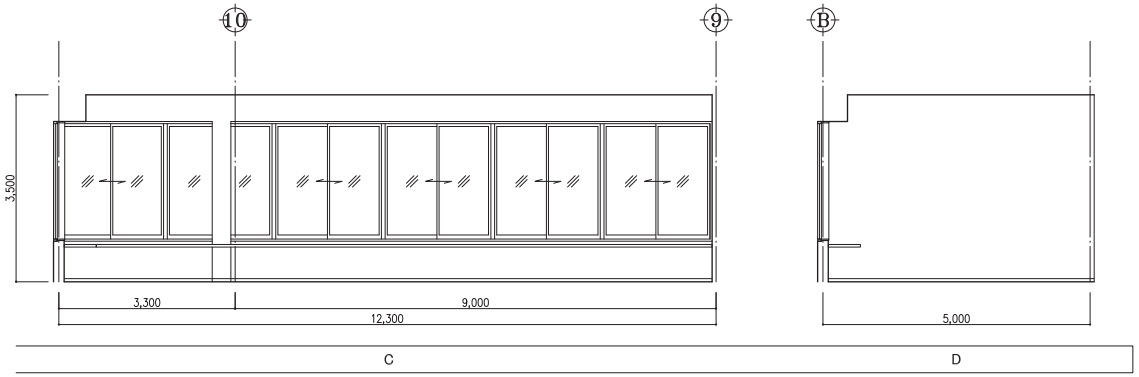


C　D

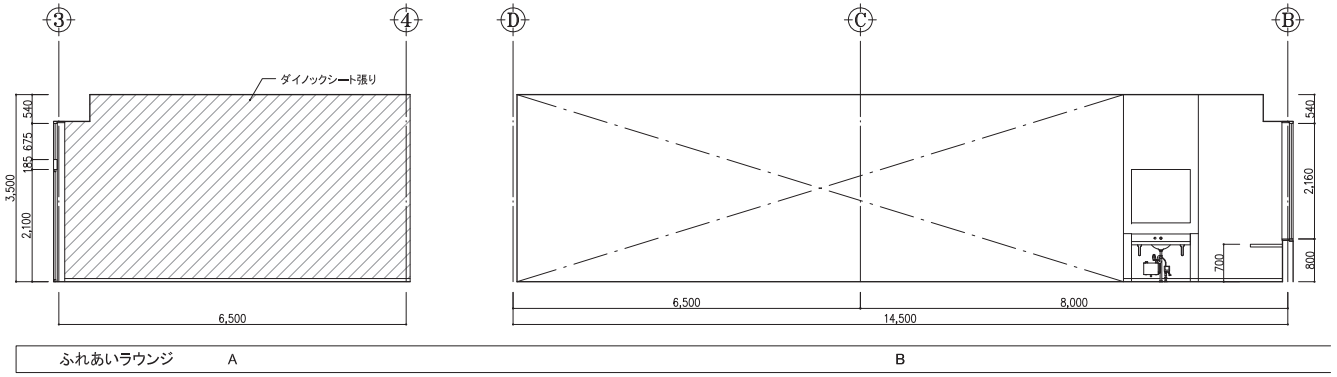
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(12)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−49	
	原図 / 複図	



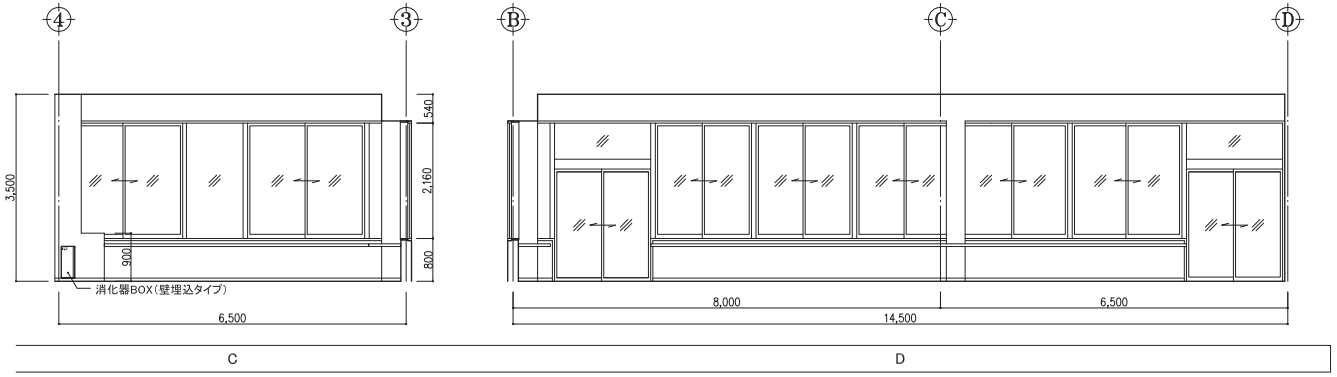




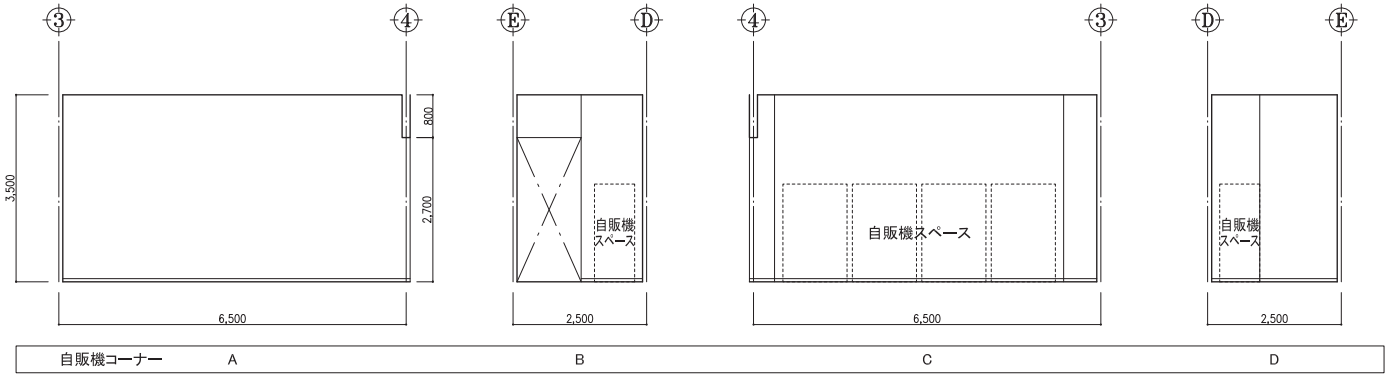
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(13)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−50	
	原図 / 複図	



ふれあいラウンジ　　A　　B

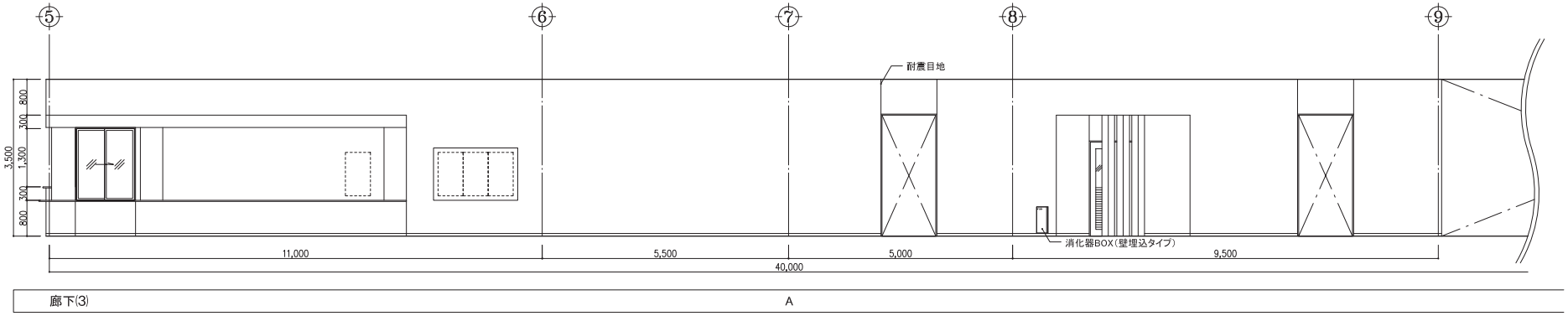


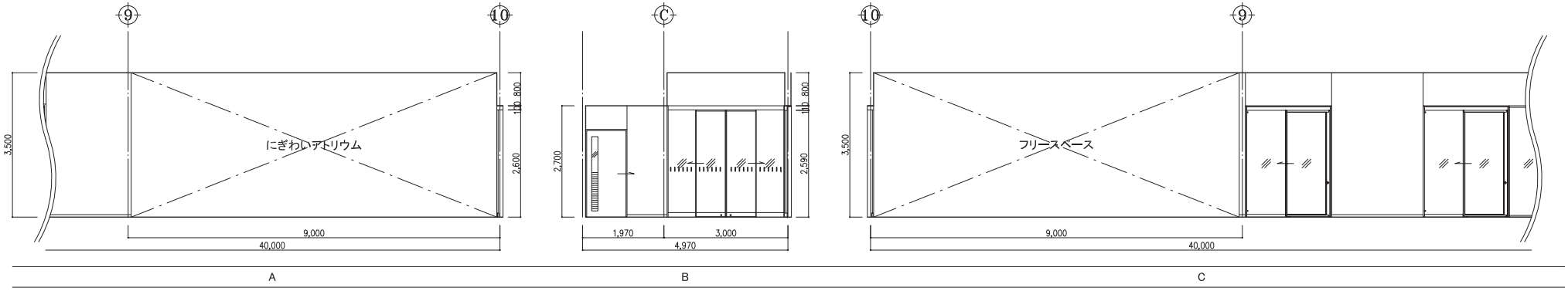
C　　D

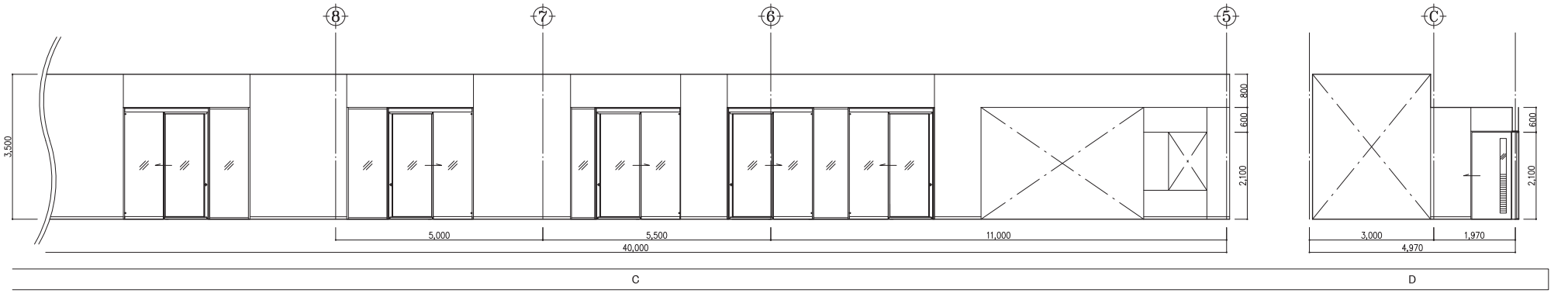


自販機コーナー　　A　　B　　C　　D

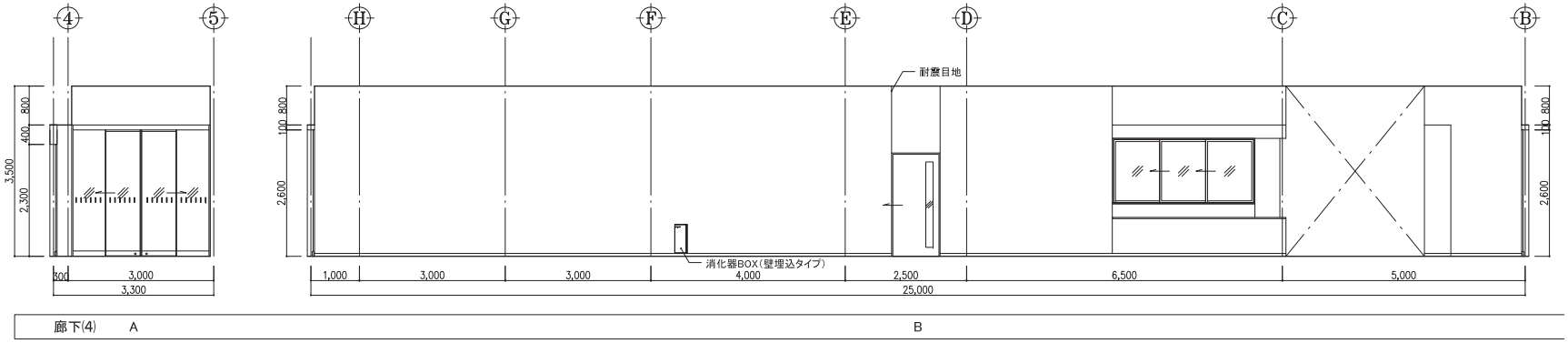
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(14)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図面No. A-51	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	原図 / 複図	

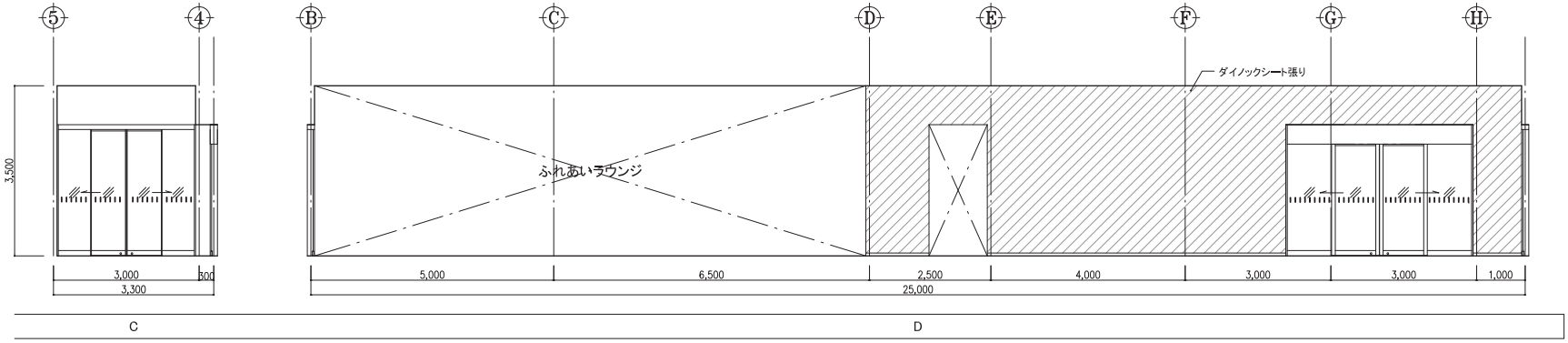


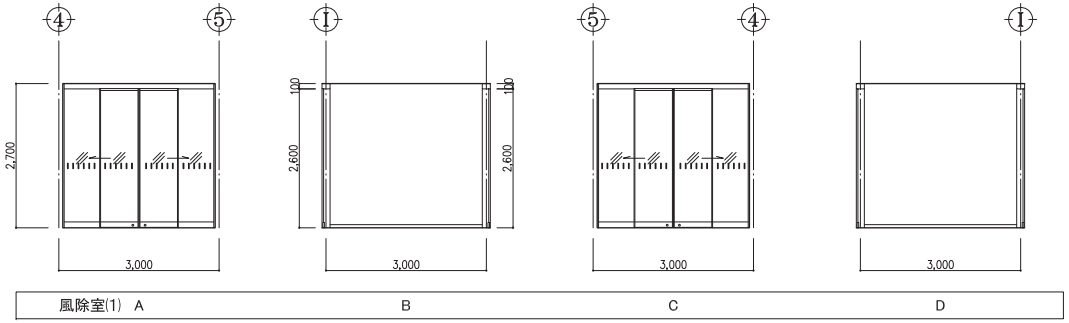




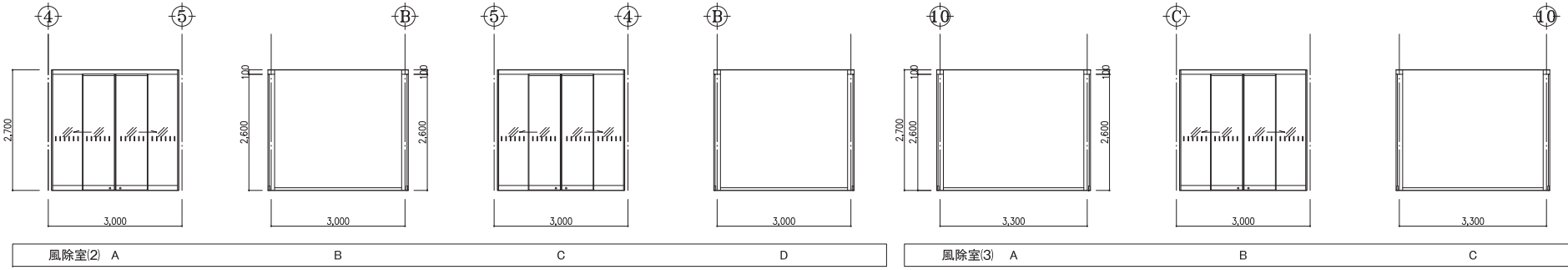
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(15)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−52	
	原図 / 複図	





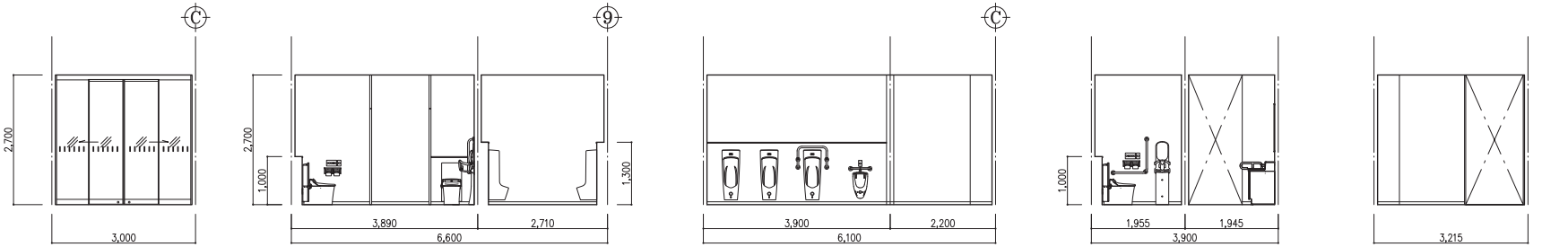


工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(16)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−53	
	原図 / 複図	



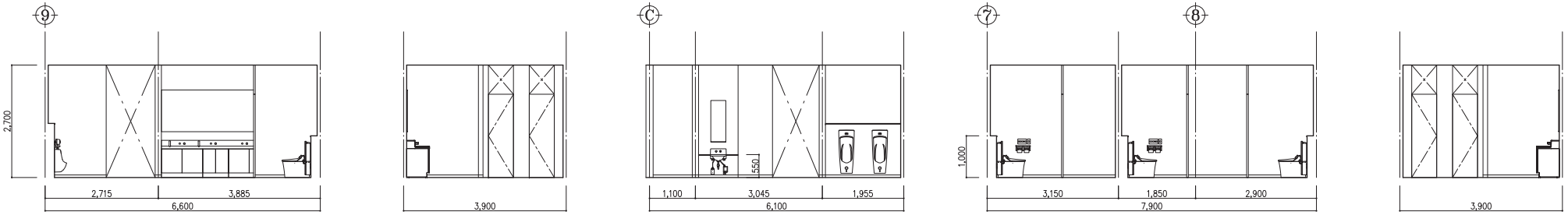
風除室(2) A B C D

風除室(3) A B C



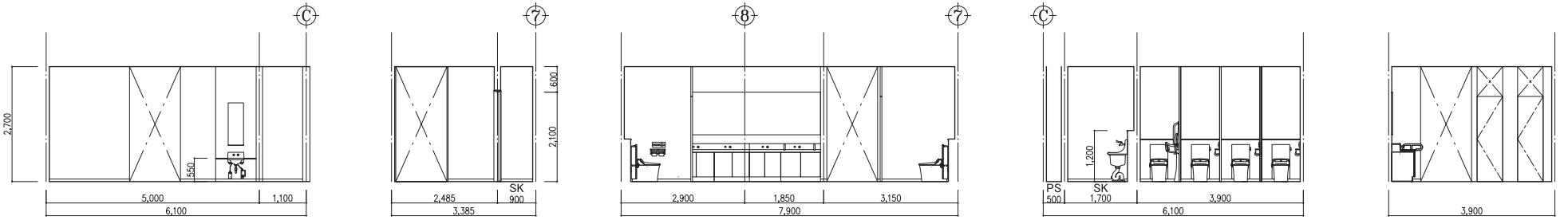
D

男子便所 A B-1 B-2 C-1



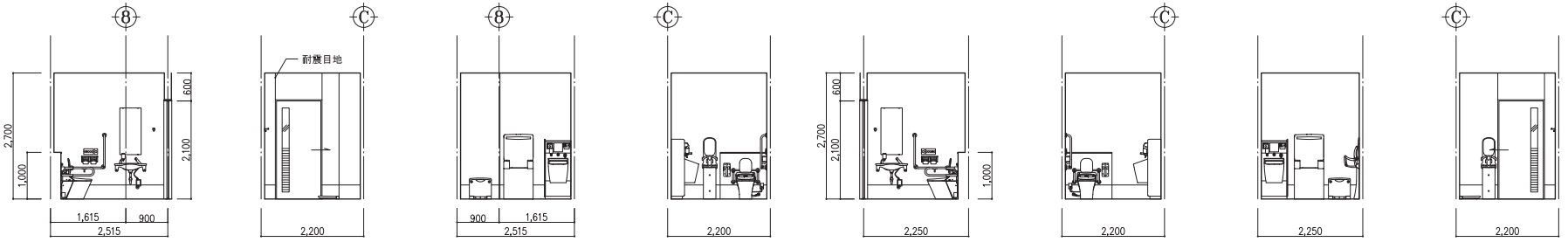
C-2 D-1 D-2

女子便所 A B-1



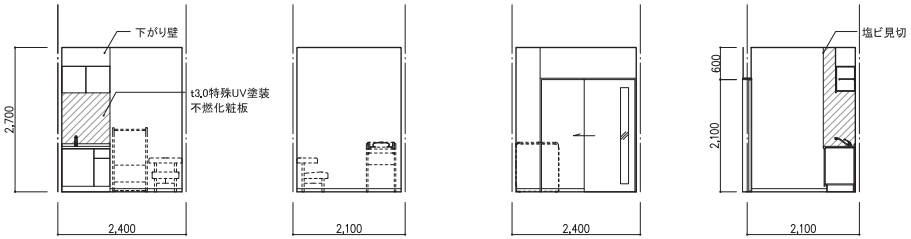
B-2 C-1 C-2 D-1 D-2

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(1/7)	設計 R05.01 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	図面No. A−54 原図 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

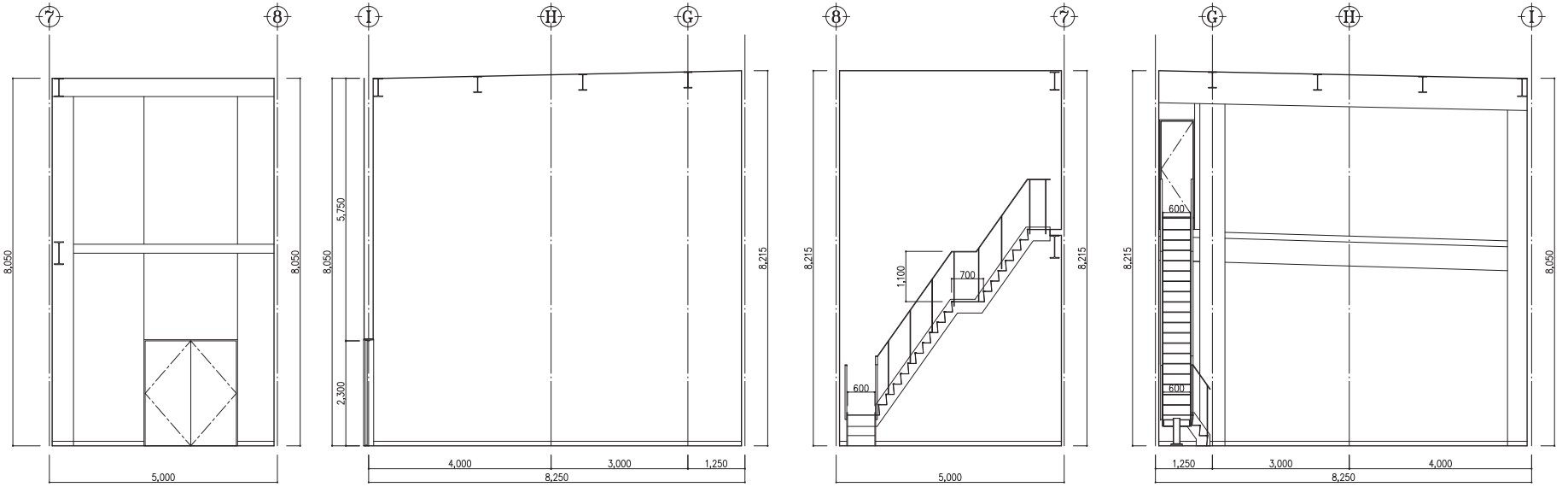


だれでもトイレ(1) A　B　C　D

だれでもトイレ(2) A　B　C　D

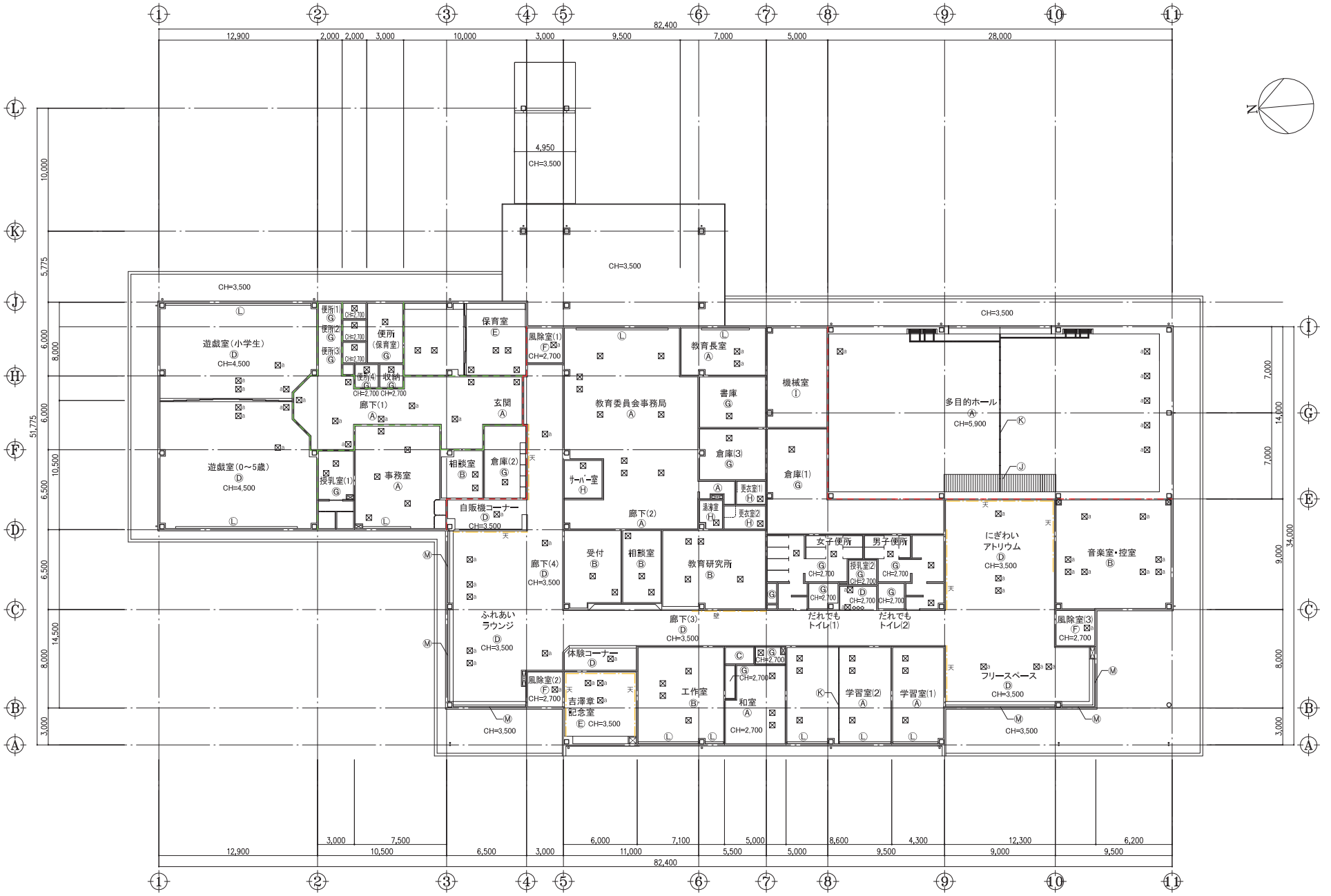


授乳室(2) A　B　C　D



機械室　A　B　C　D

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 展開図(18)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−55	
	原図	複図



天井伏図 S=1/300

凡例

Ⓐ	t9.ODR + t9.5GB-R + LGS下地	Ⓖ	t9.5GB(NT) + LGS下地	Ⓜ	カーテンボックス W130×H100（天井埋込）	⊠a	天井点検口 アルミ製 450×450 目地タイプ（位置は現場打合せによる）
Ⓑ	t9.ODR + t9.5GB(N) + LGS下地	Ⓗ	t9.5GB(NT) + t9.5GB-R + LGS下地			⊠	天井点検口 アルミ製 450×450 額縁タイプ（位置は現場打合せによる）
Ⓒ		Ⓘ	デッキプレート裏面（断熱材）現し			備考欄	特記なき天井高さは、CH=3,000 とする。
Ⓓ	ビニルクロス張り + t9.5GB-R二重張り + LGS下地	Ⓙ	排煙窓開口天井ルーバー	— —	防火区画（112条面積区画） — — 防火上主要な間仕切壁（114条区画）		
Ⓔ	ビニルクロス張り(不燃) + t9.5GB(N)二重張り + LGS下地	Ⓚ	スライディングウォール用レール	天	ピクチャーレール（天井先付タイプ）ステンレスハンガー@500		
Ⓕ	t9.5GB-D + LGS下地	Ⓛ	カーテンボックス W130×H100（天井直付）	壁	ピクチャーレール（壁付タイプ）ステンレスハンガー@500		

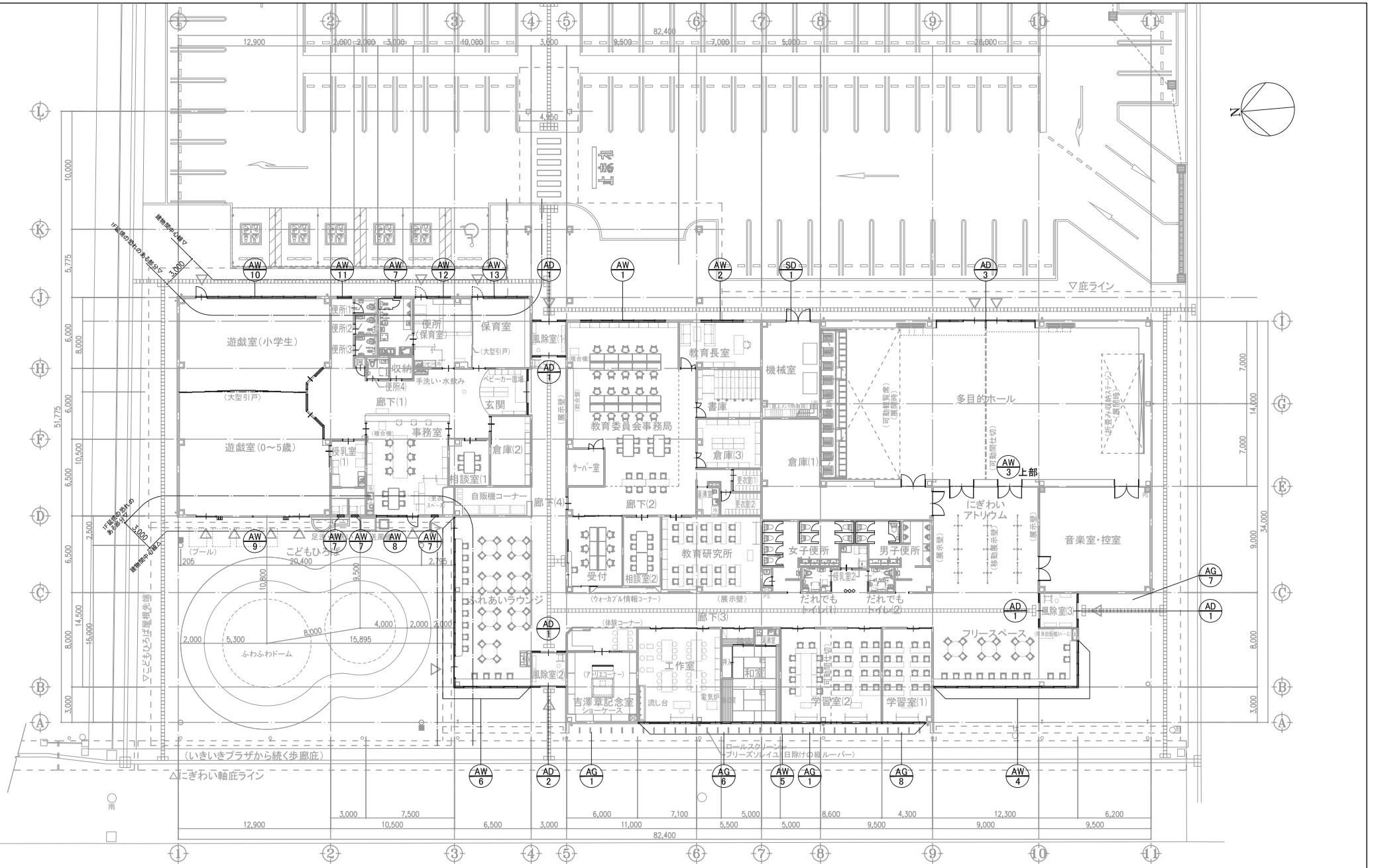
工事名 （仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名 天井伏図

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928

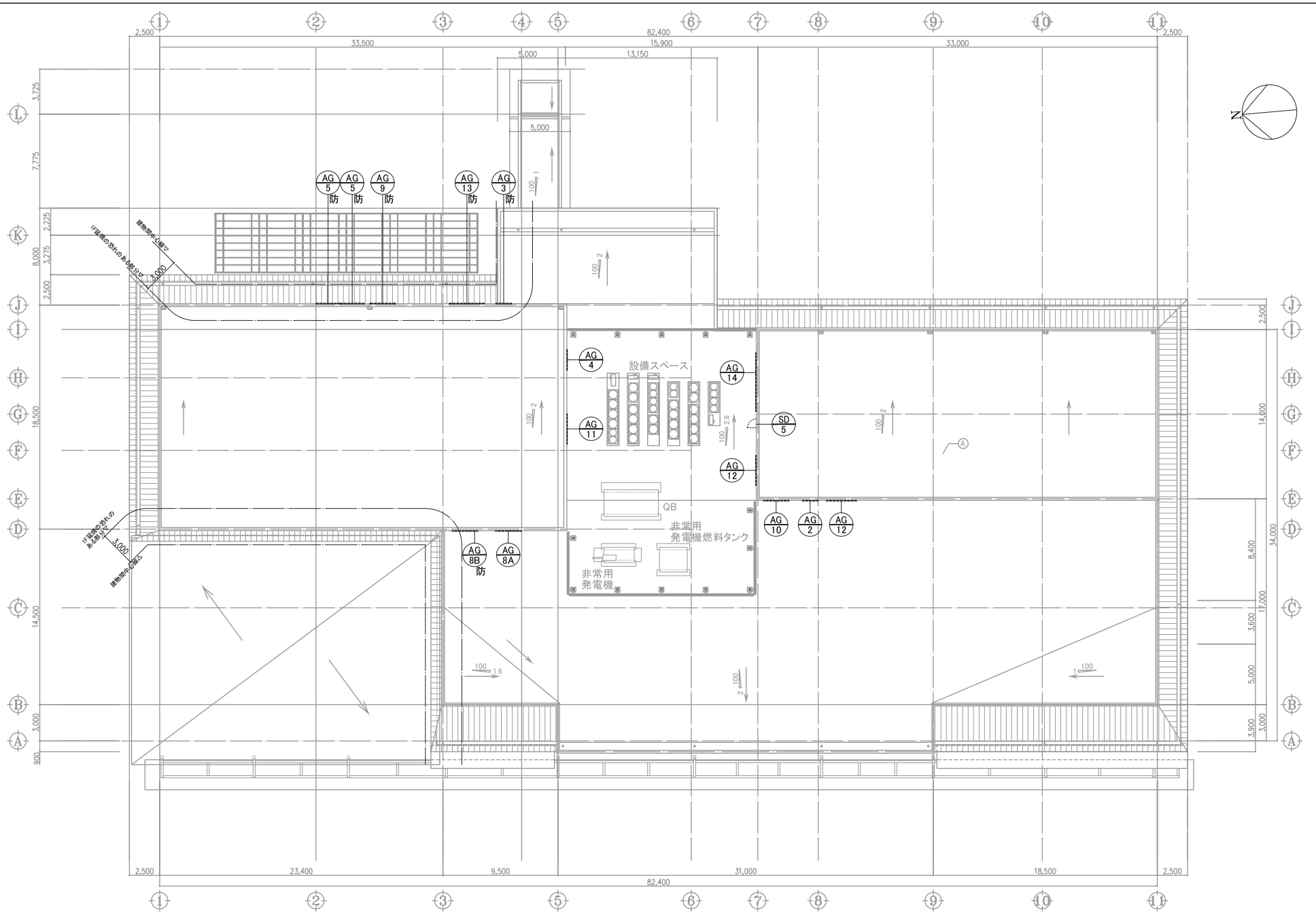
No. 03123
製図 R05.01
縮尺 A1:1/150 A3:1/300
図面No. A－56
承 検 後 図

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



外部建具キープラン　S=1/300

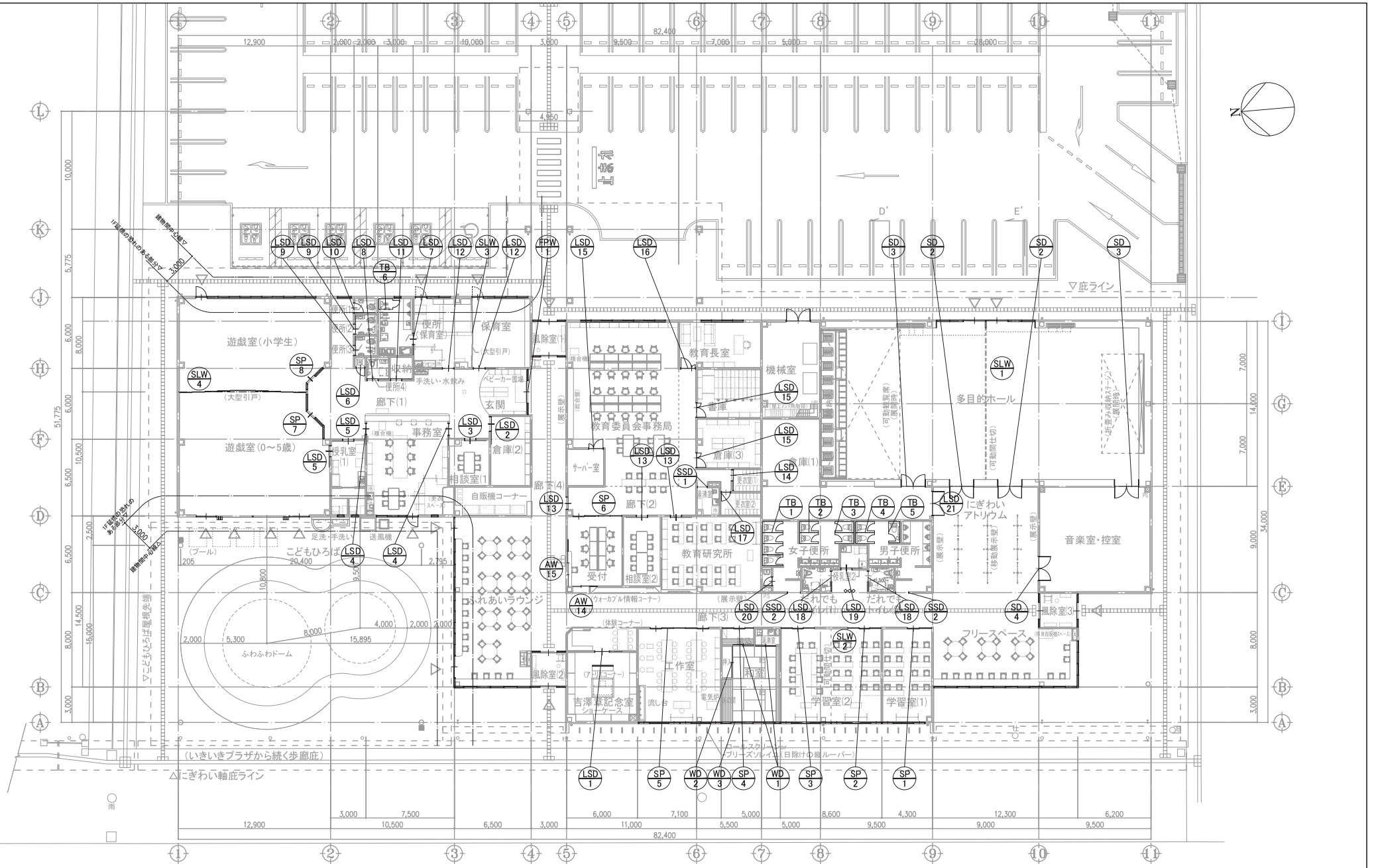
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 外部建具キープラン(1)	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栄富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大豆1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/150 A3:1/300 図面No. A－57 承 検 認 図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



外部建具キープラン　S=1/300

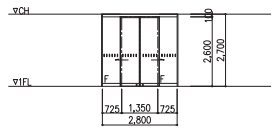
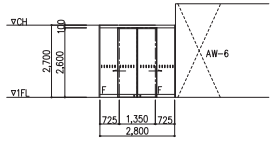
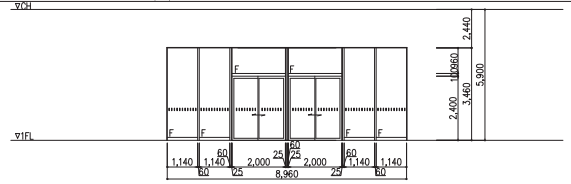
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	外部建具キープラン(2)	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/150 A3:1/300
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号　TEL.028(622)8928		図面No.	A－58
		承認 / 検図	

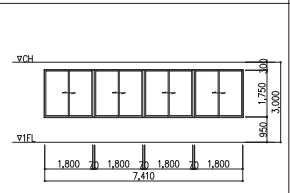
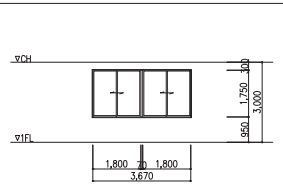
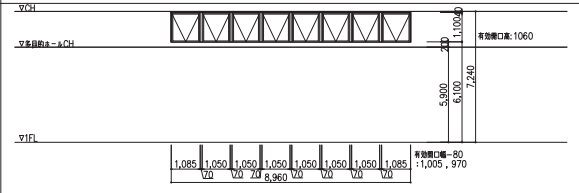
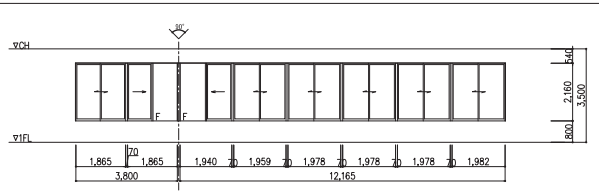
管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原 好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号

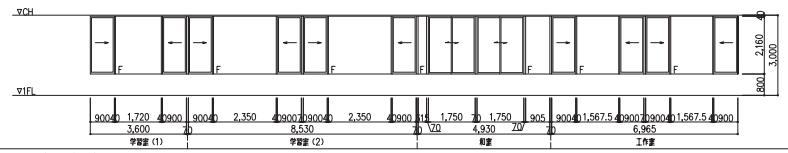
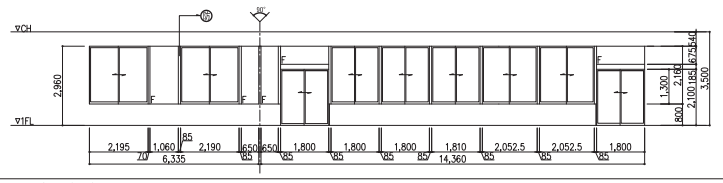
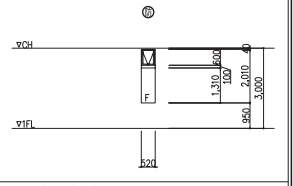


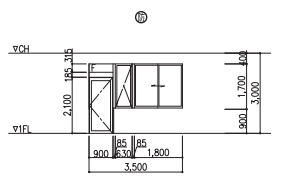
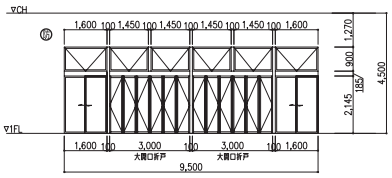
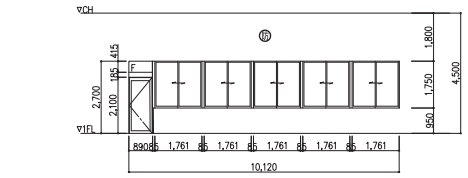
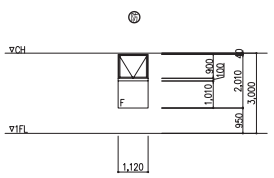
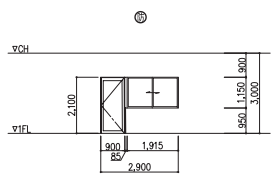
内部建具キープラン　S=1/300

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	内部建具キープラン
株式会社 フケタ設計	代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号　TEL 028(622)8928
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1:1/150 A3:1/300
図面No.	A－59
承認 / 検図	
管理建築士	古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号

符号見込箇所	AD−1　160　5	AD−2　160　1	AD−3　160(70)　1			
形状						
材質・仕上	アルミ　（ステンカラー）　袖FIX−両引分け自動ドア	アルミ　（ステンカラー）　袖FIX−両引分け自動ドア	アルミ　（ステンカラー）　袖・欄間FIX−引違い窓			
硝子	強化ガラス6（ドア部分：強化ガラス8）	強化ガラス6（ドア部分：強化ガラス8）	強化ガラス8			
金物 錠	本締錠	本締錠	空錠防止ロック付クレセント			
金物 支持金物	自動ドアエンジン装置、ガイドレール、自動ドア安全ガード共	自動ドアエンジン装置、ガイドレール、自動ドア安全ガード共	戸車			
金物 その他金物	標準金物一式、振止め断止、アルミ額縁、衝突防止ソール、防護棚（3wt25ハイガード2 21½)(同等品)	標準金物一式、振止め断止、アルミ額縁、衝突防止ソール、防護棚（3wt25ハイガード2 21½)(同等品)	標準金物一式、下枠フラット枠、可動網戸、アルミ額縁			
室名	風除室（1）、（2）、（3）	風除室（2）	生涯学習部門　多目的ホール			
備考						

符号見込箇所	AW−1　70　1	AW−2　70　1	AW−3　70　1	AW−4　70　1
形状				
材質・仕上	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）　掃題外倒し窓	アルミ　（ステンカラー）
硝子	強化ガラス4 ＋ A6 ＋ FL5	強化ガラス4 ＋ A6 ＋ FL5	アルミパネル3	強化ガラス4 ＋ A6 ＋ FL5
金物 錠	空錠防止ロック付クレセント	空錠防止ロック付クレセント	オペレーター装置（開ベい式）	空錠防止ロック付クレセント
金物 支持金物	戸車	戸車	丁番	戸車
金物 その他金物	標準金物一式、可動網戸、アルミ額縁	標準金物一式、可動網戸、アルミ額縁	標準金物一式、アルミ額縁	標準金物一式、可動網戸、アルミ額縁
室名	分庁機能部門　教育委員会事務局	分庁機能部門　教育長室	生涯学習部門　多目的ホール	フリースペース
備考				コーナー片引き窓（面側障子 外動タイプ）

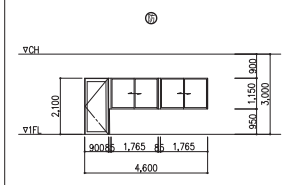
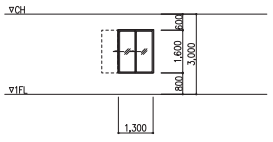
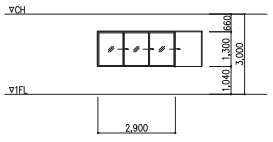
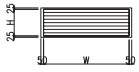
符号見込箇所	AW−5　70　1	AW−6　70　1	AW−7　70　4
形状			
材質・仕上	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）
硝子	強化ガラス4 ＋ A6 ＋ FL5	強化ガラス4 ＋ A6 ＋ FL5、防火設備部：網入り透明6.8 ＋ A6 ＋ FL5	網入り型6.8 ＋ A6 ＋ FL5
金物 錠	空錠防止ロック付クレセント	空錠防止ロック付クレセント	オペレーター装置（開蔀式）
金物 支持金物	戸車	戸車	
金物 その他金物	標準金物一式、可動・固定網戸、アルミ額縁（W和室のみ大額縁）	標準金物一式、可動網戸、アルミ額縁	標準金物一式、固定網戸、アルミ額縁
室名	生涯学習部門　学習室（1）、学習室（2）、和室、工作室	ふれあいラウンジ	子育て支援部門　事務室、授乳室（1）、便所（保育室）
備考			

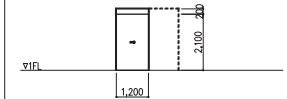
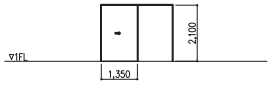
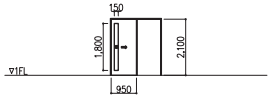
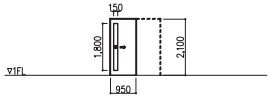
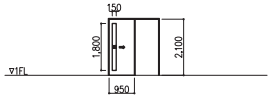
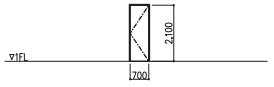
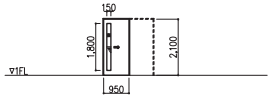
符号見込箇所	AW−8　70　1	AW−9　70　1	AW−10　70　1	AW−11　70　1	AW−12　70　1
形状					
材質・仕上	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）	アルミ　（ステンカラー）
硝子	網入り透明6.8 ＋ A6 ＋ FL5	網入り透明6.8 ＋ A6 ＋ FL5、大開口折戸部：網入り透明6.8	網入り透明6.8 ＋ A6 ＋ FL5	網入り透明6.8 ＋ A6 ＋ FL5	網入り透明6.8 ＋ A6 ＋ FL5
金物 錠	レバーハンドル錠、空錠防止ロック付クレセント	空錠防止ロック付クレセント、オペレーター装置（開ベい式）	空錠防止ロック付クレセント	オペレーター装置（開蔀式）	レバーハンドル錠、空錠防止ロック付クレセント
金物 支持金物	丁番、ドアクローザー（ストッパー無）、戸車	戸車	丁番、ドアクローザー（ストッパー無）、戸車		丁番、ドアクローザー（ストッパー無）、戸車
金物 その他金物	標準金物一式、アルミ額縁	標準金物一式、アルミ額縁	標準金物一式、アルミ額縁	標準金物一式、固定網戸、アルミ額縁	標準金物一式、可動網戸
室名	子育て支援部門　事務室	子育て支援部門　遊戯室（0〜5歳）	子育て支援部門　遊戯室（小学生）	子育て支援部門　廊下（1）	子育て支援部門　保育室
備考		大開口折戸：TOKO イスターカーテンあけてんで同等品			

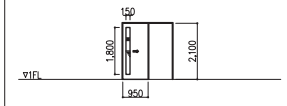
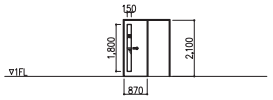
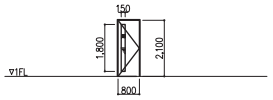
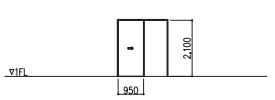
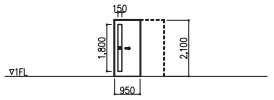
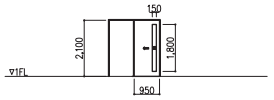
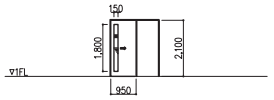
凡例

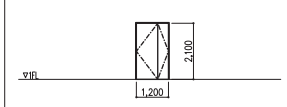
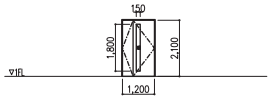
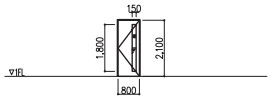
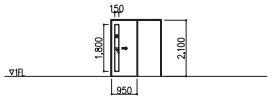
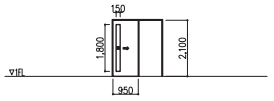
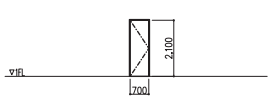
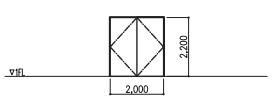
木製戸	WD	ステンレス製戸	SSW	アルミニウム製がらり	AG	ラバトリーヒンジ	LH	熱線吸収ブルーガラス	HFL	熱線吸収ブルー網入層板ガラス	HPW
鋼製戸	SD	アルミニウム製戸	AW	ふすま	F	ピボットヒンジ	PH	熱線吸収グレーガラス	GFL	空気層	A
鋼製軽量戸	LD	鋼製軽量シャッター	SS	紙障子	S	ヒンジクローザー	HC	熱線吸収ブロンズガラス	BFL		
ステンレス製戸	SSD	鋼製軽量シャッター	LS	アルミパーテーション	AP	フロートガラス	FL	網入型板ガラス	FW		
アルミニュウム製戸	AD	オーバーヘッドドア	OHS	スチールパーテーション	SP	スリ板ガラス	SG	網入層板ガラス	PW		
木製窓	WW	木製がらり	WG	ドアクローザー	DC	層板ガラス	P	熱線吸収グレー網入層板ガラス	GPW		
鋼製窓	SW	鋼製がらり	SG	フロアヒンジ	FH	型板ガラス	F	熱線吸収ブロンズ網入層板ガラス	BPW		

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	建具表(1)
作成者	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号　TEL 028(622)8928
No.	03123
製作	R05.01
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面No.	A−60
原図	検図
管理建築士	古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号

符号見込箇所	AW−13　70　1	AW−14　70　1	AW−15　70　1		AG−**　70　*		
形状						AG−1: W1200×H300. 2箇所、軒天設置 AG−2: W1200×H1000. 1箇所、外壁設置 AG−3: W1400×H400. 1箇所、外壁設置、防火設備 AG−4: W1600×H300. 1箇所、外壁設置 AG−5: W1700×H400. 2箇所、外壁設置、防火設備 AG−6: W1800×H300. 1箇所、軒天設置 AG−7: W1800×H500. 1箇所、軒天設置 AG−8: W2000×H300. 1箇所、軒天設置 AG−8A: W2000×H300. 1箇所、外壁設置 AG−8B: W2000×H300. 1箇所、外壁設置、防火設備 AG−9: W2000×H400. 1箇所、外壁設置、防火設備 AG−10: W2000×H1000. 1箇所、外壁設置 AG−11: W2400×H300. 1箇所、外壁設置 AG−12: W2400×H1000. 2箇所、外壁設置 AG−13: W2800×H400. 1箇所、外壁設置、防火設備 AG−14: W4000×H1000. 1箇所、外壁設置 *防火設備：内部スチール製可動ガラリ設置	
材質・仕上	アルミ　(ステンカラー)	アルミ　(ステンカラー)	アルミ　(ステンカラー)		アルミ　(ステンカラー)		
硝子	網入り透明6.8 + A6 + FL5	強化ガラス4	強化ガラス4				
金物 錠	レバーハンドル錠、空調防止ロック付クレセント	空調防止ロック付クレセント	空調防止ロック付クレセント				
金物 支持金物	丁番、ドアクローザー (ストッパー無)、戸車	戸車	戸車				
金物 その他金物	標準金物一式、可動網戸	標準金物一式、SUSフラットレール、アルミ額縁	標準金物一式、SUSフラットレール、アルミ額縁				
室名	子育て支援部門　保育室	生涯学習部門　受付	生涯学習部門　受付		1階軒天、屋根上		
備考		カウンター窓	カウンター窓		ガラリ、有効開口率35%、防鳥網付		

符号見込箇所	LSD−1　250　1	LSD−2　250　1	LSD−3　250　1	LSD−4　250　2	LSD−5　250　2	LSD−6　250　1	LSD−7　250　1
形状							
材質・仕上	枠：St　ダイノックシート貼　扉：St　ダイノックシート貼	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板
硝子	−	−	型t4	FLt5	型t4	−	型t4
金物 錠	本締錠	引戸錠	引戸錠	引戸錠	引戸錠	レバーハンドル錠	引戸錠
金物 支持金物	エンジン装置	引戸クローザ	引戸クローザ	引戸クローザ	引戸クローザ	丁番　DC　戸当り	引戸クローザ
金物 その他金物	無目付センサー、補助センサー	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型
室名	生涯学習部門　吉澤家記念室	子育て支援部門　倉庫 (2)	子育て支援部門　相談室	子育て支援部門　事務室	子育て支援部門　授乳室 (1)	子育て支援部門　PS	子育て支援部門　便所 (保育室)
備考	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード (戸袋ボード) 同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　LSD同等品	三和シャッター　スムード (戸袋ボード) 同等品

符号見込箇所	LSD−8　250　1	LSD−9　250　2	LSD−10　250　1	LSD−11　250　1	LSD−12　250　2	LSD−13　250　3	LSD−14　250　1
形状							
材質・仕上	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：化粧調板	枠：St　SOP　扉：化粧調板
硝子	型t4	型t4	型t4	−	FLt5	型t4	型t4
金物 錠	引戸錠、大型サムターン	引戸錠	レバーハンドル錠	引戸錠	引戸錠	引戸錠	引戸錠
金物 支持金物	引戸クローザ	引戸クローザ	丁番　DC　戸当り	引戸クローザ	引戸クローザ	引戸クローザ	引戸クローザ
金物 その他金物	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS引棒　SUS吝嗇C型	SUS引棒　SUS吝嗇C型
室名	子育て支援部門　便所 (4)	子育て支援部門　便所 (2) (3)	子育て支援部門　便所 (1)	子育て支援部門　収納	子育て支援部門　保育室	分庁機能部門　廊下 (2)、相談室、教育研究所	分庁機能部門　更衣室 (1)
備考	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　LSD同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード (戸袋ボード) 同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード同等品

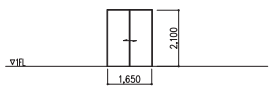
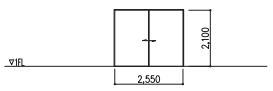
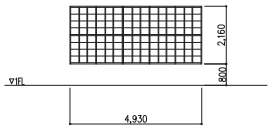
符号見込箇所	LSD−15　250　3	LSD−16　250　1	LSD−17　250　1	LSD−18　250　2	LSD−19　250　1	LSD−20　250　1	LSD−21　250　1
形状							
材質・仕上	枠：St　SOP　扉：化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板	枠：St　SOP　扉：木目柄化粧調板
硝子	−	型t4	−	型t4	型t4	−	−
金物 錠	レバーハンドル錠	レバーハンドル錠	引戸錠	引戸錠、大型サムターン	引戸錠、大型サムターン	レバーハンドル錠	レバーハンドル錠
金物 支持金物	丁番　DC　戸当り	丁番　DC　戸当り	引戸クローザ	引戸クローザ	引戸クローザ	丁番　DC　戸当り	丁番　DC　戸当り
金物 その他金物	SUS吝嗇C型	SUS吝嗇C型	SUS引棒　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS大型引棒 (ユニカ: G7053−01−001−L600同等品)　SUS吝嗇C型	SUS吝嗇C型	SUS吝嗇C型
室名	分庁機能部門　書庫　倉庫 (3)　サーバー室	分庁機能部門　教育長室	分庁機能部門　更衣室 (2)	共用部　だれでもトイレ	共用部　授乳室 (2)	共用部　女子便所SK	共用部　倉庫 (1)
備考	三和シャッター　LSD同等品	三和シャッター　LSD同等品	三和シャッター　LSD同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　スムード同等品	三和シャッター　LSD同等品	三和シャッター　LSD同等品

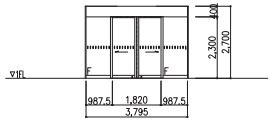
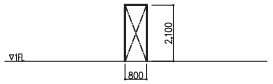
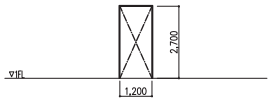
凡例

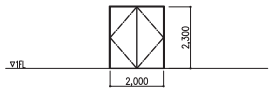
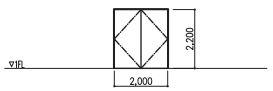
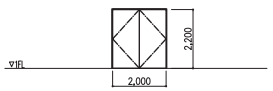
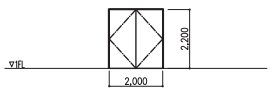
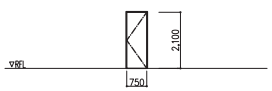
木製戸	WD	ステンレス製戸	SSW	アルミニウム製がらり	AG	ラバトリーヒンジ	LH	熱線吸収ブルーガラス	HFL	熱線吸収ブルー網入磨板ガラス	HPW
鋼製戸	SD	アルミニウム製戸	AW	ふすま	F	ピボットヒンジ	PH	熱線吸収グレーガラス	GFL	空気層	A
鋼製軽量戸	LD	鋼製軽量シャッター	SS	紙障子	S	ヒンジクローザー	HC	熱線吸収ブロンズガラス	BFL		
ステンレス製戸	SSD	鋼製軽量シャッター	LS	アルミパーテーション	AP	フロートガラス	FL	網入型板ガラス	FW		
アルミニュウム製戸	AD	オーバーヘッドドア	OHS	スチールパーテーション	SP	スリ板ガラス	SG	網入磨板ガラス	PW		
木製窓	WW	木製がらり	WG	ドアクローザー	DC	磨板ガラス	P	熱線吸収グレー網入磨板ガラス	GPW		
鋼製窓	SW	鋼製がらり	SG	フロアヒンジ	FH	型板ガラス	F	熱線吸収ブロンズ網入磨板ガラス	BPW		

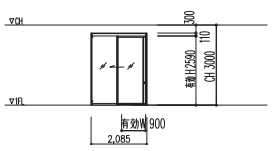
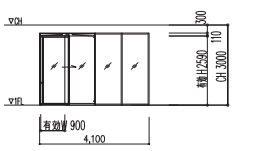
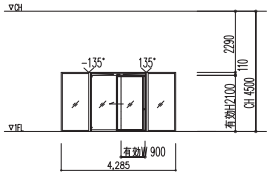
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	建具表(2)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面No.	A−61
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大生1丁目5番6号　TEL 028(622)8928	承	検 図

管理建築士	古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号

符号見込箇所	WD−1	2	WD−2	1	WD−3	1					
形状											
材質・仕上	枠：絵集成材　扉：新鳥の子		枠：絵集成材　扉：新鳥の子		枠：絵集成材　扉：障子強化和紙						
硝子	−		−		−						
金物 錠	−		−		−						
金物 支持金物	−		−		−						
金物 その他金物	引手		引手		引手						
室名	生涯学習部門　和室		生涯学習部門　和室（押入）		生涯学習部門　和室						
備考											

符号見込箇所	FPW−1	250	1	SSD−1	250	1	SSD−2	250	2						
形状															
材質・仕上	SUS　HL			枠：SUS　HL			枠：SUS　HL								
硝子	耐熱板ガラス6.5			−			−								
金物 錠	本錠錠			−			−								
金物 支持金物	自動ドアエンジン装置、ガイドレール、自動ドア安全ガード共			−			−								
金物 その他金物	標準金物一式、指詰め防止、アルミ額縁、振突防止ソール、防護機能議機（ｼﾏﾓﾘｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞ+ｴﾌｴﾌｴﾑ同等品）			−			−								
室名	子育て支援部門　玄関			分庁機能部門　清掃室			女子便所　男子便所								
備考	フルテック　FTF（特定防火設備）同等品（認定番号：EA−0534−1）			三和シヤッター　ソティフロント同等品			三和シヤッター　ソティフロント同等品								

符号見込箇所	SD−1	300	1	SD−2	300	2	SD−3	300	2	SD−4	300	1	SD−5	300	1			
形状																		
材質・仕上	枠：St　SOP　扉：St　SOP			枠：St　ダイノックシート張　扉：St　ダイノックシート張			枠：St　ダイノックシート張　扉：St　ダイノックシート張			枠：St　ダイノックシート張　扉：St　ダイノックシート張			枠：St　SOP　扉：St　SOP					
硝子	−			−			−			−			−					
金物 錠	レバーハンドル錠			本錠錠			レバーハンドル錠			レバーハンドル錠			レバーハンドル錠					
金物 支持金物	T番　DC　戸当り			T番　DC　戸当り			T番　DC　戸当り			T番　DC　戸当り			T番　DC　戸当り					
金物 その他金物	SUS吞掘　SUS水切　四方ATゴム			引棒（ワッチ付）SUS吞掘C型　四方ATゴム			SUS吞掘C型　四方ATゴム			SUS吞掘C型　四方ATゴム			SUS吞掘　SUS水切　四方ATゴム					
室名	共用部　織絨室			生涯学習部門　多目的ホール			生涯学習部門　倉庫（1）、音楽室・控室			生涯学習部門　音楽室・控室			共用部　織絨室					
備考	三和シヤッター　SD−X　SAT同等品			T−3　三和シヤッター　MSF35　ロックウール80Kg充填　同等品			T−3　三和シヤッター　MSF35　ロックウール80Kg充填　同等品			T−3　三和シヤッター　MSF35　ロックウール80Kg充填　同等品			三和シヤッター　SD−X　SAT同等品					

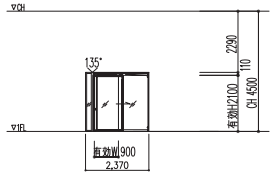
符号見込箇所	SP−1	ガラスパーテーション	1	SP−2	ガラスパーテーション	1	SP−3	ガラスパーテーション	1	SP−4	ガラスパーテーション	1	SP−5	ガラスパーテーション	1	SP−6	ガラスパーテーション	1	SP−7	ガラスパーテーション	1
形状																					
材質・仕上	アルミ鳩付塗装			アルミ鳩付塗装			アルミ鳩付塗装			アルミ鳩付塗装			アルミ鳩付塗装			アルミ鳩付塗装			アルミ鳩付塗装		
硝子	強化10t　飛散防止フィルム貼り			強化10t　飛散防止フィルム貼り			強化10t　飛散防止フィルム貼り			強化10t　飛散防止フィルム貼り			強化10t　飛散防止フィルム貼り			強化10t　飛散防止フィルム貼り			強化10t　飛散防止フィルム貼り		
金物 錠	引戸錠			引戸錠			引戸錠			引戸錠			引戸錠			引戸錠			引戸錠		
金物 支持金物	上吊手動式　ソフトクローザ付			上吊手動式　ソフトクローザ付			上吊手動式　ソフトクローザ付			上吊手動式　ソフトクローザ付			上吊手動式　ソフトクローザ付			上吊手動式　ソフトクローザ付			上吊手動式　ソフトクローザ付		
金物 その他金物	−			−			−			−			−			−			−		
室名	生涯学習部門　学習室（1）			生涯学習部門　学習室（2）			生涯学習部門　学習室（2）			生涯学習部門　和室（縁込）			分庁機能部門　受付			子育て支援部門　遊戯室（0〜5歳）					
備考	三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品			三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品			三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品			三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品			三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品			三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品			三和シヤッター　NGP−3−70　スライドクール同等品		

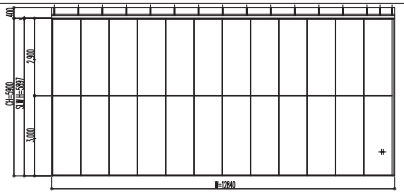
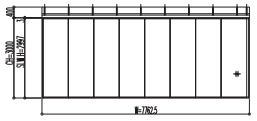
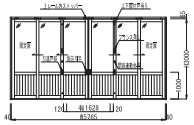
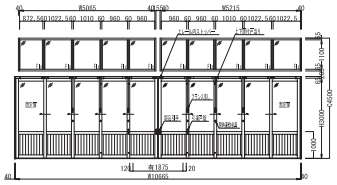
凡例

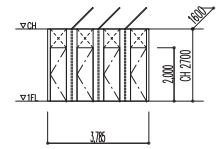
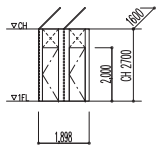
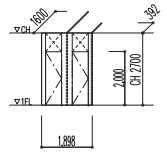
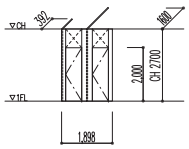
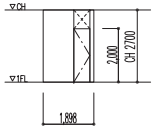
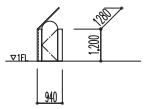
木製戸	WD	ステンレス製戸	SSW	アルミニウム製がらり	AG	ラバトリーヒンジ	LH	熱線吸収ブルーガラス	HFL	熱線吸収ブルー網入磨板ガラス	HPW				
鋼製戸	SD	アルミニウム製戸	AW	ふすま	F	ピボットヒンジ	PH	熱線吸収グレーガラス	GFL	空気層	A				
鋼製軽量戸	LD	鋼製軽量シャッター	SS	紙障子	S	ヒンジクローザー	HC	熱線吸収ブロンズガラス	BFL						
ステンレス製戸	SSD	鋼製軽量シャッター	LS	アルミパーテーション	AP	フロートガラス	FL	網入型板ガラス	FW						
アルミニュウム製戸	AD	オーバーヘッドドア	OHS	スチールパーテーション	SP	スリ板ガラス	SG	網入磨板ガラス	PW						
木製窓	WW	木製がらり	WG	ドアクローザー	DC	磨板ガラス	P	熱線吸収グレー網入磨板ガラス	GPW						
鋼製窓	SW	鋼製がらり	SG	フロアヒンジ	FH	型板ガラス	F	熱線吸収ブロンズ網入磨板ガラス	BPW						

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	建具表(3)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面No.	A−62
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	原図	検図

管理建築士	古澤　康夫	一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則	一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士		一級建築士登録番号　号

符号見込箇所	SP−8　ガラスパーテーション　1						
形状							
材質・仕上	アルミ地付塗装						
硝子	強化10t　飛散防止フィルム貼り						
金物 錠	引戸錠						
金物 支持金物	上吊手動式　ソフトクローザ付						
金物 その他金物	−						
室名	子育て支援部門　遊戯室（小学生）						
備考	三和シャッター　NGP−3−70　スライドクール同等品						

符号見込箇所	SLW−1　遮音スライディングウォール　1	SLW−2　遮音スライディングウォール　1	SLW−3　多連引分戸　1	SLW−4　多連引分戸　1
形状				
材質・仕上	枠：アルミ　表面材：化粧鋼板	枠：アルミ　表面材：化粧鋼板	枠：集成材（計窯製）超突板張　浸透性無鏡質塗料	枠：集成材（計窯製）超突板張　浸透性無鏡質塗料
硝子	−	−	強化6t	強化6t
金物 錠	−	−	引違戸錠	引違戸錠
金物 支持金物	−	−	戸車	戸車
金物 その他金物	−	−	フランス落し	フランス落し
室名	生涯学習部門　多目的ホール	生涯学習部門　学習室（2）	子育て支援部門　保育室	子育て支援部門　遊戯室（小学生）
備考	三和シャッター　SW−60SBa同等品（遮音性能：55.9dB）	三和シャッター　SW−60SBa同等品（遮音性能：55.9dB）	三和システムウォール　多連引戸同等品	三和システムウォール　多連引戸同等品

符号見込箇所	TB−1　40　トイレブース　1	TB−2　40　トイレブース	TB−3　40　トイレブース　1	TB−4　40　トイレブース　1	TB−5　40　トイレブース　1	TB−6　40　トイレブース　1
形状						
材質・仕上	アルミ　高圧メラミン化粧板	アルミ　メラミン樹脂板	アルミ　メラミン樹脂板	アルミ　メラミン樹脂板	アルミ　メラミン樹脂板	アルミ　メラミン樹脂板
硝子	−	−	−	−	−	−
金物 錠	表示付スライドラッチ	表示付スライドラッチ	表示付スライドラッチ	表示付スライドラッチ	表示付スライドラッチ	表示付打掛錠
金物 支持金物	中心吊グレビティヒンジ	中心吊グレビティヒンジ	中心吊グレビティヒンジ	中心吊グレビティヒンジ	中心吊グレビティヒンジ	丁番型グレビティヒンジ
金物 その他金物	SUS巾木、ﾌｯｸ付戸当り	SUS巾木、ﾌｯｸ付戸当り	SUS巾木、ﾌｯｸ付戸当り	SUS巾木、ﾌｯｸ付戸当り	SUS巾木、ﾌｯｸ付戸当り	SUS巾木
室名	共用部　女子便所	共用部　女子便所	共用部　女子便所	共用部　男子便所	共用部　男子便所	子育て支援部門　便所（保育室）
備考	非常時外開き解放付　三和シャッター　TA40D同等品	非常時外開き解放付　三和シャッター　TA40D同等品	非常時外開き解放付　三和シャッター　TA40D同等品	非常時外開き解放付　三和シャッター　TA40D同等品	非常時外開き解放付　三和シャッター　TA40D同等品	三和シャッター　TL14R同等品

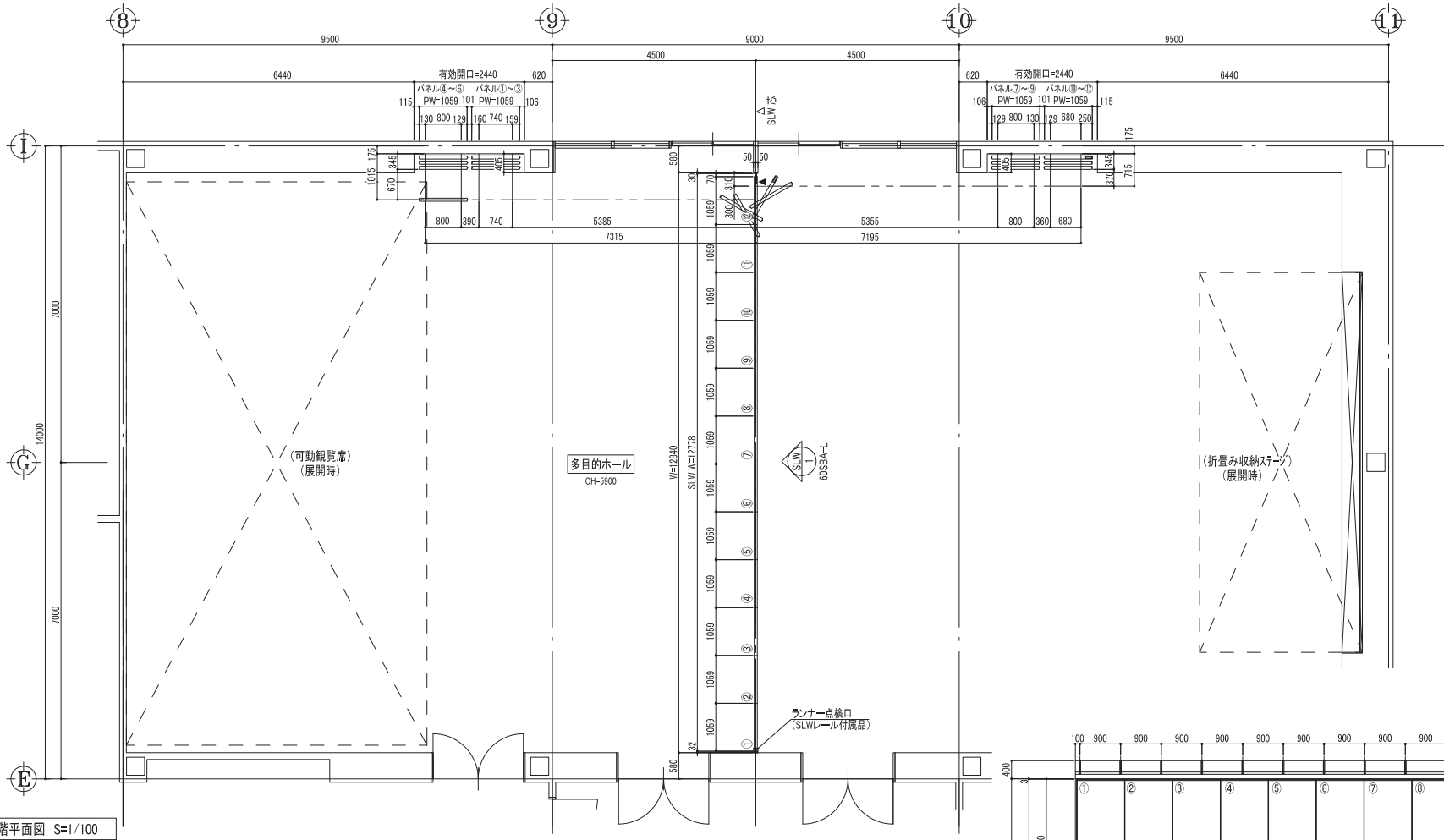
符号見込箇所	
形状	
材質・仕上	
硝子	
金物 錠	
金物 支持金物	
金物 その他金物	
室名	
備考	

凡例

木製戸	WD	ステンレス製戸	SSW	アルミニウム製がらり	AG	ラバトリーヒンジ	LH	熱線吸収ブルーガラス	HFL	熱線吸収ブルー網入磨板ガラス	HPW		
鋼製戸	SD	アルミニウム製戸	AW	ふすま	F	ピボットヒンジ	PH	熱線吸収グレーガラス	GFL	空気層	A		
鋼製軽量戸	LD	鋼製軽量ジャッター	SS	紙障子	S	ヒンジクローザー	HC	熱線吸収ブロンズガラス	BFL				
ステンレス製戸	SSD	鋼製軽量シャッター	LS	アルミパーテーション	AP	フロートガラス	FL	網入型板ガラス	FW				
アルミニュウム製戸	AD	オーバーヘッドドア	OHS	スチールパーテーション	SP	スリ板ガラス	SG	網入磨板ガラス	PW				
木製窓	WW	木製がらり	WG	ドアクローザー	DC	磨板ガラス	P	熱線吸収グレー網入磨板ガラス	GPW				
鋼製窓	SW	鋼製がらり	SG	フロアヒンジ	FH	型板ガラス	F	熱線吸収ブロンズ網入磨板ガラス	BPW				

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	建具表(4)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面No.	A−63
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号　TEL 028(622)8928		原図	検図

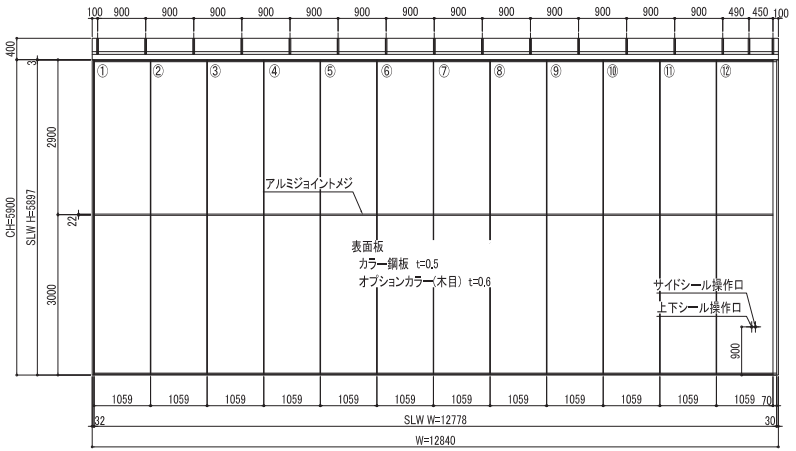
管理建築士	古澤　康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号



1階平面図 S=1/100

▲ は表面操作口側を示す

※ 間仕切りラインに対し、左右に格納を駆ける場合は
分岐レールからの音漏れがあります。

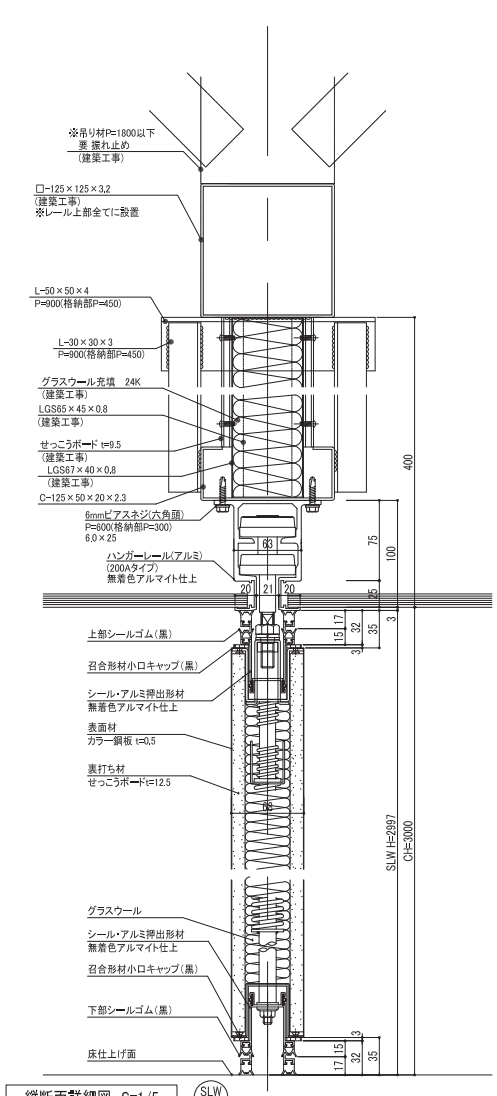


展開図 S=1/100

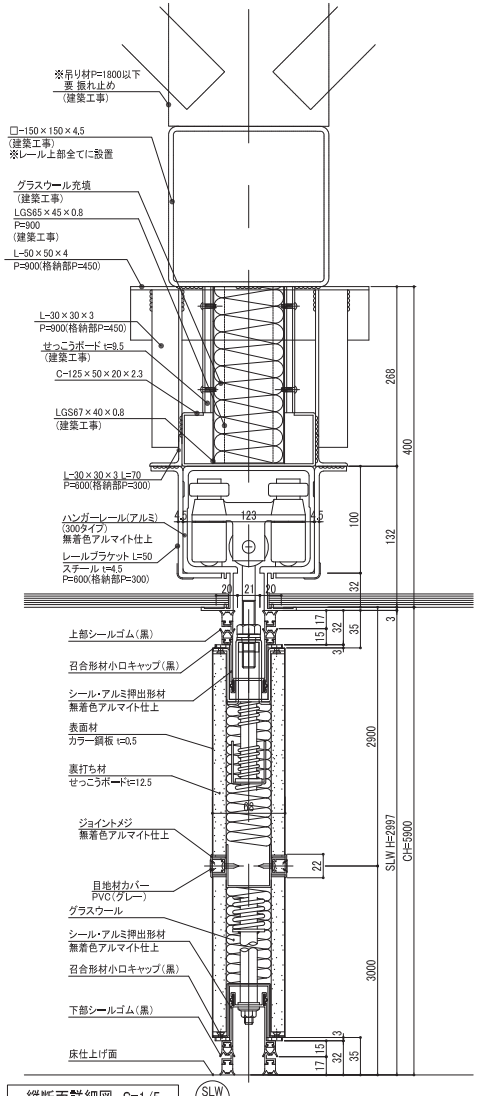
SLW 1 60SBA-L同等品

商品名	遮音スライディングウォール60SBα同等品	
商品略号	SW-60SBA-L同等品	
シール機構	レバー式	
レール,ランナー	クロスタイプ アルミ押出形材(A6063S-T5) 無着色アルマイト仕上	
パネル	表面板	カラー鋼板:(0.5mm厚),オプションカラー(木目):(0.6mm厚)
	表面板色	標準カラー:S-300・S-303・S-306・S-315 オプションカラー(木目):S-334・S-335
	裏打材	せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール充填
	パネル厚	68mm
	重量	標準パネル:37kg/㎡ サイドパネル:46kg/㎡
召し合わせ形材	アルミ押出形材(A6063S-T5)	
シール形材	無着色アルマイト仕上	
サイドシール形材	(サイドシール形材は焼付塗装仕上)	
シールゴム	PVC	

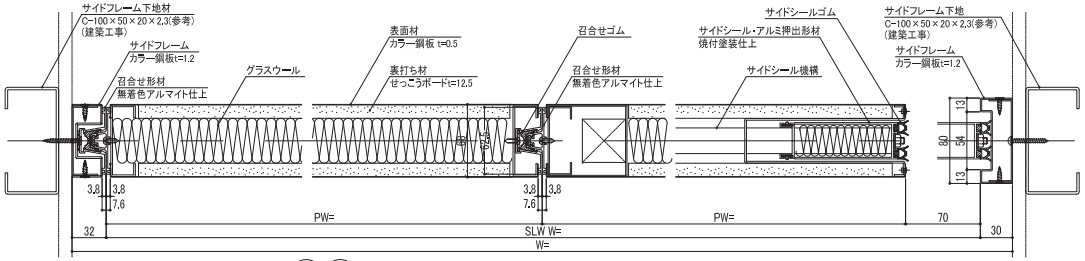
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	可動間仕切壁詳細図(1)
作成	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大豆1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図面No.	A-64
承	検
図	
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号



縦断面群細図 S=1/5 (SLW 2)

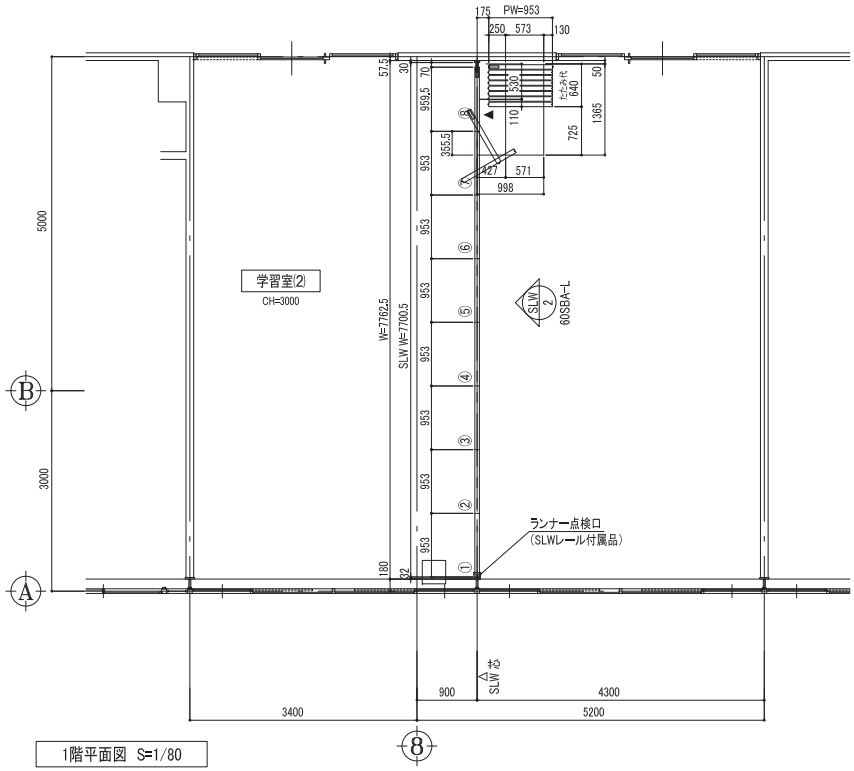


縦断面群細図 S=1/5 (SLW 1)



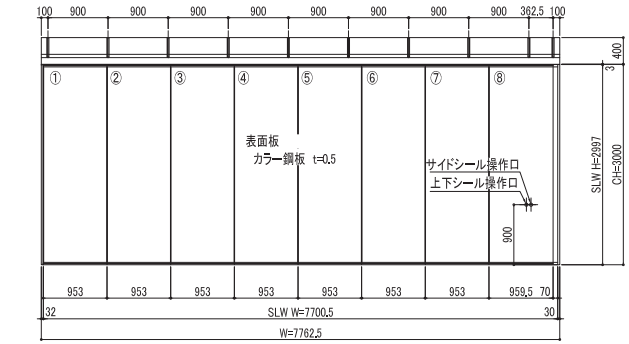
横断面群細図 S=1/5 (SLW 1 SLW 2)

※ SLW-2は左右反転になります。



1階平面図 S=1/80

▲ は表面操作口側を示す



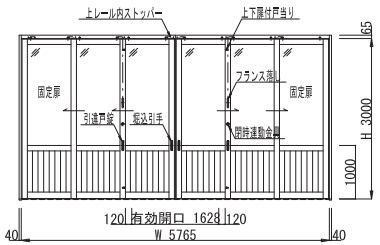
展開図 S=1/80

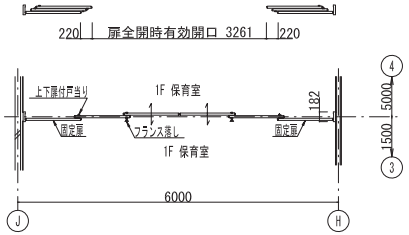
SLW 2
60SBA-L同等品

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	可動間仕切壁詳細図(2)
作成者	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 B9479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL.028(622)8928
No.	03123
製作	R05.01
縮尺	A1:1/40 A3:1/80
図面No.	A−65
原図	
複図	
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号

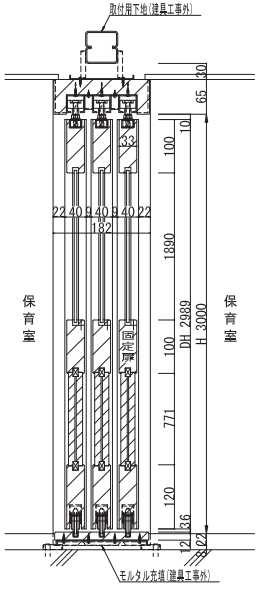
木製大型多連引戸仕様

区分	部材名	製品(m)	取付(m)	材料仕様	備考
枠	竪枠	182	40	集成材(針葉樹) 檜突板貼	
	上枠	179	65		
	上レール	34	33	A-6063S-T5 アルミ	ブロンズ色
	下枠	176	15	タモ集成材	ウレタン塗装全面2回塗り
	下レール	9	9	A-6063S-T5 アルミ	ブロンズ色
	竪枠補強			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm	
扉	竪框	40	100	集成材(針葉樹) 檜突板貼	
	上框・中桟	33			
	下框	33	120		
	腰部表面材			捨上小型羽目板 12mm	
				ラワン合板2.5mm芯	
	樹脂製戸車			POM樹脂	
	半鏡防止パッキン			PVC(硬質塩ビ)	ブラウン色
	ステー・アンカー			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm	
仕上げ	浸透性無機質塗料（パウムタフ クリアー）				
備考	・ユニット枠の取付は溶接取付け工法とする。 ・監督員がサンプルの提出を求めた場合は、その要求に応じること。 ・ガラス、ガラスシール、パッカー材、ガラスの組込み等はガラス工事とする ・枠取付用下地及び床ハツリが必要な場所のハツリは建具工事外とする ・三和システムウォール（株）SPW（大開口タイプ）同等品以上とする				

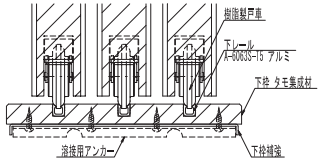




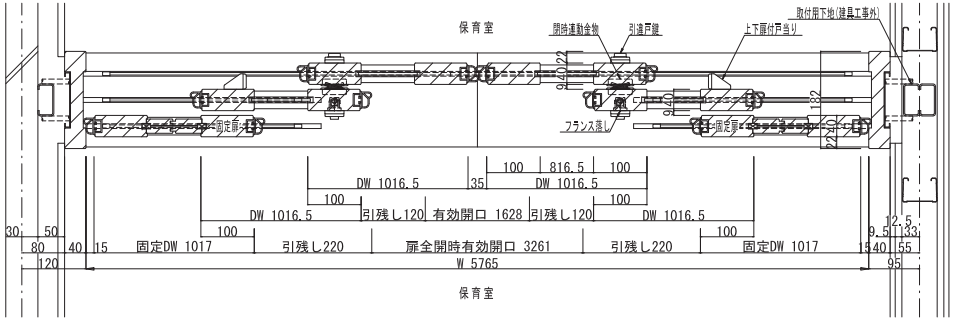
平面図・姿図 S=1/50



竪断面詳細図 S=1/5



下枠詳細図 S=1/2



横断面詳細図 1/5

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	木製大型多連引戸詳細図(1)	製図	R05.01
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	図面No.	A－66
		承	検
		監	図

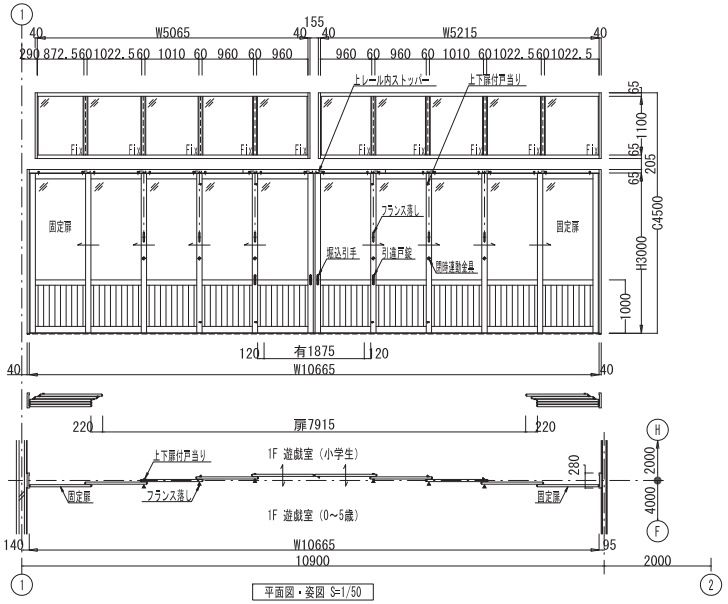
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号

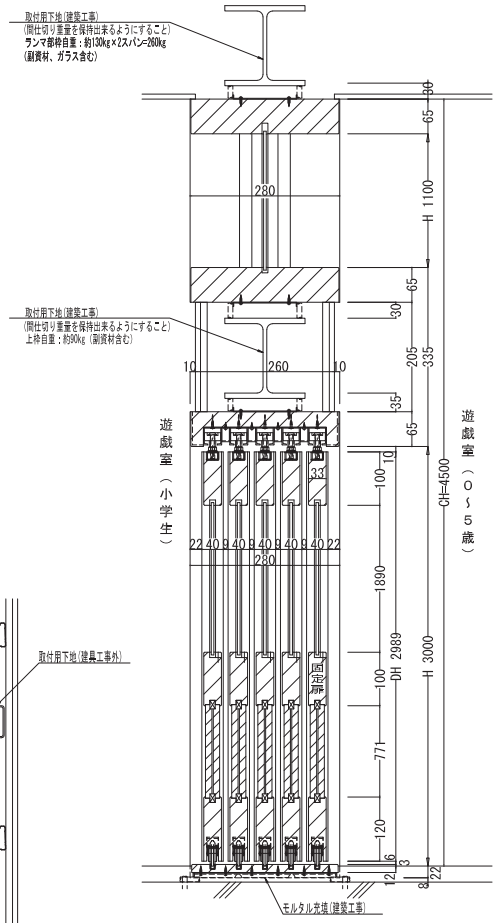
木製大型多連引戸仕様（ランマ部）

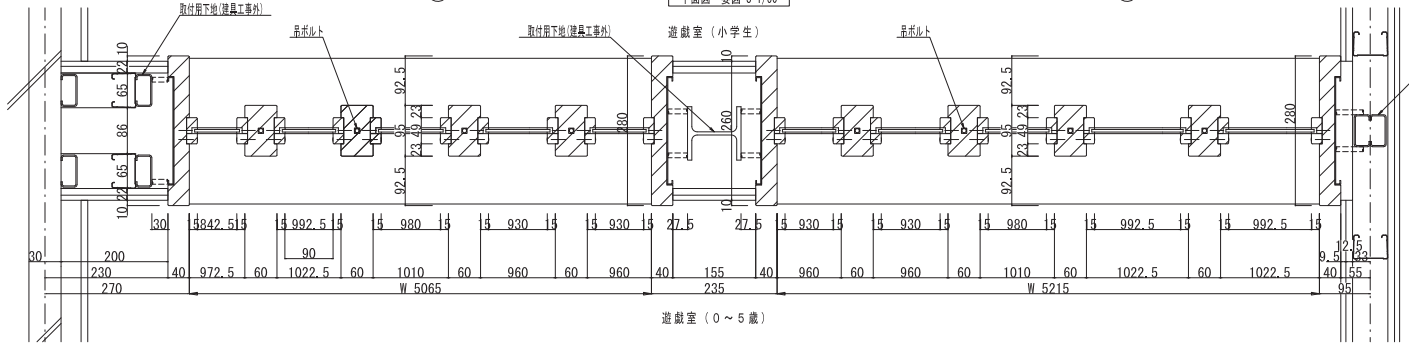
区分	部材名	見込(mm)	見付(mm)	材料仕様	備考
枠	竪枠	280	40	集成材(針葉樹) 檜突板貼	
	上枠・下枠	277	65		
	竪枠補強			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm	
	ステー・アンカー			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm	
仕上げ	浸透性無機質塗料（パウムタフ クリアー）				
備考	・ユニット枠の取付は溶接取付け工法とする。 ・監督員がサンプルの提出を求めた場合は、その要求に応じること。 ・ガラス、ガラスシール、パッカー材、ガラスの組込み等はガラス工事とする ・枠取付用下地及び床ハツリが必要な場所のハツリは建具工事外とする ・三協システムウォール（株）SPW同等品以上とする				

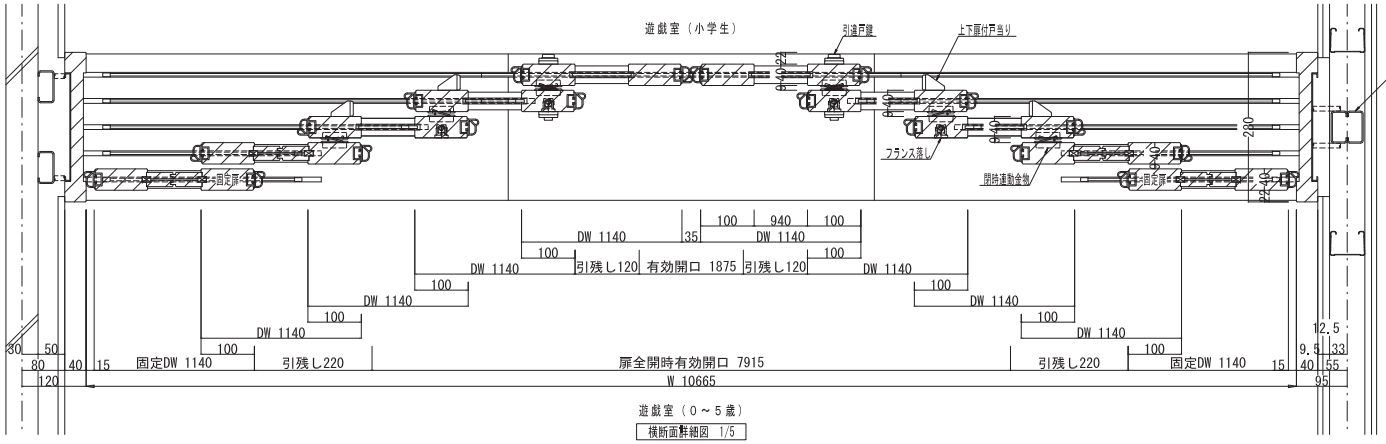
木製大型多連引戸仕様

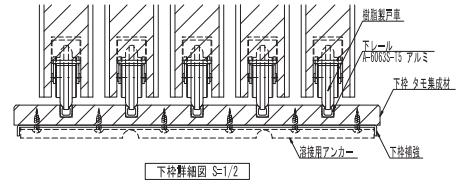
区分	部材名	見込(mm)	見付(mm)	材料仕様	備考
枠	竪枠	280	40	集成材(針葉樹) 檜突板貼	
	上枠	277	65		
	上レール	24	33	A-6063S-T5 アルミ	ブロンズ色
	下枠	274	15	タモ集成材	ウレタン塗装全面2回塗り
	下レール	9	9	A-6063S-T5 アルミ	ブロンズ色
	竪枠補強			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm	
扉	竪框	40	100	集成材(針葉樹) 檜突板貼	
	上框・中框	33			
	下框	33	120		
	腰部表面材			嵩上小節羽目板 12mm ラワン合板2.5mm次	
	開閉製戸車			POM樹脂	
	手挟防止パッキン			PVC(塩化ビニル)	ブラウン色
	ステー・アンカー			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm	
仕上げ	浸透性無機質塗料（パウムタフ クリアー）				
備考	・ユニット枠の取付は溶接取付け工法とする。 ・監督員がサンプルの提出を求めた場合は、その要求に応じること。 ・ガラス、ガラスシール、パッカー材、ガラスの組込み等はガラス工事とする ・枠取付用下地及び床ハツリが必要な場所のハツリは建具工事外とする ・三協システムウォール（株）SPW（大開口タイプ）同等品以上とする				







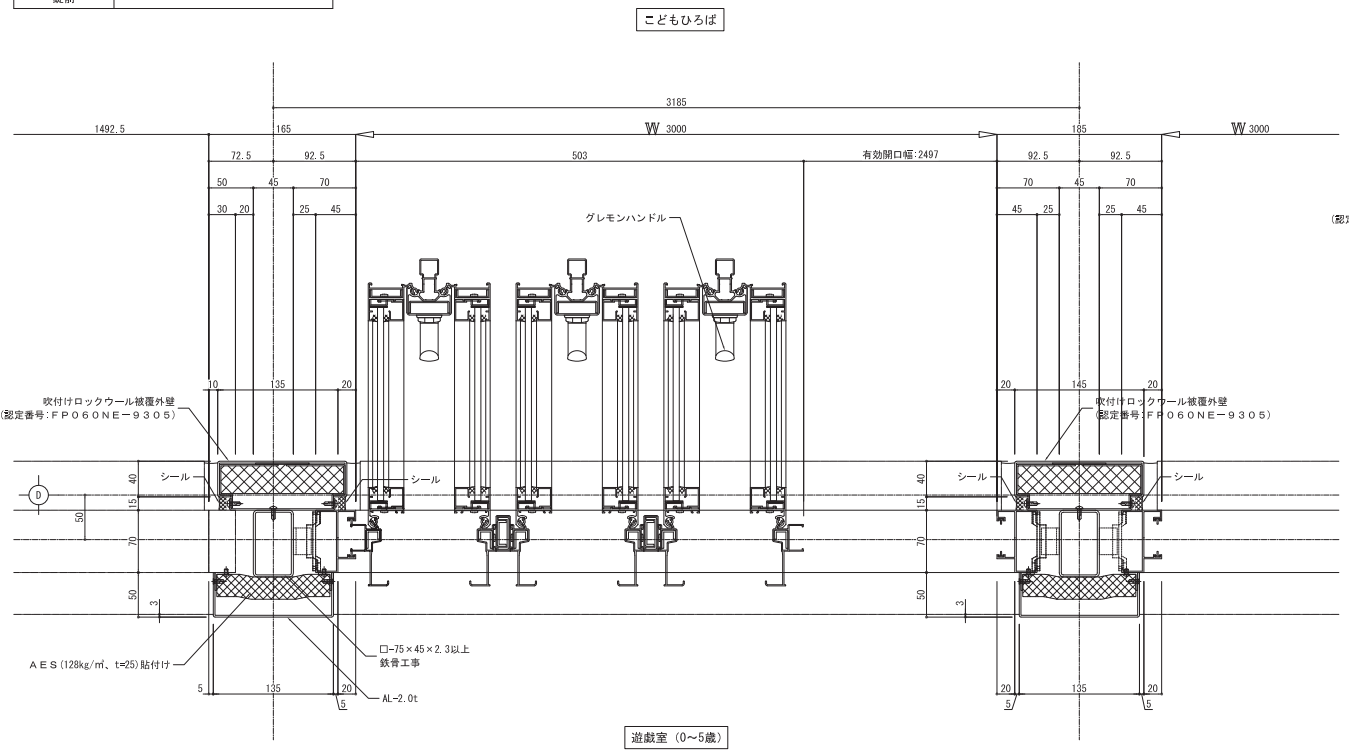


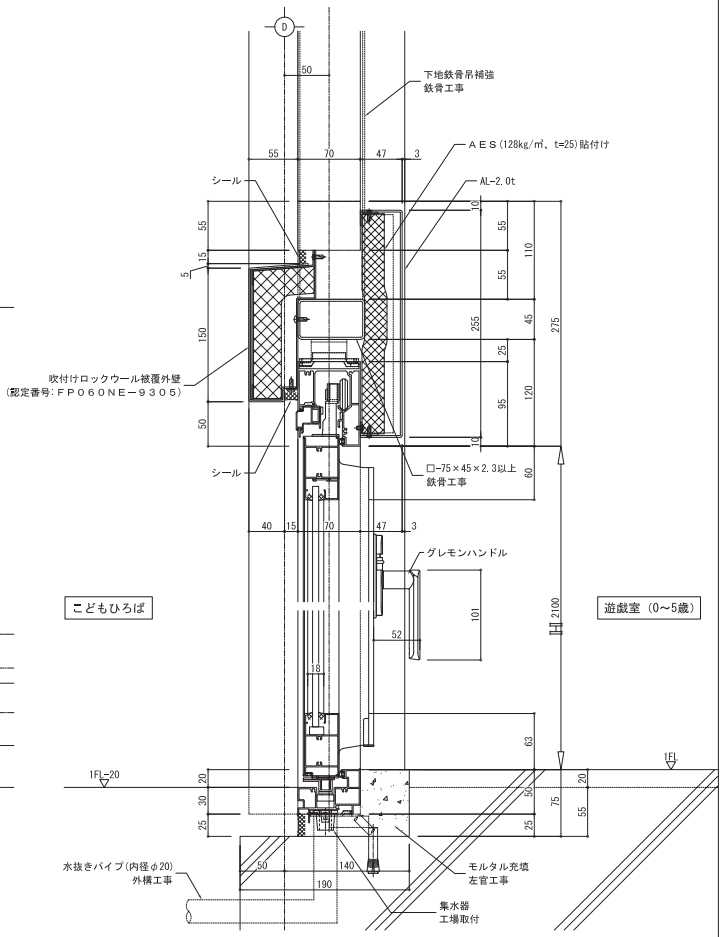


工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	木製大型多連引戸詳細図(2)
作成	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図面No.	A−67
原図	
複図	
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号

取付場所：１階　遊戯室（0～5歳）

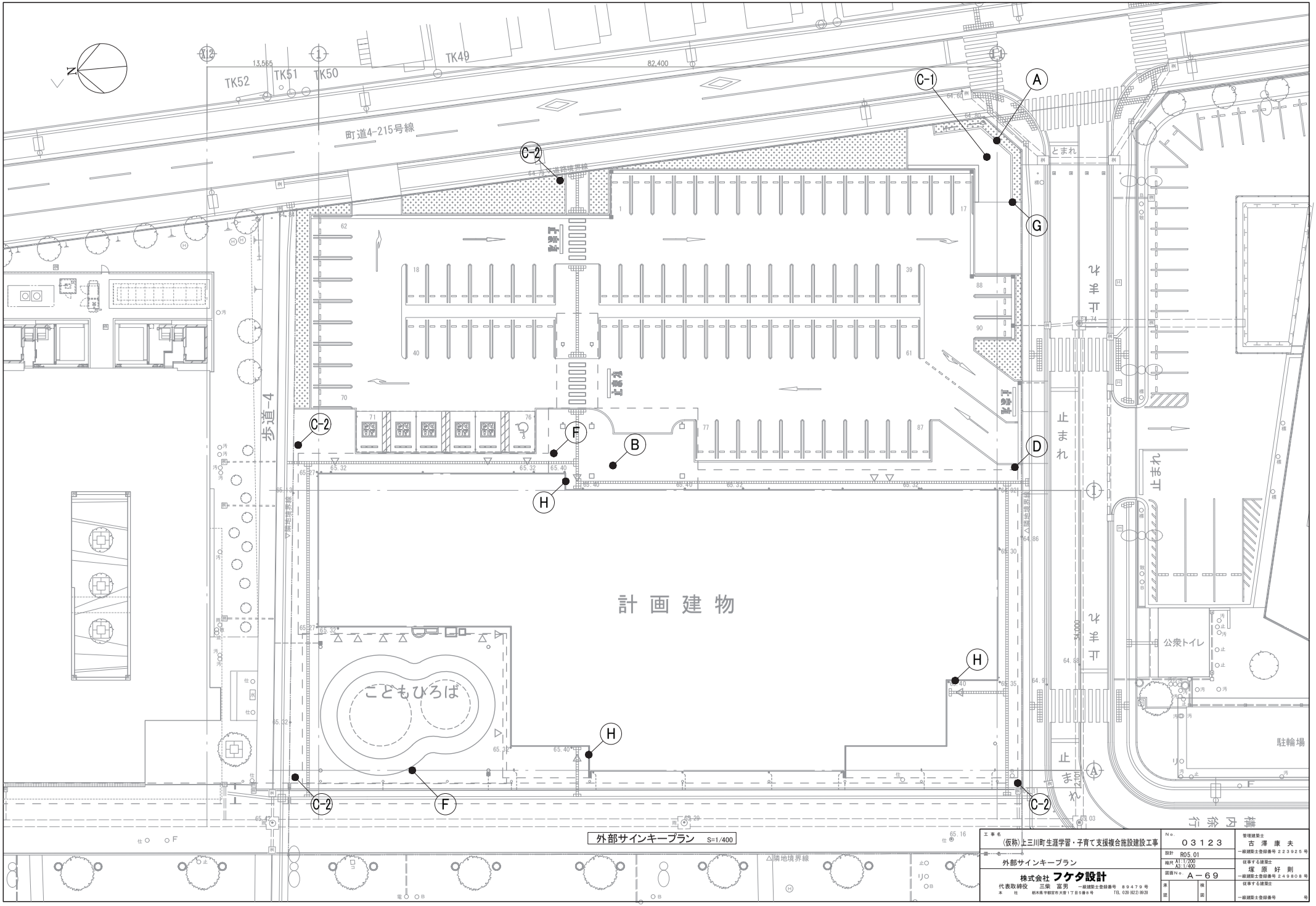
符号	AW 9	製品名 タイプ	イスターカーテン同等品 あけてんで 防火設備タイプ 認定番号:EB-0716
色	当社標準ステンカラー(UC)色		
	艶：当社標準仕様	部品色：当社標準仕様	
下レール	25D型	水抜き	縦抜き
嵌込材	6.8mm網入りガラス	ガラス押え	シール
グレモンハンドル	通常グレモンハンドル		
錠前	―		



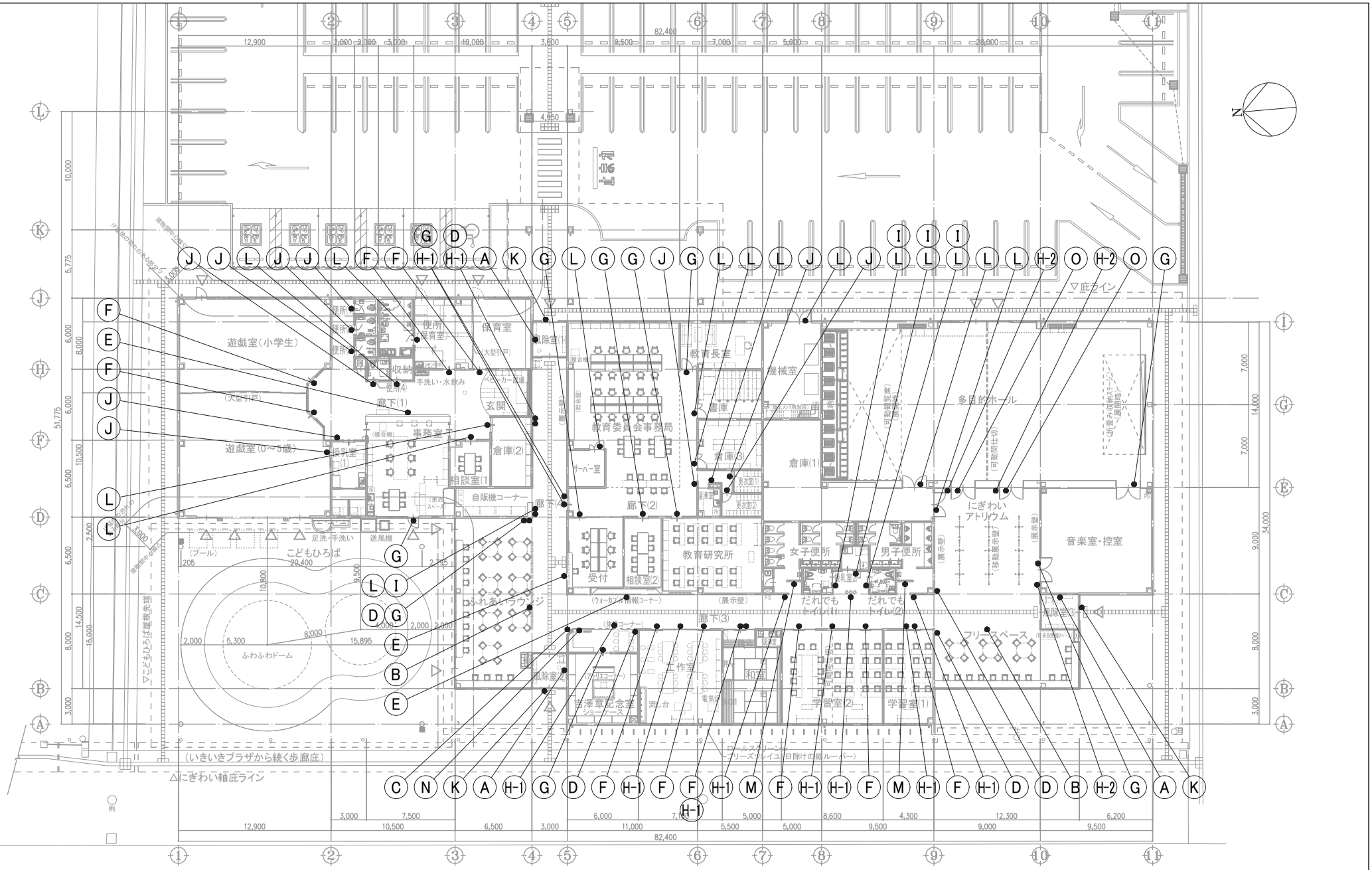


工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	０３１２３
図名	大型折戸詳細図	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/5 A3:1/6
	株式会社 フケタ設計	図面No.	Ａ－６８
	代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号	原図	後図
	本社　栃木県宇都宮市大宮１丁目５番８号　TEL.028(622)8928		

管理建築士　古　澤　康　夫　一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士　塚　原　好　則　一級建築士登録番号２４９８０８号
従事する建築士　一級建築士登録番号　　号



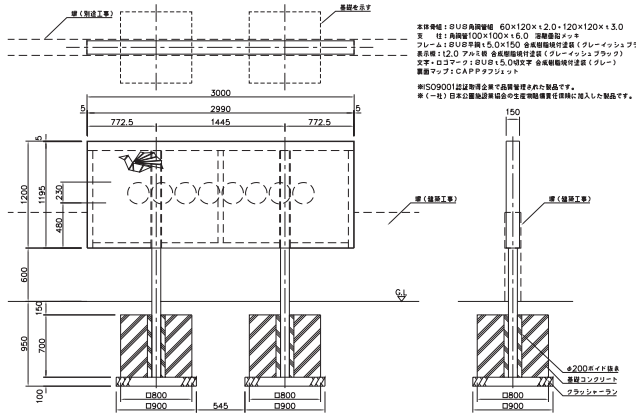
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
外部サインキープラン	設計 R05.01	従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大通り1丁目5番9号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/200 A3:1/400 図面No. A-69 承認 検図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



内部サインキープラン S=1/300

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 内部サインキープラン	設計 R05.01	従事する建築士 塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−70	
	承認 検図	

凡例	外-A	外構サイン　施設名称サイン(表面)・まち歩きマップサイン(裏面)	1/60	数量	1

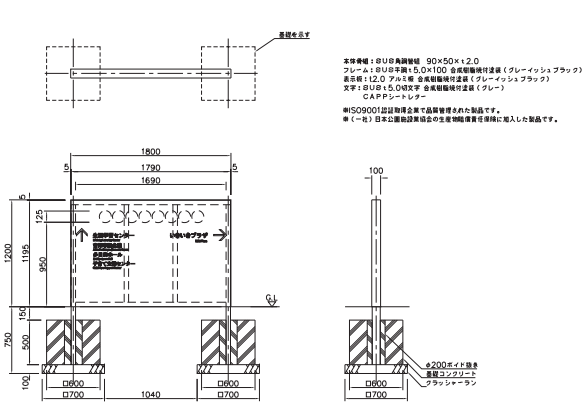


本体骨組：BUS角調管組　60×120×t2.0・120×120×t3.0
支　柱：BUS角調管100×100×t6.0　溶融亜鉛メッキ
フレーム：BUS平鋼t5.0×150　合成樹脂焼付塗装（グレーイッシュブラック）
表示板：t2.0 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（グレーイッシュブラック）
文字・ロゴマーク：BUSt5.0切文字　合成樹脂焼付塗装（グレー）
裏面マップ：CAPPタフシェット

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

※縮図 S=1/60

凡例	外-B	外構サイン　施設名称サイン＋誘導サイン	1/60	数量	1

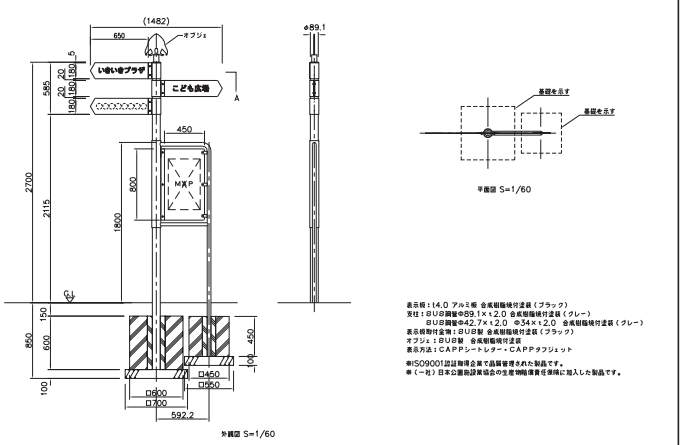


本体骨組：BUS角調管組　90×50×t2.0
フレーム：BUS平鋼t5.0×100　合成樹脂焼付塗装（グレーイッシュブラック）
表示板：t2.0 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（グレーイッシュブラック）
文字：BUSt5.0切文字　合成樹脂焼付塗装（グレー）
CAPPシートレター

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

※縮図 S=1/60

凡例	外-C-1	外構サイン　誘導矢羽サイン（案内図有り）	1/60	数量	1



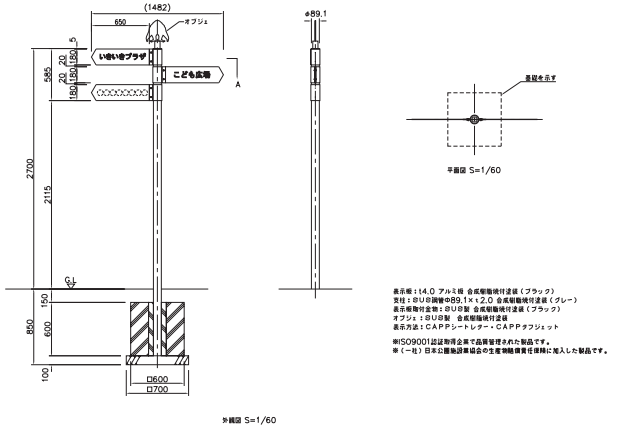
表示板：t4.0 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
支柱：BUS調管φ89.1×t2.0　合成樹脂焼付塗装（グレー）
　　BUS調管φ42.7×t2.0　φ34×t2.0　合成樹脂焼付塗装（グレー）
表示板取付金物：BUS製　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
オプジェ：BUS製　合成樹脂焼付塗装
表示方法：CAPPシートレター・CAPPタフシェット

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

平面図 S=1/60

※縮図 S=1/60

凡例	外-C-2	外構サイン　誘導矢羽サイン	1/60	数量	4



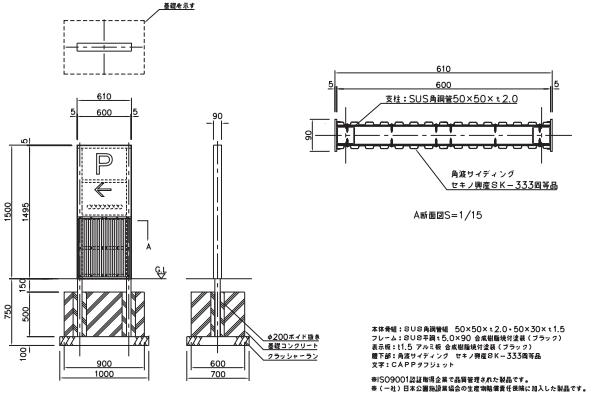
表示板：t4.0 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
支柱：BUS調管φ89.1×t2.0　合成樹脂焼付塗装（グレー）
表示板取付金物：BUS製　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
オプジェ：BUS製　合成樹脂焼付塗装
表示方法：CAPPシートレター・CAPPタフシェット

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

平面図 S=1/60

※縮図 S=1/60

凡例	外-D	外構サイン　駐車場誘導サイン	1/60	数量	1



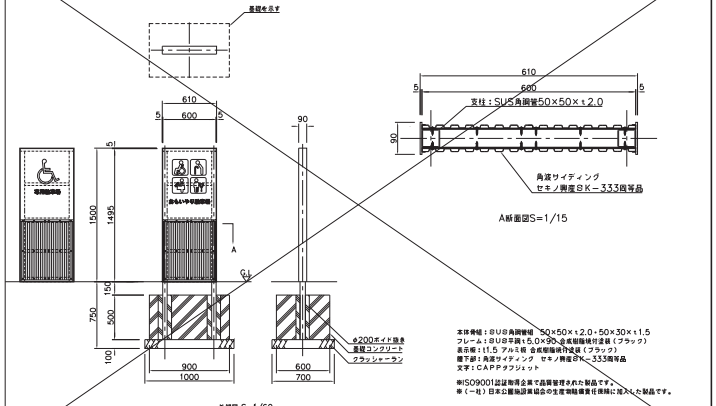
A断面図S=1/15

本体骨組：BUS角調管組　50×50×t2.0・50×30×t1.5
フレーム：BUS平鋼t5.0×90　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示板：t1.5 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
縦下部：角落サイディング　セキノ興産BK－333両等品
文字：CAPPタフシェット

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

※縮図 S=1/60

凡例	外-E	外構サイン　車椅子・おもいやり駐車場サイン	1/60	数量	6



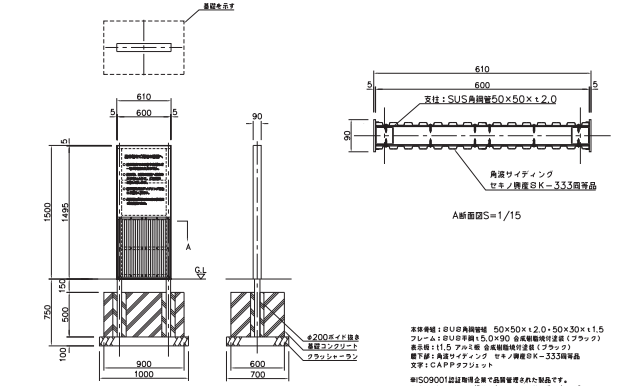
A断面図S=1/15

本体骨組：BUS角調管組　50×50×t2.0・50×30×t1.5
フレーム：BUS平鋼t5.0×90　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示板：t1.5 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
縦下部：角落サイディング　セキノ興産BK－333両等品
文字：CAPPタフシェット

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

※縮図 S=1/60

凡例	外-F	外構サイン　注意事項サイン	1/60	数量	2



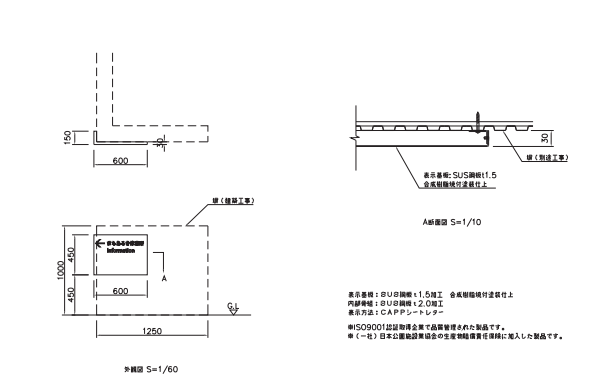
A断面図S=1/15

本体骨組：BUS角調管組　50×50×t2.0・50×30×t1.5
フレーム：BUS平鋼t5.0×90　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示板：t1.5 アルミ板　合成樹脂焼付塗装（ブラック）
縦下部：角落サイディング　セキノ興産BK－333両等品
文字：CAPPタフシェット

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

※縮図 S=1/60

凡例	外-G	外構サイン　誘導サイン	1/60	数量	1



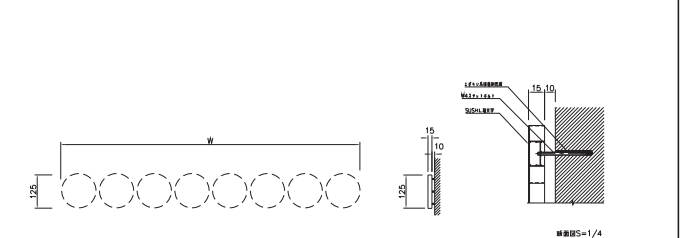
表示基板：BUS鋼板t1.5加工　合成樹脂焼付塗装仕上
内部骨組：BUS鋼板t2.0加工
表示方法：CAPPシートレター

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

※縮図 S=1/60

A断面図 S=1/10

凡例	外-H	外構サイン　施設名称サイン(SUS箱文字)	1/20	数量	3



※縮図 S=1/20

断面図S=1/4

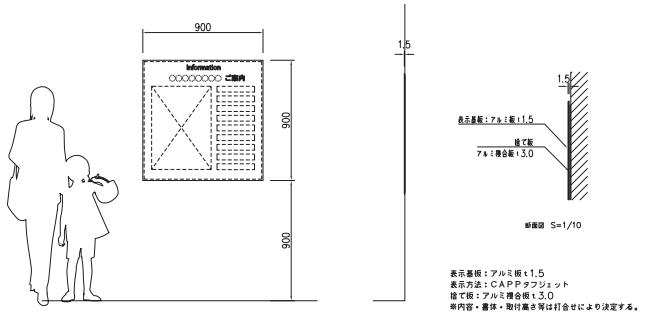
本体：BUS帽文字 HL仕上

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士	古澤康夫
図名	サイン図(1)	製図	R05.01		一級建築士登録番号 223925号
		縮尺	A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士	塚原好則
		図面No.	A－71		一級建築士登録番号 249808号
		原図	他図	従事する建築士	一級建築士登録番号 号

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号　TEL 028(622)8928

凡例	A	総合案内サイン	1/40	数量	3

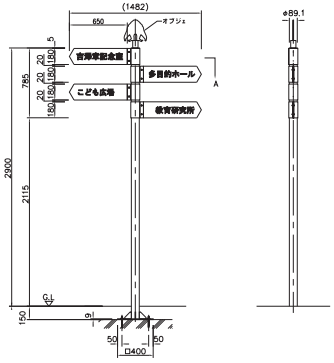


断面図 S=1/10

※縮図 S=1/40

表示基板：アルミ板t1.5
表示方法：CAPPタフジェット
地て板：アルミ複合板t3.0
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

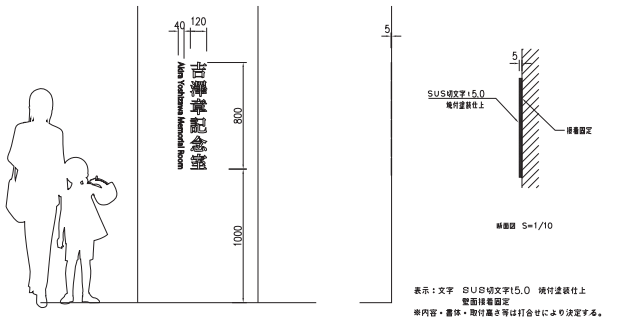
凡例	B	誘導拠点サイン	1/60	数量	2



※縮図 S=1/60

表示板（矢羽）：t4.0 アルミ板 合成樹脂焼付塗装
支柱：鋼管φ89.1×t2.8 合成樹脂焼付塗装
ベース：鋼板t9.0×450 M10あと施工アンカー固定
表示板取付金物：鋼材加工 合成樹脂焼付塗装
オブジェ：鋼板製 合成樹脂焼付塗装
表示方法：CAPPシートレター・CAPPタフジェット

凡例	C	施設名称サイン	1/40	数量	1

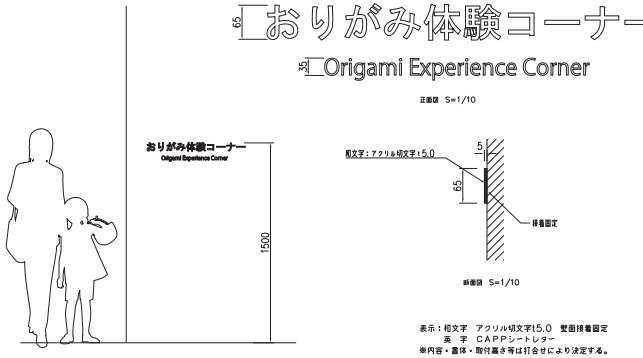


※縮図 S=1/40

断面図 S=1/10

表示：文字 SUS切文字t5.0 地付塗装仕上
裏面接着固定
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	D	コーナーサイン・誘導サイン・名称サイン	1/40	数量	5



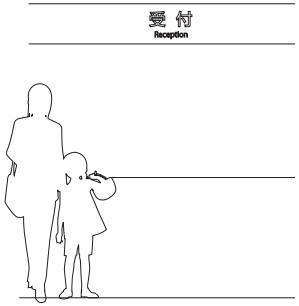
正面図 S=1/10

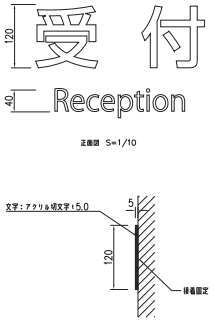
断面図 S=1/10

※縮図 S=1/40

表示：和文字 アクリル切文字t5.0 壁面接着固定
英 字 CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	E	受付サイン	1/40	数量	3





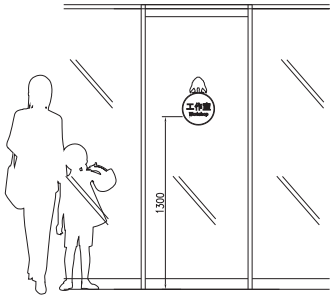
正面図 S=1/10

断面図 S=1/10

※縮図 S=1/40

表示：和文字 アクリル切文字t5.0 壁面接着固定
英 字 CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	F	室名サイン(イラスト入り)	1/40	数量	10



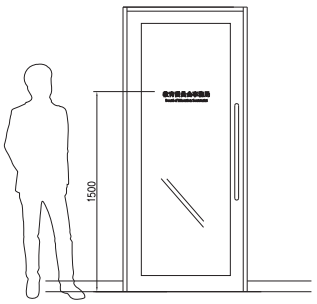
※縮図 S=1/40



正面図 S=1/10

表示：CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	G	室名サイン	1/40	数量	10



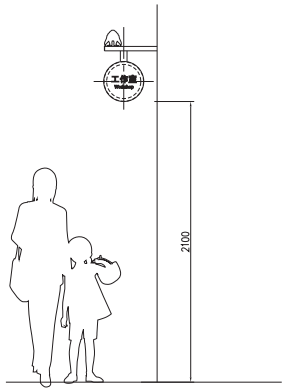
※縮図 S=1/40



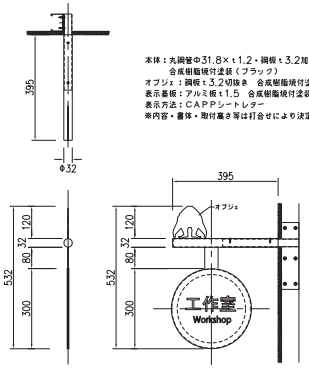
正面図 S=1/10

表示：CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	H-1	突出しサイン	1/40	数量	10



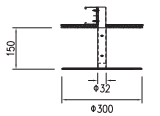
※縮図 S=1/40

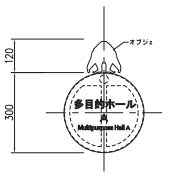


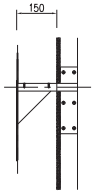
※縮図 S=1/20

本体：丸鋼管φ31.8×t1.2・鋼板t3.2加工
合成樹脂焼付塗装（ブラック）
オブジェ：鋼板t3.2切抜き 合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示基板：アルミ板t1.5 合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示方法：CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	H-2	突出しサイン	1/40	数量	3



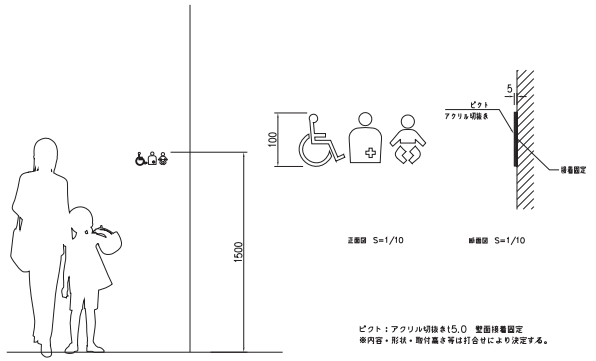




本体：丸鋼管φ31.8×t1.2・鋼板t3.2加工
合成樹脂焼付塗装（ブラック）
オブジェ：鋼板t3.2切抜き 合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示基板：アルミ板t1.5 合成樹脂焼付塗装（ブラック）
表示方法：CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士	古澤康夫
		製作	R05.01		一級建築士登録番号 223925号
図名	サイン図(2)	縮尺	A1:1/20 A3:1/40	従事する建築士	塚原好則
		図面No.	A-72		一級建築士登録番号 249808号
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	承	検	従事する建築士	
		製	図		一級建築士登録番号 号

凡例	I	ピクトサイン	1/40	数量	4

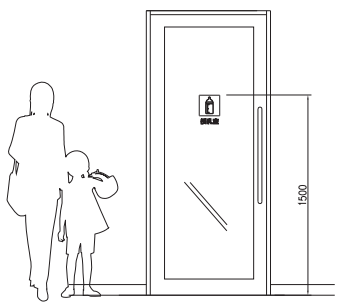


正面図 S=1/10　　断面図 S=1/10

ピクト：アクリル切抜き t5.0　壁面接着固定
※内容・形状・取付高さ等は打合せにより決定する。

※縮図 S=1/40

凡例	J	ピクトサイン(シート)	1/40	数量	9



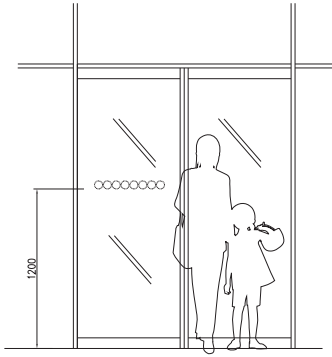


正面図 S=1/10

ピクト：CAPPシートレター
※内容・形状・取付高さ等は打合せにより決定する。

※縮図 S=1/40

凡例	K	施設名称サイン(エントランス)	1/40	数量	3



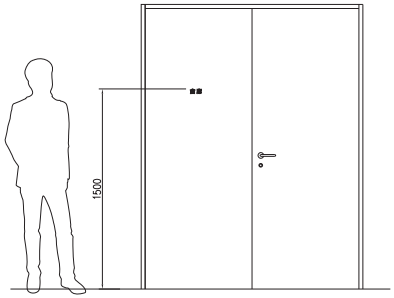


正面図 S=1/10

※縮図 S=1/40

表示：CAPPシートレター（ホワイト）
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	L	室名サイン（シートレター）	1/40	数量	15

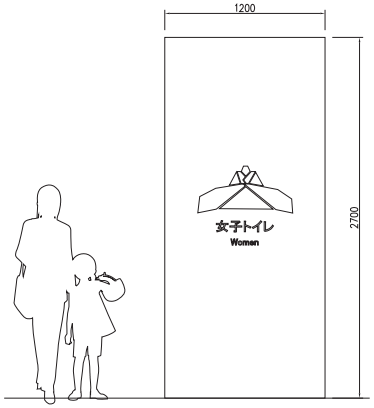




正面図 S=1/8

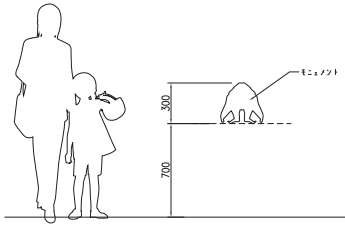
表示：CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	M	ピクトサイン(インクジェット)	1/40	数量	2



表示：CAPPタフジェット
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	N	モニュメント	1/40	数量	1

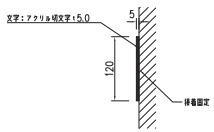


モニュメント：FRP造形
※内容・取付高さ等は打合せにより決定する。

凡例	O	ホール名サイン	1/20	数量	2



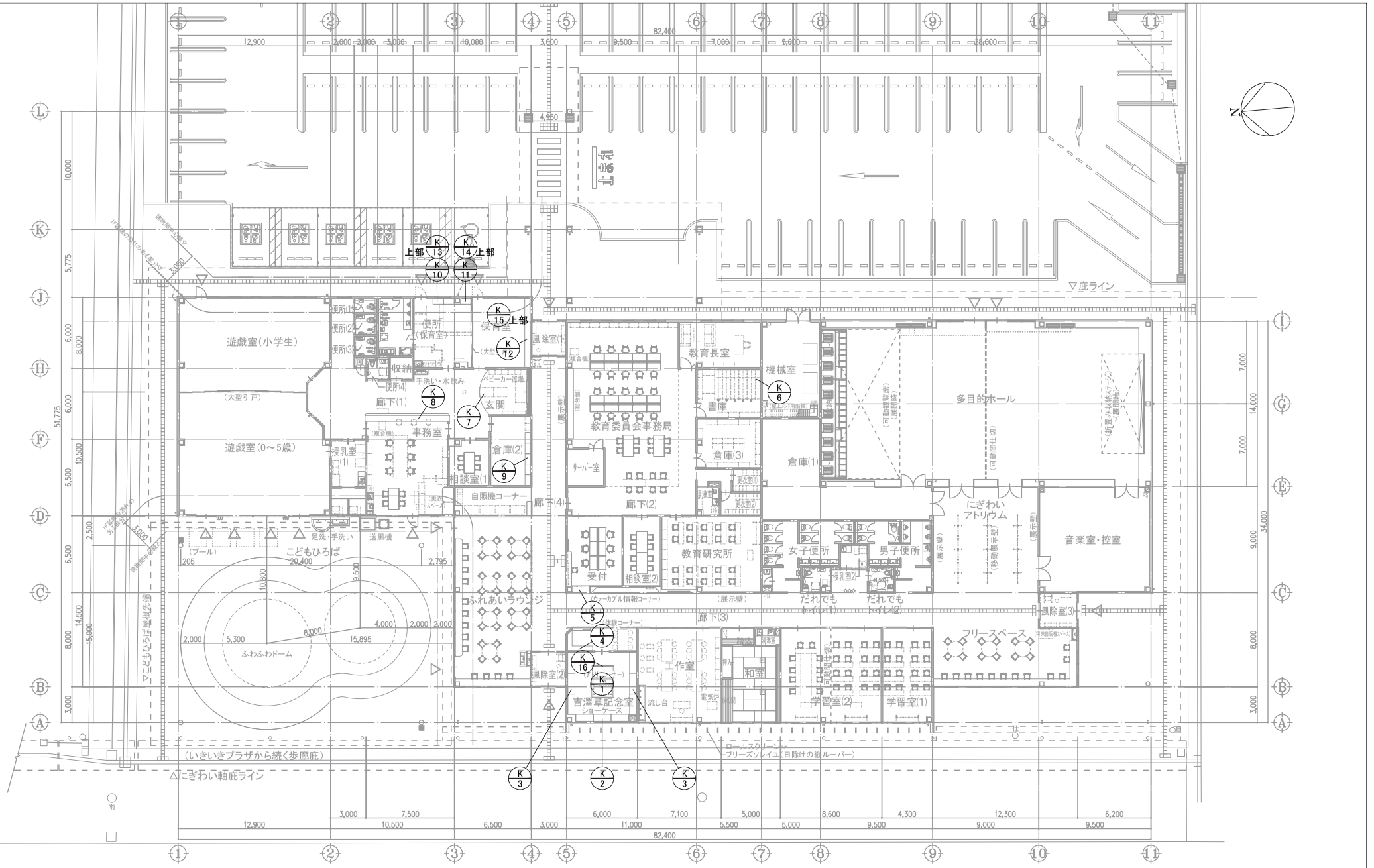
正面図 S=1/20



断面図 S=1/10

表示：和文字　アクリル切文字t5.0　壁面接着固定
　　英　字　CAPPシートレター
※内容・書体・取付高さ等は打合せにより決定する。

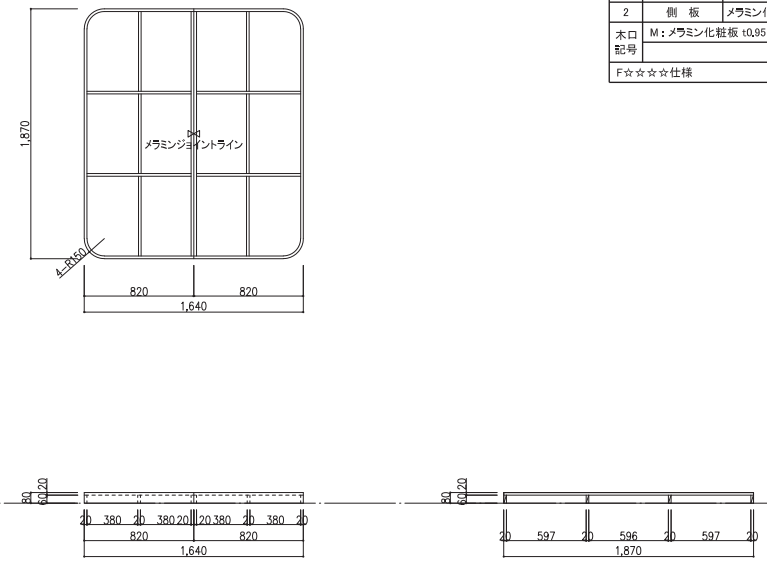
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士	古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	サイン図(3)	製作	R05.01	従事する建築士	塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
		縮尺	A1:1/20 A3:1/40		
	株式会社 フケタ設計	図面No.	A−73		
	代表取締役　三柴富男 一級建築士登録番号 89479号	原図	後図	従事する建築士	一級建築士登録番号 号
	本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928				



家具キープラン S=1/300

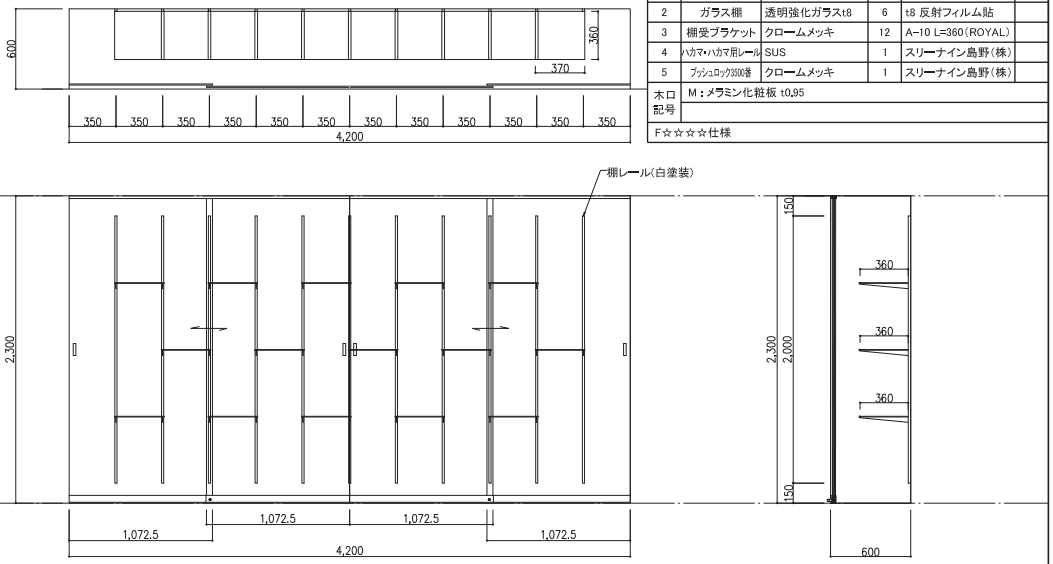
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 家具キープラン	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栗富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A－74	
	承認 検図	

K-1　吉澤章記念室　展示台　1カ所



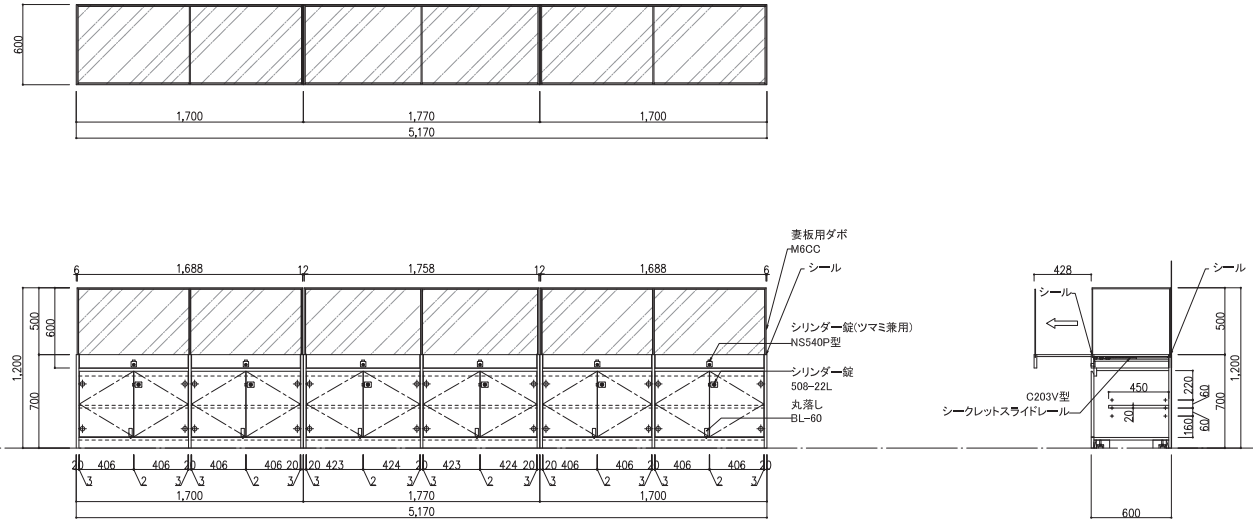
吉澤章記念室　展示台					
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	天板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	M
2	側板	メラミン化粧板	4	t20 フラッシュ構造	M
木口記号	M：メラミン化粧板 t0.95				
F☆☆☆☆仕様					

K-2　吉澤章記念室　背面ガラス展示棚　1カ所



吉澤章記念室　背面ガラス展示棚					
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	引違ガラス戸	透明強化ガラスt8	4	t8 反射フィルム貼	
2	ガラス棚	透明強化ガラスt8	6	t8 反射フィルム貼	
3	棚受ブラケット	クロームメッキ	12	A-10 L=360(ROYAL)	
4	ハカマ・ハカマ用レール	SUS	1	スリーナイン島野(株)	
5	ブッシュロックS50専	クロームメッキ	1	スリーナイン島野(株)	
木口記号	M：メラミン化粧板 t0.95				
F☆☆☆☆仕様					

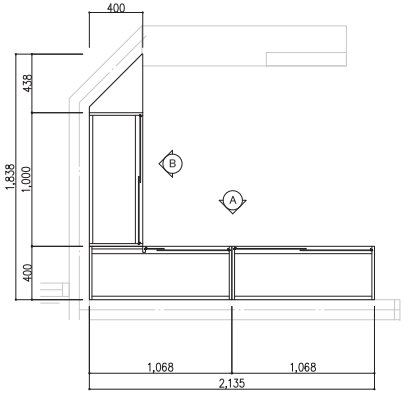
K-3　吉澤章記念室　展示用ガラスショーケース　2カ所

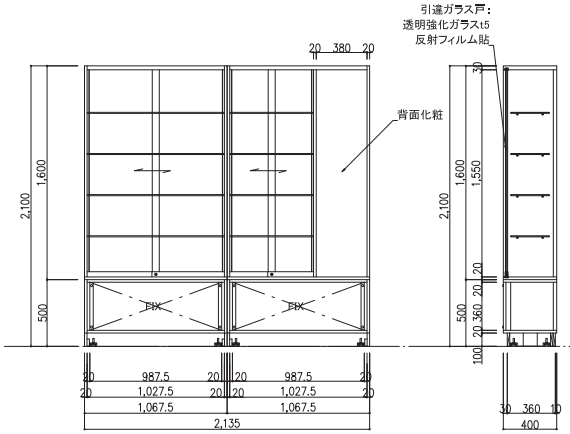


吉澤章記念室　展示用ガラスショーケース					
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	枠	メラミン化粧板	3	t20 フラッシュ構造	M
2	口板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	M
3	展示面	メラミン化粧板	2	t15 フラッシュ構造	M
4	ガラス		1	t8 反射フィルム貼	
5	ガラス棚		1	t8 反射フィルム貼	
6	シリンダー錠		2		
7	スライドレール		4		
8	ダボ		7		
9	扉	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	M
10	スライド丁番	ワンタッチ丁番	8	110°開き(HETTICH)	
11	面付シリンダー		2	508-22L(SOWA)	
12	丸落し		2	BL-60(SOWA)	
13	アジャスター		4	M10 調整式	
10	アジャスター取付金具	スチール t2.3	4	ユニクローム	
木口記号	M：メラミン化粧板 t0.95				
F☆☆☆☆仕様					

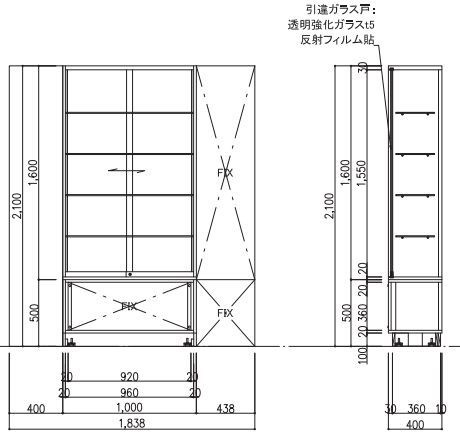
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	家具図(1)	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. A-75	
		原図	他図

K-4　吉澤章記念室　展示用ガラスショーケース　1カ所





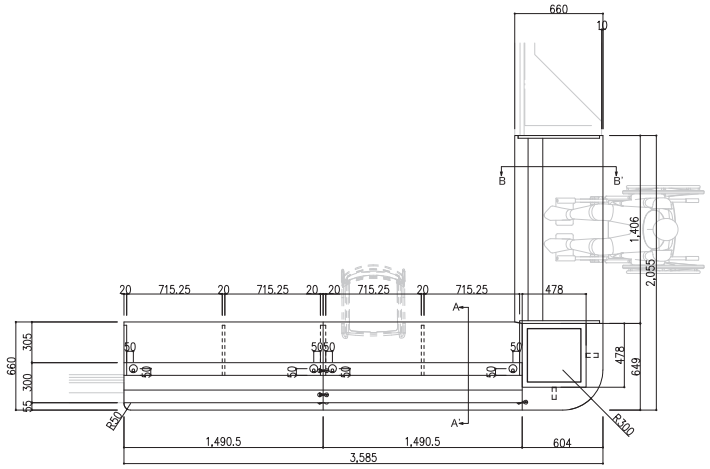
A 視

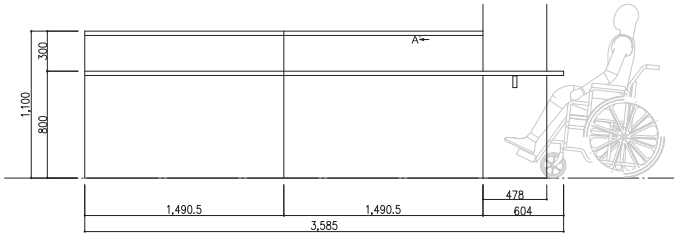


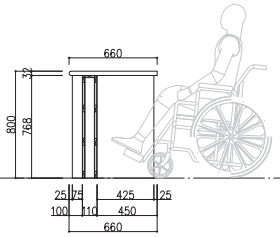
B 視

吉澤章記念室　展示用ガラスショーケース					
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	上板	ポリエステル化粧合板	1	t30 フラッシュ構造	F
2	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
3	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
4	地板	外部：ラワン合板 内部：メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	F
5	引違ガラス戸	透明強化ガラスt5	2	反射フィルム貼	
6	ガラス棚	透明強化ガラスt5	4	反射フィルム貼	
7	ハカマ・ハカマ吊レール	SUS	1	スリーナイン島野（株）	
8	プッシュロック3500番	クロームメッキ	1	スリーナイン島野（株）	
9	戸引手	クロームメッキ	2	スリーナイン島野（株）	
10	FIXパネル	ポリエステル化粧合板	1	スリーナイン島野（株）	
11	巾木	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	
12	アジャスター		4	M10 調整式	
13	アジャスター取付金具	スチール t2.3	4	ユニクローム	
木口記号	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

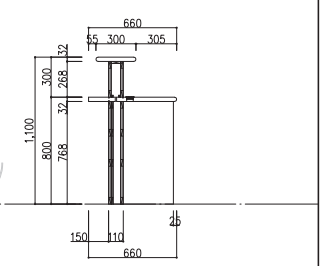
K-5　受付　受付カウンター　1カ所







B–B'



A–A'

受付　受付カウンター					
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	TOP天板	メラミン化粧板	1	t32両面ポストフォーム	PF
2	作業天板	メラミン化粧板	3	t32片面ポストフォーム	PF
3	荷物置き	メラミン化粧板	3	t32片面ポストフォーム	PF
4	腰板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
5	仕切り板	メラミン化粧板	7	t32	PF
6	ジョイント金具		4	IT4040	
7	配線孔キャップ	ABS樹脂	4	S60型	
8	アングル	SUS	2	SUSハード隅金L=90	
木口記号	PF：ポストフォームR10				
	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

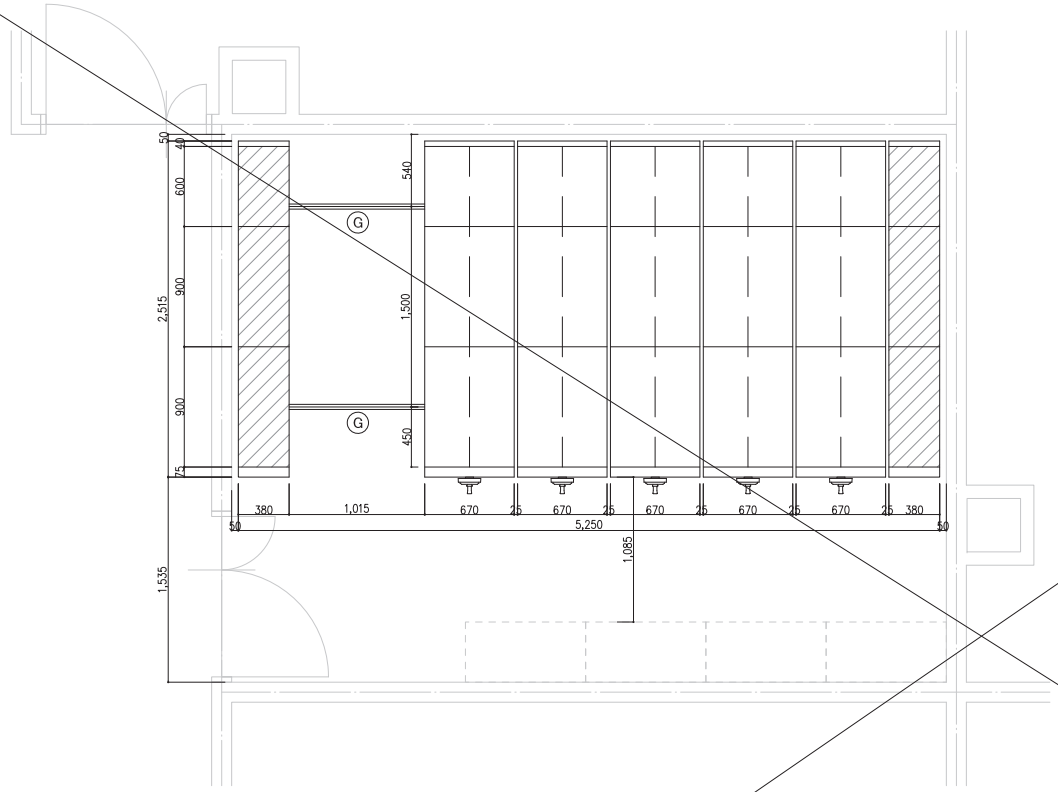
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	家具図(2)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/20 A3:1/40
		図面No.	A－76
		原型	後図

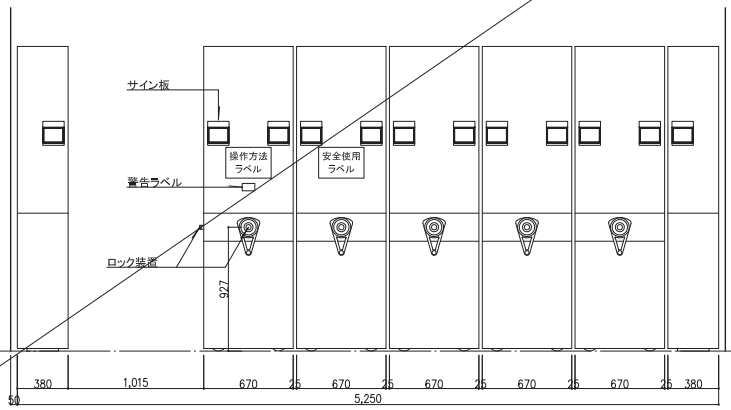
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

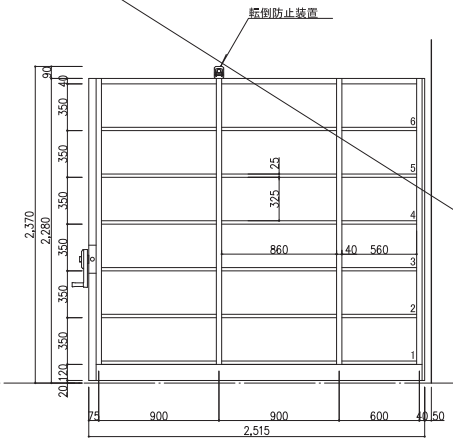
管理建築士	古澤　康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号

K-6　書庫　レール式移動書架　　1カ所

書庫　レール式移動書架				
型式	台数	延段数		ファイルメーター
		W900	W600	(0.86・0.56fm/段)
3連腹式　可動棚　6段(内1連W600)	5	120	60	164.16
3連単式　固定棚　6段(内1連W600)	2	24	12	
合計	7	144	72	

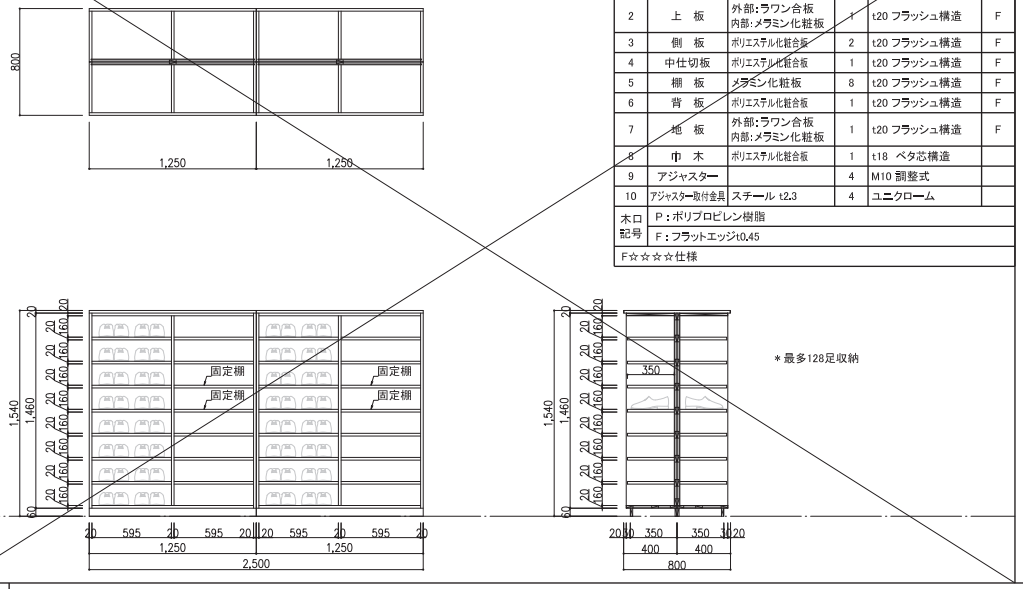






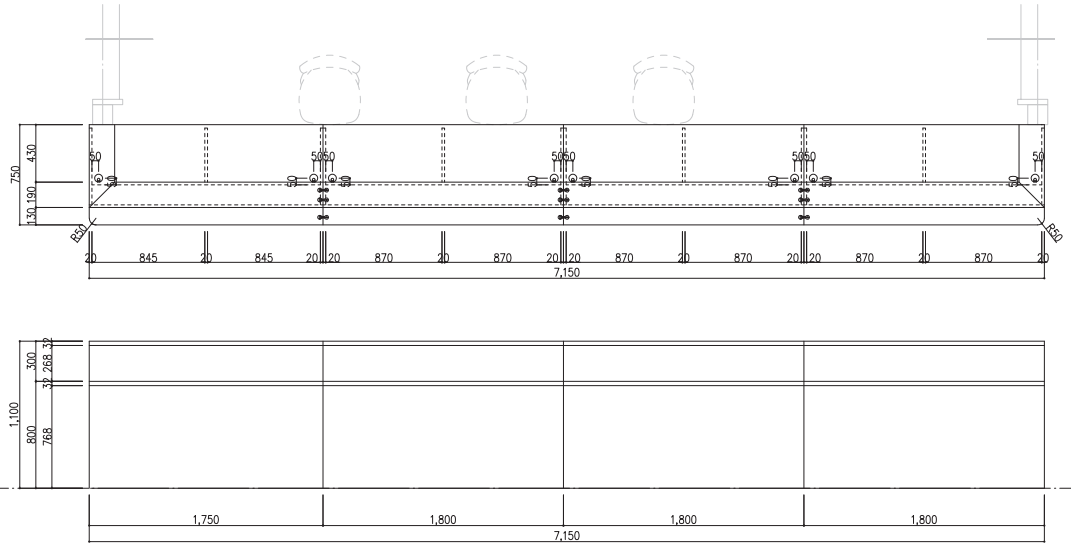
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 家具図(3)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号　TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A−77	
	原図	他図

K-7　玄関　下足入　　1カ所



吉澤章記念室　展示用ガラスショーケース					
	部品名	材　質	数量	摘　要	木口
1	天　板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	P
2	上　板	外部:ラワン合板 内部:メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	F
3	側　板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
4	中仕切板	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	F
5	棚　板	メラミン化粧板	8	t20 フラッシュ構造	F
6	背　板	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	F
7	地　板	外部:ラワン合板 内部:メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	F
8	巾　木	ポリエステル化粧合板	1	t18 ベタ芯構造	
9	アジャスター		4	M10 調整式	
10	アジャスター取付金具	スチール t2.3	4	ユニクローム	
木口記号	P：ポリプロピレン樹脂				
	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

K-9　事務室　受付カウンター　　1カ所



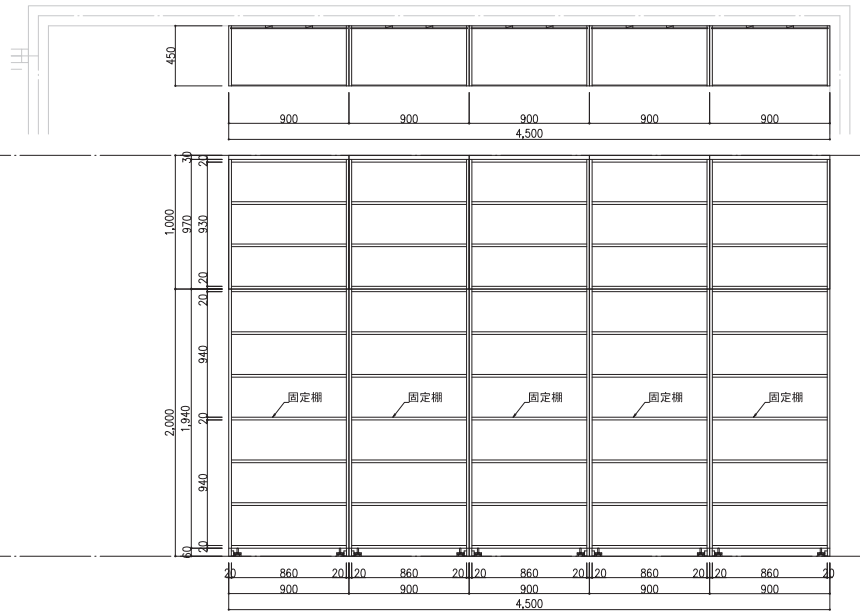
事務室　受付カウンター					
	部品名	材　質	数量	摘　要	木口
1	TOP天板	メラミン化粧板	4	t32両面ポストフォーム	PF
2	作業天板	メラミン化粧板	4	t32片面ポストフォーム	PF
3	荷物置き	メラミン化粧板	4	t32片面ポストフォーム	PF
4	腰　板	メラミン化粧板	4	t20 フラッシュ構造	F
5	仕切り板	メラミン化粧板	12	t32	PF
6	ジョイント金具		9	IT4040	
7	配線孔キャップ	ABS樹脂	6	S60型	
木口記号	PF：ポストフォームR10				
	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

工事名　(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名　家具図(4)
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

No. 03123
製作 R05.01
縮尺 A1:1/20 A3:1/40
図面No. A-78
原図　複図

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

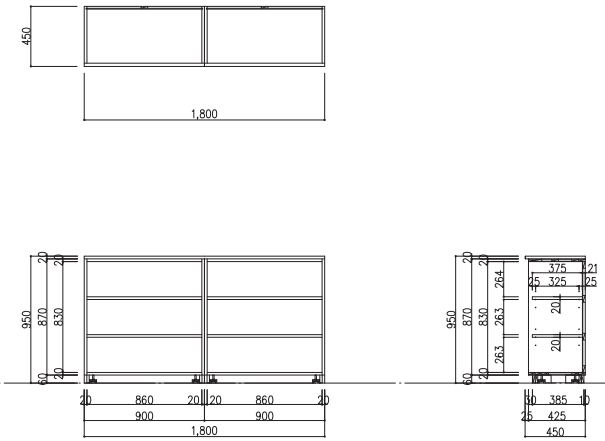
K-9　倉庫　備品棚　　1カ所



倉庫　備品棚

	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	上板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
2	側板	ポリエステル化粧合板	4	t20 フラッシュ構造	F
3	背板	ポリエステル化粧合板	21	t21 片フラッシュ構造	
4	棚板	メラミン化粧板	7	t20	F
5	地板	外部:ラワン合板 内部:メラミン化粧板	21	t20 フラッシュ構造	F
6	巾木	ポリエステル化粧合板	1	t18 ベタ芯構造	
7	アジャスター		4	M10 調整式	
8	アジャスター取付金具	スチール t2.3	4	ユニクローム	
木口記号	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

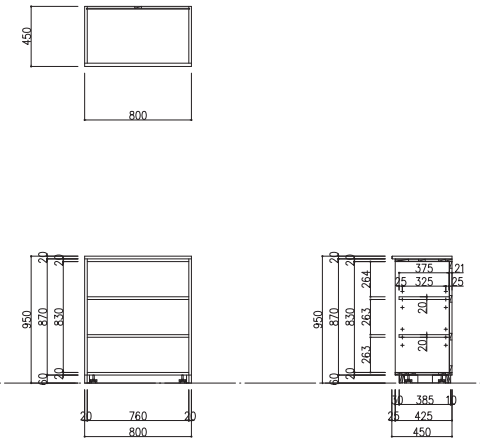
K-10　保育室　オープン収納棚　　1カ所



保育室　オープン収納棚

	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	天板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	P
2	上板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
3	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
4	棚板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
5	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
6	地板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
7	巾木	ポリエステル化粧合板	1	t18 ベタ芯構造	
8	アジャスター		4	M10調整式	
9	アジャスター取付金具	スチールt2.3	4	ユニクローム	
木口記号	P：ポリプロピレン樹脂				
	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

K-11　保育室　オープン収納棚　　1カ所



保育室　オープン収納棚

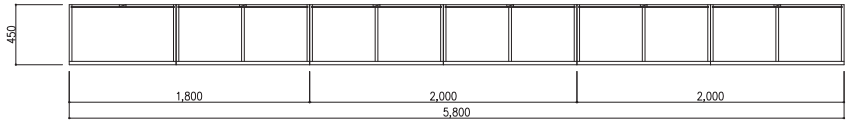
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	天板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	P
2	上板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
3	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
4	棚板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
5	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
6	地板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
7	巾木	ポリエステル化粧合板	1	t18 ベタ芯構造	
8	アジャスター		4	M10調整式	
9	アジャスター取付金具	スチールt2.3	4	ユニクローム	
木口記号	P：ポリプロピレン樹脂				
	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

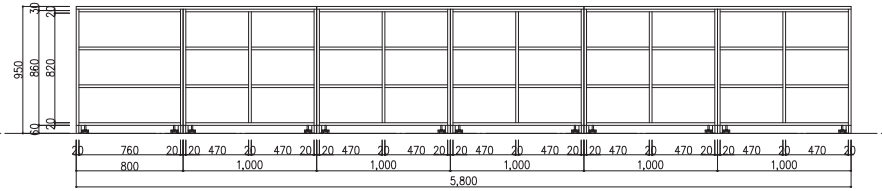
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	家具図(5)	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/20 A3:1/40
		図面No.	A－79
		原図	他図

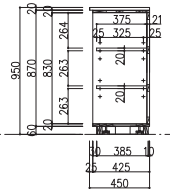
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

管理建築士	古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号

K-12　保育室　オープン収納棚　1カ所



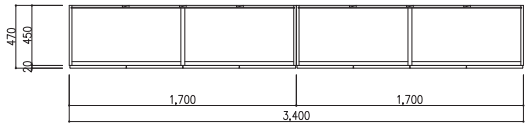


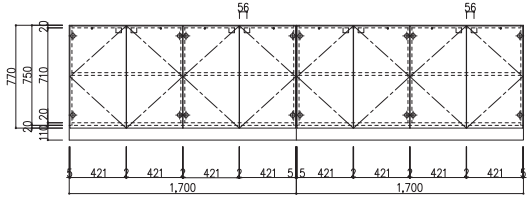


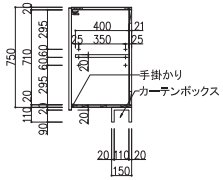
保育室　オープン収納棚

	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	天板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	P
2	上板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
3	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
4	棚板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
5	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
6	地板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
7	中仕切板	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	F
8	巾木	ポリエステル化粧合板	1	t18 ベタ芯構造	
9	アジャスター		4	M10調整式	
10	アジャスター取付金具	スチール2.3	4	ユニクローム	
木口記号	P：ポリプロピレン樹脂				
	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

K-13　保育室　吊戸棚　1カ所



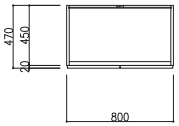


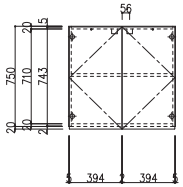


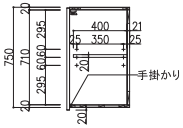
保育室　吊戸棚

	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	上板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
2	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
3	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
4	扉	メラミン化粧板	4	t20 フラッシュ構造	F
5	中仕切板	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	F
6	棚板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
7	地板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	F
8	スライド丁番	ワンタッチ丁番	8	110°開き(HETTICH)	
9	耐震ラッチ	パーフェクトロック	4	(株)ムラコシ精工	
10	カーテンボックス	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	F
木口記号	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

K-14　保育室　吊戸棚　1カ所





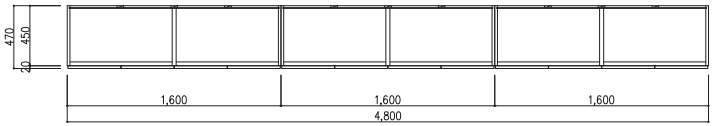


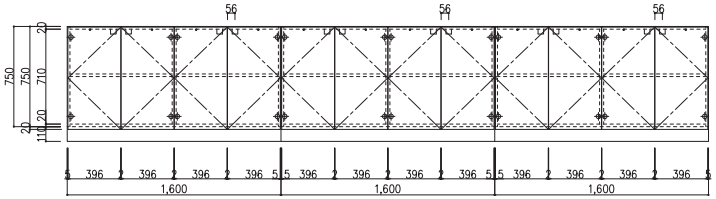
保育室　吊戸棚

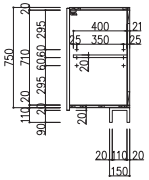
	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	上板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
2	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
3	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
4	扉	メラミン化粧板	4	t20 フラッシュ構造	F
5	棚板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
6	地板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	F
7	スライド丁番	ワンタッチ丁番	8	110°開き(HETTICH)	
8	耐震ラッチ	パーフェクトロック	4	(株)ムラコシ精工	
木口記号	F：フラットエッジt0.45				
F☆☆☆☆仕様					

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	家具図(6)	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/20 A3:1/40
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No.	A−80
		原図	複図
管理建築士	古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号		
従事する建築士	塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号		
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号		

K-15　保育室　吊戸棚　　1カ所







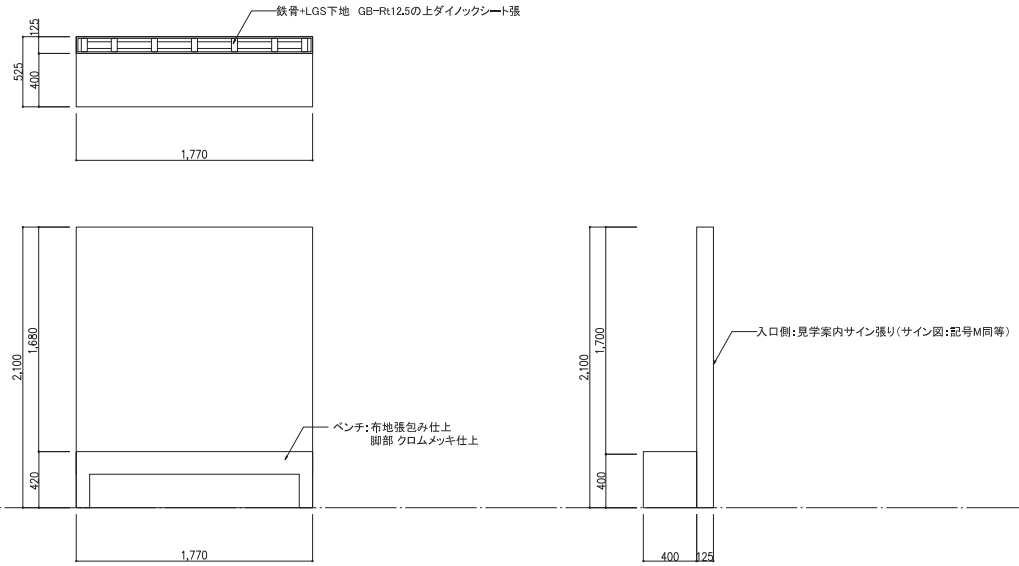
保育室　吊戸棚

	部品名	材質	数量	摘要	木口
1	上板	外部:ラワン合板 内部:ポリ合板	1	t20 フラッシュ構造	F
2	側板	ポリエステル化粧合板	2	t20 フラッシュ構造	F
3	背板	ポリエステル化粧合板	1	t21 片フラッシュ構造	
4	扉	メラミン化粧板	4	t20 フラッシュ構造	F
5	中仕切板	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	
6	棚板	メラミン化粧板	2	t20 フラッシュ構造	F
7	地板	メラミン化粧板	1	t20 フラッシュ構造	F
8	スライド丁番	ワンタッチ丁番	8	110°開き(HETTICH)	
9	耐震ラッチ	パーフェクトロック	4	(株)ムラコシ精工	
10	カーテンボックス	ポリエステル化粧合板	1	t20 フラッシュ構造	F

木口記号　F:フラットエッジR0.45

F☆☆☆☆仕様

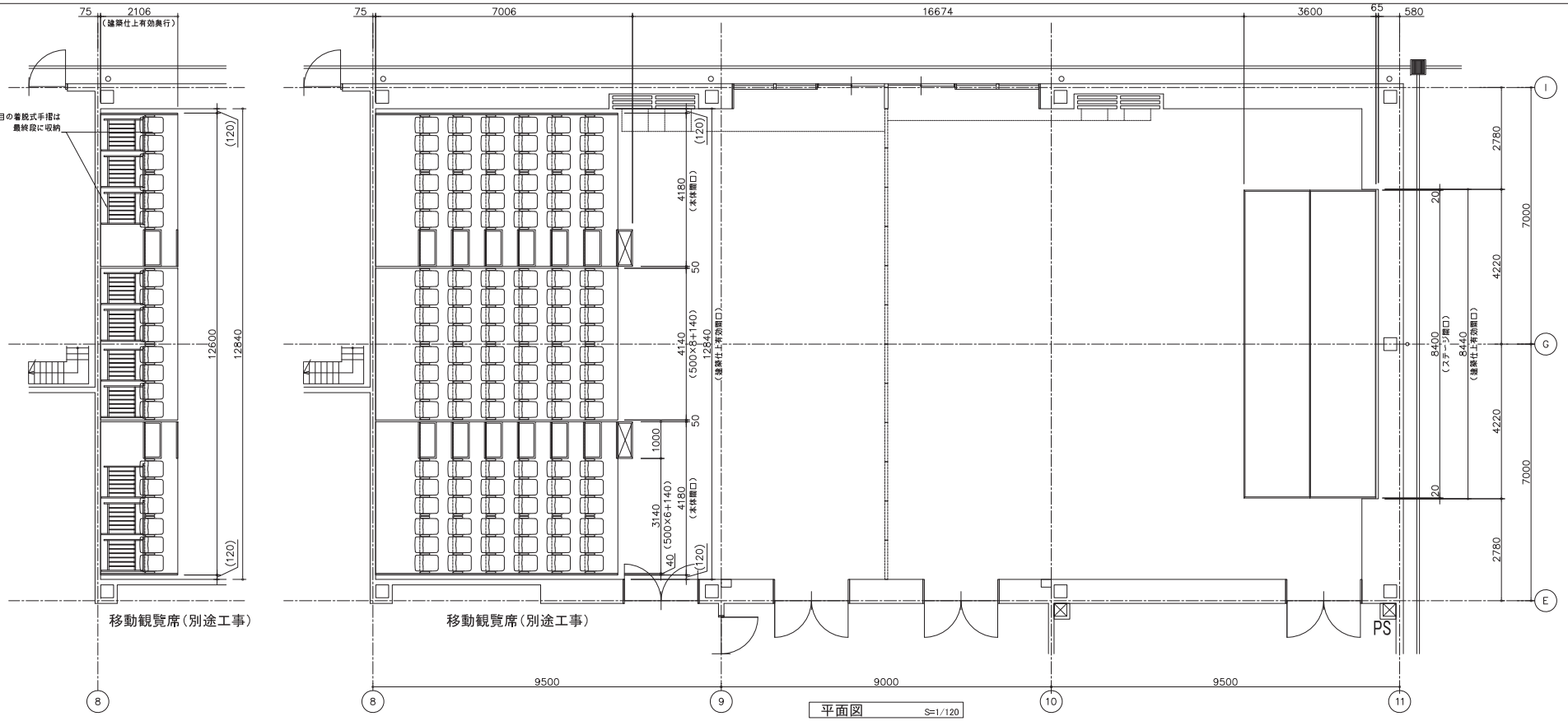
K-16　吉澤章記念室　ベンチ　　1カ所



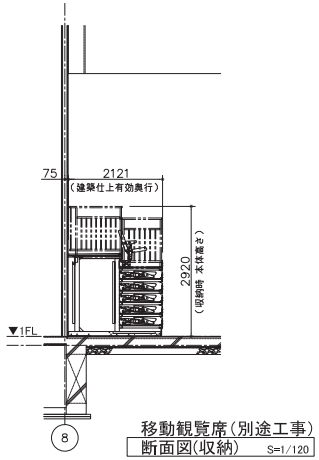
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	家具図(7)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/20 A3:1/40
		図面No.	A−81
		原図	後図

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番6号　TEL 028(622)8928

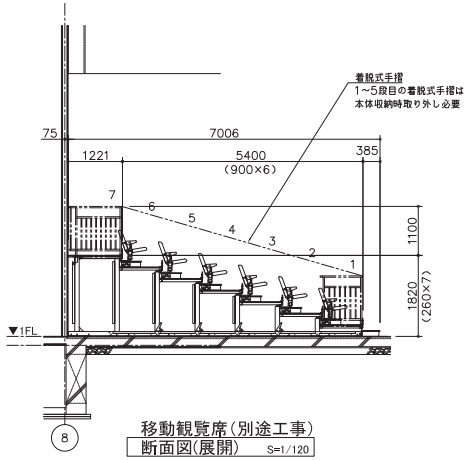
管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号



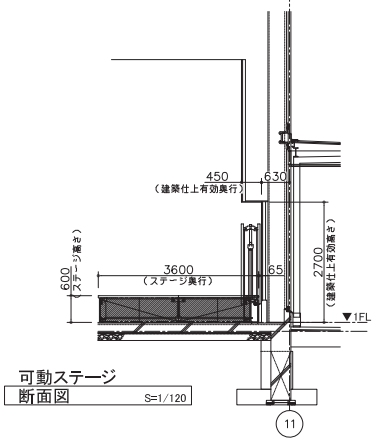
平面図 S=1/120



移動観覧席（別途工事）
断面図(収納) S=1/120

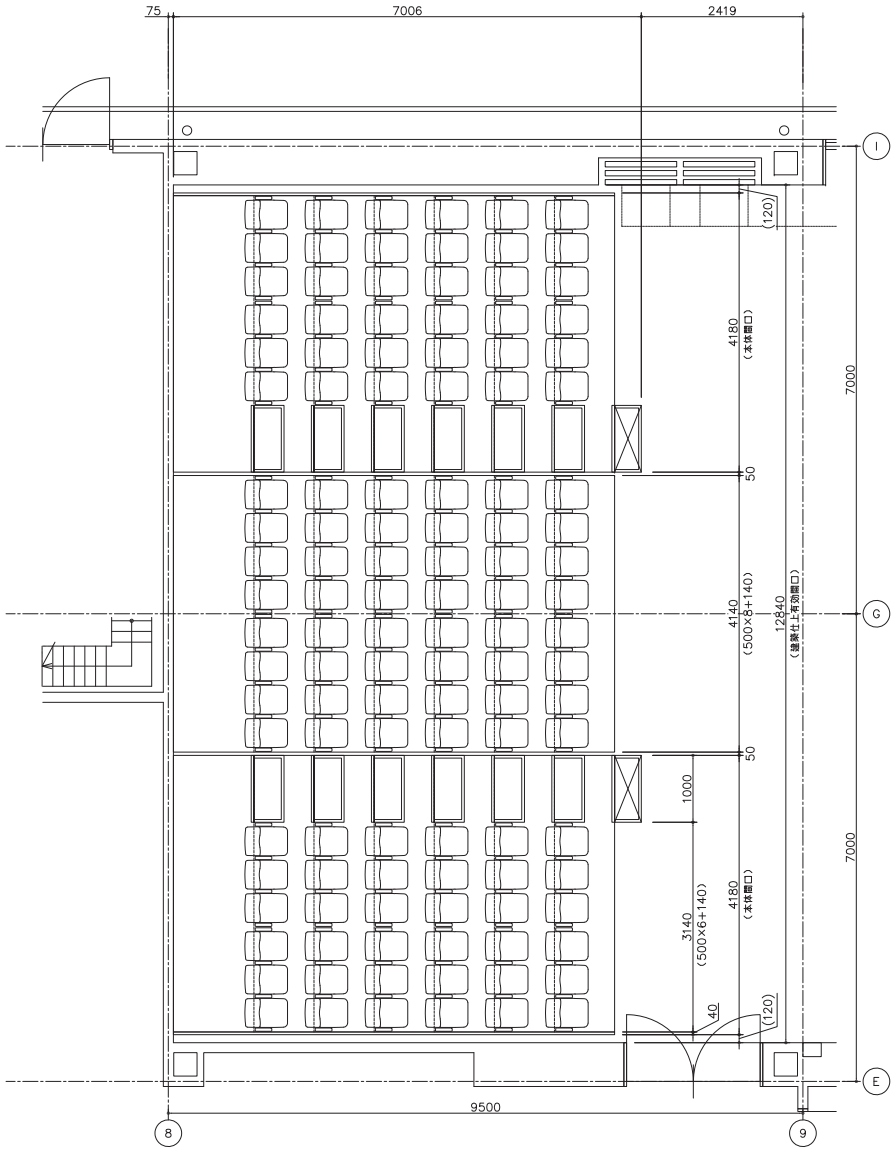


移動観覧席（別途工事）
断面図(展開) S=1/120

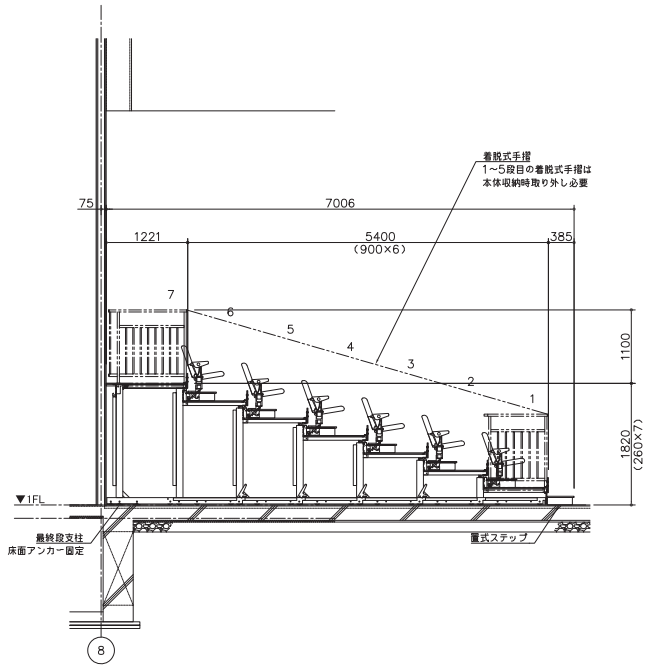


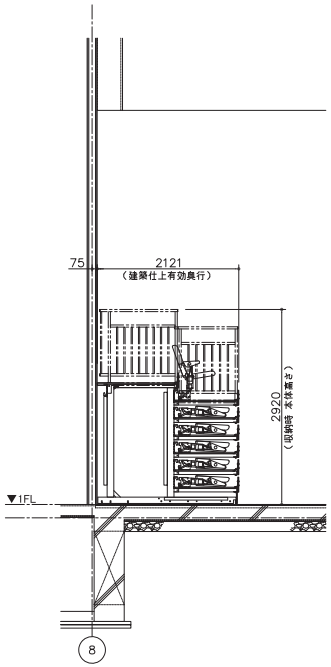
可動ステージ
断面図 S=1/120

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 移動観覧席・可動ステージ 平面・断面図	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/60 A3:1/120	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A-82	
	原図 / 複製 / 後図	



平面図　S=1/80

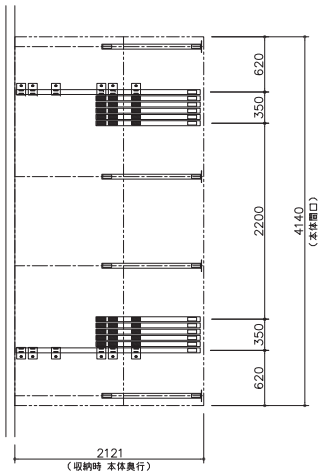


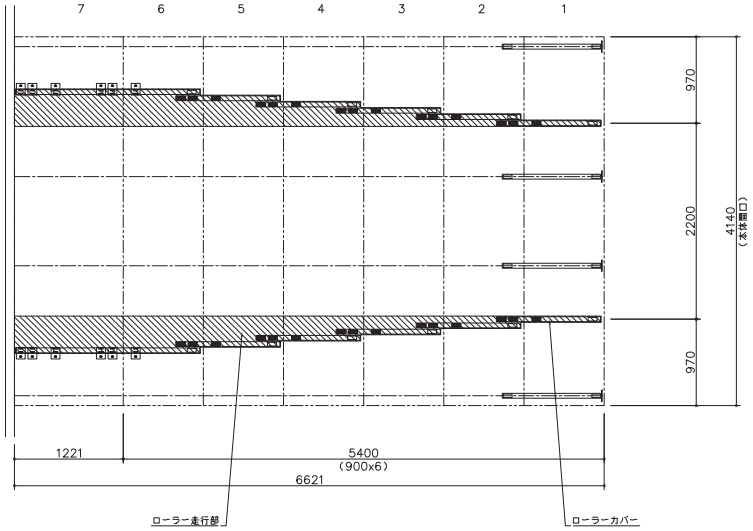


移動観覧席			
本体タイプ	壁面直付式		
本体総間口	4140 mm	段数	7 段（椅子列：6段）
段差	260 mm	奥行	900 mm
椅子タイプ	CS01		
一人間口	500 mm	ユニット数	1 ユニット
椅子起立転倒操作	手動式	席数	48 席/ユニット
本体総間口	4180 mm	段数	7 段
段差	260 mm	奥行	900 mm
椅子タイプ	CS01		
一人間口	500 mm	ユニット数	2 ユニット
椅子起立転倒操作	手動式	席数	36 席/ユニット
		総席数	120 席
本体主要部材			
支柱	角鋼管		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
ローラーカバー	鋼板曲げ加工品		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
アーム	ロール成型品		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
走行ローラー	ウレタンゴム車輪		
フロントビーム	ロール成型品		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
リアビーム	ロール成型品		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
ブレーシング	角鋼管		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
整列リンク	角鋼管		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
	等辺山型鋼		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
床	プラスチック化粧合板		
	スベリ止めエンボス加工付		（ブラック）
ノンスリップ（通路部）		アルミ押出型材	（シルバー）
本体付属部品			
着脱式手摺（1～5段目は最終段に収納）	14本		合成樹脂焼付塗装仕上（ブラックグレー）
中段固定ステップ,1段目前置式ステップ			
本体操作ハンドル	2本		
椅子操作ハンドル			
前幕板 ※通路部幕板は無し	t15 化粧合板（木目調入両面貼り、木口は同色塗潰し塗装仕上）		（アイカＢＢ）
建築床仕上材	フローリング （収納部：コンクリート下地）		
移動観覧席の走行を安定させるための条件			
建築床について（建築工事）			
●移動観覧席最大荷重時、走行面及び収納扉面に段差が生じる場合は2mm以下とする			
●床仕上り面は良好な平坦さ 3/1000かつ7/3000以下とし、観覧席走行範囲において床仕上り面の最大高低差は、10mm以内とする			
●仕上材及び下地にクッション層無きこと			
※走行ローラーに掛かる荷重により、床材に凹みが生じ走行が安定しなくなる為			
※コンクリート直貼りの場合、下地にはセルフレベリング材を使用の事			
●見切りが発生する場合は、別途打合せ			
※エキスパンションゴムは幅15mm以下のこと、且つ 見切りのコンクリート縁部には、欠け防止の保護アングル等施工のこと			
●床材の種類によっては、観覧席の走行による局部的な集中荷重によって何らかの凹み（走行跡）が残る場合があります			
また、床の不陸（うねり）によって、走行ローラーが床面に設置しないところが発生し、床材の凹みが大きくなる場合もあります			
●走行ローラーによる床材表面への影響確認試験が可能			
床面、壁面の下地について			
・下地をコンクリートとし、アンカー固定が可能であること			
設置階数	1 階		
特記事項			
・実際の最低必要通路幅は、適用法規により異なります。			

※別途工事

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 移動観覧席 詳細図	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大生1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/40 A3:1/80	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. A－83	
	原図 / 複図	





荷重分布表（本体間口W4140のユニットを示す。）　　【単位：kg】

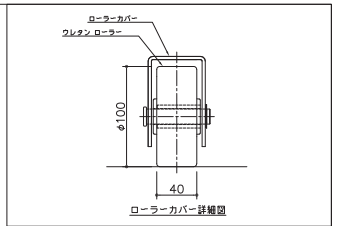
段数	1段目	2段目	3段目	4段目	5段目	6段目	7段目
各段の重量	327	297	301	306	310	315	216
ローラーカバー１本当たりの重量	164	149	151	153	155	157	108
移動時のローラーカバー１群当たりの最大荷重	164	312	463	616	771	928	1036
積載時（使用時）のローラーカバー1本当たりの最大荷重	424	409	411	413	415	417	108

本体総重量　　2072Kg
積載時総重量　　5192Kg（本体総重量+65Kg×48人）

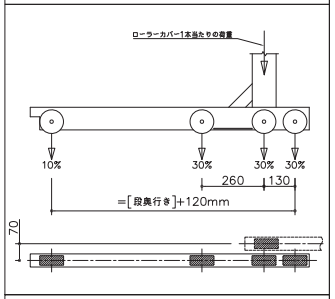
移動観覧席は最大積載荷重300kg／m2に耐え得る製品であり、

使用勝手によっては建築床面にかかる荷重が上記「積載時（使用時）」よりも増加します。

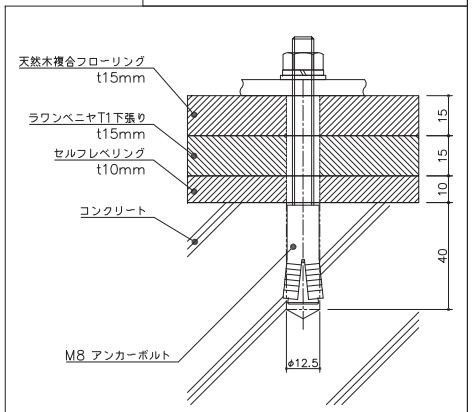
目安として、「最大積載時」は「積載時（使用時）」の約3倍の荷重となることがあります。



ローラーカバー詳細図



支柱1本にはφ100×W40のウレタン製ローラーが4個組み込まれ、荷重は上記割合で分散されます。



床面アンカー固定詳細図（S=1／1）

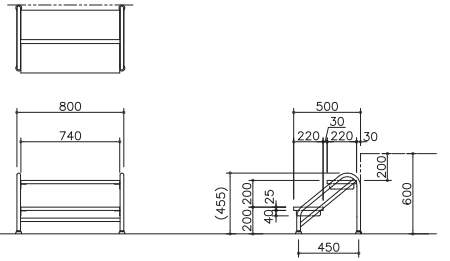
※別途工事

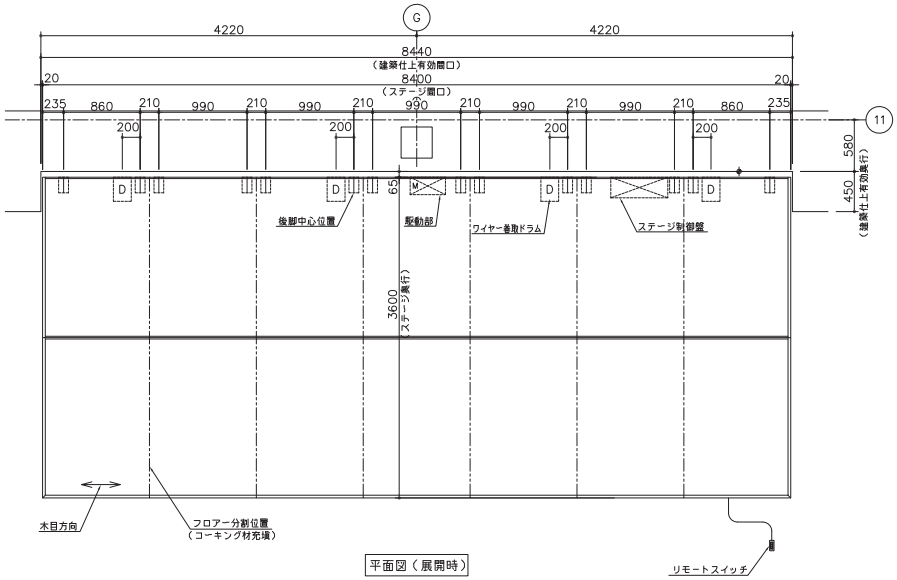
工事名：（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士：古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名：移動観覧席 荷重分布図	製作 R05.01	従事する建築士：塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士：一級建築士登録番号 号
	図面No. A－84	
	原図 / 複図	

電動式収納ステージ	DS−100同等品
ステージサイズ	W：8400　D：3600　H：600　（mm）
ステージ本体重量	1800kg
最大積載荷重	360 kg／m²
動作時間	約4分
ステージフロアー	t24　ナラフローリング化粧合板
	分割パネル工法　目地付施工
カマチ	ナラ集成材　ポリウレタンクリア塗装
前幕板	t14　ポリエステル化粧合板 目地付施工　（ナラ木目）
側幕板（片側4分割、取外し式）	
	t14　ポリエステル化粧合板 目地付施工　（ナラ木目）
本体構造	
脚	t4.5　鋼板加工品　カチオン電着塗装仕上（ブラック）
フレーム	50×50×t4　等辺山形鋼
	t4.5　鋼板加工品　カチオン電着塗装仕上（ブラック）
走行ローラー	φ100　ウレタンゴム車輪

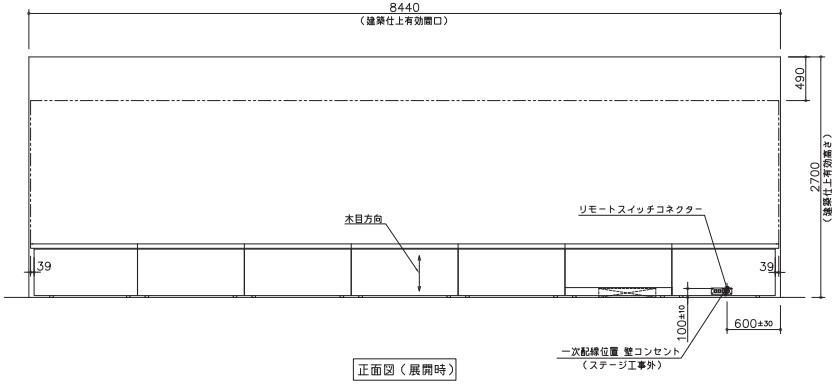
その他	
駆動装置	
モーター	三相 200V　0.4kw　1台
操作方法	
リモートスイッチ	
WSD（ワイヤー緩み検知装置）	
側幕板外し忘れ防止装置	
ステージ工事外	
一次側電気配線　壁コンセント	三相 200V　3 KVA（アース込ミ）
建築床仕上	フローリング　（収納部はコンクリート下地）
設置階	1　階
注意点	
建築床について	
・ステージ下部の建築床は原則硬質材とし、カーペットや長尺シートなどの軟質材の使用は不可とする。	
・収納庫内床は下地をコンクリートとし、直接アンカー固定が可能であること。コンクリートは、圧縮強度180kgf/cm²（18N/mm²）以上の普通コンクリートを推奨。	
・ローラー走行箇所に段差や見切りなどがないこと。	
・床仕上り面は良好な平坦さ 3/1000かつ7/3000以下を標準値とする。また、床仕上り面の最大高低差（傾斜の場合）は、±5mm以内を標準値とする。	
収納庫内には突起物などがないこと。	

ステージ用ステップ（ステージ高600用）　FE−094同等品	（S=1/20）
踏板	t25ナラフローリング集成材積層合板　クリアラッカー塗装仕上
脚	φ27.2×t2.8　鋼管　合成樹脂焼付塗装仕上 KC−230（スタチックグレー）
重量	14.0 kg
台数	2 台

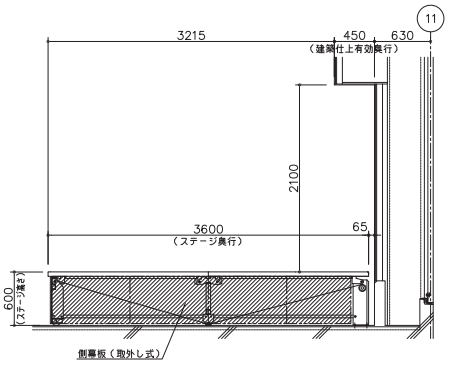




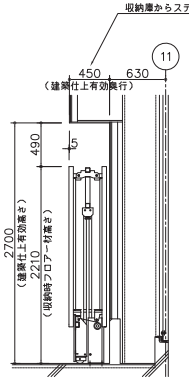
平面図（展開時）



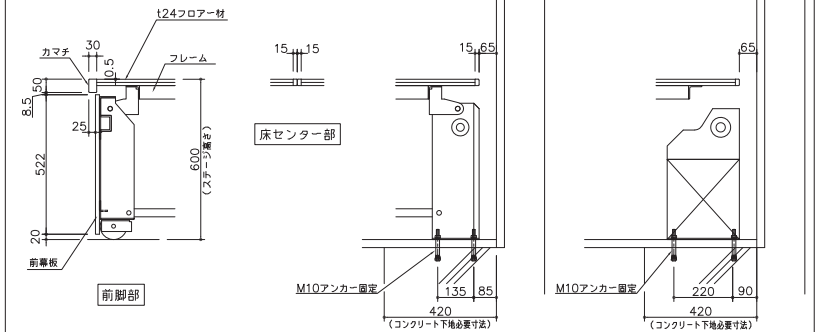
正面図（展開時）



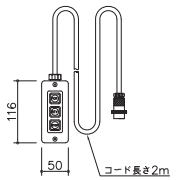
側面図（展開時）



側面図（収納時）



各部詳細図　S=1/10

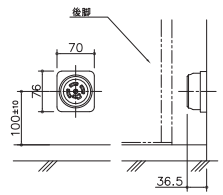


リモートスイッチ（S=1/5）

引掛露出コンセント（電気設備工事）

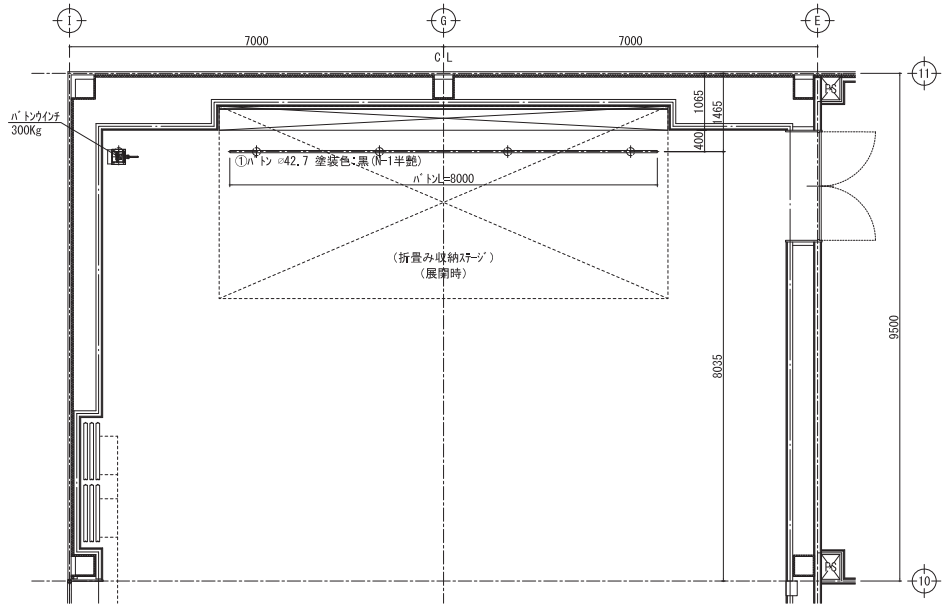
20A 250V（パナソニック電工 WK2420K 同等品）

※コンセントの取付け位置を高くしますと、
ステージフロアーと干渉のおそれがあります。

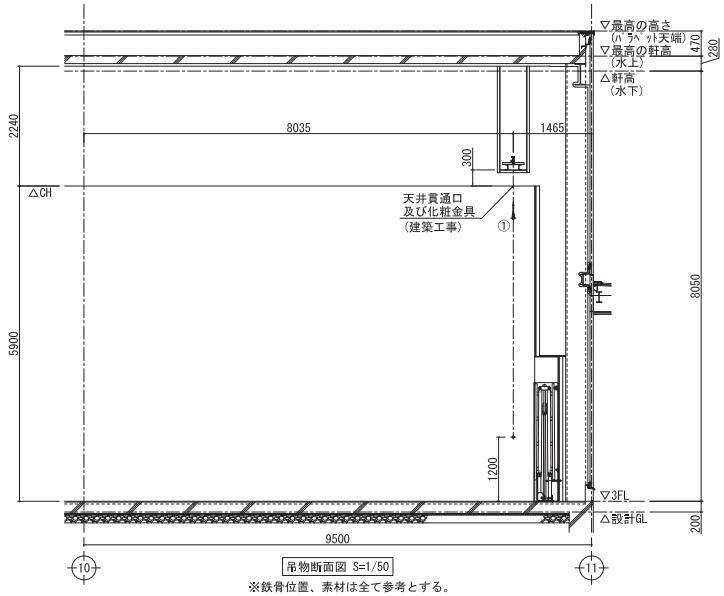


一次電源コンセント詳細（S=1/5）

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士	古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	可動ステージ　詳細図	製作	R05.01	従事する建築士	塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
		縮尺	A1:1/30 A3:1/60		
		図面No.	A−85	従事する建築士	一級建築士登録番号　号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大至1丁目5番8号　TEL 028(622)8928		原図	複図		

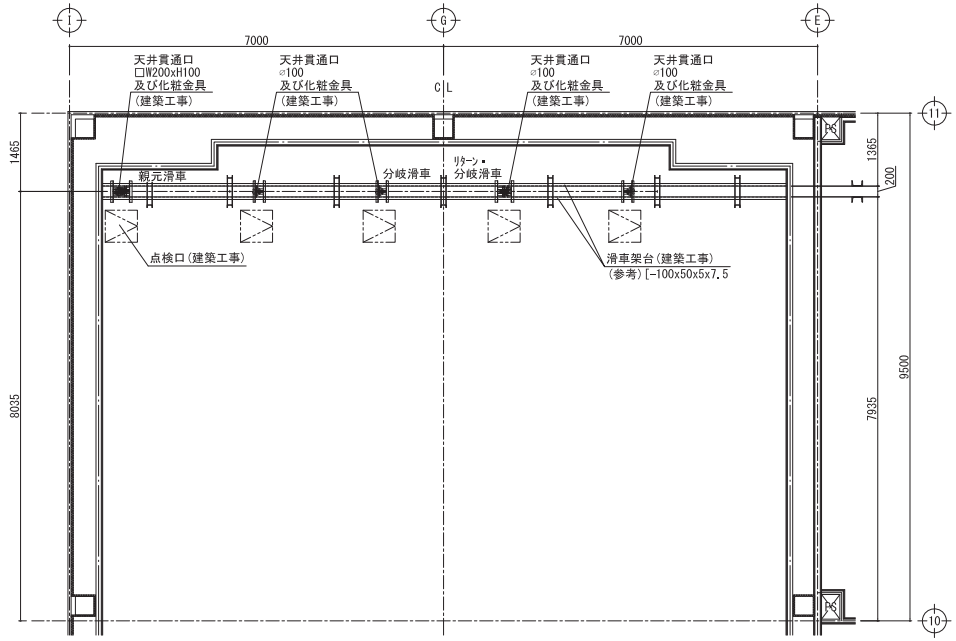


吊物平面図 S=1/50



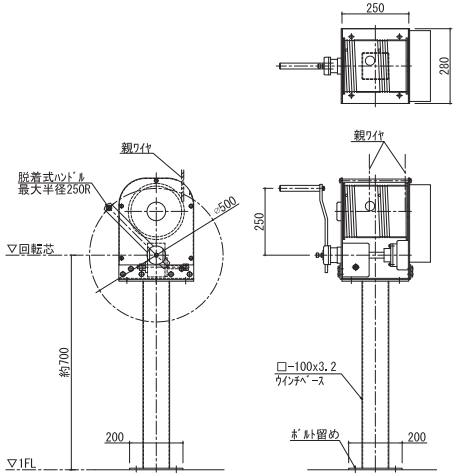
吊物断面図 S=1/50

※鉄骨位置、素材は全て参考とする。



ブドウ棚 平面図 S=1/50

※鉄骨位置、素材は全て参考とする。



ウインチ詳細図 S=1/10

取付位置は打合せによる。
塗装色はN-2(半艶)とする。

吊物機構仕様

NO	名　称	数量	バトン寸法	パイプ	方　式	総質量(kg) 固定荷重	積載荷重	合計	ワイヤー	吊点数	ウインチ	備　考
1	バトン	1式	L=8000	φ42.7	手動ウインチ昇降式	20	150	170	φ4.0/φ8.0	4	300kgウインチ 親元2本引き	定点停止付

※滑車架台・吊材・点検口・天井貫通口・化粧金具(建築工事)　※滑車塗装色はグレー(N-3半艶)とする。※バトン塗装色は黒(N-1半艶)とする。

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建築工事	No.	03123
図名	吊バトン詳細図	製図	R05.01
		縮尺	A1:1/50 A3:1/100
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三栄 富男　一級建築士登録番号 B9479号 本社　栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No.	A－86
		承	作
		監	図

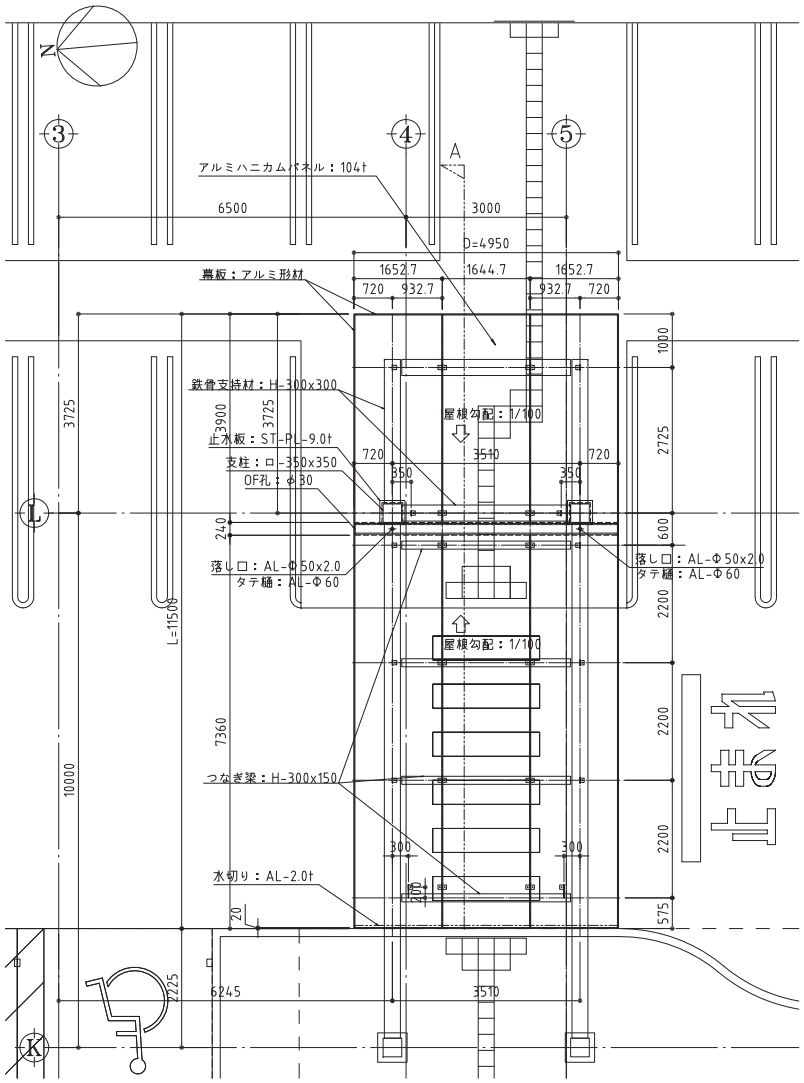
管理建築士
古澤 康夫
一級建築士登録番号 223925号

従事する建築士
塚原 好則
一級建築士登録番号 249808号

従事する建築士
一級建築士登録番号　号

平面図

縮尺　A1 1/50　A3 1/100



仕様

アルミニウム建築構造協議会
接着ハニカムパネル設計・製作指針にて制作のこと
アルミニウム建築構造製作認定工場　1類製作工場とする。

【仕様】
- ハニカムパネル厚さ＝104t
- 面板材料：AL2.0t
- 表面処理：フッ素樹脂焼付塗装
- 耐火性は不要

【耐風圧性能】
- 庇高さ＝3.6m　建物最高さ＝5.5m
- 再現期間＝100年
- 基準風速＝30m/sec　粗度区分＝Ⅲ
- 風速＝基準風速30m/secx風速倍率1.07＝32.2m/sec
- 吹下風圧力＝464.1N/㎡　吹上風圧力＝-1369.1N/㎡

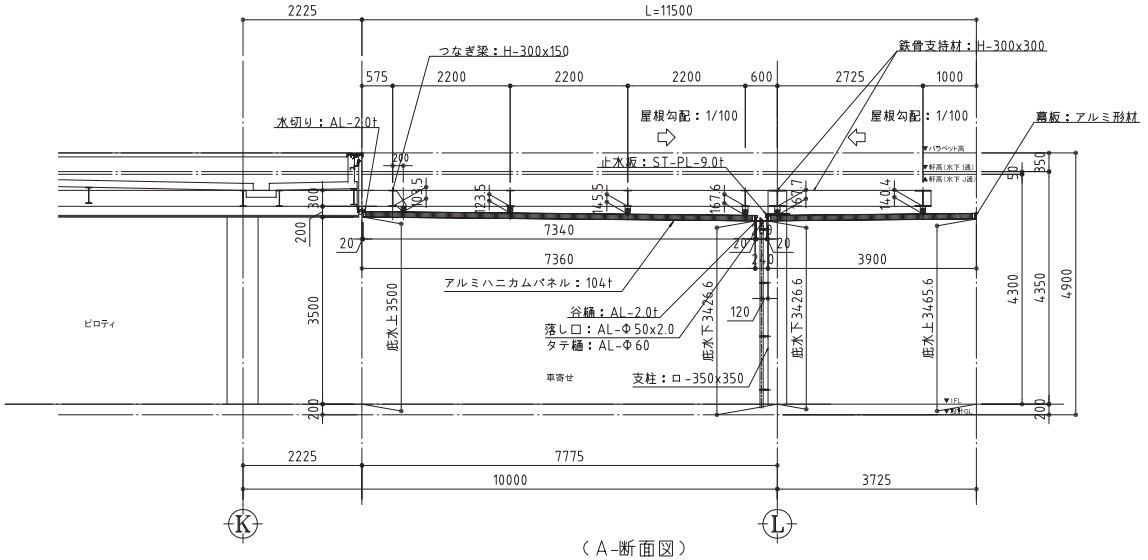
【積雪深さ】
- 30cm（600N/㎡）

【排水能力】
- 降雨強度＝100mm/h

【防水仕様】
- ハニカムパネル支持部：SUS製防水ボルト
- ハニカムパネル目地部：シリコーンゴム製防水ゴム（シール接着）
- 軒樋目地部：シリコーンゴム製（シール接着）

断面図

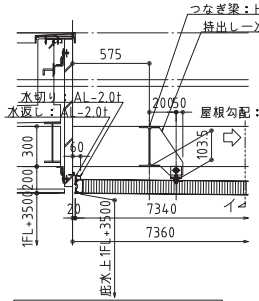
縮尺　A1 1/50　A3 1/100



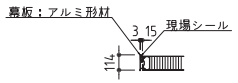
（A-断面図）

詳細図

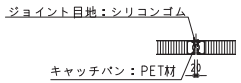
縮尺　A1 1/20　A3 1/40



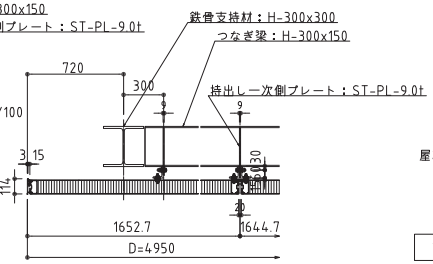
水上壁面断面　詳細



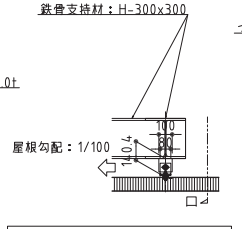
周辺材断面　詳細



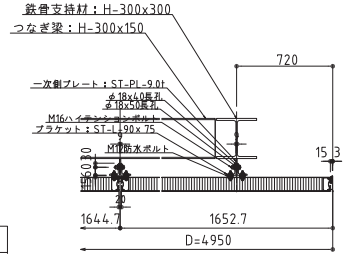
ジョイント目地断面　詳細



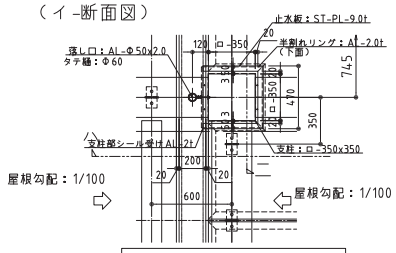
（イ-断面図）



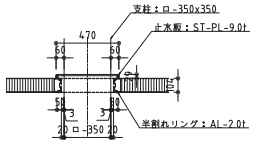
ブラケット断面　詳細



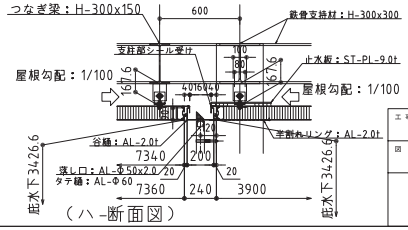
（ロ-断面図）



支柱貫通部断面　詳細



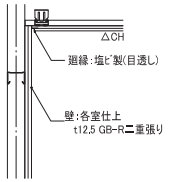
（二-断面図）



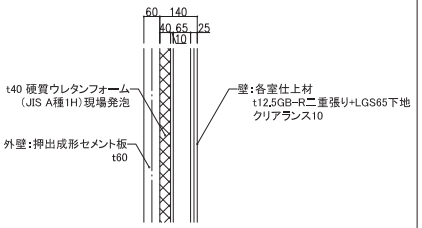
（ハ-断面図）

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	車寄せアルミハニカム庇詳細図
設計者	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928
No.	03123
製材	R05.01
縮尺	A1:1/20,50　A3:1/40,100
図面No.	A－87
原図	複図
管理建築士	古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号

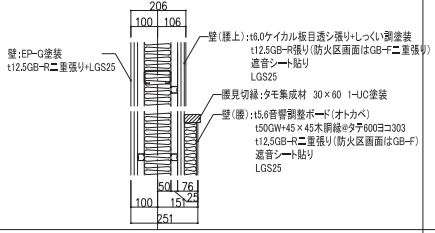
①壁・天井取り合い部



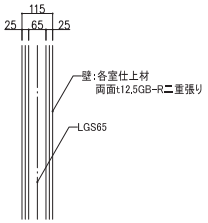
②壁:外壁　共通



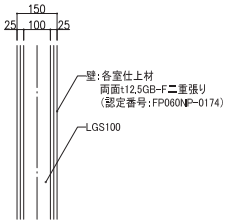
③壁:鉄骨胴縁下地　多目的ホール・音楽室



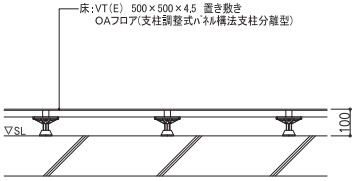
④壁:LGS65下地



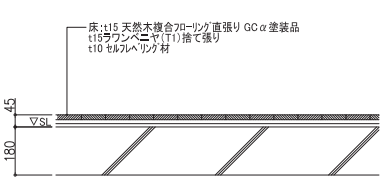
⑤区画壁(面積区画・異種用途区画・防火上主要な間仕切壁)



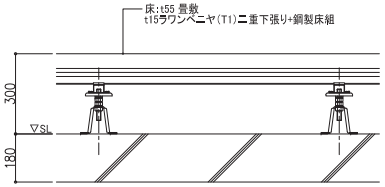
⑥床:OAフロア　教育委員会事務局 他



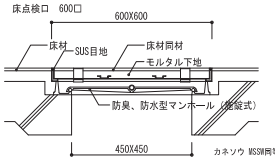
⑦床:フローリング　多目的ホール



⑧床:畳敷　和室

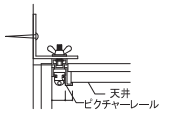


⑨床:床下点検口　各所



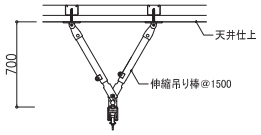
注記
- 防臭型マンホールはゴムパッキン仕様とし、取っ手部の穴弁から臭い漏れに配慮する。
- マンホールは共通の開閉器具を使用できるタイプとする。
- 自然仕様

⑩ピクチャーレール



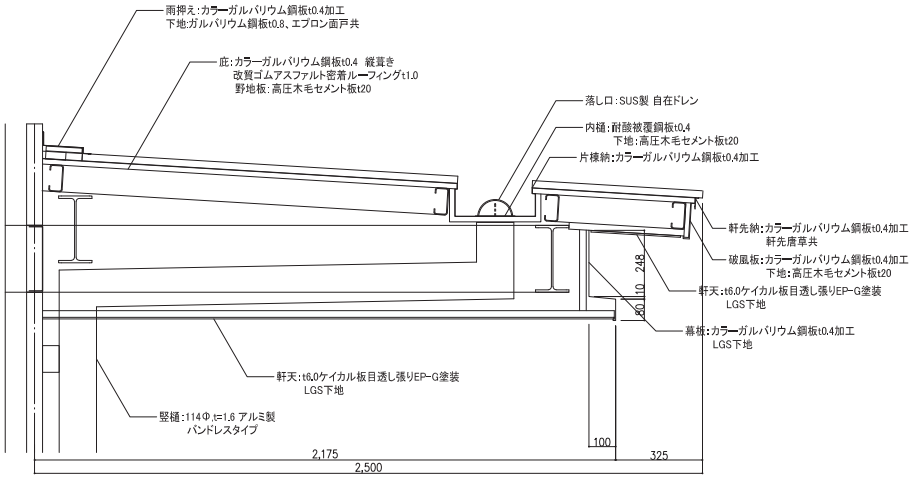
- 施工に際して強度確認の上取付けること
- フックは2コ/mとする(荷重100kg/ヶ)
- 材質 アルミ押出材(AE-BE)
- 位置に関しては天井伏図に記載
- リンデンレールS-200程度とする

⑪天井吊カーテンレール

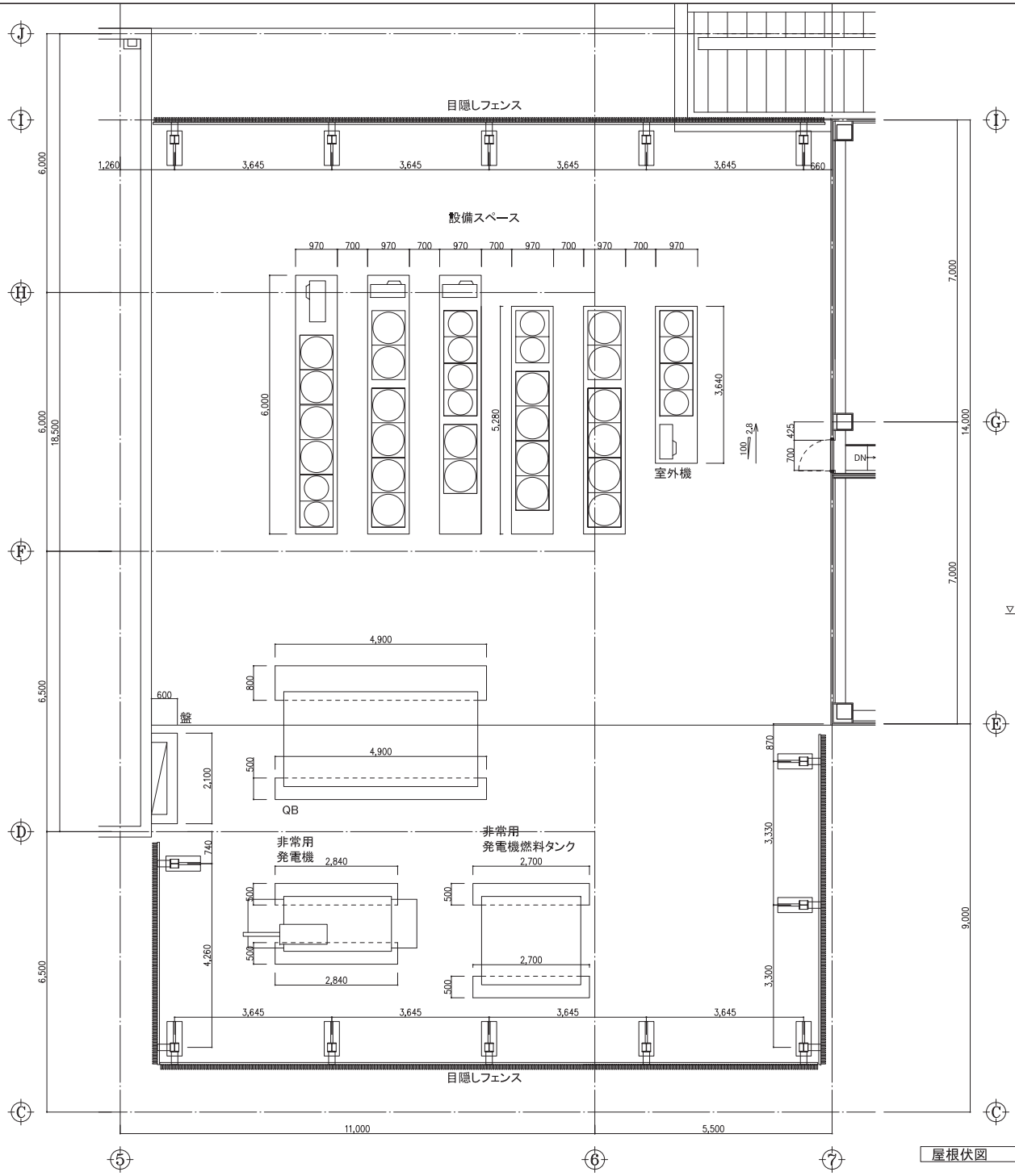


番号	部品名	材質	表面処理
1	レール	アルミ	塗装
2	ランナー	ポリエチレン他	–
3	吊り金具B	スチール	メッキ
4	伸縮吊り棒A	スチール	塗装
5	キャップストップ	スチール	塗装

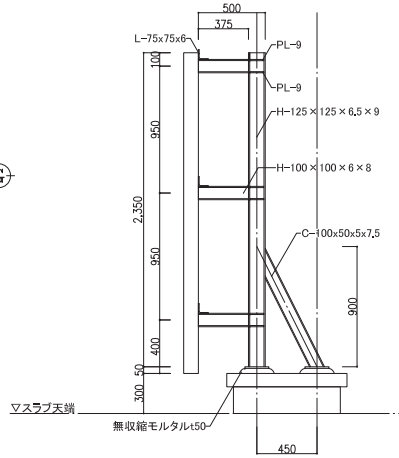
⑫回廊庇　外部

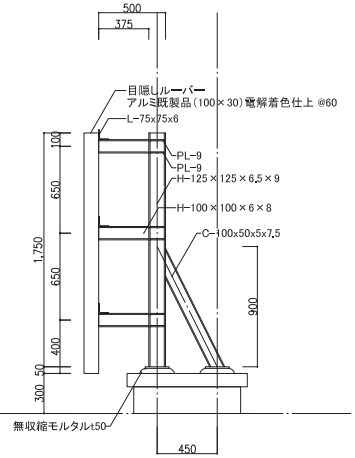


工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	部分詳細図(1)	製作	R05.01
		縮尺	A1:1/10 A3:1/20
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大生1丁目5番6号　TEL 028(622)8928	図面No.	A−88
		原図	複図
管理建築士	古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号		
従事する建築士	塚原好則 一級建築士登録番号 249808号		
従事する建築士	一級建築士登録番号　号		



屋根伏図 S=1/100

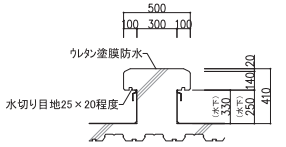


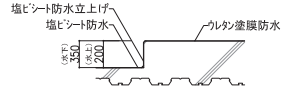


※鉄部:溶融亜鉛メッキ仕上とする

目隠しフェンス C通り詳細図 S=1/40

目隠しフェンス 1通り詳細図 S=1/40

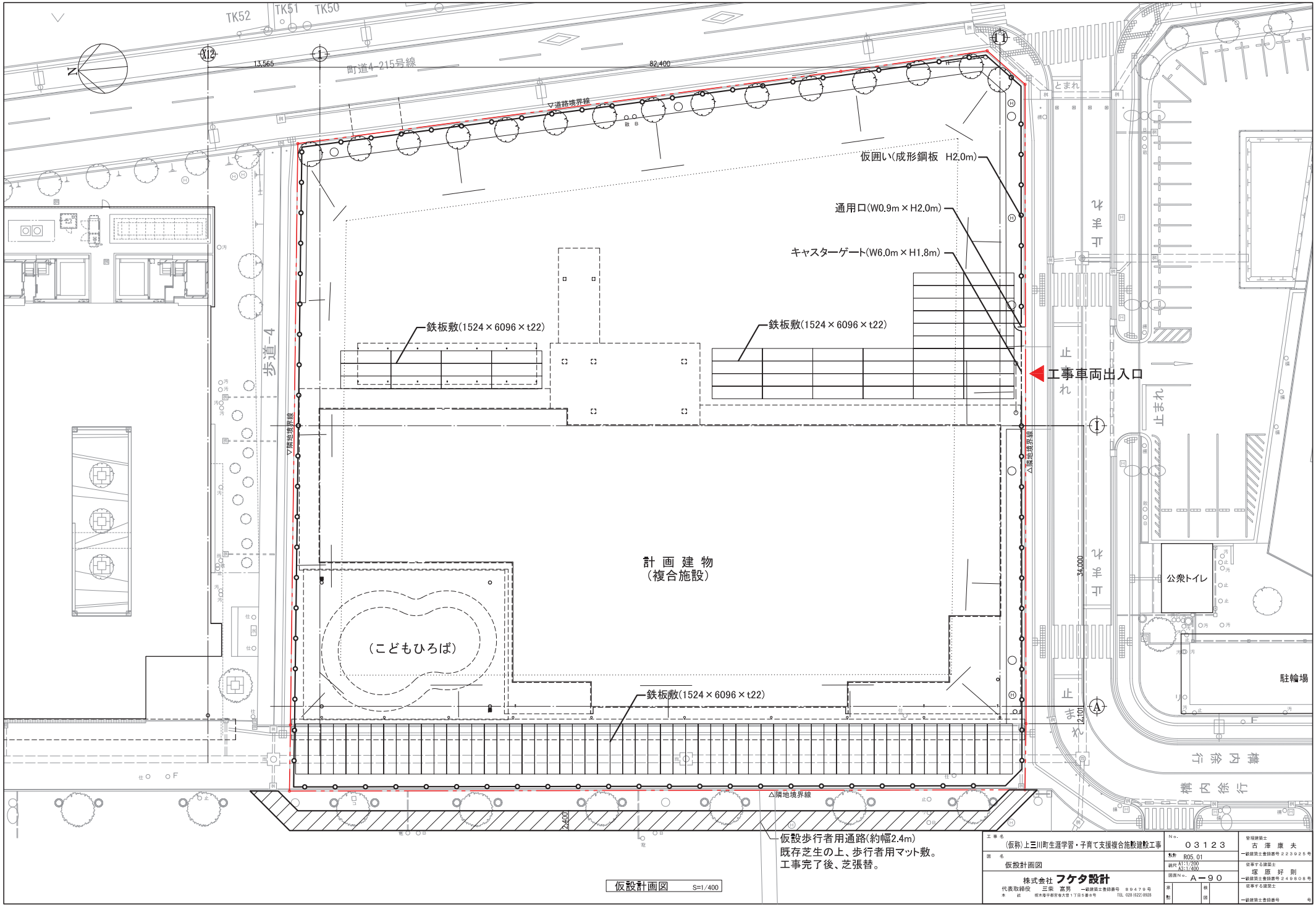




キュービクル関係 基礎詳細図 S=1/40

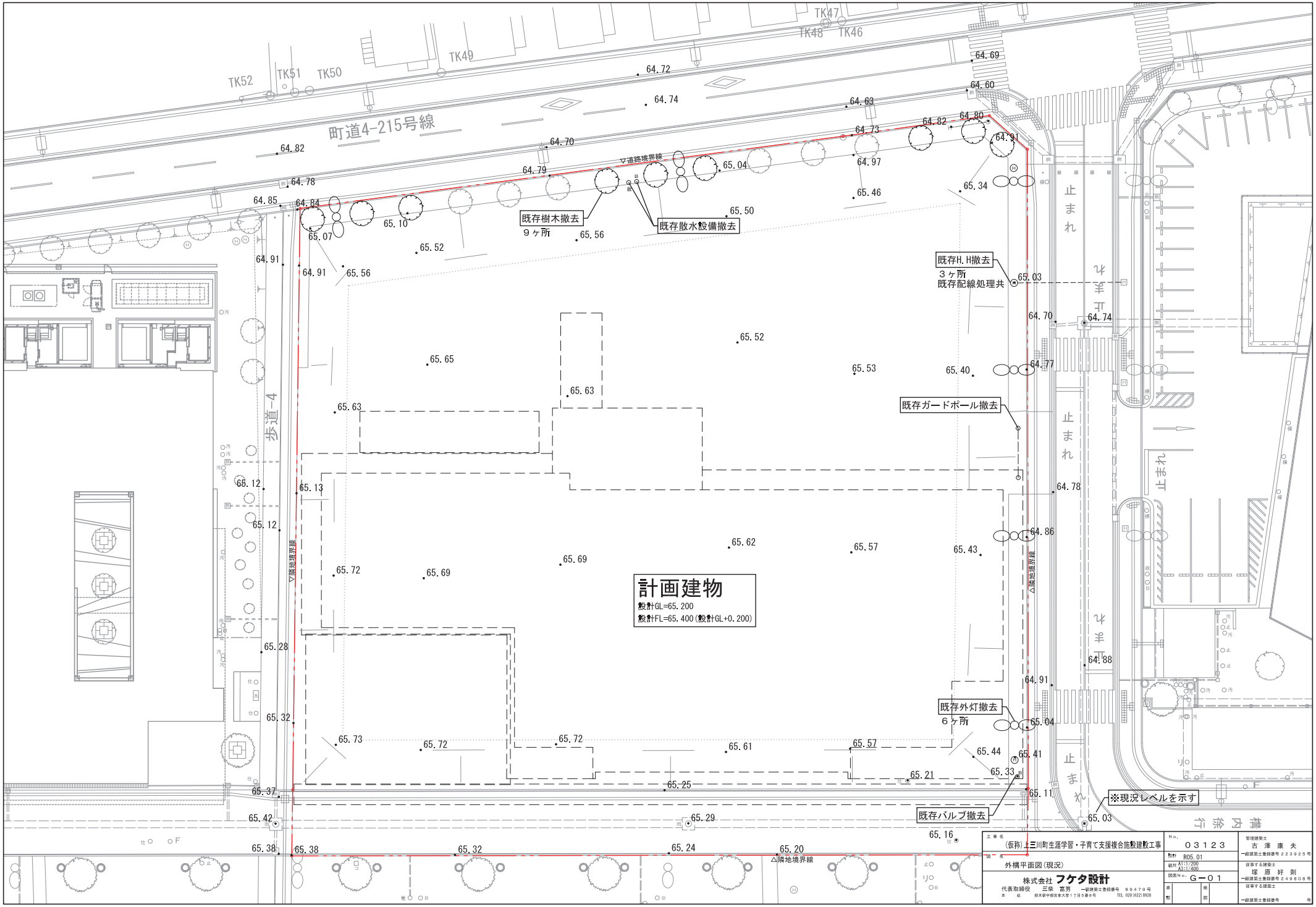
空外機・盤 基礎詳細図 S=1/40

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 部分詳細図(2)(設備スペース)	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面No. A-89 原図 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

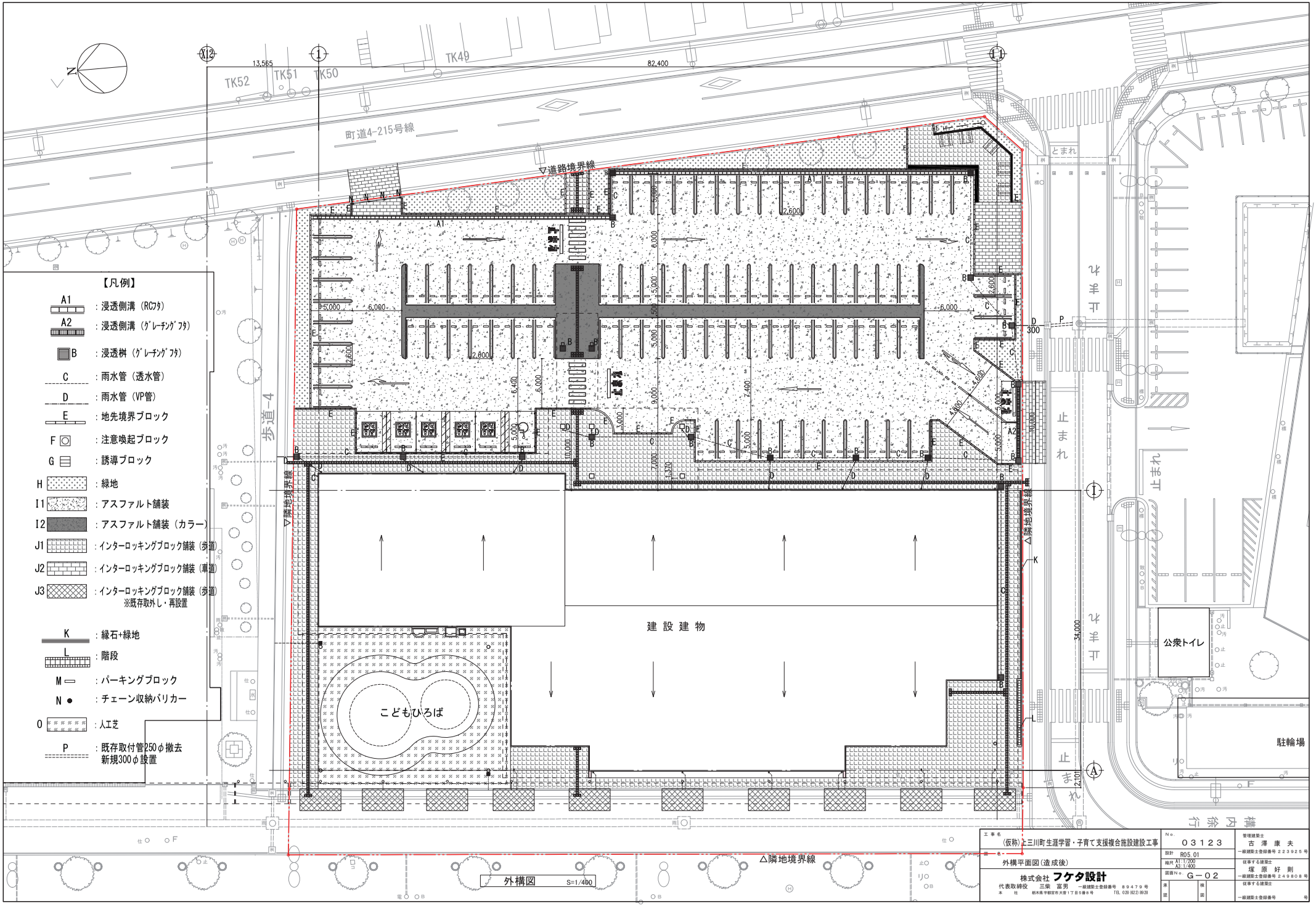


仮設計画図 S=1/400

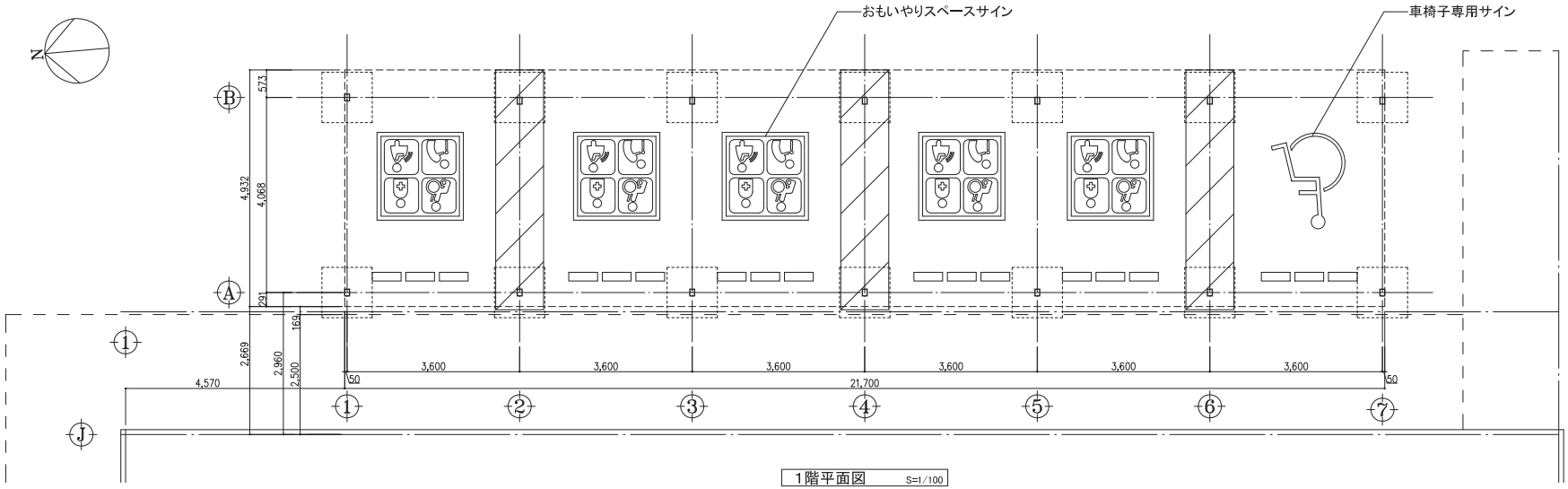
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	仮設計画図
株式会社	フケタ設計
代表取締役	三柴 富男 一級建築士書録番号 89479号
本社	栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面No.	A-90
原図	複図
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号



工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	外構平面図(現況)
株式会社	フケタ設計
代表取締役	三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社	栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面No.	G-01
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号



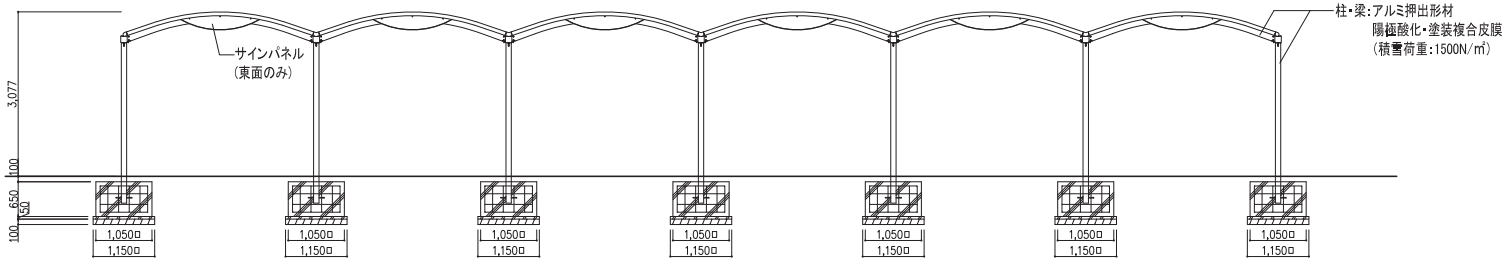
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	外構平面図(造成後)
株式会社 フケタ設計	代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 84479号 本社 栃木県宇都宮市大通り丁目9番9号 TEL 028(622)8928
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面No.	G－02
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号



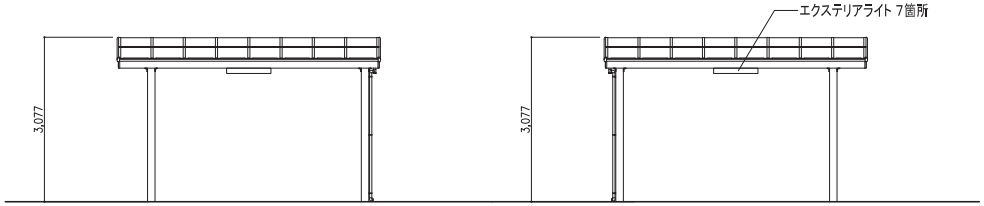
1階平面図　S=1/100

延べ面積：107.02㎡　（四国化成株式会社 ユニルーフ同等品）

建築面積：107.02㎡

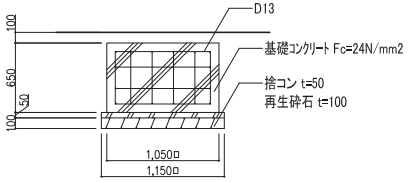


東・西立面図　S=1/100



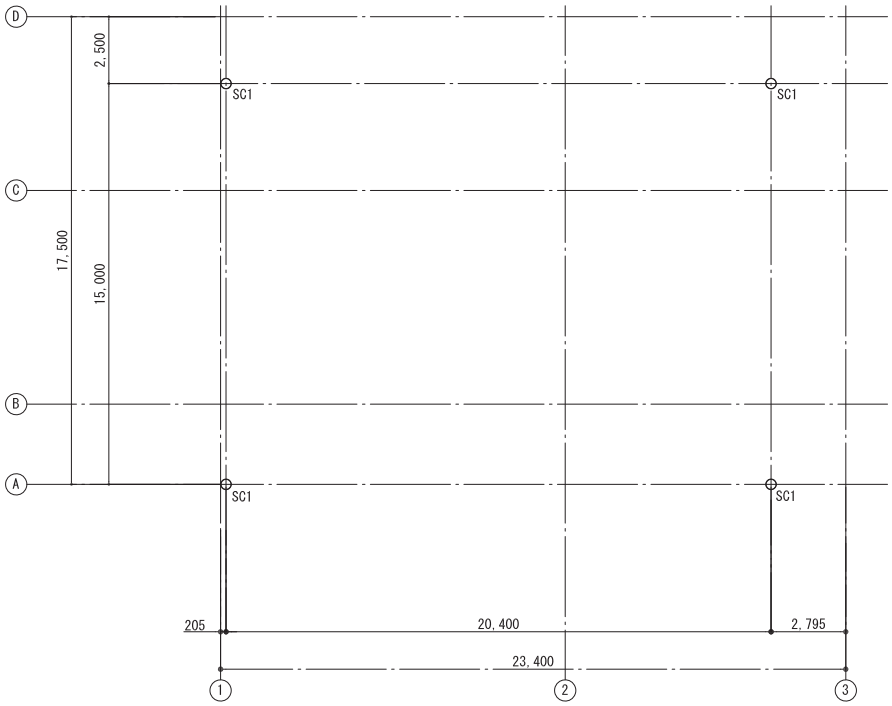
北立面図　S=1/100

南立面図　S=1/100



基礎詳細図　S=1/50

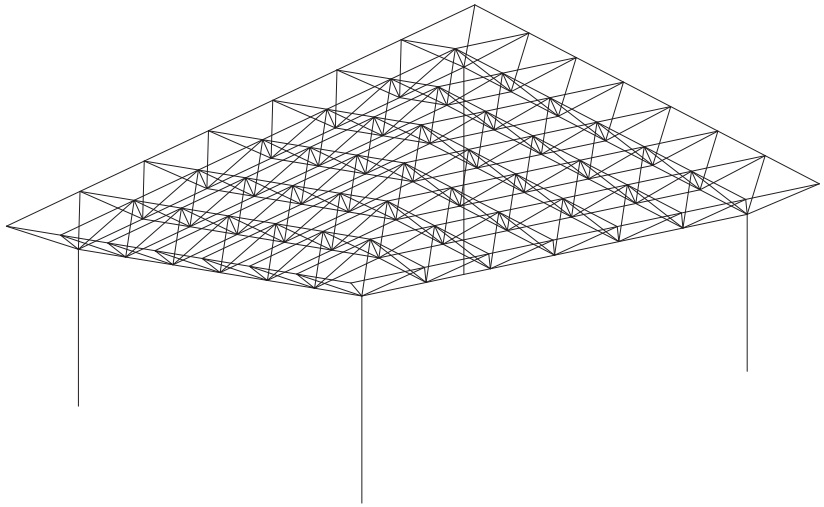
工事名：（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士：古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名：カーポート　平面図・立面図	設計 R05.01	従事する建築士：塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大生1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/25.50 A3:1/50.100	従事する建築士：一級建築士登録番号　号
	図面No. G－03	
	原図 / 複図	



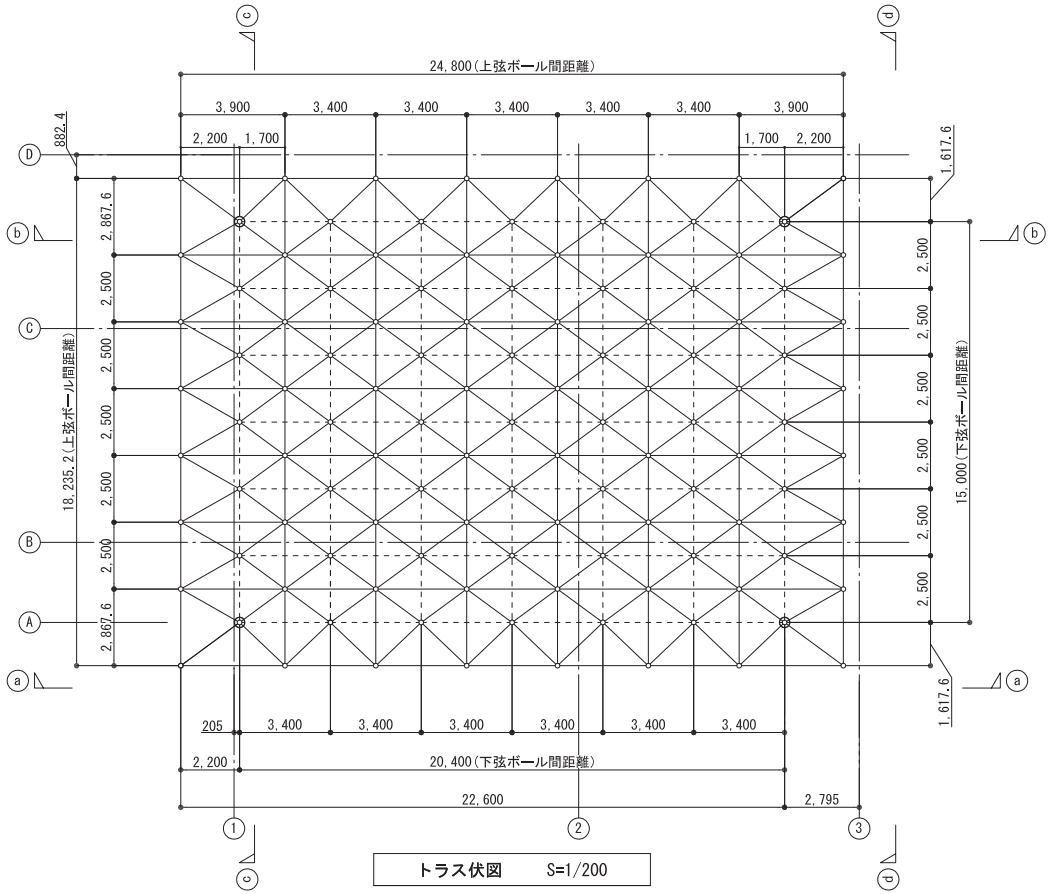
柱伏図　　S=1/200

柱サイズリスト

符号	部材サイズ	材質
SC1	P-406.4x12.7	STK400



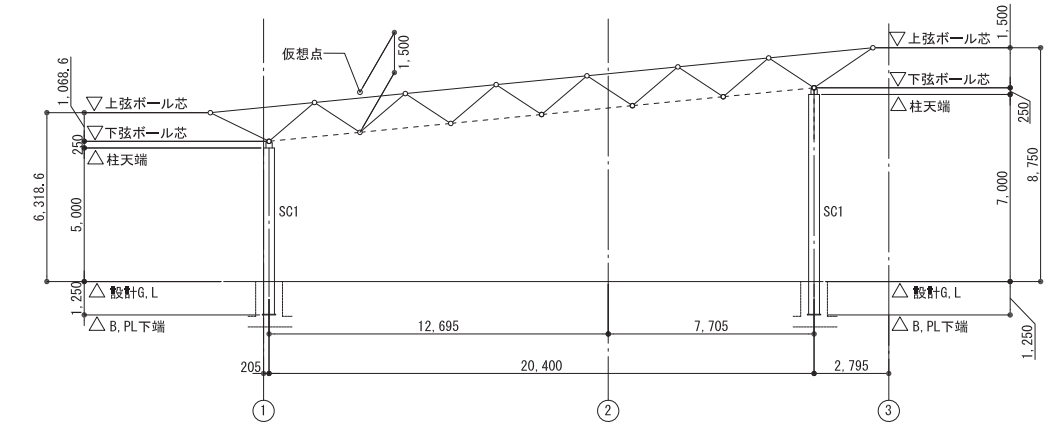
アイソメ図　　S=1/200



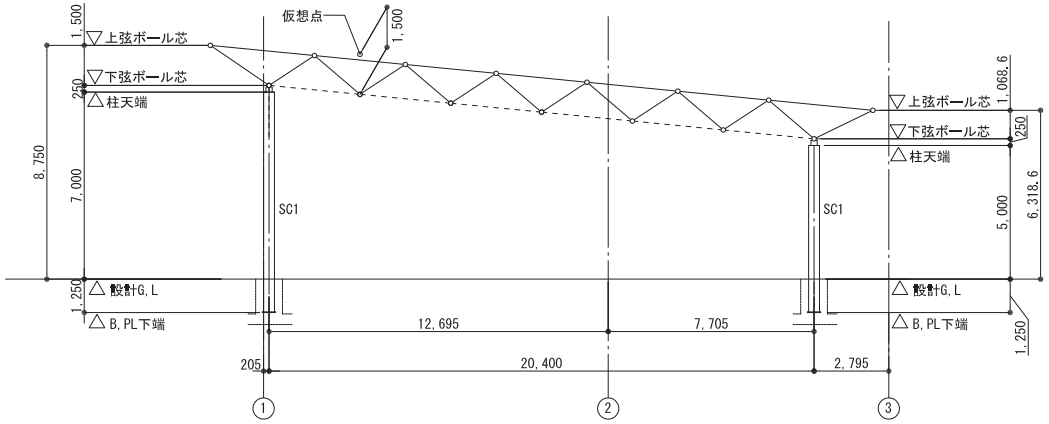
トラス伏図　　S=1/200

（注記）システムトラス部材はサイズ伏図参照の事
〇印は支承位置を示す。

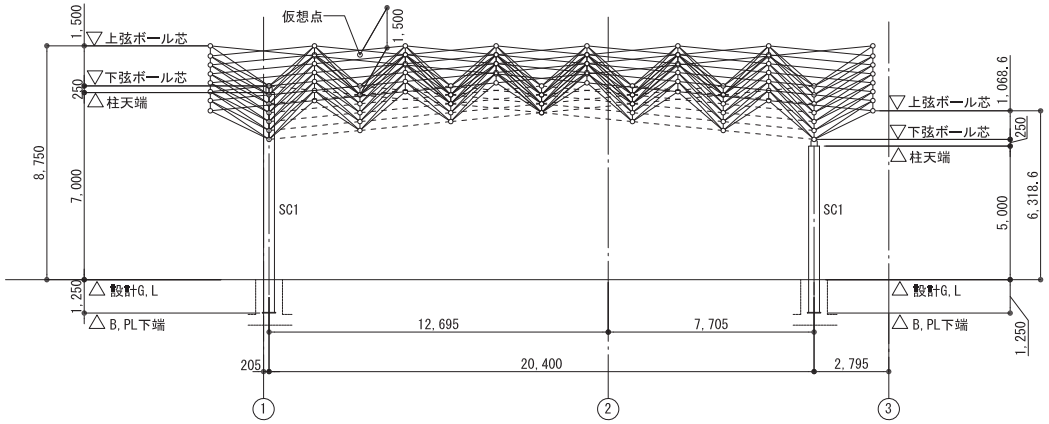
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図 ※こどもひろば 柱・屋根鉄骨工事 柱・トラス伏図		設計 R05.01	
		縮尺 A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928		図面No. G−04	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		原図	後図



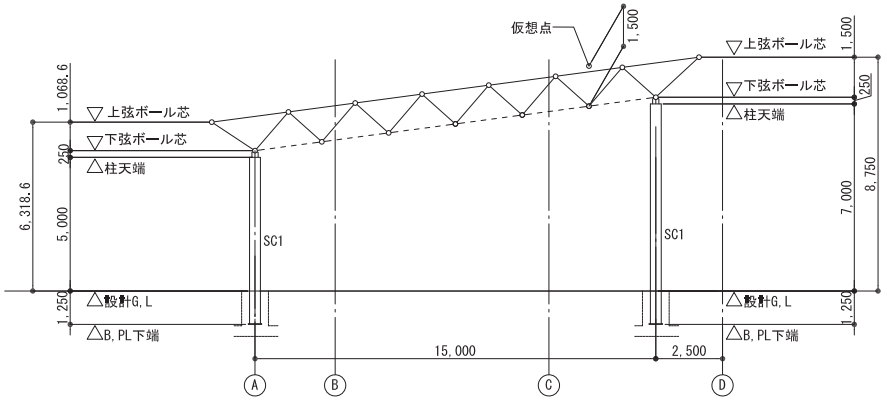
ⓑ－ⓑ 断面図　S=1/200



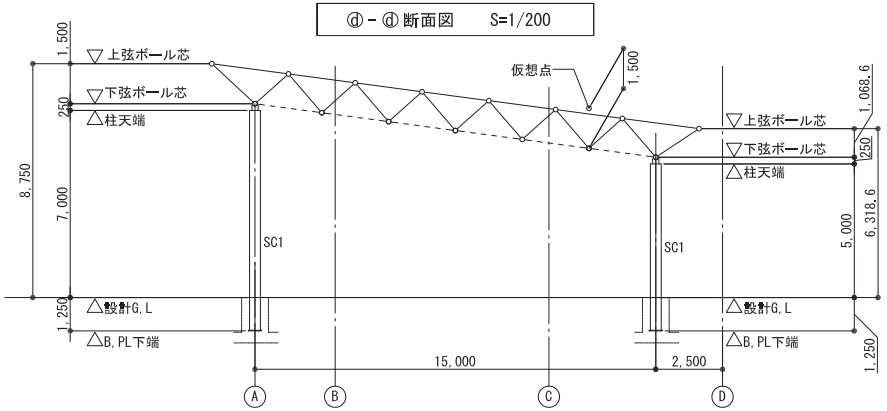
ⓐ－ⓐ 断面図　S=1/200



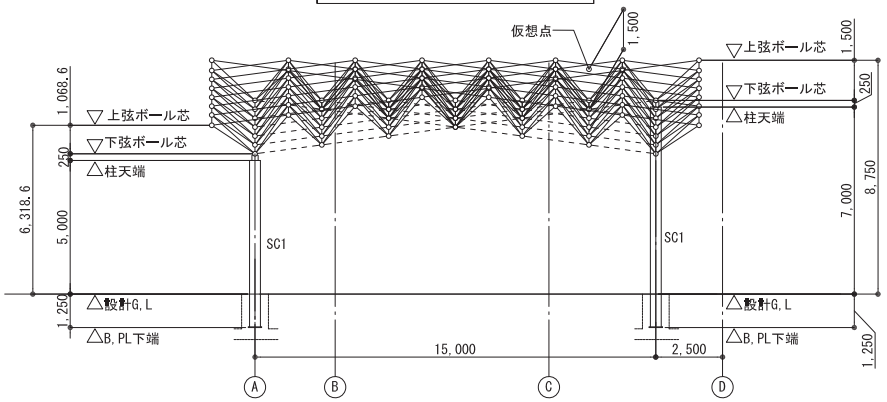
軸組図　S=1/200



ⓓ－ⓓ 断面図　S=1/200

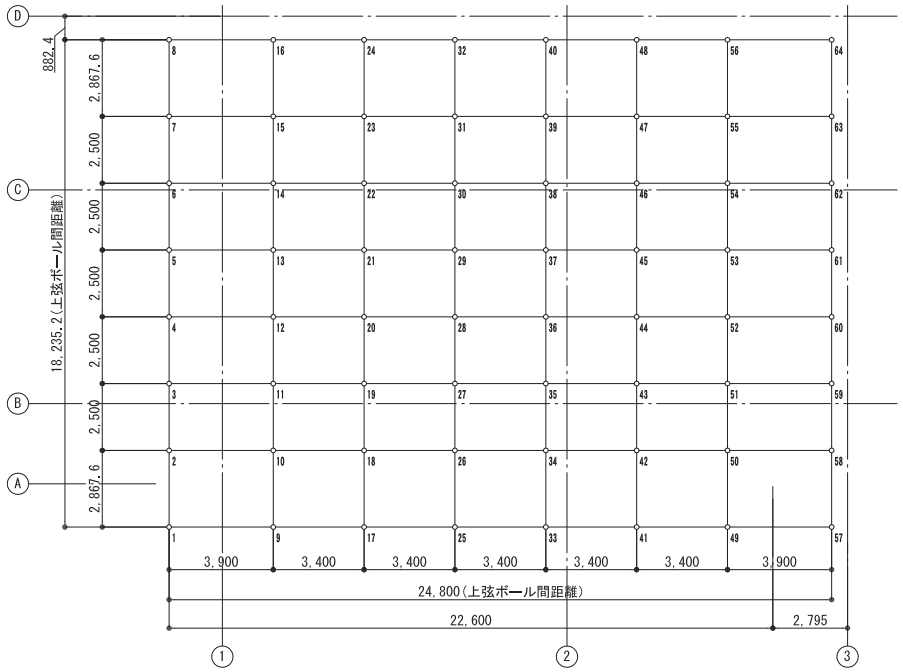


ⓒ－ⓒ 断面図　S=1/200

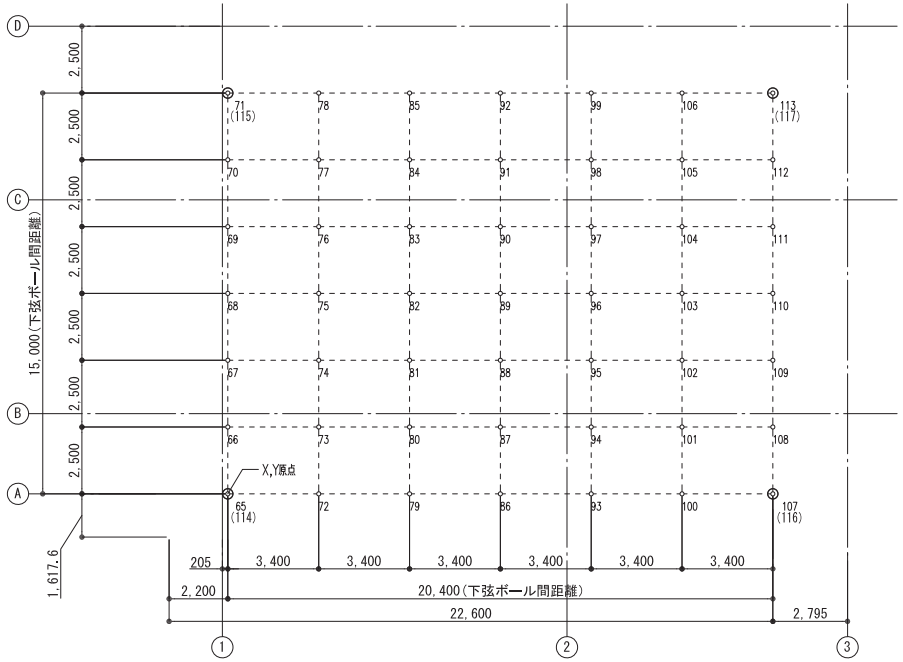


軸組図　S=1/200

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図 ※こどもひろば 柱・屋根鉄骨工事 軸組図・断面図	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大生1丁目5番6号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. G－05	
	原図	複図



上弦面節点番号図　S=1/200



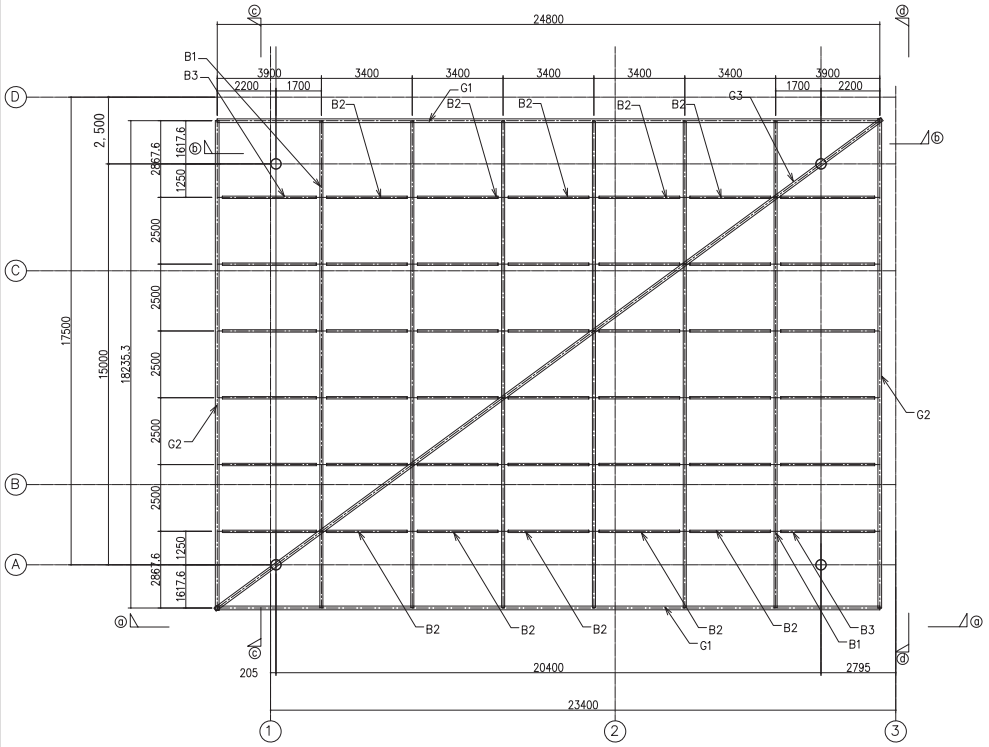
下弦面節点番号図　S=1/200

○印は柱位置を示す。
（ ）内数値は柱脚の節点番号を示す。

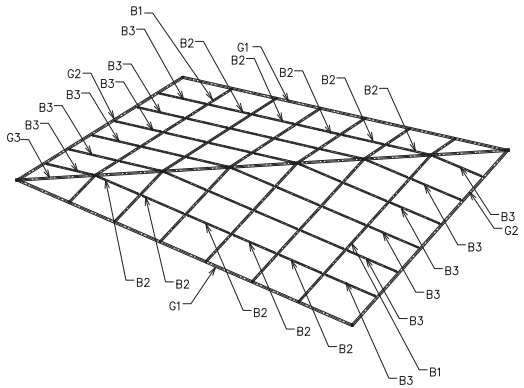
単位（mm）

節点番号	座標			節点番号	座標			節点番号	座標		
	X	Y	Z		X	Y	Z		X	Y	Z
1	-2200.0	-1617.6	8500.0	51	18700.0	3750.0	7166.7	101	17000.0	2500.0	5666.7
2	-2200.0	1250.0	8117.7	52	18700.0	6250.0	7500.0	102	17000.0	5000.0	6000.0
3	-2200.0	3750.0	7784.3	53	18700.0	8750.0	7833.3	103	17000.0	7500.0	6333.3
4	-2200.0	6250.0	7451.0	54	18700.0	11250.0	8166.7	104	17000.0	10000.0	6666.7
5	-2200.0	8750.0	7117.7	55	18700.0	13750.0	8500.0	105	17000.0	12500.0	7000.0
6	-2200.0	11250.0	6784.3	56	18700.0	16617.6	8117.7	106	17000.0	15000.0	6666.7
7	-2200.0	13750.0	6451.0	57	22600.0	-1617.6	6068.6	107	20400.0	0.0	5000.0
8	-2200.0	16617.6	6068.6	58	22600.0	1250.0	6451.0	108	20400.0	2500.0	5333.3
9	1700.0	-1617.6	8117.7	59	22600.0	3750.0	6784.3	109	20400.0	5000.0	5666.7
10	1700.0	1250.0	8500.0	60	22600.0	6250.0	7117.7	110	20400.0	7500.0	6000.0
11	1700.0	3750.0	8166.7	61	22600.0	8750.0	7451.0	111	20400.0	10000.0	6333.3
12	1700.0	6250.0	7833.3	62	22600.0	11250.0	7784.3	112	20400.0	12500.0	6666.7
13	1700.0	8750.0	7500.0	63	22600.0	13750.0	8117.7	113	20400.0	15000.0	7000.0
14	1700.0	11250.0	7166.7	64	22600.0	16617.6	8500.0	114	0.0	0.0	-1250.0
15	1700.0	13750.0	6833.3	65	0.0	0.0	7000.0	115	0.0	15000.0	-1250.0
16	1700.0	16617.6	6451.0	66	0.0	2500.0	6666.7	116	20400.0	0.0	-1250.0
17	5100.0	-1617.6	7784.3	67	0.0	5000.0	6333.3	117	20400.0	15000.0	-1250.0
18	5100.0	1250.0	8166.7	68	0.0	7500.0	6000.0				
19	5100.0	3750.0	8500.0	69	0.0	10000.0	5666.7				
20	5100.0	6250.0	8166.7	70	0.0	12500.0	5333.3				
21	5100.0	8750.0	7833.3	71	0.0	15000.0	5000.0				
22	5100.0	11250.0	7500.0	72	3400.0	0.0	6666.7				
23	5100.0	13750.0	7166.7	73	3400.0	2500.0	7000.0				
24	5100.0	16617.6	6784.3	74	3400.0	5000.0	6666.7				
25	8500.0	-1617.6	7451.0	75	3400.0	7500.0	6333.3				
26	8500.0	1250.0	7833.3	76	3400.0	10000.0	6000.0				
27	8500.0	3750.0	8166.7	77	3400.0	12500.0	5666.7				
28	8500.0	6250.0	8500.0	78	3400.0	15000.0	5333.3				
29	8500.0	8750.0	8166.7	79	6800.0	0.0	6333.3				
30	8500.0	11250.0	7833.3	80	6800.0	2500.0	6666.7				
31	8500.0	13750.0	7500.0	81	6800.0	5000.0	7000.0				
32	8500.0	16617.6	7117.7	82	6800.0	7500.0	6666.7				
33	11900.0	-1617.6	7117.7	83	6800.0	10000.0	6333.3				
34	11900.0	1250.0	7500.0	84	6800.0	12500.0	6000.0				
35	11900.0	3750.0	7833.3	85	6800.0	15000.0	5666.7				
36	11900.0	6250.0	8166.7	86	10200.0	0.0	6000.0				
37	11900.0	8750.0	8500.0	87	10200.0	2500.0	6333.3				
38	11900.0	11250.0	8166.7	88	10200.0	5000.0	6666.7				
39	11900.0	13750.0	7833.3	89	10200.0	7500.0	7000.0				
40	11900.0	16617.6	7451.0	90	10200.0	10000.0	6666.7				
41	15300.0	-1617.6	6784.3	91	10200.0	12500.0	6333.3				
42	15300.0	1250.0	7166.7	92	10200.0	15000.0	6000.0				
43	15300.0	3750.0	7500.0	93	13600.0	0.0	5666.7				
44	15300.0	6250.0	7833.3	94	13600.0	2500.0	6000.0				
45	15300.0	8750.0	8166.7	95	13600.0	5000.0	6333.3				
46	15300.0	11250.0	8500.0	96	13600.0	7500.0	6666.7				
47	15300.0	13750.0	8166.7	97	13600.0	10000.0	7000.0				
48	15300.0	16617.6	7784.3	98	13600.0	12500.0	6666.7				
49	18700.0	-1617.6	6451.0	99	13600.0	15000.0	6333.3				
50	18700.0	1250.0	6833.3	100	17000.0	0.0	5333.3				

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図	※こどもひろば　柱・屋根鉄骨工事 節点座標図	設計	R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
		縮尺	A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No.	G－06	
		原図	複製	



腰屋根小屋伏図　S=1:200



アイソメ図　S=1:200

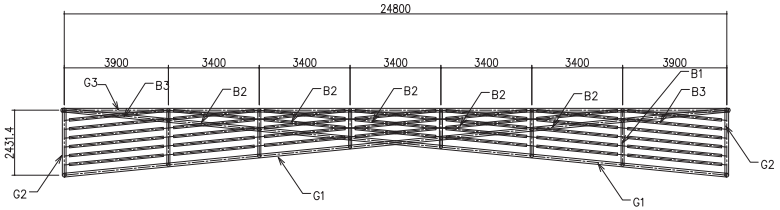
部材リスト		
G1	P-139.8φx6.0	STK400
G2	P-139.8φx4.0	STK400
G3	P-139.8φx4.0	STK400
B1	P-114.3φx3.5	STK400
B2	P-101.6φx3.2	STK400
B3	P-114.3φx3.5	STK400

膜　材

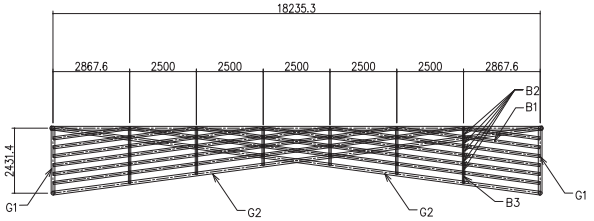
屋根膜材	スカイトップ FGT-800（TRA・K 同等品） （四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス繊維布 t=0.8）	
認定番号	建築基準法第37条第二号	MMEM-9029（建築材料）
	建築基準法第2条第九号 建築基準法施工令第108条の2	NM-8665（不燃材料）

塗装仕様

1、防錆処理			
溶融亜鉛メッキ　HDZ55（JIS H 8641） ＊現場溶接部はローバルにて塗装補修。			
2、塗装工事			
鉄骨塗装仕様　：　亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り（フッ素系仕上げ）			
工　程	塗料名		塗布量（kg/㎡）
素地調整	リン酸塩処理	工場	
1　下塗り	変性エポキシ樹脂プライマー	工場	0.14
2　中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	現場	0.14
3　上塗り	ふっ素樹脂塗料上塗	現場	0.10

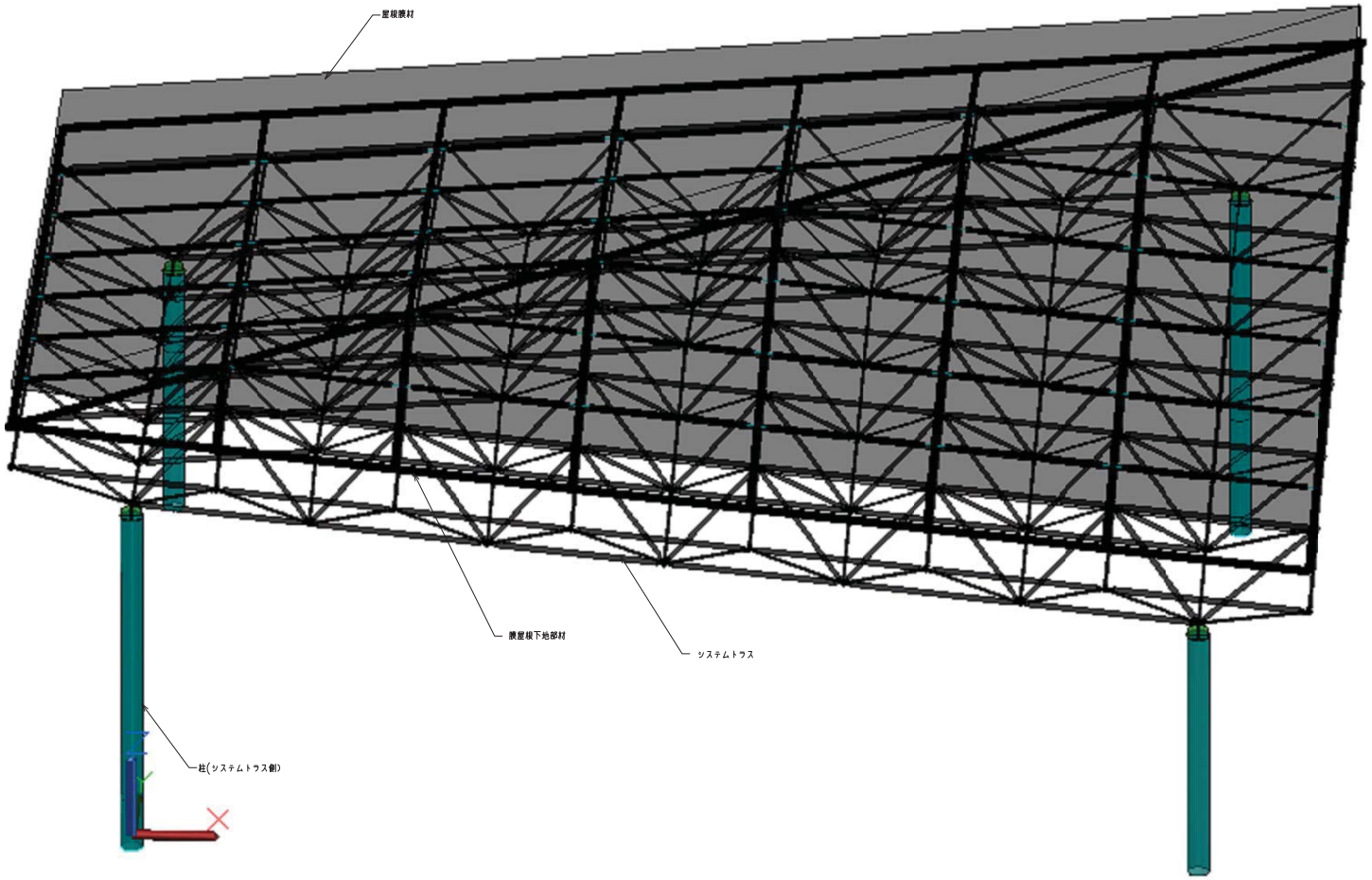


立面図　S=1:200



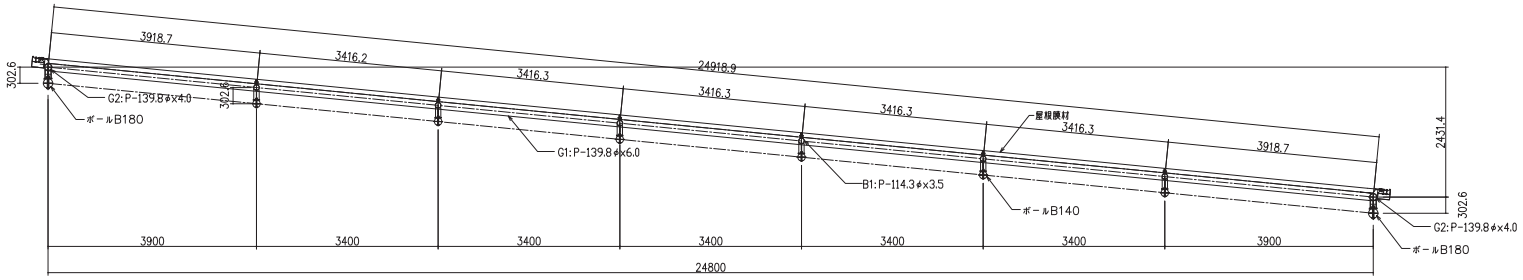
側面図　S=1:200

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123
図名	こどもひろば　膜工事 小屋伏図、立面図、側面図、アイソメ図	製作 R05.01 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 図面No. G-07
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928		管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号 従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号 従事する建築士 一級建築士登録番号　号

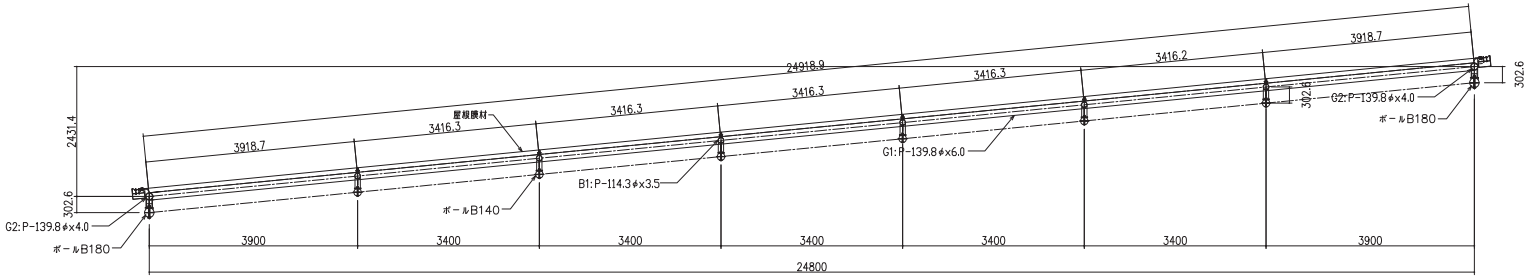


全体アイソメ構成図　S=None

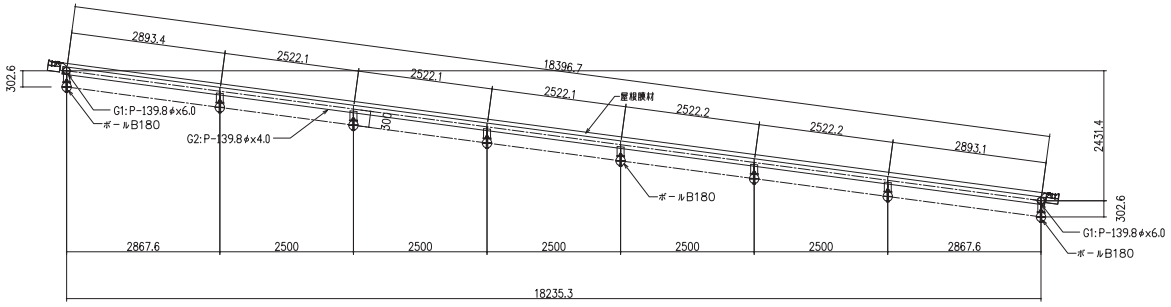
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば 膜工事 全体アイソメ構成図	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:N.S A3:N.S 図面No. G−08 原型 後図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



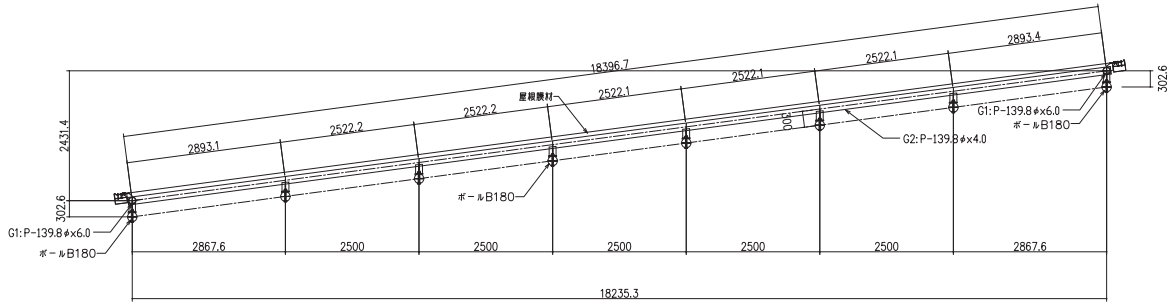
a－a断面図　S=1:100



b－b断面図　S=1:100

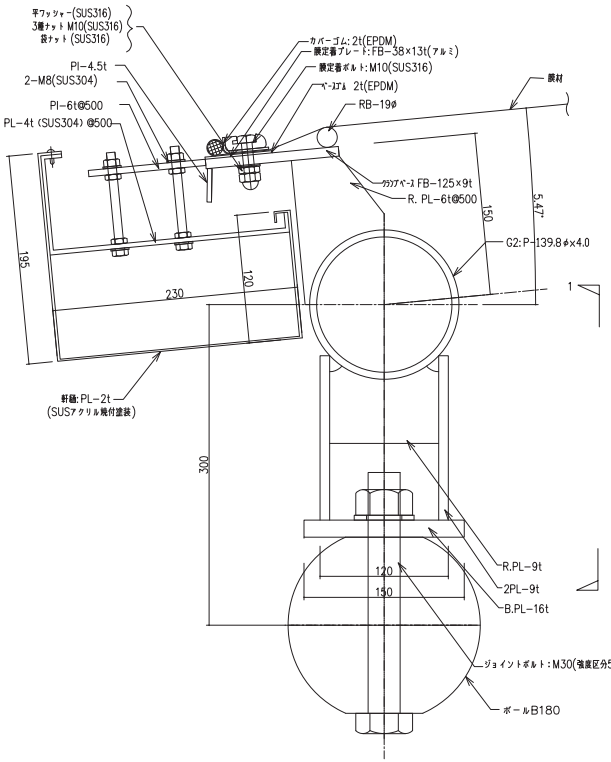


c－c断面図　S=1:100



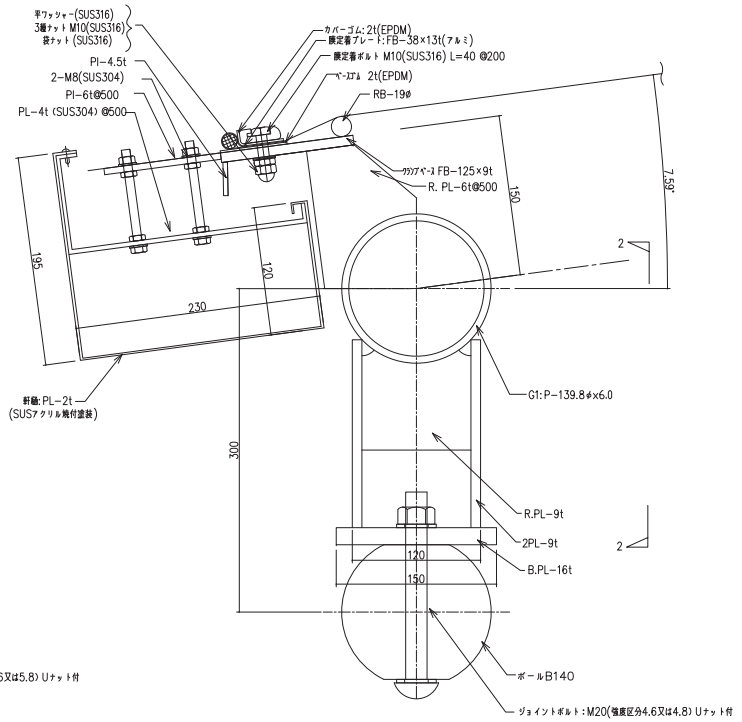
d－d断面図　S=1:100

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば　膜工事 膜屋根断面図		設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL.028(622)8928		縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. G－09	
		承 検 製 図	



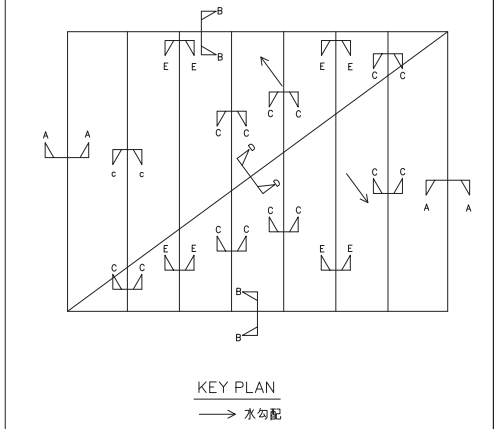
妻面 膜定着詳細図　S=1:5

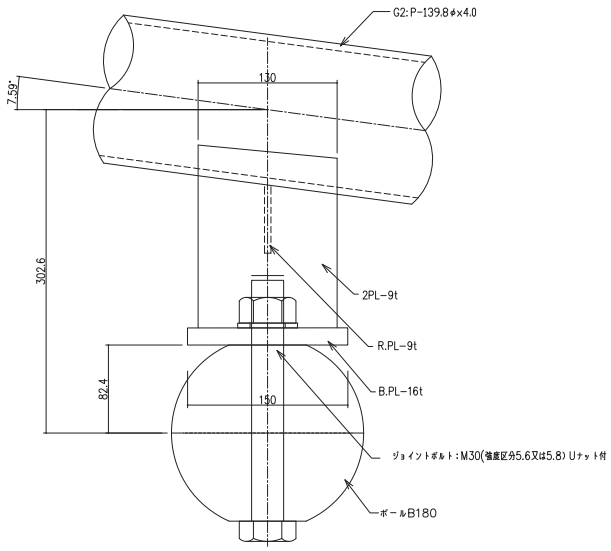
A−A



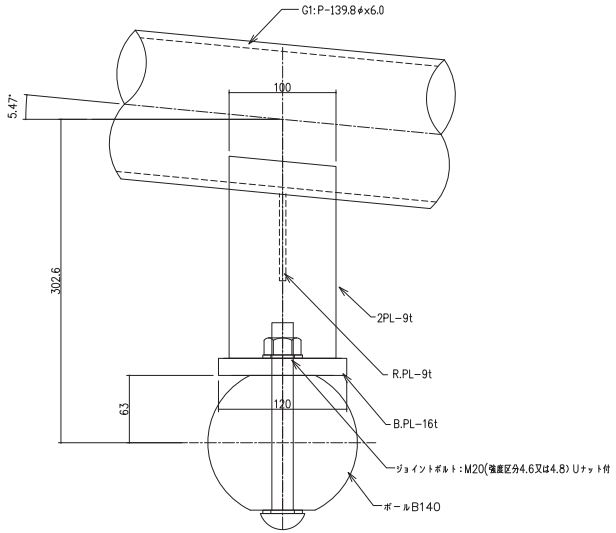
膜定着詳細図　S=1:5

B−B



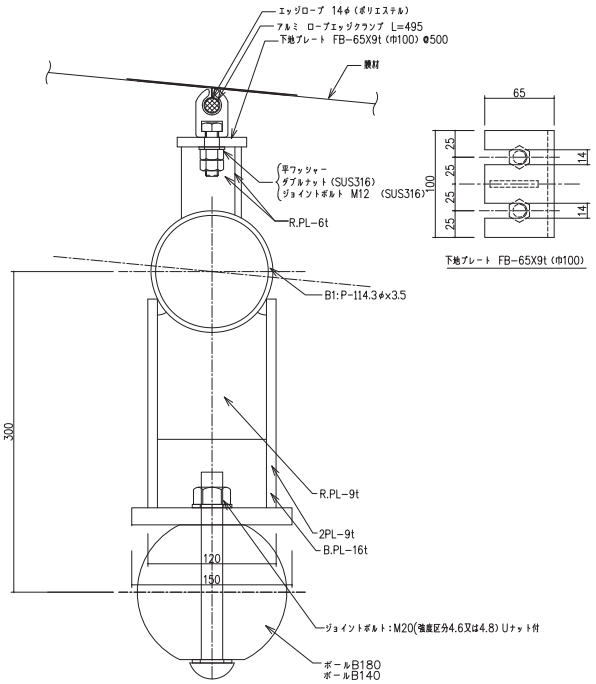


1−1 矢視図　S=1:5



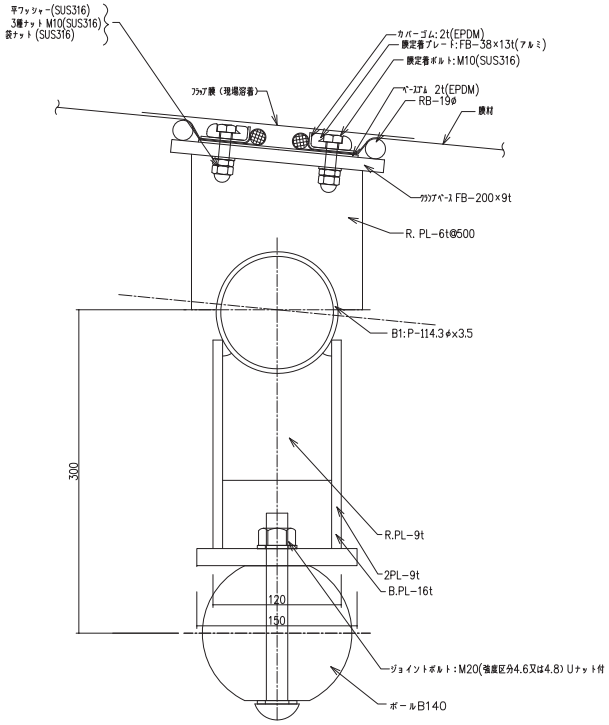
2−2 矢視図　S=1:5

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば 膜工事 膜納まり図(1)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL. 028(622)8928	縮尺 A1:1/2.5 A3:1/5 / 図面No. G−10	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	原図 / 複図	



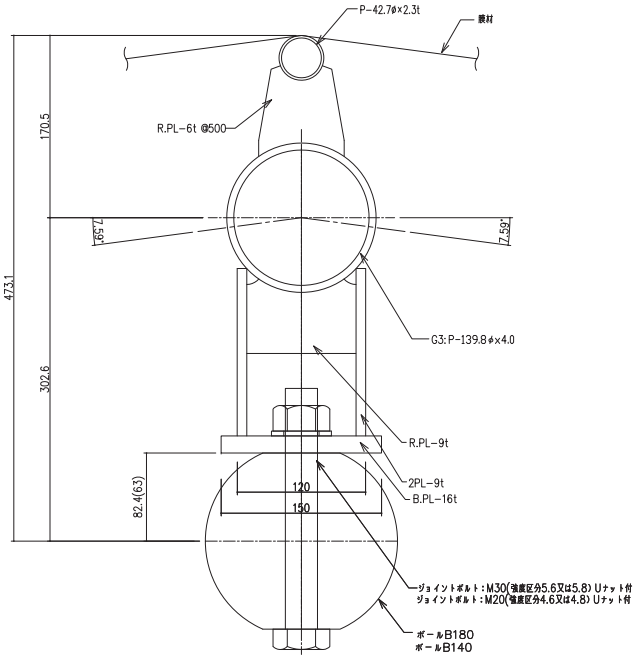
膜中間定着部詳細図 S=1:5

C−C



膜中間分割部詳細図 S=1:5

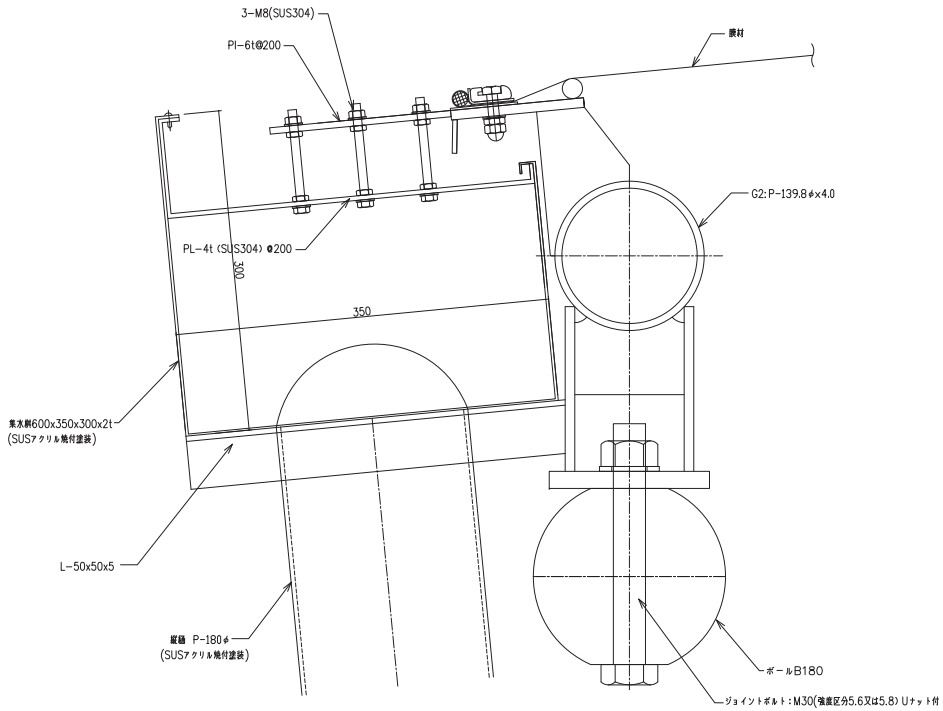
E−E



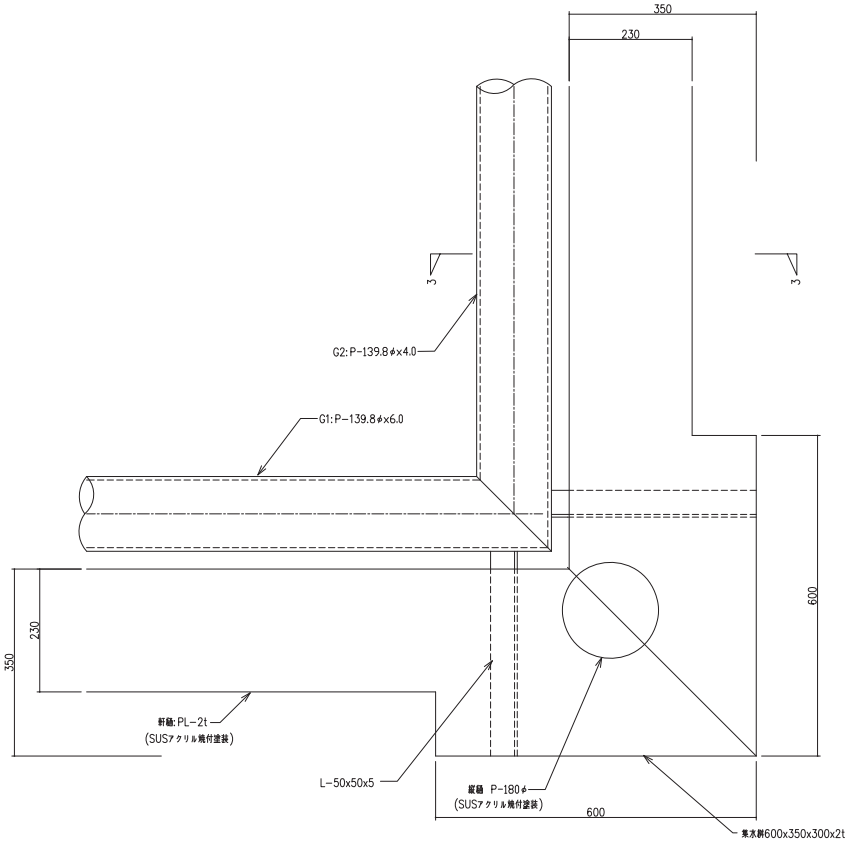
膜中間定着部詳細図 S=1:5

D−D

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば 膜工事 膜納まり図(2)	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/2.5 A3:1/5	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. G−11	
	原図	他図

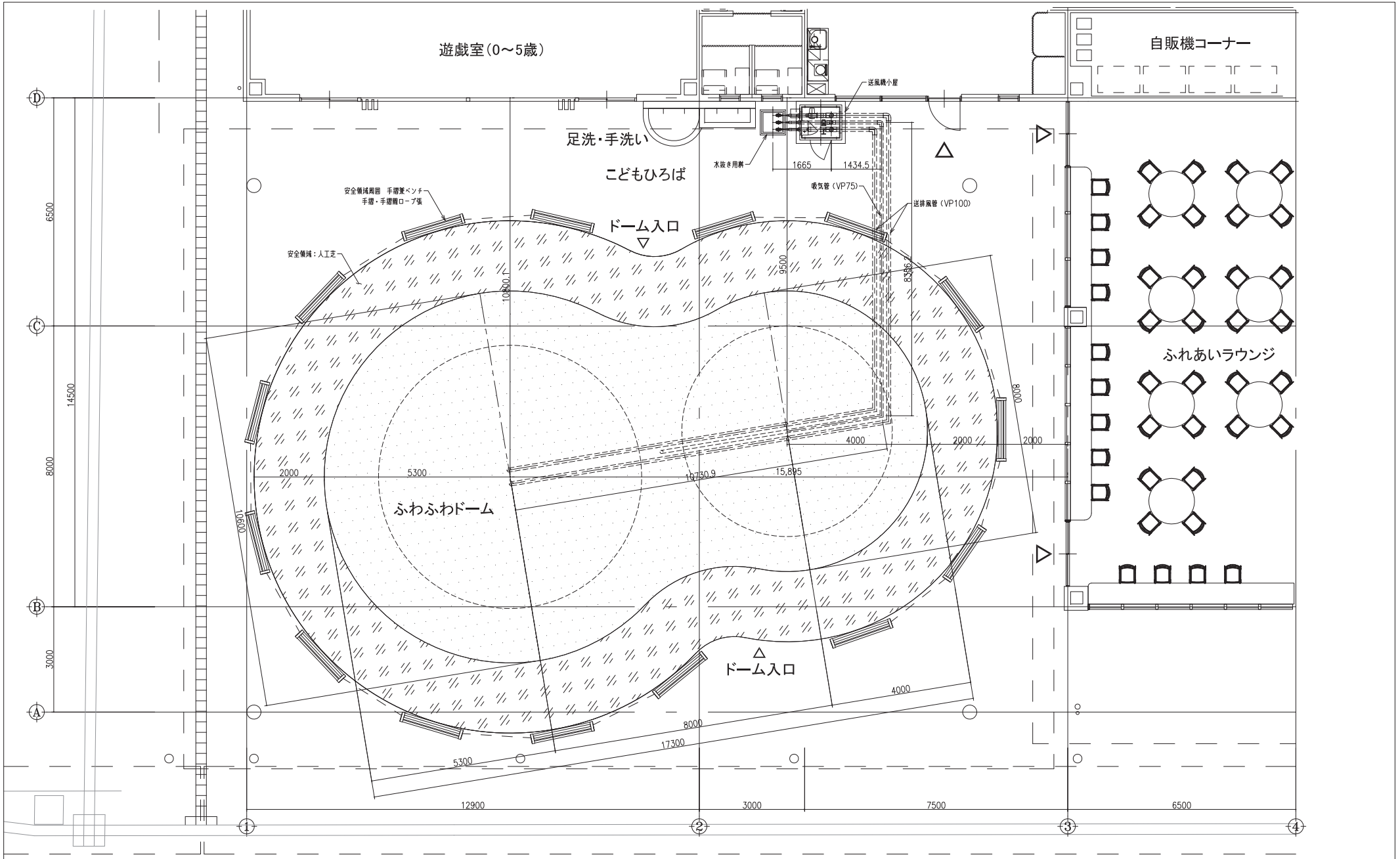


3-3 矢視図 S=1:5



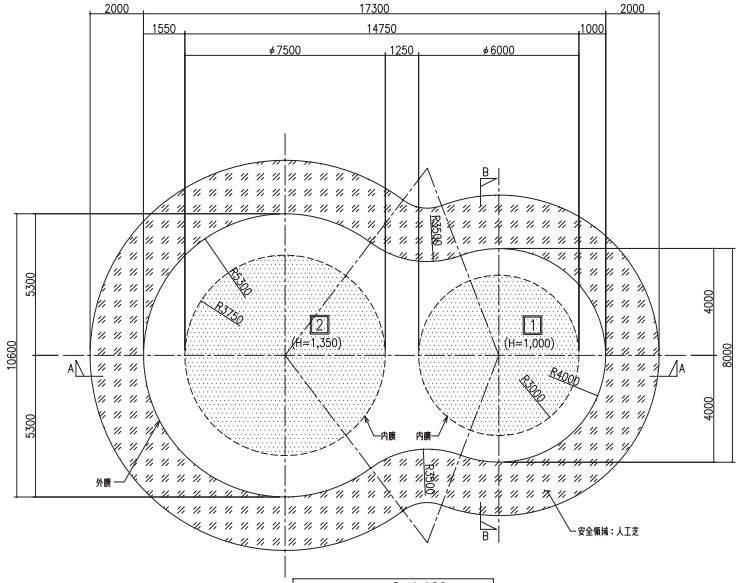
最低点集水桝屋根面平面図S=1:10

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば 膜工事 膜納まり図(3)		設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大堤1丁目5番8号 TEL.028(622)8928		縮尺 A1:1/2.5 A3:1/5	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. G-12	
		原図	検図

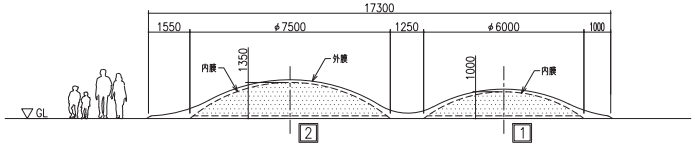


平面配置図　S=1:100

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 ふわふわドーム 平面配置図	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. G－13	
	原図 / 複製	

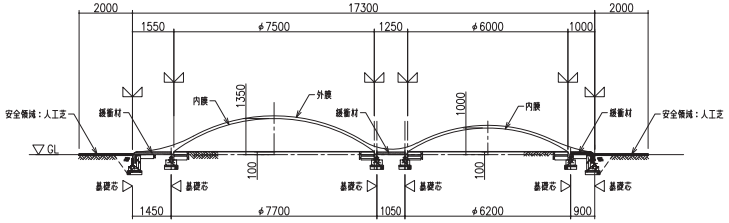


平面図　S=1:100

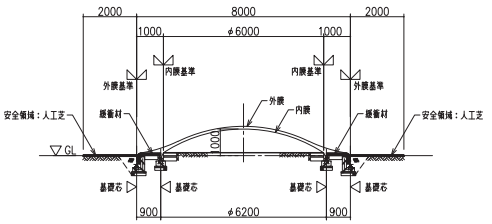


立面図　S=1:100

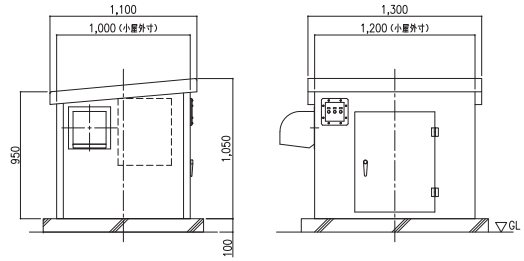
※ドーム高さは自重や内圧、膜の張り具合の調整によって、表記寸法が変化します。



A–A 断面図　S=1:100



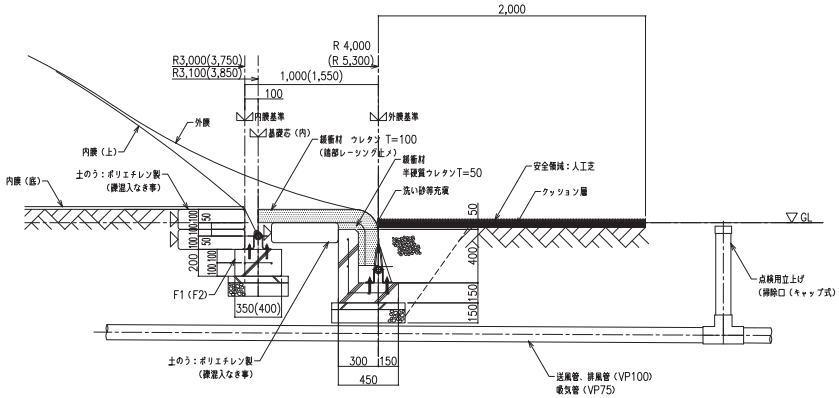
B–B 断面図　S=1:100



送風機小屋外形図　S=1:20

空気膜構造遊具　主要機器リスト		
工種	名称・仕様	区分
基礎	本体部・送風機小屋部	建築工事
法面成形	土のう併用	
安全領域	人工芝（HIC1000以下）	
水抜き桝	コンクリート桝（浸透式・集水式）	排水工事
送風配管	VP管、TS継手（偏心継手はVU） （※）敷設後の気密試験必要	配管工事
圧力測定チューブ	ウレタンチューブ（φ6.5x10）	
点検口	掃除口（キャップ式）付き	
水抜きバルブ	ボール弁（PVC−25A）	
一次電源（アース付）	1φ100Vまたは、3φ200V（アース付）	電気工事
送風設備小屋	鋼板製（ウレタン塗装）	設備工事
送風設備機器	送風機（300W）、制御盤、圧力調節機器 設定圧力：0.4−0.8 kPa	
外膜	TT200−UH（耐磨耗性）	遊具本体工事
内膜・底膜	TT200−S・TT200	
緩衝材	ウレタンフォーム　50、100mm厚	
レーシングパイプ	鋼管（42.7φx3.2、溶融亜鉛メッキ）	
安全サイン	JPFA認定品	付帯工事

※　現場の水はけ等によっては別途、暗渠排水などの検討が必要です。
※　遊具は、JPFAによって認定された「SP表示認定企業」において製造をおこなう。
※　施工はJPFAの団体責任賠償保険加入のこと。

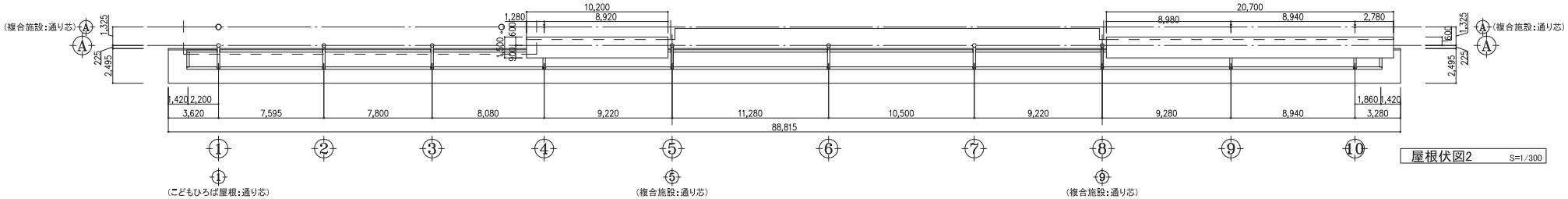


裾廻り詳細図　S=1:20

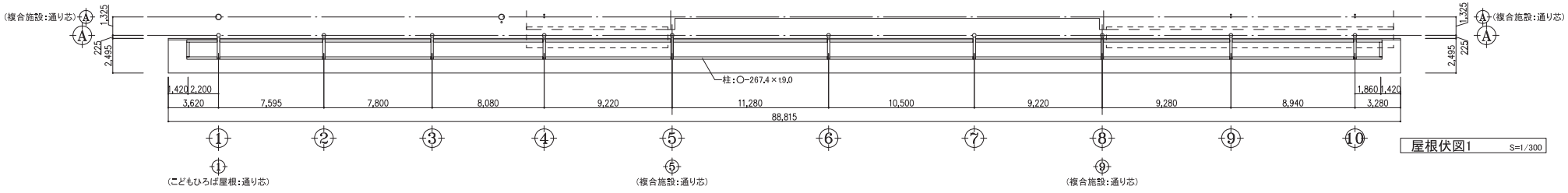
※膜と人工芝の境界ラインは、施工状況により多少変化します。

主要数量表		
外膜投影面積		137.0 m²
内膜投影面積（1）		28.3 m²
（2）		44.2 m²
外膜外周長		46.1 m
内膜外周長　（1）		18.8 m
（2）		23.6 m
外膜基礎長		46.1 m
内膜基礎長　（1）		19.5 m
（2）		24.2 m
緩衝材（ウレタン）	地表面	64.5 m²
	地中部分	22.1 m²

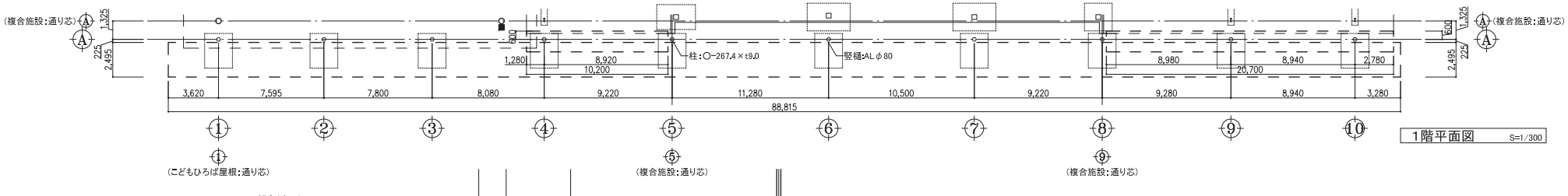
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	ふわふわドーム 平面・立面・断面図	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 図面No. G−14 原図 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号



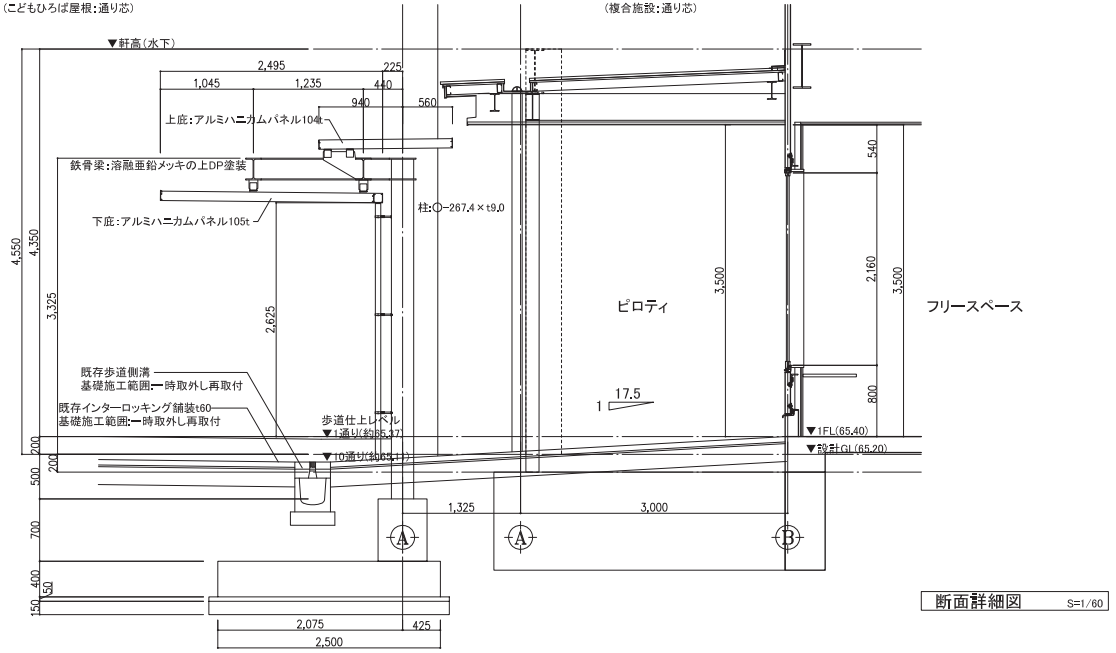
屋根伏図2 S=1/300



屋根伏図1 S=1/300



1階平面図 S=1/300

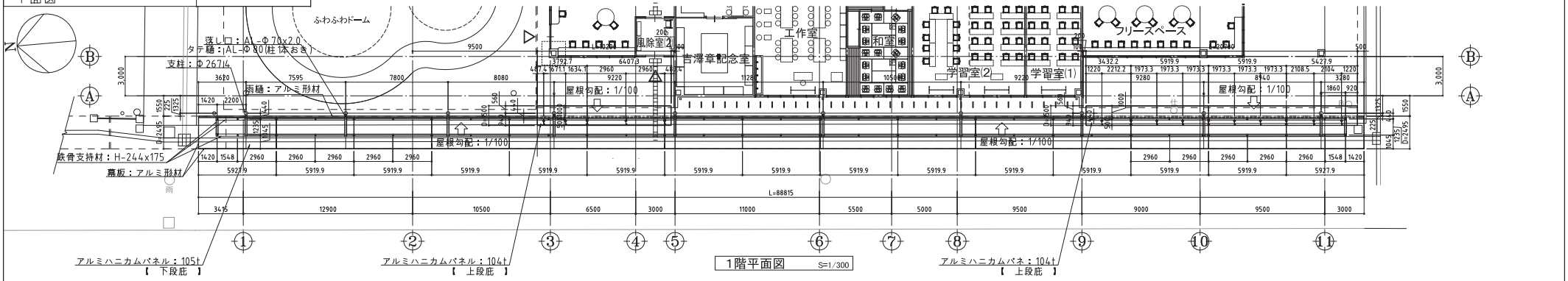


断面詳細図 S=1/60

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 にぎわい軸通路屋根 平面・断面詳細図	製図 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/30,150 A3:1/60,300	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. G-15	
	原図 / 複図	

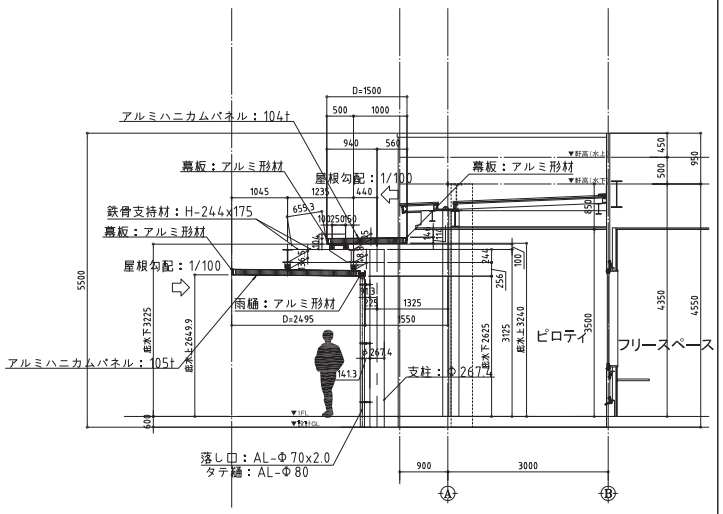
平面図

縮尺　A1 1/150 A3 1/300



断面図

縮尺　A1 1/50 A3 100



仕様

アルミニウム建築構造協議会
接着ハニカムパネル設計・製作指針にて制作のこと
アルミニウム建築構造製作認定工場　類製作工場とする。

【仕様】
ハニカムパネル厚さ＝105t（下段）、104t（上段）
面板材料：AL2.5t（下段）　面板材料：AL2.0t（上段）
表面処理：フッ素樹脂焼付塗装
耐火性は不要

【耐風圧性能】
底高さ＝3.2m　建物最高さ＝5.5m
再現期間＝100年
基準風速＝30m/sec　粗度区分＝Ⅲ
風速＝基準風速30m/secx風速倍率1.07＝32.2m/sec
吹下風圧力=464.1N/㎡　吹上風圧力＝-1369.1N/㎡

【積雪深さ】
30cm（600N/㎡）

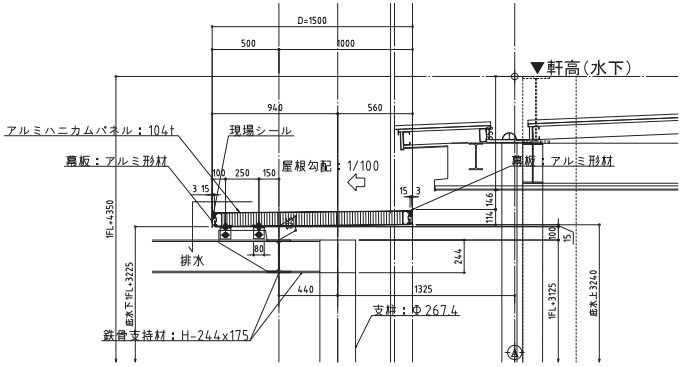
【排水能力】
降雨強度＝100mm/h

【防水仕様】
ハニカムパネル支持部：SUS製防水ボルト
ハニカムパネル目地部：シリコーンゴム製防水ゴム（シール接着）
軒樋目地部：シリコーンゴム製（シール接着）

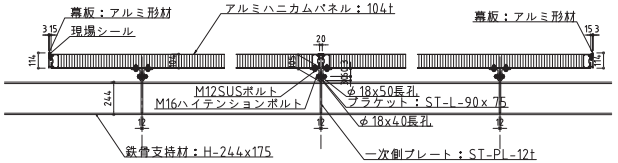
上段底詳細図-1

縮尺　A1 1/20 A3 1/40

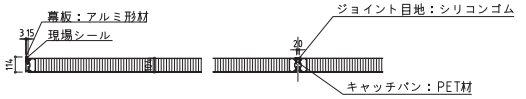
ハニカムパネル厚さ＝104t（上段）



短辺断面　詳細



長辺断面　詳細



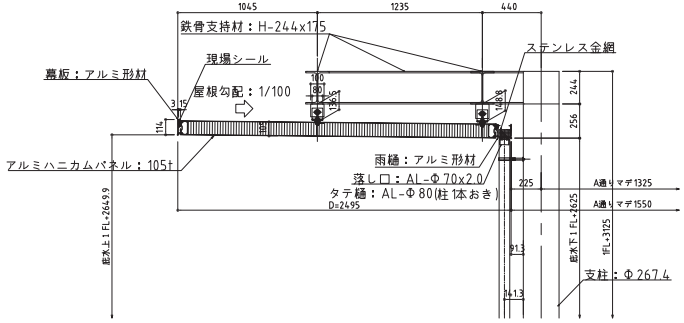
側面断面　詳細

ジョイント断面　詳細

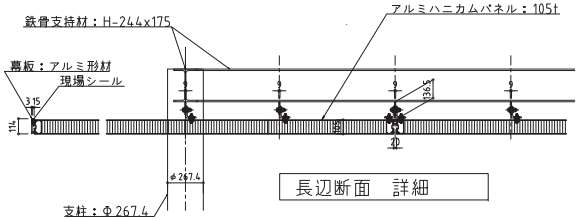
下段底詳細図-1

縮尺　A1 1/20 A3 1/40

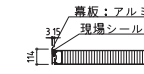
ハニカムパネル厚さ＝105t（下段）



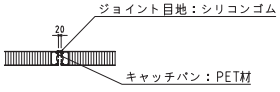
短辺断面　詳細



長辺断面　詳細



側面断面　詳細

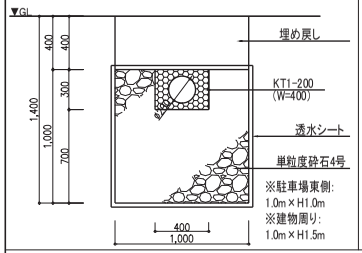


ジョイント断面　詳細

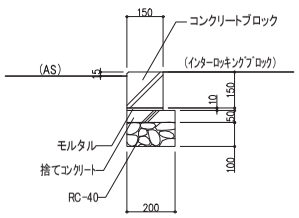
工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123
図	※にぎわい軸通路屋根 アルミハニカム庇詳細図	製図 R05.01 縮尺 A1:1/50 A3:1/100
	株式会社 フタケ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本　社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No. G－16 原図 / 複図

管理建築士	古　澤　康　夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚　原　好　則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号

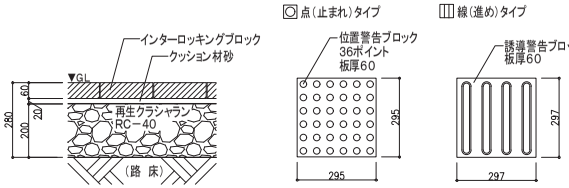
Ⓒ 雨水浸透管 1:40



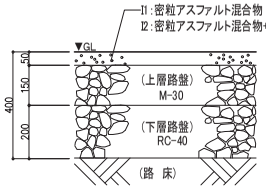
Ⓔ 縁石 1:20



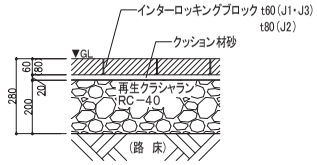
Ⓕ Ⓖ 視覚障害者誘導平板ブロック 1:20



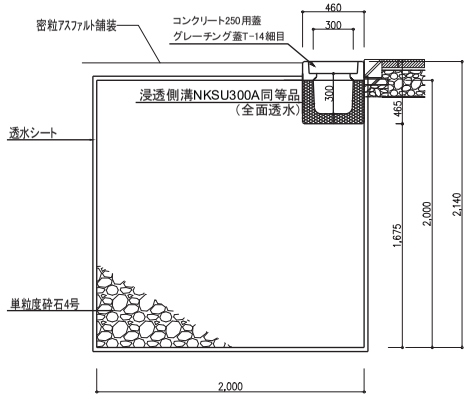
Ⓘ 密粒アスファルト舗装 1:20



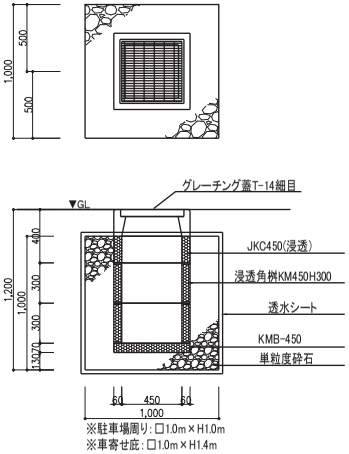
Ⓙ インターロッキングブロック舗装 1:20



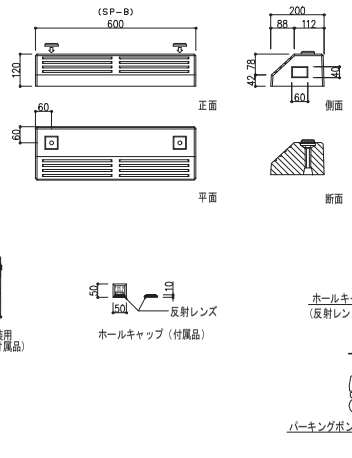
Ⓐ 浸透側溝(ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋・ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋) 1:40



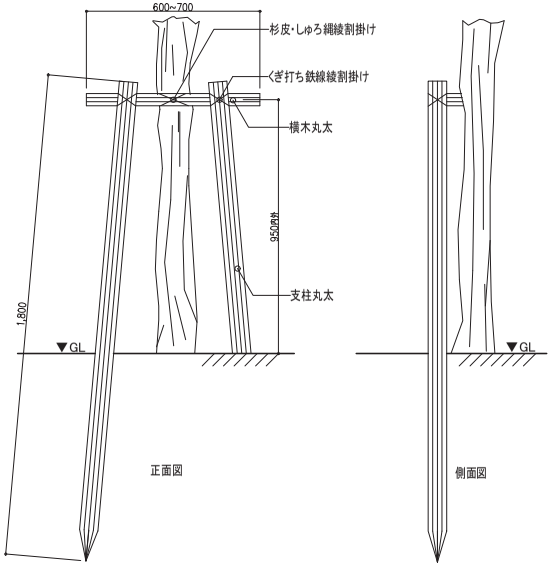
Ⓑ 浸透桝 1:40



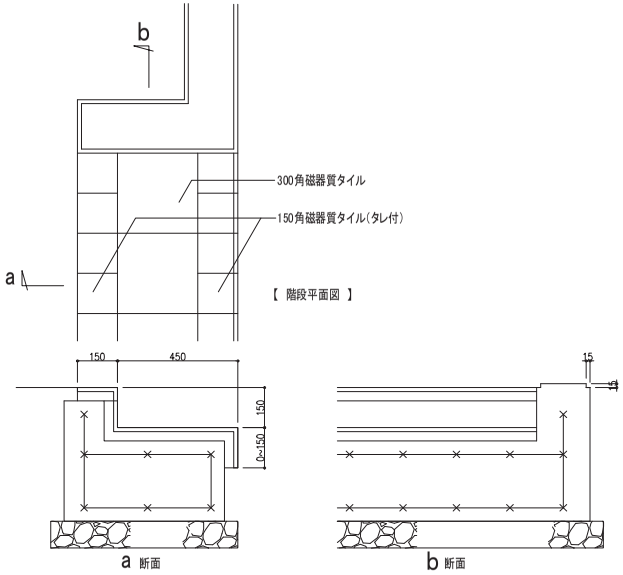
Ⓜ 車止め 1:20



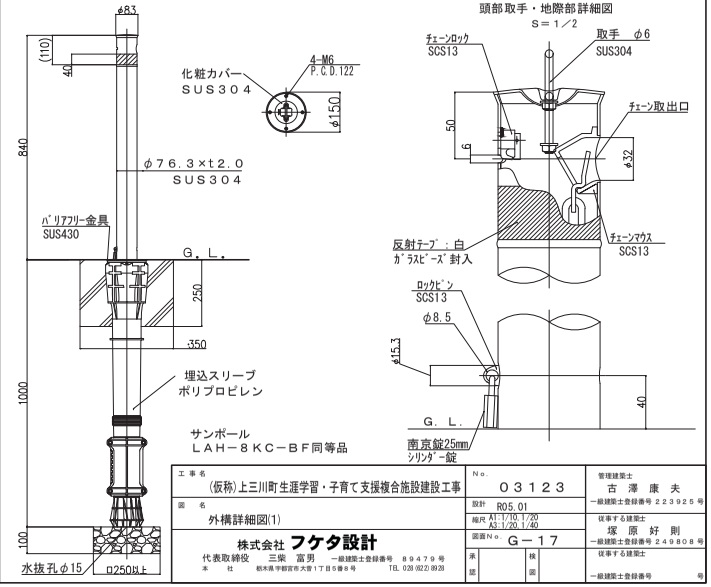
Ⓗ 緑地(植栽 二脚支柱) 1:20



Ⓛ 階段 1:20



Ⓝ チェーン収納バリカー 1:20



工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	外構詳細図(1)
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1:1/10,1/20 A3:1/20,1/40
図面No.	G-17
承認	
検図	

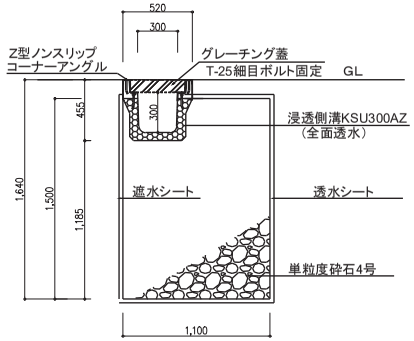
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 88479号
本社 栃木県宇都宮市大通り1丁目5番6号 TEL.028(622)8928

管理建築士
古澤 康夫
一級建築士登録番号 223925号

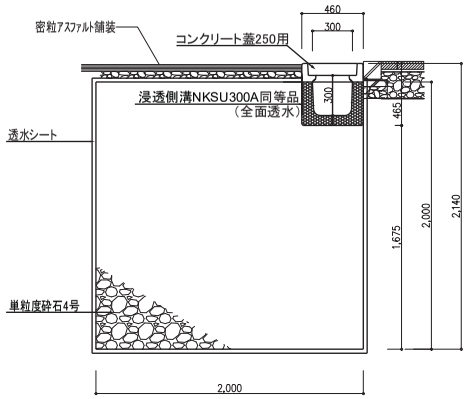
従事する建築士
塚原 好則
一級建築士登録番号 249808号

従事する建築士
一級建築士登録番号 号

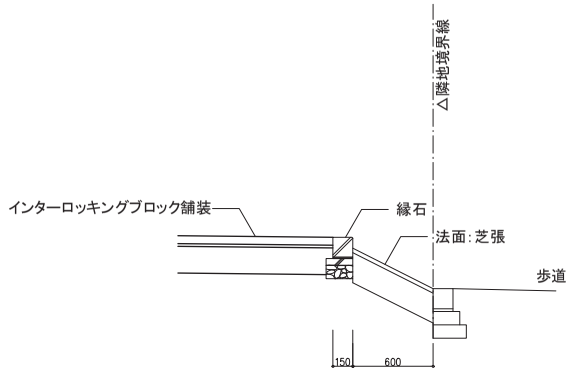
⑳ 横断側溝　1:40



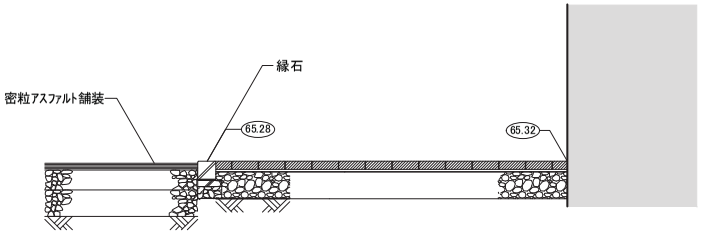
駐車場東側浸透側溝　1:40



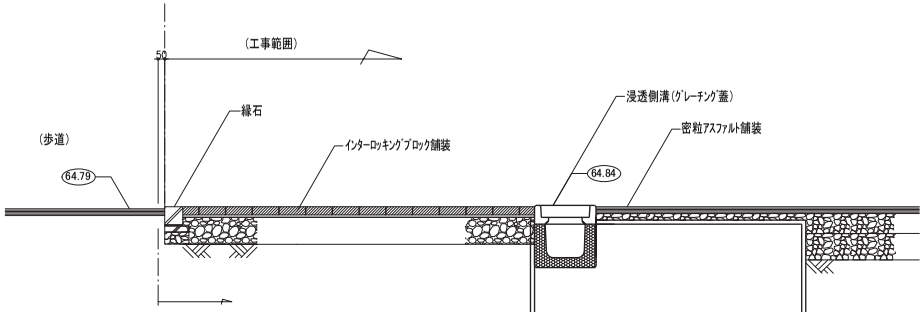
Ⓚ 縁石+緑地　1:40



建物際舗装取合い　1:40

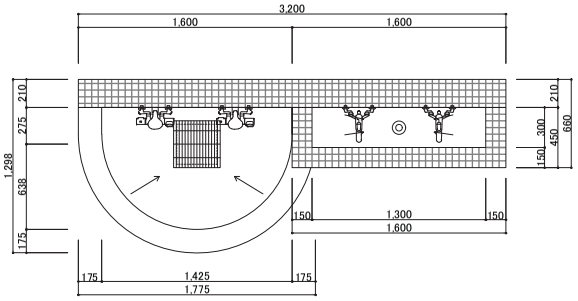


東側道路取合い　1:40

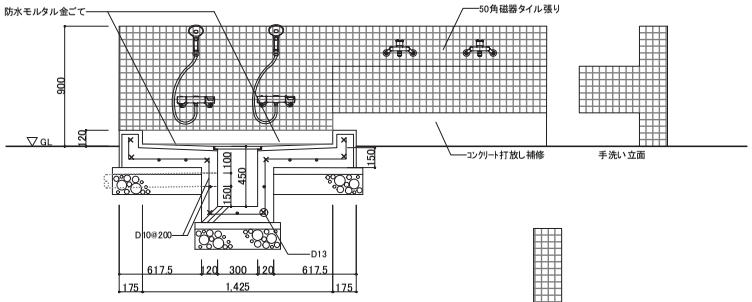


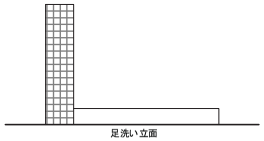
※敷地境界線を監督員に確認し縁石位置を決める。

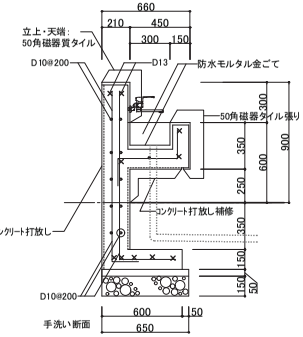
足洗い・手洗い詳細図　1:40

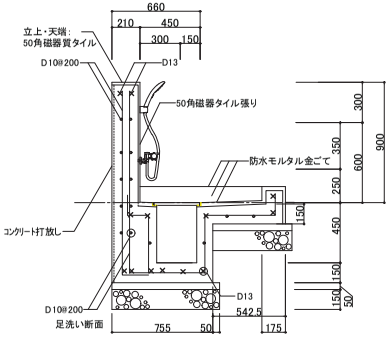


足洗い・手洗い　平面図



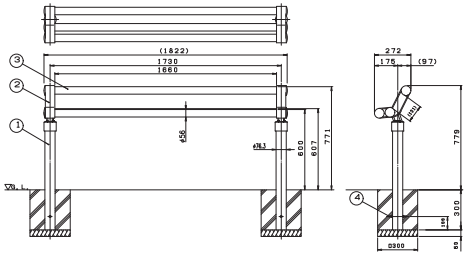






工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	外構詳細図(2)	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 84479号 本社 栃木県宇都宮市大通り1丁目5番6号 TEL.028(622)8928	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. G－18	
		承認 / 検図	

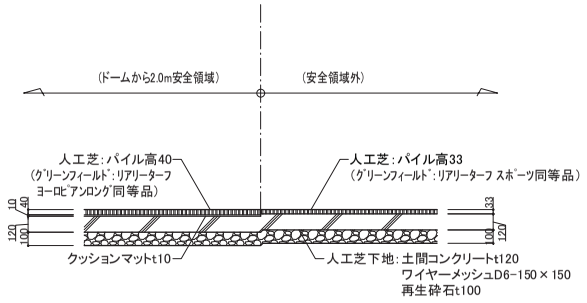
ふわふわドーム周り　手摺兼ベンチ　1:40



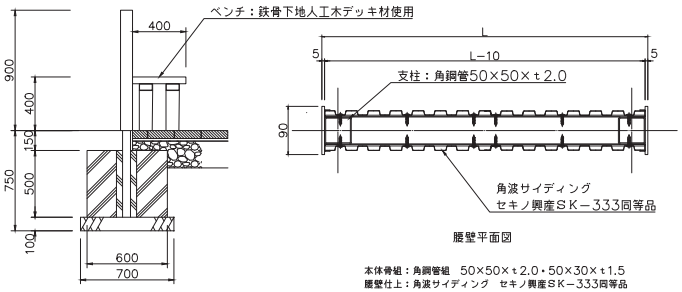
四国化成工業：SCB−U18MB同等品

ネジ類	ステンレス（SUS）
④ アンカーフィット	一般構造用圧延鋼材（SS400） M20×130L
③ ビーム	木質複合（木製＋樹脂）
③ ビーム（芯材）	一般構造用炭素鋼鋼管（STK400） Zn・Al＋有機皮膜メッキ
② 脚部支柱プラケット	アルミ合金鋳物（AC4A） アクリル変性粉体塗装
① 支柱	一般構造用炭素鋼鋼管（STK400） アクリル変性粉体塗装　t=2.8

ふわふわドーム周り　人工芝　1:40



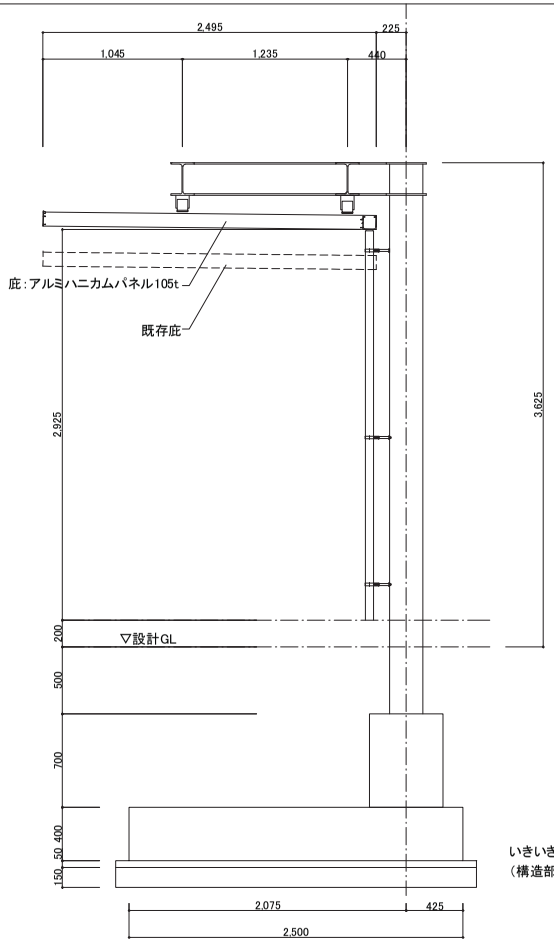
ポケットパーク腰壁・ベンチ　1:10



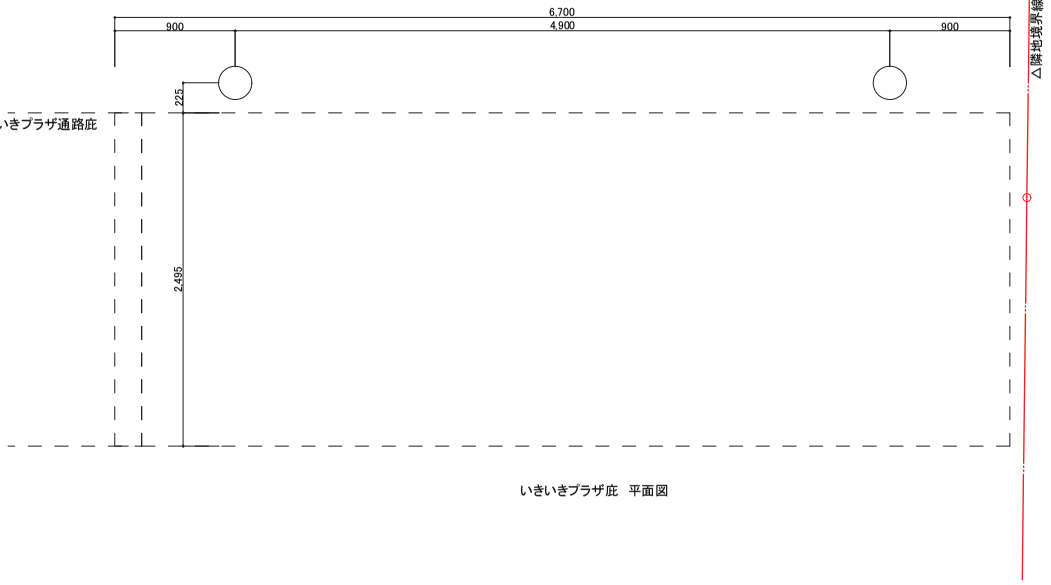
腰壁平面図

本体骨組：角鋼管組　50×50×t2.0・50×30×t1.5
腰壁仕上：角波サイディング　セキノ興産SK−333同等品

いきいきプラザ庇

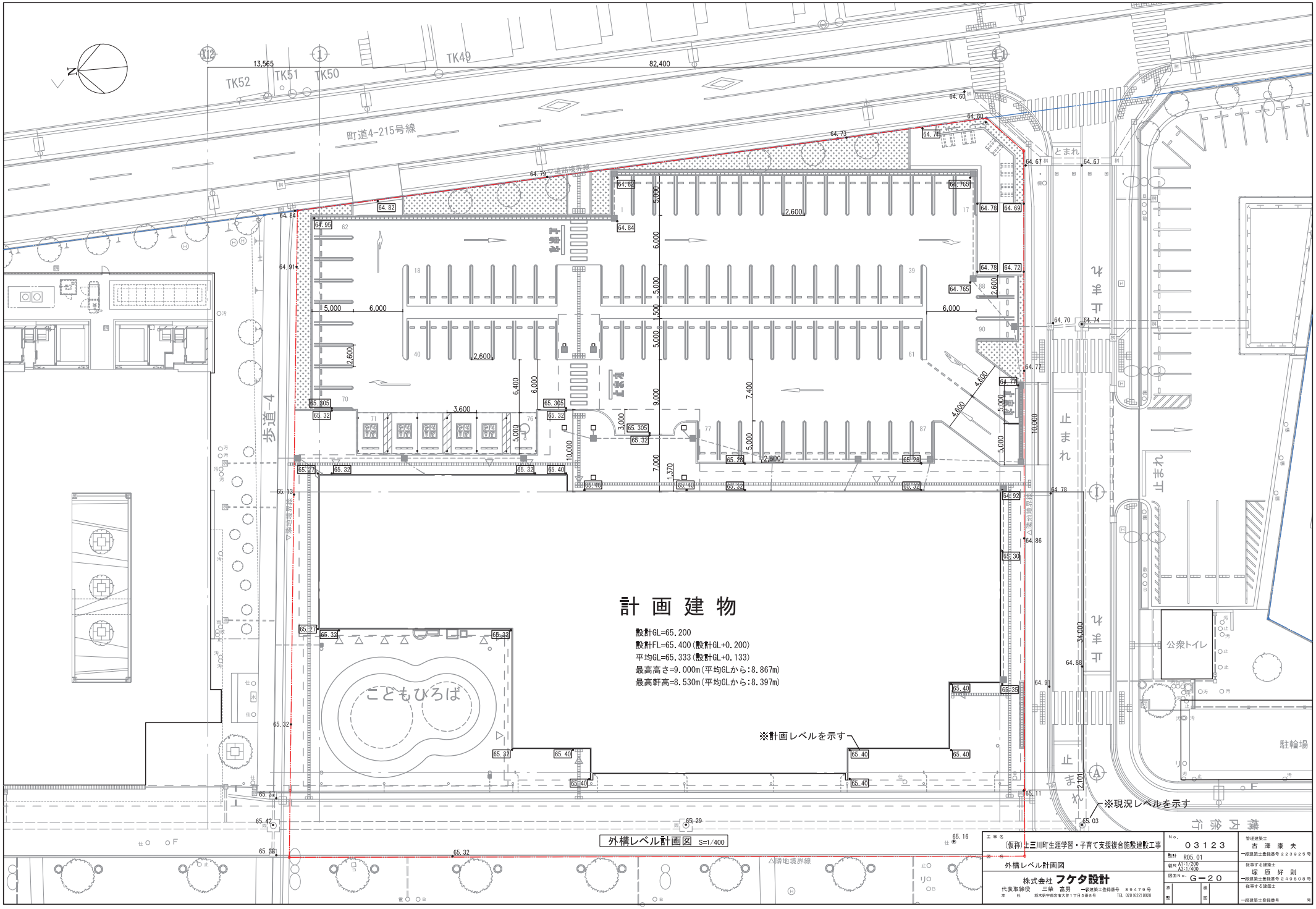


いきいきプラザ庇　断面図
（構造部材：にぎわい軸庇と同一）

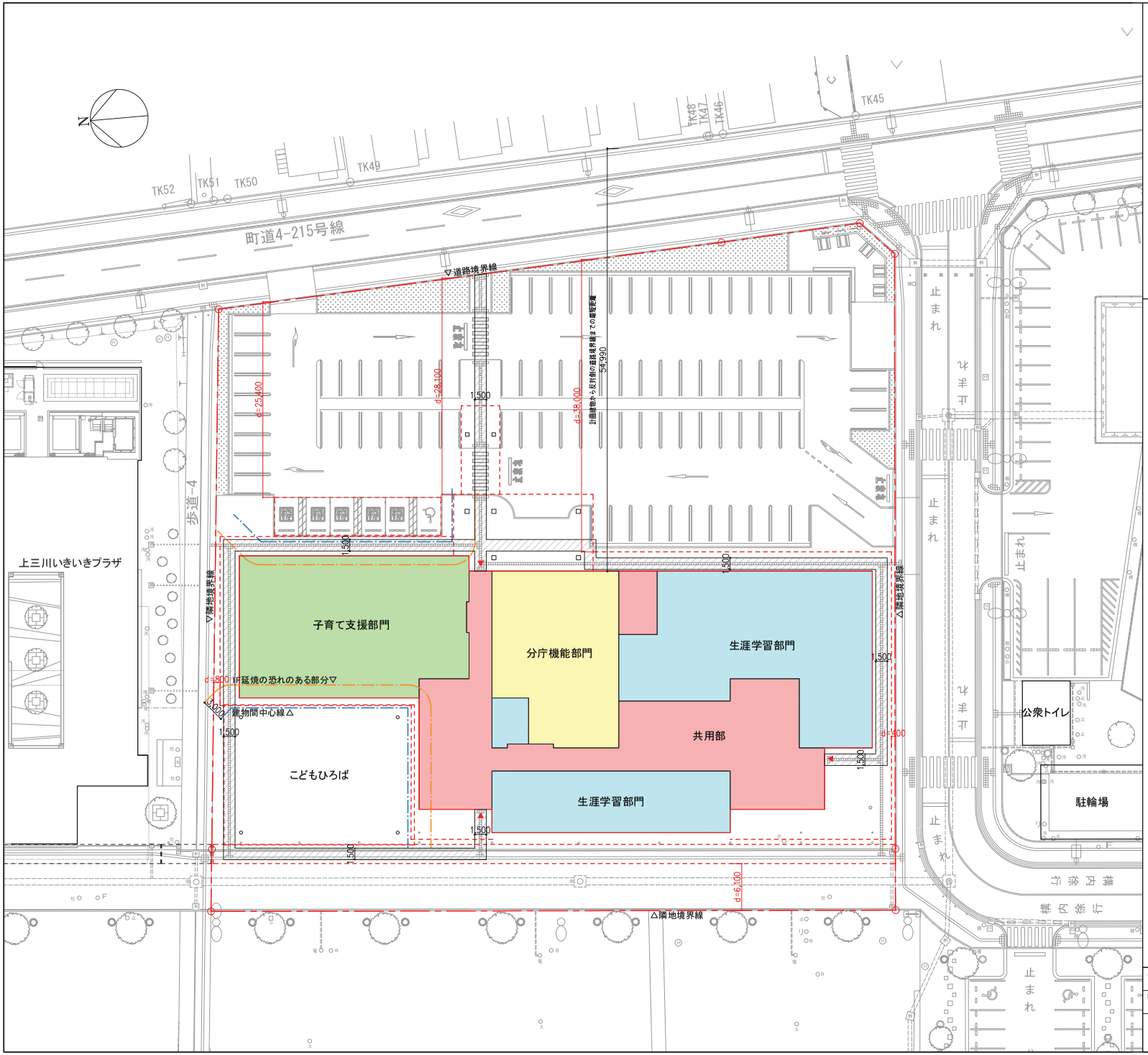


いきいきプラザ庇　平面図

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	外構詳細図(3)	設計 R05.01 縮尺 A1:1/20 A3:1/40	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号 88479号 本　社　栃木県宇都宮市大通り1丁目5番6号　TEL. 028(622)8928		図面No. G−19	従事する建築士 一級建築士登録番号　号
		承認 / 検図	



工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	外構レベル計画図
作成	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大谷1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
No.	03123
製図	R05.01
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面No.	G-20
原図	検図
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号



凡例

◎計画建物

	分類	用途	床面積（㎡）
	計画建物	複合用途	2,318.30
	生涯学習部門	集会場	825.80
	子育て支援部門	児童福祉施設等	535.70
	分庁機能部門	事務所	347.00
	共用部	集会場	609.80

- 敷地内通路（令第128条、県条例第8条の2）幅1.5m以上
- ▲ 第125条に該当する出口
- d= 採光補正係数算定上距離（安全側の距離とする）
- 建物間中心線
- 1F延焼の恐れのある部分（3m）

建築基準法

◎高さ制限

★絶対高さ制限 → 原則10m以内

○最高高さ9.0mよりOK

★北側高さ制限 → 制限なし

★道路高さ制限 → 勾配：1.50

○計画建物から反対側の道路境界線までの距離 54.99m

54.99 × 1.50 = 82.485 ＞ 9.0 → OK

★隣地高さ制限 → 勾配：1.25　適用高さ：+20m

○最高高さ9.0mよりOK

◎容積率・建蔽率

★法52条（容積率）

○指定容積率：200%

→ 敷地面積：7,436.05㎡ × 2 ＝ 14,872.10㎡…①

申請建物合計延べ面積：2,822.96㎡…②

①＞②より、OK

★法53条（建蔽率）

○指定容積率：60%

→ 敷地面積：7,436.05㎡ × 0.6 ＝ 4,461.63㎡…①

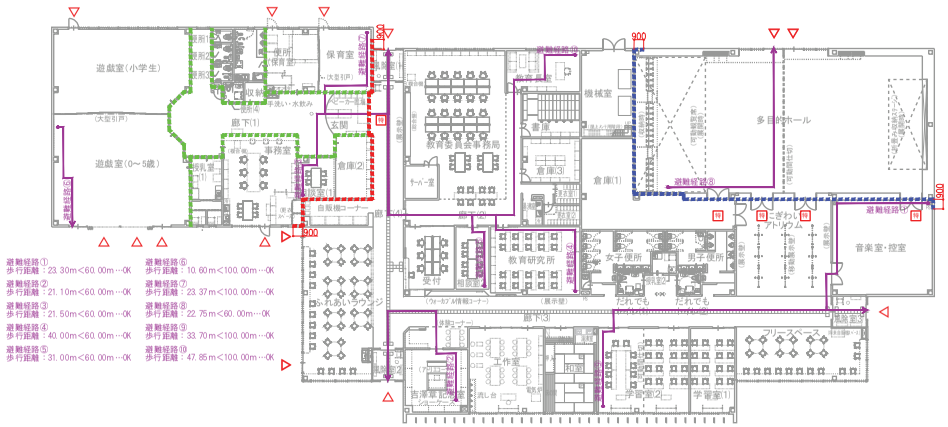
申請建物合計建築面積：3,528.51㎡…②

①＞②より、OK

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	配置法チェック図
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1:1/250 A3:1/500
図面No.	H－01

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 84479号
本社　栃木県宇都宮市大通り1丁目5番8号　TEL.028(622)8928

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原 好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号



避難経路①
歩行距離：23.30m＜60.00m…OK

避難経路②
歩行距離：21.10m＜60.00m…OK

避難経路③
歩行距離：21.50m＜60.00m…OK

避難経路④
歩行距離：40.00m＜60.00m…OK

避難経路⑤
歩行距離：31.00m＜60.00m…OK

避難経路⑥
歩行距離：10.60m＜100.00m…OK

避難経路⑦
歩行距離：23.37m＜100.00m…OK

避難経路⑧
歩行距離：22.75m＜60.00m…OK

避難経路⑨
歩行距離：33.70m＜100.00m…OK

避難経路⑩
歩行距離：47.85m＜100.00m…OK

1階平面図　S=1/300

N

換気検討

室名	室面積	換気必要面積 (1/20)	建具記号	換気有効開口面積 W	H	屋所数	開口面積	有効開口面積合計	判定
生涯学習部門									
多目的ホール	389.605	19.48	AD-3	1.00	2.40	2	4.800	14.117	OK
			AW-3	1.05	1.10	6	6.930		
				1.085	1.10	2	2.387		
音楽室・控室	85.500	4.28	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
学習室(1)	34.400	1.72	AW-5	0.90	2.16	2	3.888	3.888	OK
学習室(2)	68.800	3.44	AW-5	0.90	2.16	4	7.776	7.776	OK
和室	30.052	1.50	AW-5	0.875	2.16	2	3.780	3.780	OK
工作室	56.800	2.84	AW-5	0.90	2.16	4	7.776	7.776	OK
吉澤章記念室	36.000	1.80	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
受付	29.500	1.48	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
子育て支援部門									
遊戯室（小学生）	100.080	5.00	AW-10	0.8805	1.75	5	7.714	11.442	OK
				0.89	2.10	2	3.738		
遊戯室（0～5歳）	129.940	6.50	AW-9	3.00	2.145	2	12.870	24.402	OK
				0.90	2.145	2	3.432		
				1.45	0.90	4	5.220		
				1.60	0.900	2	2.880		
保育室	60.000	3.00	AW-12	0.90	2.10	1	1.890	6.911	OK
				0.9575	1.15	1	1.101		
			AW-13	0.8825	1.15	2	2.030		
				0.90	2.10	1	1.890		
事務室	60.750	3.04	AW-7	0.52	0.60	1	0.312	4.803	OK
			AW-8	0.90	2.10	1	1.890		
				0.63	1.70	1	1.071		
				0.90	1.70	1	1.530		
相談室	14.000	0.70	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
分庁機能部門									
教育委員会事務局	122.760	6.14	AW-1	0.90	1.75	4	6.300	6.300	OK
教育長室	28.000	1.40	AW-2	0.90	1.75	2	3.150	3.150	OK
教育研究所	55.250	2.76	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
相談室	19.500	0.98	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
共用部									
にぎわいアトリウム	81.000	4.05	機械換気による（M設）					有効な開口なし	OK
フリースペース	61.500	3.08	AW-4	0.9325	2.16	2	4.028	16.789	OK
				0.989	2.16	3	6.409		
				0.97	2.16	1	2.095		
				0.9795	2.16	1	2.116		
				0.991	2.16	1	2.141		
ふれあいラウンジ	94.250	4.71	AW-6	1.0975	2.16	1	2.371	16.575	OK
				1.095	2.16	1	2.365		
				0.90	2.10	2	3.780		
				0.90	2.16	2	3.888		
				1.02625	2.16	1	2.217		
				0.905	2.16	1	1.955		

採光検討

室名	室面積	採光必要面積 (1/7, 1/20)		建具記号	建具開口面積 W	H	屋所数	開口面積	採光補正係数算定 d	h	d/h x 10-1	採光補正係数	有効開口面積合計	判定
生涯学習部門														
多目的ホール	389.605	y_{20}	19.48	AD-3	1.14	3.46	4	15.78	38.00	7.10	52.521	3	87.653	OK
					2.00	2.40	2	9.60	38.00	7.60	49.000	3		
					2.00	0.96	2	3.84	38.00	5.90	63.407	3		
音楽室・控室	85.500	y_{20}	4.28	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
学習室(1)	34.400	y_{20}	1.72	AW-5	0.90	2.16	2	3.89	6.10	3.50	16.429	3	22.810	OK
					1.72	2.16	1	3.72	6.10	3.50	16.429	3		
学習室(2)	68.800	y_{20}	3.44	AW-5	0.90	2.16	4	7.78	6.10	3.50	16.429	3	53.784	OK
					2.35	2.16	2	10.15	6.10	3.50	16.429	3		
和室	30.052	y_{20}	1.50	AW-5	1.75	2.16	2	7.56	6.10	3.50	16.429	3	38.491	OK
					0.315	2.16	2	1.36	6.10	3.50	16.429	3		
					0.905	2.16	2	3.91	6.10	3.50	16.429	3		
工作室	56.800	y_{20}	2.84	AW-5	0.90	2.16	4	7.78	6.10	3.50	16.429	3	43.643	OK
					1.5675	2.16	2	6.77	6.10	3.50	16.429	3		
吉澤章記念室	36.000	y_{20}	1.80	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
受付	29.500	y_{20}	1.48	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
子育て支援部門														
遊戯室（小学生）	100.080	y_7	14.30	AW-10	1.701	1.75	5	15.41	25.40	4.80	51.917	3	52.941	OK
					0.89	2.10	1	1.87	25.40	5.60	44.357	3		
					0.89	0.415	1	0.37	25.40	4.20	59.476	3		
遊戯室（0～5歳）	129.940	y_7	18.56	AW-9	3.00	2.145	2	12.87	6.10	8.00	6.825	3	83.502	OK
					1.60	2.145	2	6.86	6.10	8.00	6.625	3		
					1.45	0.90	4	5.22	6.10	6.30	8.683	3		
					1.60	0.900	2	2.88	6.10	6.30	8.683	3		
保育室	60.000	y_7	8.57	AW-12	0.90	2.10	1	1.89	25.40	5.60	44.357	3	12.277	OK
					1.915	1.15	1	2.20	25.40	5.10	48.804	3		
				AW-13	1.765	1.15	2	4.06	25.40	5.10	48.804	3	17.849	
					0.90	2.10	1	1.89	25.40	5.60	44.357	3		
事務室	60.750	y_7	8.68	AW-7	0.52	0.60	1	0.31	6.10	7.50	7.133	3	2.980	
				AW-8	0.90	2.10	1	1.89	6.10	8.00	6.625	3	18.914	OK
					0.90	0.315	1	0.28	6.10	6.60	8.242	3		
					0.63	1.70	1	1.07	6.10	7.30	7.356	3		
					1.80	1.70	1	3.06	6.10	7.30	7.356	3		
相談室	14.000	y_7	2.00	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
分庁機能部門														
教育委員会事務局	122.760	y_{20}	6.14	AW-1	1.80	1.75	4	12.60	28.10	2.90	95.897	3	37.800	OK
教育長室	28.000	y_{20}	1.40	AW-2	1.80	1.75	2	6.30	28.10	2.90	95.897	3	18.900	OK
教育研究所	55.250	y_{20}	2.76	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
相談室	19.500	y_{20}	0.98	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
共用部														
にぎわいアトリウム	81.000	y_{20}	4.05	非常用照明による（E設）									有効な開口なし	OK
フリースペース	61.500	y_{20}	3.08	AW-4	1.865	2.16	2	8.06	0.40	2.30	0.739	1	84.618	OK
					1.978	2.16	3	12.82	6.10	3.50	16.429	3		
					1.94	2.16	1	4.19	6.10	3.50	16.429	3		
					1.959	2.16	1	4.23	6.10	3.50	16.429	3		
					1.982	2.16	1	4.28	6.10	3.50	16.429	3		
ふれあいラウンジ	94.250	y_{20}	4.71	AW-6	2.195	2.16	1	4.74	6.10	3.50	16.429	3	71.442	OK
					1.06	2.16	1	2.29	6.10	3.50	16.429	3		
					2.19	2.16	1	4.73	6.10	3.50	16.429	3		
					0.65	2.16	1	1.40	6.10	3.50	16.429	3		
					1.80	2.10	2	7.56	0.80	8.00	0.000	1		
					1.80	0.675	2	2.43	0.80	6.40	0.250	1		
					1.80	2.16	2	7.78	0.80	7.20	0.111	1		
					2.0625	2.16	2	8.87	0.80	7.20	0.111	1		
					0.65	2.16	1	1.40	0.80	7.20	0.111	1		
					1.81	2.16	1	3.91	0.80	7.20	0.111	1		

排煙検討

室名	室面積	排煙必要面積 (1/50)	建具記号	排煙有効開口面積 W	H	屋所数	開口面積	有効開口面積合計	判定
生涯学習部門									
多目的ホール	389.605	7.79	AW-3	1.05	1.10	6	6.930	9.317	OK
		0.00		1.085	1.10	2	2.387		
倉庫(1)	73.195	1.46	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
音楽室・控室	85.500	1.71	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
学習室(1)	34.400	0.69	AW-5	0.90	0.76	2	1.368	1.368	OK
学習室(2)	68.800	1.38	AW-5	0.90	0.76	4	2.736	2.736	OK
和室	30.052	0.60	AW-5	0.875	0.76	2	1.330	1.330	OK
和室（踏込）	4.144	0.08	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
和室（押入）	2.548	0.05	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
工作室	56.800	1.14	AW-5	0.90	0.76	4	2.736	2.736	OK
吉澤章記念室	36.000	0.72	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
受付	29.500	0.59	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
子育て支援部門									
遊戯室（小学生）	100.080	2.00	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
遊戯室（0～5歳）	129.940	2.60	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
保育室	60.000	1.20	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
便所（保育室）	15.000	0.30	AW-7	0.52	0.60	1	0.312	0.312	OK
事務室	60.750	1.22	AW-7	0.52	0.60	1	0.312	0.924	OK
	0.000	0.00	AW-8	0.63	0.40	1	0.252		
	0.000	0.00		0.90	0.40	1	0.360		
相談室	14.000	0.28	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
授乳室(1)	19.350	0.39	AW-7	0.52	0.60	2	0.624	0.624	OK
玄関・廊下(1)	96.630	1.93	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
倉庫(2)	21.000	0.42	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
収納	4.000	0.08	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
便所(1)	2.800	0.06	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
便所(2)	3.600	0.07	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
便所(3)	3.600	0.07	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
便所(4)	4.000	0.08	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
PS	0.950	0.02	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
分庁機能部門									
教育委員会事務局	169.946	3.40	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
廊下(2)									
更衣室前廊下									
教育長室	28.000	0.56	AW-2	0.90	0.50	2	0.900	0.900	OK
教育研究所	55.250	1.11	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
相談室	19.500	0.39	H12建告1436-四-ニ(4)					有効な開口なし	OK
更衣室(1)	5.000	0.10	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
更衣室(2)	7.000	0.14	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
湯沸室	4.900	0.10	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
サーバー室	10.240	0.20	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
書庫	23.375	0.47	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
倉庫(3)	23.375	0.47	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
共用部									
にぎわいアトリウム フリースペース ふれあいラウンジ ウォーカブル情報コーナー 玄関 休憩コーナー 廊下(3) 廊下(4)	454.126	9.08	AW-4	0.9325	0.76	2	1.417	22.482	OK
				0.989	0.76	3	2.255		
				0.97	0.76	1	0.737		
				0.9795	0.76	1	0.744		
				0.991	0.76	1	0.753		
				1.0975	2.16	1	2.371		
				1.095	2.16	1	2.365		
			AW-6	0.90	2.10	2	3.780		
				0.90	2.16	2	3.888		
				1.02625	2.16	1	2.217		
				0.905	2.16	1	1.955		
風除室(1)	9.000	0.18	令第126条の2第1項：その他より除外						OK
風除室(2)	9.000	0.18	令第126条の2第1項：その他より除外						OK
風除室(3)	9.900	0.20	令第126条の2第1項：その他より除外						OK
機械室	41.250	0.83	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
男子便所	30.691	0.61	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
女子便所	33.911	0.68	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
だれでもトイレ(1)	5.533	0.11	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
だれでもトイレ(2)	4.950	0.10	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK
授乳室(2)	5.040	0.10	H12建告1436-四-ニ(2)					有効な開口なし	OK

凡例

防火区画（面積区画+異種用途区画）	→	歩行距離	令125条 居室の各部分から屋外への出口の一に至る歩行距離
GB-F t12.5+GB-F t12.5 両面二重張り（FP060NP-0174）			(1)無窓居室は60m以下
防火区画（面積区画）			(2)(1)に掲げる居室以外の場合、100m以下（主要構造物が準耐火構造または不燃）
GB-F t12.5+GB-F t12.5 両面二重張り（FP060NP-0174）			
防火区画（114条区画:子育て支援部門のみ）			
GB-F t12.5+GB-F t12.5 両面二重張り（FP060NP-0174）			

備考欄

建築基準法

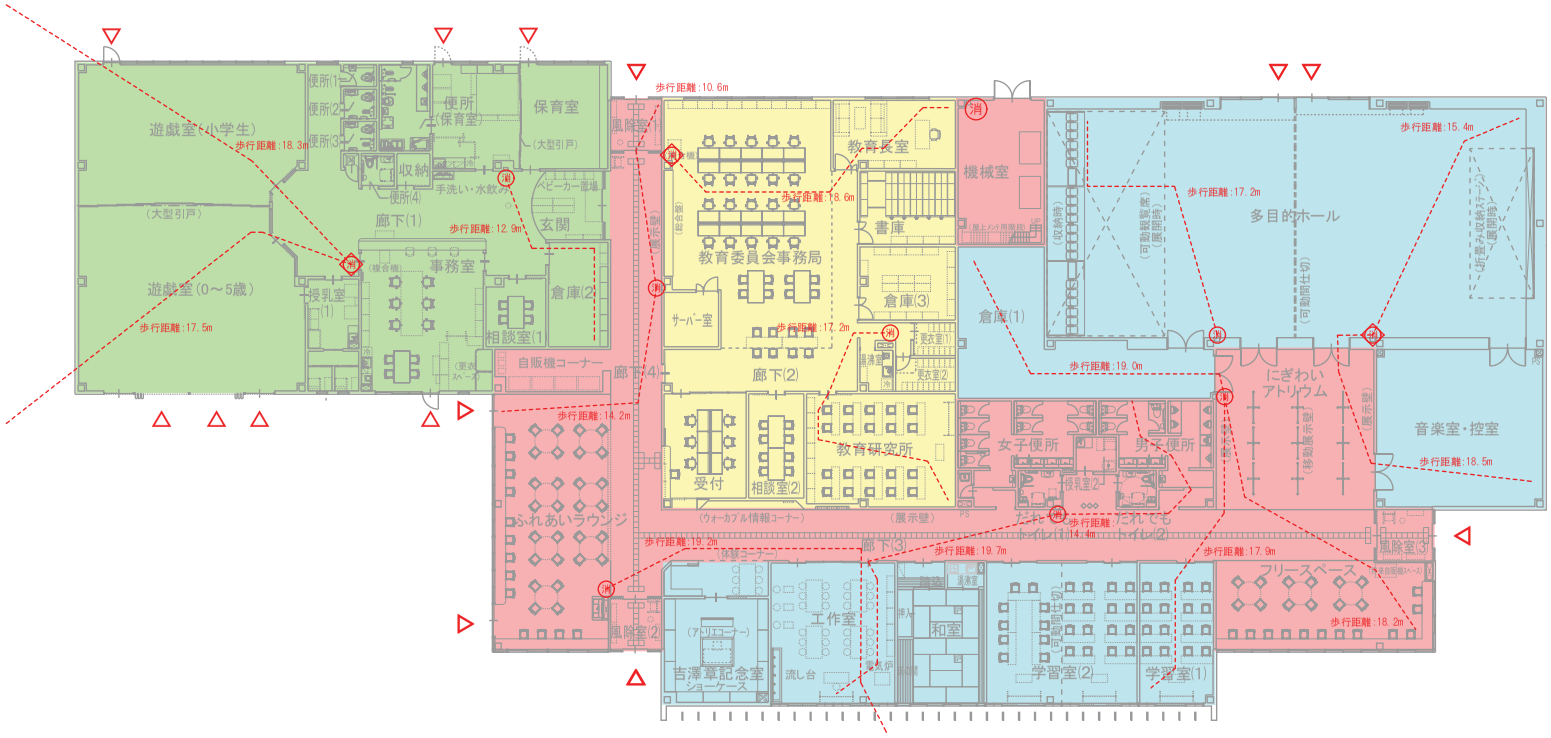
工事名：（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名：平面法チェック図（建築基準法）

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本　社　栃木県宇都宮市大通り丁目９番６号　TEL 028(622)8928

No. ０３１２３
設計 R05.01
縮尺 A1:1/250 A3:1/500
図面No. Ｈ－０２

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号



凡例
消：粉末ABC10型消火器
消：強化液消火器

1階平面図　S=1/300

◎消防設備

○(16)項イ　→　誘導灯（客席誘導灯を含む）
★E図参照。
○(16)項イ　かつ延べ面積300㎡以上　→　自動火災報知設備
★E図参照。
○(16)項イ　かつ収容人員30人以上　→　防火管理者の選任
○(16)項イ　かつ収容人員500人以上　→　非常警報設備（放送設備付加）
★E図参照。
○(1)項ロ、(6)項ハ　→　カーテン等の防炎措置
★技術基準等を満たした物を設置する。
○(1)項ロ、(6)項ハ、かつ延べ面積150㎡以上、(15)項かつ延べ面積300㎡以上
→　消火器具
★消火器具の設置数算出方法
(1)項ロ、(6)項　2,318.30/200=11.59≒12単位
※主要構造部を耐火構造とし、かつ、壁・天井（屋根）の室内に面する部分の仕上が、難燃材料のもの。
※歩行距離20m以下
設置消火設備：粉末ABC10型　能力単位:3
：強化液　能力単位:1
設置個数：ABC10型　8本×3=24 ＋ 強化液　3本×1=3　＝ 27単位 ≧ 12単位
○(1)項ロ、(6)項ハ、かつ延べ面積500㎡以上、(15)項かつ延べ面積1,000㎡以上
→　消防機関へ通報する火災報知設備
★子育て支援部門については、E図参照。
その他については、消防機関へ常時通報できる固定電話を設置する為免除。
○(1)項ロ、かつ用途面積：1,500㎡以上（耐火建築物+仕上難燃材以上）
(6)項ハ、かつ用途面積：2,100㎡以上（耐火建築物+仕上難燃材以上）
(15)項、　かつ用途面積：3,000㎡以上（耐火建築物+仕上難燃材以上）
→　本施設において、各用途面積が上記面積以上でない為、屋内消火栓設備は設置不要。

◎建物用途面積区分（消防法上）

計画建物	:(16)項イ　複合用途	延べ　2,318.30㎡
生涯学習部門	:(1)項ロ　集会場	825.80㎡
子育て支援部門	:(6)項ハ　児童福祉施設等	535.70㎡
分庁機能部門	:(15)項　事務所	347.00㎡
共用部	:(1)項ロ　集会場	609.80㎡

◎収容人数の算定

計画建物　:(16)項イ　複合用途
収容人数：計1646人（全用途合計）
生涯学習部門　:(1)項ロ　集会場
収容人数：計　980人（従業者0人+固定式の椅子336席+その他の部分322㎡/0.5㎡＝644人）
子育て支援部門　:(6)項ハ　児童福祉施設等
収容人数：計　104人（従業者6人+要保護者0人+園児等の数98人＝104人）
分庁機能部門　:(15)項　事務所
収容人数：計　56人（従業者31人+主として従業者以外の者の使用に供する部分74.75㎡/3㎡＝25人）
共用部　:(1)項ロ　集会場
収容人数：計　506人（従業者0人+その他の部分253㎡/0.5㎡＝506人）

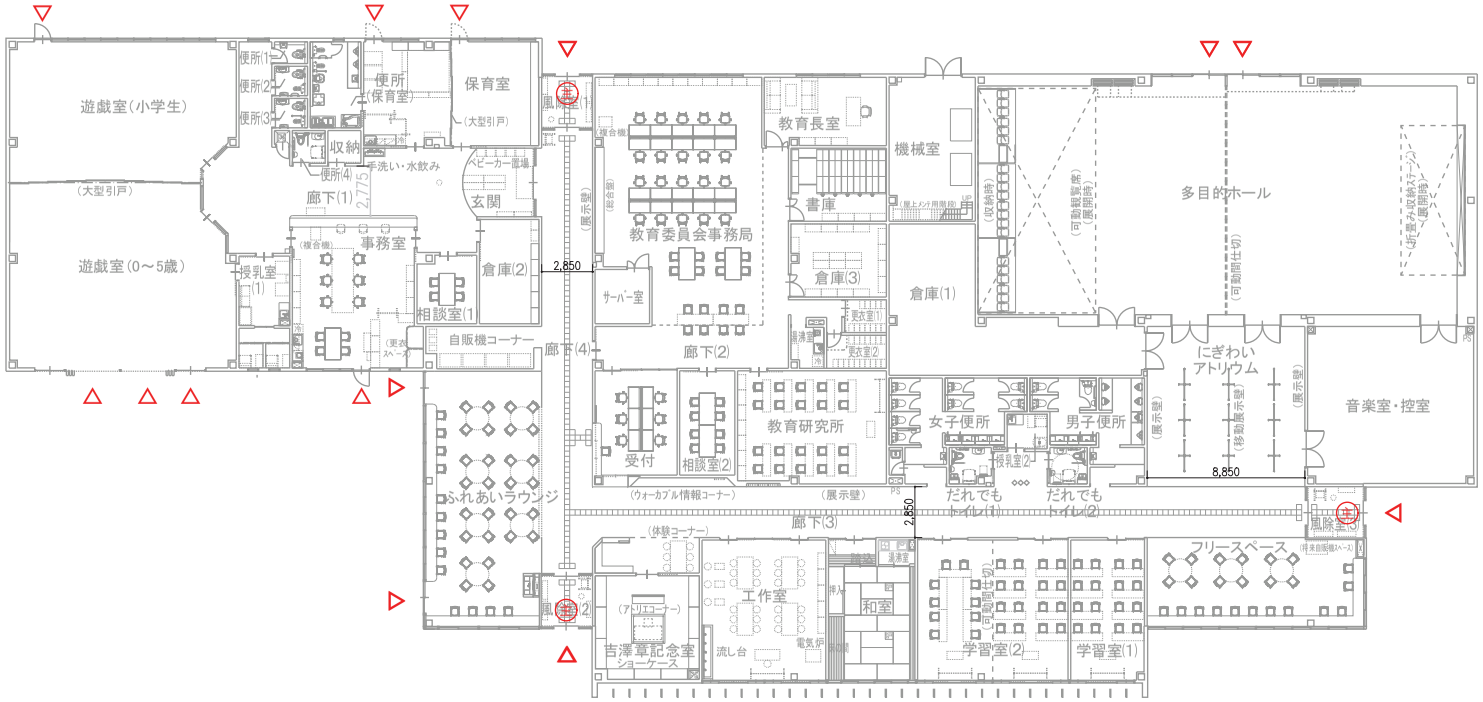
◎無窓階判定

計画建物1　:(16)項イ　複合用途		
1階必要開口面積：2,318.30㎡/30 ＝ 77.28㎡		
AD-1	2ヵ所	1.35×2.60=3.51×2=7.02
AD-2	1ヵ所	1.35×2.60=3.51×1=3.51
AW-1	1ヵ所	1.80×1.75=3.15×4=12.60
AW-2	1ヵ所	1.80×1.75=3.15×2=6.30
AW-4	1ヵ所	1.865×2.16=4.02×2=8.04
		1.94×2.16=4.19×1=4.19
		1.959×2.16=4.23×1=4.23
		1.978×2.16=4.27×3=12.81
		1.982×2.16=4.28×1=4.28
AW-6	1ヵ所	2.195×2.16=4.74×1=4.74
		1.06×2.16=2.28×1=2.28
		2.19×2.16=4.73×1=4.73
		1.80×2.10=3.78×2=7.56
82.29㎡		
82.29㎡ ＞ 77.28㎡　∴OK		
∴よって、有窓階である。		

消防法

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123
図名	平面法チェック図（消防法）	設計 R05.01
		縮尺 A1:1/150 A3:1/300
株式会社 フケタ設計		図面No. H－03
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479号		承 検
本　社　栃木県宇都宮市大通り1丁目9番9号　TEL.028(622)8928		認 図

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号



1階平面図　S=1/300

◎栃木県建築基準条例

		内容	本施設での対応
大規模な建築物等の敷地と道路との関係	第四章第一節 第七条1項	延べ面積が 1,000 ㎡を超える建築物がある場合、当該敷地は道路に6m以上接していなければならない。	配置法チェック図により。
特殊建築物 通則 避難階における屋外への出口及び通路	第五章第一節 第八条の二 1 項	法別表第1（い）欄(1)～(4)に掲げる用途に供する特殊建築物で、これらの用途に供する部分の床面積の合計が 500 ㎡を超えるものの避難階における屋外への出口は、避難上有効な二以上の位置に設けなければならない。	平面法チェック図により。
	第五章第一節 第八条の二 2 項	前項に規定する建築物の敷地内には、同項の規定による出口から道又は公園、広場、その他の空地に通ずる幅員が1.5m以上の通路を設けなければならない。	配置法チェック図により。
特殊建築物 劇場等	第五章第三節	計画建物内の多目的ホールは、栃木県条例の劇場等の規定を満たす必要がある。	本施設は、劇場等に該当しない。 （宇都宮土木事務所、県南建築福祉センターに協議済）

栃木県条例

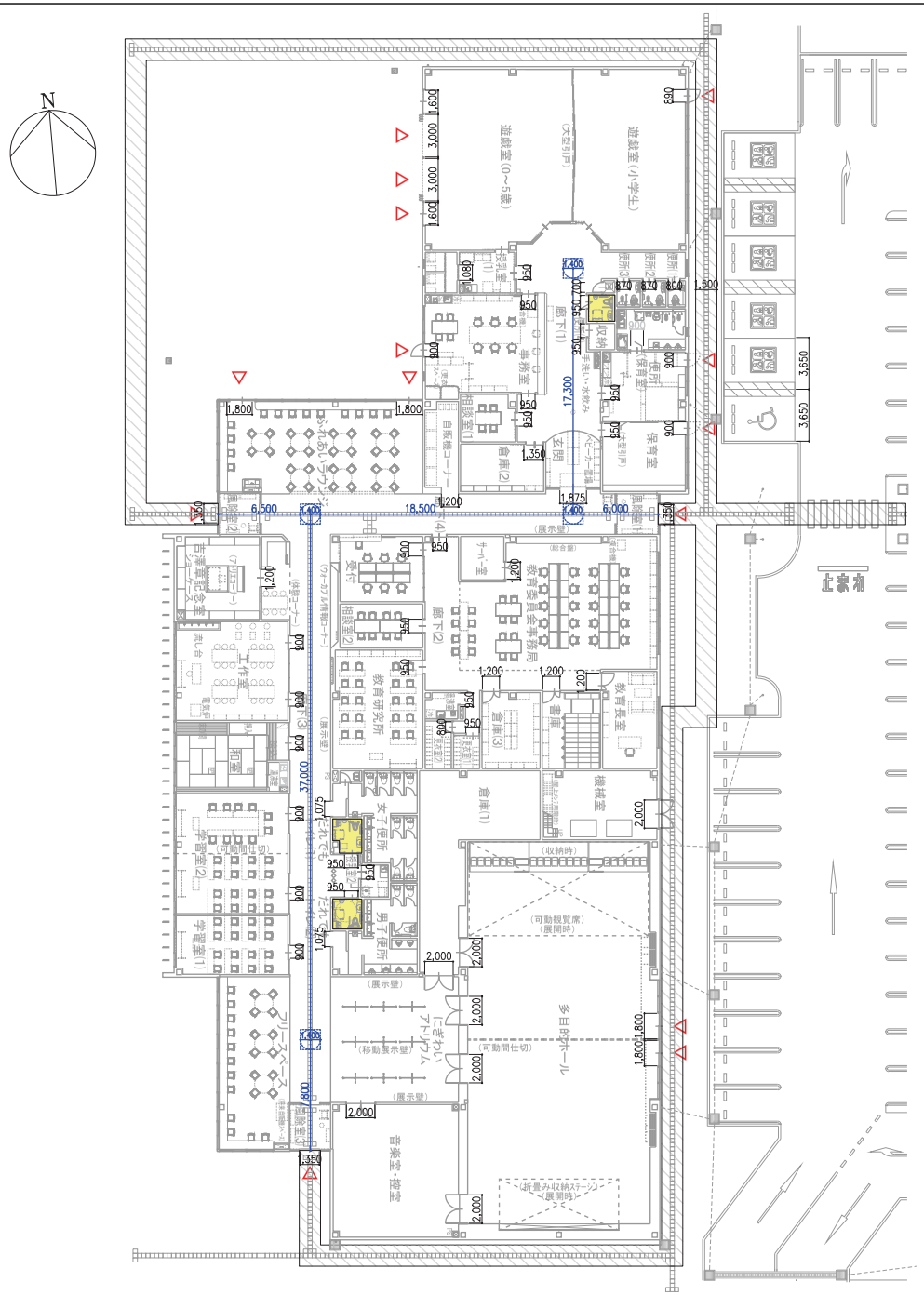
凡例

㊟	主要な出入口		

備考欄

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	平面法チェック図（栃木県条例）
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1:1/150 A3:1/300
図面No.	H－04

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大通り1丁目5番6号　TEL.028(622)8928
管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　塚原　好則　一級建築士登録番号 249808号



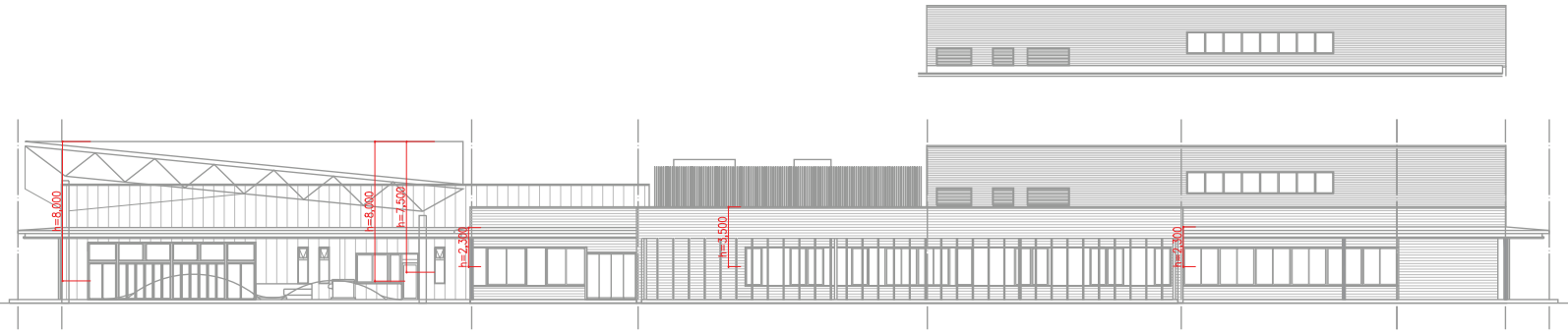
整備箇所	整備基準内容		
	バリアフリー法 移動円滑化基準（努力義務） （特別特定建築物 2,000 ㎡未満）	栃木県ひとにやさしいまちづくり条例（適合義務） （集会場の用途面積 200 ㎡以上の施設）	整備内容
出入口	（出入口の規定はない。）	・地上へ通ずる出入口、駐車場へ通ずる出入口、各室の出入口のうち、それぞれ1以上の出入口は以下を満たす。 ・幅は内法80cm以上とする。 ・戸は自動又は車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造とする。 ・車椅子使用者の支障となる段は設けない。	図面に記載。
廊下等・階段に代わり又はこれに併設する傾斜路	・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・階段又は傾斜がある部分の上端に近接する廊下等に点状ブロックを敷設する。 ・勾配1/12 超、又は高さ16cm超の傾斜の部分には手すりを設ける。 ・廊下等との色の明度・色相又は彩度の差を大きくし、その存在を容易に識別できるものにする。	・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・出入口から受付までの廊下に誘導用床材を敷設、又は音声により視覚障害者を誘導する装置を設ける。（1以上） ・50cm以内ごとに車椅子の転回に支障がない場所を設ける。 ・傾斜路 ・幅は内法120cm以上とする。 ・勾配は1/12 以下（高さ16cm以下の場合は、勾配 1/8 以下）とする。 ・高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場を設ける。 ・手すりを設ける。 ・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・接する廊下等及び踊場と色の明度・色相又や彩度に差をつける。 ・傾斜路の上端に近接する廊下等及び踊場に、注意喚気用床材を敷設する。	適合させる
エレベーター・階段等	エレベーター・階段等の条文を満たさなければならない。	エレベーター・階段等の条文を満たさなければならない。	平屋建ての為、該当しない
便所	・車椅子使用者用便房を1以上（男女の区別があるときは、それぞれ1以上）設ける。 ・車椅子使用者用便房には、高齢者等が円滑に利用できる水洗器具を設ける。 ・男子便所に、床置式の小便器、又は壁掛式の小便器（受け口の高さが35cm以下）等の小便器を1以上設ける。	・車椅子使用者用便房を1以上（男女の区別があるときは、それぞれ1以上）設ける。 ・車椅子使用者が円滑に利用できるよう十分な床面積を確保、かつ手すり等を適切に設けること。 ・車椅子使用者用便房の出入口の幅は内法80cm以上とする。 ・戸は自動又は車椅子使用者が円滑に開閉して通過できる構造とする。 ・男子便所に、床置式の小便器を設ける。	：車椅子使用者便房を示す。
敷地内の通路	・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・段がある部分には、次に掲げるものとする。 ・手すりを設ける。 ・踏面の端部とその周囲の部分との色の明度・色相又は彩度の差を大きくし、その存在を容易に識別できるものにする。 ・段鼻等のつまずきの原因となるものを設けない構造とすること。	・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・出入口から道等及び車椅子使用者用駐車場への通ずる通路の幅は120cm以上とする。（1以上） ・出入口から道等への通路（1以上） ・誘導用床材、又は音声により視覚障害者を誘導する装置を設ける。 ・車路に接する部分及び横断する部分、傾斜路の上端に近接する部分、踊場の部分に、注意喚気用床材を設ける。 ・傾斜路 ・幅は内法120cm以上とする。 ・勾配は1/12 以下（高さ16cm以下の場合は、勾配 1/8 以下）とする。 ・高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊り場を設ける。 ・手すりを設ける。 ・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・接する敷地内の通路通路及び踊場と色の明度、色相又や彩度に差をつける。	適合させる
駐車場	・下記を満たした車椅子使用者用駐車施設を1以上設ける。 ・車椅子使用者用駐車施設の幅は350cm以上とする。 ・車椅子使用者用駐車施設から利用居室までの経路をできるだけ短くする。	・下記を満たした車椅子使用者用駐車施設を設ける。 ・車椅子使用者用駐車施設の幅は350cm以上とする。 ・車椅子使用者用駐車施設から利用居室までの経路をできるだけ短くする。 ・車椅子使用者用である旨を見やすく表示する。 ・表面は粗面、滑りにくい仕上げとする。 ・出入口から道等及び車椅子使用者用駐車場への通ずる通路の幅は120cm以上とする。（1以上）	：通路幅を示す。
その他		・洗面所、客席及び観覧席、受付カウンター及び記載台、公衆電話所、休憩所、授乳場所、水飲器、券売機及び自動販売機、案内表示等、更衣室及びシャワー室等が条例を満たすものとする。	適合させる

整備箇所	整備基準内容		
	バリアフリー法 移動円滑化基準（適合義務）		整備内容
	該当条件	・建築物に不特定かつ多数の者等が利用する居室を設ける場合の道等から当該利用居室までの経路。 ・建築物又はその敷地に車椅子使用者用便房を設ける場合の利用居室から当該車椅子使用者用便房までの経路。 ・建築物又はその敷地に車椅子使用者用駐車施設を設ける場合の当該車椅子使用者駐車施設から利用居室までの経路。	
移動等円滑化経路の段	・階段又は段を設けない。		適合させる
移動等円滑化経路の出入口	・幅は内法80cm以上とする。 ・戸を設ける場合、容易に開閉等ができ、前後に高低差を設けない。		適合させる
移動等円滑化経路の廊下	・建築物移動等円滑化基準の廊下等の規定を満たす。 ・幅は内法120cm以上とする。 ・50m以内ごとに車椅子の転回に支障がない場所を設ける。 ・戸を設ける場合、容易に開閉等ができ、前後に高低差を設けない。		適合させる
移動等円滑化経路の傾斜路	・建築物移動等円滑化基準の階段に代わり、建築物移動等円滑化基準の傾斜路の規定を満たす。 ・幅は内法120cm以上とする。（階段に併設するものにあっては、90cm以上） ・勾配は1/12 以下とする。（高さ16 cm以下の場合は、1/8以下） ・高さ75 cmを超える場合、75cm以下ごとに踏幅150cm以上の踊場を設ける。		該当なし
移動等円滑化経路の標識	・便所又は駐車施設があることを表示する標識を設ける。		適合させる
移動等円滑化経路の案内設備	・便所又は駐車施設の配置を示した案内板等を設けなければならない。（便所又は駐車施設の配置を容易に視認できる場合は、この限りではない。） ・便所又は駐車施設の配置を点字等により、視覚障がい者に示すための設備を設ける。 ・案内所を設ける場合、上記2つの条文に関しては適用しない。		適合させる （受付を案内所とする）
移動等円滑化経路の案内設備までの経路	・建築物移動等円滑化基準の案内設備等までの経路のうち1以上を視覚障がい者移動円滑化経路とする。 ・視覚障がい者移動円滑化経路に線状ブロック、点状ブロックを適切に組み合わせて敷設し、又は音声等により、視覚障がい者を誘導する設備を設ける。 （進行方向を変更する必要がない風除室内においては、この限りでない。） ・車路に近接する部分には、点状ブロック等を敷設する。 ・段がある等に近接する部分には、点状ブロック等を敷設する。		適合させる

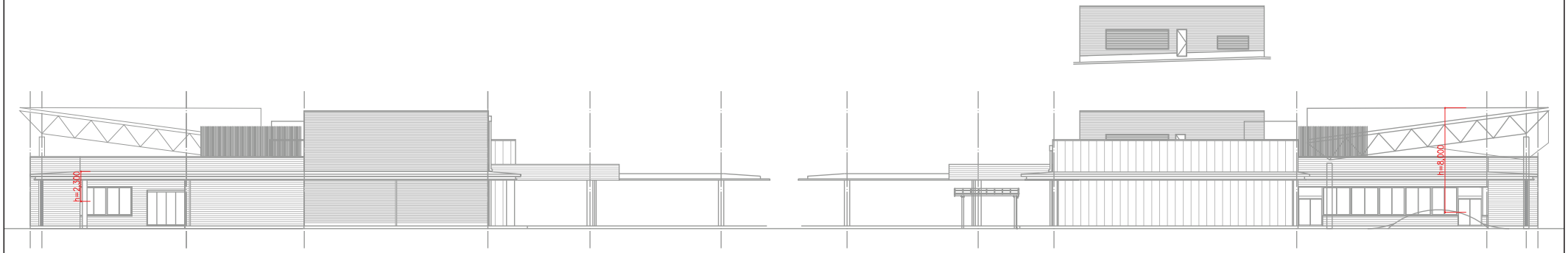
福祉関係

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	平面法チェック図（福祉関係）	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/175 A3:1/350
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大通り1丁目9番8号 TEL.028(622)8928	図面No.	H－05
		承認	検図

管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号

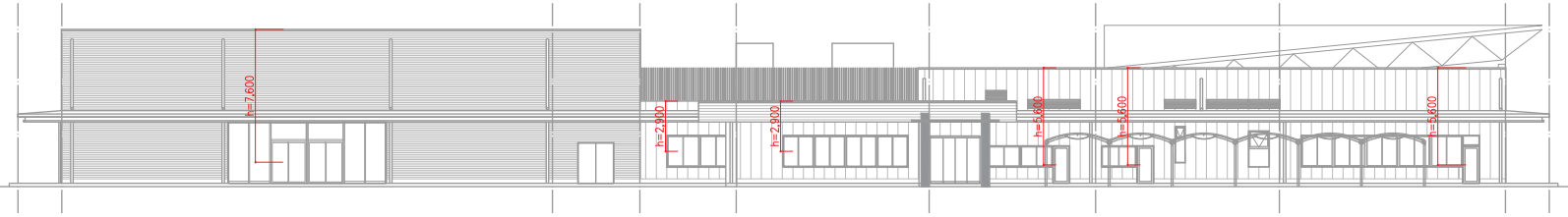


西側立面図　S=1/300



南側立面図　S=1/300

北側立面図　S=1/300



東側立面図　S=1/300

建築基準法

凡例							備考欄	
	h=	採光補正係数算定上距離（安全側の距離とする）						

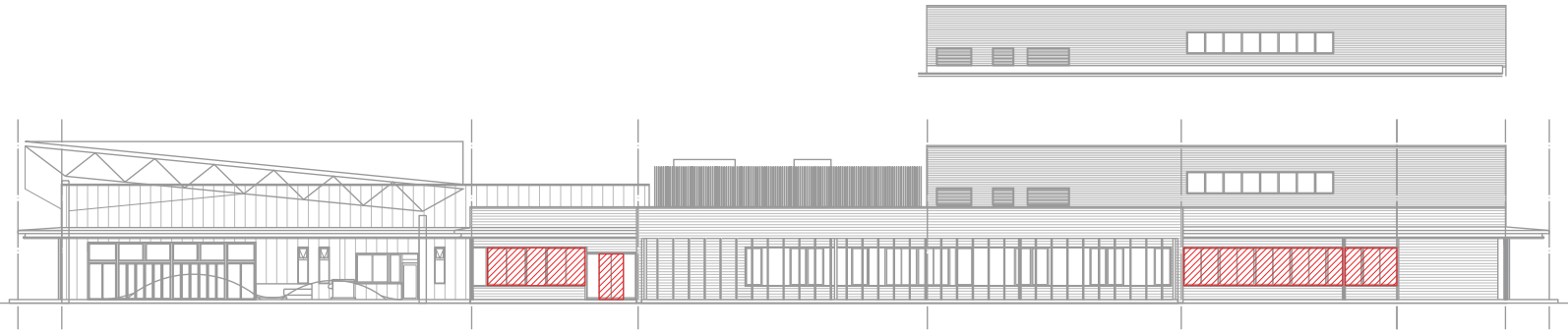
工事名　(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事

図名　立面法チェック図（建築基準法）

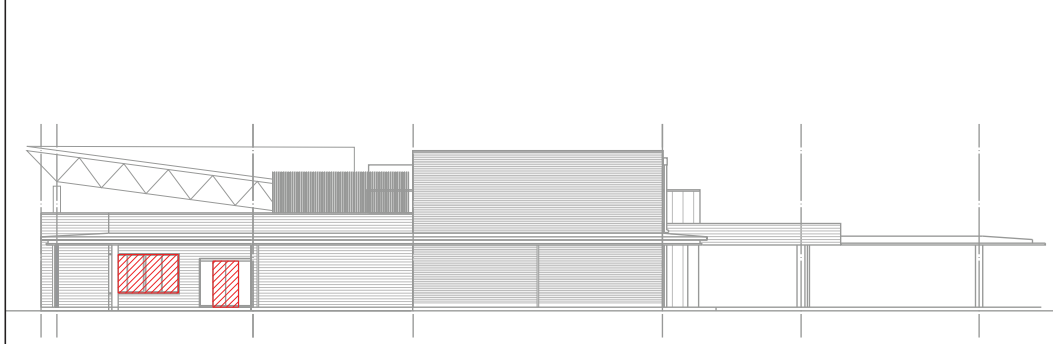
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本　社　栃木県宇都宮市大通り丁目９番６号　TEL 028(022)8928

No.　０３１２３
設計　R05.01
縮尺　A1:1/150　A3:1/300
図面No.　Ｈ－０６
承認　検図

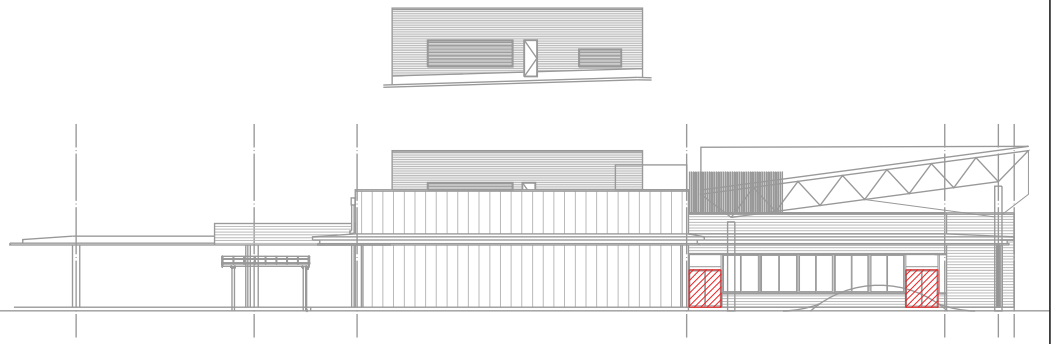
管理建築士　古　澤　康　夫　一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士　塚　原　好　則　一級建築士登録番号２４９８０８号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号



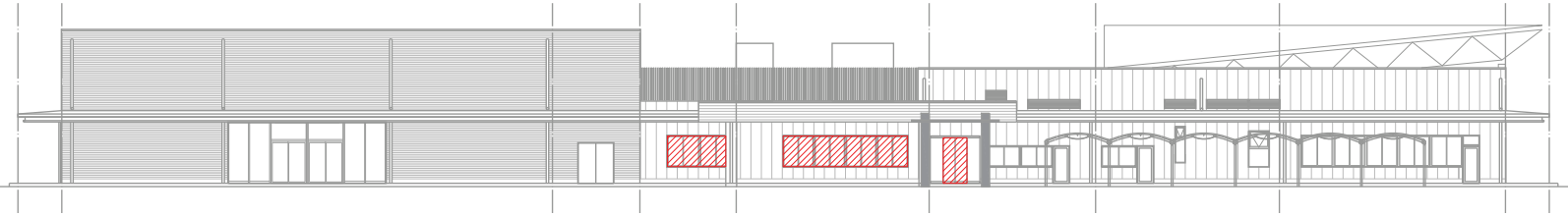
西側立面図　S=1/300



南側立面図　S=1/300



北側立面図　S=1/300



東側立面図　S=1/300

消防法

凡例

▨	消防開口算定開口を示す

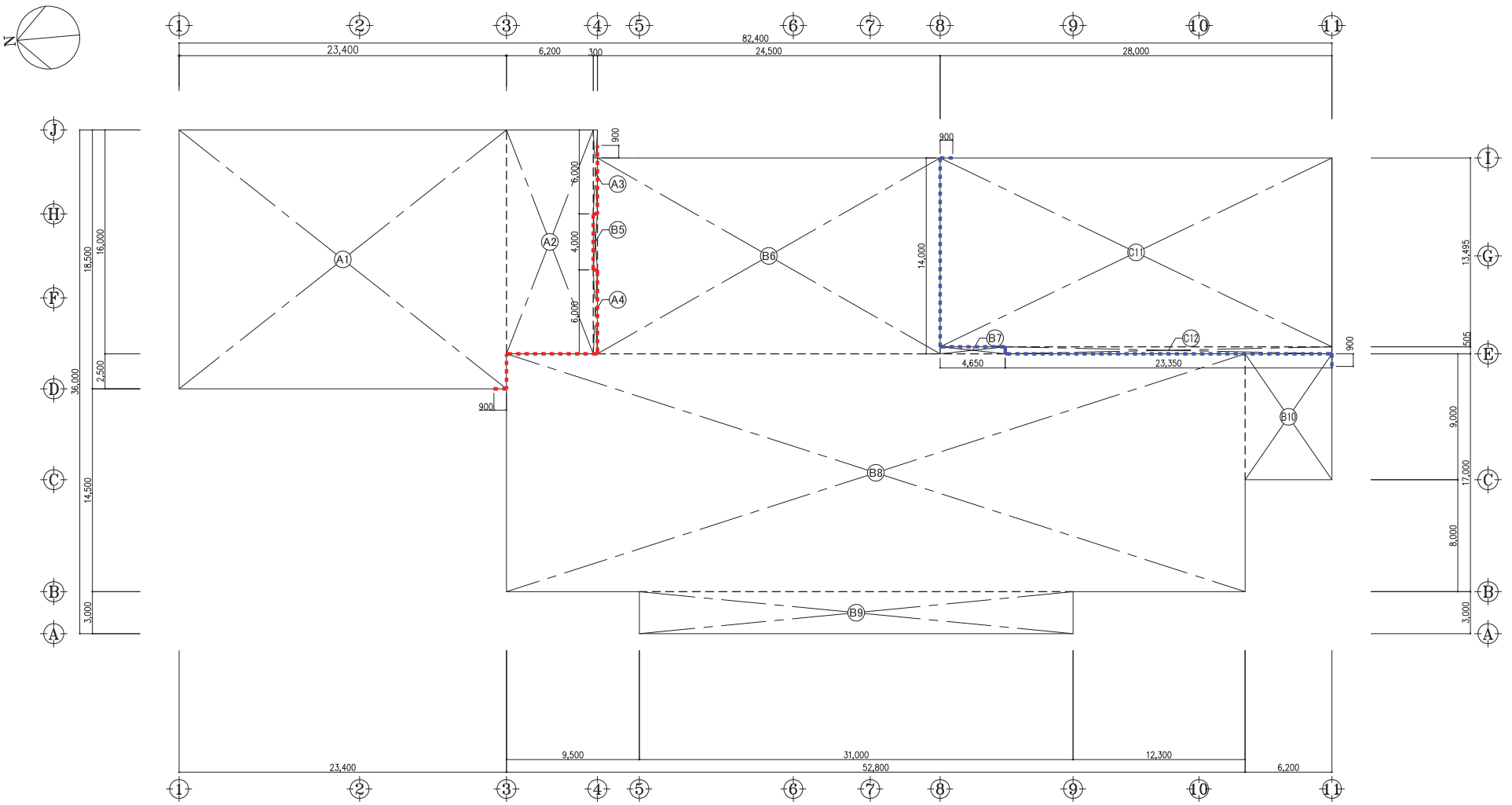
備考欄

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	立面法チェック図（消防法）
株式会社	フケタ設計
代表取締役	三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本社	栃木県宇都宮市大曽１丁目９番８号　TEL 028(022)8928
No.	０３１２３
設計	R05.01
縮尺	A1:1/150 A3:1/300
図面No.	H－０７
承認	
検図	

管理建築士　古　澤　康　夫　一級建築士登録番号　２２３９２５号

従事する建築士　塚　原　好　則　一級建築士登録番号　２４９８０８号

従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号



＜防火区画面積算定表＞ (m, m²)

階	区画	番号	X	Y	X×Y	面積区画	合計	備考
1	A	1	23.400	18.500	432.900	535.700	2318.300	
		2	6.200	16.000	99.200			
		3	0.300	6.000	1.800			
		4	0.300	6.000	1.800			
	B	5	0.300	4.000	1.200	1392.948		
		6	24.500	14.000	343.000			
		7	4.650	0.505	2.348			
		8	52.800	17.000	897.600			
		9	31.000	3.000	93.000			
		10	6.200	9.000	55.800			
	C	11	28.000	13.495	377.860	389.652		
		12	23.350	0.505	11.792			

面積区画求積図 (S=1/300)

	防火区画（面積区画+異種用途区画） GB-F t12.5+GB-F t12.5 両面二重張り（FP060NP-0174）
	防火区画（面積区画） GB-F t12.5+GB-F t12.5 両面二重張り（FP060NP-0174）

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 平面法チェック図（区画）	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大堤1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/150 A3:1/300 図面No. H−08 原図 複図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

構造特記仕様書　その１

平成２７年５月１日　発行　一般社団法人　東京都建築士事務所協会
監修　東京都建築構造行政連絡会
適用は　●　印を記入する。

１．本仕様の適用範囲

（１）本仕様の適用範囲
本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が 18 N/mm²以上 60 N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定するSD295A、SD345、SD390およびSD490の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが60m以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建物の設計及び工事に適用する。

（２）仕様書等の優先順位
設計図書および仕様書の優先順位は以下による。
① 構造特記仕様書
② 設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など）
③ 構造関係共通事項（鉄筋コンクリート構造配筋標準図など）
④ 公共建築工事標準仕様書（一社公共建築協会　最新版）、以降「標準仕様書」という。

２．建築物の構造内容

（１）建築場所
栃木県河内郡上三川町町大字上蒲生127番地

（２）工事種別
● 新築　□ 増築　□ 改築　□　□

（３）構造設計一級建築士の関与
● 必要　□ 必要としない
● 法第20条第二号（ □ RC造高さ20 m超　□ S造 4階建以上　□ 木造高さ13 m超　● その他 ）

（４）階数
地下 0 階　地上 1 階　塔屋 0 階

（５）構造種別

構造種別	該当階等	架構特徴等
● 鉄筋コンクリート造　(RC)	(基礎)　階～　階	□ 免震建物
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造　(SRC)	階～　階	□ 制震建物
● 鉄骨造　(S)	1 階～　階	□ 塔状建物
□ 壁式鉄筋コンクリート造　(WRC)	階～　階	
□		

（６）主要用途
□ 事務所　□ 共同住宅　□ 病院　□ 店舗　□ 倉庫　● 複合施設

（７）屋上付属物
● キュービクル　kW　□ 受水槽　kW　● 非常用発電機　kW　□ 煙突　m
● 太陽光発電設備　● 室外機　□ アンテナ　□ 避雷針

（８）設計荷重
(a) 主な積載荷重　(N/m²)

室名	床用	架構用	地震用
屋上	980	600	400

(b) 1次設計用地震力
Co = 0.20　Z = 1.00　Rt = 1.00　K（地下）= 0.10　地盤種別　1種　(2種)　3種
(c) 風荷重
地表面粗度区分　Ⅰ　Ⅱ　(Ⅲ)　基準風速 Vo = (30) 32 34 m/sec
(d) 雪荷重
● 垂直積雪量　30 cm　● 設計用雪荷重　0.6 kN/m²　□
(e) 特殊荷重及び特殊仕上材
□ エレベーター　kN　基　□ 受水槽　kN　□ エスカレーター
□ 発電機　kN　□　□

（９）構造計算ルート
X方向ルート －（ 3 ）Y方向ルート －（ 3 ）

（10）重要度係数
□ 1.00　● 1.25　□ 1.50

（12）一次設計用層間変形角
X方向　1/ 150 rad　Y方向　1/ 150 rad

（13）付帯工事
□ 門塀　□ 擁壁　□ 駐輪場　□ 機械式駐車場　□

（14）特定天井
□ 有　● 無

（15）屋根、床、壁

材種	型式　厚　その他	使用箇所	仕様・構法
ALC　(JIS A 5416)	厚	□ 壁　□ 床版	□ スライド　□ ボルト止め
押出し成形セメント版	厚 60	● 壁　□ 床版	□ ロッキング　□
□ ハーフPca版　□ Pca版	厚	□ 壁　□ 床版	□
折　版	H=　厚	□ 屋根　□	□
デッキプレート 大臣認定(FP060FL-9095)	型式　厚 1.2	□ 屋根　● 床版	● 1時間耐火　□ 2時間耐火

３．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（１）コンクリート　（レディーミクストコンクリート　JIS Q 1001、JIS Q 1011、JIS A 5308）

適用範囲 階	適用範囲 部位	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質基準強度 Fq = N/mm²	スランプ cm (スランプフロー)	比重 γ= kN/m³	備考
	□柱 □梁 □壁 □床版 □ □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □ □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □					
R	□柱 □梁 □壁 ●床版 □ □	24	24	18	24	
1	●床版 □ ●基礎 ●基礎梁	24	24	18又は15	24	
	外構	● 21	21	18以下	24	
	土間コンクリート	● 24	24	18以下	24	※本仕様適用外
	捨てコンクリート	● 18	18	15以下	24	※本仕様適用外
セメントの種類		● 普通ポルトランドセメント □ 中庸熱ポルトランドセメント □ 低熱ポルトランドセメント				
細骨材の種類		● 砂 □ 山砂 □ 砕砂 □				
粗骨材の種類		● 砂利 ● 砕石 □				
水の区分		● 水道水 □ 地下水 □ 工業用水				
構造体コンクリート強度を保証する材齢		材齢（● 28日 □ 56日 □ 91日 □ ） 養生（● 標準 ● 現場水中 □ 現場封かん □ ）				
単位水量		● 185 kg/m³以下	□ 175 kg/m³以下			
単位セメント量		● 270 kg/m³以上	□			
混和剤		● AE減水剤	● 高性能減水剤			
空気量		● 4.5±1.5%以内	□ 3.0%以下			
塩化物量		● 0.3 kg/m³以下	□			
水セメント比		● 65 %以下	● 60 %以下（寒中コンクリート）			

（２）コンクリートブロック（ □ JIS A 5406）
□ A種 □ B種 □ C種　厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190　使用箇所（□　□　）

（３）鉄　筋

鉄筋	種類	使用径 mm	使用箇所	備考
異形鉄筋 (JIS G 3112)	● SD295 A	D10～D16	躯体全体	● 重ね継手
	□ SD295 B			● ガス圧接継手
	● SD345	D19～D25	躯体全体	□ 溶接継手
	□ SD390	D29～D32	躯体全体	□ 機械式継手
	□ SD490	D35		□ 機械式定着工法
高強度せん断補強筋	□ 685			□ 大臣認定番号 MSRB-
	□ 785			
	□ 1275			
溶接金網 (JIS G 3551)	□	φ4.5～φ6		

注1）SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。
注2）各継手の使用詳細については本仕様その2の9.（2）鉄筋の項の鉄筋継手の項に□にて表示すること。

（４）鉄　骨

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□ SN400 A ● SN400 B □ SN400 C	断面表による	□ 有 ● 無	JIS G 3136
● SN490 B ● SN490 C □		□ 有 ● 無	JIS G 3136
● SS400 □ SS490 □		□ 有 ● 無	JIS G 3101
□ SM400 A □ SM490 A □		□ 有 ● 無	JIS G 3105
● BCR295 □ BCP235 □ BCP325		□ 有 ● 無	大臣認定品 認定番号 MSTL-
● STKN400B □		□ 有 ● 無	JIS G 3475
● SSC400 □		□ 有 ● 無	JIS G 3350
● STKR400 □		□ 有 ● 無	JIS G 3466
溶接材料 ● □			JIS Z

（５）ボルト等
● 高力ボルト
● F10T(JIS B1186)　● S10T 大臣認定番号（　）（● M16、● M20、● M22、□ M24、□ ）
● 溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大臣認定番号（　）（● M16、● M20、□ M22、□ M24、□ ）
□
● ボルト(JIS B1180)　M12　M16　● 4.8(4T)　□　□
● アンカーボルト
● SS400　□ SNR400　□ SNR490　（径及び長さは別紙に示す）
□ 頭付スタッド(JIS B1198)
φ=　L=　mm　使用箇所（□ 柱　□ 大梁　□ 小梁）
φ=　L=　mm　使用箇所（□ 柱　□ 大梁　□ 小梁）

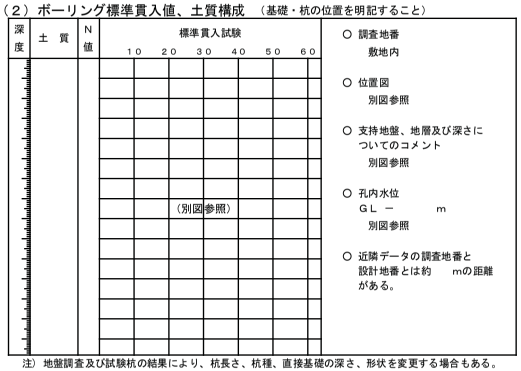
４．地　盤

（１）地盤調査資料と調査計画
● 有　（● 敷地内　□ 近隣 ）　□ 無　（調査計画　□ 有　□ 無 ）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	●		静的貫入試験			標準貫入試験	●	
水平地盤反力係数の測定			土質試験	●		物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定	●	
スウェーデン式サウンディング			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに●を記入する。

（２）ボーリング標準貫入値、土質構成　（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

５．地業工事

（１）直接基礎　□ ベタ基礎　□ 布基礎　● 独立基礎　試験堀　□ 有　● 無
深さ GL-1.40 m　**支持層**：　長期許容支持力度　kN/m²　載荷試験　□ 有　● 無

（２）地盤改良　□ 浅層混合処理工法　● 深層混合処理工法　□
第三者審査機関による技術審査証明書を取得した工法とし、特記した工法または同一工法とする。
深さ GL－ 5.7 m　**支持層**：砂れき　長期許容支持力度 200kN/m²　載荷試験　□ 有　● 無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする

（３）杭基礎　**支持層**：
杭工法　□ アースドリル工法
□ プレボーリング拡大根固め工法
□ 回転貫入羽根付き鋼管杭
杭　種　□ 場所打ち杭（□ 鋼管巻・□ 拡頭・□ 拡底 ）
□ 既製杭　（□ ＳＣ・　□ ＰＨＣ・□ ＰＨＣ・□ 羽付鋼管 ）
承認図書　□ 施工計画書　□ 杭施工結果報告書
試験杭　（□ 有・□ 無 ）　（□ 打ち込み・□ 載荷・□ 孔壁測定 ）　本

６．鉄骨工事（施工方法等計画書）

（１）鉄骨工事は指示のない限り下記による
● 日本建築学会「JASS6 2018年版」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
● 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
● 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（２）工事監理者の承認を必要とするもの
● 製作工場　● 製作要領書　● 工作図　● 施工計画書
● 認定または登録工場（大臣認定 S H (M) R J グレード　都登録 T1 T2 T3 ランク）
● 材料規格証明書※、または試験成績書
● 鋼材　● 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ 頭付スタッド
※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
● 社内検査表　□　□

（３）工事監理者が行う検査項目
（● 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 現寸検査　● 組立・開先検査　● 製品検査　● 建方検査　□

（４）接合部の溶接は下記によること
● 平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
● 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
● 日本建築学会「鉄骨工事技術指針　工事現場施工編」

（５）接合部の検査
● 溶接の検査（検査結果は工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
● 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査 (※1)	１００％	３０ 個/ロット	(※2) % 個	
	超音波探傷検査	１００％	(※4) % 個	(※2) % 個	
	内質検査 (注) □ 硬さ試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査 (注) □ 示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他				
	外観検査 (※5)	１００％	３０ 個/ロット	(※2) % 個	
□ 第三者検査機関名 (※3)		(都知事登録　号)			

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
(※1) 平成12年建設省告示第1464号第二号による（仕口のずれ、食い違いの目視及び計測）
(※2) 報告書を確認
(※3) CIW認定を取得していること
(※4) 標準仕様書7.6.12の抜き取り率による
(※5) JASS6の付則の付表3による

注１）現場溶接部については同質として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

（６）防錆塗装
● 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□ 要　● 否　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　● 否
● 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
● トルシア形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとピンテールの破断を確認する。

（７）耐火被覆の材料
● 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、□ JIS K 5621、● JIS K 5625、□ JIS K 5674、□（フォースター　F☆☆☆☆）を使用し、2 回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
● 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2 回塗りとする。
□

７．設備関係

● 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
● エレベーター・エスカレーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。また、地震時の層間変形に追従できること。
● 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
● 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
第129条の2の4の事項
・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
● 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがあるものには、有効なさび止め又は防腐のための措置を講じること。
● 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
● 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
● 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備(※6)を除く。）は、
● 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
● 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
● 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止の措置を講ずること。
● 管を支持し、又は固定する場合においては、釣り金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
● 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
● 給湯設備(※6)は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示1388号第5に規定する構造方法によること。
(※6)「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当したものを除いたもの。

８．その他

● 請官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
● 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
● 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

有限会社スバン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54186 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬　博明

工事名	(仮称) 上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	構造特記仕様書（１）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ 二 A3：1/ 二
		図面No.	S－01
	株式会社 フケタ設計	承認	検図
	代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号		
	本　社　栃木県宇都宮市大宮１丁目５番８号　TEL (028)(622)8928		

管理建築士	古澤　康夫
	一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号　　号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号　　号

構造特記仕様書　その2

平成２７年５月１日　発行　一般社団法人　東京都建築士事務所協会
監修　東京都建築構造行政連絡会
適用は ◉ 印を記入する。

９．鉄筋コンクリート工事

（１）コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、標準仕様書 による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では標準仕様書に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについては標準仕様書の1節～15節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。　また、設計基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格品外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。
軽量コンクリートについては 標準仕様書 の10節によること。

表9.1　コンクリート圧縮強度(N/mm²)に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 Fc	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS5での区分	普通コンクリート							高強度コンクリート							

表9.2　レディーミクストコンクリートのJIS規格品

調合管理強度（N/mm²）	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
呼び強度（JIS規格品）	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※

※印は規格外

(b) 品質と施工

◉ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とする。
◉ 設計基準強度が 36 N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。
◉ レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。
◉ 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が 36 N/mm²以下 33 N/mm²以上の場合スランプ 21cm以下、33 N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし、設計基準強度が 36 N/mm²超 45 N/mm²未満の場合はスランプ 21 cm以下またはスランプフロー 50 cm以下、設計基準強度が 45 N/mm²以上の場合はスランプ 23 cm以下またはスランプフロー 60 cm以下とし、特記による。
◉ コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として 0.3 kg/m³以下とする。
◉ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として120分を限度とする。
◉ コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
◉ 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。
◉ 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて3日以上とする。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

ⅰ）高強度コンクリート

□ 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は 28日とする。
□ 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は 91日とする。
□ 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に 3 N/mm²加えた値以上とする。
□ 調合管理強度は、以下による。

$_HFm = Fc + mSn$ (N/mm²)

$_HFm$ ： 高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
Fc ： コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
mSn ： 高強度コンクリートの構造体強度補正値で JASS5 による。

□ 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。

$_HF \geqq {}_HFm + 1.73\,{}_H\sigma$ (N/mm²)
$_HF \geqq 0.85\,{}_HFm + 3\,{}_H\sigma$ (N/mm²)

$_HF$ ： 高強度コンクリートの調合強度 (N/mm²)
$_H\sigma$ ： 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²)で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、0.1(Fc+mSn)とする。

ⅱ）普通コンクリート

◉ 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として 28日とする。
◉ 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。

表9.3　構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材齢(1)	判定基準
標準養生(2)	28 日	X ≧ Fm
コ　ア	91 日	X ≧ Fc

ただし、X ：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)
Fm：コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

[注]（1）早い材齢において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。
（2）工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当らない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。
＊標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が設計基準強度以上であれば合格とする。
＊コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内の n 日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が設計基準強度以上であれば合格とする。

◉ 調合管理強度は、以下による。

Fm = Fc + mSn (N/mm²)

Fm ： コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
Fc ： コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
mSn ： 標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度と構造体コンクリートの n 日における圧縮強度の差による構造体強度補正値 (N/mm²)

◉ 調合強度は標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材齢 m 日は、原則として 28 日とする。

F ≧ Fm + 1.73σ　(N/mm²)
F ≧ 0.85 Fm + 3σ (N/mm²)

F ： コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
σ ： 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²)で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は 2.5N/mm ､または 0.1Fm の大きい方の値とする。

(d) 検査

◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録および測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合 1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。
◉ スランプの許容差は、普通コンクリートの場合、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm（呼び強度27以上で高性能AE減水剤を使用する場合は±2cm）とする。
高強度コンクリートの場合は、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが 50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。
◉ 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28日で行い、1回の試験は、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150m³またはその端数ごとに 3個の供試体を用いて行う。3回の試験で 1検査ロットを構成する。
高強度コンクリートでは、打込み日かつ300m³ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数は 3回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。
◉ 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた 3台の運搬車から 1個ずつ採取した合計 3個の供試体を用いる。
高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
◉ 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5又は標準仕様書による。
構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c)調合および構造体コンクリート強度による。
□ コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名　　未定　　（都知事登録　　号）
代行業者名　　未定　　（登録番号　　号）

代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（２）鉄　筋

(a) 施工

◉ 鉄筋はJIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。
◉ 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは構造関係共通図（1）～(5)」による。
◉ 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4　鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2)（1）以外の部位(3) A 級	B 級	SA級	鉄筋の径	使用箇所
◉ 重ね継手	標準図による				◉D（16）以下	躯体全体
◉ 圧接継手	◉ 告示1463号第2項各号	◉			◉D（19）以上	躯体全体
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□D（　）以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□D（　）以上	

注）（1）以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2020）』によって検討した部材の条件・仕様にによること。

◉ 機械式継手および圧接継手および溶接継手は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
◉ ガス圧接の施工は、（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。強風時または降雨時には、原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
◉ 圧接技量資格者は、（公社）日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
◉ 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

継手部の検査方法

各継手工法ごとの検査は平12建告1463号による他、具体的な検査方法は、（公社）日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表9.5　継手の検査

	継手方法	外観検査	引張試験	超音波探傷試験
1	ガス圧接	◉ 有 100 %	□ 有 ◉ 無 % 個	◉ 有 □ 無 ※1 % 個
2	溶　接	□ 有 %	□ 有 □ 無 % 個	□ 有 □ 無 % 個
3	機 械 式	□ 有 %		□ 有 □ 無 % 個

※1ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、試験の箇所数は1ロットに対して30箇所とする。（1ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。）

□ 鉄筋の継手の試験・検査は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第 4 条の試験機関、又は第 8 条の検査機関で行うこと。

試験・検査機関名　　（都知事登録　　号）

（３）型　枠

◉ 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建告第1655号に基づき下表による。

表9.7　型枠存置日数　　昭和46年建設省告示第110号（昭和63年改正建設省告示第1655号）

種類 / 部位	せき板 基礎、梁側、柱、壁				支柱 スラブ下		梁下
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	混合セメントA種		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント / 混合セメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 混合セメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3			8	17	28
5℃～15℃	3	5			12	25	28
5℃未満	5	8			15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm²				設計基準強度の 85%		100%

注）1 片持ち梁、庇、スパン 9.0m 以上の梁下は、工事監理者の承認による。
注）2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注）3 支柱の盛替えは、行わない。
注）4 支柱の最小存置期間を上記材齢より短くする場合、圧縮強度確認の他に施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることを確認する。

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士 事務所 東京都知事登録 第　54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	構造特記仕様書（２）
作成者	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三栗 富男　一級建築士登録番号 89479 号 本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL 028-622-8928
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1：1/ ニ A3：1/ ニ
図面No.	S－02
承認 / 検図	
管理建築士	古 澤 康 夫　一級建築士登録番号 223925 号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号

構造関係共通事項

1 総則

1.1 適用範囲

（1）構造関係共通事項は、構造関係の共通的事項と、構造関係共通図（配筋標準図）、構造関係共通図（鉄骨標準図）から構成される。

（2）構造関係共通図（配筋標準図）は、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。

（3）構造関係共通図（鉄骨標準図）は、鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。

1.2 優先順位

（1）設計図書間で配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。

1．構造図及び構造関係共通図（構造関係共通事項）

2．構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）

1.3 用語の定義

（1）構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通図以外の図面をいう。

（2）異形鉄筋の径（本文、図、表において「D、d」で示す）は、呼び名に用いた数値とする。

（3）長さ、厚さ等の単位は、特記さき限りmmとする。

1.4 記号等

図面で使用する記号等は、表1.1～1.3を標準とする。

表1.1 異形鉄筋の断面表示記号

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	●	×	⌀	●	○	◉	⊗	◎

表1.2 梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建　築	⊖	⊘	┼	⊥	⊖	⊘	╫	⊥	⊖	⊘	╫	⊥	⊖	⊘	╫

表1.3 スリーブ材質の凡例

管　名	鋼　管	溶融亜鉛めっき鋼管	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

構造関係共通図（配筋標準図）

1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図（余長）	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A SD295B、SD345		SD390
		D16 以下	D19 ～ D38	D19 ～ D38
180°	4d 以上	3d 以上	4d 以上	5d 以上
135°	6d 以上			
90°	8d 以上			
135°及び90°（幅止め筋）	4d 以上 / 4d 以上			

1．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は 4d 以上とする。

2．90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

2 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

（1）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

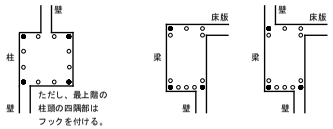


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

（2）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）

（3）杭基礎のベース筋

（4）帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 継手及び定着

（a）鉄筋の重ね継手

（1）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

（2）鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種　類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L_1（フックなし）	L_{1h}（フックあり）
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24、27	35d	25d
	30、33、36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24、27	40d	30d
	30、33、36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24、27	45d	35d
	30、33、36	40d	30d

（注）1．L_1、L_{1h}：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。

2．フックありの場合のL_{1h}は、図3.1に示すようにフック部分Qを含まない。

3．軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

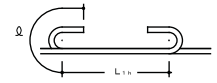


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

（3）主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上（軽量骨材を使用する場合は 50d 以上）とする。1.0の重ね継手の長さのうち大きい値とする。

（4）隣り合う継手の位置は、表3.2による。

ただし、壁の場合及びスラブ筋で D16 以下の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	$a=0.5L_{1h}$ / $a\geqq0.5L_{1h}$
	フックなしの場合	$a=0.5L_1$ / $a\geqq0.5L_1$
溶接継手 ガス圧接継手	—	ガス圧接継手・溶接継手 $a\geqq400$mm
機械式継手	—	カップラー $a\geqq400$mm、かつ、$a\geqq(b+40)$ mm

（b）鉄筋の定着

（1）鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種　類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L_1	L_2	L_3		L_{1h}	L_{2h}	L_{3h}	
				小梁	スラブ			小梁	スラブ
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24、27	35d	30d			25d	20d		
	30、33、36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24、27	40d	35d			30d	25d		
	30、33、36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24、27	45d	40d			35d	30d		
	30、33、36	40d	35d			30d	25d		

（注）1．L_1、L_{1h}：2．以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。

2．L_2、L_{2h}：耐震破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。

3．L_3 ：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。

4．L_{3h} ：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。

5．フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 Q を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6．軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

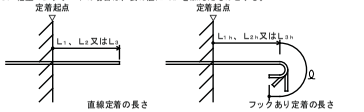


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

（2）梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の（ⅰ）、（ⅱ）及び（ⅲ）をすべて満足するものとする。

（ⅰ） 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上

（ⅱ） 余長は 8d 以上

（ⅲ） 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

※ 梁主筋の柱内定着長さについては、40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

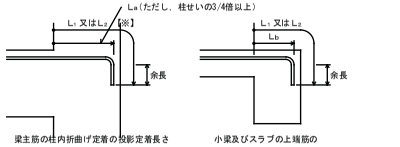


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種　類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L_a	L_b
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24、27	15d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24、27	20d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24、27	20d	20d
	30、33、36	20d	15d

（注）1．L_a ：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）

2．L_b ：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）

3．軽量コンクリートの場合は、表の値に 5 d を加えたものとする。

（3）溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。

なお、L_2 及びL_3 は表3.3の（注）による。

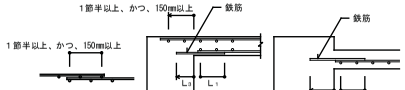


図3.4 溶接金網の継手及び定着

（4）スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

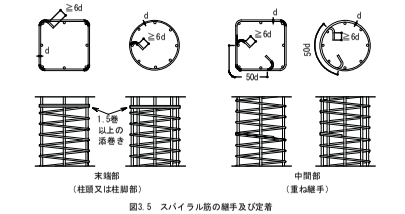


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

（a）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。

ただし、柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種別			最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20
		仕上げなし	30
	柱、梁、耐力壁 屋内	仕上げあり	30
		仕上げなし	30
	屋外	仕上げあり	30
		仕上げなし	40
	擁壁、耐圧スラブ		40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁		*40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ		*60
煙突等高熱を受ける部分			60

（注）1．＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。

2．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。

3．スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。

4．杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。

5．塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

（b）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

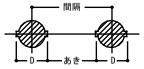
（c）鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（d）鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。

（1）粗骨材の最大寸法の1.25倍

（2）25mm

（3）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍



D は、鉄筋の最大外径

図4.1 鉄筋相互のあき

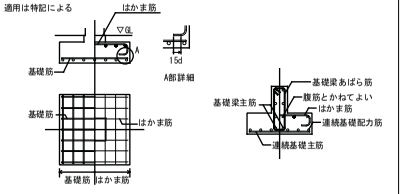
（e）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

（f）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

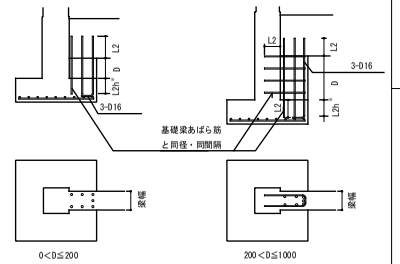
5.1 基礎の配筋

（1） 直接基礎の配筋

適用は特記による



（2） 基礎接合部の補強



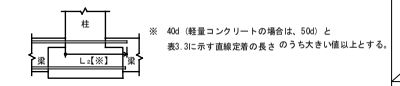
※ L2hを確保できない場合は、6.（2）によることができる。

5.2 基礎梁

（a）一般事項

（1）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

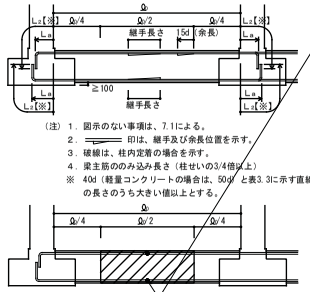
（2）梁筋を柱内に定着する場合は、7.1 (b)(4)による。



※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

（b）独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。

2．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。

3．破線は、柱内定着の場合を示す。

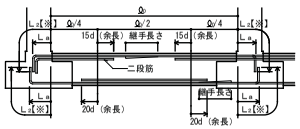
4．梁主筋のの余長（柱せいの3/4倍以上）

※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その１）

（c）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。

ただし、副圧スラブが付く場合は、（d）による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。

2．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。

3．破線は、柱内定着の場合を示す。

4．梁主筋のの余込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

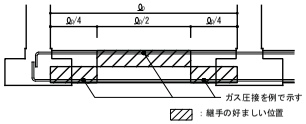
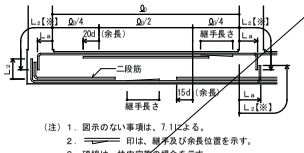


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その２）

（d）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。

（副圧スラブがつく場合を含む）



（注）1．図示のない事項は、7.1による。

2．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。

3．破線は、柱内定着の場合を示す。

4．梁主筋のの余込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

図5.4 主筋の継手、定着及び余長（その３）

5.3 基礎梁のあばら筋等

（a）一般事項

（1）あばら筋の径および間隔は、設計図による。

（2）あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2 (b)による。

ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

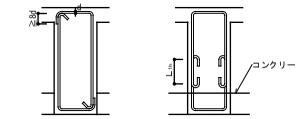


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

（b）腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は設計図による。

（c）あばら筋の耐付けは、7.2(c)による。

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 栃木県知事登録 第 5418号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796号
構造設計一級建築士 第 6148号 長瀬 博明

工事名	(仮称) 上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	構造関係共通事項通（１）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ 二 A3：1/ 二
		図面No.	S－03
承認		検図	

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)8828

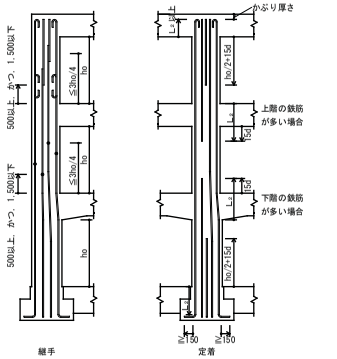
管理建築士	古澤 康夫
一級建築士登録番号	223925号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号

6.1 柱

（a）一般事項

（1）継手中心位置は、梁上端から500㎜以上、1,500㎜以下、かつ、3ho/4（hoは柱の内法高さ）以下とする。

（2）継手、定着及び余長は図6.1による。柱頭定着長さLdが確保できない場合は設計図による。



（注）1．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2．隣り合う継手の位置は、表3.2［隣り合う継手の位置］による。
3．継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

（b）柱打増し部

（1）打増し部分に、壁、梁及びスラブ等がとりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。

（2）土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

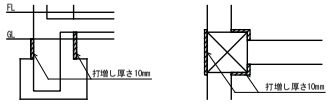


図6.2 柱打増し部

6.2 帯筋

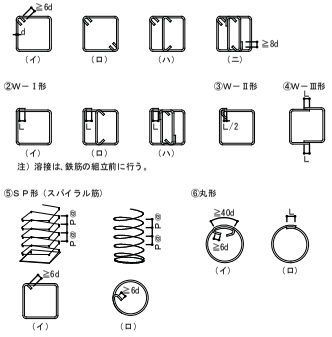
（a）帯筋の種類及び間隔は、設計図による。

（b）帯筋組立の形は図6.3により、適用は設計図による。

（1）Ｈ形の135°曲げのフックが困難な場合は、Ｗ－Ⅰ形とする。

（2）溶接する場合の溶接長さLは、両面重ねアーク溶接の場合は 5d 以上、片面重ねアーク溶接の場合は10d 以上とする。

（3）ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻き行う。

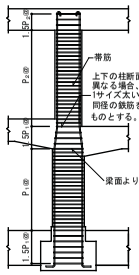


（注）③Ｗ－Ⅱ形、④Ｗ－Ⅲ形は耐震改修工事のみ

図6.3 帯筋組立の形

（c）フック及び継手の位置は交互とする。

（d）帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は設計図による。



柱梁接合部の帯筋の取り扱いについて

①接合部帯筋の間隔は、下階柱の一般部の1.5倍とする。

②一般部帯筋に中子筋がある場合は、接合部帯筋の中子筋は不要とし、間隔は1.5倍とする。

③一般部帯筋に高強度せん断補強を用いた場合は、接合部帯筋も高強度せん断補強筋を用い、間隔は1.5倍とする。。

（注）1．柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P₁@または1.5P₂@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
2．図中のP₁@ 、P₂@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4 帯筋の割付け

7.1 大梁

（a）一般事項

（1）梁の上がり下がりは FLを基準とした††法値とする。

（2）地中梁下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は設計図による。

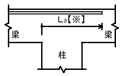
（3）打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。

（b）大梁主筋の継手及び定着の一般事項

（1）継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 Q₀/2以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、Q₀ o/4を加えた範囲以内

（2）継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。

（3）梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が、同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。



※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

図7.1 梁主筋の梁内定着

（4）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は3(b)(2)による。
上端筋：曲げ降ろす
下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。

（5）梁にハンチをつける場合、その傾斜は設計図による。

（6）段違い梁は、図7.2による。

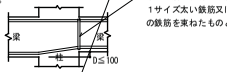
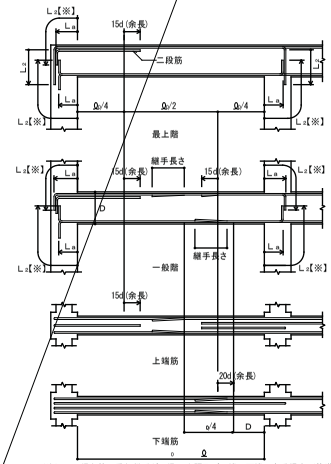


図7.2 段違い梁

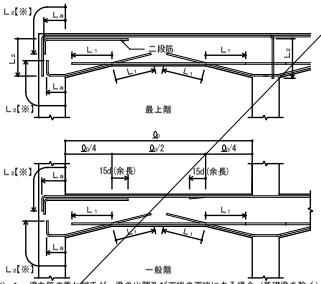
（c）ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



（注）1．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2．＝＝＝ 印は、継手及び余長を示す。
3．破線は、柱内定着の場合を示す。
4．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）
※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

（d）ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。



（注）1．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2．＝＝＝ 印は、継手及び余長を示す。
3．図内寸定着の端部下端筋が接近するときは、 のように引き通すことができる。
4．破線は、柱内定着を示す。
5．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）
※ 40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2 あばら筋等

（a）あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

（1）あばら筋の種類、径及び間隔は、設計図による。

（2）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150m程度とし、定着長さは図7.6による。
ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは設計図による。

（3）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000㎜程度とする。

（b）あばら筋組立の形及びフックの位置

（1）形は、図7.5（イ）とする。ただし、L形梁の場合は、（ロ）または（ハ）、T形梁の場合は（ロ）～（ニ）とすることが できる。

（2）フックの位置
ⅰ.（イ）の場合は交互とする。
ⅱ.（ロ）の場合 L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
ⅲ.（ハ）の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。

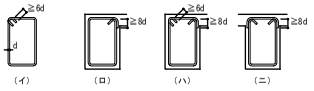
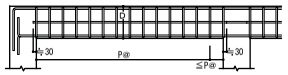


図7.5 あばら筋組立の形

（c）あばら筋の割付け

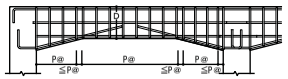
（1）間隔が一様でハンチのない場合は、図7.6による。



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2．図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け（その１）

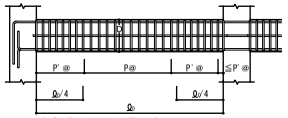
（2）間隔が一様でハンチのある場合は、図7.7による。



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2．図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.7 あばら筋の割付け（その２）

（3）梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。

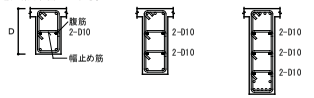


（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2．図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.8 あばら筋の割付け（その３）

（d）腹筋及び幅止め筋

（1）一般の梁は、図7.9による。



600≦D＜900　　900≦D＜1,200　　1,200≦D＜1,500

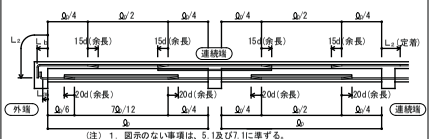
1．腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150m程度とする。
2．幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000㎜程度とする。

図7.9 腹筋および幅止め筋

7.3 小梁

（a）小梁主筋の継手、定着及び余長

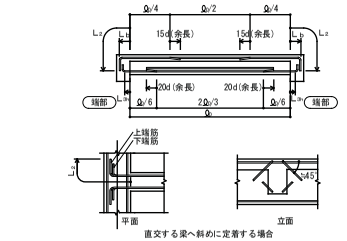
（1）連続小梁の場合は、図7.10による。



（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2．＝＝＝ 印は、余長位置を示す。

図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その１）

（b）単独小梁の場合は、図7.11による。



（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2．＝＝＝ 印は、余長位置を示す。

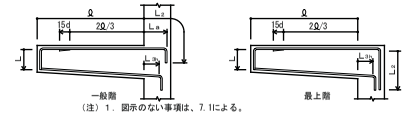
図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その２）

（c）あばら筋は、7.2による。

7.4 片持梁

（a）片持梁主筋の定着及び余長

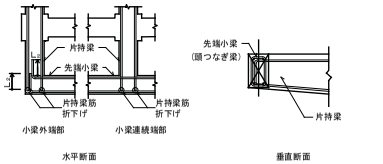
（1）先端に小梁のない場合は、図7.12による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。
2．＝＝＝ 印は、余長位置を示す。
3．先端の折曲げの長さには、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

（2）先端に小梁がある場合は、図7.13による。



（注）1．図示のない場合は、（1）による。
2．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13 片持梁主筋の定着

（b）あばら筋は、7.2による。

8.1 壁

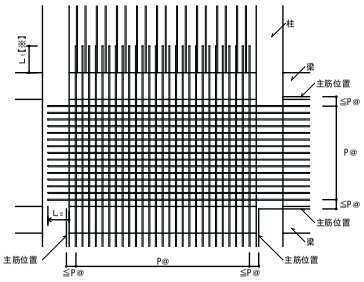
（a）一般事項

（1）壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さをL₁ 、定着長さをL₂とする。

（2）幅止め筋は、縦横ともD10-1,000㎜程度とする。

（3）EW○○、EW○○の配筋はWO○、KW○○に同じで、かぶり厚さ、定着長さ及び継手長さは、3、4による。

（4）打増し部分に、壁及びスラブ等が取り付く場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。



（注）図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

図8.1 壁の配筋

※ 耐力壁については、40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.1に示す直線定着の長さのうち大きい値以上とする。

（b）壁の配筋は設計図による。

（c）片持スラブ制開段を受ける壁の配筋は設計図による。
（注） 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

（d）土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

（e）壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

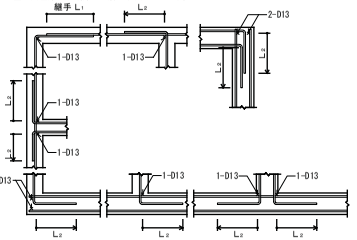


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

8.2 一般壁の補強

（a）壁開口部の補強

（1）壁開口部の補強筋は、構造図による。

（2）壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

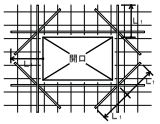


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

（b）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、設計図による。

9.1 スラブ

（1）スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、FLを基準とした††法値とする。

（2）土間スラブ下の砂利地業厚及び捨てコンクリート厚は設計図による。

（3）土間コンクリート補強筋 (D0) の配筋及びコンクリート厚さは設計図による。

（4）スラブの配筋（S形配筋）は図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、設計図による。

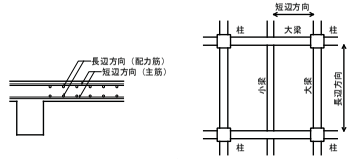


図9.1 スラブの配筋

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	構造関係共通事項（2）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ 二 A3：1/ 二
		図面No.	S－04

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士 事務所 栃木県知事 登録 第 5 4 1 8 9 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 2 8 8 7 9 0 号
構造設計一級建築士 第 6 1 4 8 号 長瀬 博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 8 9 4 7 9 号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028-622-8928

承認		検図	

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

（5）配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
（6）鉄筋の重ね継手長さは、40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と表3.3に示すフックなし重ね継ぎ手長さL'dのうち大きい値以上とする。
（7）定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

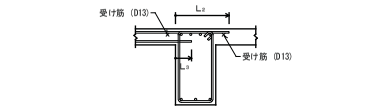


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）

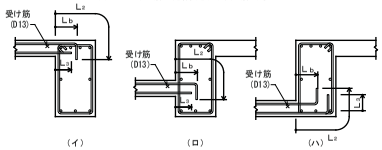
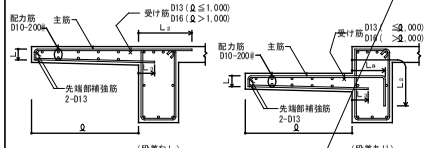


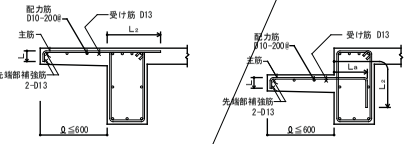
図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）

9.2 片持スラブ

片持スラブの配筋は、次による。
（１）片持スラブの配筋（CS形配筋）は、図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、設計図による。



（注）１．先端の折り曲げ長さしは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
図9.4 片持スラブの配筋（CS11 からCS15



（注）１．先端の折り曲げ長さしは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
図9.5 片持スラブの配筋（CS16及びCS17）

（２）先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

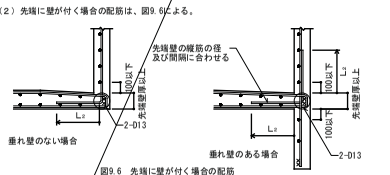
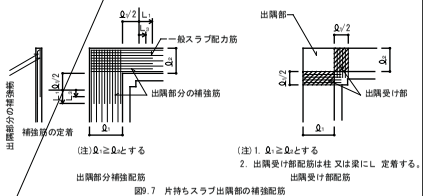


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

（３）出隅部
（ｉ） 補強の配筋は設計図による、配筋方法は、図9.7による。
（ii）出隅受け部分（図9.7の斜線部分）の補強筋は設計図による。



（注）1. Q1≧Q2とする
2. 出隅受け部配筋は柱 又は梁にし 定着する。
図9.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

（ａ）スラブ開口部の補強
スラブ開口部の補強方法は、構造図による。構造図になければ、(i)(ii)による。
（ｉ）スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（ℓ＝2Lｓ）シングルを上下筋の内側に配筋する。

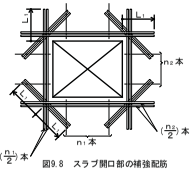


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

（ii）スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

（ｂ）屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

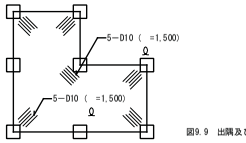
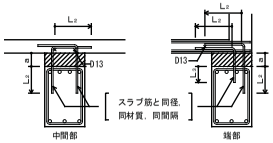


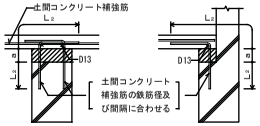
図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

（ｃ）土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブで SRiの配筋によるものをいう。



（注）ａ≦300の場合
図9.10 打継ぎ補強配筋

（ｄ）土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、設計図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。



（注）ａ≦300の場合
図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

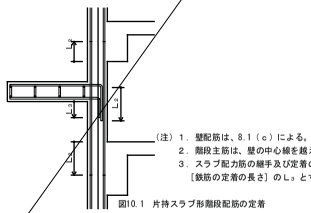
10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、設計図による。

表10.1 片持スラブ形階段の配筋

t：スラブ厚さ

配筋種別	KA1	KA2
配筋図	D13 D13 D10-300# D10-300# t	2-D13 2-D13 D10-300# D10-300# t
配筋種別	KA3	KA4
配筋図	D10-300# t D13 D13	D10-300# t D13 2-D13



（注）１．壁配筋は、8.1（ｃ）による。
２．階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
３．スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表3.3［鉄筋の定着の長さ］のLₐとする。
図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2及び図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、設計図による。
表10.2 二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13,D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

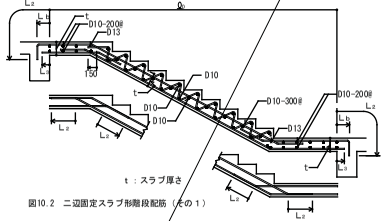
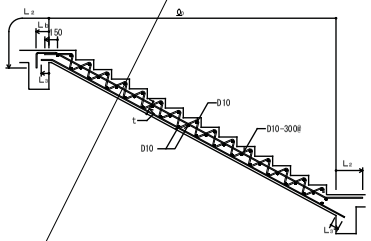


図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その１）



（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

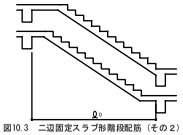


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その２）

11.1 梁貫通孔

（ａ）梁貫通孔は、次による。
（１） 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
（２） 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
（３） 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3（Dは梁せい）の範囲には設けてはならない。
（４） 孔は、柱面から原則として、1.5D 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
（５） 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の 3倍以上とする。
（６） 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
（７） 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
（８） 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、かつ、設計図に特記された場合において、補強を省略することができる。
（９） 溶接金網の余長は、1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
（10） 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に 4箇所以上溶接する。
（11） 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

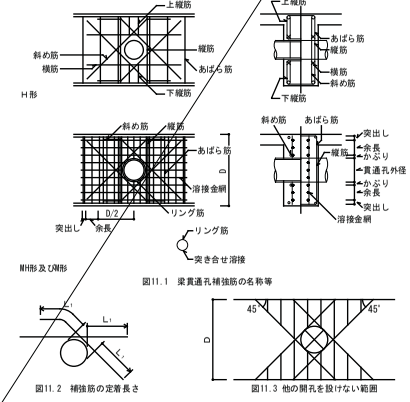


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等
図11.2 補強筋の定着長さ
図11.3 他の開孔を設けない範囲

（ｂ）梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は設計図による。
表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-D13			
H3	4-D13	2-D13	2-D13	2-D13	
H4	4-D16				
H5	4-D16	4-D13	2-D13	3-D13	
H6	4-D19				
H7	4-D22				

（注） ——— は、一般部分のあばら筋を示す。
表11.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-D13	なし	
M2	4-D13		
M3	4-D13	2-6φ-100#	
M4	6-D13		

（注） ——— は、一般部分のあばら筋を示す。
表11.3 NH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
NH1	2-D13	なし	なし	
NH2		2-D13		
NH3	2-D13	2-D13	2-6φ-100#	
NH4	4-D13			
NH5	4-D16			
NH6	4-D16	4-D13	2-6φ-100#	
NH7	4-D19			

（注） ——— は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 はり貫通孔の補強

国土交通大臣の認定を受けた製品、又は指定性能評価機関により性能が確認された補強筋を使用しても良い。その場合、認定条件を十分に確認のこと。また、補強金物の他、孔際スターラップを使用する場合が多いので計算書を確認すること。

11.3 コンクリートブロック帳壁との取合い

（ａ）控壁は、次による。
（１）控壁の配置は、設計図による。
（２）配筋は、図11.4による。

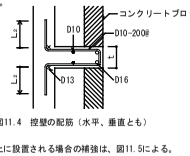


図11.4 控壁の配筋（水平、垂直とも）

（ｂ）帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

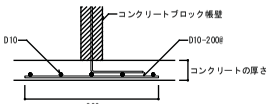


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.4 パラペット

パラペットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

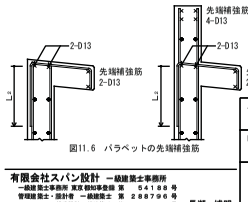


図11.6 パラペットの先端補強筋

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54180 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

12 擁壁

宅地造成等規制区域外での高さ2ｍ以下の擁壁の鉄筋の定着長さは図12.1により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。

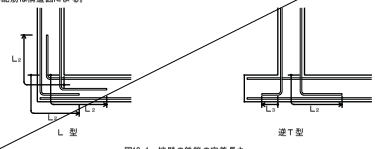
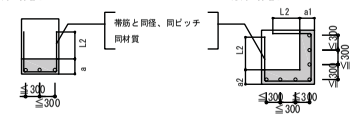


図12.1 擁壁の鉄筋の定着長さ

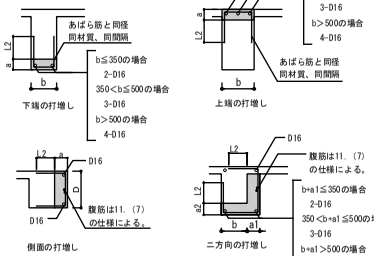
13 補強配筋

（１） 柱のコンクリート打増し補強
一方向の打増し
二方向の打増し

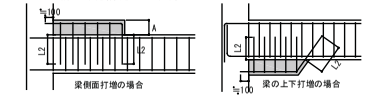


（注） 1. 柱の打増し幅（a,a1,a2）が70mm以上の場合の補強を示す。
2. 帯筋同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。
3. 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。
4. 軸方向筋はD16とする。

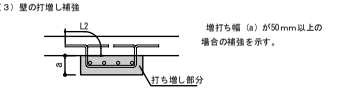
（２） 梁のコンクリート打増し補強



（注） 1. 増打ち幅（a,a1,a2）が70mm以上の場合の補強を示す。
増打ち幅（a,a1,a2）が300mmを超える場合は腹筋を設ける。
300<増打ち幅≦600は2-D10、600<増打ち幅≦900は4-D10とし、幅止め筋をD10@1000とする。
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さはL2とする。

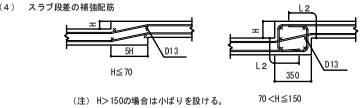


（３） 壁の打増し補強

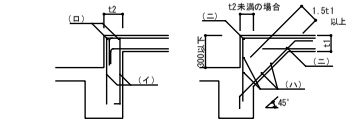


増打ち幅（a）が50mm以上の場合の補強を示す。

（４） スラブ段差の補強配筋



（注） H>150の場合は小ばりを設ける。



（注） 1. t2の厚さは200又はt1のいずれか大きい値とする。
2. （イ）配筋は壁配筋表による（縦、横共）、（ロ）は壁配筋より1サイズ太い鉄筋とする。
3. （ハ）配筋はスラブと同径・同間隔（縦、横共）とし（ニ）はスラブ筋と同径かつD13以上とする。
図5.11 段差のあるスラブの補強

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	構造関係共通事項（３）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ 二 A3：1/ 二
		図面No.	S－05

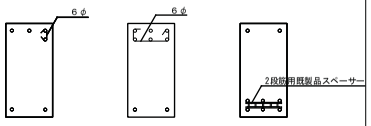
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号 TEL.028(622)8928

承		検	
認		図	

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

14　吊り筋仕様及びスペーサーの配置

(1) 吊り筋



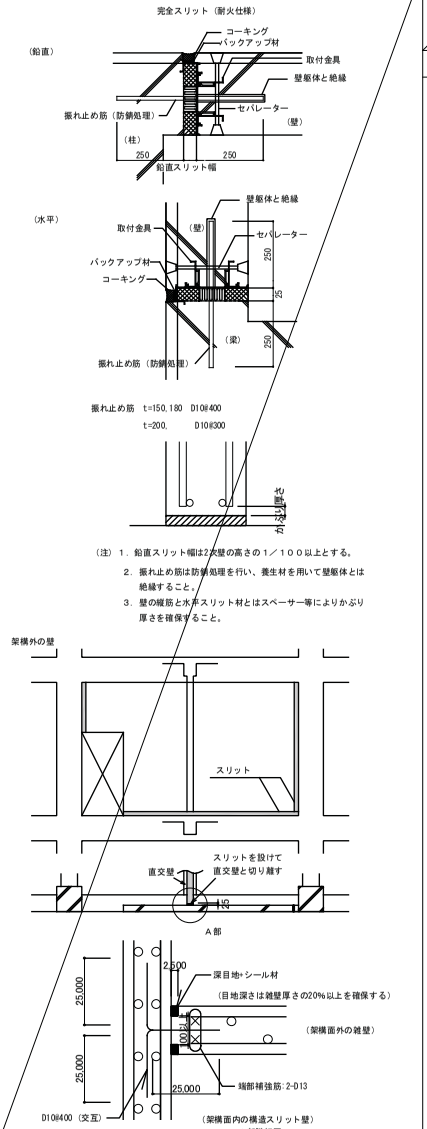
又はＳ金物使用　　吊り筋は＠２０００に入れる事。

(2)　スペーサーの個数は、下表を標準とする。また、スラブ下端筋の梁際は、かぶり厚さが足りなくなることが多いので注意する。なお、モルタル製のスペーサーは使用しない。

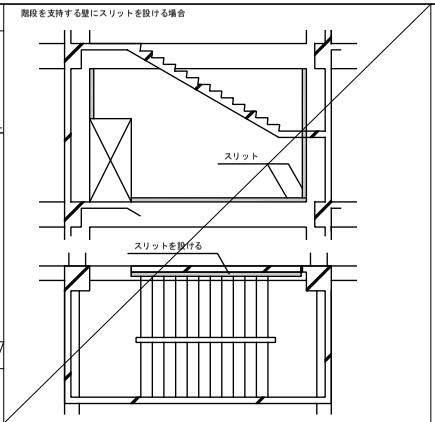
スペーサーの個数の標準

部　位	スラブ	壁	梁	柱
個　数	上端：1.3個／m²程度 下端：1.3個／m²程度	間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内	上段は梁下より0.5m程度 中段は柱脚と上段の中間 柱幅方向は1.0m まで2個 1.0m以上3個	上段梁下より0.5m程度 中段上段より1.5m間隔程度 横間隔は1.5m程度 端部は1.5m以内

15　構造スリット詳細



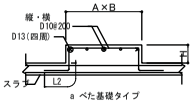
（注）１．鉛直スリット幅は2次壁の高さの１／１００以上とする。
２．振れ止め筋は防錆処理を行い、養生材を用いて壁躯体とは絶縁すること。
３．壁の縦筋と水平スリット材とはスペーサー等によりかぶり厚さを確保すること。



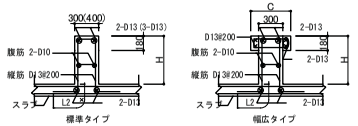
16　雑詳細図

機械基礎の配筋要領

(1)　スラブから立上げる基礎の場合
1)　　A×B、C および H は意匠図による。
2) あご付きとする場合は、　パラペットの配筋に準じる。
3)　　機械基礎を梁形状とする場合は、構造図による。



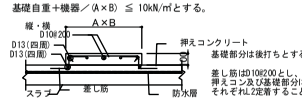
a べた基礎タイプ



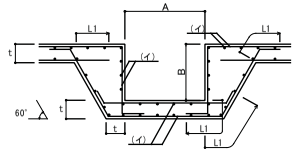
標準タイプ　　幅広タイプ

b ゲタ基礎タイプ

(2)　防水層の上に設ける基礎の場合
1) A×Bおよび H は意匠図による。
2) 荷重制限　：　基礎自重＋機器／(A×B) ≦ 10kN/㎡とする。



釜場の配筋要領



（注）１．基礎スラブピット配筋（イ）は接続する基礎スラブと同径・同間隔とする。
２．基礎スラブピット厚さは接続する基礎スラブと同厚とする。
３．A、Bは意匠図による。

ハト小屋の配筋要領

屋上配管取出口（B≦1500, H≦2000）

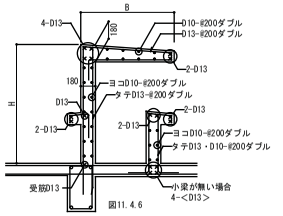
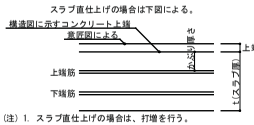


図11.4.6
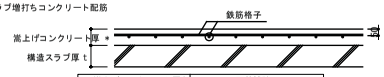
床スラブ増し打要領

スラブ直仕上げの場合は下図による。



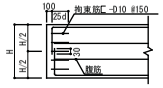
（注）1. スラブ直仕上げの場合は、打増を行う。
2. 打増寸法は意匠図による。

床スラブ増打ちコンクリート配筋



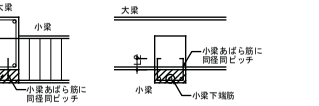
嵩上げコンクリート厚さ	配筋補強
* ＜ 80mm	配筋不要
80 ≦ * ＜ 200mm	D6 @200 シングル
200 ≦ * ＜ 300mm	D10@200 シングル
300 ≦ * ＜ 400mm	D10@100 シングル
400 ≦ *	D10,D13@100 シングル

片持梁の拘束筋要領

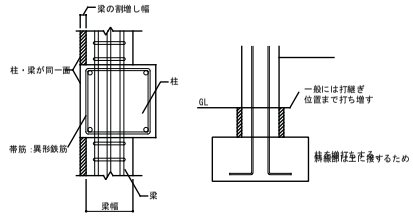


片持梁の先端

小梁下端が大梁下端から突出する場合の配筋要領



梁及び基礎の打増し



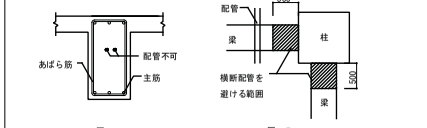
17　設備配管等の注意事項

(1)　柱に配管する場合
a)　材軸方向（鉛直方向）の配管
イ）　躯体内に配管等は設けない。（図-１）
ロ）　柱位置に配管を設ける場合は、乾式工法の仕上げ部又はコンクリートの打ち増し部に埋設する。（図-２）
ハ）　やむおえず設けたい場合は、構造担当者と協議する。
b)　材軸と直交方向の配管
イ）　柱を横断貫通する配管等は設けない。（図-３）階段室、吹き抜け廻りで床版配管できない場合は注意すること。
c)　スイッチボックス等の設置
イ）　柱躯体へのスイッチボックス等は設けない。
ロ）　柱位置にスイッチボックス等を設ける場合は、乾式工法の仕上げ部又はコンクリートの打ち増し部に埋設する。（図-２）

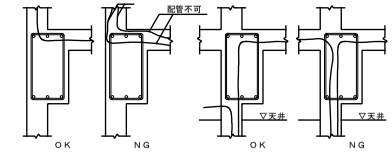


図－１　　図－２　　図－３

(2)　梁に配管する場合
a)　材軸方向の配管
イ）　軸方向の配管等は設けない。（図-４）
b)　材軸と直行方向の配管
イ）　柱面より500mm以内の範囲に配管は設けない。（図-５）
ロ）　配管は、梁主筋の内側に通し、主筋とのあきを確保する。（図-６）
ハ）　配管は、梁主筋と直角に通す。（構造 Ｒの就止）
ニ）　配管相互の中心間隔は、あばら筋間隔以上とする。
c)　鉛直方向の配管
イ）　鉛直方向に貫通する配管は設けない。
ロ）　壁付梁で鉛直方向に貫通する配管を設ける場合は、一方の配管は、壁の型枠に孔をあけるなど、極力梁貫通を減らすように工夫すること。（図-７）ただし、配管相互の中心間隔は、あばら筋間隔以上とする。
d)　スイッチボックス等の設置
イ）　梁躯体へのスイッチボックス等は設けない。
ロ）　梁位置にスイッチボックス等を設ける場合は、乾式工法の仕上げ部又はコンクリートの打ち増し部に埋設する。

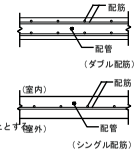


図－４　　図－５

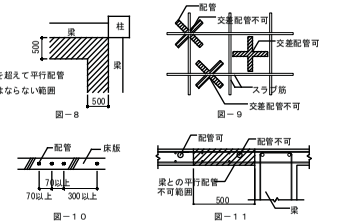


図－６　　図－７

(3)　壁に配管する場合
a)　外壁及び耐震壁には、原則として配管は設けない。
やむを得ず配管する場合は、PF（１６）以下の配管とし、配管ピッチは500mm以上とする。
また、地下外壁の配管は、接地用配管及び防犯用配管を除き、原則として設けない。
b)　配管が集中する分電盤廻り等で壁に埋設が困難な場合は、構造担当者と協議する。
c)　耐震スリット部を貫通する配管は行わない。
d)　配管は（図-１２）に示す位置に配置する。
e)　短区間（１m以内）を除き、横走り配管をしてはならない。
f)　一般壁（耐震壁以外）の配管の中心間隔は、壁縦筋間隔以上とする。
g)　蛇行配管は行わない。
h)　縦筋に溶わせない。
i)　壁付梁で鉛直方向に貫通する配管を設ける場合は、（図-７）による。　図－１２

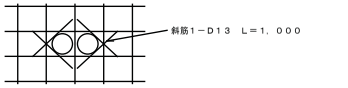


(4)　床板に配管する場合
a)　梁面より500mm以内の範囲に、1.0mを越える配管は設けない。（図-８）
b)　配管が集中するPS、分電盤、プルボックス廻り等で床板に埋設が困難な場合は、構造担当者と協議する。
c)　配管同士の交差は、鉄筋交差部では行わない。（図-９）
d)　配管相互の中心間隔は70mm以上とし、3本を超えて平行配管してはならない。
ただし、相互の間隔が300mm以上の場合はこの限りではない。（図-１０）
e)　蛇行配管は行わない。
f)　屋根スラブ面には、原則として配管を設けない。



図－８　　図－９　　図－１０　　図－１１

(5) 床に開口補強する場合
a)　主筋間隔以下で、かつ主筋を切断せずにスリーブが設けられているとき（補強不要）。ただし、同様スリーブが２本以上隣り合って設けられているときは鉄筋を配筋する。



図－１５

b）便器等のスラブ開口補強筋。

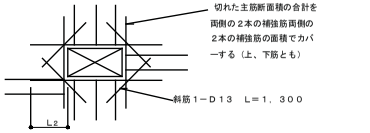


図-16

c）スリーブがまとまって配置されているとき。

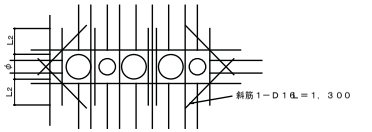
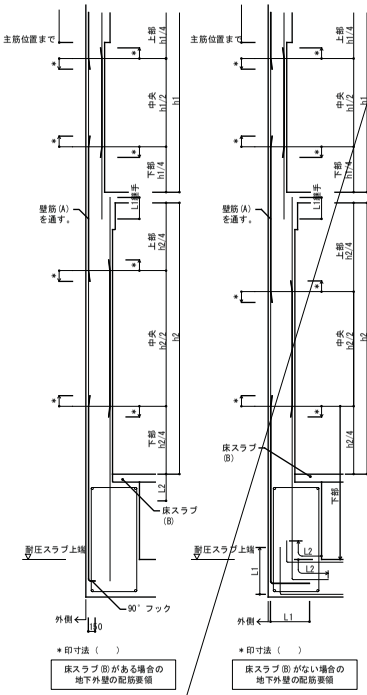


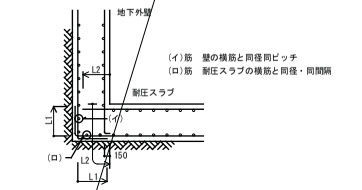
図-17

切れている主筋の断面積合計以上の断面積の補強筋を入れる。
スリーブ間にも入れる（上、下筋とも）。

18　地下外壁の配筋要領

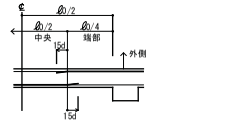


（注）１．地下外壁縦筋（A）を通すことを原則とする。但し施工上梁内に定着する場合は監理者と協議する。
２．地下外壁の壁筋は縦筋を外側に配筋する。
３．＊印はトップ筋の止めの位置を示す。＊印の寸法の記入がない場合は15dとする。



地下外壁と副圧スラブとの交差部に基礎梁配筋がない場合の接合部配筋要領

*2重スラブでなく、地下外壁厚さと基礎梁幅が同じ場合も同様とする。



地下外壁・平面

図4.6　地下外壁の配筋要領

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	構造関係共通事項（４）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ 二 A3：1/ 二
		図面No.	S－06

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本　社　栃木県宇都宮市大曽１丁目５番８号　TEL.(028)(622)8828

承認　検図

有限会社スバン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 知事登録 第　５４１８５号
管理建築士・設計者　一級建築士　第　２８８７９６号
構造設計一級建築士　第　６１４８号　長瀬　博明

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士　一級建築士登録番号　　号
従事する建築士　一級建築士登録番号　　号

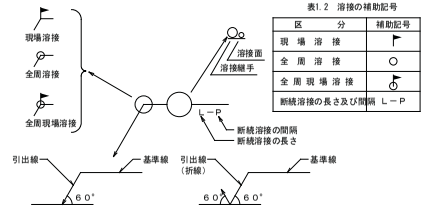
構造関係共通図(鉄骨標準図)

表1.1　溶接継手及び溶接面の分類別記号

分類			記号
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	重ねアーク溶接（フレア溶接）		FL
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2

表1.2　溶接の補助記号

区分	補助記号
現場溶接	
全周溶接	○
全周現場溶接	
断続溶接の長さ及び間隔	L－P



※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図1.1　溶接記号の記載例

1-1 縁端距離及びボルト間隔

（a）縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表1.3による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.3　縁端距離及びボルト間隔　（単位mm）

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

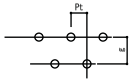


（b）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.4による。

表1.4　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位mm）

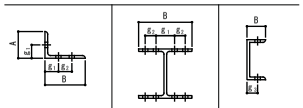
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び M12,M16,M20,M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	－	40



（c）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.5による。

表1.5　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位mm）



A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準　（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
G＝t		G	
6＜t≦19		12＜t≦22	
35°, 2	45°, 2	30°, 2	60°, 6
19＜t≦40		22＜t≦40	
35°, 2	45°, 2, D1, 60°	30°, 2	60°, 10, D1, 60°
	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3		D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2

T型継手(T)の開先標準　（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
35°, S		35°, S	
1/4 t≦S≦10		1/4 t≦S≦10	
6＜t≦19		12＜t≦22	
35°, S	45°, S	35°, S	60°, S
1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10
19＜t≦40		22＜t≦40	
35°, S	45°, S, D1, 60°	35°, S	60°, S, D2, D1, 60°
1/4 t≦S≦10	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3 1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2 1/4 t≦S≦10

部材が直交しない場合の開先標準　（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
6＜t≦40	6＜t≦19	19＜t≦40
≧60°, 1, 2, 35°	≧60°, 1, 2, 45°	≧75°, 45°, 1, 2, 3(t－2), 60°
1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10

かど継手(L)の開先標準　（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
S＝t		S	
6＜t≦19		12＜t≦19	
35°, S	45°, S	35°, S	50°, S
1/4 t≦S≦10		1/4 t≦S≦10	
19＜t≦40		19＜t≦40	
35°, S	45°, S, D1, D2, 60°	35°, S	60°, S, D2, D1, 60°
	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3 1/4 t≦S≦10		D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2 1/4 t≦S≦10

隅肉溶接(F)の開先標準　（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t≦16	t≦16	16＜t≦40
S, S	t, S, S	t, S/2, S/2, 60°, 60°, S, S

隅肉溶接のサイズ　（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接(P)の開先標準　（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）
12≦t≦40	16≦t≦40
t, S, D, S, 45°	t, S, 2, S, D1, D2, 45°, 45°

t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

1/4 t≦S≦10

D1＝（t－2）/2
D2＝（t－2）/2
1/4 t≦S≦10

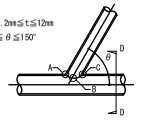
重ねアーク溶接（フレア溶接）(FL)の開先標準　（単位：mm）

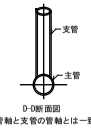
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）			
1（丸鋼等片面溶接）	2（丸鋼等両面溶接）	3（軽量形鋼V形溶接）	4（軽量形鋼レ形溶接）
φ, 2φ, 2, d, d	S, S, φ, 2φ, 2, d, d	S, φ, 2	t, S
		t≧3のとき S＝t t＜3のとき S＝3	t≧3のとき S＝t t＜3のとき S＝3

1-3 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。　（単位：mm）

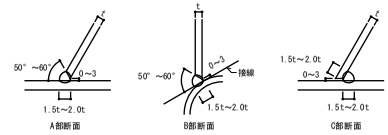
適用管厚　3.2mm≦t≦12mm
交角　30°≦θ≦150°





D-D断面図

主管の管軸と支管の管軸とは一致させること。

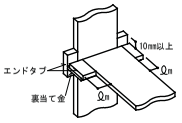


1-4 鉄骨溶接施工

（a）エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

（b）エンドタブ

エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。ゲージタブ、セラミックタブ等を使用する場合は、あらかじめ、監督員の承諾を受けること。

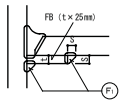


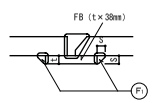
溶接方法	ℓn
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

（c）裏当て金

（1）裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。

（2）完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。





裏当て金の厚さ　（単位：mm）

溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ　（単位：mm）

裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t>9	9

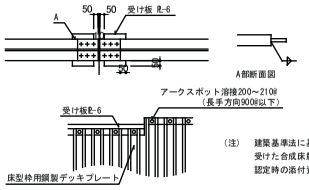
有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54180号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬　博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	構造関係共通事項（5）
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1：1/ － A3：1/ －
図面No.	S－07

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

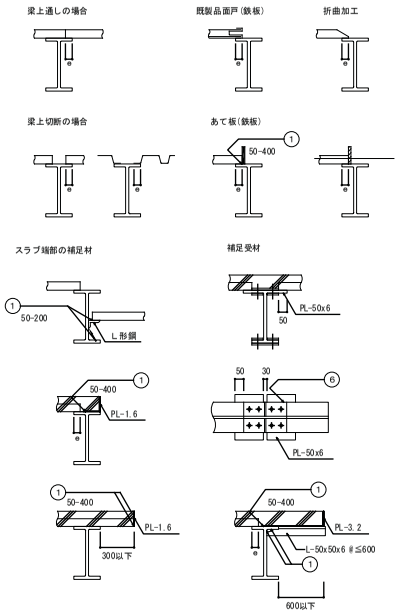
管理建築士	古澤　康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号

（d）デッキプレート（キーストンプレート）の接続

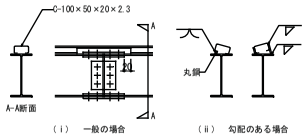


（注）　建築基準法に基づき認定（構造用及び耐火構造用）を受けた合成床版用デッキプレートの取付け方法は、認定時の添付資料「標準仕様書」による。

受梁へのかかり寸法および端部処理　　e≧35mm



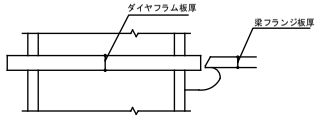
（e）折板受材



（i）　一般の場合　　（ii）　勾配のある場合

（f）柱梁接合部

ダイヤフラム板厚は、取り付く梁フランジの最大板厚より2サイズアップ以上とする。特記なき限り2サイズアップとは、以下の通りとする。



(mm)

ダイヤフラム板厚	9	12	16	19	22	25
梁フランジ最大板厚	—	6～8	9～11	12～15	16～18	19～21

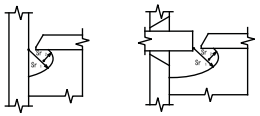
ダイヤフラム板厚	28	32	36	40
梁フランジ最大板厚	22～24	25～27	28～31	32～35

（g）スカラップ

改良型スカラップ

（1）スカラップ半径Sr，は35mmとする。Sr，は10mmとする。

（2）スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



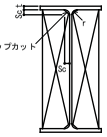
従来型スカラップ

（1）スカラップ半径Srは35mmとする。



（h）スニップカット

（1）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

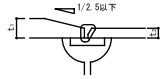


（2）スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

（i）溶接部分の段差

完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合、又は低応力高サイクル疲労を受ける場合



（j）鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	40以下	350以下
		YGW-18, 19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	450以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm²以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50M, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
		YGW-18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm²以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50M, 50P		
520N級鋼	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級STKR、BCR及びBCP	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
		YGW-18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
490N級STKR、及びBCP	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

1-5 重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼に重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ（L）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

L：片面フレア溶接の場合　１０ｄ
　両面フレア溶接の場合　　５ｄ
La及びLbは１ｄ（軽量形鋼については１Ｓ）以上
　ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
　Ｓ：溶接のサイズ



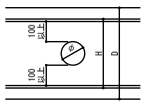
1-6 梁貫通孔補強

（a）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。

（1）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。

（2）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で 2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で 3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）



H ：鉄骨せい
D ：はりせい
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

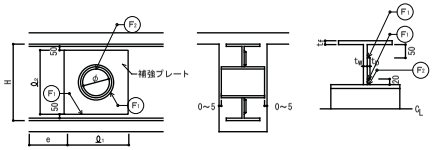
（b）貫通孔の補強方法は、構造図による。

（1）補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法

（1）補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。

（2）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。

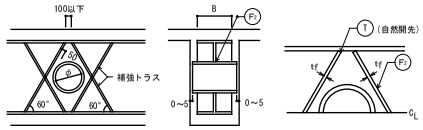


Q1は３φまたはQ2のうち小さい方とする。（e≧ H とする）

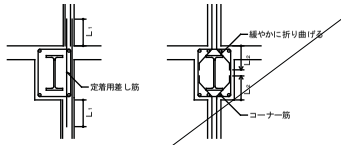
e：材端と補強プレートの間隔

補強トラス法

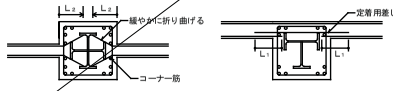
（1）スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



1-7 壁筋の周辺部材への定着

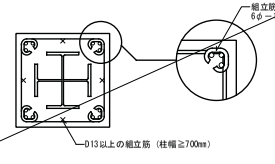


梁への定着方法



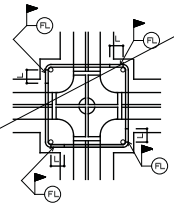
柱への定着方法

1-8 柱組立筋



1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立

片面溶接の溶接長さ（L）は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135° 曲げフックとする。



1-10 鉄筋貫通孔の径及び位置

（a）鉄筋貫通孔の径

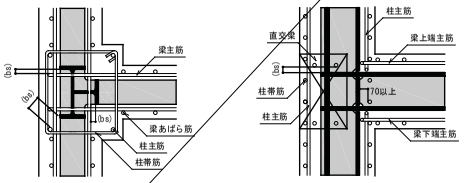
鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

（単位：mm）

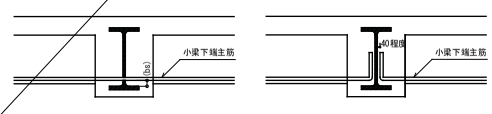
鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

（b）鉄筋貫通孔の位置

鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。



小梁下端主筋が貫通する場合　　小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）



(bs)：主筋と平行する鉄骨とのあき

1-11 広幅平鋼の取り扱いについて

（a）BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であっても FB又はPLとする。

（b）BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

幅	厚さ 6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300			○	○	○	○	○	○	○	○	○
350			○	○	○	○	○	○	○	○	○
400			○	○	○	○	○	○	○	○	○
450						○	○	○	○	○	○
500						○	○	○	○	○	○

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第　５４１８５号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　２８８７９６号
構造設計一級建築士 第　　６１４８号　長瀬　博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	構造関係共通事項（６）
作成者	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号 本　社　栃木県宇都宮市大曽１丁目５番８号　TEL (028)(622)8828
No.	０３１２３
設計	R05.01
縮尺	A1：1/ ニ A3：1/ ニ
図面No.	Ｓ－０８
承認	
検図	
管理建築士	古　澤　康　夫 一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号
従事する建築士	一級建築士登録番号　　号

1-12 普通ボルト接合

もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

1-13 柱の継手

1. 柱現場継手例

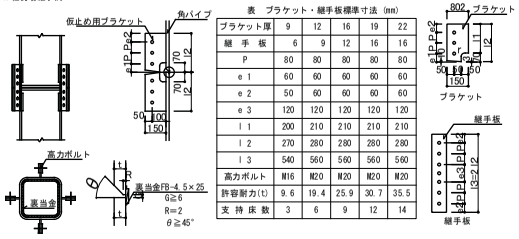


表　ブラケット・継手板標準寸法（mm）

ブラケット厚	9	12	16	19	22
継　手　板	6	9	12	16	16
P	80	80	80	80	80
e 1	60	60	60	60	60
e 2	50	60	60	60	60
e 3	120	120	120	120	120
l 1	200	210	210	210	210
l 2	270	280	280	280	280
l 3	540	560	560	560	560
高力ボルト	M16	M20	M20	M20	M20
許容耐力(t)	9.6	19.4	25.9	30.7	35.5
支 持 床 数	3	6	9	12	14

1-14 アンカーボルト

1. 一般事項

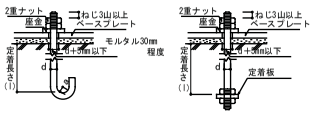
（a）アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ、適切な機器などで正確に行う。

（b）ベースプレートのボルト穴の径は、ボルトの径に５mmを加えた大きさ以下とする。

（c）ボルトは、２重ナット及び座金を用い、ボルトの先端は、ねじがナットの外に３山以上出るようにする。

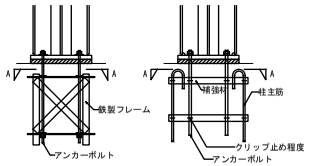
（d）アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は、下図を標準とする。

（e）アンカーボルトは、特記なき限りABR400又はABR490を使用する。（転造ネジ）



例：アンカーボルト長さ=600とは定着長さ（l）の部分をいう。

13.1図



13.2図

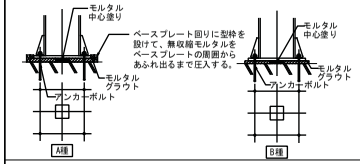
アンカーボルトの保持及び埋め込み

1-15 ベースプレートの保持

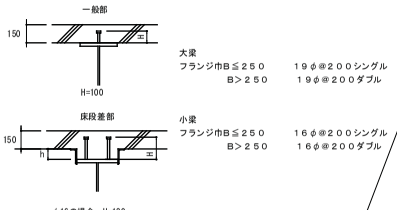
（a）柱底均しモルタの厚さは、特記なき限りA種の場合50mm、B種の場合30mmとする。

（b）特記がなければ、A種とする。

（c）柱底均しモルタは、無収縮モルタとする。

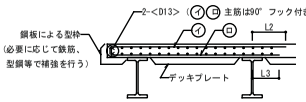


1-16 スタッドボルト



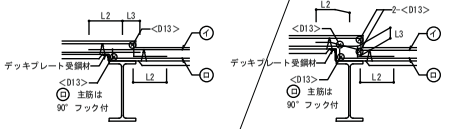
コンクリートスラブと鉄骨梁との取合い（図中＜D13＞はD13かつスラブ主筋径以上を示す）

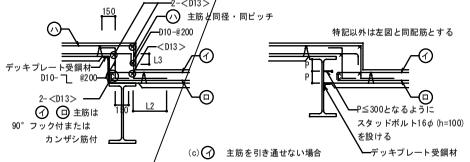
（1）一般部



注1）主・配力筋共、鉄骨梁の位置にかかわらず床上面で設計ピッチ以内に配筋する。

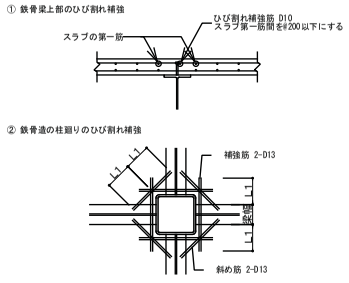
（2）段差のある場合





注）⩚ は受筋＜D13＞とバーサポートを示す。

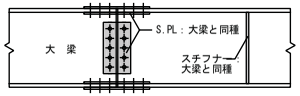
1-17 鉄骨造の場合のひび割れ補強



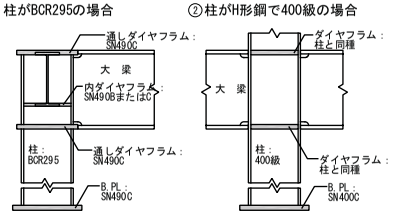
1-18 部材接合部の鋼材の材種について

設計図書に特記のない場合、以下の材種を使用する。

(1)　大梁継手

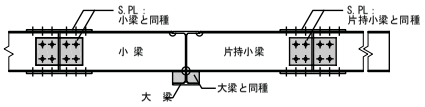


(2)　柱、ダイヤフラム、柱脚

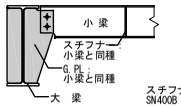


※間柱のB.PLについては、サイズが200mm未満の場合はSN400B、200mm以上の場合はSN490Cとする。

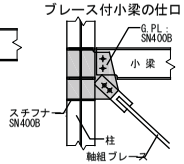
(3)　小梁、継手、仕口



小梁の仕口



ブレース付小梁の仕口



有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所　東京都知事登録　第　54186号
管理建築士・設計者　一級建築士　第　288706号
構造設計一級建築士　第　6146号　長瀬　博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤　康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	構造関係共通事項（７）	設計 R05.01 / 縮尺 A1：1/ A3：1/	従事する建築士 一級建築士登録番号　号
		図面No. S－09	従事する建築士 一級建築士登録番号　号

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽１丁目５番８号　TEL 028(622)8928

承認　検図

深層混合処理工法特記仕様書（Dコラム工法又は同等品）

1. 工法概要

本工法はセメント系固化材を固化材液として現地地盤に注入し、共回りを防止する撹拌翼（Dバー）を装着した撹拌装置を用いて混合撹拌するこしたとによりソイルセメントコラムを形成する工法である。

2. 特記仕様

（1）コラム径　　φ＝1000mm，1100mm

（2）掘削深度　H＝5.7m（掘削長変更の場合は、管理者と協議しトルク計にて確認を行う。）

（3）設計基準強度　Fc＝800kN／㎡

（4）大臣認定機関（財団法人　日本建築センターの技術審査証明BCJ96を有する工法又は同等工法とする。）

3. 固化材の配合及び配合量

（1）固化材　　セメント系固化材又は、セメントを使用する。（六価クロム溶出試験を行う事）

（2）配合と配合量の検討　原則として現地土を採取し室内配合試験を行い決定する。

$X_f = \alpha_t \times F_c$

X_f：配合強度（kN/㎡）

α_t：割増し係数

F_c：設計基準強度（kN/㎡）

変動係数	抜取ヶ所数（N）	1	2	3	4～6	7～8	9以上
25%	割増係数（α）	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

＊ 変動係数を想定し、7項に規定する抜き取りヶ所数N、合格確率80%とした上表を用いて設定する。

4. 施工計画書

本工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書には次の次項を明記する。

（1）工法概要 （2）工事概要 （3）施工場所 （4）施工機械 （施工手順）（5）施工管理体制

（6）施工管理 （7）安全対策 （8）工程表

5. 施工

（1）固化材液の充填方法は、掘削時充填方法とする。

（2）掘進速度1．0m／分、引き上げ速度1．0m／分以下とする。

（3）施工手順は以下の通りとする。

1、コラムの中心位置を出し、その位置に撹拌ロッドの中心がくるように機械をセットする。

2、セットが完了したら撹拌ロットを回転し、規定の速度で掘削を開始する。

3、所定の位置まで来たら固化材液を撹拌ロット先端より注入しながら掘削撹拌を行う。

4、掘削が完了したら固化材液の注入をやめ、撹拌ロットを掘削時と正逆回転し50cm以上練り返しを行う。

5、逆回転で再撹拌しながら引き上げる。

6. 施工管理

（1）コラムの鉛直度　改良機本体の傾斜計で管理する。

（2）固化材液の作成　水の計量　　:計量計又は水管計で計測する。
固化材の計量 :袋数又は重量計で計測する。

（3）固化材の吐出量　流量計で計測し記録する。

（4）掘削深度　　深度計で計測し記録する。

（5）掘削速度　　速度計で計測し記録する。

（6）支持層強度　　トルク計で測定し、記録する。

7. 強度管理試験

本コラム又は採取用コラムより、100本毎に1箇所、1箇所あたり3個の供試体を採取する。
材令28日における圧縮強度試験結果が下記の式をクリアしなければならない。
合否の判定は、N箇所（抜取個数）の一軸圧縮強さの平均値XNと合格判定値XLの大小関係を比較する事で行う。（改良長3.0m以内は改良体頭部より採取しモールドコアとする。）

$X_N \geqq X_L = F_c + ka \cdot \sigma d$

ここに、
X_N：N箇所の一軸圧縮強さの平均値（kN/㎡）
X_L：合格判定値　（kN/㎡）
F_c：設計基準強度（kN/㎡）
ka：合格判定係数（下表による）
N：検査対象層の抜取箇所数
σd：設計で想定したコア強度の標準偏差（kN/㎡）
$\sigma d = V_d \cdot qud$
qud：想定した一軸圧縮強さ　（kN/㎡）
V_d：変動係数

抜取箇所数	N	1	2	3	4～6	7～8	9以上
合格判定係数	ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

※ 品質に支障があった場合の処理

品質に支障があった場合は、監理者と協議し適切な判断を下す。

8. 施工報告書

工事完了後、次の事項について報告書をまとめ、監督員に提出する。

（1）コラム配置図及び番号 （2）施工年月日 （3）コラム径 （4）掘削長 （5）掘削深度

（6）固化材の使用量 （7）強度管理試験結果

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796号
構造設計一級建築士 第 6148号 長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	深層混合処理工法特記仕様書	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ ニ A3：1/ ニ
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号 本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)2020	図面No.	S－10
		承認	検図

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号223925号
従事する建築士
一級建築士登録番号 号
従事する建築士
一級建築士登録番号 号

ハイベースNEO工法設計施工標準 （ハイベースNEO工法は、S造及びCFT造に適用）

2021/8

大臣認定 MSTL-0404,0180（Gタイプ用ベースプレート）
MBLT-0042～0046（アンカー用ボルトセット）
BCJ評定 BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設計

1．材質

（1）ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（EB型式、EM型式、EH型式）

	ベースプレート		アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座金※2	定着板
規格	JIS G3136	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	SN490B 板厚40mm以下	SN490相当 板厚40mm超	降伏比 70％以下	—	強度区分5	SM490A	SS400

エコタイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ（GB型式、GM型式、GH型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座金※2	定着板
規格	HCW490b HCW490st（大臣認定取得材）	HAB（大臣認定取得材）	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※3	—	—
備考	SN490B同等	降伏比 70％以下	強度区分8（C径≦M39） 強度区分6（C径＞M39）	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定（MSTL-0404、0180） ※2 国土交通大臣認定（MBLT-0042～0046）
※3 M72は細目ねじ ※4 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

（2）ベースプレート下面のモルタル

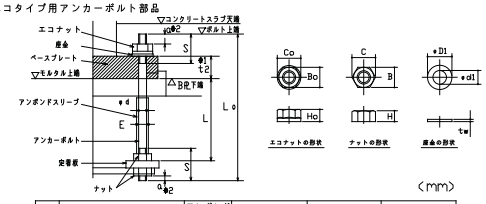
後詰めモルタル	ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※ ※ センクシアが供給するものに限る
中心塗部分モルタル	○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル（NX-2000及びクイック3は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（3）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Fc＝18～36N／mm²
鉄筋	ＪＩＳ Ｇ３１１２「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱形	へりあき量は、ベースプレート外形寸法の０．１倍以上確保しなければならない。

2．アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ用アンカーボルト部品



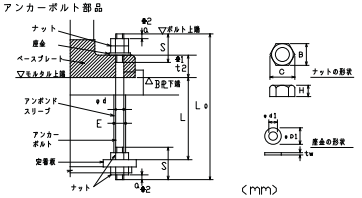
（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	全長	アンボンドスリーブ 外径	エコナット 高さ	エコナット 二面幅	エコナット 対角距離	ナット 高さ	ナット 二面幅	ナット 対角距離	座金 厚さ	座金 内径	座金 外径
	※4	P	S	α	L	Lo	E	Ho	Bo	Co	H	B	C	tw	※d1	※D1
M24	24	3	35	10	480	520	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
			105		600	640										
M30	30	35	110	13	480	528	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
			130		600	648										
M36	36	4	130	16	720	780	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
			155		840	905										
M42	42	4.5	155	18	840	910	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
			180		960	1030										
M48	48	5	180	22	960	1040	54	38	75	87	34	65	87	9	50	92
			205		1120	1210										
M56	56	5.5	205	24	1120	1210	62	45	85	98	40	75	98	9	58	105
			230		1280	1370										
M64	64	6	230	28	1280	1370	70	51	95	110	45	85	110	12	66	115
			250		1440	1850										
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	51	95	121	12	74	125

※1 t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。
※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3 上段はEB型式及びEM型式のアンカーボルト4本タイプ、下段はそれ以外のエコタイプの場合の寸法です。

⚠注意
・エコタイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは荷定の性能が発揮できません。

Gタイプ用アンカーボルト部品



（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	全長	アンボンドスリーブ 外径	ナット 高さ	ナット 二面幅	ナット 対角距離	座金 厚さ	座金 内径	座金 外径
	※4	P	S	α	L	Lo	E	H	B	C	tw	※d1	※D1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	35	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	155	16	720	955	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	180	18	840	1100	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	205	22	960	1210	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	230	24	1120	1420	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	250	28	1280	1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※1 t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。
※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3 上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

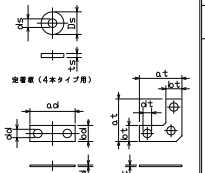
⚠注意
・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。（一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。）

ベースプレートのアンカーボルト孔径 （mm）

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ孔径	38	44	50	57	～	～	～	～
Gタイプ孔径	～	38	45	53	61	70	79	87

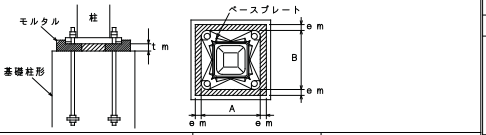
定着板（エコタイプ、Gタイプ共通） （mm）

ねじの呼び	4本タイプ用 厚さ ts	外径 ds	内径 ds	8本タイプ用 厚さ td	長さ ad	幅 bd	内径 dd	12本タイプ用 厚さ tt	長さ at	幅 bt	内径 dt
M24	16	70	27	9	180	65	33	–	–	–	–
M30	16	90	33	9	180	65	33	–	–	–	–
M36	19	100	39	9	215	75	39	–	–	–	–
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	–	–	–	16	380	145	76	16	375	145	76



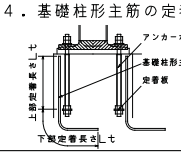
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックを参照ください。

3．ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ（t m）	標準寸法 t m=50mm	許容範囲 30≦t m≦70mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（e m）	e m≧30mm	許容範囲 e m≧25mm

4．基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Lt）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

1．溶接材料

被覆アーク溶接	低水素系490N／mm² 級高張力鋼用（JIS Z3211、旧JIS Z3212）相当以上
ガスシールドアーク溶接	軟鋼及び490N／mm² 級高張力鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ（JIS Z3312）相当以上

※高強度柱材を用いる場合、JASS6等の指針に従い柱とハイベースの強度ランクの高い方に適した溶接材料を使用する。

2．ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

※ 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
開先はMC－TL－1B、GC－TL－1Bによる ※開先形状は参考

エコタイプ

ベースプレート形状

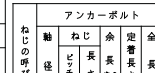
角形鋼管柱用（EB型式）



円形鋼管柱用（EM型式）



H形柱用（EH型式）



開先形状

⚠注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

Gタイプ

ベースプレート形状

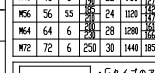
角形鋼管柱用（GB型式）



円形鋼管柱用（GM型式）



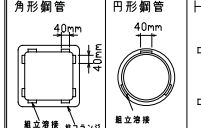
H形柱用（GH型式）



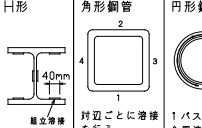
開先形状



3．組立溶接

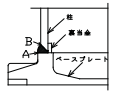


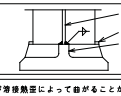
4．本溶接の手順



5．溶接施工一般

予熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手または T 継手余盛り高さに準拠する（Gタイプ）。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接





⚠注意 柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱変形によって曲がることがあります。

6．検査

方法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（1）有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （2）溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から５０ｍｍ以上、はつり取り再溶接する。

現場施工

（廾）：センクシアの担当範囲

1．捨てコンクリート打設
柱脚部の捨てコンクリートの厚さは９０ｍｍ以上とし、表面は平滑に仕上げる。

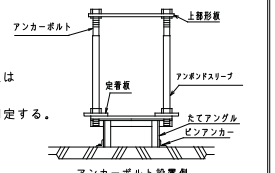
2．墨出し

3．アンカーボルト搬入（廾）

4．アンカーボルト据付（廾）

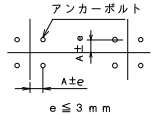
アンカーボルト設置

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

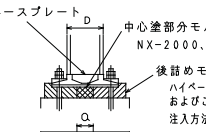
平面	レベル
	基準高さよりの誤差eh －３ｍｍ≦eh≦10mm

e≦３ｍｍ
（形板芯にて検査）

5．鉄筋配筋・型枠の立込み

6．基礎コンクリート打設
基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7．中心塗り部分モルタル施工



（イ）□２５０以下、φ２６７．４以下、H２５０以下の場合
１００ｍｍ≦ａ≦２００ｍｍ かつ柱寸法 D以下

（ロ）□３００以上□７００以下、φ３００以上φ７１１．２以下、および H２５０以上の場合
１５０ｍｍ≦ａ≦３００ｍｍ かつ柱寸法 D以下

（ハ）□７５０～□１２００、φ７５０～φ１０１６の場合
３００ｍｍ≦ａ≦５００ｍｍ

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB,GB,EM,GM,EH型式	GH型式
8．鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは緩開がないよう確実に締め付けを行う。	8．鉄骨建方
	9．モルタル注入枠設置（廾） 後詰めモルタル充填（廾）
9～10．モルタル注入枠設置（廾） 後詰めモルタル充填（廾） アンカーボルト締付確認（廾） ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	10．アンカーボルト締付（廾） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （30°回転、許容差：$^{+10°}_{-0}$）

11．モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースNEO工法のチェックシートに工事記録を記載する。

センクシア株式会社
URL https://www.senqcia.co.jp/

本社 TEL 03－4214－1932
札幌 TEL 011－708－1177
東北 TEL 022－213－5595
関東 TEL 027－322－9411
中部 TEL 052－582－3356
北陸 TEL 076－233－5260
関西 TEL 06－6395－2133
中四国 TEL 082－240－1630
九州 TEL 092－452－0341

⚠注意
1．アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
2．アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3．設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4．建て入れ直し用のウイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5．本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	ハイベースNEO設計施工標準（1）	設計	R05.01
		縮尺	A3：1／二
		図面No.	S－11
株式会社フケタ設計 代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)8928		承認	検図

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例（Fc24の場合）
〈角形鋼管柱用 □150～□550〉

（ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

大臣認定　MSTL-0404,0180（Gタイプ用ベースプレート）
MBLT-0042～0046（アンカーボルト）

BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ６鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

2022/5

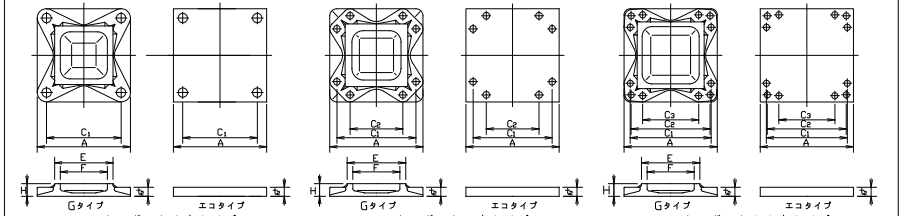
型式表示例

エコタイプ：EB350-8-36

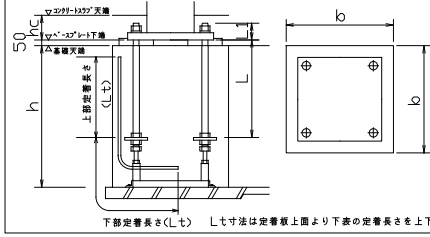
Gタイプ　：GB500-8-42

- アンカーボルト径
- アンカーボルト本数
- 柱外形寸法
- 角形鋼管柱用

ベースプレート形状



L,L1,h,hc,b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)



エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様（露出が標準）
注）表中のh寸法は杭がない場合です。
杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は"L1寸法＋最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

下部定着長さ(Lt)　Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

・ハイベースNEO工法
（角形鋼管柱用□150～□550）

採用		適用柱		ハイベースNEO型式			アンカーボルト	回転バネ定数 X10⁸kN-m/rad	寸法（mm）								質量（kg）			L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～梁下端コンクリート天端	くびれ下端～コンクリート天端	基礎柱形の設計例(Fc24)　〈 側・隅柱用 〉						梁筋の定着長さ	基礎柱形の設計例(Fc24)　〈 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）〉						梁筋の定着長さ
																								Iゾーン			Iゾーン				Iゾーン			Iゾーン			
柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ		Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t_2	ベースプレート	部品	セット質量			h(mm)以上	hc(mm)以上	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt(mm)
		□150	4.5~12	EB150-4-24			4-M24	14.0	290	210	–	–	–	–	–	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	200	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	200
		□175	4.5~12	EB175-4-24			4-M24	17.9	310	230	–	–	–	–	–	25	19	14	33	400	80	600以上	120	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	190	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	190
		□200	6~12	EB200-4	-24		4-M24	21.9	340	260	–	–	–	–	–	25	23	14	37	400	80	600以上	120	550	8-D16	D13@150	550	16-D16	D13@150	190	550	8-D16	D13@150	550	16-D16	D13@150	190
					-30		4-M30	35.4	360	270						32	33	23	56	400	102	600以上	150	570	8-D19	D13@150	570	16-D19	D13@150	290	570	8-D19	D13@150	570	16-D19	D13@150	290
					-36		4-M36	41.4	360	270						40	41	36	77	480	117	700以上	160	580	12-D19	D13@150	580	20-D19	D13@100	330	580	12-D19	D13@150	580	20-D19	D13@100	330
		□250	6~16	EB250-4	-24		4-M24	32.2	390	310	–	–	–	–	–	25	30	15	45	400	80	600以上	120	600	8-D19	D13@150	600	12-D19	D13@150	190	600	8-D19	D13@150	600	12-D19	D13@150	190
					-30		4-M30	51.3	410	320						32	43	23	66	400	102	600以上	150	610	8-D19	D13@150	610	16-D19	D13@150	280	610	8-D19	D13@150	610	16-D19	D13@150	280
					-36		4-M36	59.7	410	320						40	53	36	89	480	117	700以上	160	610	12-D19	D13@150	610	20-D19	D13@100	330	610	12-D19	D13@150	610	20-D19	D13@100	330
				EB250-8-30			8-M30	51.1	450	360	190					40	64	51	115	600	110	800以上	150	640	12-D22	D13@150	640	20-D22	D13@100	430	640	12-D22	D13@150	640	20-D22	D13@100	430
SC4	5			EB300-4	-30		4-M30	70.1	460	370	–					32	54	24	78	400	102	600以上	150	660	8-D19	D13@150	660	16-D19	D13@150	270	660	8-D19	D13@150	660	16-D19	D13@150	270
		□300	6~19		-36		4-M36	82.9	460	370		–	–	–	–	40	67	37	104	480	117	700以上	160	660	12-D19	D13@100	660	20-D19	D13@100	330	660	12-D19	D13@100	660	20-D19	D13@100	330
				EB300-8	-30		8-M30	69.4	500	410	240					36	71	51	122	600	106	800以上	150	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@100	410	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@100	410
					-36		8-M36	84.0	510	420	220					44	90	82	172	720	121	900以上	170	720	16-D25	D13@150	720	24-D25	D13@100	570	720	16-D25	D13@150	720	24-D25	D13@100	570
SC3	6			EB350-4-30			4-M30	93.1	510	420	–					32	66	24	90	400	102	600以上	150	710	8-D19	D13@100	710	16-D19	D13@100	240	710	8-D19	D13@100	710	16-D19	D13@100	240
SC1,2	39		9~22	EB350-8	-30		8-M30	89.5	550	460	290	–	–	–	–	36	86	52	138	600	106	800以上	150	750	16-D22	D13@150	750	20-D22	D13@150	460	750	16-D22	D13@150	750	20-D22	D13@150	460
					-36		8-M36	105	560	470	270					40	99	83	182	720	117	900以上	160	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	540	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	540
					-42		8-M42	133	590	480	260					48	132	131	263	840	138	1100以上	180	790	20-D25	D13@150	790	32-D25	D13@100	710	790	20-D25	D13@150	790	32-D25	D13@100	710
		□350				GB350-4 -42	4-M42	128	550	440	–				75	50	107	72	179	840	145	1100以上	–	750	12-D25	D13@150	750	16-D25	D13@150	480	750	12-D25	D13@150	750	16-D25	D13@150	480
			9~25			-48	4-M48	156	590	460					90	61	142	113	255	960	168	1200以上	–	790	12-D25	D13@150	790	20-D25	D13@150	580	790	12-D25	D13@150	790	20-D25	D13@150	580
					-30	GB350-8	8-M30	150	540	450	280	–	356	280	55	28	77	52	129	600	95	800以上	–	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470
					-36		8-M36	188	560	470	270				65	36	95	83	178	720	116	900以上	–	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	560	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	560
					-42		8-M42	216	590	480	260				70	45	118	131	249	840	140	1100以上	–	790	20-D25	D13@100	800	32-D25	D16@100	610	790	20-D25	D13@100	800	32-D25	D16@100	610
					-30		8-M30	111	600	510	340				36		102	52	154	600	106	800以上	150	800	16-D22	D13@150	800	20-D22	D13@150	450	800	12-D22	D13@150	800	20-D22	D13@150	450
			9~25	EB400-8	-36		8-M36	127	610	520	320	–	–	–	–	40	117	83	200	720	117	900以上	160	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	530	820	12-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	530
					-42		8-M42	175	640	530	310				48		155	131	286	840	138	1100以上	180	840	20-D25	D13@100	840	32-D25	D13@100	680	840	20-D25	D13@100	840	32-D25	D13@100	680
		□400				GB400-4 -42	4-M42	163	600	490	–				75	49	129	73	202	840	144	1100以上	–	810	12-D25	D13@100	810	16-D25	D13@100	400	810	12-D25	D13@100	810	16-D25	D13@100	400
			9~32			-48	4-M48	194	640	510					85	59	165	114	279	960	166	1200以上	–	840	12-D25	D13@100	840	20-D25	D13@100	500	840	12-D25	D13@100	840	20-D25	D13@100	500
					-36	GB400-8	8-M36	234	610	520	320	–	408	320	60	34	110	83	193	720	114	900以上	–	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	540	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	540
					-42		8-M42	282	640	530	310				70	42	136	131	267	840	137	1100以上	–	840	20-D25	D13@100	850	32-D25	D16@100	600	840	20-D25	D13@100	850	32-D25	D16@100	600
					-48		8-M48	321	680	550	300				80	52	176	211	387	960	159	1300以上	–	880	20-D29	D13@100	890	28-D29	D16@100	790	880	20-D29	D13@100	890	28-D29	D16@100	790
					-36		8-M36	169	660	570	370	–	–	–	–	44	150	84	234	720	121	900以上	170	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520
			9~25	EB450-8	-42		8-M42	199	690	580	360					48	180	132	312	840	138	1100以上	180	890	24-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	670	890	20-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	670
						GB450-4 -42	4-M42	199	650	540	–				75	48	153	73	226	840	143	1100以上	–	860	12-D25	D13@100	860	16-D25	D13@100	390	860	12-D25	D13@100	860	16-D25	D13@100	390
		□450				-48	4-M48	236	690	560					85	58	192	116	308	960	165	1200以上	–	890	12-D25	D13@100	890	20-D25	D13@100	480	890	12-D25	D13@100	890	20-D25	D13@100	480
			9~36			-36	8-M36	296	660	570	370	–	458	360	60	32	130	84	214	720	112	900以上	–	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520
						GB450-8 -42	8-M42	348	690	580	360				65	40	158	132	290	840	135	1100以上	–	890	24-D25	D13@100	890	32-D25	D16@100	680	890	20-D25	D13@100	890	32-D25	D16@100	680
						-48	8-M48	413	730	600	350				75	49	196	213	409	960	156	1300以上	–	930	20-D29	D13@100	940	28-D29	D16@100	770	930	20-D29	D13@100	940	28-D29	D16@100	770
					-36		8-M36	210	710	620	420	–			44		173	89	262	720	121	900以上	170	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510	950	12-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510
			9~28	EB500-8	-42		8-M42	238	740	630	410	–	–	–	–	48	207	133	340	840	138	1100以上	180	950	24-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
				EB500-12-42			12-M42	396	740	630	600	350				60	258	197	455	840	150	1100以上	190	950	28-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600	950	20-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600
						GB500-4 -42	4-M42	244	700	590	–				80	47	183	74	257	840	142	1100以上	–	910	12-D25	D13@100	910	16-D25	D13@100	390	910	12-D25	D13@100	910	16-D25	D13@100	390
						-48	4-M48	290	740	610					90	57	226	127	353	960	164	1200以上	–	950	12-D25	D13@100	950	20-D25	D13@100	470	950	12-D25	D13@100	950	20-D25	D13@100	470
		□500				-36	8-M36	354	710	620	420	–			65	30	154	89	243	720	110	900以上	–	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510
			9~40			GB500-8 -42	8-M42	421	740	630	410	–	508	400	70	37	181	133	314	840	132	1100以上	–	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
						-48	8-M48	489	780	650	400	–			80	46	225	215	440	960	153	1300以上	–	1000	20-D29	D13@100	1000	28-D29	D16@100	740	1000	20-D29	D13@100	1000	28-D29	D16@100	740
						-64	8-M64	659	850	690	390	–			105	68	346	464	810	1280	210	1600以上	–	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16ø75	1100	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16ø75	1100
						GB500-12 -48	12-M48	695	780	650	610	320			90	57	265	304	569	960	164	1300以上	–	1000	24-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760	1000	16-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760
						-56	12-M56	771	810	670	630	300			105	72	342	455	797	1120	195	1450以上	–	1050	32-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980	1050	24-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980
			9~28	EB550-8-42			8-M42	317	800	690	470	–	–	–	–	48	242	133	375	840	138	1100以上	180	**1000**	**24-D25**	D13@100	**1000**	**32-D25**	D13@100	650	**1000**	**20-D25**	D13@100	**1000**	**32-D25**	D13@100	650
				EB550-12-42			12-M42	475	790	680	650	400				60	294	198	492	840	150	1100以上	190	1000	28-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600	1000	20-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600
						GB550-4 -48	4-M48	339	790	660	–				90	56	257	129	386	960	163	1200以上	–	1000	12-D25	D16@150	1000	20-D25	D16@150	460	1000	12-D25	D16@150	1000	20-D25	D16@150	460
						-56	4-M56	408	820	680					100	69	308	187	495	1120	192	1350以上	–	1050	16-D25	D16@150	1050	28-D25	D16@150	580	1050	16-D25	D16@150	1050	28-D25	D16@150	580
					-36		8-M36	419	760	670	470	–			65	29	180	90	270	720	109	900以上	–	1000	16-D25	D13@100	1000	24-D25	D13@100	500	1000	16-D25	D13@100	1000	24-D25	D13@100	500
					-42	GB550-8	8-M42	498	790	680	460	–	558	450	70	36	207	133	340	840	131	1100以上	–	1000	24-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650	1000	20-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650
					-48		8-M48	580	830	700	450	–			75	45	250	217	467	960	152	1300以上	–	1050	20-D29	D16@150	1050	28-D29	D16@150	820	1050	20-D29	D16@150	1050	28-D29	D16@150	820
					-64		8-M64	806	900	740	440	–			95	65	367	467	834	1280	207	1600以上	–	1150	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16ø75	1100	1150	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16ø75	1100
						GB550-12 -48	12-M48	817	830	700	660	370			85	55	288	306	594	960	162	1300以上	–	1050	24-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760	1050	20-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760
					-56		12-M56	923	860	720	680	350			100	69	366	458	824	1120	192	1450以上	–	1100	32-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980	1100	24-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980

鉄筋はD13,D16はSD295,D19,D22,D25はSD345,D29はSD390をご採用ください。　表中に無いサイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。

注 1）Ⅰ,Ⅱゾーン外はについてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力算図を参照下さい。

注 2）上記表内の〈中柱用〉とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、〈側・隅柱用〉を参照用下さい。

注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。

注 4）〈中柱用〉の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋を□450以下はD10@250、□500以上はD13@250として算定しています。あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は〈側・隅柱用〉の鉄筋量として下さい。

注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形鋼を合わせた質量です。

センクシア株式会社

本社　TEL　03－4214－1932　　関東　TEL　027－322－9411　　URL　https://www.senqcia.co.jp/
札幌　TEL　011－708－1177　　中部　TEL　052－582－3356　　関西　TEL　06－6395－2133
東北　TEL　022－213－5595　　北陸　TEL　076－233－5260　　中四国TEL　082－240－1630
九州　TEL　092－452－0341

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬　博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	ハイベースNEO設計施工標準（2）	設計	R05.01
		縮尺	A3:1/1　A3:1/2
		図面No.	S－12
承認		検図	

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479 号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925 号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号

ハイベースNE□工法　各種寸法及び基礎柱形設計例（Fc24の場合）〈円形鋼管柱用 φ190.7～φ1016〉

（ハイベースNE□工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNE□工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

大臣認定　MSTL-0404,0180(Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042~0046(アンカーボルト)

BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）　BCJ評定-ST0059（エコタイプ）
本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ６鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説ＪＡＳＳ６鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNE□工法設計ハンドブックに準拠する。

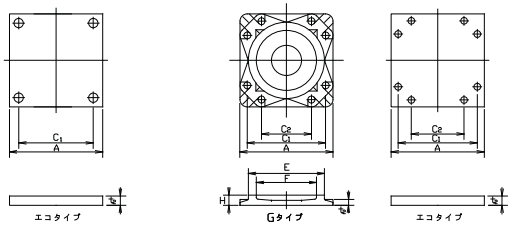
2021/8

型式表示例

エコタイプ：EM350-8-36

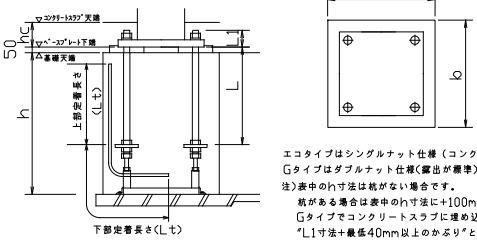
Gタイプ　：GM500-8-48
- アンカーボルト径
- アンカーボルト本数
- 柱外径寸法
- 円形鋼管柱用

ベースプレート形状



アンカーボルト４本タイプ　アンカーボルト８本タイプ

L,L1,h,hc,b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)



エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様(露出が標準)
注)表中のh寸法は杭がない場合です。
杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は
"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。
Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

・ハイベースNE□工法（円形鋼管柱用 φ190.7～φ1016）

採用		適用柱		ハイベースNE□型式			アンカーボルト	回転バネ定数 X10⁶kN·m/rad	寸法（mm）							質量（kg）			L（mm）	L1（mm）	基礎天端～仮コン天端	ベースプレート下端～コンクリートスラブ天端	基礎柱形の設計例(Fc24) 〈 側・隅柱用 〉							鉄筋の定着長さ	基礎柱形の設計例(Fc24) 〈 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）〉							鉄筋の定着長さ
																						Iゾーン			Iゾーン				Iゾーン			Iゾーン				
柱符号	数量	柱サイズ	最大板厚	エコタイプ	Gタイプ				A	C1	C2	E	F	H	t_B	ベースプレート	部品	セット質量			h(mm)	hc(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	定着長さ Lt(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	定着長さ Lt(mm)
		φ190.7	8.2	EM190-4-24			4-M24	13.8	290	210	－	－	－	－	32	22	14	36	400	87	600以上	130	500	8-D16	D13@150	210	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	210	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	210
		φ216.3	12.7	EM216-4-24			4-M24	19.9	310	230	－	－	－	－	32	25	14	39	400	87	600以上	130	520	8-D16	D13@150	200	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	200	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	200
		φ267.4	16	EM250-4-24			4-M24	28.4	370	290	－	－	－	－	32	35	14	49	400	87	600以上	130	570	8-D16	D13@150	190	570	8-D16	D13@150	570	16-D16	D13@150	190	570	8-D16	D13@150	570	16-D16	D13@150	190
		φ300 φ318.5	16	EM300-4	-24		4-M24	38.3	420	340	－	－	－	－	32	45	15	60	400	87	600以上	130	620	8-D19	D13@150	190	620	12-D19	D13@150	620	8-D19	D13@150	190	620	12-D19	D13@150	620	8-D19	D13@150	190
					-30		4-M30	61.0	430	340					40	59	23	82	400	110	600以上	150	620	12-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280
SC5	1	φ350 φ355.6	19	EM350-4-30			4-M30	65.1	420	330	－	－	－	－	32	45	23	68	400	102	600以上	150	620	12-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280
				EM350-8-30			8-M30	86.3	500	410	240				40	79	50	129	600	110	800以上	150	700	16-D22	D13@150	490	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@150	490	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@150	490
					-30		8-M30	119	540	450	280				40	92	51	143	600	110	800以上	150	740	16-D22	D13@150	470	740	20-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470	740	20-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470
		φ400 φ406.4	22	EM400-8	-36		8-M36	148	560	470	270	－	－	－	48	119	81	200	720	125	900以上	170	770	16-D25	D13@150	550	770	12-D25	D13@150	800	24-D25	D13@100	550	770	12-D25	D13@150	800	24-D25	D13@100	550
					-42		8-M42	194	610	500	280				60	176	127	303	840	150	1100以上	190	810	20-D25	D13@100	700	850	32-D25	D13@100	810	20-D25	D13@100	700	850	32-D25	D13@100	810	20-D25	D13@100	700
					-30		8-M30	146	580	490	320				40	106	51	157	600	110	800以上	150	780	16-D22	D13@150	450	780	12-D22	D13@150	780	20-D22	D13@150	450	780	12-D22	D13@150	780	20-D22	D13@150	450
		φ450 φ457.2	22	EM450-8	-36		8-M36	182	600	510	310	－	－	－	48	136	81	217	720	125	900以上	170	810	16-D25	D13@100	550	810	12-D25	D13@100	810	24-D25	D13@100	550	810	12-D25	D13@100	810	24-D25	D13@100	550
					-42		8-M42	249	650	540	320				60	199	127	326	840	150	1100以上	190	850	20-D25	D13@100	700	850	16-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700	850	16-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700
					-36		8-M36	231	640	550	350	－	－	－	48	155	82	237	720	125	900以上	170	850	16-D25	D13@100	530	850	12-D25	D13@100	850	24-D25	D13@100	530	850	12-D25	D13@100	850	24-D25	D13@100	530
		φ500 φ508	25	EM500-8	-42		8-M42	301	700	590	370				60	231	128	359	840	150	1100以上	190	900	20-D25	D13@100	670	900	20-D25	D13@100	900	32-D25	D13@100	670	900	20-D25	D13@100	900	32-D25	D13@100	670
			40			GM500-8 -48	8-M48	405	710	580	330	518	390	90	57	229	207	436	960	164	1200以上	－	950	24-D25	D16@100	730	950	20-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730	950	20-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730
						GM500-8 -56	8-M56	470	740	600	320			100	69	282	308	590	1120	192	1350以上	－	950	32-D25	D16@100	940	950	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940	950	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940
					-36		8-M36	269	680	590	390	－	－	－	48	175	82	257	720	125	900以上	170	900	20-D25	D13@100	520	900	24-D25	D13@100	900	16-D25	D13@100	520	900	16-D25	D13@100	900	24-D25	D13@100	520
		φ550 φ558.8	25	EM550-8	-42		8-M42	350	740	630	410				60	258	128	386	840	150	1100以上	190	950	20-D25	D13@100	660	950	32-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
			40			GM550-8 -48	8-M48	468	740	610	360	568	430	85	54	244	208	452	960	161	1200以上	－	950	28-D25	D16@100	730	950	24-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730	950	24-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730
						GM550-8 -56	8-M56	543	770	630	350			100	65	301	310	611	1120	188	1350以上	－	1000	32-D25	D16@100	940	1100	32-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940	1000	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940
					-36		8-M36	421	700	610	410			70	36	192	85	277	720	116	900以上	－	950	20-D25	D16@100	450	950	24-D25	D16@100	950	16-D25	D16@100	450	950	24-D25	D16@100	950	16-D25	D16@100	450
		φ600 φ609.6	40			GM600-8 -48	8-M48	563	780	650	400	620	480	85	52	273	210	483	960	159	1200以上	－	1000	28-D25	D16@100	720	1000	24-D25	D16@100	1000	40-D25	D16@100	720	1000	24-D25	D16@100	1000	40-D25	D16@100	720
						-64	8-M64	747	850	690	390			110	75	408	449	857	1280	217	1600以上	－	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120
		φ650 φ660.4	40			GM650-8 -48	8-M48	661	820	690	440	670	530	90	52	316	211	527	960	159	1200以上	－	1050	28-D25	D16@100	720	1050	40-D25	D16@100	1050	24-D25	D16@100	720	1050	40-D25	D16@100	1050	24-D25	D16@100	720
						-64	8-M64	846	880	720	420			110	71	432	451	883	1280	213	1600以上	－	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120
		φ700 φ711.2	40			GM700-8 -48	8-M48	750	850	720	470	720	570	80	48	330	212	542	960	155	1200以上	－	1050	32-D25	D16@100	720	1050	40-D25	D16@100	1050	28-D25	D16@100	720	1050	40-D25	D16@100	1050	28-D25	D16@100	720
						-64	8-M64	958	920	760	460			105	70	471	453	924	1280	212	1600以上	－	1150	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120
		φ750 φ762	40			GM750-8 -48	8-M48	865	890	760	510	770	620	85	48	381	214	595	960	155	1300以上	－	1100	24-D29	D16@100	730	1100	20-D29	D16@100	1100	28-D29	D16@100	730	1100	20-D29	D16@100	1100	28-D29	D16@100	730
						-64	8-M64	1100	960	800	500			110	69	527	455	982	1280	211	1600以上	－	1200	32-D29	D16@100	1110	1200	48-D29	D16@80	1200	28-D29	D16@100	1110	1200	48-D29	D16@80	1200	28-D29	D16@100	1110
		φ800 φ812.8	40			GM800-8 -48	8-M48	961	920	790	540	820	660	90	45	426	215	641	960	152	1300以上	－	1150	24-D29	D16@100	720	1150	20-D29	D16@100	1150	28-D29	D16@100	720	1150	20-D29	D16@100	1150	28-D29	D16@100	720
						-64	8-M64	1240	990	830	530			100	66	550	456	1006	1280	208	1600以上	－	1200	32-D29	D16@100	1110	1200	48-D29	D16@80	1200	28-D29	D16@100	1110	1200	48-D29	D16@80	1200	28-D29	D16@100	1110
		φ850	40			GM850-8-64	8-M64	1410	1030	870	570	870	710	105	65	616	459	1075	1280	207	1600以上	－																	
		φ900 φ914.4	40			GM900-8-64	8-M64	1660	1100	940	640	920	760	105	70	734	462	1196	1280	212	1600以上	－																	
		φ950	40			GM950-8-64	8-M64	1750	1100	940	640	970	810	105	61	735	462	1197	1280	203	1600以上	－																	
		φ1000 φ1016	40			GM1000-8-64	8-M64	1970	1140	980	680	1030	870	110	59	827	465	1292	1280	201	1600以上	－																	

柱サイズφ850～φ1016の基礎柱形の設計例は、構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】にて確認してください。

鉄筋はD13,D16はSD295,D19,D22,D25はSD345,D29はSD390をご使用ください。　表中に無いサイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。
注 1）Ⅰ,Ⅱゾーン分けについてはハイベースNE□工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
注 2）上記表内の(中柱用)とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、(側・隅柱用)を御採用下さい。
注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNE□工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
注 4）(中柱用)の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋をφ406,4以下はD10@250、φ450以上はD13@250として算定しています。あばら筋間隔がこれよりも小さくなる場合は(側・隅柱用)の鉄筋量として下さい。
注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形鋼を合わせた質量です。

センクシア株式会社
本社　TEL　03－4214－1932　　関東　TEL　027－322－9411
札幌　TEL　011－708－1177　　中部　TEL　052－582－3356
東北　TEL　022－213－5595　　北陸　TEL　076－233－5260
URL　https://www.senqcia.co.jp/
関西　TEL　06－6395－2133
中四国TEL　082－240－1630
九州　TEL　092－452－0341

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	ハイベースNEO設計施工標準（3）	設計	R05.01
		縮尺	A3:1/ニ
		図面No.	S－13

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL 028(622)2828

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準　耐火仕様②　JFE 建材 株式会社
耐火補強筋不要仕様　［耐火認定FP060FL-0099,0100,0101,0102,0126,FP120FL-0127用］

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　計

材料／デッキプレート　［ISO 9001認証取得］

デッキプレート種類		板厚(mm)	表　面　処　理
☑ＱＬ９９－５０ □ＱＬ９９－７５	端部加工 ☑ﾝｯｶﾛ有り □無し	□1.0	□亜鉛めっき　［ □Z12　□Z27 ］ □JFEｺﾛｶﾞﾙ(高耐食溶融めっき鋼板)［ □Y18　□Y27 ］ □その他(　　)
		☑1.2 □1.6	□裏面防錆処理(一次塗装) ＱＬプライマー(P) *1*2 ☑亜鉛めっき　［ ☑Z12　□Z27 ］ □JFEｺﾛｶﾞﾙ(高耐食溶融めっき鋼板)［ □Y18　□Y27 ］ □その他(　　)　□無し*2
材　質	ＪＩＳ Ｇ ３３５２に定めるＳＤＰ１Ｔ、ＳＤＰ２、ＳＤＰ２Ｇ		

*1 現場輸入までの一次防錆（ＪＩＳ Ｋ ５６２１ ２種または３種相当）
*2 板厚１.２mm、１.６mmに限る

材料／コンクリート

種　　類	☑普通コンクリート
設計基準強度	□１８　□２１　☑２４　□(　　) Ｎ／mm²
厚さ(ＱＬデッキ山上)	□６０　□７０　☑８０　□８５　□９０　□９５　□１００　□(　　) mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

☑溶接金網	ＪＩＳ Ｇ ３５５１	□φ６-７５×７５　☑φ６-１５０×１５０ □φ６-１００×１００　□(　　) *3
□異形鉄筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２、３１１７	□Ｄ１０-１５０×１５０ □Ｄ１０-２００×２００　□(　　)

*3 線径6mm以上を用いたもの

接　合

梁との接合	□頭付きスタッド	JIS B 1198 □φ１３　□φ１６　□φ１９　□φ２２ （各長さ・ピッチは特記による *4）
	☑焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鉄	接合面所は特記による
	□その他	

*4 最小長さはデッキ高さ＋30mm以上とする

耐　火

ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	耐火区分	支持条件	ｺﾝｸﾘｰﾄ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床１時間	単純/連続	普通	不要	□ＦＰ０６０ＦＬ－０１２６
					☑ＦＰ０６０ＦＬ－０１００
					□ＦＰ０６０ＦＬ－０１０１
QL99-75					□ＦＰ０６０ＦＬ－０１０２
					□ＦＰ０６０ＦＬ－００９９
	床２時間				□ＦＰ１２０ＦＬ－０１２７
その他	□指定なし　□(　　)				□(　　)

注）床２時間は床１時間耐火を含む

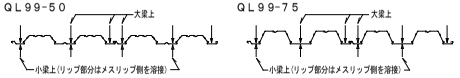
特　記

支保工有無	その他：
☑無　□有	

上欄内の採用項目に☑を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

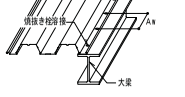
「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$Aw = \frac{1.5Qa}{Qo} \times 1000mm \text{ かつ } 600mm \text{ 以下}$$

Aw：焼抜き栓溶接ピッチ
Qo：設計最大せん断力(N/m)
Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（N）

板厚	1.0	1.2	1.6
Qa (N)	4,000	4,900	7,350 (SPW) 6,860 (APW)

Aw＝（　300　）mm　（注）接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要です。



■施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）　単位（m）

コンクリート厚(mm)			80			85			90			95			100		
板厚(mm)			1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6
QL50	支持条件	単純(内装)	2.28	2.42 (2.42)	2.64 (2.64)	2.26	2.39 (2.39)	2.61 (2.61)	2.24	2.37 (2.37)	2.59 (2.59)	2.22	2.35 (2.35)	2.57 (2.57)	2.20	2.33 (2.33)	2.54 (2.54)
		2連続	3.06	3.21 (3.21)	3.51 (3.51)	3.03	3.20 (3.20)	3.51 (3.51)	3.01	3.18 (3.18)	3.47 (3.47)	2.98	3.15 (3.11)	3.44 (3.44)	2.95	3.12 (3.07)	3.41 (3.41)
		3連続	2.82	2.99 (2.99)	3.26 (3.26)	2.80	2.96 (2.96)	3.23 (3.23)	2.77	2.93 (2.93)	3.20 (3.20)	2.75	2.91 (2.91)	3.17 (3.17)	2.72	2.88 (2.88)	3.13 (3.13)
QL75		単純(内装)	3.01	3.18 (3.18)	3.48 (3.48)	2.98	3.15 (3.15)	3.45 (3.45)	2.96	3.13 (3.13)	3.42 (3.42)	2.93	3.10 (3.10)	3.39 (3.39)	2.91	3.07 (3.07)	3.37 (3.37)
		2連続	3.58	3.91 (3.62)	4.18 (4.18)	3.54	3.88 (3.62)	4.15 (4.15)	3.49	3.82 (3.62)	4.12 (4.12)	3.44	3.78 (3.53)	4.10 (4.10)	3.40	3.73 (3.49)	4.07 (4.07)
		3連続	3.50	3.65 (3.60)	3.93 (3.93)	3.47	3.65 (3.60)	3.91 (3.91)	3.44	3.65 (3.60)	3.89 (3.89)	3.41	3.60 (3.60)	3.86 (3.86)	3.38	3.58 (3.58)	3.83 (3.83)

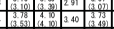
注1：普通コンクリート(単位重量24.0kN/m³)、表面仕上げが張初めっきの場合
注2：（）数値は表面処理が亜鉛めっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。注3：上表を超える場合、別途支保工が必要です。

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】



【連続支持】



耐　火　仕　様

○共通事項　支持梁：鉄骨梁、コンクリート：設計基準強度18～36 N/mm² の普通コンクリート
溶接金網［JIS G 3551］又は異形鉄筋［JIS G 3112, G 3117］　寸法は下表参照
耐火補強筋：不要

【ＱＬ９９－５０】

☑認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０１００（床１時間耐火）］

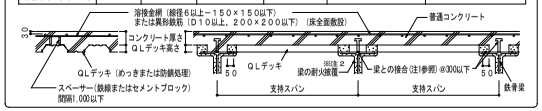
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－５０－１０ ＱＬ９９－５０－１２ ＱＬ９９－５０－１６	単純支持 連続支持	2,700mm 以下	80mm 以上	5,400N/m²以下	線径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接（φ18以上） 打込み鉄（φ4.5） 頭付きスタッド（φ13以上）

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０１０１（床１時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－５０－１０ ＱＬ９９－５０－１２ ＱＬ９９－５０－１６	単純支持 連続支持	3,000mm 以下	80mm 以上	3,500N/m²以下	線径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接（φ18以上） 打込み鉄（φ4.5） 頭付きスタッド（φ13以上）

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０１２６（床１時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－５０－１０ ＱＬ９９－５０－１２ ＱＬ９９－５０－１６	単純支持 連続支持	2,700mm 以下	80mm 以上	7,000N/m²以下	線径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	頭付きスタッド（φ16以上）



【ＱＬ９９－７５】

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０１０２（床１時間耐火）］

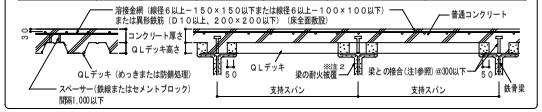
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－７５－１０ ＱＬ９９－７５－１２ ＱＬ９９－７５－１６	単純支持 連続支持	3,000mm 以下	80mm 以上	5,400N/m²以下	線径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接（φ18以上） 頭付きスタッド（φ13以上）

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－００９９（床１時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－７５－１０ ＱＬ９９－７５－１２ ＱＬ９９－７５－１６	単純支持 連続支持	3,400mm 以下	80～100mm	3,500N/m²以下	線径6mm以上-150×150mm以下 D10以上-200×200mm以下	頭付きスタッド （φ16以上）

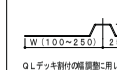
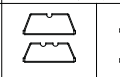
□認定番号［ＦＰ１２０ＦＬ－０１２７（床２時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－７５－１０ ＱＬ９９－７５－１２ ＱＬ９９－７５－１６	単純支持 連続支持	2,500mm 以下	90mm 以上	6,000N/m²以下	線径6mm以上-100×100mm以下 D10以上-200×200mm以下	焼抜き栓溶接（φ18以上） 頭付きスタッド（φ13以上）



注1）梁との接合間隔は、焼抜き栓溶接・打込み鉄・頭付きスタッド共に、デッキ溝と直交する場合300mm以下、平行方向は600mm以下とする。
注2）梁の耐火被覆　梁に所定の耐火性能を要求される場合は、それらに応じて適切な耐火被覆を施す。（本認定仕様外）
注3）許容積載荷重は、床にかかる全荷重（仕上げ荷重も含む）から床荷重（デッキプレート+コンクリート+鉄筋）を差し引いた値を示す。

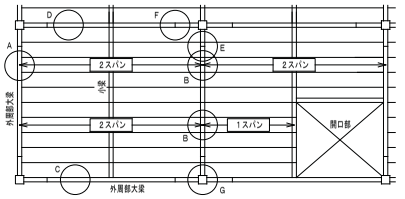
アクセサリー

フラッシング	クローサー	ハンガー金具
		
ＱＬデッキ割付の幅調整に用いる。 定尺2 4m、t＝1.2mmまたは1.6mm	ＱＬデッキの小口ふさぎ用	梁の耐火被覆用置戸

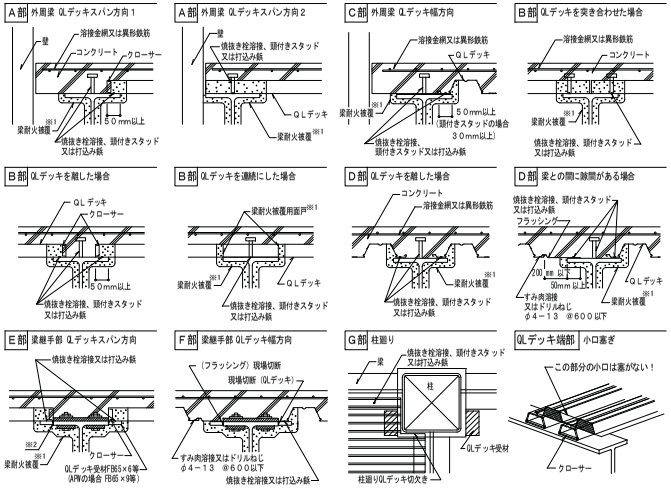
標　準　納　まり

支持梁：鉄骨梁

図中※1は、梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。
※２ 溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Ｑ＆Ａ参照）



Ａ：外周梁（デッキスパン方向）
Ｂ：内部梁（　〃　）
Ｃ：外周梁（デッキ幅方向）
Ｄ：内部梁（　〃　）
Ｅ：梁縁手（デッキスパン方向）
Ｆ：　〃　（デッキ幅方向）
Ｇ：柱廻り

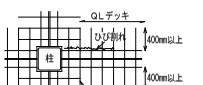


（参考）ひび割れ拡大防止のための留意事項

[1]設計上の留意点
1)小梁の剛性を大きくする。
2)ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。（右図補強例参照）
3)スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
（コンクリート厚さをＱＬデッキ山上から 80～90mm と厚くする。）
4)デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。

[2]施工上の留意点
1)水セメント比を小さくする。
［例］単位水量　175リットル/m³以下
ベースコンクリートスランプ　10cm　スランプ 15cm
高性能ＡＥ減水剤
2)溶接金網の位置→かぶり厚さ30mmを確保する。（補強筋は溶接金網より下に配筋する）
3)コンクリート打込み後１週間は載荷作業を行わない、歩行程度は可。
4)打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。
5)打込み後４～７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

大梁上の補強例



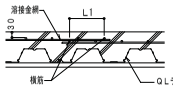
柱廻りの補強例



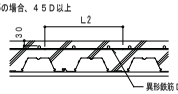
スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。

溶接金網の重ね代Ｌ１：１メッシュとも５０mm以上
（線径６－１５０×１５０の場合２００mm以上、線径６－１００×１００の場合１５０mm以上）



異形鉄筋の重ね代Ｌ２：JASS 5による
例）Fc18 SD295の場合、４５Ｄ以上

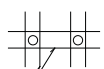


※配筋のスペーサーは鉄線またはセメントブロックとし、間隔は１．０m以下とする。

開口部補強案

１）開口がφ150mm程度の場合

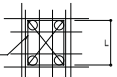
A)開口間隔≧３×開口径



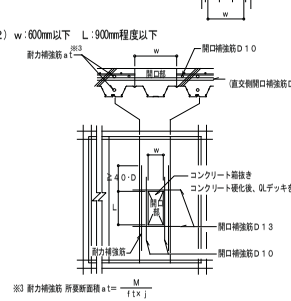
B)開口間隔＜３×開口径



C)開口が連続している場合
連続する開口の開口群(仮想開口)とみなし、その開口部の大きさにより、２)又は３)に準じて補強を行う

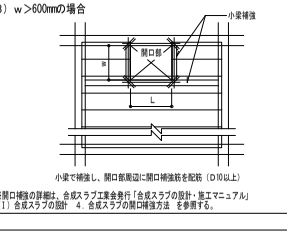


２）ｗ：600mm以下　Ｌ：900mm程度以下



※3 耐力補強筋 所要断面積 $at = \frac{M}{ftx}$
M：開口によって生じる開時スラブの増加曲げモーメント

３）ｗ＞600mmの場合



※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」
（1）合成スラブの設計　4．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

施工

施工順序



敷　込　み

鉄骨梁の場合
1)墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、端次溝当たり数（５～１０箇）ごとに仮止め溶接する。
2)各支点にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。

デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。
（頭付きスタッドの場合は３０mm以上）
3)デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1）頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2）打込み鉄
施工は打込み鉄製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

3）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般鋼材の塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］ ―アーク手溶接―

（1）溶接機
交流アーク溶接機　ＡＷ２５０Ａ以上　エンジン溶接機　２３０Ａ以上
（2）溶接棒
ＪＩＳ Ｚ ３２１１のＥ４３１６、Ｅ４９１６ に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径４mmのもの
（3）標準溶接条件
梁フランジ板厚：６mm以上
溶 接 電 流　：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)
（4）溶接工の資格
ＪＩＳ Ｚ ３８０１、ＪＩＳ Ｚ ３８４１ における基本級の有資格者
（5）手順・要領
右の１～４の順に行う。

	工　程	手　順・要　領
1	アーク発生	ＱＬデッキを梁になじませ(隙間２mm以下)溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm弱で"の"の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら運棒。
4	整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］ ―ＣＯ２アークスポット溶接―

（1）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
（2）ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ１.２mm
（3）標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（Ａ）	電圧（Ｖ）	アークタイム（秒）
１.２mm	６～９mm未満	３００～３２０	３３～３５	３.０～４.０×１度打ち
	９mm以上	３００～３２０	３３～３５	３.０～４.０×２度打ち
１.６mm	６～９mm未満	３００～３２０	３４～３６	３.５～４.５×１度打ち
	９mm以上	３００～３２０	３４～３６	４.０～４.５×２度打ち

注１.デッキプレート　板厚１.０mm　表面条件：Ｚ１２、Ｚ２７、裏面塗装
２.ＣＯ２ガス流量：２０Ｌ／分以上

検　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】
□事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1) 検査計下の計測
2) 溶接棒の消費長さによる確認 ―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４.５～５.３mmであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
1) 溶接箇所の確認　2) 焼きひけ、余盛り不足の有無
3) 標準余盛り径　ＳＰＷ：１８mm以上　Ａ．Ｐ．Ｗ：２５mm±３
□不良部の補修
ＳＰＷ　の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。

【その他】
(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

その他の納まり・参考例等については、ＱＬデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

2021/11/01

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　５４１８９号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　２８８７９６号
構造設計一級建築士 第　６１４８号　長瀬　博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	０３１２３
図名	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	設計	R05.01
		縮尺	A3：1/ニ A3：1/ニ
		図面No.	Ｓ－１４

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本　社　栃木県宇都宮市大曽１丁目５番８号　TEL 028(622)8928

管理建築士	古　澤　康　夫	一級建築士登録番号 ２２３９２５号
設計者		一級建築士登録番号　号
承認		検図
設計者		一級建築士登録番号　号

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ　設計・施工標準

JFE 建材 株式会社

1 型式・質量および断面性能

JF75 ⇒ 熊谷工場製造
JF75W⇒ 神戸工場製造

	型式	板厚[mm]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/枚/m]	製品質量 [kg/m²]	断面性能 I [x10⁴mm⁴/m]	断面性能 Z [x10³mm³/m]
□	ＪＦ７５－０８	0.8	7.95	12.6	120	18.7
	ＪＦ７５Ｗ－０８		7.97	12.6		
□	ＪＦ７５－１０	1.0	9.88	15.7	150	24.4
	ＪＦ７５Ｗ－１０		9.88	15.7		
☑	ＪＦ７５－１２	1.2	11.8	18.7	180	29.4
	ＪＦ７５Ｗ－１２		11.8	18.7		
□	ＪＦ７５－１４	1.4	13.7	21.8	206	34.4
	ＪＦ７５Ｗ－１４		13.6	21.6		
□	ＪＦ７５－１６	1.6	15.7	24.9	232	39.3
	ＪＦ７５Ｗ－１６		15.5	24.6		

(注) JF75（熊谷工場）とJF75W（神戸工場）の使い分けについて：製品は原則、指定搬入先に近い工場にて製造し出荷致します

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗの設計・施工は、(一社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。
ＪＦ７５評価番号［評価 第911-0100A003号］

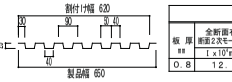
種類の記号および材料

種類記号	付着量記号	最小付着量（両面）[g/m²]	使用材料
SGCC	☑ Z12	120	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
SGHC	□ Z27	275	
SZACC SZAHC	□ Y18	180	JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
□ その他（ ）			

(注) 断面性能のＩは、断面2次モーメント(全断面有効)、Ｚは断面係数(有効幅考慮50t)を示します
Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

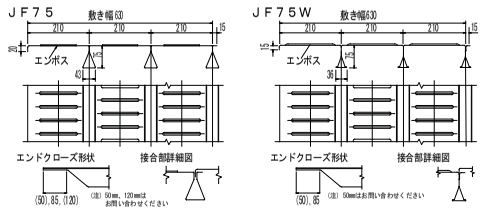
キーストンプレート

原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。
(L＝350～1,200mm)※板厚：0.8mm



キーストンプレート				
板厚 mm	全断面有効 断面2次モーメント I x10⁴mm⁴/m	有効幅考慮 断面係数 Z x10³mm³/m	製品質量 重視めっき(Z12) kg/m	製品質量 重視めっき(Z27) kg/m
0.8	12.2	9.80	5.89	6.07

2 製品仕様

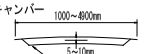


製品長さ・エンドクローズ寸法

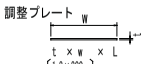
種類	エンドクローズ長さ	製品長さ
ＪＦ７５	85,（50,120）mm	1000～4900 mm
ＪＦ７５Ｗ	85,（50）mm	1000～4900 mm

(注) 50mm、120mmはお問い合わせください

キャンバー

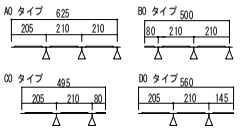


調整プレート



(注) RC梁型枠用調整プレートには釘孔加工(@600mm) 有り

役物デッキプレート



3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する
算定式および許容値は、下表とする

項目		算定式
曲げ応力 (N/mm²)	[Ｓ造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq f_b$
	[RC・SRC造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq \frac{f_b}{\alpha}$
たわみ (mm)		$\delta = \frac{5WL^4}{384EI} \times 10^3 \leqq \frac{Lx10^3}{180} + 5$
支圧耐力 (N/m)		$P = W_L \leqq Pa$

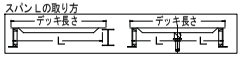
記号説明

σ	曲げ応力度	(N/mm²)
f_b	許容曲げ応力度 f_b= 205	(N/mm²)
M	最大曲げモーメント	(N-mm/m)
Z	断面係数（有効幅５０ｔ考慮）	(mm³/m)
α	最大たわみ	(mm)
C	たわみ算定用係数 (C=1.6)	
W	設計（上載）荷重	(N/m²)
L	スパン	m
E	鋼材のヤング係数 [=2.05×10⁵ N/mm²]	(N/mm²)
I	断面２次モーメント(全断面有効)	(mm⁴/m)
α	施工割増係数[別表参照]	
P	ＪＦデッキリブ支圧荷重	(N/m)
Pa	許容支圧荷重[別表参照]	(N/m)

許容支圧荷重Pa（幅1m当たり）

板厚（mm）	0.8	1.0	1.2
許容支圧荷重（N/m）	9,800	14,700	19,600

スパンLの取り方



設計荷重 W

W＝W₁＋W₂＋W₃　W₁：スラブ自重=（スラブ厚）×（鉄筋コンクリート単重）
W₂：フラットデッキ自重　W₃：作業荷重(下記)

施工時作業荷重	☑ 1,470N/m²［ポンプ工法］	□ 2,450N/m²［ホッパー・バケット工法］
コンクリート［鉄筋コンクリート単重］	□（ N/m² ）［ ］	
	☑ 普通コンクリート［ 24kN/m³ ］	□ 軽量コンクリート［ 20kN/m³ ］
	□（ ）［ kN/m³ ］	

施工割増係数（支持梁がＲＣ造またはＳＲＣ造の場合）

施工状況の種類	施工割増係数(α)	施工条件など
□ Ⅰ類	1.0	RC造またはSRC造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合
□ Ⅱ類	1.25	Ⅰ類以外のＲＣ造またはＳＲＣ造の場合で、板厚１.０mmまたは板厚１.２mmのフラットデッキを使用する場合
□ Ⅲ類	1.5	Ⅰ類以外のＲＣ造またはＳＲＣ造の場合で、板厚０.８mmのフラットデッキを使用する場合

スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］

建物の構造		S造、RC・SRC造					RC・SRC造		
RC・SRC造 施工状況の種類		Ⅰ類[施工割増係数：α=1.0]					Ⅱ類[α=1.25]		Ⅲ類[α=1.5]
スラブ厚(mm)	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m³	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910	2,130
	125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	130	2,540	2,830	2,990	3,110	3,220	2,590	2,840	2,080
	135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800	2,050
	140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770	2,030
	145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740	2,000
	150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670	1,960
	160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640	1,930
	170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590	1,890
	180	2,270	2,590	2,790	2,900	3,010	2,320	2,540	1,850
	190	2,230	2,540	2,750	2,870	2,970	2,270	2,490	1,820
	200	2,180	2,490	2,720	2,830	2,940	2,230	2,440	1,780
	250	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640
	300	1,860	2,120	2,330	2,510	2,660	1,900	2,080	1,520
軽量コンクリート 20 kN/m³	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080	2,260
	125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040	2,230
	130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010	2,200
	135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970	2,180
	140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,290	2,680	2,940	2,150
	145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900	2,130
	150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840	2,080
	160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810	2,060
	170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760	2,020
	180	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	190	2,380	2,710	2,870	2,980	3,090	2,420	2,650	1,940
	200	2,340	2,660	2,840	2,950	3,060	2,380	2,610	1,910
	250	2,150	2,450	2,690	2,810	2,910	2,190	2,400	1,760
	300	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640

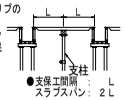
1)□ 部は、たわみで決定する範囲を示す。　(単位：mm)

中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²］

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数		α=1.0			α=1.25		α=1.5
スラブ厚(mm)	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m³	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900	4,270
	130	4,150	4,900	4,900	4,900	4,900	4,150
	140	3,950	4,900	4,900	4,900	4,900	3,950
	150	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	160	3,600	4,900	4,900	4,830	4,900	3,600
	170	3,450	4,900	4,900	4,730	4,900	3,450
	180	3,310	4,900	4,900	4,640	4,900	3,310
	190	3,180	4,750	4,900	4,540	4,900	3,180
	200	3,060	4,570	4,900	4,460	4,880	3,060
	250	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570
	300	2,220	3,330	4,420	3,330	4,170	2,220
軽量コンクリート 20 kN/m³	120	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,520
	130	4,670	4,900	4,900	4,900	4,900	4,410
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900	4,310
	150	4,260	4,900	4,900	4,900	4,900	4,210
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900	4,080
	170	3,920	4,900	4,900	4,900	4,900	3,920
	180	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	190	3,630	4,900	4,900	4,850	4,900	3,630
	200	3,500	4,900	4,900	4,770	4,900	3,500
	250	2,970	4,430	4,900	4,390	4,810	2,970
	300	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570

(単位：mm)

1)上表の数値は、中間支保工を設ける場合のＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン２Ｌを示す
2)ＲＣ造またはＳＲＣ造において梁側板型枠でＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗを支持する場合、スラブスパンが３.０mを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
3)ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ製品仕様の最大長さは4.9m

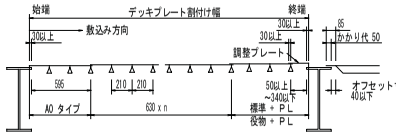


4 納まり例

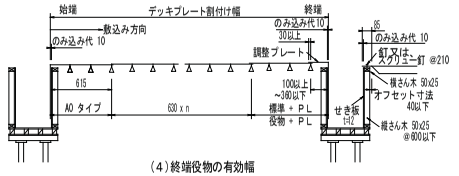
4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品（６３０幅）をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

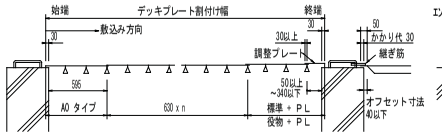
(1)鉄骨造（Ｓ造）



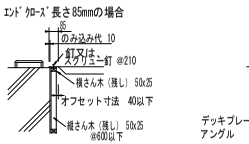
(2)鉄筋コンクリート造（ＲＣ造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ造）



(3)ＲＣ置きスラブ（地中梁）

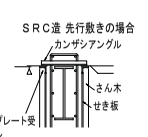


エンドクローズ長さ85mmの場合

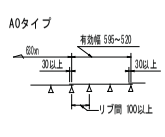


(4)終端役物の有効幅

SRC造 先行敷きの場合



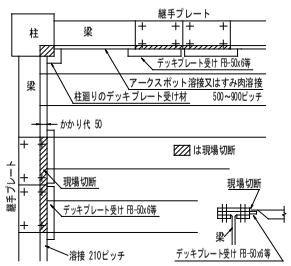
A0タイプ



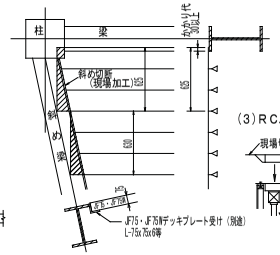
4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承認を得て決定すること

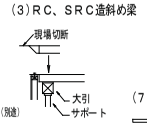
(1)Ｓ造継手プレート部の納まり
※柱コーナーおよび継手プレート部の切断は現場加工



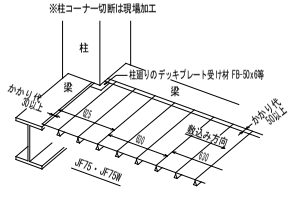
(2)Ｓ造斜め梁の納まり



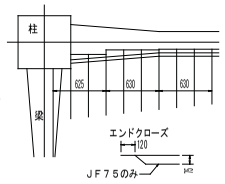
(3)ＲＣ、ＳＲＣ造斜め梁



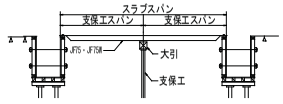
(4)Ｓ造柱廻りの納まり
※柱コーナー切断は現場加工



(5)Ｓ造水平ハンチの納まり



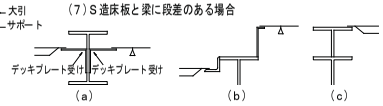
4-3 中間支保工設置



(6)Ｓ造梁の段差（レベル差）がある場合



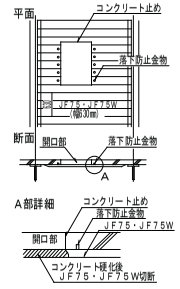
(7)Ｓ造床板と梁に段差のある場合



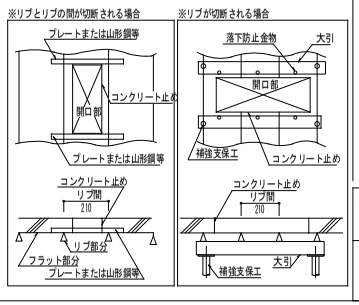
4-4 開口部納まり例

配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則として下Ａ図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける

A)コンクリート硬化後に開口部切断



B)コンクリート打設前に開口部切断



5 施工の要点

施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

項目	内容
1 保管	(1)敷込みとの関連を考えて保管場所を決める (2)薄板製品であることを十分認識し変形に注意する
2 吊り込み	(1)骨組の組立順序との関連を十分検討する (2)壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分検討する (3)クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する (4)揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する
3 敷込み	(1)始端かかり位置、中間位置(デッキ５枚位の位置)終端位置をマーキングする (2)割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする (3)２枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策) (4)かかり寸法は厳守する (5)敷込み後は速やかに溶接等で固定する
4 作業床	(1)一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8～1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける (2)受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする (3)油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く (4)資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8～1.0mmは注意する
5 コンクリート打設	(1)打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する (2)打設は、コンクリートの山（集中荷重）をつくらないようにする

特記（施工）

2022/07/21

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	JF75・JF75W設計・施工標準	設計	R05.01
		縮尺	A3：1/ ニ
		図面No.	S－14A

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬　博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栖　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽１丁目５番８号　TEL.028(622)8928

承認		検図	

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
設計者 一級建築士登録番号 号
設計者 一級建築士登録番号 号
一級建築士登録番号 号

ＱＬルーフ屋根設計・施工標準　　JFE 建材 株式会社

ＱＬルーフを屋根に用いた場合の設計・施工は、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準　2018」、床商品カタログ、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

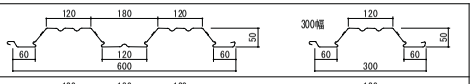
設　　計

採用項目に☑を記して下さい。

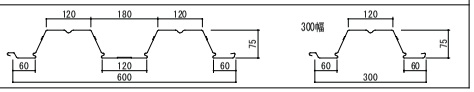
1．材料／デッキプレート　　[ISO 9001認証取得]

商品名	デッキプレート種類	表面処理	材質
ＱＬルーフ	☑QL99-50-12Y　□QL99-50-16Y □QL99-75-12Y　□QL99-75-16Y	亜鉛メッキ(G) ☑Z12 □Z27	JIS G 3352 SDP2G

ＱＬ９９－５０　板厚:1.2,1.6mm



ＱＬ９９－７５　板厚:1.2,1.6mm



2．梁(母屋)との接合

☑焼抜き栓溶接（φ18以上）	梁(母屋)板厚（ｔ）≧6mm	下記の接合箇所の項によって決定する。
□打込み鋲		
□ドリルねじ（φ6×L20以上）	梁(母屋)板厚（ｔ）＜6mm	
□そ　の　他		

注1）本標準図において、「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ(JIS B 1124)」をドリルねじと略記する。
注2）打込み鋲の場合、「梁(母屋)板厚」の最大値は32mm。

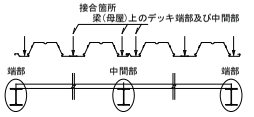
接合箇所

◎デッキ幅方向

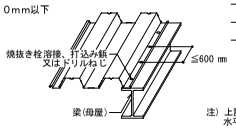
接合部の作用する荷重に応じて接合箇所の個数を決定する。

デッキ端部梁(母屋)上
Ns=Ws／1．5Pａ かつ3ヶ所/デッキ１枚以上
デッキ中間部梁(母屋)上
Nc=Wc／1．5Pａ かつ3ヶ所/デッキ１枚以上

Ｐａ：接合部１個当たりの長期許容引張り力（Ｎ）
Ｗｓ：デッキ端部梁(母屋)上部に作用する設計最大荷重(Ｎ/m)
Ｗｃ：デッキ中間部梁(母屋)上部に作用する設計最大荷重(Ｎ/m)
Ｎｓ：デッキ端部梁(母屋)上の接合箇所数／１m幅
Ｎｃ：デッキ中間部梁(母屋)上の接合箇所数／１m幅



◎デッキスパン方向



注）上記方法でデッキと梁（母屋）を接合しても、水平ブレースは削除できません。
水平ブレース（屋根面）は別途ご指示ください。

接合強度一覧

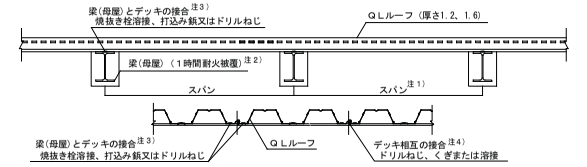
デッキ板厚	焼抜き栓溶接 端部	焼抜き栓溶接 中間部	打込み鋲 端部・中間部共	ドリルねじ 端部・中間部共
1．2mm	1,170N/ヶ所	4,000N/ヶ所	3,100N/本	1,570N/本
1．6mm	1,560N/ヶ所	4,310N/ヶ所	3,500N/本	

特　　記

その他	デッキ敷込み時にデッキ嵌合が甘い場合は、適切な処理を施して下さい。(「4．デッキ相互の接合」参照)

3．屋根システム耐火仕様

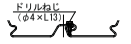
デッキ品名	敷設形式	支持スパン	認定番号	接合（デッキ相互）	接合（デッキと母屋）
QL99-50-12Y QL99-50-16Y	単純支持	2,800mm 以下	☑FP030RF-0327	□ドリルねじ ☑スポット溶接 □すみ肉溶接 □くぎ	☑焼抜き栓溶接 □打込み鋲 □ドリルねじ
	連続支持	3,400mm 以下	□FP030RF-0413		
QL99-75-12Y QL99-75-16Y	単純支持	3,400mm 以下	□FP030RF-0328		
	連続支持	4,550mm 以下	□FP030RF-0326		
QL99-50-12Y	単純支持	2,650mm 以下	□FP030RF-0064	□ドリルねじ □スポット溶接 □すみ肉溶接 □くぎ	□焼抜き栓溶接 □打込み鋲 □ドリルねじ
	連続支持	3,350mm 以下			
QL99-50-16Y	単純支持	2,850mm 以下			
	連続支持	3,550mm 以下			
QL99-75-12Y	単純支持	3,200mm 以下			
	連続支持	3,900mm 以下			
QL99-75-16Y	単純支持	3,450mm 以下			
	連続支持	4,300mm 以下			



注１）スパンとは梁(母屋)の中心間距離を言う。
注２）梁(母屋)の耐火被覆　梁(母屋)に１時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注３）梁(母屋)とデッキ間の接合は、デッキプレート１枚毎に３ヶ所とする。詳細は「2．梁(母屋)との接合」及び「施工」欄を参照。
注４）デッキ相互の接合については下記の通りとする。

4．デッキ相互の接合

1．ドリルねじ

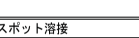


2．くぎ

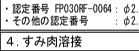


・認定番号 FP030RF-0064：φ2.1×L32
・その他の認定番号　：φ2.5×L32

3．スポット溶接

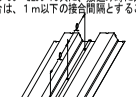


4．すみ肉溶接



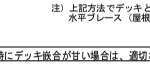
接合間隔 ℓ

□認定番号FP030RF-0064：@450mm
☑その他：
QL99-50は、デッキスパン中央に１ヶ所接合する。但しQL99-50・QL99-75共に、敷込み時に嵌合が甘い場合は、１m以下の接合間隔とすること。

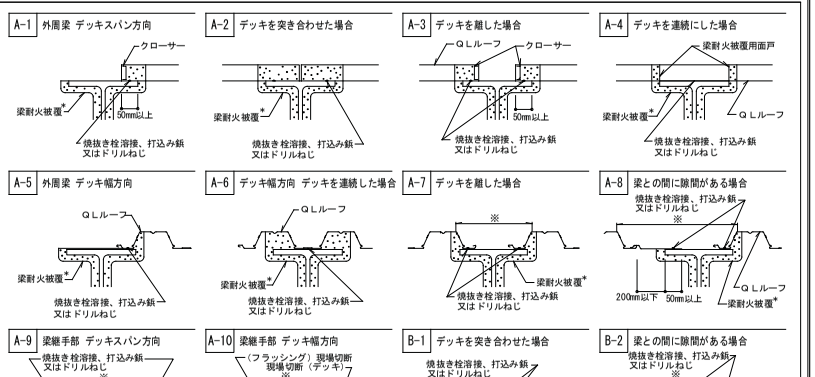


注）認定番号FP030RF-0064に記すドリリングタッピンねじは、JIS改訂により「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ(JIS B 1124)」に変更になっています。

5．アクセサリー

フラッシング	クローサー			天井吊り
FS	NCS75S・NCS50S	CS75・CS50	BC75・BC50	ＱＬインサート
				
デッキ割付の幅調整に用いる。定尺2.4m	デッキの小口ふさぎに用いる。	デッキ小口を連続してふさぐ場合に用いる。定尺2.4m	梁耐火被覆用面戸に用いる。	付属のネジで固定する。吊り荷重:980N(100kg)

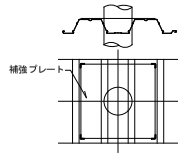
標　準　納　まり



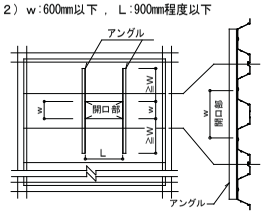
*印「梁耐火被覆」については、設計「3．屋根システム耐火仕様」の注２)を参照下さい。
※部分が180mm を超える場合、断熱材敷設のための補強が必要となることがあります。詳細については、ご相談下さい。

開口部補強案

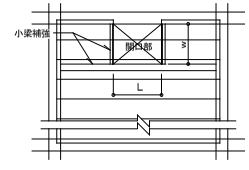
1）開口がφ150程度の場合



2）ｗ:600mm以下，Ｌ:900mm程度以下



3）ｗ>600mmの場合



施工

施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
デッキと梁(母屋)との接合
1）焼抜き栓溶接
2）打込み鋲
3）ドリルねじ
↓
デッキ相互の接合
1）ドリルねじ
2）くぎ
3）スポット溶接
4）すみ肉溶接
↓
検　査

敷　込　み

1）墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(５～１０枚)ごとに仮止め溶接する。

2）デッキプレートの溝部が各梁(母屋)上に乗るように敷込む。（５０mm以上）

3）デッキプレートの長さ方向の梁(母屋)上のかかり幅は、５０mm 以上に敷込む。

デッキと梁(母屋)との接合

焼抜き栓溶接
―アーク手溶接―　　平成14年４月16日国土交通省告示第326号に基づき、下記の仕様とする。

（１）溶接機：交流アーク溶接機　ＡＷ２５０Ａ以上　エンジン溶接機　２３０Ａ以上
（２）溶接棒：JIS Z 3211のE4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒
　　棒径4mmφのもの
（３）標準溶接条件：右表

梁フランジ板厚	溶接電流
6mm以上	１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)

（４）溶接工の資格：JIS Z 3801、JIS Z 3841 における基本級の有資格者
（５）手順・要領：以下の１～４の順に行う。

	工程	手順・要領
1	アーク発生	デッキを梁(母屋)になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	デッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm弱で"の"の字を描いてデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁(母屋)上まで押込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ2～3回転しながら溶棒。
4	整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラブを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

打込み鋲

（１）使用工具：鋲打機（打込み鋲専用工具）
（２）鋲：ヒルティ鋲 (X-ENP-19 L15：JIS G 3502 ピアノ線相当)
（３）施工指導及び施工：鋲メーカーが責任施工又は施工指導を行う。
（４）作業資格：鋲メーカーの作業者資格認定制度に基づき施工技術を修得した作業員が施工する。
（５）手順・要領：以下の１～３の順に行う。

	工程	手順・要領
1	鋲打ち機調整	梁(母屋)板厚に合った空砲と威力レベルをセットする。
2	鋲打ち	デッキを梁(母屋)になじませ鋲を打つ。
3	立上がり長さ確認	検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。

注１．開静な場所では発射音の対策に注意。
２．詳細は鋲メーカーの施工要領にしたがって施工並びに検査を行う。

ドリルねじ

（１）規　格　：ＪＩＳ Ｂ １１２４
（２）寸法(mm)：φ６以上ｘＬ20以上

梁(母屋)板厚が厚い場合は、デッキと梁(母屋)に下穴を開けた後に、ドリルねじを取り付ける。

注．「デッキ相互の接合」に使用するドリルねじとは、ねじの寸法(φ４ｘＬ13)が異なる。

検　　査

【焼抜き栓溶接】

□事前検査
適正な溶接を行うため 1)または2) の方法で電流値をチェックする。
1）検流計での計測
2）溶接棒の消費長さによる確認 ――未使用の規定の溶接棒を用いてアーク長さを約3mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが45～53mmであること。

□溶接後の外観検査
1）溶接箇所の確認　2）焼き切れ、余盛り不足の有無
3）標準余盛り径　：18mm以上

□不良部の補修
スラグ除去後、梁にデッキを密着させて再溶接する。
不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。

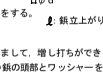
【そ　の　他】
(1) デッキ相互の嵌合状況
(2) 開口部の補強状況

【打込み鋲】

□事前検査
梁(母屋)板厚に合った空砲と威力をセットする。
空砲の種類及び選定についてはメーカーに確認する。

□接合後の外観検査
1) 検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。

	ヒルティ鋲
D	15
d	4.5
ℓ	8.2～9.8



2) 検査で不合格の場合は増打ちをする。　ℓ：鋲立上がり長さ

□不良部の補修
打鋲に失敗した鋲の頭部がじゃまして、増し打ちができない場合は、グラインダーにてその鋲の頭部とフッシャーを取り除き、その隣でデッキスパン方向10mm以内に増し打ちする。

2019／08／01

工事名	(仮称) 上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	ＱＬルーフ屋根設計・施工標準	設計	R05.01
		縮尺	A3：1/ニ　A3：1/ニ
		図面No.	S－15

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　８９４７９号
本　社　栃木県宇都宮市大曽１丁目５番８号　TEL.028(622)8928

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　５４１８９ 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　２８８７９６ 号
構造設計一級建築士 第　６１４８ 号　長瀬　博明

管理建築士	古澤　康夫	一級建築士登録番号２２３９２５号
従事する建築士		
一級建築士登録番号		号
従事する建築士		
一級建築士登録番号		号

梁貫通孔補強材　ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書

（一財）日本建築センター　ＢＣＪ評定-RC0124-07

１．一般事項

（１）　本仕様書は、ダイヤレンＮＳの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。

（２）　本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、（一財）日本建築センター及び（一社）日本建築学会の関連する諸指針や諸規準、ダイヤレンＮＳ技術マニュアルによる。

２．使用材料の適用範囲

（１）　コンクリート
Fc＝21～100N/mm^2

（２）　鉄筋
・主筋　　：基準強度295～490N/mm^2 のJIS鉄筋、490を超え685N/mm^2 以下の大臣認定品
・あばら筋　　：基準強度295～490N/mm^2 のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm^2 以下の大臣認定品
・ダイヤレンＮＳ：KSS785-K（MSRB-0004）、MK785（MSRB-0067）

３．貫通孔適用範囲

（１）　開口の形状は円形または多角形とし、多角形の場合はその外接円を開口とみなす。

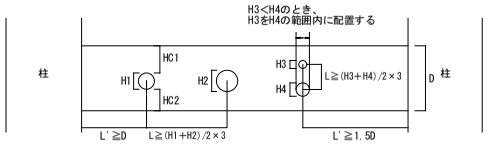
（２）　開口径（H）は開口外径とし、750mm以下かつ梁せいの1/3以下とする。ただし、上下に複数の開口を設ける場合は、当該複数孔の開口径の合計は梁せいの1/3以下とする。

（３）　隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離（L）は開口径の3倍以上とし、隣接する開口の径が異なる場合は、両開口径の平均値の3倍以上とする。また、上下に複数の開口を設ける場合には、最大径の範囲内にその他の開口を配置することとする。

（４）　へりあき（HC1,HC2）の最小寸法は下式による。
へりあき≧（ダイヤレンＮＳのE寸法－開口径H）/2＋ダイヤレンＮＳの鉄筋径/2
＋あばら筋径＋かぶり厚さ（40mm以上）
ただし、ダイヤレンＮＳをあばら筋の内側に施工することとする。

（５）　水平方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離（L'）を梁せい以上とする。

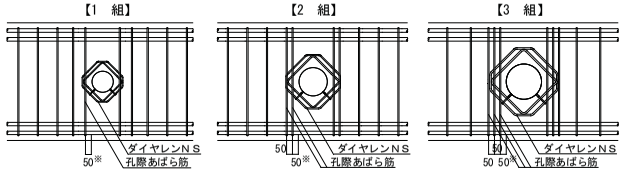
（６）　上下に複数の開口を設ける場合の水平方向の開口位置は、L'を梁せいの1.5倍以上とする。



H1,H2≦750mm かつ H1,H2≦D/3
H3,H4≦750mm かつ Σ(H3,H4)≦D/3
HC1,HC2≧（ダイヤレンＮＳのE寸法－H1）/2＋ダイヤレンＮＳの鉄筋径/2
＋あばら筋径＋かぶり厚さ（40mm以上）

４．開口部あばら筋の配筋要領

※必要なかぶり厚さを確保した位置とし、標準は50mmとする。



（１）　開口部あばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。

（２）　孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

開口径	一般部あばら筋比（p_w）	
	1%未満	1%以上
H<150	1組	2組
150≦H<300	2組	3組
300≦H	3組	3組

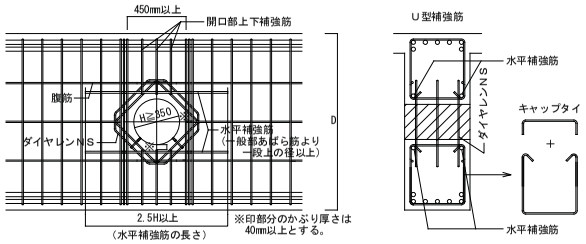
５．開口部上下補強要領（350φ以上の場合）

（１）　開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上（開口径で350mm以上）になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。

（２）　開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。（丸鋼及びインデントは不可）

（３）　梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d（dは鉄筋の呼び径）以下の場合は、Ｕ型またはII型の形状で補強を行う。

（４）　水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし（SD295A程度）、開口径の2.5倍以上の長さとする。



開口上下部分の補強要領（Ｕ型補強筋で補強する場合の例）

６．施工要領例

（１）　型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。

（２）　補強設計上必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。

（３）　ダイヤレンＮＳを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。

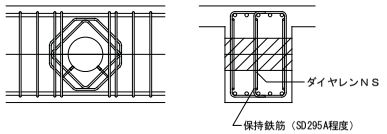
（４）　スリーブをダイヤレンＮＳのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。

（５）　孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。
（束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。）

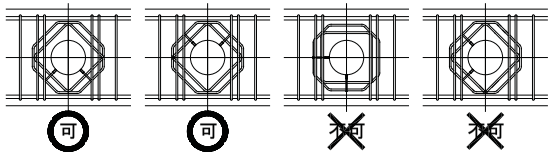
（６）　開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

７．施工における注意事項

（１）　補強設計によってダイヤレンＮＳが3枚以上になった場合で中子筋が無い場合は下図のように保持鉄筋等に結束する。



（２）　ダイヤレンＮＳはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」のように施工すること。



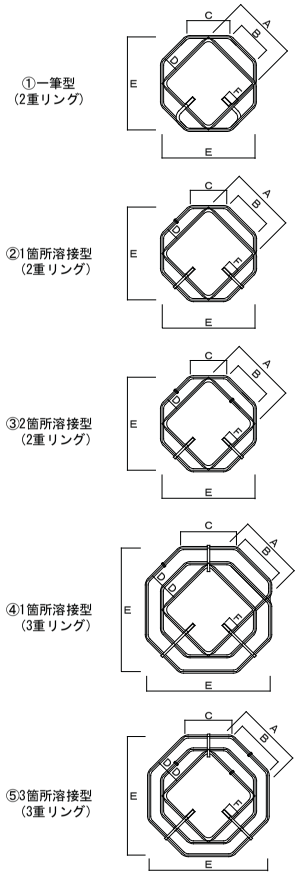
８．ダイヤレンＮＳ標準製品寸法表

（特記外単位：mm）

スリーブ径（対応径）	型	サイズ	寸法 A	B	C	D	E	F	形状	重量（kgf/枚）	Ho
100φ（H≦115）	I	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	II	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	III	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	IV	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	V	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	V-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ（H≦141）	I	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	II	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	III	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	IV	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	V	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	V-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ（H≦166）	I	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	II	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	III	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	IV	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	V	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	V-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ（H≦191）	I	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	II	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	III	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	IV	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	V	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	V-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ（H≦216）	I	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	II	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	III	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	IV	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	V	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	V-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ（H≦270）	I	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	II	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	III	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	IV	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	V	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	V-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ（H≦320）	I	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	II	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	III	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	IV	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	V	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	V-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ（H≦370）	I	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	II	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	III	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	IV	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	V	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	V-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ（H≦420）	I	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	II	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	III	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	IV	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	IV-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
450φ（H≦470）	I	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
	II	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	III	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	IV	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	IV-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
500φ（H≦520）	II	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	III	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
	IV	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	IV-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
550φ（H≦570）	II	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	III	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	IV	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	IV-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
600φ（H≦630）	II	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	III	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	IV	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	IV-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
650φ（H≦680）	II	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	III	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
	IV	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	IV-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
700φ（H≦730）	II	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	III	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	IV	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	IV-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
750φ（H≦750）	II	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	III	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	IV	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	IV-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780

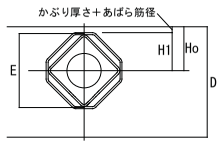
※対応径は、スリーブ面とダイヤレンＮＳ内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径
※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合のコンクリート面から開口中心までの距離
※寸法は、鉄筋の芯－芯間とする

【ダイヤレンＮＳ　標準形状】



※へりあきの最小寸法

ダイヤレンＮＳを使用した場合のコンクリート面から開口中心までの距離（Ho）を左表に示す。
（かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値）



H1＝E/2＋鉄筋径/2
Ho＝かぶり厚さ＋あばら筋径＋H1

※同等品も可とする。

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書	設計	R05.01
		縮尺	A3：1/ニ　A3：1/ニ
図面No.	S－16		

管理建築士	古澤　康夫	一級建築士登録番号	223925号
従事する建築士		一級建築士登録番号	号
一級建築士登録番号		従事する建築士	
		一級建築士登録番号	号

承認		検図	

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬　博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)2928

（一財）日本建築センター　BCJ評定-ST0265-02

鉄骨梁貫通孔補強工法

フリードーナツエイト 工法標準図

本標準図に記載のない事項は下記による。
・建築基準法・同施行令・国土交通省告示等
・日本産業規格（JIS）
・鋼構造許容応力度設計基準　2019年改定版（日本建築学会）
・建築工事標準仕様書・同解説　JASS6鉄骨工事　2018年改定版（日本建築学会）
・鉄骨工事技術指針・工事現場施工編　2018年改定版　（日本建築学会）
・鉄骨工事技術指針・工場製作編　2018年改定版　（日本建築学会）
・（別紙第1）グレード別の適用範囲と別記事項（日本鉄骨評価センター）

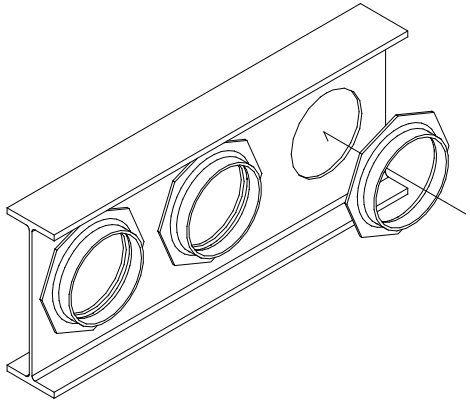
旭化成建材株式会社
TEL　03-3296-3515
2022年7月作成

1. 工法概要

フリードーナツエイト（以下、本工法）は、鉄骨梁のウェブ貫通孔を専用のBRリング（貫通孔補強金物）を用いて補強する工法である。

本工法は、ウェブ貫通孔に立上りを有するBRリングを密着させた後、BRリング外周部と梁ウェブとを隅肉溶接することでBRリングと梁とを一体化させウェブ貫通孔を補強する。

本工法には、呼び径としてφ100からφ400までの貫通孔径に対応したBRリングが部品化されている。



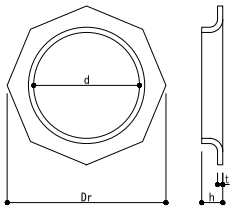
注）　本工法は、横補剛が必要な梁の横補剛を不要とするものではない。

2. 構成部品

[2.1] BRリング材質

SN-BR490B MSTL-0504　（F値325N/mm²）
建築基準法第37条第二項に基づく指定建築材料

[2.2] BRリング形状



[2.3] フリードーナツエイト構成部品一覧

単位（mm）

製品記号	呼び径 d	BRリング 重量 (kg)	内径 (d)	外径 Dr	板厚 t	高さ h	枚数 (枚)
BR100K	100	0.6	100	160	6	17	1
BR125K	125	0.7	125	187	6	20	1
BR150K	150	0.9	150	215	6	22	1
BR175K	175	2.1	175	260	9	28	1
BR200K	200	2.5	200	288	9	30	1
BR225K	225	3.0	225	319	9	32	1
BR250K	250	3.8	250	356	9	35	1
BR275K	275	4.3	275	384	9	37	1
BR300K	300	4.9	300	412	9	40	1
BR350K	350	6.6	350	477	9	44	1
BR400K	400	8.4	400	542	9	48	1

3. 適用範囲・使用条件

[3.1] 梁の材質・寸法に関する規定

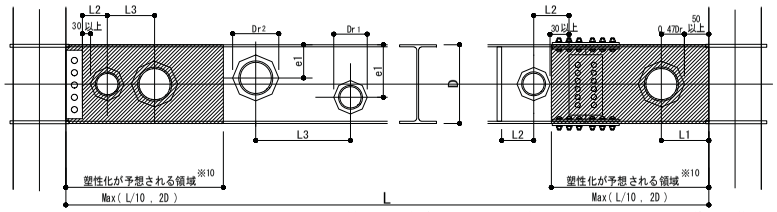
項目	適用範囲
材質	F値325N/mm² 以下 ※1
梁せい（D）	1800mm以下
梁ウェブ厚	32mm以下
幅厚比	制限なし
孔径比　（d※2／D※3）	0.6以下
塑性化が予想される領域に設けることができる貫通孔の数	2箇所まで ただし、FC,FDランクの梁で、塑性化が予想される領域に貫通孔を設けることはできない。

※1　適用する梁材の材質
・一般構造用圧延鋼材（SS400、SS490）
・溶接構造用圧延鋼材（SM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C）
・建築構造用圧延鋼材（SN400A、SN400B、SN400C、SN490B、SN490C、SN490C-TMC）
・建築構造用TMCP鋼材（TMCP325B、TMCP325C）
※2　d：フリードーナツエイトの呼び径（mm）
※3　D：梁せい（mm）
※4　Dr：BRリングの外径（mm）

[3.2] 取付け位置に関する規定

項目	適用範囲
L1：梁端からBRリング中心までの距離	50mm+0.47×Dr※4 以上※5
L2：ウェブスプライスプレート端およびガセットプレート端からBRリング中心までの距離	30mm+Dr※4／2以上
L3：隣り合うBRリングの梁材軸方向中心間距離	Max[1.5×(d1※2+d2※2)/2, 50mm+0.47×(Dr1※4+Dr2※4), 30mm+(Dr1+Dr2)/2]以上
e1※6：梁天端からBRリング中心までの距離	(tf※7+r※8)+(Dr/2+a※9)≦e1≦(D※3-tf-r)-(Dr/2+a)

※5　梁の応力状態によって、これ以上の距離が必要になる場合がある。
梁の応力に対する検討は、旭化成建材の検討サービス利用のこと。
※6　梁の応力状態によって、e1の範囲が変動する場合がある。
梁の応力に対する検討は、旭化成建材の検討サービス利用のこと。
※7　tf：梁フランジ厚（mm）
※8　r：フィレット（mm）
※9　a：BRリングとH形鋼フィレットとの間隔（mm）
BR100K～BR150K：a＝7.5
BR175K～BR400K：a＝9
注）　梁に軸力が作用する場合は使用不可とする。
注）　梁の材軸に対し鉛直方向（梁せい方向）に複数の貫通孔は不可とする。



※10　梁端部からの距離が梁の長さ（L）の1/10以内、または梁せい（D）の2倍以内の範囲。

4. 施工

[4.1] 保守管理

入荷したBRリングは、他工事のものと混入しないように置場を定め、曲がりや変形に注意し、台上に整理整頓して保管する。

[4.2] 資格

(1) 溶接作業の品質を管理する溶接技術者は、鉄骨製作管理技術者2級またはWES2級の資格を有する経験者とする。
(2) 溶接技能者はJIS Z 3841に規定された半自動溶接技術検定試験の種類における下向（SA-2F、SA-3F）の資格を有する者とする。

[4.3] 溶接材料及び溶接条件

溶接材料及び溶接条件の標準は下表の通りとする。

規格	種類	ワイヤ径 (mmφ)	アーク電圧 (V)	アーク電流 (A)
JIS Z 3312	YGW11 YGW18	1.2、1.4	28～40	280～360

[4.4] 溶接の注意点

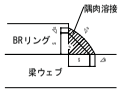
(1) 溶接姿勢は下向きとする。
(2) 溶接部は溶接に先立ち、水分、ごみ、さび、油、塗料などの溶接に支障のあるものを取り除く。
(3) 気温-5℃未満の場合は溶接を行わない。
(4) 予熱は梁ウェブの材質により以下の指針に準拠して行う。
TMCP鋼　（別紙第1）グレード別の適用範囲と別記事項（日本鉄骨評価センター）
その他　：鉄骨工事技術指針・工場製作編（日本建築学会）
(5) BRリングと梁ウェブの隙間（肌すき）の許容差は、BRリング外周部において1mm以内とする。またBRリングと貫通孔中心のずれの許容差は2mm以内とする。

[4.5] 組立て溶接

(1) BRリング外周に組立て溶接を行う。
(2) 組立て溶接は、等間隔に3～4箇所、1箇所の長さは40mm以上、1パスとしショートビードにならないように注意する。

[4.6] 本溶接

(1) 本溶接はBRリング外周の全周隅肉溶接とし、各BRリング部材それぞれに定められた必要隅肉溶接サイズ（S）以上の溶接を行う。
(2) 必要隅肉溶接サイズ（S）の許容差（◿s）および余盛の高さ許容差(◿a)は、0≦◿s、0≦◿aとする。

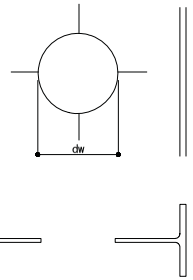


各仕様の隅肉溶接サイズは下記表の通り。
なお、BRリング板厚6mmにおいて、BRリング板厚同程度の隅肉溶接サイズも可とする。

製品記号	呼び径 d	隅肉溶接サイズ (mm)
BR100K	100	4以上
BR125K	125	4以上
BR150K	150	4以上
BR175K	175	5以上
BR200K	200	5以上
BR225K	225	5以上
BR250K	250	5以上
BR275K	275	5以上
BR300K	300	5以上
BR350K	350	5以上
BR400K	400	5以上

[4.7] 施工手順

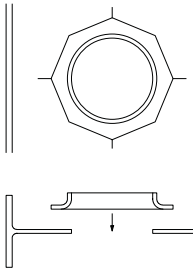
(1) 梁ウェブの孔あけ



製品記号	下孔径 基準値 dw (mm)
BR100K	100
BR125K	125
BR150K	150
BR175K	175
BR200K	200
BR225K	225
BR250K	250
BR275K	275
BR300K	300
BR350K	350
BR400K	400
管理許容差	±2mm

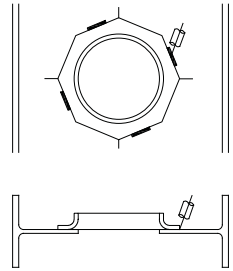
BRリングの取付け位置を確認し、ウェブにケガキし下孔をあける。
注）下孔まわりのバリをグラインダー等で取り除き、BRリングとの接触面の浮きさび、汚れ等を除去する。

(2) 位置決め



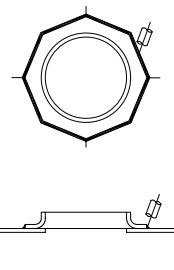
梁けがき線とBRリング外周角部を合わせる。
注）BRリングをシャコ万等を用いて梁ウェブに密着させる。

(3) 組立て溶接



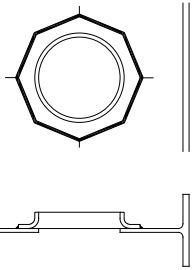
BRリング外周の3～4箇所に組立て溶接を行う。
注）ショートビードにならないこと。

(4) 本溶接



BRリング外周を全周隅肉溶接する。
隅肉溶接は[4.6](2)に規定する必要隅肉溶接サイズ(S)以上を確保するよう行う。

(5) 検査・完成



スラグ・スパッタを除去する。
目視にて外観検査を行う。

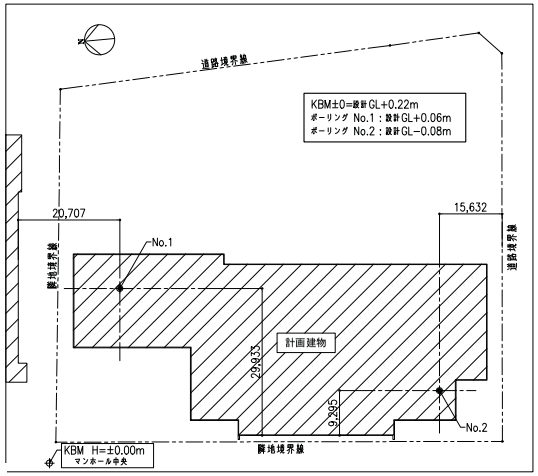
※同等品も可とする。

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬　博明

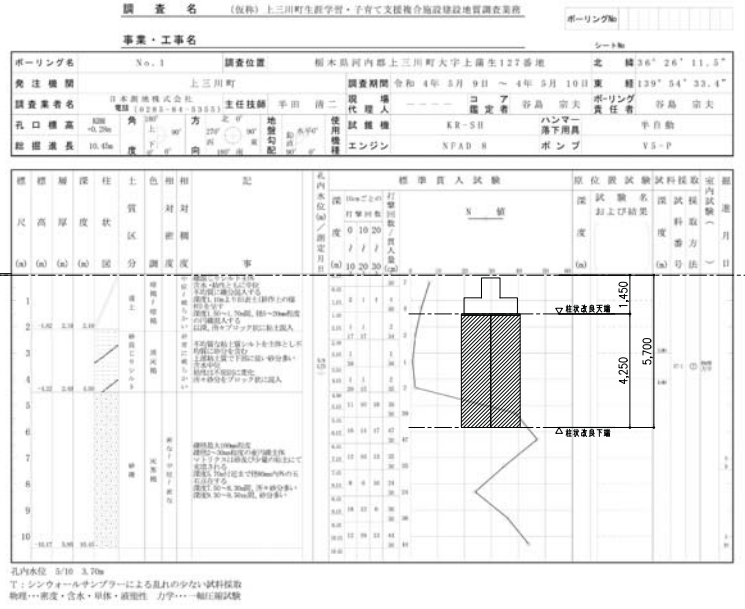
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	フリードーナツエイト　工法標準図	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ニ A3：1/ニ
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号 本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	図面No.	S－17
		承認	検図

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号
従事する建築士　　一級建築士登録番号　　号

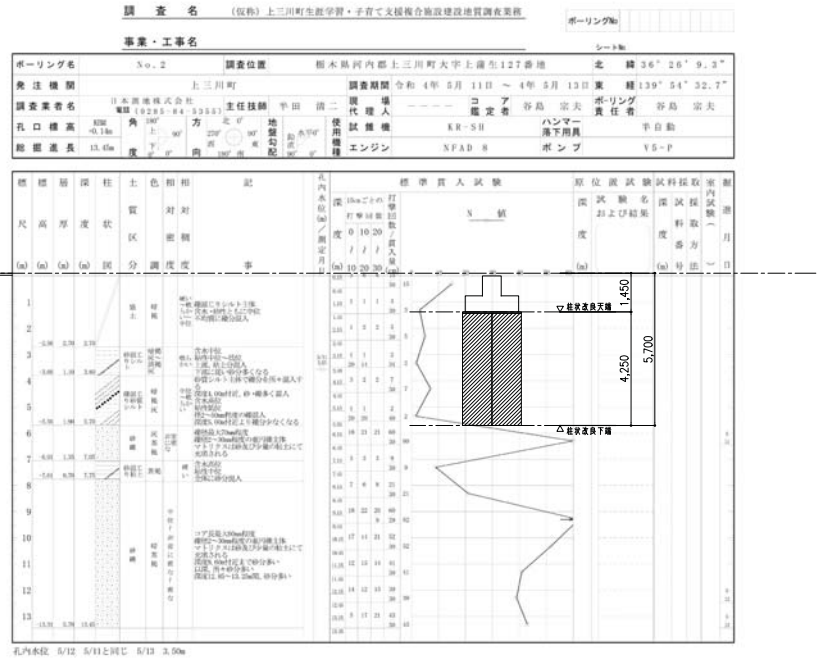
ボーリング位置図



ボーリング柱状図No.1



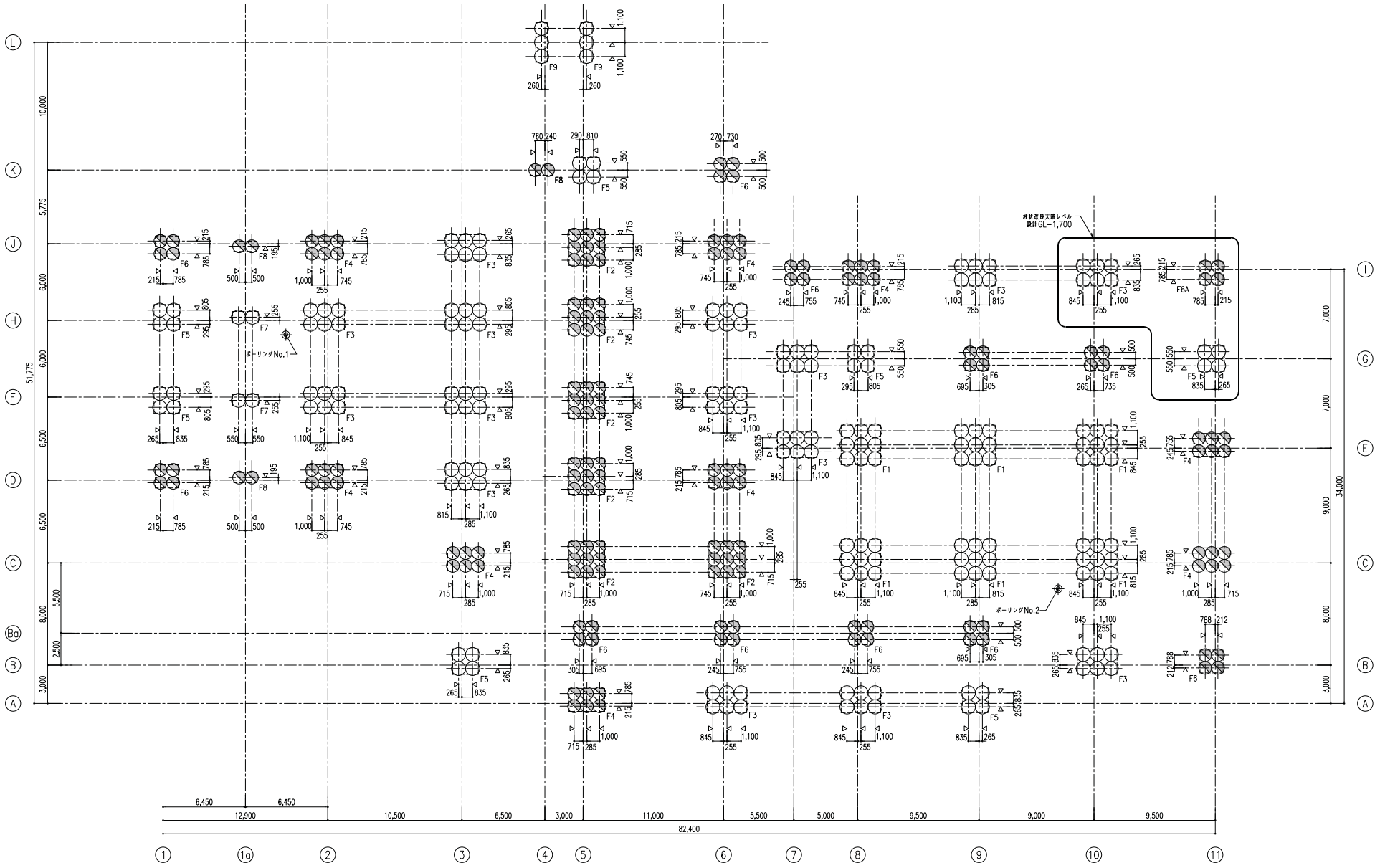
ボーリング柱状図No.2



有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	柱状図	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/ ニ A3：1/ ニ
	株式会社 フケタ設計 代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号 本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028(622)2020	図面No.	S－18
		承認	
		検図	

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



柱状改良伏図　S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1, ◁は改良芯を示す
2, 工法　深層混合処理工法（Dコラム工法）
（支持層：砂礫層）
3, 設計地耐力：200kN/m²（地盤改良底レベル）
4, 柱状改良天端レベルは、設計GL−1,450 とする
5, 柱状改良下端レベルは、設計GL−5,700 とする
6, ◈はボーリング位置を示す

・柱状改良リスト

基礎符号	記号	改良径（ø）	本数（本）	箇所数	合計（本）	総本数
F1	○	1,100	9	6	54	344
F2	⊘	1,000	9	6	54	
F3	○	1,100	6	15	90	
F4	⊘	1,000	6	9	54	
F5	○	1,100	4	7	28	
F6	⊘	1,000	4	11	44	
F6A	⊘	1,000	4	1	4	
F7	○	1,100	2	2	4	
F8	⊘	1,000	2	3	6	
F9	○	1,100	3	2	6	

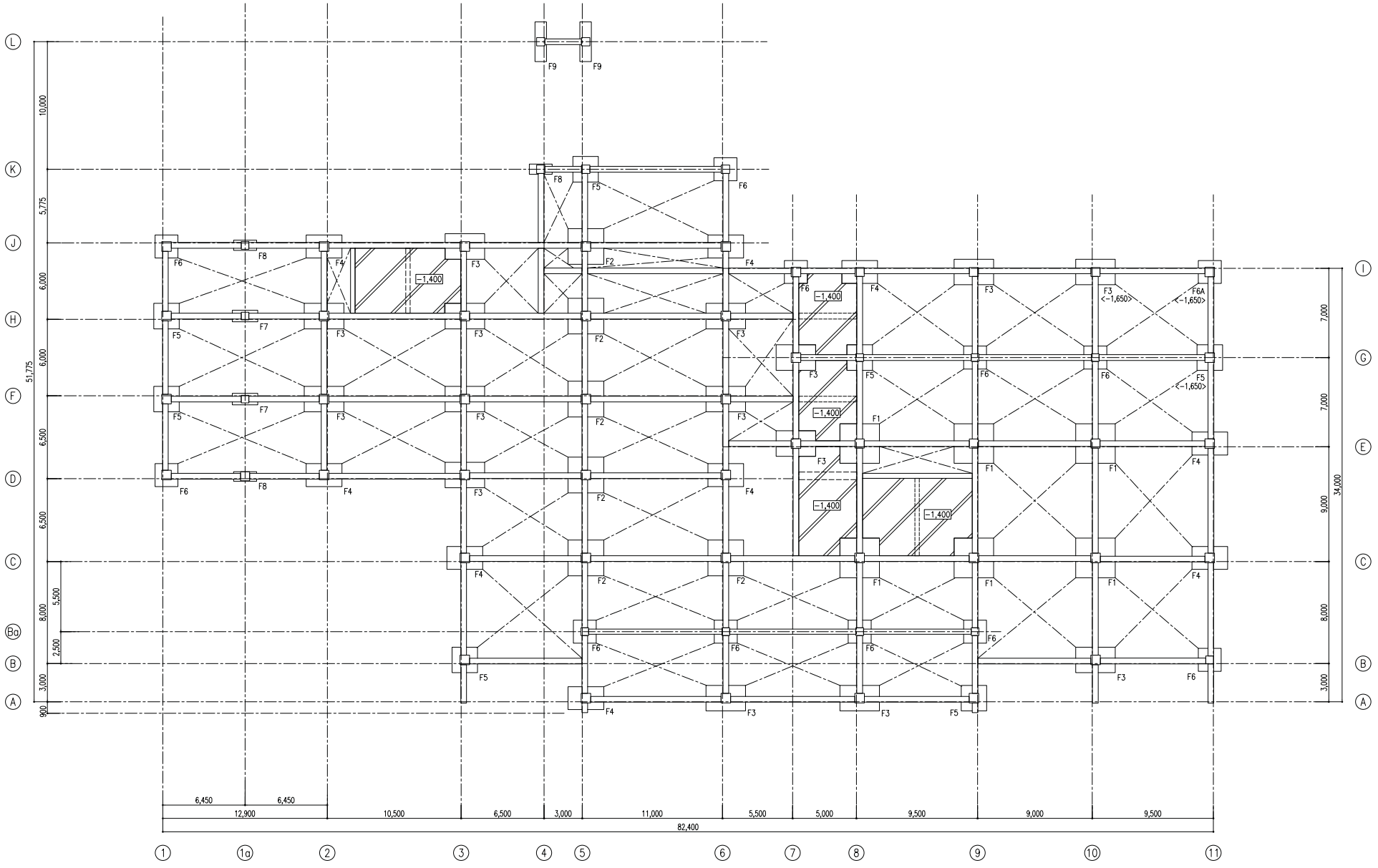
有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所　東京都知事登録 第　54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬　博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	柱状改良伏図
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1：1/150　A3：1/300
図面No.	S−19

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479 号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL. 028(622)8928

管理建築士	古澤　康夫
	一級建築士登録番号 223925 号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号　号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号　号

承認　検図



基礎伏図　S=1/150

共通事項（特記なき限り）

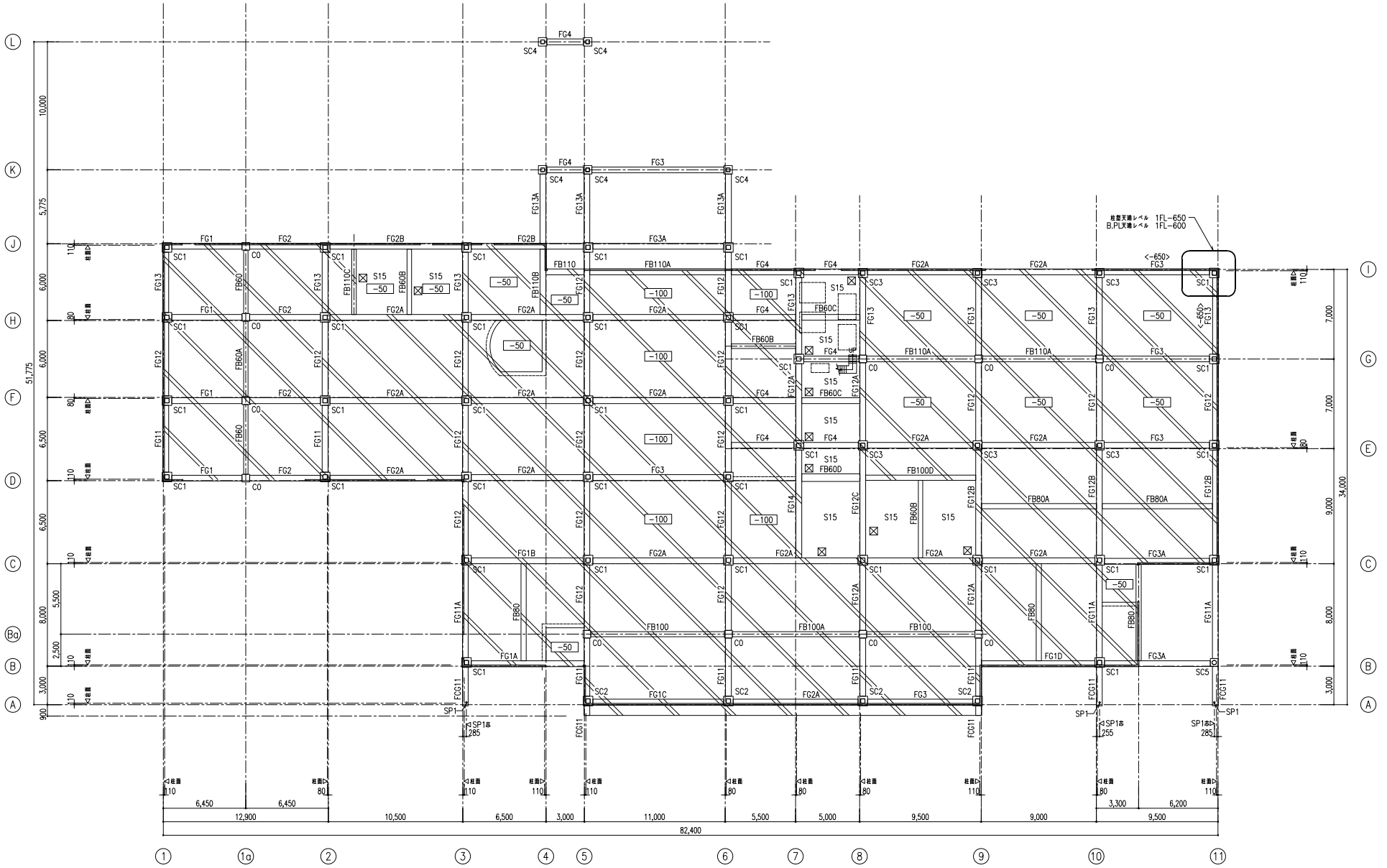
1, 基礎下端は設計GL−1,400とする
2, < >内数値は設計GLからの基礎下端を示す
3, □ 内数値は設計GLからの地てコンクリートピット天端を示す
4, ⊠ は湿気しを示す
5, ▨ は地てコンクリートピット範囲を示す（t=50）
6, ---- は上部基礎小梁を示す

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	基礎伏図
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1：1/150　A3：1/300
図面No.	S−20

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬　博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL. 028(622)8928

管理建築士　古澤　康夫　一級建築士登録番号 223925号



1階床梁伏図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

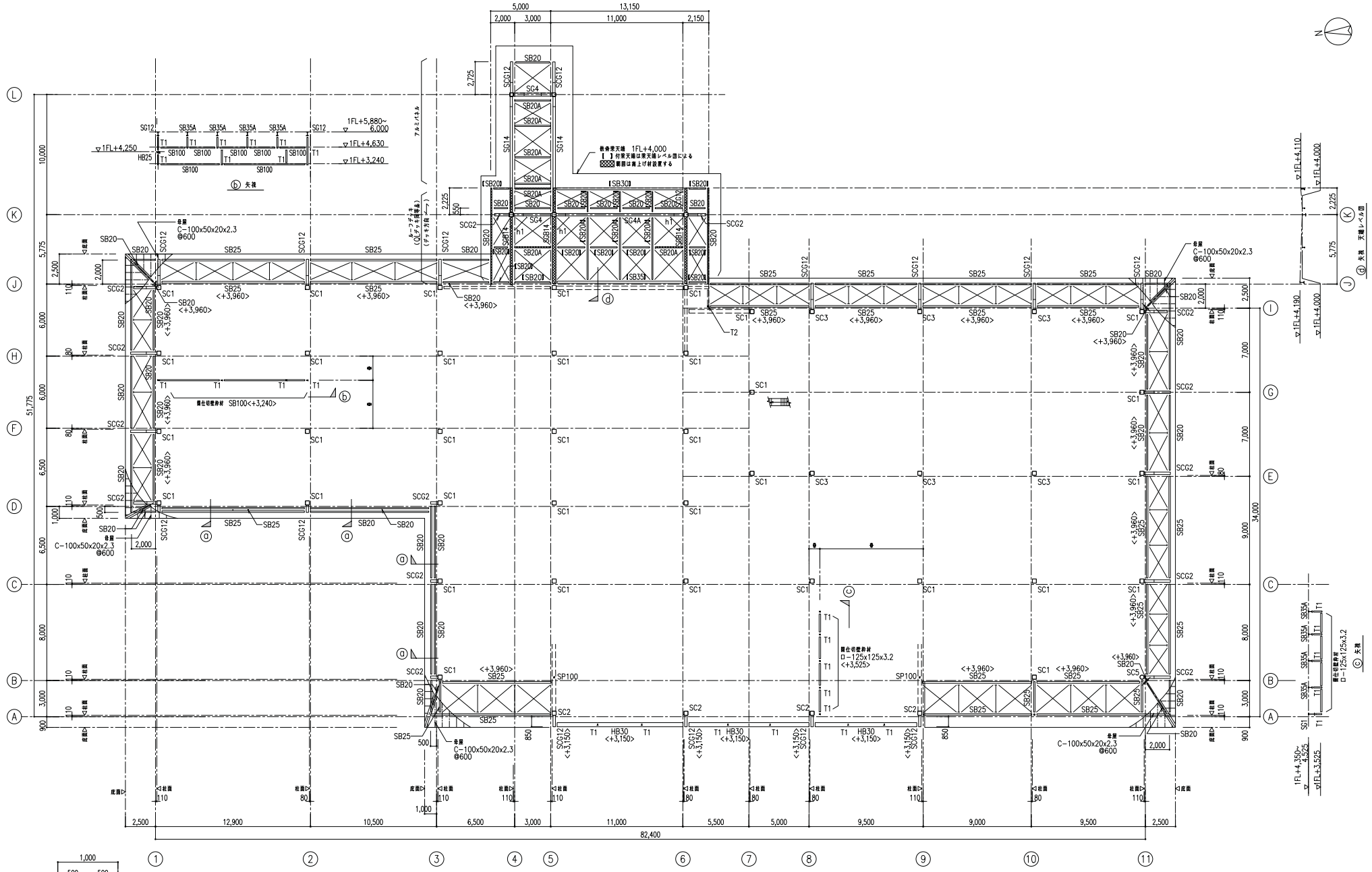
1, 1FL=設計GL+200
2, 柱芯=通り芯とする
3, 基礎梁天端は1FL−400とする
4, < >内数値は1FLからの基礎梁天端を示す
5, 柱型天端は1FL−400とする
6, B.PL下端は1FL−350とする
7, スラブ天端レベルは1FL±0とする
8, 土間コンクリート天端レベルは1FL−20とする
9, □ 内数値は1FLからのスラブ・土間コンクリート天端を示す
10, ▨ は土間コンクリート（t=180）範囲を示す
11, 立上り壁はW120とする
12, 東天端からスラブ・土間コンクリート天端までは墨打ちとする
13, □ は設備基礎を示す
14, 壁芯は躯体図による
15, ☒ は床下点検口を示す

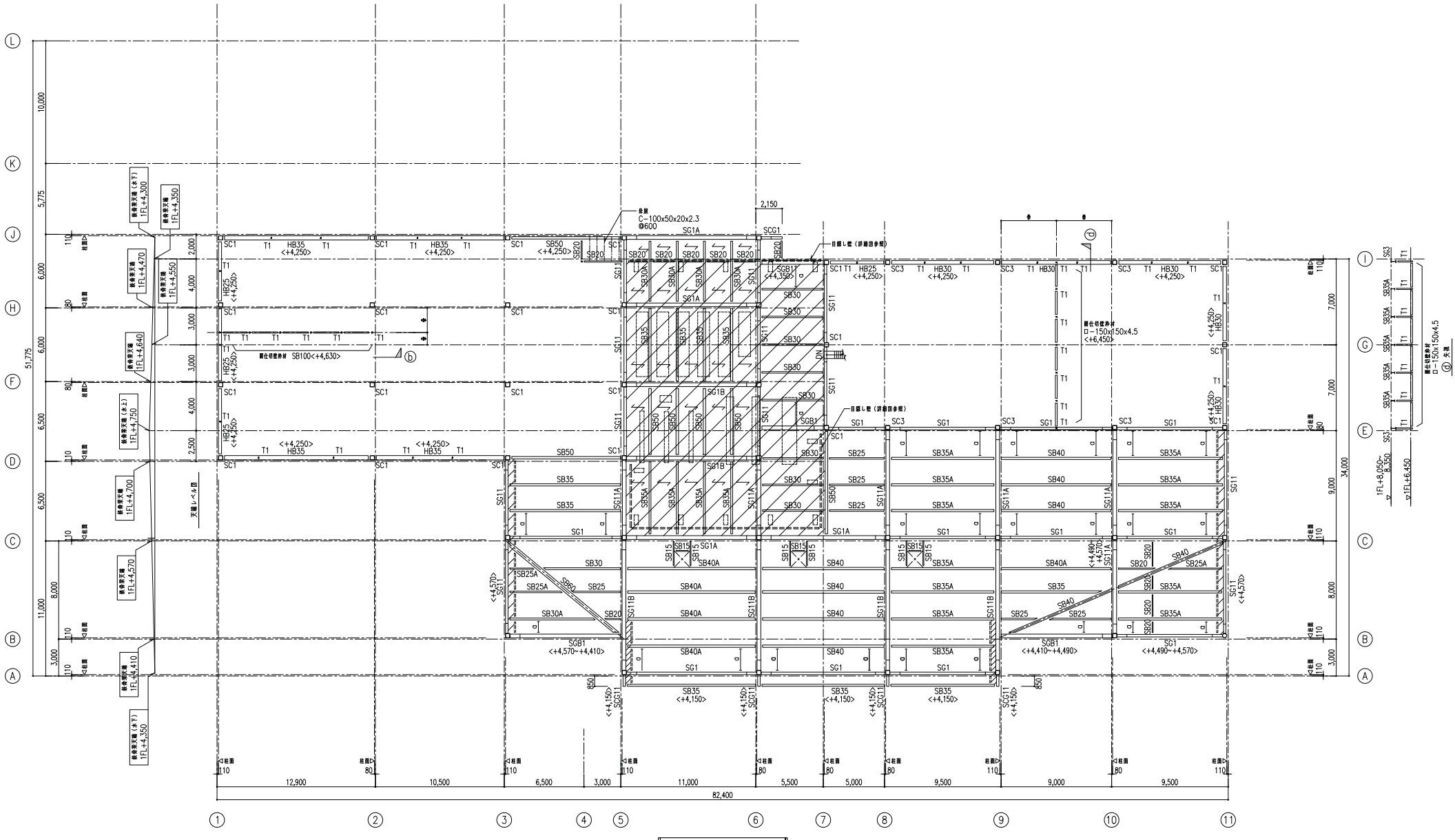
有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	1階床梁伏図	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/150 A3：1/300
		図面No.	S−21

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)2828

管理建築士	古澤 康夫		
一級建築士登録番号	223925号		
従事する建築士			
一級建築士登録番号	号		
従事する建築士			
一級建築士登録番号	号		


庇伏図 S=1/150
共通事項（特記なき限り）
1, 柱芯＝通り芯とする
2, 鉄骨梁天端は1FL+3,850とする
3, < >内数値は1FLからの梁天端を示す
4, 鉄骨小梁 ⊢⊣ はV1とする
5, 水平ブレースはHV16とする
6, 寸法は躯体図による
7, h1(立面)は柱芯から1,500とする
8, HV16レベルは梁天端合わせとする
9, 間柱・耐風梁は躯体図による
10, 巻寸法は躯体図による
ⓐ 矢視 1/30
ⓑ 矢視
ⓒ 矢視
ⓓ 矢視 天端レベル図
1FL+5,880~6,000
1FL+4,630
1FL+3,240
1FL+4,250
1FL+4,000
1FL+4,110
1FL+4,190
1FL+3,850
1FL+4,350~4,525
1FL+3,525
鉄骨梁天端 1FL+4,000
【 】付梁天端は梁天端レベル図による
斜線範囲は高上げ材設置する
間仕切壁胴縁材 SB100<+3,240>
間仕切壁胴縁材 □-125x125x3.2 <+3,525>
間仕切壁胴縁材 □-125x125x3.2
母屋 C-100x50x20x2.3 @600
母屋受け
PL-6@2,000
有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796号 長瀬 博明
構造設計一級建築士 第 61489号
工事名 （仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
No. 03123
図名 庇伏図
設計 R05.01
縮尺 A1：1/150 A3：1/300
図面No. S-22
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028(622)8928
管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



屋根伏図1　S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1, 柱芯＝通り芯とする
2, 鉄骨梁天端は天端レベル図による
3, < >内数値は1FLからの鉄骨梁天端を示す
4, スラブ符号はDS1とする
5, ▨ 範囲のスラブ符号はDS13とする
6, デッキスラブ方向は ┃（Y方向）とする
（┅ はデッキスラブ方向を示す）
7, 梁継手位置は軸組図による
8, G符位置は柱芯から1,500（SG1）・2,500（SGB1）とする
9, □□□材はSB100とし、部材位置は柱芯から600とする
10, □ は設備基礎を示す
11, 屋柱・耐風梁は軸組図による
12, 寸法は意匠図による

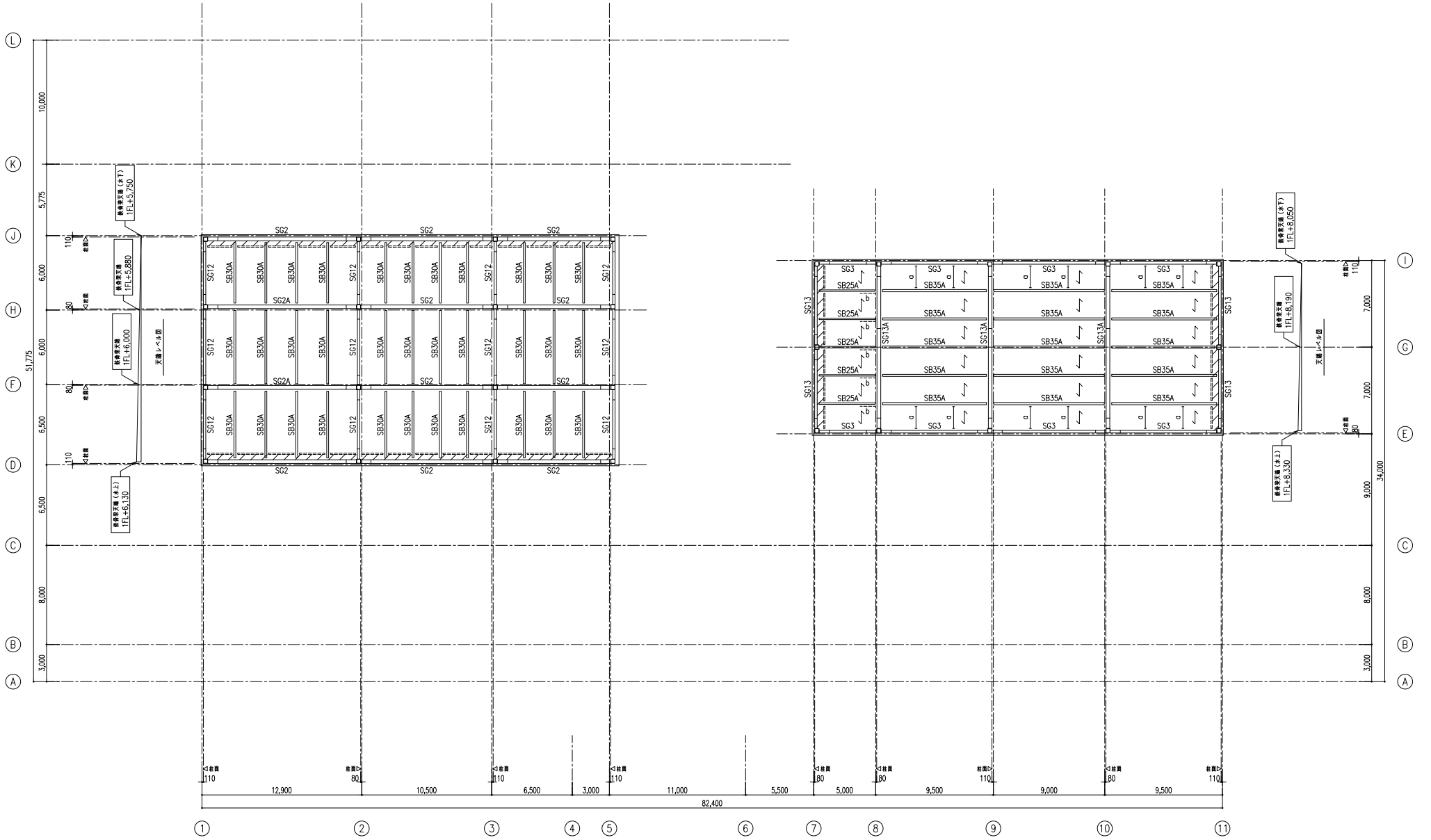
Y
X

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	屋根伏図1
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1：1/150 A3：1/300
図面No.	S−23

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号　長瀬 博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479 号
本社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL. 028(622)2828

管理建築士	古澤 康夫
	一級建築士登録番号 223925 号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号 号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号 号



屋根伏図2　S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1. 柱芯＝通り芯とする
2. スラブ・鉄骨架天端は天端レベル図による
3. スラブ符号はDS1とする
4. ▨ 範囲のスラブ符号はDS13とする
5. デッキスラブ方向は←→(X方向)とする
   （┃ はデッキスラブ方向を示す）
6. 開口手位置は設備図による
7. 小梁位置は大梁スパンを等分した位置とする
8. □-□ 材はSB100とし、
   SB100位置は柱芯から600とする

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	屋根伏図2
No.	03123
設計	R05.01
縮尺	A1：1/150 A3：1/300
図面No.	S－24

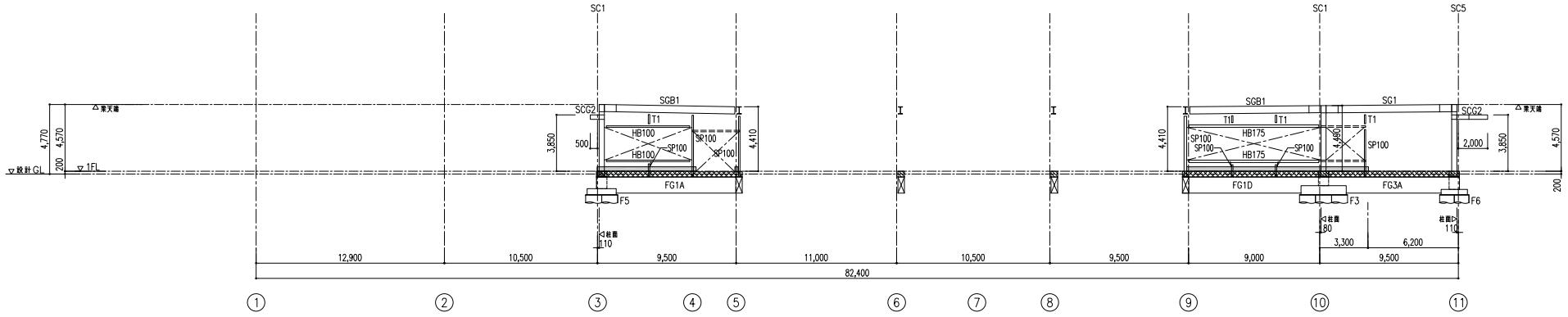
有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号　長瀬　博明
構造設計一級建築士 第　6148号

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL. 028(622)8928

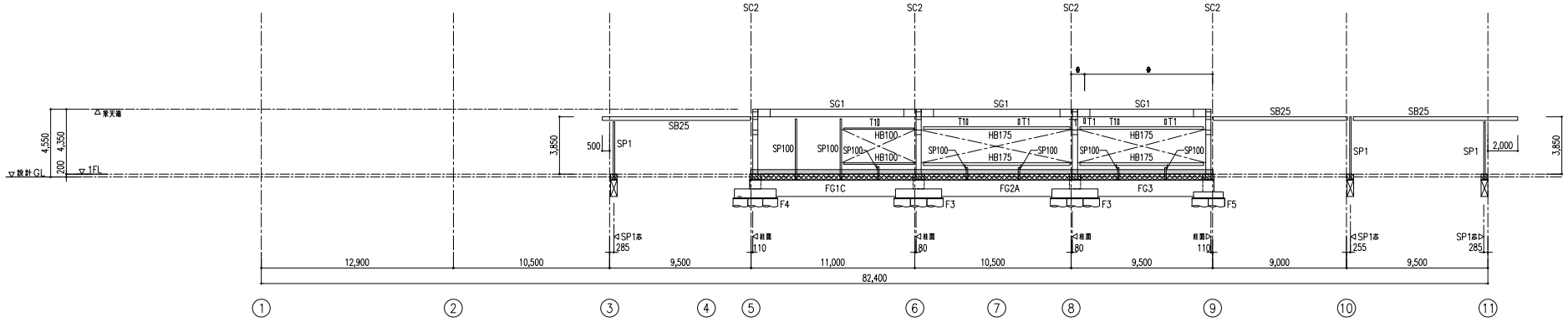
管理建築士	古澤　康夫
一級建築士登録番号	223925号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号

承認　検図

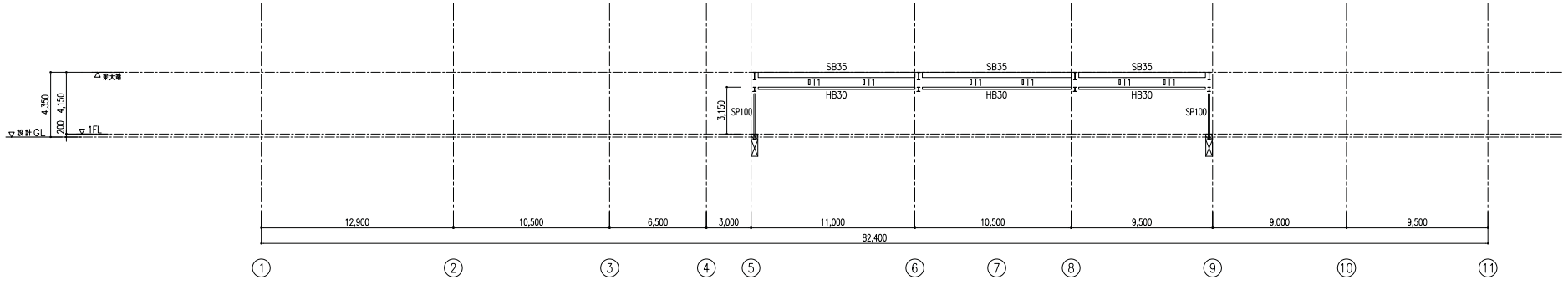
Y
X



Ⓑ通り軸組図 S=1/150



Ⓐ通り軸組図 S=1/150



Ⓐ-900通り軸組図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1. 基礎下端は設計GL−1,400
2. 基礎梁天端は1FL−400
3. 柱型天端は1FL−400とする
4. B.PL下端は1FL−350とする
5. □ は立上り壁（W120）範囲を示す
6. 鉄骨筋継手位置は1階柱芯から1,000とする
7. ▨ は増打ち範囲を示す
8. ═ は開口補強（□−100x100x3.2）を示す

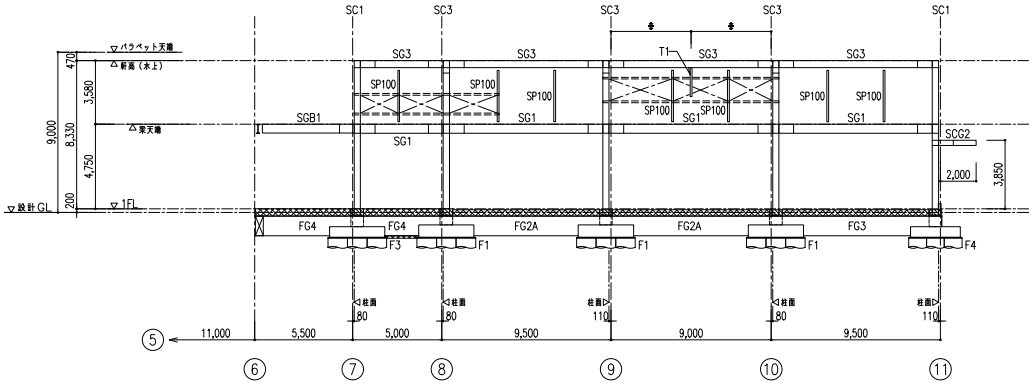
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	軸組図（1）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/150 A3：1/300
		図面No.	S−25

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

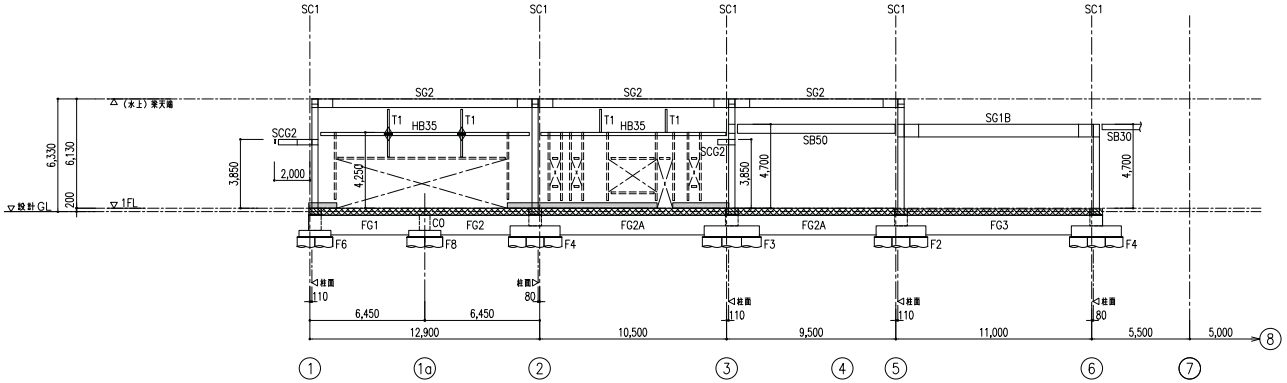
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL. 028(622)8928

管理建築士	古澤 康夫	一級建築士登録番号 223925号	
従事する建築士		一級建築士登録番号	号
従事する建築士		一級建築士登録番号	号

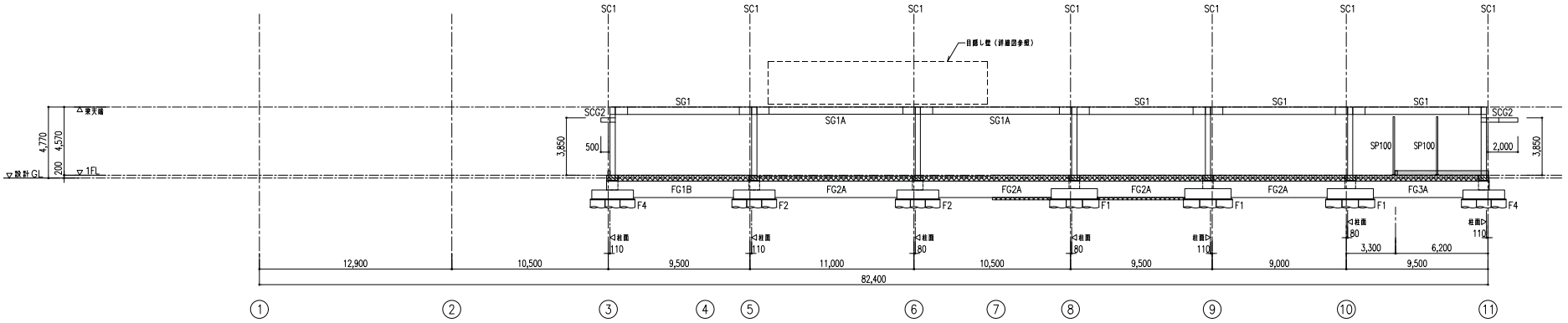
承認 | 検図



Ⓔ通り軸組図 S=1/150



Ⓓ通り軸組図 S=1/150



Ⓒ通り軸組図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1. 基礎下端は設計GL−1,400
2. 基礎梁天端は1FL−400
3. 柱脚天端は1FL−400とする
4. B.PL下端は1FL−350とする
5. ▭ は立上り壁（W120）範囲を示す
6. 鉄骨断面手仕度は1階柱芯から1,000とする
7. ▨ は埋戻し範囲を示す
8. ═ は開口補強（□−100x100x3.2）を示す
9. ⊖印は剛接合を示す

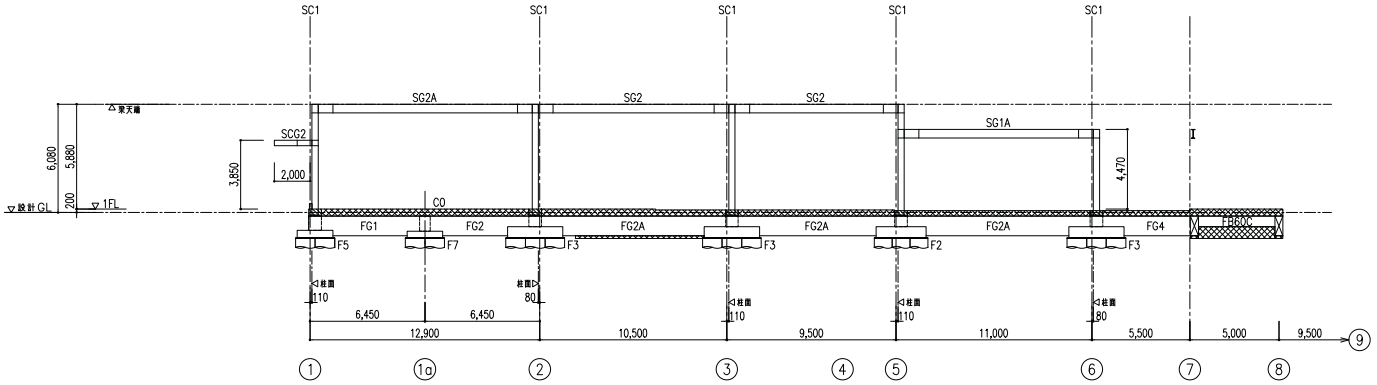
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	軸組図（2）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/150 A3：1/300
		図面No.	S−26

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

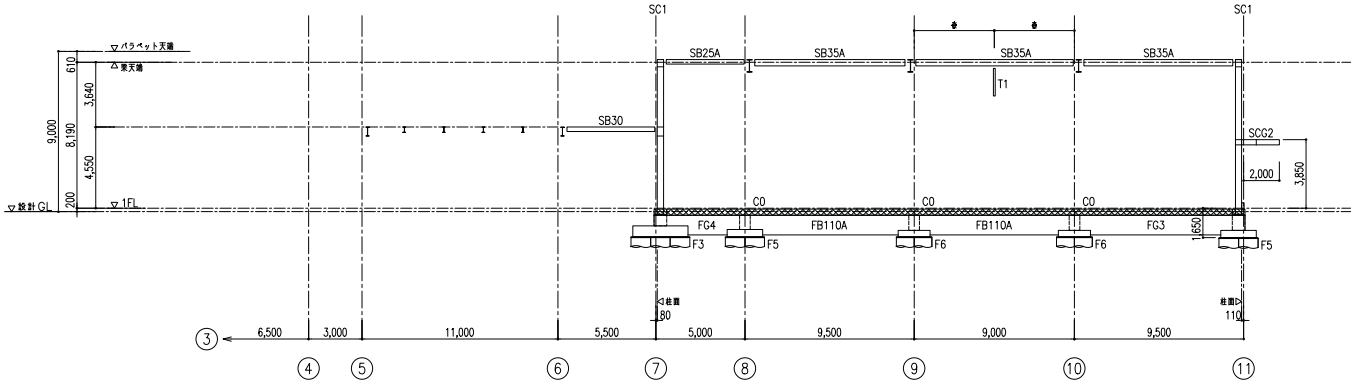
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL. 028(622)8928

管理建築士	古澤 康夫
一級建築士登録番号	223925号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号

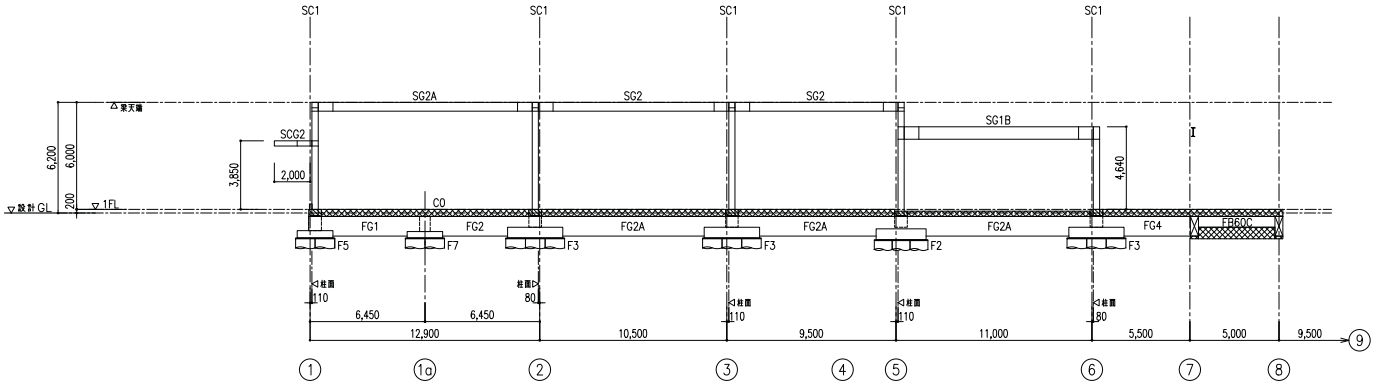
承認 検図



Ⓗ通り軸組図 S=1/150



Ⓖ通り軸組図 S=1/150



Ⓕ通り軸組図 S=1/150

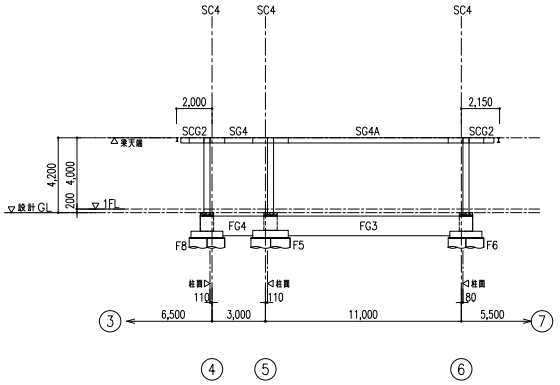
共通事項（特記なき限り）

1, 基礎下端は設計GL−1,400
2, 基礎天端は1FL−400
3, 柱型天端は1FL−400とする
4, B.PL下端は1FL−350とする
5, ▭ は立上り壁（W120）範囲を示す
6, 鉄骨建逃手位置は1階柱芯から1,000とする
7, ▨ は増打ち範囲を示す

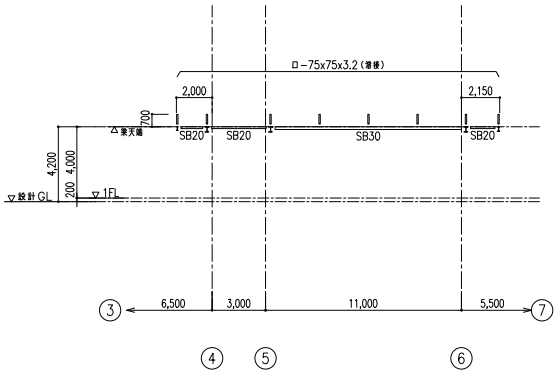
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名	軸組図（3）	設計 R05.01 / 縮尺 A1：1/150 A3：1/300	従事する建築士
		図面No. S−27	一級建築士登録番号 号
		承認 / 検図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796号
構造設計一級建築士 第 6148号 長瀬 博明

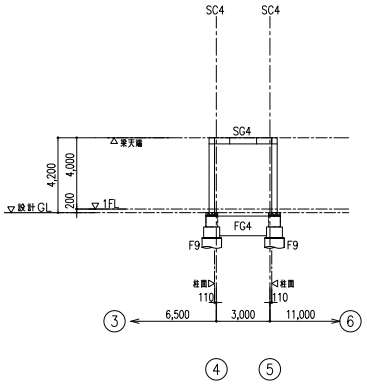
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL. 028(622)8928



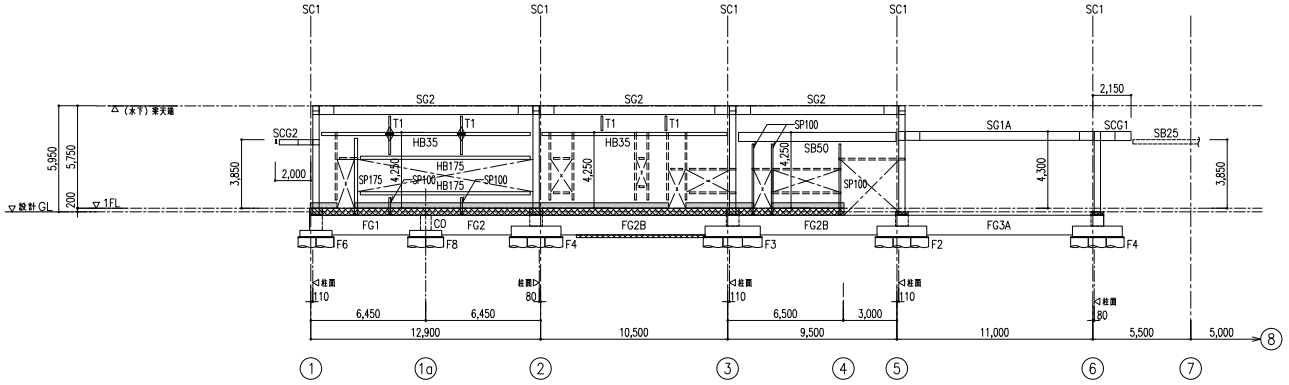
Ⓚ通り軸組図 S=1/150



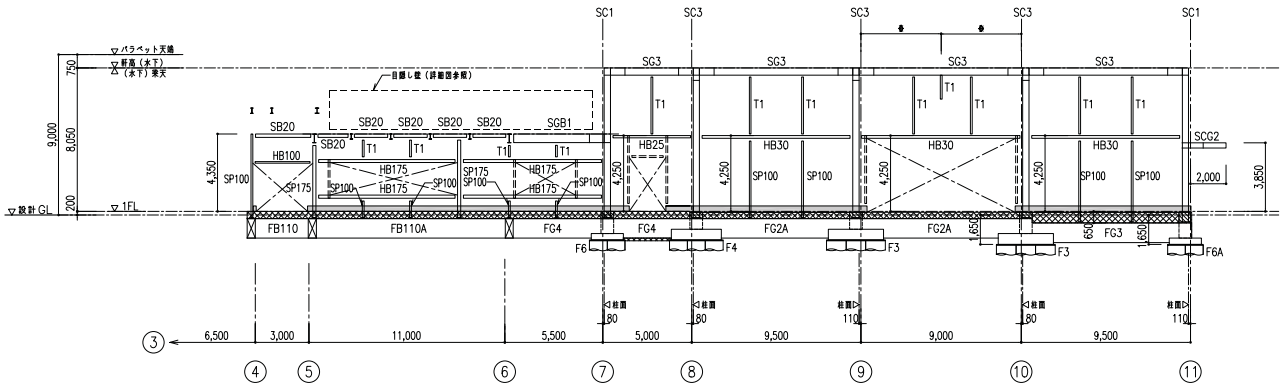
Ⓚ+2,225通り軸組図 S=1/150



Ⓛ通り軸組図 S=1/150



Ⓙ通り軸組図 S=1/150



Ⓘ通り軸組図 S=1/150

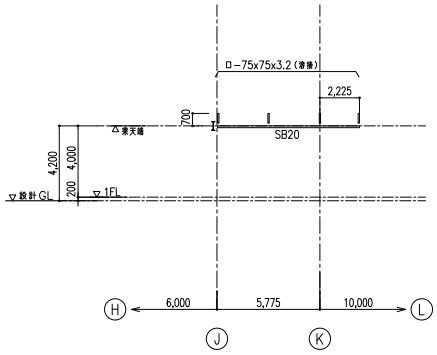
共通事項（特記なき限り）

1, 基礎下端は設計GL−1,400
2, 基礎梁天端は1FL−400
3, 柱脚天端は1FL−400とする
4, B.PL下端は1FL−350とする
5, □ は立上り壁（W120）範囲を示す
6, 鉄骨筋違手金度は1階柱芯から1,000とする
7, ▨ は埋打ち範囲を示す
8, ＝＝ は開口補強（□−100x100x3.2）を示す
9, ⊣⊢ 印は開接合を示す

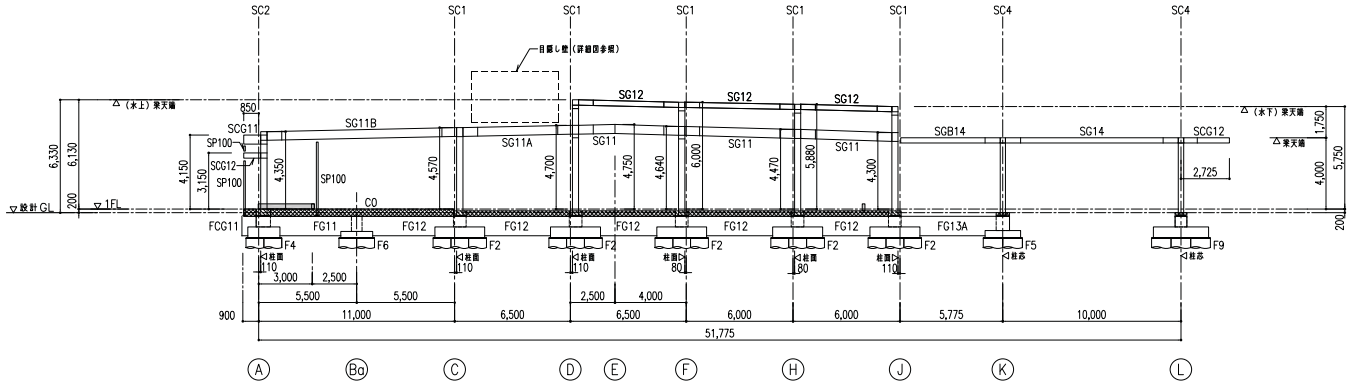
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号２２３９２５号
図名	軸組図（４）	設計 R05.01 / 縮尺 A1：1/150 A3：1/300	従事する建築士
		図面No. S−28	一級建築士登録番号 号
		承認 / 検図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

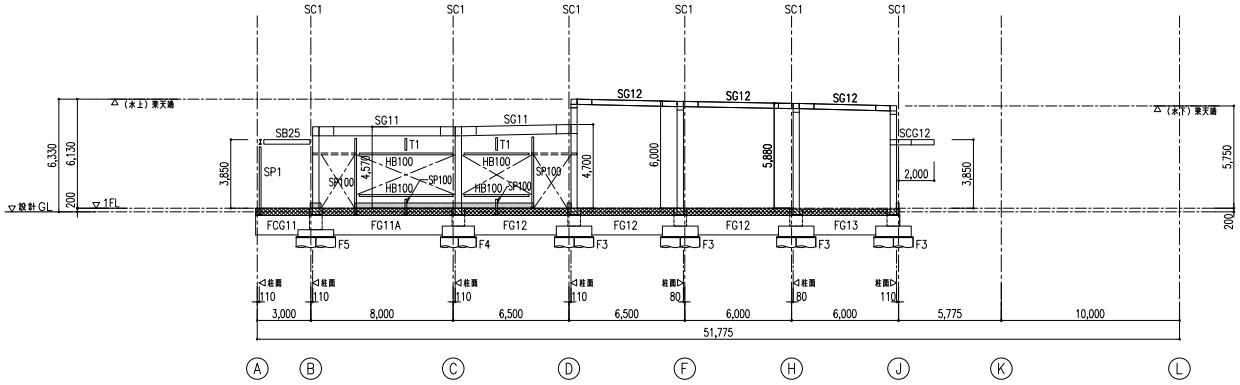
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479 号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)2020



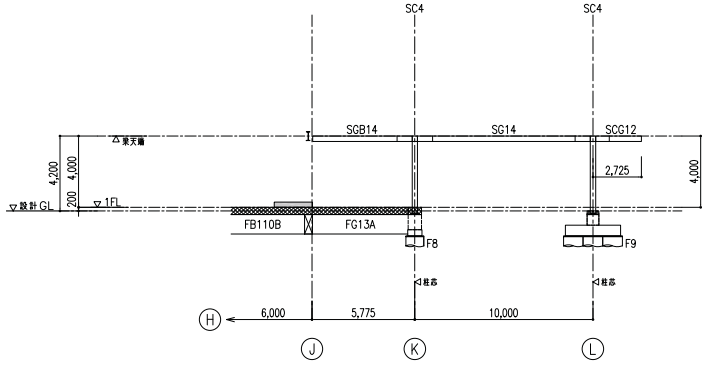
④ -2,000通り軸組図 S=1/150



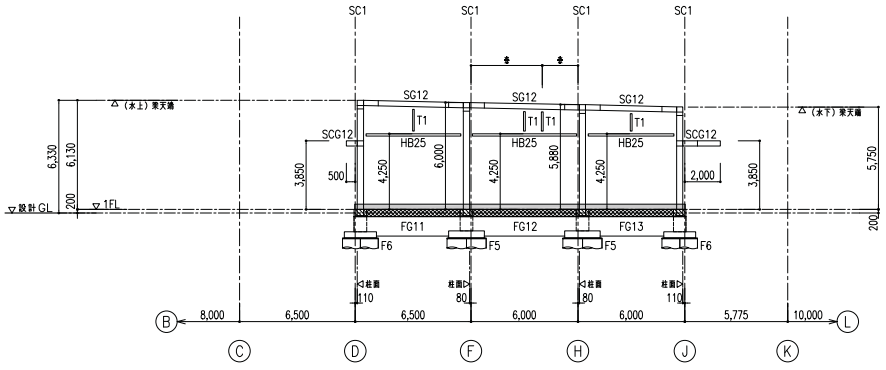
⑤通り軸組図 S=1/150



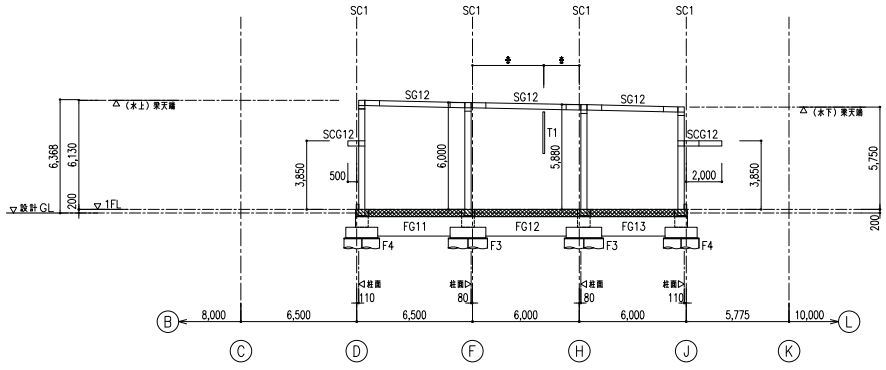
③通り軸組図 S=1/150



④通り軸組図 S=1/150



①通り軸組図 S=1/150



②通り軸組図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1. 基礎下端は設計GL−1,400
2. 基礎梁天端は1FL−400
3. 柱型天端は1FL−400とする
4. B.PL下端は1FL−350とする
5. □ は立上り壁（W120）範囲を示す
6. 鉄骨架構手位置は1階柱芯から1,000とする
7. ▨ は埋打ち範囲を示す
8. ═ は開口補強（□−100x100x3.2）を示す

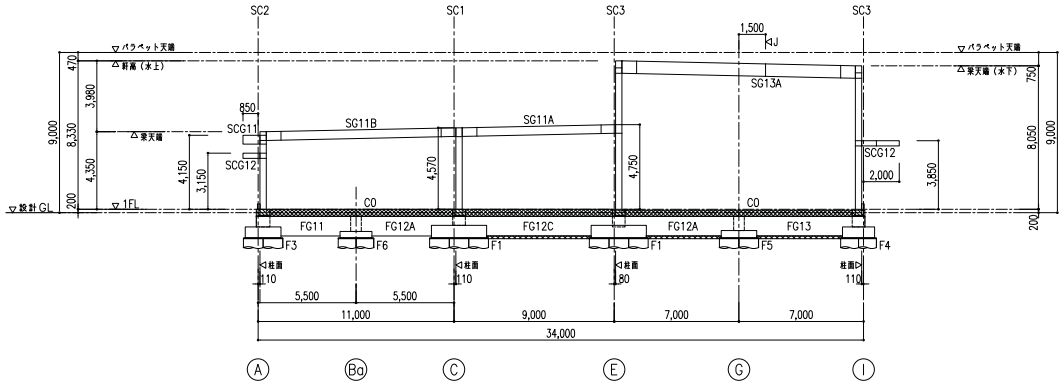
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	軸組図（5）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/150 A3：1/300
		図面No.	S−29

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

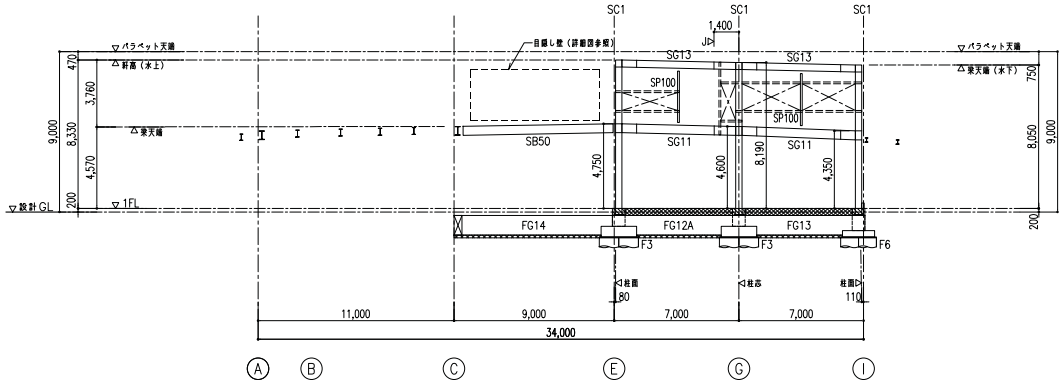
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)8928

管理建築士	古澤 康夫	一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士		一級建築士登録番号 号
従事する建築士		一級建築士登録番号 号

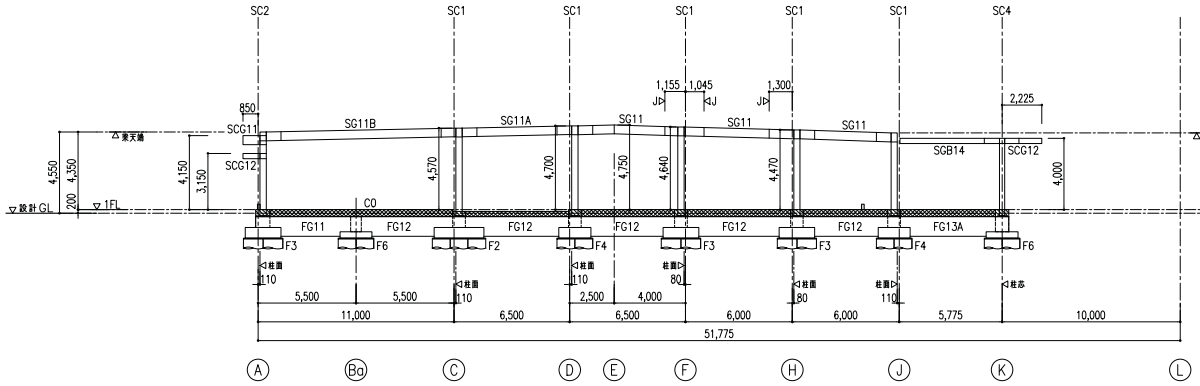
承認 検図



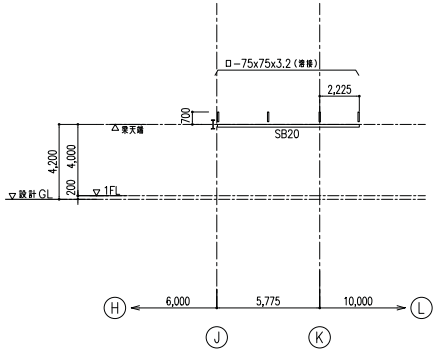
⑧通り軸組図 S=1/150



⑦通り軸組図 S=1/150



⑥通り軸組図 S=1/150



⑥+2,150通り軸組図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1, 基礎下端は設計GL−1,400
2, 基礎梁天端は1FL−400
3, 柱脚天端は1FL−400とする
4, B.PL下端は1FL−350とする
5, □ は立上り壁（W120）範囲を示す
6, 鉄骨建屋手合置は1階柱芯から1,000とする
7, ◁J は見JOINT位置を示す
8, ▨ は埋打ち範囲を示す
9, === は開口補強1（□−100x100x3.2）を示す

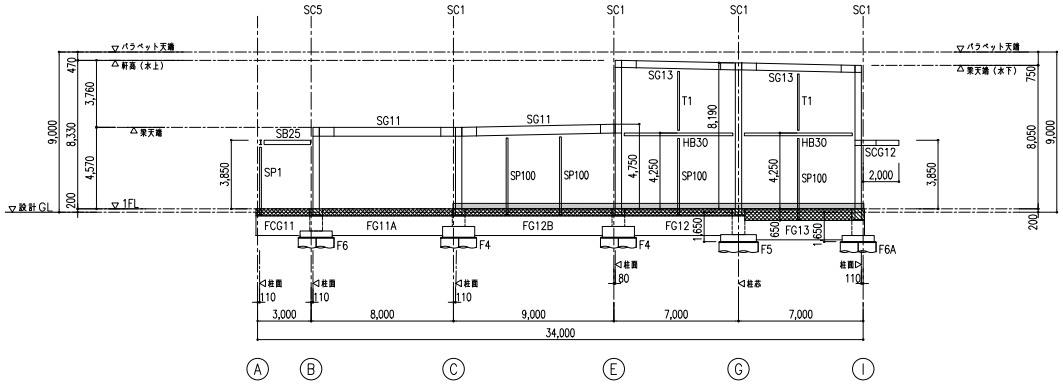
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	軸組図（6）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/150 A3：1/300
図面No.	S−30		

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)2828

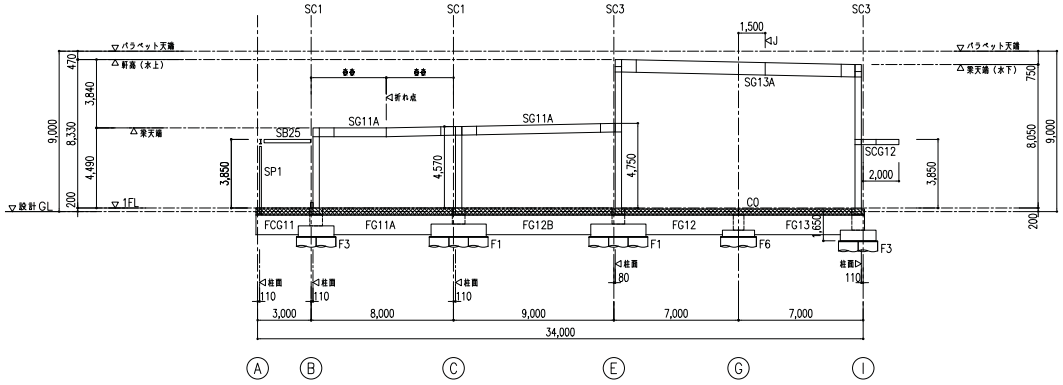
有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号 長瀬 博明
構造設計一級建築士 第 6148 号

承認		検図	

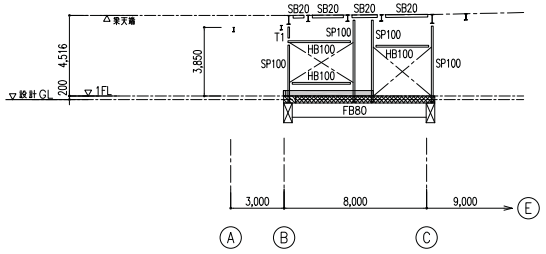
管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号223925号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号



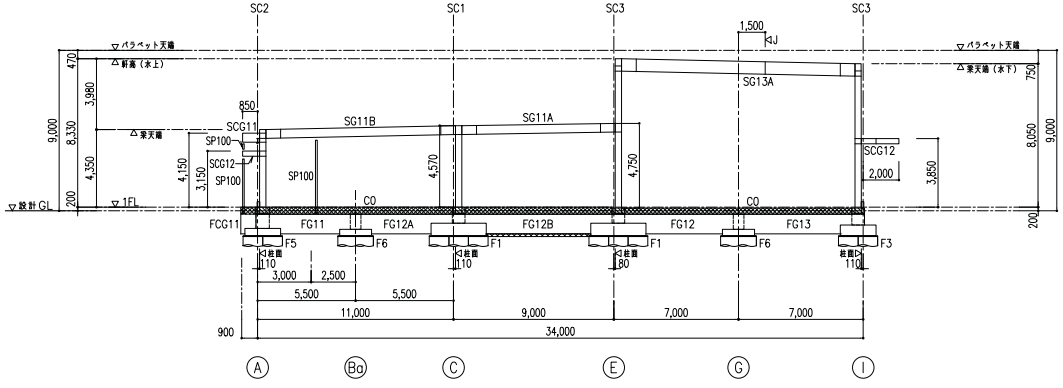
⑪通り軸組図　S=1/150



⑩通り軸組図　S=1/150



⑩+3,300通り軸組図　S=1/150



⑨通り軸組図　S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1. 基礎下端は設計GL−1,400
2. 基礎梁天端は1FL−400
3. 柱頭天端は1FL−400とする
4. B.PL下端は1FL−350とする
5. ▭ は立上り壁（W120）範囲を示す
6. 鉄骨架台手位置は1階柱芯から1,000とする
7. ◁J は来JOINT位置を示す
8. ▨ は増打ち範囲を示す
9. 各寸法は、建築図による
10. ═══ は開口補強（□−100x100x3.2）を示す

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	軸組図（7）	設計	R05.01
		縮尺	A1：1/150 A3：1/300
		図面No.	S−31

管理建築士	古澤 康夫	
一級建築士登録番号	223925号	
従事する建築士		
一級建築士登録番号	号	
従事する建築士		
一級建築士登録番号	号	

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)2828

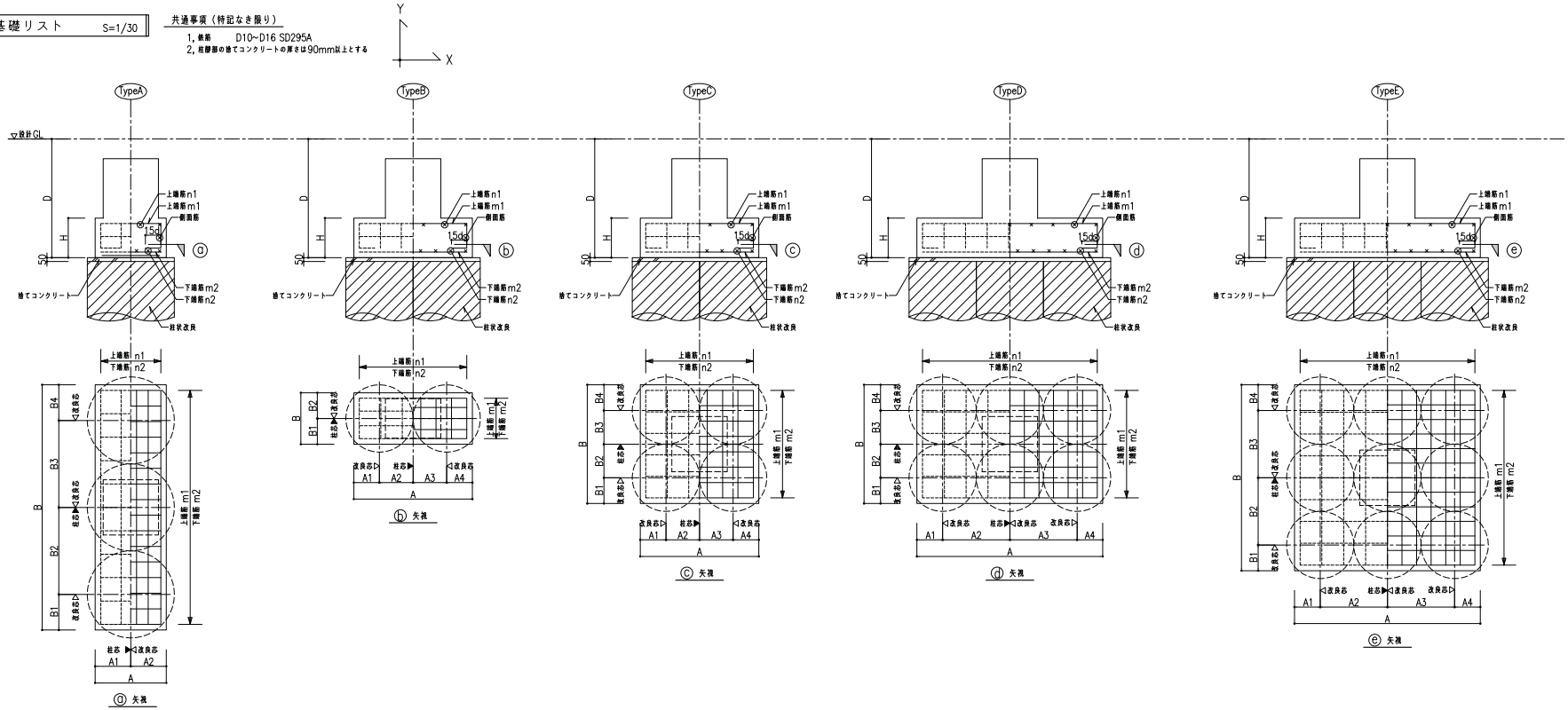
承認		検図	

基礎リスト　S=1/30

共通事項（特記なき限り）

1, 鉄筋　D10~D16 SD295A

2, 柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とする



基礎符号	基礎タイプ	地盤改良径	基礎サイズ			柱・柱状改良位置								基礎下端レベル	X方向配筋		Y方向配筋		側面筋
		(φ)	A	B	H	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	D	上端筋 m1	下端筋 m2	上端筋 n1	下端筋 n2	
F1	E	1,100	3,100	3,100	700	450	1,100	1,100	450	450	1,100	1,100	450	基礎伏図による	D13@300	21-D16	D13@300	21-D16	D13@300
F2	E	1,000	2,800	2,800	600	400	1,000	1,000	400	400	1,000	1,000	400	基礎伏図による	D13@300	19-D16	D13@300	19-D16	D13@300
F3	D	1,100	3,100	2,000	600	450	1,100	1,100	450	450	550	550	450	基礎伏図による	D13@300	16-D16	D13@300	16-D16	D13@300
F4	D	1,000	2,800	1,800	600	400	1,000	1,000	400	400	500	500	400	基礎伏図による	D13@300	13-D16	D13@300	15-D16	D13@300
F5	C	1,100	2,000	2,000	400	450	550	550	450	450	550	550	450	基礎伏図による	D13@300	11-D16	D13@300	11-D16	D13@300
F6	C	1,000	1,800	1,800	350	400	500	500	400	400	500	500	400	基礎伏図による	D13@300	10-D16	D13@300	10-D16	D13@300
F6A	C	1,000	1,800	1,800	350	400	500	500	400	400	500	500	400	基礎伏図による	D13@300	10-D16	D13@300	10-D16	D13@300
F7	B	1,100	2,000	900	350	450	550	550	450	450	450	–	–	基礎伏図による	D13@300	6-D16	D13@300	11-D13	D13@300
F8	B	1,000	1,800	800	350	400	500	500	400	400	400	–	–	基礎伏図による	D13@300	5-D16	D13@300	10-D13	D13@300
F9	A	1,100	900	3,100	600	450	450	–	–	450	1,100	1,100	450	基礎伏図による	D13@300	16-D13	D13@300	6-D16	D13@300

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54188号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
No.	03123
図名	基礎リスト
設計	R05. 01
縮尺	A1：1/30　A3：1/60
図面No.	S－32
承	
検	
図	

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栄 富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)8828

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号

従事する建築士　一級建築士登録番号　号

従事する建築士　一級建築士登録番号　号

基礎梁リスト（１） S=1/30

共通事項（特記なき限り）

1，鉄筋　D10~D16 SD295A　　2，帯止め筋　D10@1,000以下
D19~D25 SD345

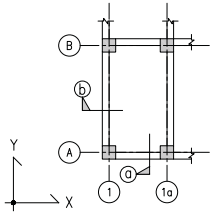
符号	FG1		FG1A			FG1B			FG1C		
位置	1 通	中央・1a 通	3 通	中央	5 通	3 通	中央	5 通	5 通	中央	6 通
断面	▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480 / 捨てコンクリート 砕石		▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		
上端筋	4/1-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4/1-D25	4-D25	4/1-D25
下端筋	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4/3-D25	4/1-D25	4/1-D25	4/2-D25	4-D25	4/1-D25	4/2-D25	4-D25
肋筋	□-D13@200		□ -D13@200			□ -D13@200			□ -D13@200		
腹筋	2x2-D13		2x2-D13			2x2-D13			2x2-D13		

符号	FG1D			FG2		FG2A		FG2B	
位置	9 通	中央	10 通	1a 通・中央	2 通	両端	中央	両端	中央
断面	▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480	
上端筋	4-D25	4-D25	4/3-D25	4-D25	4/2-D25	4/2-D25	4-D25	4/3-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	4/2-D25	4/1-D25	4/2-D25
肋筋	□ -D13@200			□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	
腹筋	2x2-D13			2x2-D13		2x2-D13		2x2-D13	

符号	FG3			FG3A			FG4
位置	5，8，10 通	中央	6，9，11 通	5，10 通	中央	6，11 通	全断面
断面	▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			▽1FL / 400 / 1,100 / 50 / 100 / 480
上端筋	4/2-D25	4-D25	4/1-D25	4/3-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4/2-D25	4/1-D25	4-D25	4/3-D25	4/1-D25	4-D25
肋筋	□ -D13@200			□ -D13@200			□-D13@200
腹筋	2x2-D13			2x2-D13			2x2-D13

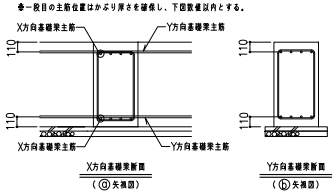
基礎梁主筋位置

Y通り筋（X方向）主筋を先置きとする



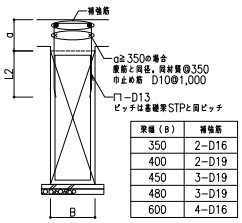
柱梁キープラン

各一段目の主筋位置はかぶり厚さを確保し、下図数値以内とする。



基礎梁上増打ち要領

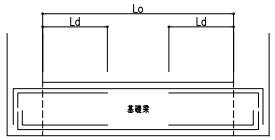
・基礎梁主筋がD25以上の場合



梁幅（B）	補強筋
350	2-D16
400	2-D19
450	3-D19
480	3-D19
600	4-D16

必要カットオフ長さ

・特記なき限りLdはLo/4+15dとする



有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54188号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	基礎梁リスト（１）
No.	03123
設計	R05. 01
縮尺	A1：1/30 A3：1/60
図面No.	S－33

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栄　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)8028

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

承　検
図　図

基礎梁リスト（２） S=1/30

共通事項（特記なき限り）

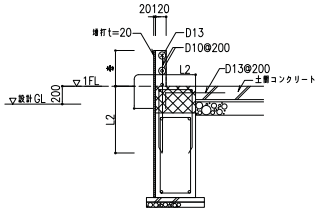
1, 鉄筋　D10~D16 SD295A　　2, 帯止め筋　D10@1,000以下
　　D19~D25 SD345　　3, Ldはカットオフ長さを示す

符号	FG11		FG11A			FG12	FG12A		FG12B		
位置	A,D,E 通	中央・Ba,F,G 通	B 通	中央	C 通	全断面	他 端・中 央	C,E 通	両 端	中 央	
▽1FL											
断面	400 / 1,100 / 50 / 100 / 480 / 捨てコンクリート 砂石		400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			400 / 1,100 / 50 / 100 / 480	400 / 1,100 / 50 / 100 / 480 / Ld=1,800		400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		
上端筋	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4/2-D25	4-D25	
下端筋	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	
肋筋	□-D13@200		□ -D13@200			□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200		
腹筋	2x2-D13		2x2-D13			2x2-D13	2x2-D13		2x2-D13		

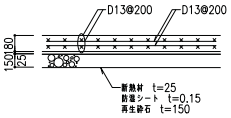
符号	FG12C		FG13		FG13A		FG14			FCG11	
位置	両 端	中 央	G,H 端・中 央	I,J 端	J 端・中 央	K 端	C 端	中 央	E 端	元 端	先 端
▽1FL											
断面	400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		400 / 1,100 / 50 / 100 / 480		400 / 1,100 / 50 / 100 / 480			400 / 1,100 / 50 / 100 / 480	
上端筋	4/3-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4/1-D25	4-D25
下端筋	4/3-D25	4/3-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4-D25
肋筋	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200	
腹筋	2x2-D13		2x2-D13		2x2-D13		2x2-D13			2x2-D13	

立上り壁配筋・土間コンクリート定着要領 S=1/30

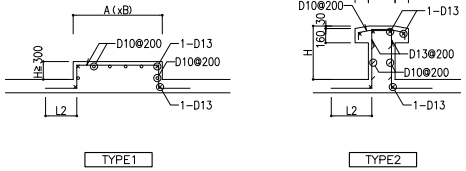
※寸法は意匠図による



土間コンクリート要領 S=1/30



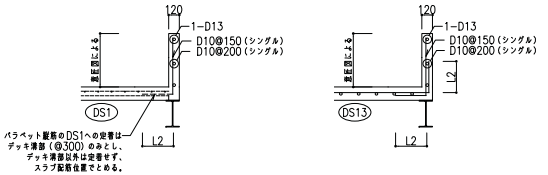
設備基礎配筋要領図 S=1/30



TYPE1　　TYPE2

名称	設置階	TYPE	A	B	H
全熱交換器	1階	1	1,400	2,000	150
空調器1	1階	1	1,400	700	150
空調器2	1階	1	2,000	1,600	150
空調屋外機	R階	1	970	3,640	100~250
空調屋外機	R階	1	970	5,280	100~250
キュービクル	R階	2	500	5,500	340
受水槽	R階	2	500	4,200	340

パラペット配筋要領 S=1/30



工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	基礎梁リスト（２）
No.	03123
設計	R05. 01
縮尺	A1：1/30 A3：1/60
図面No.	S－34
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号
従事する建築士	一級建築士登録番号 号

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 栃木都知事登録 第 5418B 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 6148 号 長瀬 博明

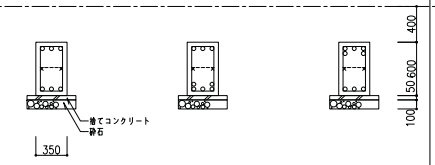
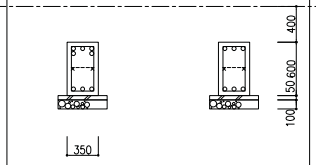
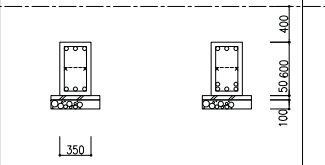
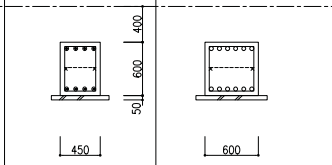
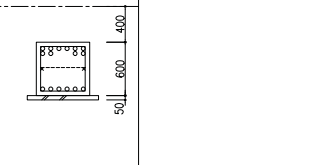
株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栄 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL.028(622)8828

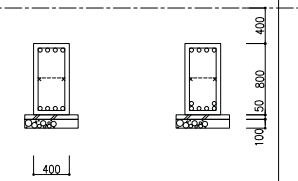
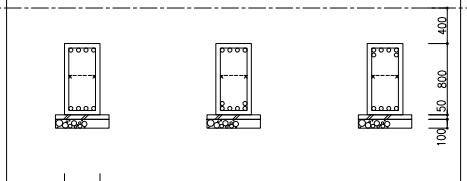
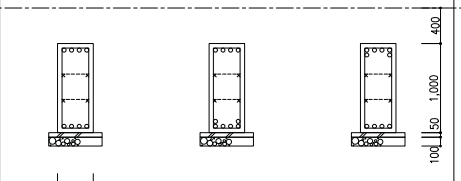
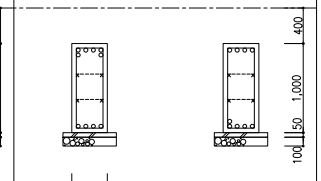
承認　検図

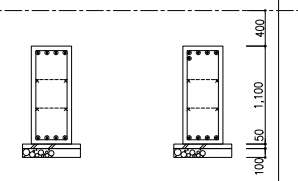
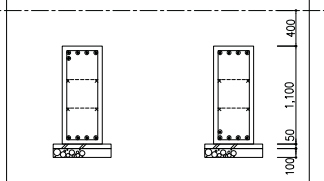
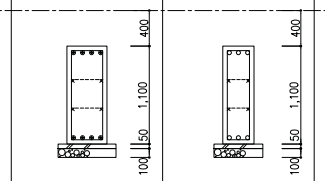
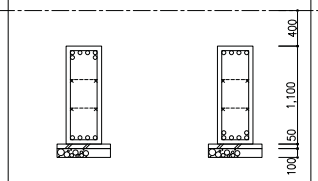
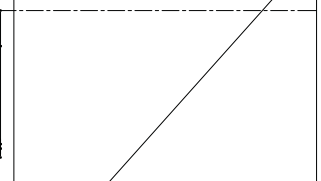
基礎小梁リスト S=1/30

共通事項（特記なき限り）

1, 鉄筋　D10~D16 SD295A　D19~D25 SD345　　2, 巾止め筋　D10@1,000以下

符号	FB60			FB60A		FB60B		FB60C	FB60D	
位置	外端	中央	内端（FB60A側）	両端	中央	両端	中央	全断面	7端	中央・8端
▽1FL										
断面										
上端筋	3-D22	3-D22	3/2-D22	3/2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D25	6-D22	6/4-D22
下端筋	3-D22	3/2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3/2-D22	4-D25	6-D22	6-D22
肋筋	□-D10@200			□-D10@200		□-D10@200		□-D13@200	□-D13@200	
腹筋	1x2-D13			1x2-D13		1x2-D13		1x2-D13	1x2-D13	

符号	FB80		FB80A			FB100			FB100A	
位置	両端	中央	9, 11端	中央	10端	外端	中央	内端（FB100A側）	両端	中央
▽1FL										
断面										
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4/2-D22	4-D22
下端筋	4-D22	4/2-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4-D22	4-D22	4/1-D22
肋筋	□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200	
腹筋	1x2-D13		1x2-D13			2x2-D13			2x2-D13	

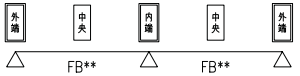
符号	FB110		FB110A		FB110B	FB110C	FB110D		
位置	他端	中央・5端	両端	中央	全断面	全断面	8端	中央・9端	
▽1FL									
断面									
上端筋	4-D25	4/1-D25	4/1-D25	4-D25	4-D25	3-D22	4/2-D22	4-D22	
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	3-D22	4-D22	4/2-D22	
肋筋	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	□-D10@200	□-D13@200		
腹筋	2x2-D13		2x2-D13		2x2-D13	2x2-D13	2x2-D13		

基礎小梁リスト凡例

単純梁（単スパン）



連続梁（連続スパン）



スラブリスト

共通事項（特記なき限り）

1, 鉄筋　D10~D16 SD295A
2, 巾止め筋　D10@1,000以下

符号	版厚 t	位置	短辺方向（主筋）		長辺方向（副筋）		備考
			端部	中央	端部	中央	
S15	150	上端筋	D13@200	←	D10D13@200	←	
		下端筋	D10D13@200	←	D10@200	←	
		上端筋					
		下端筋					

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54188号
管理建築士・設計者 一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬 博明

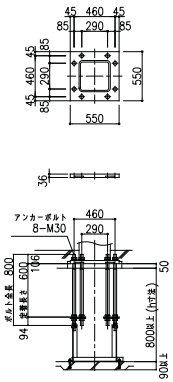
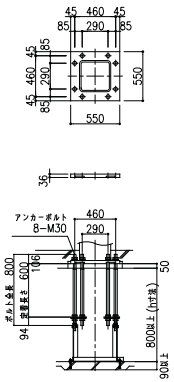
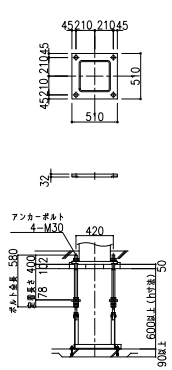
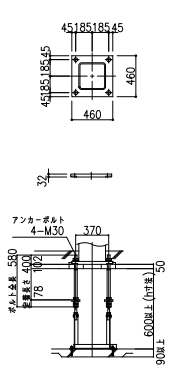
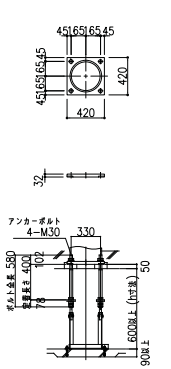
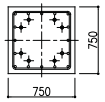
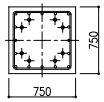
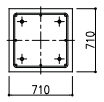
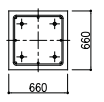
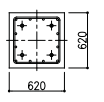
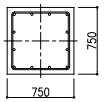
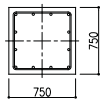
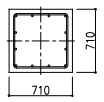
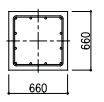
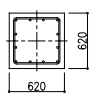
工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	基礎小梁・スラブリスト	設計	R05. 01
		縮尺	A1：1/30 A3：1/60
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三栖 富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)8828	図面No.	S-35
		承認	検図

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

鉄骨柱リスト S=1/30

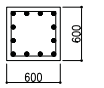
共通事項（特記なき限り）
1，鋼材　□甲：BCR295



符号	SC1	SC2	SC3	SC4	SC5
1階	□−350x350x16　(λ=79)	□−350x350x16　(λ=40)	□−350x350x16　(λ=48)	□−300x300x12　(λ=98)	○−355.6x16（STKN400B）(λ=40)
柱脚					
柱脚仕様	ハイベースNEO EB350−8−30	ハイベースNEO EB350−8−30	ハイベースNEO EB350−4−30	ハイベースNEO EB300−4−30	ハイベースNEO EM350−4−30
柱型 断面					
柱型 立上り筋	16−D22（SD345）	16−D22（SD345）	8−D19（SD345）	8−D19（SD345）	12−D19（SD345）
柱型 フープ筋	D13@150（SD295）	D13@150（SD295）	D13@100（SD295）	D13@150（SD295）	D13@150（SD295）
柱上部建打ち 断面					
柱上部建打ち 立上り筋	12−D13（SD295A）	12−D13（SD295A）	12−D13（SD295A）	12−D13（SD295A）	12−D13（SD295A）
柱上部建打ち フープ筋	D10@150（SD295A）	D10@150（SD295A）	D10@150（SD295A）	D10@150（SD295A）	D10@150（SD295A）

柱型リスト S=1/30

共通事項（特記なき限り）
1，鉄筋　D10〜D16　SD295A
　　D19〜D25　SD345

符号	C0
柱型 断面	
柱型 主筋	12−D19（自摺フック付）
柱型 フープ筋	□−D13@100 トップフープ　2x□−D13

鉄骨大梁リスト

共通事項（特記なき限り）
1，鋼材　無印：SN400B
　　○甲：SN490B

符号		SG1	SG1A	SG1B	SGB1
R階	全断	H−500x200x10x16	H−488x300x11x18	H−700x300x13x24	H−488x300x11x18

符号		SG2	SG2A	SG3	SG4	SG4A
R階	全断	H−488x300x11x18	Ⓗ−488x300x11x18	H−400x200x 8x13	H−294x200x 8x12	Ⓗ−294x200x 8x12

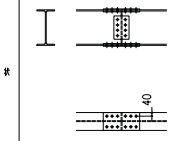
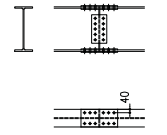
符号		SG11	SG11A	SG11B	SG12
R階	全断	H−500x200x10x16	H−488x300x11x18	Ⓗ−488x300x11x18	H−294x200x 8x12

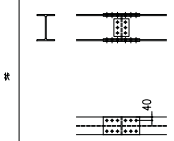
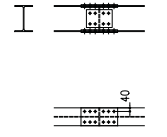
符号		SG13	SG13A	SG14	SGB14
R階	全断	H−400x200x 8x13	H−700x300x13x24	H−294x200x 8x12	H−294x200x 8x12

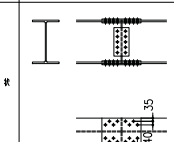
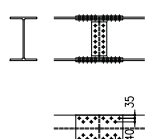
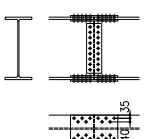
符号		SCG1	SCG2	SCG11	SCG12
R階	全断	H−500x200x10x16	H−294x200x 8x12	H−500x200x10x16	H−294x200x 8x12

鉄骨大梁継手リスト S=1/30

共通事項（特記なき限り）
1，鋼材　無印：SN400B
　　○甲：SN490B
2，ボルト　H.T.B S10T

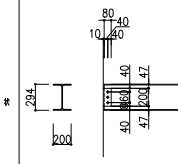
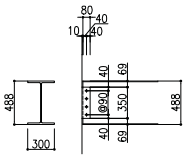
部材	H−400x200x 8x13	H−500x200x10x16
形状		
継手	F:外PL−9×200×410 F:内PL−9×80×410, H.T.B. 6−M20@60 W:2PL−9x260x170, H.T.B. 4−M20@60	F:外PL−12×200×410 F:内PL−12×80×410, H.T.B. 6−M20@60 W:2PL−9x320x170, H.T.B. 5−M20@60
備考		

部材	H−294x200x 8x12	Ⓗ−294x200x 8x12
形状		
継手	F:外PL−9×200×410 F:内PL−9×80×410, H.T.B. 6−M20@60 W:2PL−9x200x170, H.T.B. 3−M20@60	F:外PL−9×200×410 F:内PL−9×80×410, H.T.B. 6−M20@60 W:2PL−6x200x290, H.T.B. 4−M20@120
備考		

部材	H−488x300x11x18	Ⓗ−488x300x11x18	H−700x300x13x24
形状			
継手	F:外PL−12×300×440 F:内PL−12×110×440, H.T.B. 8−M22@45 W:2PL−12x320x170, H.T.B. 5−M22@60	F:外PL−12×300×530 F:内PL−12×110×530, H.T.B. 10−M22@45 W:2PL−9x380x170, H.T.B. 6−M22@60	F:外PL−19×300×530 F:内PL−19×110×530, H.T.B. 10−M22@45 W:2PL−9x560x170, H.T.B. 9−M22@60
備考			

鉄骨大梁ピン仕口リスト S=1/30

共通事項（特記なき限り）
1，鋼材　無印：SN400B
2，ボルト　H.T.B S10T

部材	H −294x200x 8x12	H −488x300x11x18
形状		
継手仕口	G.PL−12，H.T.B 3−M20 @60	G.PL−16，H.T.B 4−M22 @90
備考	SGB14	SGB1

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54188 号
管理建築士・設計者　一級建築士　第　288796 号
構造設計一級建築士　第　6148 号　長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	鉄骨柱・大梁リスト
No.	03123
設計	R05. 01
縮尺	A1：1/150 A3：1/150
図面No.	S−36
承 / 検 / 図	

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗　富男　一級建築士登録番号　89479 号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)8028

管理建築士　古澤 康夫　一級建築士登録番号 223925 号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号
従事する建築士　一級建築士登録番号　号

鉄骨小梁リスト

共通事項（特記なき限り）
1, 鋼材　SS400（外部に露出する部材は溶融亜鉛メッキとする）
2, ボルト　S10T（外部に露出する箇所はF8Tとする）

符号	部材	仕口	仕口TYPE	備考
SB15	H−150x 75x 5x 7	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	
SB20	H−200x100x5.5x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	2	
SB20A	H−200x100x5.5x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2x2−M16@60	3	
SB25	H−250x125x 6x 9	G.PL− 9 , H.T.B 2−M20@90	2	
SB25A	H−250x125x 6x 9	G.PL− 9 , H.T.B 2x2−M20@90	3	
SB30	H−300x150x6.5x 9	G.PL− 9 , H.T.B 3−M20@60	2	
SB30A	H−300x150x6.5x 9	G.PL− 9 , H.T.B 3x2−M20@60	3	
SB35	H−350x175x 7x11	G.PL− 9 , H.T.B 3−M20@90	2	
SB35A	H−350x175x 7x11	G.PL− 9 , H.T.B 3x2−M20@90	3	
SB40	H−400x200x 8x13	G.PL− 9 , H.T.B 3−M20@120	2	
SB40A	H−400x200x 8x13	G.PL− 9 , H.T.B 4x2−M20@60	3	
SB50	H−500x200x 10x16	G.PL−12 , H.T.B 4−M22@90	2	
SB60	H−600x200x 11x17	G.PL−16 , H.T.B 5−M22@90	2	
SB100	H−100x100x 6x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	
HB25	H−250x125x 6x 9	G.PL− 9 , H.T.B 2−M16@90	2	横使い
HB30	H−300x150x6.5x 9	G.PL− 9 , H.T.B 2−M20@120	2	横使い
HB35	H−350x175x 7x11	G.PL− 9 , H.T.B 2−M20@120	2	横使い
HB100	H−100x100x 6x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	横使い
HB175	H−175x175x7.5x11	G.PL− 9 , H.T.B 2−M16@60	1	横使い
a	[−100x50x5x7.5	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	
b	L−75x75x 6	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	
V1	[−125x65x 6x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@90	1	
HV16	M16（JIS規格品）	G.PL− 6 , H.T.B 1−M16		ターンバックル付きブレース
h1	[−125x65x 6x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M20@90	1	
母屋	C−100x50x20x2.3@600	G.PL− 6 , 2−M12（中ボルト）	1	(SSC400)
開口補強	□ −100x100x3.2	G.PL−6 , 2−M12（中ボルト）	4	(STKR400)

鉄骨間柱リスト

共通事項（特記なき限り）
1, 鋼材　SS400（外部に露出する部材は溶融亜鉛メッキとする）
2, ボルト　S10T（外部に露出する箇所はF8Tとする）

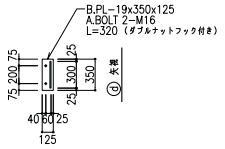
符号	部材	仕口	仕口TYPE	柱脚	柱脚TYPE	備考
SP1	O−114.3x6.0	G.PL− 9 , H.T.B 2−M20@60	1	B.PL−16x250x250 A.BOLT 4−M16 (L=320) ダブルナットフック付	1	(STK400)
SP100	H−100x100x 6x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	2	B.PL−12x180x130 A.BOLT 2−M16 (L=320) ダブルナットフック付	2	
SP175	H−175x175x7.5x11	G.PL− 9 , H.T.B 2−M16@60	2	B.PL−12x240x210 A.BOLT 2−M16 (L=320) ダブルナットフック付	2	
T1	H−100x100x 6x 8	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	2			
T2	H−125x125x6.5x 9	溶接				
開口補強	□ −100x100x3.2	G.PL−6 , 2−M12（中ボルト）	1	B.PL−12x130x260 A.BOLT 2−M12 (L=240) ダブルナットフック付	3	

屋上メンテ用階段踊り場受け要領図 S=1/30

部材リスト

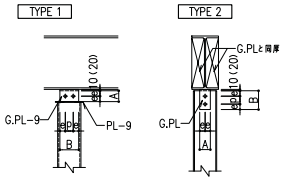
符号	部材	仕口	柱脚TYPE	備考
SP150	H−150x150x 7x10	B.PL−12x180x180 (SS400) A.BOLT 2−M16 L=320 ダブルナットフック付 (SS400)	2 2	
SCB148	H−148x100x 6x 9	L−75×75×9 , H.T.B 2−M16@60	2	

※寸法は現況図確認の上、決定すること

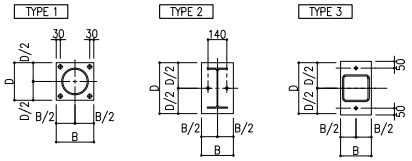


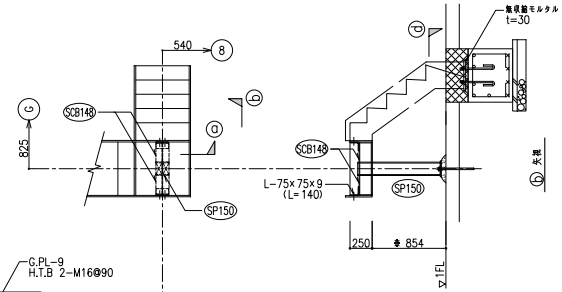
間柱仕口要領図

※ 1, pは鉄骨間柱リストによる
2, e≧1.4dとする
3, （ ）内数値はウェブ厚が10mmを超える場合を示す



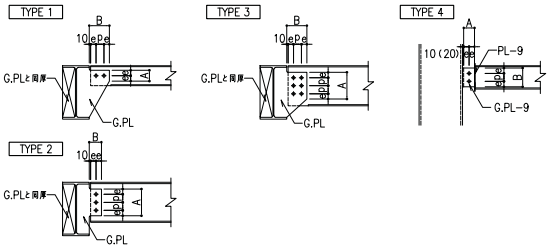
間柱柱脚要領図





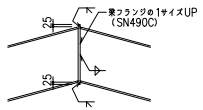
小梁仕口要領図

※ 1, pは鉄骨小梁リストによる
2, e≧1.4dとする

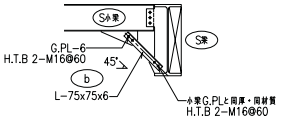


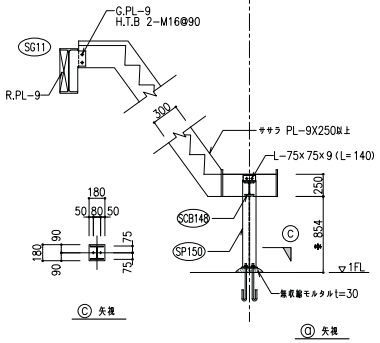
折曲がり梁取合い要領図 S=1/30

5通り / D−F通り間　SG11
6通り / D−F通り間　SG11
10通り / B−C通り間　SG11A

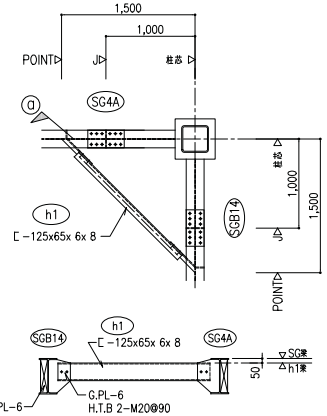


b材方杖要領図 S=1/30

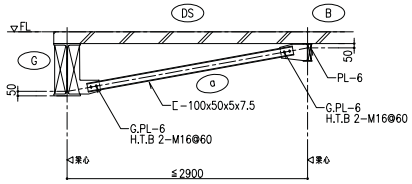




h1材取付要領図 S=1/30

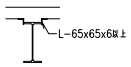


a材要領図 S=1/30

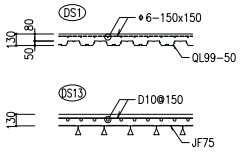


勾配調整

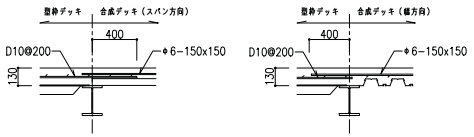
水勾配等の調整に用いる



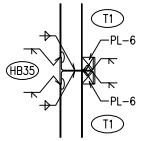
デッキスラブリスト



デッキ切り替わり部配筋要領



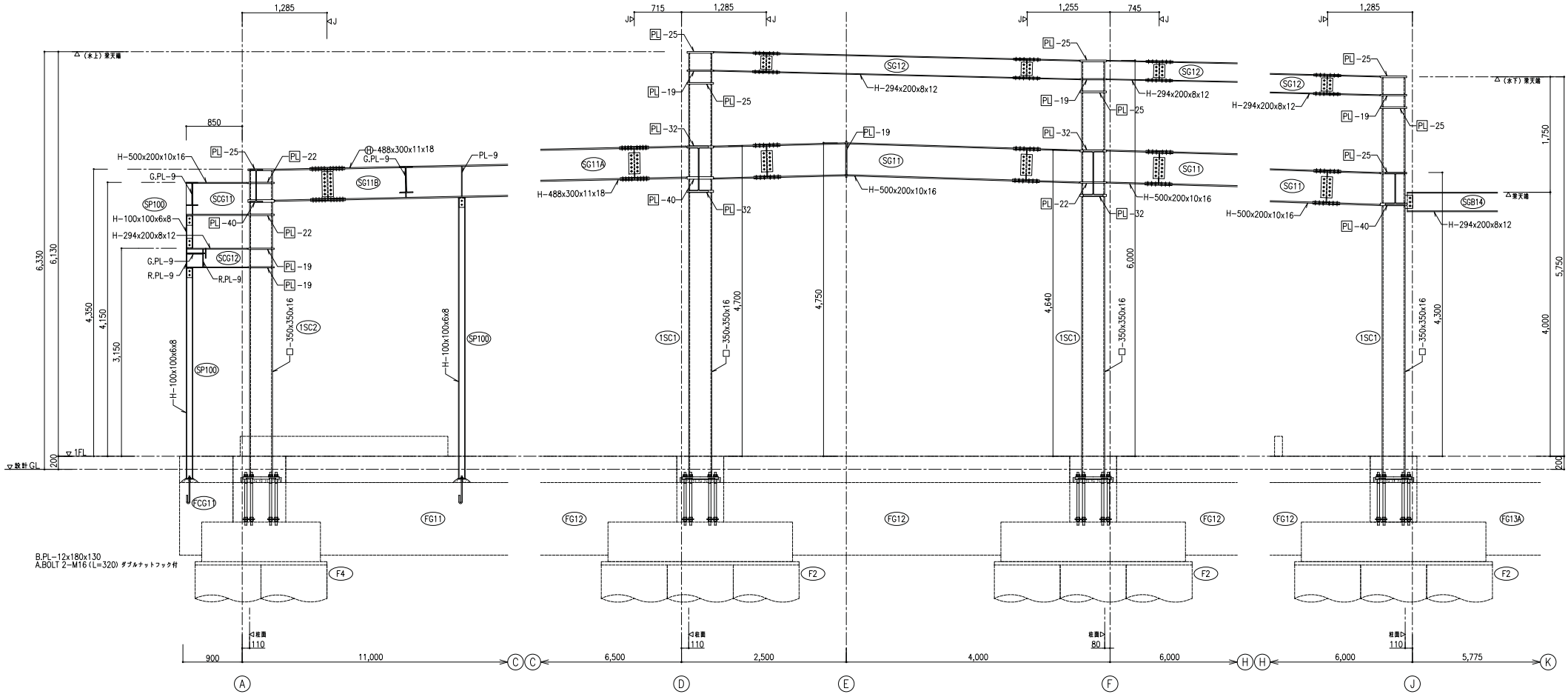
T1剛接合要領 S=1/30



有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54138号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬 博明

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	二次部材リスト
No.	03123
設計	R05. 01
縮尺	A1 : 1/ 150 A3 : 1/ 150
図面No.	S−37
承 / 図 / 検 / 図	
管理建築士	古 澤 康 夫　一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号

株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栗 富男　一級建築士登録番号 89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)8028



⑤通り鉄骨架構詳細図 S=1/100

共通事項（特記なき限り）

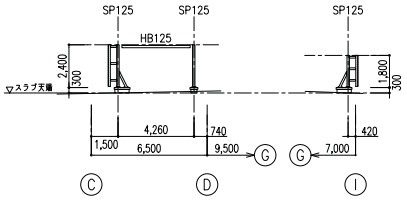
1, 鋼材品質　角形鋼管：□※ BCR295
　H形鋼管：無※ SS400 規格品とする
2, PLは通しダイヤフラムSN490C規格品とし、
　取り付く梁のうち最大フランジ厚の2サイズアップ以上かつ、柱鋼管厚以上とする
3, 継手・仕口はリスト参照のこととする

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	鉄骨架構詳細図	設計	R05. 01
		縮尺	A1：1/30 A3：1/60
図面No.	S－38		

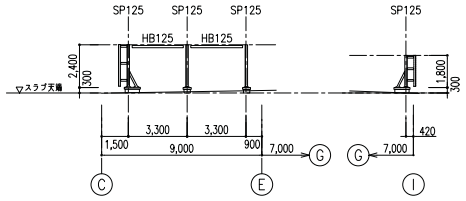
管理建築士	古澤 康夫
一級建築士登録番号	223925号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号
従事する建築士	
一級建築士登録番号	号

有限会社スパン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54188号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796号
構造設計一級建築士 第　6148号　長瀬 博明

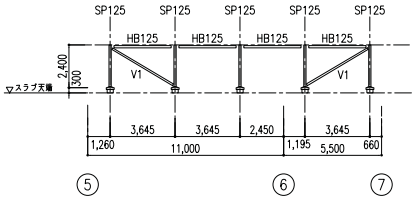
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三栄 富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL.028(622)8028



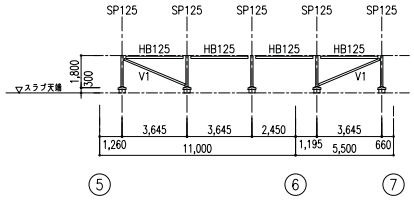
⑤通り+1,260 軸組図 S=1/150



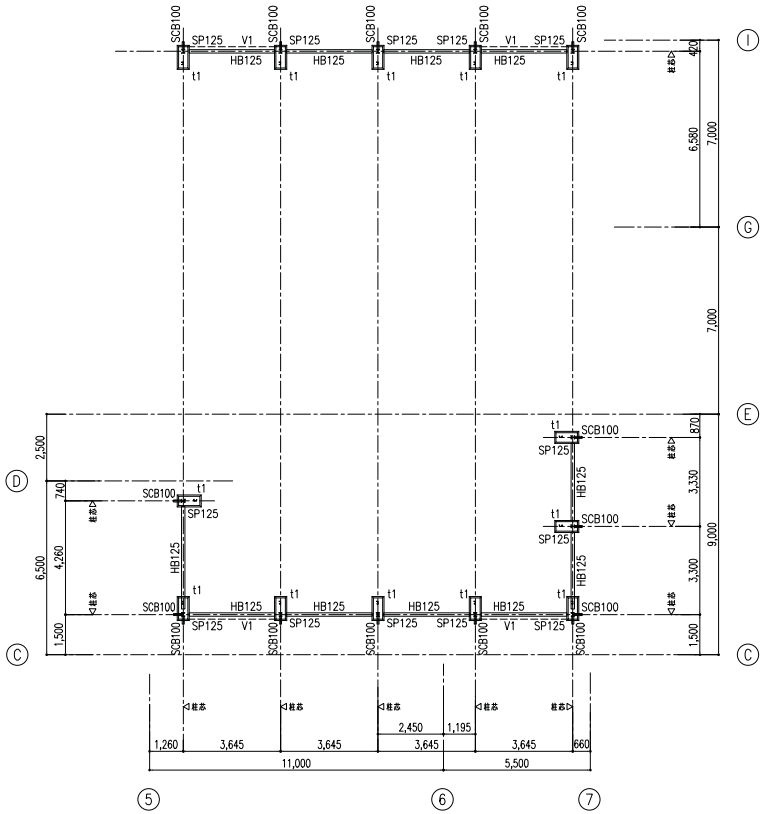
⑦通り−660 軸組図 S=1/150



Ⓒ通り+1,500 軸組図 S=1/150



Ⓘ通り−420 軸組図 S=1/150



目隠し壁 S=1/150

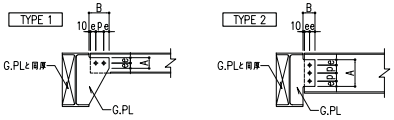
鉄骨部材リスト

共通事項（特記なき限り）
1, 鋼材 SS400（溶融亜鉛メッキとする）
2, ボルト H.T.B F8T

符号	部材	仕口	仕口TYPE	備考
SP125	H −125x125x6.5x 9	——		
SCB100	H −100x100x 6x 8	——		
HB125	H −125x125x6.5x 9	G.PL− 9 , H.T.B 2−M16@60	2	横使い
t1	[−100×50×5×7.5	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	方杖
V1	[−100×50×5×7.5	G.PL− 6 , H.T.B 2−M16@60	1	

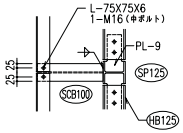
小梁仕口要領図

※ 1. pは鉄骨小梁リストによる
2. eは40とする

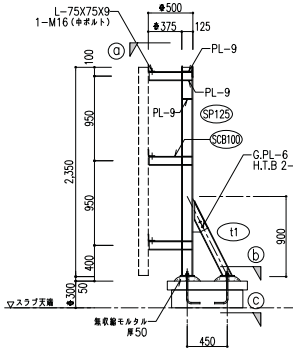


目隠し詳細図 S=1/30

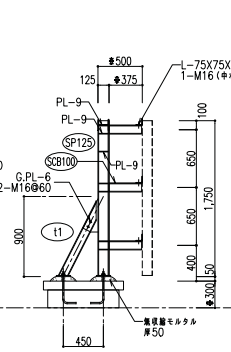
※印寸法は、基礎図確認のうえ決定すること



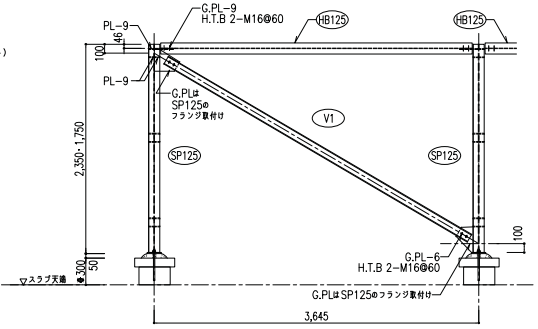
ⓓ 矢視 1/15

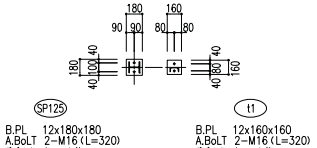


C通り部

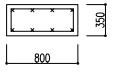


I通り部





ⓑ 矢視



主筋 8−D13（SD295A）
HOOP □−D10@100

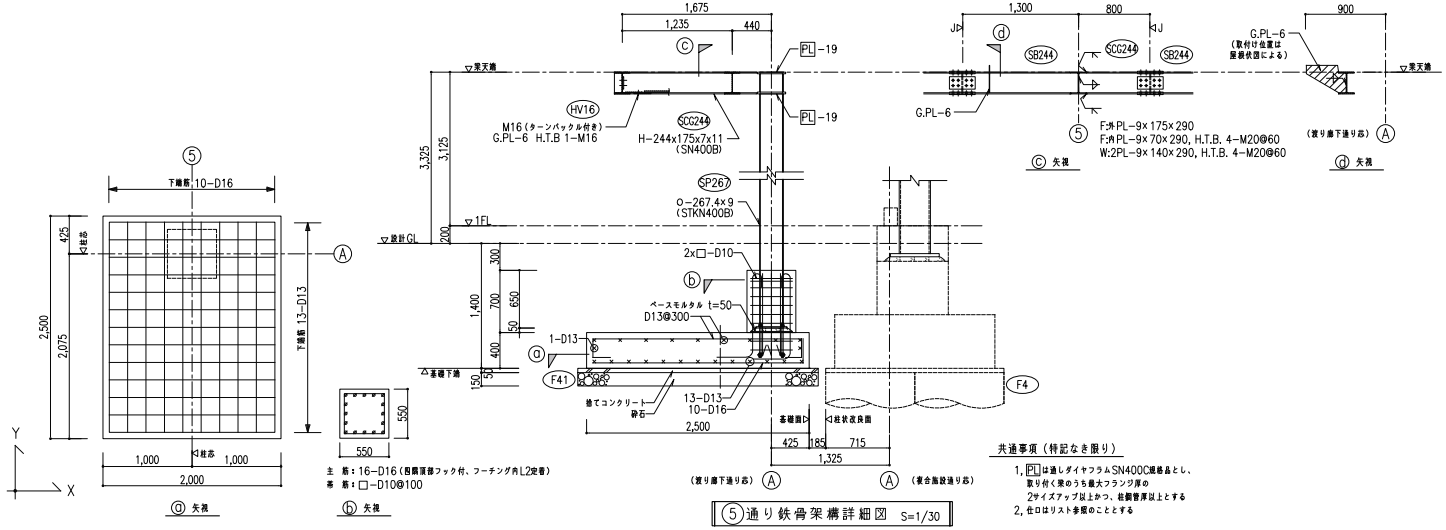
ⓒ 矢視

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	目隠し壁詳細図	設計	R05. 01
		縮尺	A1：1/150，A3：1/300，80
		図面No.	S−39

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028(622)8928

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54189 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 61489 号 長瀬 博明

管理建築士	古澤 康夫
	一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号 号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号 号



鉄骨部材リスト

共通事項（特記なき限り）

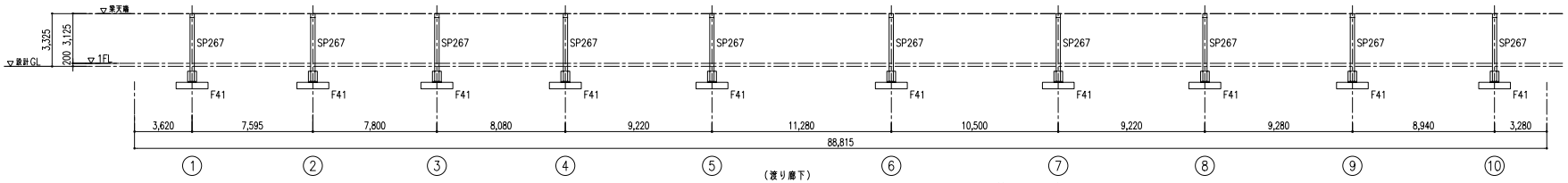
1, 鋼材　SS400
2, ボルト H.T.B F8T
3, 鋼材は溶融亜鉛メッキとする

符号	部材	仕口	備考
SP267	O −267.4x9	B.PL− 16x350x350（SN400B） A.BOLT 4−M16（L=320）ダブルナットフック付	STKN400B
SCG244	H −244x175x 7x11	—	SN400B
SB244	H −244x175x 7x11	G.PL−12，H.T.B 2−M20@60	SN400B
SB25	H −250x125x 6x 9	G.PL− 9，H.T.B 2−M20@90	
SB100	H −100x100x 6x 8	G.PL− 6，H.T.B 2−M16@60	
HV16	M16（JIS規格品）	G.PL− 6，H.T.B 1−M16	ターンバックル付きブレース

⑤通り鉄骨架構詳細図 S=1/30

共通事項（特記なき限り）

1, PLは通しダイヤフラムSN400C規格とし、取り付く梁のうち最大フランジ厚の2サイズアップ以上かつ、柱鋼管厚以上とする
2, 仕口はリスト参照のこととする

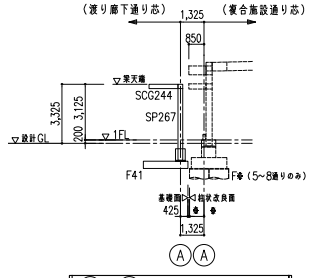


Ⓐ通り軸組図 S=1/150

（渡り廊下）

共通事項（特記なき限り）

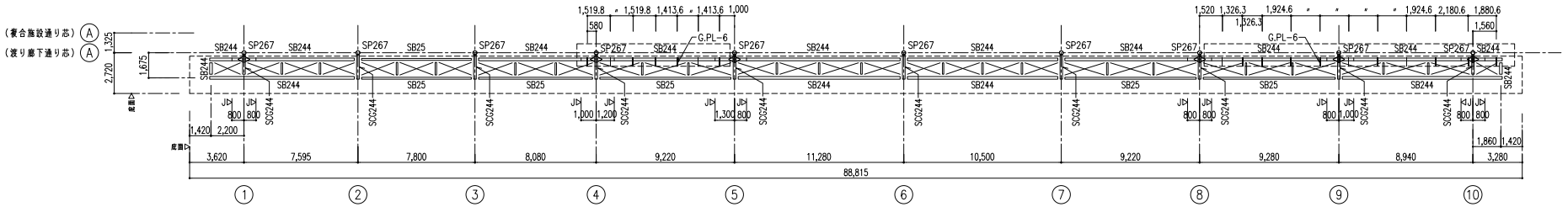
1, 基礎下端は設計GL−1,400とする
2, 柱頭天端は1FL−500とする
3, B.PL下端は1FL−1,150とする



①−⑩通り軸組図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

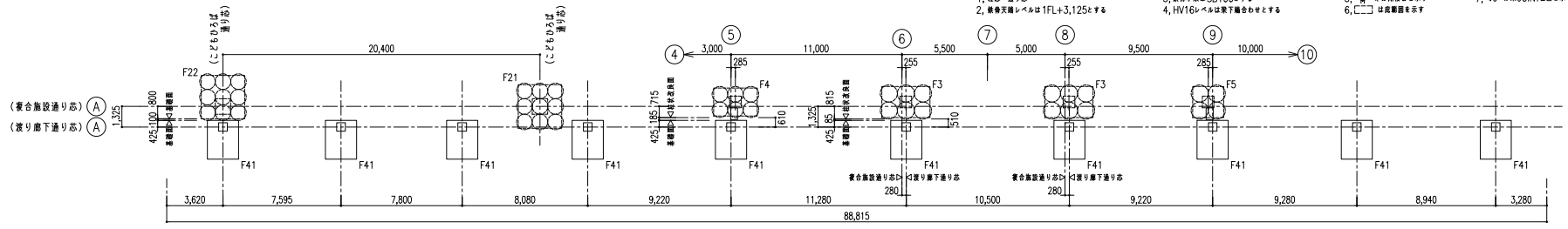
1, 基礎下端は設計GL−1,400とする
2, 柱頭天端は1FL−500とする
3, B.PL下端は1FL−1,150とする
4, 寄寸法、寄符号、基礎位置は基礎伏図による



屋根伏図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1, 柱芯＝通り芯
2, 鉄骨天端レベルは1FL+3,125とする
3, 鉄骨小梁はSB100とする
4, HV16レベルは梁下端合わせとする
5, ⊣⊢ 印は開接合を示す
6, [ ] は成範囲を示す
7, ◁J は梁JOINT位置を示す



基礎伏図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1, 基礎下端は設計GL−1,400とする

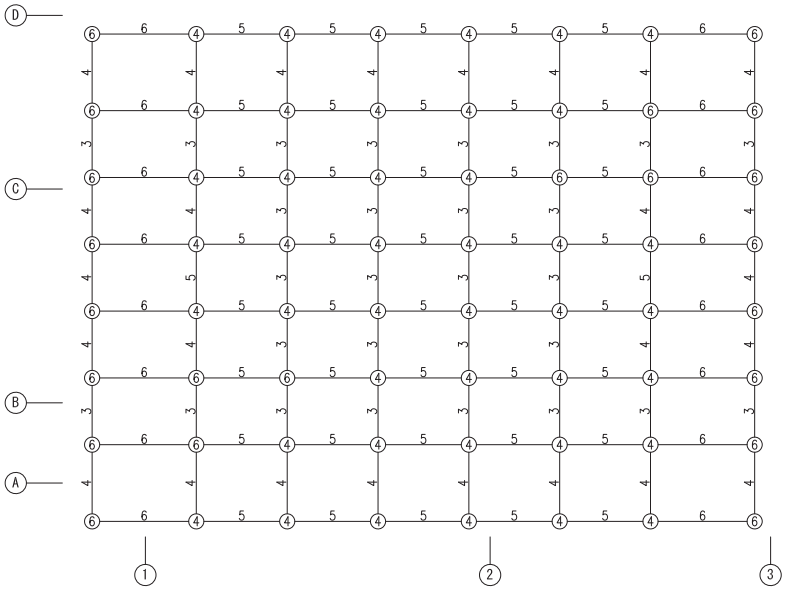
Y
X

工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事
図名	にぎわい軸通路屋根　構造図
設計	R05. 01
縮尺	A1：1/150 30 A3：1/300 60
No.	03123
図面No.	S−41

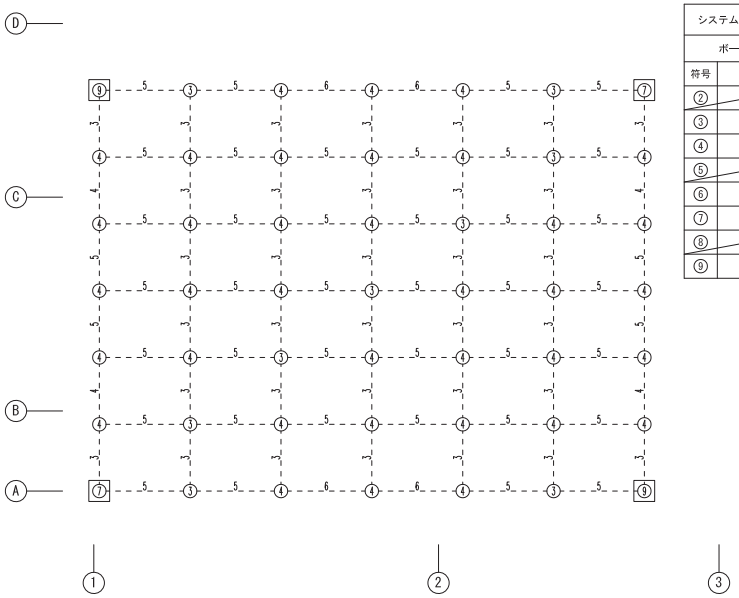
株式会社 フケタ設計
代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号　89479号
本　社　栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号　TEL 028(622)8928

有限会社スバン設計　一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第　54189 号
管理建築士・設計者　一級建築士 第　288796 号
構造設計一級建築士 第　6148 号　長瀬　博明

管理建築士	古澤　康夫
	一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号　号
従事する建築士	
	一級建築士登録番号　号



トラスサイズ(上弦材)伏図



トラスサイズ(下弦材)伏図　＊口は支承位置を示す。

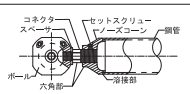
(特記事項)
貫通ボルト(下弦面)は、各ボールサイズに適した最低サイズ(強度区分4.6又は4.8)とする。

システムトラスサイズリスト

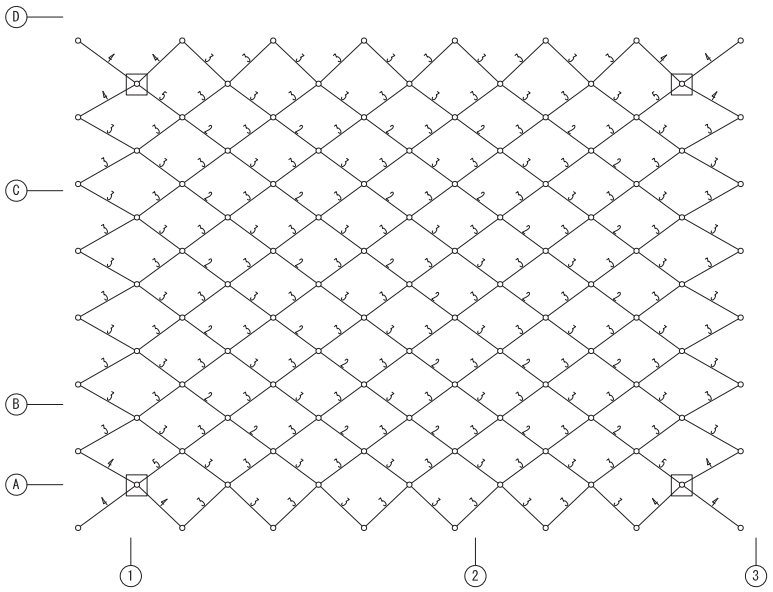
ボールサイズ		部材サイズ		貫通ボルトサイズ(上弦面)	
符号	サイズ	符号	サイズ	符号	サイズ
②	B100	2	P-60.5×2.3	①	M20(強度区分4.6又は4.8)
③	B120	3	P-76.3×2.8	②	M30(強度区分5.6又は5.8)
④	B140	4	P-89.1×2.8		
⑤	B160	5	P-101.6×3.2		
⑥	B180	6	P-114.3×3.5		
⑦	B200				
⑧	B230				
⑨	B260				

(特記事項)
本工事に使用するシステムトラスの接合部は、「トラス用機械式継手」として国土交通大臣による認定を受けたものとする。

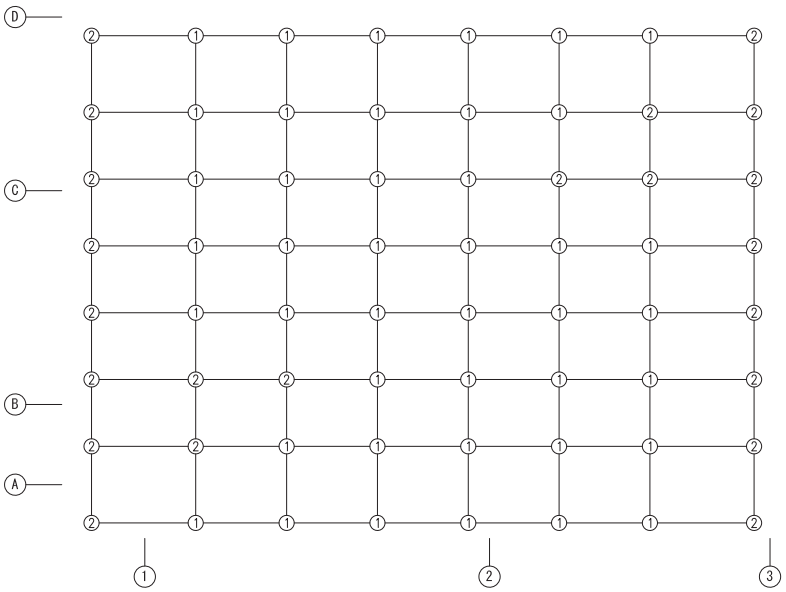
システムトラス接合部の仕様



断面形状および部品名称	規格	部品の材質
鋼管	JIS G 3444	STK400
ボール	―――	スミストロング55-HA
	JIS G 3223	SFT590
	JIS G 3115	SPV490
	―――	SCC60M または、同等品以上
ノーズコーン	JIS G 3101 JIS G 4051 (JIS G 5102)	SS400 S25C SCM450相当品
コネクター	JIS G 4105 JIS G 4103	SCM435, SCM440 SNCM439
スペーサー	JIS G 4051	S45C



トラスサイズ(ラチス材)伏図　＊口は支承位置を示す。



貫通ボルトサイズ(上弦面)伏図

めっき仕様

- 鉄骨はめっき仕様とする。
- セットスクリューは、ステンレス(SUS)とする。
- 溶融亜鉛めっきされたネジ部は、ネジさらいをする。
- 貫通ボルトは溶融亜鉛めっき仕様とする

部品名称	工場	現場
ボール	ZRC (1回塗り)	ZRC (1回塗り) + 変性エポキシ樹脂プライマー + フッ素樹脂(2回塗り)
コネクター スペーサー	―――	ZRC (2回塗り) + 変性エポキシ樹脂プライマー + フッ素樹脂(2回塗り)
鋼管 ノーズコーン	溶融亜鉛めっき + リン酸塩処理 + 変性エポキシ樹脂プライマー	フッ素樹脂(2回塗り)
支承	ZRC (1回塗り)	ZRC (1回塗り) + 変性エポキシ樹脂プライマー + フッ素樹脂(2回塗り)
柱	溶融亜鉛めっき + リン酸塩処理 + 変性エポキシ樹脂プライマー	フッ素樹脂(2回塗り)
タッチアップ部	―――	ZRC (2回塗り) + 変性エポキシ樹脂プライマー + フッ素樹脂(2回塗り)

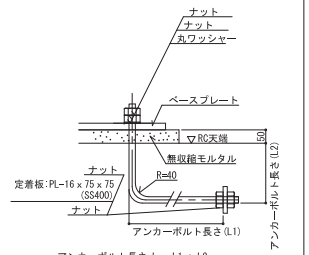
板厚	亜鉛付着量
t≧4.5	550g/m² 以上
4.5＞t≧3.2	450g/m² 以上
3.2＞t≧1.6	350g/m² 以上

工事名	(仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図	※こどもひろば　柱・屋根鉄骨工事 トラスサイズ伏図	設計	R05.01
		縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面No.	S-51
	株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴 富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大堤1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	原図	複図

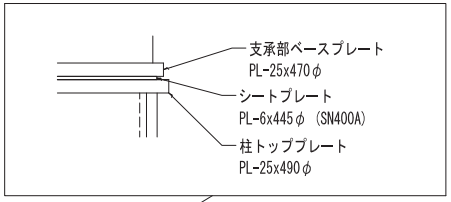
管理建築士	古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士	塚原 好則 一級建築士登録番号 249808号
従事する建築士	一級建築士登録番号　号

特記事項
1) 溶融亜鉛めっき仕様とする
2) 特記なきサイズ・材質は、サイズ伏図・部材リスト参照の事
3) 各部詳細及び溶接は、支承・柱脚部詳細図参照の事
4) システムトラス部は、別図参照の事
5) PL- 表示の鋼板材質（T=4.5以下は除く）は、特記なき限り SN400B とする
6) (B) 表示のボルトは、普通ボルト(溶融亜鉛めっき)<強度区分4.6又は4.8>とする
7) 特記なきめっき抜き及び空気抜きは、工作図による
8) 特記なき溶接は、隅肉溶接とする

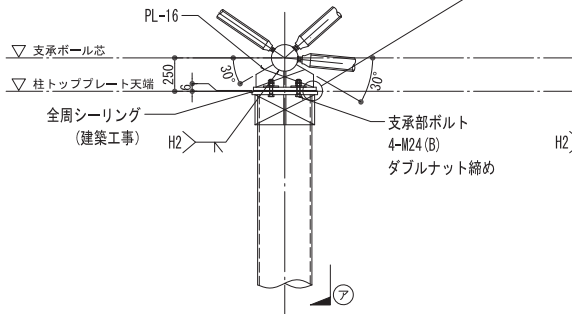
アンカー部(L型)詳細　S=1/20

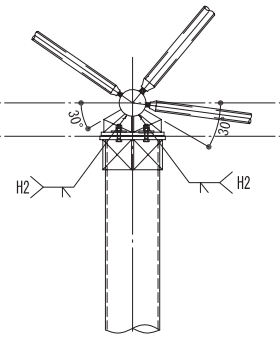


シートプレート部詳細　1/10

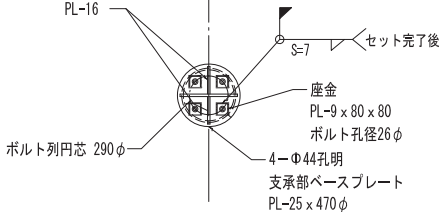


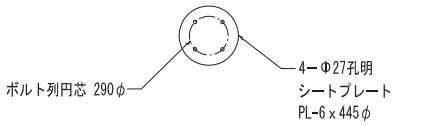
トラス支承部　計　4ヶ所



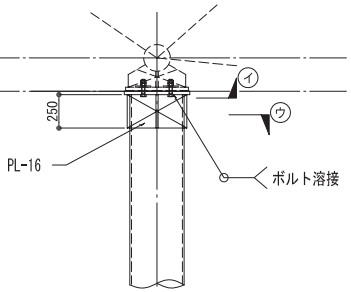


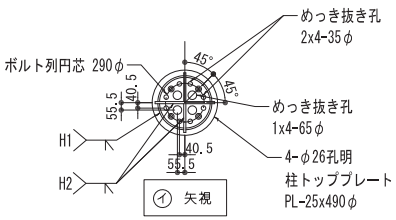
ア 矢視



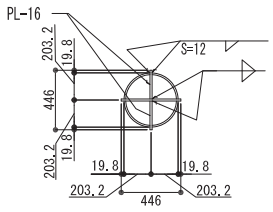


SC1柱頭部　計　4ヶ所



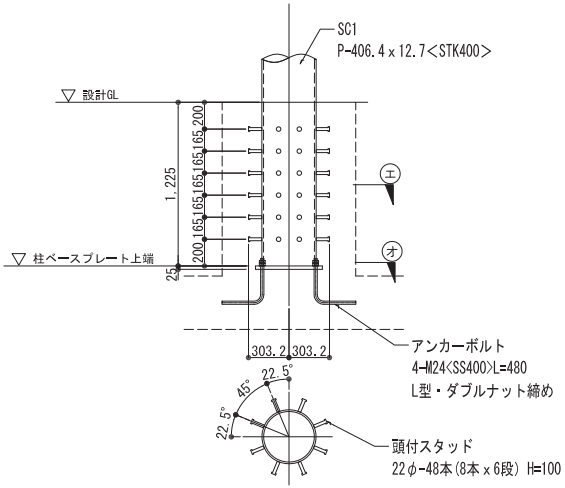


イ 矢視

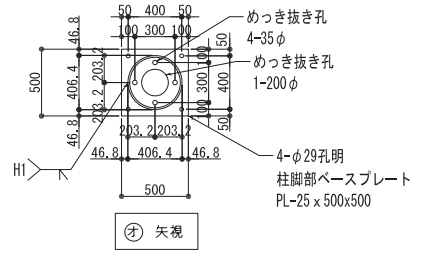


ウ 矢視

SC1柱脚部　計　4ヶ所



エ 矢視

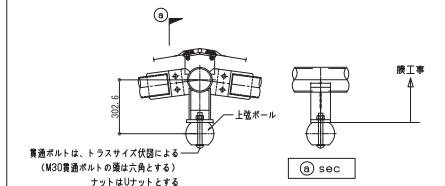


オ 矢視

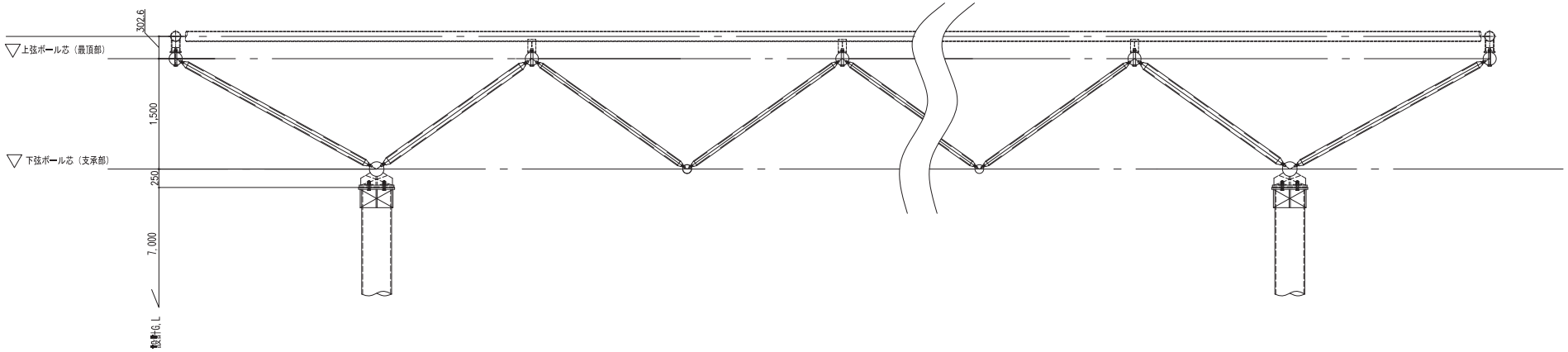
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図 ※こどもひろば 柱・屋根鉄骨工事 支承・柱脚詳細図	設計 R05.01	
	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号 TEL.028(622)8928	図面No. S-52 原図 後図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号

特記事項
1）溶融亜鉛めっき仕様とする
2）特記なきサイズ・材質は、サイズ伏図・部材リスト参照の事
3）各部詳細及び溶接は、取合詳細図、継手リスト図、支承・柱脚部詳細図参照の事
4）膜定着部は、別図（膜工事）参照の事

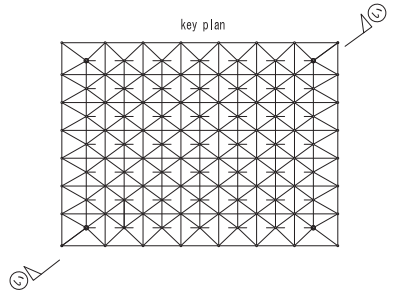
上弦ボール標準納まり図　S=1/30



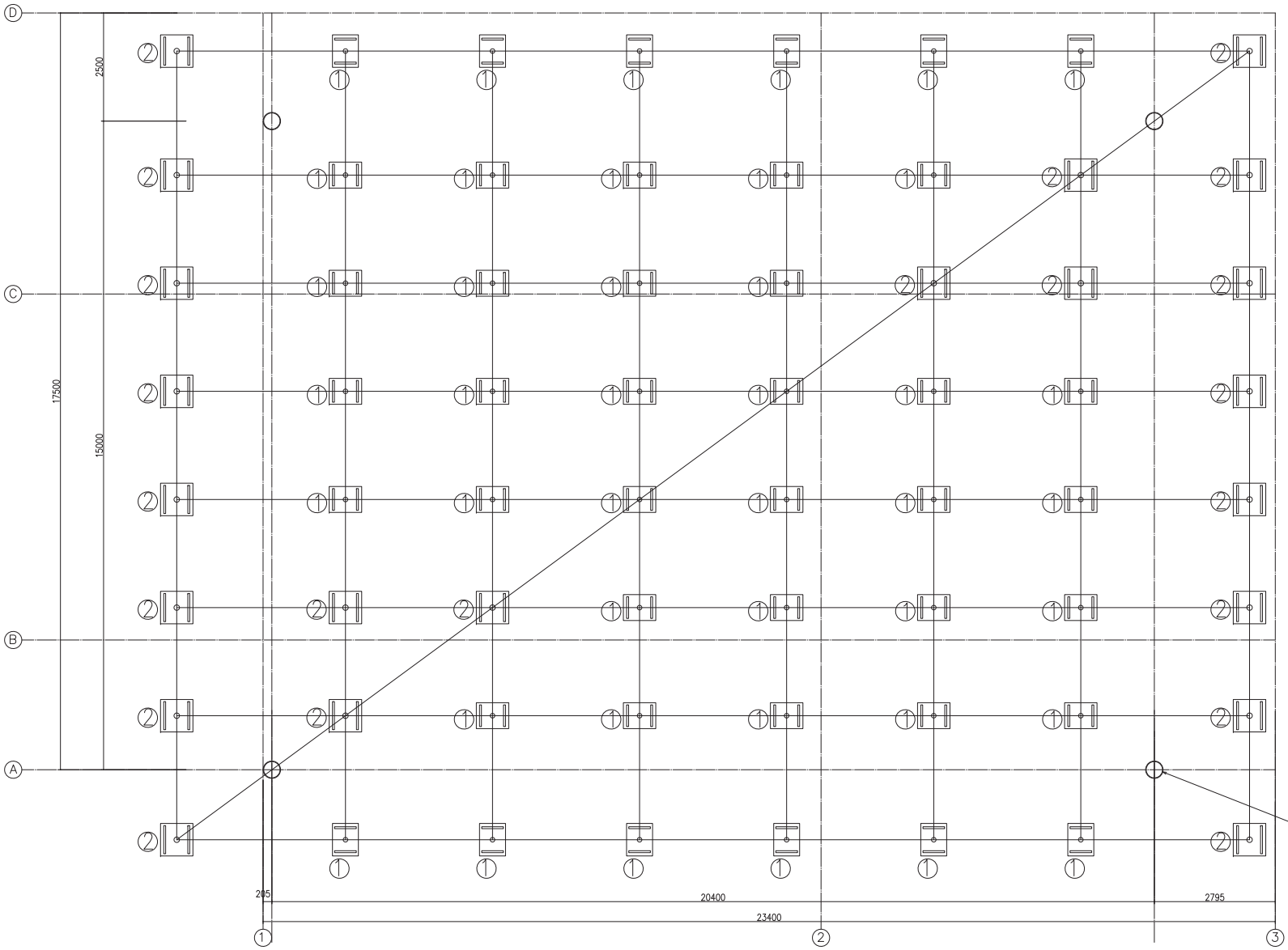
貫通ボルトは、トラスサイズ伏図による
（M30貫通ボルトの頭は六角とする）
ナットはUナットとする
貫通ボルト、座金、ナットは鉄骨工事とする
（注記）　膜定着部は、別図（膜工事）参照の事



Ⓛ－Ⓛ 通り断面　屋根トラス詳細図



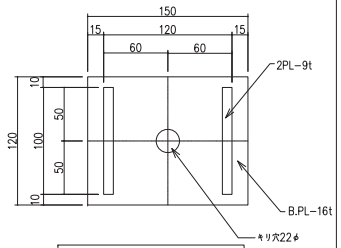
工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図 ※こどもひろば　柱・屋根鉄骨工事 鉄骨詳細図		設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号　TEL 028(622)8928		縮尺 A1:1/30 A3:1/60	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. S－53	
		原図	後図



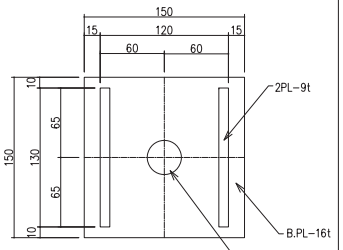
B.PL平面配置図　S=1:100

①:B.PL1

②:B.PL2

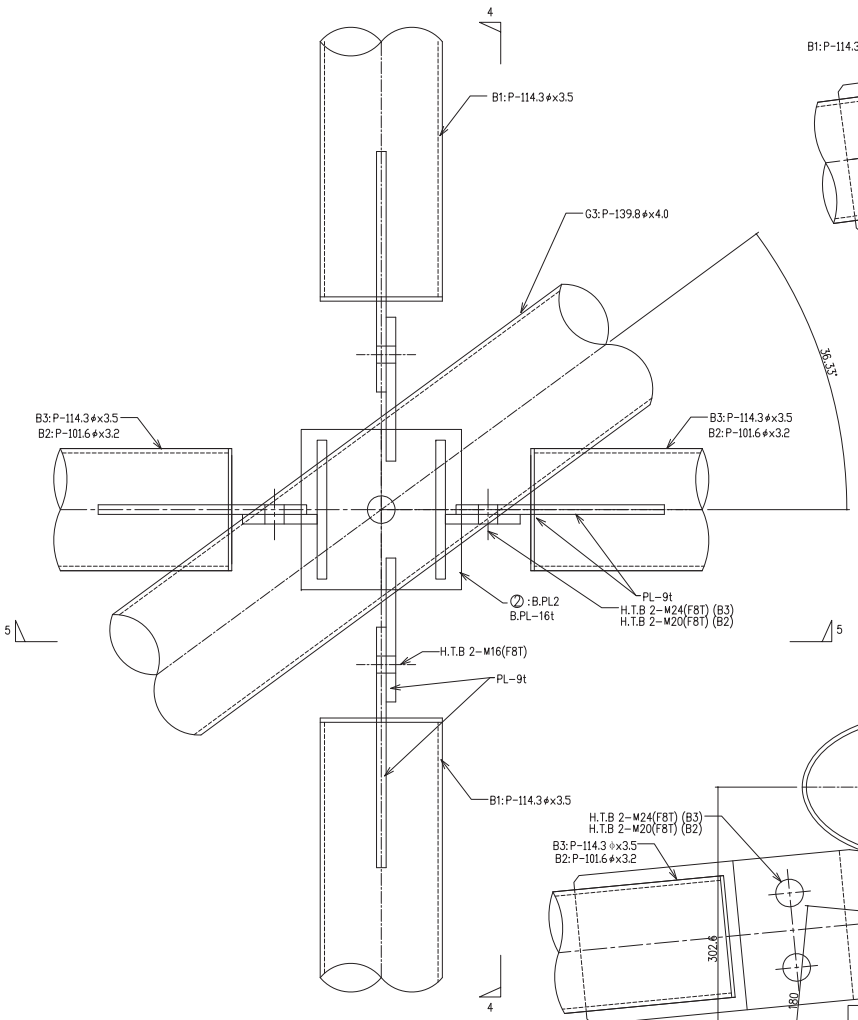


①　:B.PL1 詳細図　S=1:10



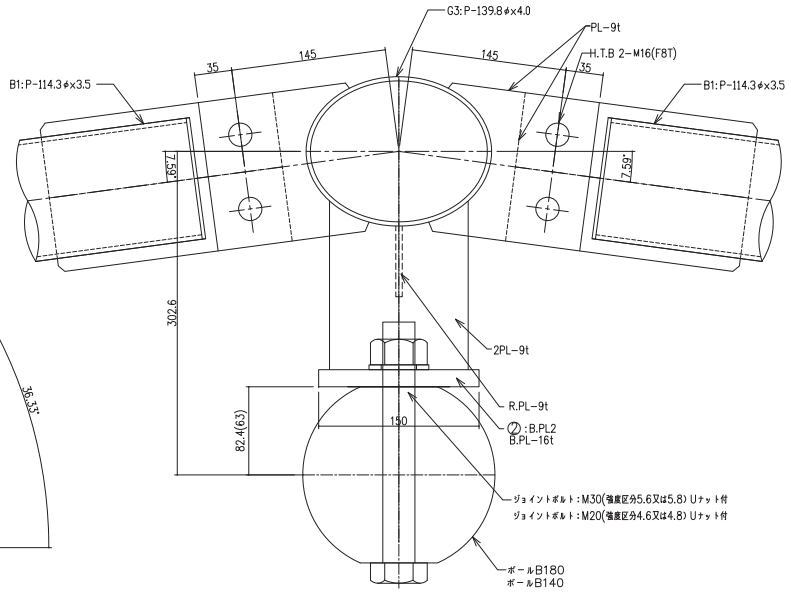
②　:B.PL2 詳細図　S=1:10

工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば　膜工事 B.PL平面配置図	設計 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役　三柴　富男　一級建築士登録番号 89479号 本社　栃木県宇都宮市大堤1丁目5番8号　TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/50 1/5 A3:1/100 1/10	従事する建築士 一級建築士登録番号　号
	図面No. S－54	
	原図 / 複図	

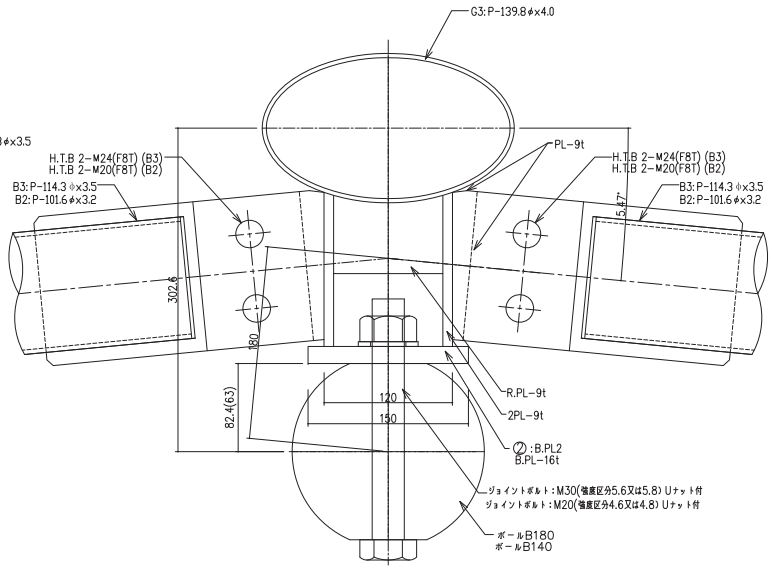


あ鉄骨取合部詳細図　S=1:5

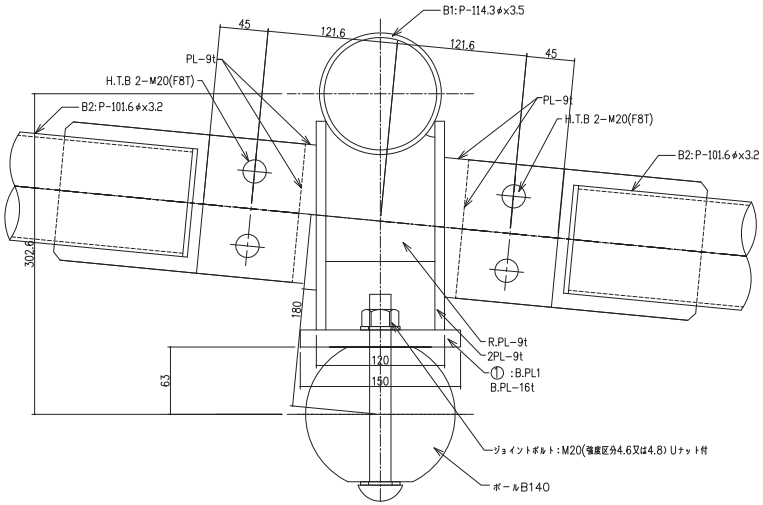
あa: ボールB180
あb: ボールB140



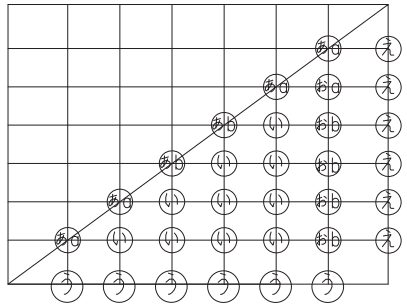
4-4断面図　S=1:5



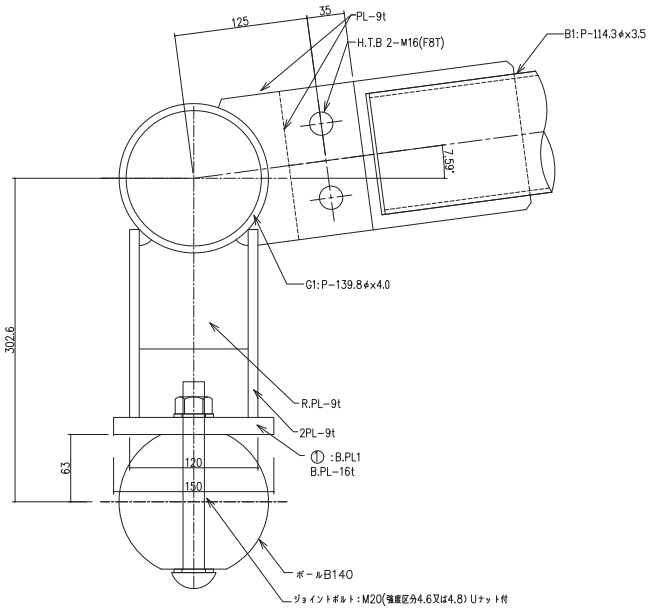
5-5断面図　S=1:5



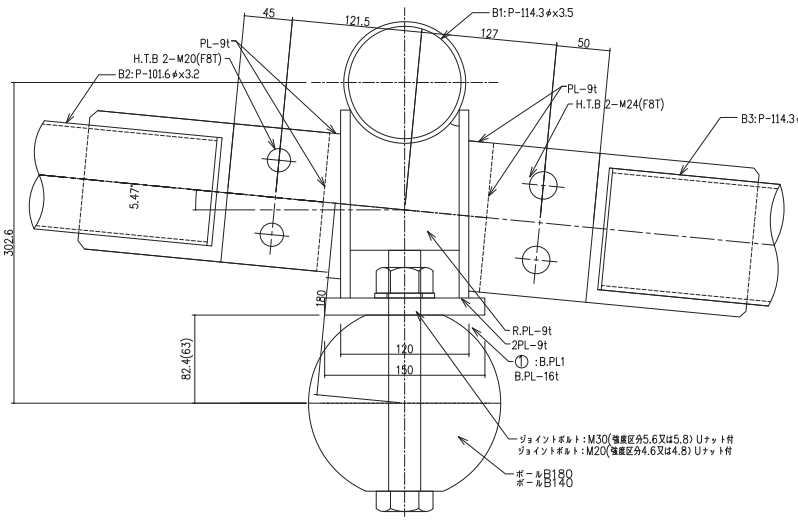
い鉄骨取合部詳細図　S=1:5



工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば 膜工事 鉄骨取合部詳細図(1)	製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	縮尺 A1:1/2.5 A3:1/5	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
	図面No. S-55	
	原図 / 複図	

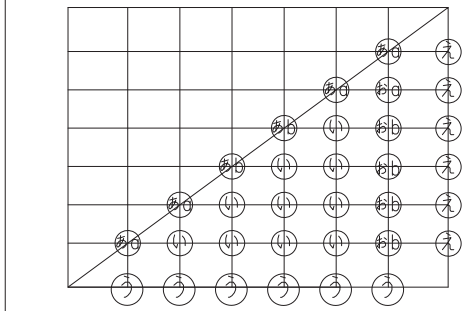


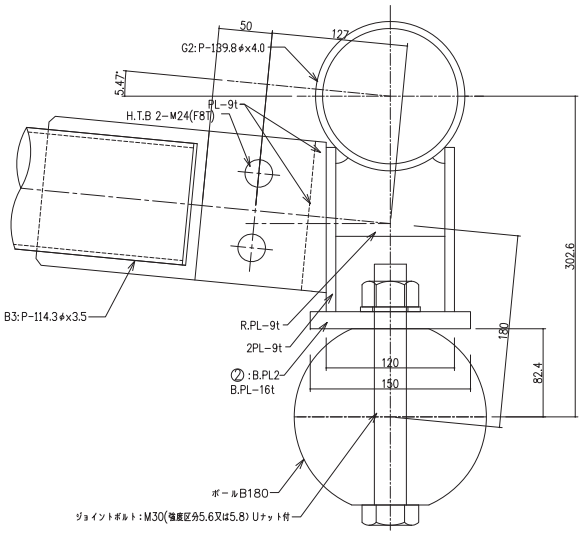
う鉄骨取合部詳細図 S=1:5



お鉄骨取合部詳細図 S=1:5

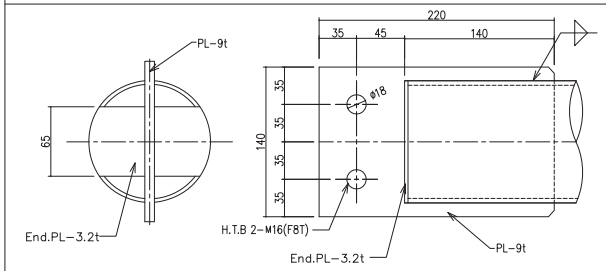
おa: ボールB180
おb: ボールB140



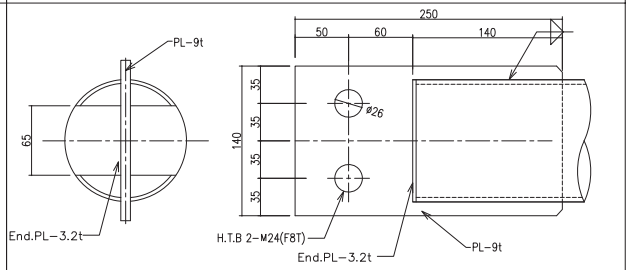


え鉄骨取合部詳細図 S=1:5

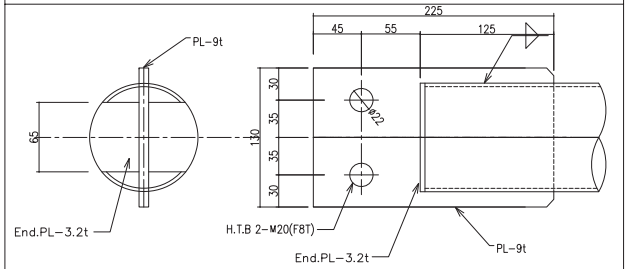
B1:P-114.3φx3.5仕口詳細図 S=1:5



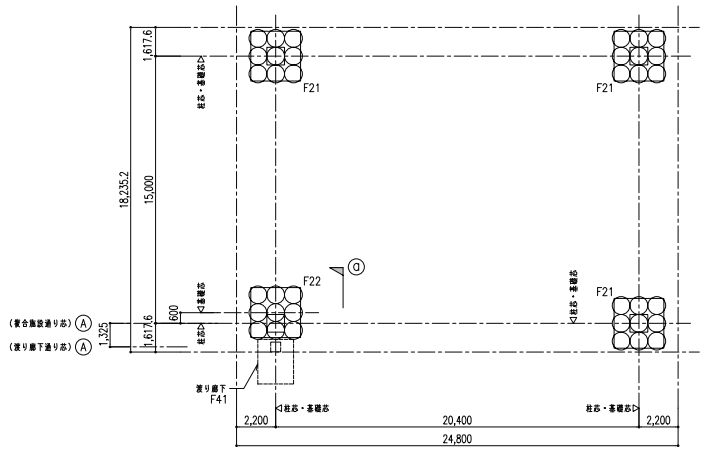
B3:P-114.3φx3.5仕口詳細図 S=1:5

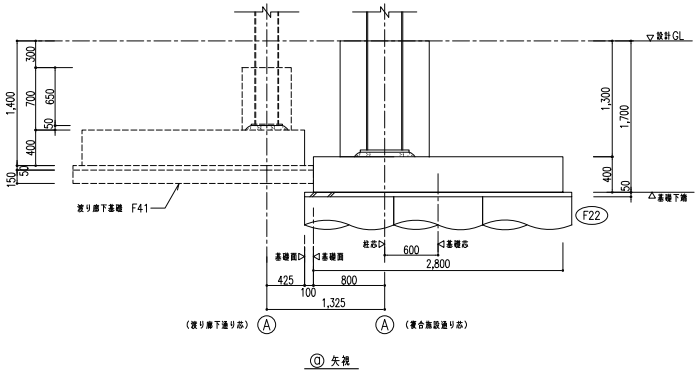


B2:P-101.6φx3.2仕口詳細図 S=1:5



工事名 (仮称)上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事		No. 03123	管理建築士 古澤康夫 一級建築士登録番号 223925号
図名 こどもひろば 躯工事 鉄骨取合部詳細図(2)		製作 R05.01	従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号 249808号
株式会社 フケタ設計 代表取締役 三柴富男 一級建築士登録番号 89479号 本社 栃木県宇都宮市大室1丁目5番8号 TEL.028(622)8928		縮尺 A1:1/2.5 A3:1/5	従事する建築士 一級建築士登録番号 号
		図面No. S-56	
		原図	複図





ⓐ 矢視

こども広場

柱状改良・基礎伏図 S=1/150

共通事項（特記なき限り）

1, 改良芯は基礎リスト参照とする
2, 工法 深層混合処置工法（Dコラム工法）
（支持層：砂礫層）
3, 設計地耐力：200kN/m²（地盤改良底レベル）
4, 柱状改良天端レベルは、設計GL−1,750 とする
柱状改良下端レベルは、設計GL−5,700 とする

・柱状改良リスト

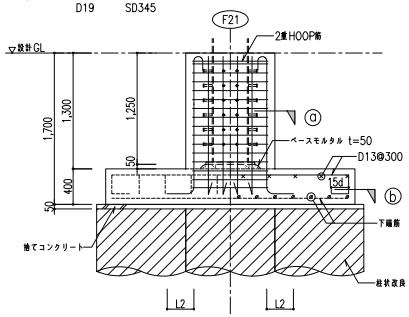
基礎符号	改良径 (ø)	本数 (本)	箇所数	合計 (本)
F21	1,000	9	4	36

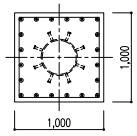
こども広場

基礎リスト S=1/30

共通事項（特記なき限り）

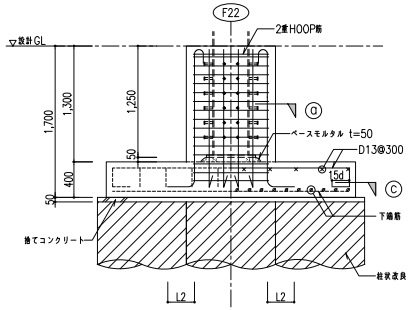
1, 鉄筋 D10~D16 SD295A
D19 SD345

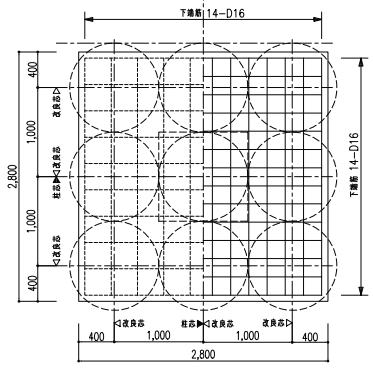




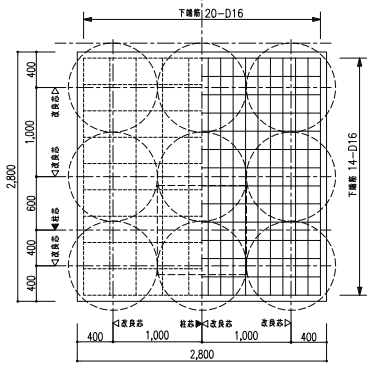
主筋 20−D25（目潰フック付）
HOOP筋 □−D13@100

ⓐ 矢視





ⓑ 矢視



ⓒ 矢視





工事名	（仮称）上三川町生涯学習・子育て支援複合施設建設工事	No.	03123
図名	こどもひろば 基礎図	設計	R05. 01
		縮尺	A1：1/150, 50 A3：1/300, 60
		図面No.	S−57

管理建築士 古澤 康夫 一級建築士登録番号 223925号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号
従事する建築士 一級建築士登録番号 号

有限会社スパン設計 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第 54185 号
管理建築士・設計者 一級建築士 第 288796 号
構造設計一級建築士 第 61489 号 長瀬 博明

株式会社 フケタ設計
代表取締役 三栗 富男 一級建築士登録番号 89479号
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028(622)8928